ECLIPSE

取扱説明書



AVN-Z01

メモリーナビゲーション内蔵　SD/DVD/地上デジタルTV　7.0WVGA　AVシステム

AVN-V01

メモリーナビゲーション内蔵　SD/DVD/地上デジタルTV　7.0WVGA　AVシステム

お買い上げいただき、ありがとうございます。
正しくご使用いただくために、この「取扱説明書」をよくお読みください。
また、お読みになった後も必要なときに
すぐご覧になれるよう大切に保管してください。

FUJITSU TEN

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。その表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。

取り扱い上のご注意

測位状態が安定してから走行する

- GPSマークが表示されてから走行してください。測位状態が不十分なときに走り出すと自車位置がずれる場合があります。

走行中は、一部の細街路を消去します

- 安全のため、走行中は細街路を地図に表示しません。（ただし、細街路を走行している場合は除きます）

※本書の画面と実際の画面は、地図データの作成時期・種類などによって異なることがあります。

⚠ 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

本機のために必ず守っていただきたいことや、知っておくと便利なことを下記の表示で記載しています。

⚠ 重要

機器の故障や破損を防ぐために守っていただきたいこと
機器が故障したときにしていただきたいこと

ワンポイント

知っておいていただきたいこと

チェック

操作する前に知っておいていただきたいこと

- **製品に添付されている各種説明書や保証書などは必ずお読みください。**
  これらの指示を守らなかったことによる不具合に対しては、当社は責任を負いかねます。
- **仕様変更などにより、本書の内容と本機が一致しない場合もありますのでご了承ください。**

本書はやさしく取り扱ってください。
無理に広げたり引っ張ったりするとページがバラバラになってしまう場合があります。
やさしい取り扱いをお願いします。

⚠ 注意

表示画面のタッチスイッチ内側に結露が発生した場合、正しく動作しないことがありますので無理に使用せず、結露がなくなるまで操作をしないようにしてください。

お使いになる前に **22**

ナビゲーション **73**

1. はじめに 74
2. 基本操作 77
3. ナビゲーション案内 154
4. VICS機能 210
5. 地点の登録 236
6. メンテナンス 259
7. 情報機能 266
8. 携帯連携機能（AVN-Z01のみ） 282
9. オプション機能 295
10. こんなときは 315

オーディオ・ビジュアル **331**

Ⅰ. はじめに 332
Ⅱ. 基本操作 340
Ⅲ. オーディオの操作 355
Ⅳ. SDメモリーカードの操作 380
Ⅴ. ビジュアルの操作 409
Ⅵ. ポータブルオーディオ機器接続時の操作 457
Ⅶ. マルチウィンドウの操作 481
Ⅷ. デジタルフォトフレームの操作 484
Ⅸ. ステアリングスイッチの操作 491

ハンズフリー（AVN-Z01のみ） **497**

1. はじめに 498
2. ハンズフリーの準備 504
3. 基本操作 509
4. 設定・編集 519

ご参考に **533**

目次一覧

お使いになる前に

1.安全上のご注意 22
2.本書の見方 26
3.特長 28
4.本機について 34
各部の名称と操作 34
パネルスイッチ 34
タッチスイッチ 35
タッチスイッチの操作について 36
電源の入れ方・切り方 37
本機の電源を入れる 37
オーディオの電源を切る 37
SDメモリーカードの出し入れ 38
SDメモリーカードの入れ方 38
バッテリーとの接続が断たれたとき 39
SDメモリーカードの出し方 41
ディスクの出し入れ 42
各ディスク（CD・DVD）の入れ方 42
各ディスク（CD・DVD）の出し方 44
USBメモリの接続（取りはずし） 45
ディスプレイの角度調整 46
液晶パネルについて 47
本機のモードについて 48
本機の作動条件について 49
各モードの呼び出し 50
ナビゲーション画面 50
情報画面 50
オーディオ操作画面 50
オンスクリーン表示について 50
5.カンタン初期設定 51
カンタン初期設定の開始 51
6.E-iSERVについて 54
ケータイリンクのアプリをダウンロードする 54
赤外線通信で送信する 55
モクテキチネット（赤外線ケータイリンク）を使う場合 55
助手席リモコンを使う場合 56
7.本機の設定 57
操作音の設定 57
ナビゲーション音声の出力位置切り替え 57
操作画面継続表示の設定 58
アクセントカラーの切り替え 58
オープニング画面の設定 59
オープニング画面を切り替える 59
お好みの画像データに書き換える 59
使用できる画像データ 60
画面の調整・設定 61
画質調整画面を表示する 61
自動で画面の明るさを変える（直射日光補正機能） 61
夜画・昼画表示に切り替える 62
画面を消す 62
画質の調整 62
色合い（映像画面時のみ） 62
色の濃さ（映像画面時のみ） 62
コントラスト 63
明るさ 63
VividView 63
ラジオアンテナの設定 63
ESNの設定 64
ESN設定画面を表示する 64

ESNを作動する 64
ESNのロックを解除する 66
ESN／ACCセキュリティの
ロック解除に5回連続で
失敗したとき 66
ESNの設定を解除する 68
ACCセキュリティを作動する 69
ACCセキュリティのロックを
解除する 69
ACCセキュリティを解除する 70
セキュリティインジケータの
表示を設定する 70
個人情報の初期化 70

ナビゲーション

1.はじめに

**1.GPSボイスナビゲーション
について 74**
**GPSボイスナビゲーションを
お使いになる前に 74**
ナビゲーション画面の見方 74

2.基本操作

**1.設定・編集画面・リスト画面
について 77**
ナビゲーションの設定 77
ナビ詳細設定をする 79
地図表示設定 80
自動表示切替設定 81
案内表示設定 81
音声設定 82
ルート系設定 82
その他 83
安全・快適走行設定をする 84
リスト画面の切り替え方 85
▲・▼の切り替え表示 85
行の切り替え表示 85
英数字の切り替え表示 85
ページの切り替え表示 85
マークの切り替え表示 85
種類の切り替え表示 86
地域の切り替え表示 86
施設項目の切り替え表示 86
文字の表示範囲の切り替え方 86
タブの切り替え方 86

2.ヒント機能 87
ヒント機能の操作 87
3.画面の調整・音声の設定 88
地図の表示色の切り替え 88
自車マークの切り替え 88
地図の名称（文字）サイズの切り替え 89
時計表示の切り替え 90
音量の設定 90
音量を調節する 90
高速走行時の自動音量切り替えを設定する 90
操作説明音声（ボイスヘルプ）の設定 91
操作説明音声を設定する 91
ハートフル音声の設定 92
ハートフル音声を設定する 92
注意喚起設定をする 93
速度超過アラームを設定する 93
リバースシフトアラームを設定する 93
4.地図の表示 94
現在地の表示 94
緯度・経度の表示 94
地図の移動（ワンタッチスクロール） 95
地図の移動 95
スクロール時の地名表示を設定する 95
タッチスイッチの表示切り替え 96
タッチスイッチの表示を切り替える 96
タッチスイッチの表示を設定する 96
地図縮尺の切り替え 97
希望の縮尺に切り替える 98
目的地までの縮尺に切り替える 98
縮尺切替メッセージ表示を設定する 99
市街図の表示 100
市街図表示に切り替える 100
市街図の縮尺を切り替える 100
市街図表示を解除する 101
施設の内容を表示する（ビルディングクイックサーチ） 101
走行軌跡の表示 102
走行軌跡を表示する 102
走行軌跡の消去・表示解除をする 102
地図向きの切り替え 103
地図の向きを切り替える 103
フロントワイド表示の切り替え 104
フロントワイド表示を設定する 104
2画面表示の切り替え（Wサイトナビ） 105
2画面表示に切り替える 105
右画面を操作する 106
2画面表示を解除する 106
シティドライブモード画面 107
シティドライブモード画面を操作する 108
シティドライブモード画面を解除する 108
高速路線マップ 109
高速道路を走行中の場合 109
高速路線マップの縮尺を切り替える 110
高速路線マップの自動表示を設定する 110
高速路線マップ表示を解除する 111
一般道路を走行中の場合 111

高速路線マップに表示を
切り替える 111
3D表示の設定 112
3D表示に切り替える 112
バーチャタウンマップを
表示する 112
バーチャタウンマップの
視点を調整する 113
見下ろす角度を調整する 113
地図向きを回転する 114
ルート方向アップ表示を
設定する 114
3D表示、バーチャタウン
マップを解除する 114
リアルワイドマップ 115
リアルワイドマップ表示を
設定する 115
**シーズンレジャーランド
マークの表示 116**
シーズンレジャーランドマーク
表示を設定する 116
3Dランドマークの表示 117
3Dランドマークの表示を
設定する 117
3Dランドマークの内容を
表示する 117
県境案内の設定 118
県境案内表示を設定する 118
**注意地点案内（安全・快適走行
設定）の設定 118**
注意地点案内を設定する 119
施設の表示 120
走行中に簡易操作で表示する 120
施設ランドマークを消去する 121
複数ジャンルを表示する 121
周辺の施設を検索する 122
ルートを考慮したリストを
表示する 123
施設の情報を表示する
（クイックサーチ） 124
**周辺施設 走行中呼び出し
ジャンルの変更 124**
5.地図の呼び出し方法 126
名称で地図を呼び出す 129
エリア別で絞り込みする場合 131
住所から絞り込むとき 131
地域から絞り込むとき 132
周辺から絞り込むとき 134
施設ジャンル別で
絞り込みする場合 135
住所で地図を呼び出す 137
施設で地図を呼び出す 137
電話番号で地図を呼び出す 139
**赤外線ケータイリンクで
地図を呼び出す 141**
携帯電話の操作 141
本機の操作 141
**Yahoo! JAPANで登録した地点/
ルートから呼び出す
（AVN-Z01のみ） 142**
目的地情報を本機へ送信する 143
ドライブルートの情報を本機へ
送信する 143
地点情報を本機へ送信する 144
メモリ地点で地図を呼び出す 144
ジャンルで地図を呼び出す 144
エリアを指定して施設を
表示する 145
郵便番号で地図を呼び出す 147
マップコードで地図を呼び出す ... 147
**携帯電話で地図を呼び出す
（AVN-Z01のみ） 148**
履歴で地図を呼び出す 149

特別メモリ地点で地図を呼び出す 149
6.呼び出した地図の操作 150
表示した地図の操作 150
ピンポイントで検索できたとき 150
ピンポイントで検索できないとき 151
位置の変更 151
施設内容の表示 151
提携駐車場の検索 152
住所の検索 152
住所一覧から検索する 152
周辺住所から検索する 153

3.ナビゲーション案内

1.目的地設定・ルート探索について 154
2.目的地を設定してルート探索 155
目的地の設定 156
地図スクロールから設定する 156
携帯電話から設定する（AVN-Z01のみ） 157
登録地点から設定する 158
地図の呼び出し方法から設定する 159
ルート探索 160
渋滞考慮ルート探索の設定 161
渋滞考慮探索を設定する 161
新旧ルート比較表示の設定 162
ルートを選択する 162
全ルート図表示 163
ルートの表示について 163
細街路の表示について 163
全ルート図の表示・タッチスイッチについて 164
表示について 164
タッチスイッチについて 165
季節規制区間の表示・回避 166
季節規制区間を回避する 166
季節規制区間メッセージ表示を設定する 166
ルート情報（案内道路情報）の表示 167
5ルート同時表示（5ルート探索機能） 168
3.探索ルートの変更 169
目的地の追加 170
区間別探索条件の変更 172
目的地の並び替え 173
目的地の消去 174
ルート変更スイッチから消去する 174
目的地スイッチから消去する 174
地図画面から消去する 175
乗降インターチェンジ（IC）の指定 176
インターチェンジ（IC）指定の解除 177
通過道路の指定 178
全ルート図画面から指定する 178
ルート変更スイッチから指定する 179
通過道路指定の修正 180
通過道路指定の解除 181
4.目的地履歴（ラストゴールメモリー）について 182
目的地履歴（ラストゴールメモリー）の消去 182

5.目的地案内の開始・中止・再開 183
案内の開始 183
案内の中止・再開 183
デモンストレーション（デモ）.... 184
6.目的地案内について 185
案内画面について 185
案内図の切り替え 186
案内図の自動表示を設定する ... 186
案内図を切り替える 186
拡大図の切り替え 186
拡大図の自動表示を設定する ... 186
拡大図を解除する 186
交差点案内 188
分岐しない交差点について 188
分岐する交差点（交差点拡大図）について 188
3Dイラスト拡大図について 189
リアル交差点拡大図について 189
立体交差点拡大図について 189
難交差点拡大図について 189
3D 交差点拡大図について 189
側道案内拡大図について 189
レーンリスト図案内 190
レーンリスト図の自動表示を設定する 190
レーンリスト図を切り替える 190
フェリー航路の案内 190
到着予想時刻表示の設定 191
アナログ／デジタル表示を切り替える 191
平均車速を設定する 191
料金案内 192
料金案内表示を設定する 193
車両情報を設定する 193
料金所レーン案内 195
料金所レーン案内図の自動表示を設定する 195
料金所レーン案内図を解除する 196
ターンリスト図案内 197
高速分岐案内（ジャンクションレーンアシスト）..... 198
都市高マップ 198
音声案内 199
自動音声案内を設定する 200
細街路での案内 200
他モードでの案内 200
7.案内ルートの操作 201
全ルート図の再表示 201
到着予想時刻／残距離表示の切り替え 201
オンルートスクロール 202
オンルートスクロールを開始する 202
オンルートスクロールの施設を設定する 202
オンルートスクロール画面の操作について 203
次の目的地までの場合 203
次の施設までの場合 203
8.ルートの再探索 204
ルートの再探索について 204
タッチスイッチ一覧 205
ルートの再探索 207
自動再探索（ハイパーリルート）..... 208
9.目的地設定画面の設定 209
目的地設定画面のスイッチ設定（目的地メニューカスタマイズ）..... 209

4.VICS機能

1.VICS機能の紹介 210
VICSとは 210
VICSのメディア概要 211
FM多重 211
電波ビーコンと光ビーコン 212
電波ビーコン 212
光ビーコン 212
オンデマンドVICS（AVN-Z01のみ） 212
VICS特有の事項 213
FM多重放送特有の事項 213
電波ビーコン特有の事項 213
光ビーコン特有の事項 214
VICS情報提供内容と表示について 215
レベル1（文字表示） 215
レベル2（簡易図形表示） 215
レベル3（地図表示） 215
2.VICS FM多重放送の受信 216
VICS FM多重放送局の選択 216
自動で選択する 216
エリアで選択する 216
周波数を手動で選択する 217
3.オンデマンドVICS機能（AVN-Z01のみ） 219
オンデマンドVICS機能の紹介 ... 219
対応*Bluetooth*®仕様および対応プロファイルについて 220
オンデマンドVICSのユーザー登録 221
通信接続の設定をする 222
その他のプロバイダを使用する場合 222
オンデマンドVICSの取得設定 ...223
オンデマンドVICSの自動接続する・しないを設定する 223
オンデマンドVICSを手動で取得する 224
4.VICS情報の表示・案内 225
VICS情報表示の設定 225
VICS表示道路色を切り替える ...226
VICS情報の表示 227
VICS情報の表示 227
交通情報の表示 228
VICS情報を地図表示する 228
VICSマークの内容表示について ... 228
VICS情報を消去する 228
VICS渋滞・規制音声案内 229
渋滞・規制の音声自動発声を設定する 229
渋滞・規制を音声で案内する 230
VICS図形情報の表示 230
VICS文字情報の表示 231
地図に表示されるVICS表示マークについて 232
VICSの用語説明 233
VICSセンター著作権について ...233
VICSの問い合わせ先 234
5.渋滞考慮機能 235
渋滞考慮とは 235

5.地点の登録

1.地点の登録とは 236

2.メモリ地点の登録・修正・消去 237

メモリ地点の登録 237

ワンタッチで登録する 237

離れた場所を登録する 237

メモリ地点の修正・入力 238

設定スイッチからメモリ地点修正画面を表示する 238

地図画面からメモリ地点修正画面を表示する 239

メモリ地点の種別（自宅・特別メモリ）を変更する 240

自宅、特別メモリ地点を解除する 240

メモリ地点のマークを変更する 240

方向付きを設定する場合 242

メモリ地点の名称を入力する 243

ひらがな・漢字を入力するには 244

メモリ地点の名称を表示する 245

メモリ地点の名称読みを入力する 245

メモリ地点の位置を修正する 246

メモリ地点の電話番号を入力する 246

メモリ地点の消去 247

メモリ地点登録編集画面から消去する 247

地図画面から消去する 247

3.迂回メモリ地点の登録・修正・消去 249

迂回メモリ地点の登録 249

迂回メモリ地点の修正 250

迂回メモリ地点の消去 251

4.メモリ地点の移行 252

メモリ地点の移行について 252

パスワードの設定 252

パスワードを設定する 252

パスワードを初期化する 253

メモリ地点をSDメモリーカードに移す 254

SDメモリーカードに保存したメモリ地点を本機に移す 256

6.メンテナンス

1.メンテナンス機能について ... 259

メンテナンスメニュー画面 259

メンテナンス時期の設定 260

メンテナンス案内の設定 261

メンテナンスの案内 262

メンテナンス設定の更新 262

項目ごとに更新する 262

すべてを更新する 263

メンテナンス設定の消去 263

項目ごとに消去する 263

すべてを消去する 264

販売店の設定 264

販売店の修正・消去 265

7.情報機能

1.情報・BTナビ画面（情報）について 266

情報・BTナビ画面（情報）..... 266

タッチスイッチ一覧 267

2.FM多重放送 268

FM多重放送の番組について 268
FM多重放送の表示 268
放送局の切り替え 268
番組の切り替え 269
独立情報番組のページ送り 269
連動情報番組の文字情報を繰り返し見る 270
文字情報の記録・呼び出し・消去 270
記録する 270
呼び出す 270
消去する 271
3.SYSTEM CHECK機能 272
SYSTEM CHECK画面の表示 ... 272
4.エコナビ情報 273
エコナビ情報機能の紹介 273
燃費を計算する 273
給油量を入力する 273
履歴とグラフを確認する 274
燃費を設定する 274
燃費履歴を編集・削除する 275
履歴を編集する 275
履歴を削除する 277
エコ運転評価を表示する 278
エコ運転評価を表示する 278
エコ運転評価履歴を表示する 278
エコドライブインフォメーションの設定をする 279
5.電話帳（交通・ナビ関連）機能（AVN-V01のみ）... 280
電話帳（交通・ナビ関連）の検索 280
6.カレンダー機能 281
カレンダー画面の表示 281

8.携帯連携機能（AVN-Z01のみ）

1.情報・BTナビ画面（BTナビ）について（AVN-Z01のみ）... 282
情報・BTナビ画面（BTナビ）....282
タッチスイッチ一覧 282
2.地点情報の送信 283
地点情報の送信 283
3.地点情報の受信 284
地点情報の受信 284
4.Yahoo! JAPANと連携 286
Yahoo! JAPANと連携画面 286
タッチスイッチ一覧 287
アプリケーションをダウンロードする 288
本機から携帯電話へ送信時のセキュリティを設定する 288
セキュリティ設定変更時のロックNo.を変更する 289
目的地情報を本機へ送信する 290
ドライブルートの情報を本機へ送信する 290
地点情報を本機へ送信する 291
走行軌跡情報を携帯電話へ送信する 292
メモリ地点を携帯電話へ送信する 293
目的地履歴を携帯電話へ送信する 294

9.オプション機能

1.2メディア/3レベル対応VICSユニットの操作 295
2メディア/3レベル対応VICSユニットの構成 295
割り込み情報（ビーコン即時案内）の表示 296
割り込み情報の表示を設定する 296
割り込み情報の表示時間を調整する 297
割り込み情報を呼び出す 297
渋滞考慮探索 299
新旧ルート比較 299
2.ETCシステムの操作 300
ETC車載器を初めて使う 300
車両情報などをETC車載器に登録する（セットアップ） 300
ETCカードを入手する 300
ETCとは 301
ETCメニュー画面 302
走行中の表示 302
ETCレーンの通過案内 303
ETCレーン（精算用）通過時 303
履歴の表示 303
登録情報の表示 304
ETCの設定 304
ETCの各項目を設定する 304
3.バックアイカメラの操作 306
バックアイカメラの映像を映す 307
ガイド線の設定・調整 307
画面の見方について 309
ガイド線の見方 309
ガイド線の表示／解除 309
視点の切り替え 310
バックアイカメラの初期設定をする 310
視点を切り替える 311
4.フロントアイカメラの操作 312
フロントアイカメラの映像について 312
フロントアイカメラ映像の切り替え 313
手動で表示する 314
自動で表示する 314
フロントカメラー時停止データ連動を設定する 314

10.こんなときは

1.補正が必要なとき 315
現在地の修正 315
距離の補正 316
自動補正するとき 317
手動補正するとき 317
2.ナビゲーションの設定を記憶したいとき 318
記憶することのできる設定項目 318
ナビゲーション設定の記憶 318
記憶の呼び出し 319
名称の変更 319
ナビゲーション設定の記憶の消去 320
3.地図データを更新する 321
差分更新（マップオンデマンド）と全更新について 321
差分更新の対象について 321
更新方法と費用について 321

4.地図データの更新 323
地図データの情報表示 323
専用のアプリケーション
ソフトについて 323
専用のアプリケーションソフトの
動作環境 323
専用のアプリケーションソフトを
インストールする 323
専用のアプリケーション
ソフトについて 325
5.精度と誤差 326
測位精度について 326
GPS衛星の電波の性質と
受信状態について 326
現在地表示の誤差について 326
タイヤによる誤差について 327
マップマッチングによる
自車位置検出の
補正について 327
現在地表示、ルート案内の
精度について 328
道路、地名データについて 329
ルート案内について 329

オーディオ・ビジュアル

Ⅰ.はじめに

1.ご使用になる前に 332
SDメモリーカードについて 333
ディスクについて 336
地上デジタルTV放送について ... 339

Ⅱ.基本操作

1.ソースの切り替え方 340
ソースを切り替える 340
2.各ソースの操作画面 341
オーディオ情報の表示 342
3.音の調整 343
主音量の調整 343
4.音質の調整 344
SOUND画面の表示 344
EQ（イコライザ）の調整 345
イコライザカーブを選択する 345
イコライザカーブの調整、記憶 346
イコライザの調整値の呼び出し 347
EQカーブをリセットする 347
SFC（音場）の設定 347
SFC（音場）の調整、記憶 348
SFC（音場）レベルを
リセットする 348
POSITION（ポジショニング
セレクター）の調整 ... 349
ポジションを設定する 349

FADER BALANCE（音量バランス）の調整 ... 350
音質補正の設定（ハーモナイザー） 351
E-VOLUTIONの設定 351
LOUDNESSの設定 352
サブウーファの設定 353
出力方式を設定する 353
位相を切り替える 353
サブウーファレベルを設定する 353
X-OVER(クロスオーバ)を設定する 354

Ⅲ.オーディオの操作

1.ラジオの使い方 355
ラジオを聞く 355
聞きたい放送局を選ぶ 355
手動で選ぶ 355
自動で選ぶ 355
プリセットスイッチから選ぶ 356
放送局を記憶する 356
マニュアル（手動）で記憶する 356
AUTO.P（自動）で記憶する 356
AUTO.Pで記憶した放送局を変更する 357
エリアスイッチについて 357
交通情報を聞く 357
周波数を記憶する 357
ラジオを止める 357
2.CDプレーヤーの使い方 358
CDを聞く 358
聞きたい曲を選ぶ 358
選曲・頭出しスイッチから選ぶ 358
一覧から選ぶ 359
早送り・早戻しする 359
聞きたい曲を探す 359
聞きたい曲を繰り返し聞く 359
曲の順番をランダムに聞く 360
CDを止める 360
3.MP3/WMAプレーヤーの使い方 361
MP3/WMAを聞く 362
聞きたいフォルダを選ぶ 362
フォルダ切り替えスイッチから選ぶ 362
一覧から選ぶ 362
聞きたい音楽ファイルを選ぶ 363
選曲・頭出しスイッチから選ぶ 363
一覧から選ぶ 363
早送り・早戻しする 363
聞きたい音楽ファイルを探す 363
聞きたい音楽ファイルを繰り返し聞く 364
音楽ファイルの順番をランダムに聞く 364
MP3/WMAを止める 364
MP3/WMAについて 365
再生可能なMP3ファイルの規格について 365
再生可能なWMAファイルの規格について 365
ID3タグ/WMAタグについて 366
使用できるメディアについて 366
使用できるディスクのフォーマットについて ... 367
ファイル名について 368
CD-R、CD-RWについて 369
MP3/WMAの再生について 369
MP3/WMAの演奏時間表示について 369

MP3/WMAファイル、フォルダの
リスト表示順番 369
**MP3/WMAファイルの作り方、
楽しみ方 370**
インターネット上のMP3/WMA
音楽配信サイトから
入手する場合 370
音楽CDからMP3/WMAファイル
に変換する場合 370
CD-R/RWに書き込む場合 370
4.USBメモリの使い方 371
USBメモリを聞く 372
聞きたいフォルダを選ぶ 372
フォルダ切り替え
スイッチから選ぶ 372
一覧から選ぶ 372
聞きたい音楽ファイルを選ぶ 372
選曲・頭出しスイッチから選ぶ 372
一覧から選ぶ 373
早送り・早戻しする 373
聞きたい音楽ファイルを探す 373
**聞きたい音楽ファイルを
繰り返し聞く 373**
**音楽ファイルの順番を
ランダムに聞く 374**
USBメモリを止める 374
MP3/WMAについて 375
再生可能なMP3ファイルの
規格について 375
再生可能なWMAファイルの
規格について 376
ID3タグ/WMAタグについて 376
使用できるメディアについて 376
使用できるメディアのファイル
フォーマットについて 377
ファイル名について 378
MP3/WMAの再生について 378
MP3/WMAの演奏時間
表示について 379
**MP3/WMAファイルの作り方、
楽しみ方 379**
インターネット上のMP3/WMA
音楽配信サイトから
入手する場合 379
音楽CDからMP3/WMAファイル
に変換する場合 379
メディアに書き込む場合 379
Ⅳ.SDメモリーカードの操作
**1.SDメモリーカードを
お使いになる前に... 380**
**SDメモリーカードへの
録音について 380**
録音した音楽の構成について 380
プレイモード・
プレイリストについて ... 380
データベースについて 381
Gracenoteメディアデータ
ベースについて 381
オートタイトリング
機能について 382
**データベース情報の
表示について 382**
データベースの更新について 383
SDメモリーカードの容量確認 ... 384
操作の流れについて 385
**2.SDメモリーカード
への録音 386**
**SDメモリーカードへの
録音について 386**
録音可能なデータ 386
録音可能なSDメモリーカード 386
録音の仕様 386
録音についての注意 387
録音の設定 388

SDメモリーカードへ録音する ...388
自動で録音する ...388
手動で録音する ...389
CDの中からお好みのトラック（曲）を選んで録音する ...389
CD操作画面で録音する場合 ...389
CD操作画面以外で録音する場合 ...390
3.SDメモリーカードの聞き方 ...392
SDメモリーカードを聞く ...392
再生中のプレイリストの中で聞きたいトラック（曲）を選ぶ ...392
選曲・頭出しスイッチから選ぶ ...392
一覧から選ぶ ...393
聞きたいアルバムを選ぶ ...393
アルバム切り替えスイッチから選ぶ ...393
一覧から選ぶ ...393
早送り・早戻しする ...394
聞きたいトラック（曲）を探す ...394
聞きたいトラック（曲）を繰り返し聞く ...394
トラック（曲）の順番をランダムに聞く ...394
SDメモリーカードを止める ...394
4.マイベストの編集 ...395
プレイリストの作成 ...395
プレイリストを作成する ...395
作成したプレイリストにトラックを追加する ...396
プレイリストの名称入力 ...397
カナ、英字、数・記号の入力 ...397
プレイリストの名称編集 ...398
プレイリストの編集 ...398
トラック（曲）を追加する ...399
トラックを並べ替える ...400
トラックを消去する ...401
プレイリストを消去する ...401
5.アルバム情報の編集 ...402
アルバム情報の編集 ...402
アルバム修正画面の呼び出し ...402
SDメモリーカード操作画面から呼び出す ...402
設定・編集画面（オーディオ）から呼び出す ...403
アルバム名称を変更する ...404
アルバム読み名称を変更する ...404
アーティスト名称を変更する ...404
アーティスト読み名称を変更する ...405
トラック名称を変更する ...406
タイトル情報を再取得する ...406
トラックの消去 ...407
Ⅴ.ビジュアルの操作
1.TVをお使いになる前に ...409
mini B-CASカードについて ...410
取り扱いについての注意 ...410
mini B-CASカードに関する問い合せ ...411
mini B-CASカードの差し込み・取り出し方について ...411
mini B-CASカードを差し込む ...411
mini B-CASカードを取り出す ...412
初回起動時の設定 ...413
2.TVの操作 ...415
TVを見る ...415
受信レベルについて ...415
プリセットモードを切り替える ...416

見たいチャンネルを選ぶ 417
地上デジタルTV放送のチャンネル構成について 417
チャンネル切り替えスイッチから選ぶ 417
プリセットスイッチから選ぶ 417
放送局リストから選ぶ 417
見たい番組を選ぶ 418
サービス切り替えスイッチから選ぶ 418
サービスリストから選ぶ 418
受信モードを設定する 418
放送局（系列局／中継局）サーチを設定する 419
画面表示・音声の切り替え 420
映像の切り替え 420
音声の切り替え 421
字幕言語の切り替え 421
二重音声の切り替え 422
文字スーパーの切り替え 422
緊急警報放送を受信したときは... 423
TVを止める 423
3.EPG（電子番組表）の使い方 424
EPG（電子番組表）を見る 424
日付を切り替える 424
放送局（チャンネル）を切り替える 424
番組を切り替える 425
番組の内容を見る 425
4.データ放送の使い方 426
データ放送を見る 426
データ放送を操作する 426
色ボタン・カーソルの操作について 427
10キー（テンキー）の操作について 427
文字入力の操作について 428
5.TVの設定 429
初期設定を変更する 429
初期設定画面の表示 429
居住地域の設定 429
ホームプリセットの設定 430
初期スキャンでの記憶 430
追加スキャンでの記憶 431
プリセットスイッチの編集 432
受信したメールの閲覧 432
mini B-CASカードの動作確認 ... 433
6.DVDプレーヤーをお使いになる前に 435
DVDの特長 435
マルチ音声機能について 435
マルチアングル機能について 435
字幕表示機能について 436
ディスクについて 437
再生できるディスクの種類について 437
再生可能なディスクの地域番号（リージョンコード）について 437
ディスクに表示されているマークについて 438
ディスクの構成について 439
DVDビデオディスクの構成 439
DVD-VRディスクの構成 439
操作の流れについて 440
7.DVDプレーヤーの使い方 441
DVDを見る 441
映像を操作する 442
映像を再生する 442

早送り・早戻しする 442
パネルスイッチから早送り・早戻しする 442
タッチスイッチから早送り・早戻しする 442
映像を一時止める 442
映像を止める 443
ディスクメニューを操作する 443
画面を直接タッチして操作する 443
タッチスイッチから操作する 443
DVDを止める 444
見たい映像を探す 444
チャプターから探す 444
プログラム（プレイリスト）から探す 444
タイトル番号から探す 444
指定された位置まで戻る 445
静止画を切り替える 445
画面表示・音声の切り替え 445
アングルを切り替える 445
字幕言語を切り替える 446
音声言語を切り替える 446
画面サイズを切り替える 447
音声多重を切り替える 448
再生モードの切り替え 448
DVDプレーヤーの設定 449
音声言語を設定する 450
コードを入力する 450
字幕言語を設定する 450
コードを入力する 451
メニュー言語を設定する 451
コードを入力する 451
マルチアングルマークの表示を設定する 452
視聴制限を設定する 452
オートスタートを切り替える 453
映像出力を切り替える 453
言語コード一覧 454
8.VTRの使い方 455
VTRを見る 455
画面サイズを切り替える 456
VTRを終わる 456
Ⅵ.ポータブルオーディオ機器接続時の操作
1.iPodプレーヤーの使い方 457
iPodを接続する 458
iPodを取りはずす 458
iPodを聞く・映像を見る 459
早送り・早戻しする 460
パネルスイッチから早送り・早戻しする 460
タッチスイッチから早送り・早戻しする 460
再生したい音楽ファイルを選ぶ ... 460
パネルスイッチから再生したい音楽ファイルを選ぶ 460
タッチスイッチから再生したい音楽ファイルを選ぶ 460
再生したいファイルをリストから探す 460
音楽ファイルを探す 460
映像ファイルを見る 461
再生したいリストを選ぶ 462
再生中の音楽ファイルのリストを表示する 462
同じファイルを繰り返し再生する 462
ファイルの順番をランダムに再生する 463
iPodを止める 463
MUSIC MENU画面の選曲モードを並べ替える ... 463

2.*Bluetooth*®オーディオの使い方 464
Bluetooth®オーディオについて 464
対応*Bluetooth*®仕様および対応プロファイルについて 465
Bluetooth®対応機器使用上の注意事項 465
各種表示について 466
電池残量表示 466
Bluetooth®接続状態表示 467
Bluetooth®対応機器を登録する 468
Bluetooth®対応機器を接続する 469
自動で接続する 469
手動で接続する 469
Bluetooth®オーディオを聞く 470
早送り・早戻しする 471
聞きたい音楽ファイルを選ぶ 471
アルバムを切り替える 471
同じ音楽ファイルを繰り返して聞く 471
音楽ファイルの順番をランダムに再生する 471
ライブラリから音楽ファイルを選ぶ 472
再生リストから音楽ファイルを選ぶ 472
Bluetooth®オーディオを止める 473
Bluetooth®オーディオの設定 474
Bluetooth®対応機器を切り替える 475
パスキーを変更する 475
自動接続を設定する 476
詳細情報を表示する 476
接続方法の変更 477
Bluetooth®対応機器の登録を削除する 477
3.AUXの使い方 478
ポータブルオーディオをお使いになる前に 479
ポータブルオーディオを接続する（取りはずす） 479
ポータブルオーディオを聞く 480
ポータブルオーディオを終わる 480

Ⅶ.マルチウィンドウの操作

1.マルチウィンドウ機能 481
マルチウィンドウについて 481
マルチウィンドウ画面の表示 481
マルチウィンドウ画面の操作 482
画面サイズの調整 482
画面の比率を切り替える 482
全画面に切り替える 482
オーディオ画面の操作 483

Ⅷ.デジタルフォトフレームの操作

1.デジタルフォトフレーム機能 484
デジタルフォトフレームについて 484
表示できる画像データ 484
再生可能なUSBメモリ 484
再生可能なSDメモリーカード 485
デジタルフォトフレームを再生する 486
写真を切り替える 487
デジタルフォトフレームの設定 487
読込みメディアを選択する 488

参照フォルダを指定する 488
スライドショーの設定をする 489
再生順序を設定する 489
写真切替方法を設定する 489
切替効果を設定する 489
再生時間を設定する 490
後席ディスプレイ接続の設定をする 490

Ⅸ.ステアリングスイッチの操作

1.ステアリングスイッチの使い方 491
ステアリングスイッチを設定する 491
自動車メーカーを指定して設定する 491
自動車メーカーを指定しないで設定する 491
オーディオ・ハンズフリー（AVN-Z01のみ）機能共通の操作 493
オーディオ機能の操作 493
共通操作 493
各オーディオ機能の操作 494
設定を初期化する 495

ハンズフリー（AVN-Z01のみ）

1.はじめに

1.ご使用になる前に 498
ハンズフリーについて 498
Bluetooth®携帯電話について 498
対応***Bluetooth***®仕様および対応プロファイルについて 499
ハンズフリーが使用できないとき 499
マイクについて 500
ハンズフリー操作について 500
音声について 500
お車を手放すとき 501
Bluetooth®機器使用上の注意事項 501
各種表示について 502
受信レベル表示 502
電池残量表示 502
Bluetooth®接続状態表示 503

2.ハンズフリーの準備

1.携帯電話の登録 504
携帯電話を登録する 504
接続失敗画面が表示されたとき 504
2.携帯電話の接続 506
携帯電話を自動で接続する 506
自動接続を設定する 506
Bluetooth®接続確認表示 507
携帯電話を手動で接続する 507
Bluetooth®接続の再接続について 508

3.基本操作

1.電話のかけ方 509
ダイヤル画面を表示する 509
ダイヤル発信する 510
電話帳発信する 510
履歴発信する 511
履歴を削除する 512
携帯電話本体から発信する 513
発信を中断する 513
2.電話の受け方 514
電話を受ける 514
着信中画面で操作する 515
電話を保留する（応答保留）..... 515
着信音の音量を調整する 515
着信拒否する 515
3.通話中の操作 516
通話中画面で操作する 516
受話音量を調整する 516
通話を終了する 516
10キー入力する 516
送話音をミュート（消音）する 517
通話を転送する 517
画面で操作する 517
携帯電話本体で操作する 517
4.簡易画面での操作 518
簡易画面について 518

4.設定・編集

1.ハンズフリーの設定 519
音量の設定をする 519
音量を調整する 519
ステアリングスイッチで音量を調整する 519
高速走行時の自動音量切り替えを設定する 519
使用する携帯電話を選択する 520
電話機詳細情報を表示する 521
ハンズフリー設定画面 522
携帯電話の登録を削除する 523
パスキーを変更する 523
着信割り込み表示を設定する 524
ACC-ON時の*Bluetooth*®接続確認表示を設定する 524
自動着信応答を設定する 525
2.電話帳の編集 526
電話帳編集画面を表示する 526
携帯電話の電話帳データを転送する 526
電話帳のデータを削除する 528
電話帳のデータを個別に削除する 528
電話帳のデータをすべて削除する 528
3.セキュリティの設定 529
ロックNo.を変更する 529
電話帳・発着信履歴制限をする 531
電話帳・発着信履歴制限を解除する 531
設定を初期化する 532

ご参考に

1.知っておいていただきたいこと 534
こんなメッセージが表示されたときは 534
共通操作関係 534
ナビゲーション関係 535
ETC統一エラーコード一覧 538
オーディオ・ビジュアル関係 540
ハンズフリー関係 544
故障とお考えになる前に 545
共通操作関係 545
ナビゲーション関係 546
オーディオ・ビジュアル関係 548
2.用語説明 551
3.地図データについて 555
地図データについて 555
4.VICS情報有料放送サービス契約約款 556
5.Gracenoteメディアデータベースのご利用について 557
6.オンデマンドVICSのご利用について 558
7.バッテリーの交換について 568
8.バッテリーの交換時について 569
9.お手入れについて 570
本機のお手入れについて 570
アンテナのお手入れについて 570
10.仕様 571
11.凡例 573
12.索引 574
共通索引 574
ナビゲーション索引 576
オーディオ索引 582
ハンズフリー索引 588

1. 安全上のご注意

⚠ 警告

- 本機はＤＣ12Ｖ⊖アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24Ｖ車で使用しないでください。火災の原因となります。
- ナビゲーションによるルート案内時も、実際の交通規制に従って走行してください。ナビゲーションによるルート案内のみに従って走行すると実際の交通規制に反する可能性があり、交通事故の原因となります。
- 安全のため、運転者は走行中に操作しないでください。走行中の操作はハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあります。車を停車させてから操作をしてください。なお、走行中に画面を注視しないでください。運転者が走行中、画面を注視することは法律で禁止されています。前方不注意となり事故の原因となります。
- 運転者は走行中に音量調整などの操作をしないでください。前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- 運転者は走行中にディスクの切り替えをしないでください。前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- 運転者は走行中に地点登録・メモリ設定などの操作をしないでください。前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- 運転者がテレビやビデオなどを見るときは必ず安全な場所に車を停車し、パーキングブレーキを使用してください。テレビやビデオは安全のため走行中は表示されません。
- ディスクおよびSDメモリーカード差し込み口に異物を入れないでください。火災や感電の原因となります。
- 本機を分解したり、改造しないでください。事故、火災、感電の原因となります。
- 機器内部に水や異物を入れないでください。発煙、発火、感電の原因となります。
- 画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。事故、火災、感電の原因となります。
- ヒューズを交換する時は、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用してください。規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。
- 万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な匂いがするなど異常が起こったら、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談してください。そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- 雷が鳴りだしたら、アンテナ線や本機に触れないでください。落雷により感電の危険性があります。
- 本機を使用するために禁止された場所に駐・停車しないでください。
- 車内に直射日光が差し込んだ場合、製品に光が反射する場合があります。十分に注意して運転頂きますようお願い致します。
- 運転中は、絶対にヘッドホン・イヤホンを使用しないでください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となります。
- 走行中に携帯電話を使用することは法律で禁止されています。安全のため、走行中の操作は絶対に行わないでください。

⚠ 注 意

- ●本機はエンジンスイッチがONまたはACCのとき使用できますが、バッテリー保護のため、エンジンをかけた状態でご使用ください。
- ●本機を車載用以外としては使用しないでください。感電やけがの原因となることがあります。
- ●運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用してください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。
- ●電源ON時は、ボリュームに注意してください。電源ON時に突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。
- ●ディスクおよびSDメモリーカード差し込み口に手や指を入れないでください。けがの原因となることがあります。
- ●ディスプレイの収納や角度調整時に、手や指を挟まないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。
- ●本機の放熱部に手を触れないでください。放熱部の熱でやけどをする場合があります。
- ●本機の取り付け場所変更時は安全のため必ずお求めの販売店へ依頼してください。取り外し、取り付けには専門技術が必要です。
- ●音声が割れる、歪むなどの異常状態で使用しないでください。火災の原因となることがあります。
- ●当該液晶ディスプレイパネルは蛍光管が組み込まれていますので、地方自治体の条例、または、規則にしたがって廃棄してください。
- ●極端な高温や低温でのご使用は誤作動や故障の原因となります。とくに夏期は車内が高温になることがありますので、窓を開けるなどして温度を下げてからご使用ください。
- ●本機の中に金属や水が入ったり、強い衝撃が加わると故障の原因となりますのでご注意ください。

⚠ 重 要

ディスク等を取り出すときや、チルト位置を設定する際に、下記に注意してください。

＜A／T車の場合＞

- ・ディスク等を取り出す際、Pレンジで干渉する場合はNレンジに切り替えてから操作してください。（コラムA／Tの場合はPまたはNレンジで操作してください。）
- ・チルト位置を設定する際、Pまたは㊢、Nレンジで手などが干渉しないように設定しご使用ください。（走行レンジで干渉する場合はチルト位置の設定はしないでください。）

＜M／T車の場合＞

- ・ディスク等を取り出す際、1・3・5・㊢ポジションで干渉する場合はニュートラルに切り替えてから操作してください。但し、走行中は操作しないでください。
- ・チルト位置を設定する際、1・3・5・㊢ポジションで手などが干渉しないように設定しご使用ください。（干渉する場合はチルト位置の設定はしないでください。）

1. 安全上のご注意

ワンポイント

- 本機は、ロヴィコーポレーションが保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護されたコピー防止技術を採用しています。リバース・エンジニアリングまたは分解は禁止されています。
- 著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画する際、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。また、この機能により、再生目的でもビデオデッキを介してモニター出力した場合には画質劣化する場合がありますが、機器の問題ではありません。著作権保護された番組を視聴する場合は本製品とモニターを直接接続してお楽しみください。
- 地図データを使用したことにより発生したお客様本人および第三者のいかなる損害にも、弊社はその責任を負いかねます。
- 地図データの誤字・脱字・位置ずれ等表記又は内容に関する誤りに対して、取り替え・代金の返却はいたしかねます。
- 地図データに含まれる機能がお客様の特定目的に適合することを、弊社は保証するものではありません。
- お客様がSDメモリーカード内に保存したデータは、いかなる記録媒体にも転送できません。
- 走行中操作できないものは走行状態になると色がトーンダウンし、操作できません。また、操作できないスイッチにタッチすると、画面に操作禁止メッセージが表示されることがあります。
- 悪路走行中などの振動の激しい場合は、ディスクのデータを読み取れなくなり正常に作動しないことがあります。振動が静まり、しばらくすると正常にもどります。
- 気温が低いときにヒーターをつけた直後では、CD及びDVD読み取り部のレンズに露（水滴）が付くこと（結露）があります。このようなときは1時間ほどそのままの状態で放置しておけば結露が取り除かれ、正常に作動するようになります。何時間たっても正常にもどらない場合は、販売店にご相談ください。
- 本機をお買いあげ後、初めてご使用になるときや長時間バッテリーをはずしておいた場合などは、現在地を正しく表示しないことがありますが、しばらくするとGPSの測位によって表示位置などが修正されます。
- 本機は精密機器であり、静電気、電気的なノイズ、振動等により記録されたデータが消失する場合があります。お買いあげ後、お客様が本機、またはSDメモリーカード内に記録されるデータにつきましては、データ消失の場合にそなえて、別にメモをとるなどして保管してください。

ワンポイント

●なお、以下のような場合、保証はいたしかねますので、予めご了承ください。

① 本機の故障、誤作動、または不具合等により、あるいは本機が電気的なノイズの影響等を受けたことにより、お客様が記録されたSDメモリーカード内のデータ等が変化・消失した場合。

② お客様、または第三者が本機の使用を誤ったことにより、SDメモリーカード内の地図データや基本プログラム、お客様がSDメモリーカードに記録されたデータ等が変化・消失した場合。

③ 本機の故障・修理に際し、お客様が記録されたSDメモリーカード内のデータ等が変化・消失した場合。

※ なお、本機を装着もしくはご使用されたときは、上記の内容を承認されたものとみなさせていただきます。

●本機は他の電装品からの電気的ノイズに対して影響を受けにくい構造になっておりますが、強力なノイズを発生する電装品があり、本機のそばで使用された場合、画面の乱れ、雑音等の誤作動をすることがあります。その場合は、原因と思われる電装品の使用をやめてください。

2. 本書の見方

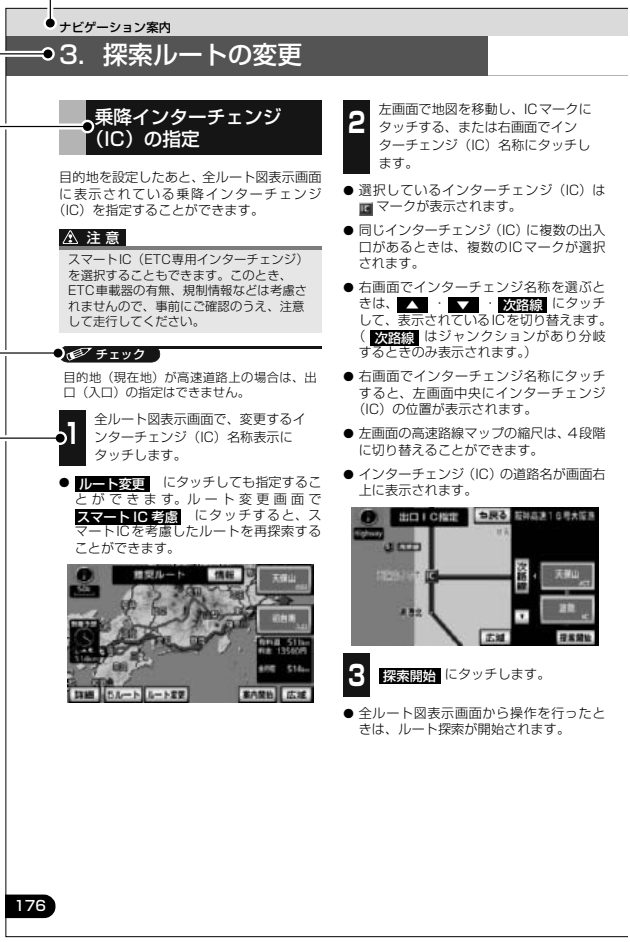
セクションタイトル
セクションタイトルを表示しています。

項目タイトル
項目ごとにNo.とタイトルがつけられています。

操作タイトル
操作目的ごとにタイトルがつけられています。

チェック
操作前におこなうことなどを記述しています。

操作手順
操作の内容です。
番号の順に操作してください。



チェック

本書では、一部を除きオプション機器が接続されているAVN-Z01の画面で説明しています。

ナビゲーションは、一部を除きノースアップ1画面・2Dのリアルワイドマップ表示の画面で説明しています。また、GPSマーク、VICS情報が表示されていない地図画面を使用しています。

4 指定したインターチェンジ（IC）に出口（または入口）が2カ所以上あるときは、**次候補** にタッチして、出口（または入口）を選びます。

● 表示されている出口（または入口）を指定するときは、**セット** にタッチします。



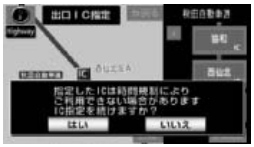
5 **セット** にタッチします。

● インターチェンジ（IC）が IC マークで指定されます。

● 全ルート図表示画面から設定したときは、ルートが探索され全ルート図表示画面になります。



6 時間規制があるインターチェンジ（IC）を選んだときにインターチェンジ（IC）指定を続けたいときは、**はい** にタッチします。



7 ルート変更画面から操作を行ったときは **探索開始** にタッチします。

● ルート探索が開始されます。

ワンポイント

●指定できるインターチェンジ（IC）は入口、出口とも各1カ所になります。

●ルート案内中からでも乗降インターチェンジ（IC）を指定することができます。詳しくは**「タッチスイッチ一覧」**（205ページ）を参照してください。

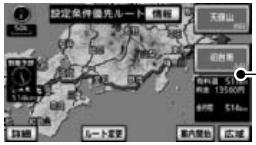
●スマートICを選択することもできます。このとき、ETC車載器の取付有無、規制情報などは考慮されません。事前に国土交通省のホームページで、ご確認の上、注意して走行してください。

ナビゲーション

インターチェンジ（IC）指定の解除

1 全ルート図表示画面で、解除するインターチェンジ（IC）名称表示にタッチします。

● **ルート変更** にタッチしても解除することができます。



次ページに続く

ワンポイント
操作に関連することなどを記述しています。

セクション見出し
セクションの見出しを表示しています。

操作画面
操作する画面を表示しています。

次ページに続く
次のページに操作説明が続くことを表示しています。

チェック

スイッチ表示について

パネルスイッチを押すときは、**現在地** や **AV** などで表示しています。
画面のタッチスイッチにタッチするときは、**○○○** でスイッチ名称を表示しています。
1つ前の画面にもどすときは、**もどる** にタッチするとタッチした画面で行った操作がキャンセルされます。（一部の機能では、キャンセルされないものがあります。）

3. 特長

本機と携帯電話で情報を通信するBTナビ機能（AVN-Z01のみ）

（282 ページ参照）

携帯電話で表示している地点情報を本機へ送信したり、本機で設定されている現在地や目的地の地点情報を携帯電話へ送信することができます。また、Yahoo! JAPANのサービスと連携した機能を使うために、本機と携帯電話との間で情報を通信することもできます。



最新の地図データに更新することができるマップオンデマンド

（321 ページ参照）

インターネットと地図SDカードを使用して、部分的に地図データを更新することができます。



盗難抑止効果が期待できるESN機能

（64 ページ参照）

ナビゲーションやオーディオ機能のロック、セキュリティインジケータの点滅により、盗難抑止の効果が期待できます。



走行した道路をひと目で確認できる走行軌跡表示

（102 ページ参照）

地図上に軌跡を表示して、走行した道路を確認することができます。

表示できる軌跡は、約1000kmです。



自由自在の3Dスクロール

（113 ページ参照）、（114 ページ参照）

3D地図表示のまま、好きな方向へ自由自在にスクロールができます。また、地図を見る位置を360°回転させたり、見下ろす角度を変えることができます。



ビルの向こう側まで透過して表示するバーチャタウンマップ

（112 ページ参照）

25mスケールのバーチャタウンマップでは必要な情報を的確に伝えるために、画面手前のビルやマンションなどを見やすく透過して表示します。透過表示により、ビルの向こう側を通るルートや一方通行などのマークもはっきりと確認することができます。



道幅や道路種類などを表現するリアルワイドマップ

（115 ページ参照）

全国の道幅データにより、細街路、1車線、2車線、3車線以上の道路を高速道路、国道、主要道、県道、その他の道路で色分け表示し、広い道は太く、狭い道は細く、実際の道路状況をナビゲーション画面にリアルに再現しています。また、学校や駅などの施設マークをイラスト的に表示します。



3. 特長

交差点までの車線を案内する交差点レーンリスト図

（190 ページ参照）

ルート案内中に分岐する交差点（ 手前約700mから）までの走行車線をリスト表示します。



分岐点までの距離や進行方向を案内するターンリスト図

（197 ページ参照）

ルート案内中に現在地から３つ先までの分岐点の距離や進行方向をリスト表示します。



必要な道路だけを表示する都市高マップ

（198 ページ参照）

ルート案内中に都市高速道路を走行中、周囲の道路表示を省略して都市高速道路の情報のみを表示します。



地図上に任意の施設マークを登録する地図カスタマイズ機能

（236 ページ参照）

地図に登録されていない施設を新たに地図上に登録し、表示することができます。



渋滞などの情報を表示するVICS機能

（210 ページ参照）

VICSセンターから提供される交通情報を受信し、その情報を文字（レベル1）・簡易図形（レベル2）・地図（レベル3）で表示します。



多様な情報を検索・表示・操作する情報機能

（266 ページ参照）

●FM多重放送表示機能

FM多重で放送される一般文字情報（見えるラジオ）を表示します。



●メンテナンス機能

ナビゲーションで使用するGPSカレンダーと距離情報をもとに、車のオイルや消耗品の交換をナビゲーションの画面と音声でお知らせします。



●カレンダー機能

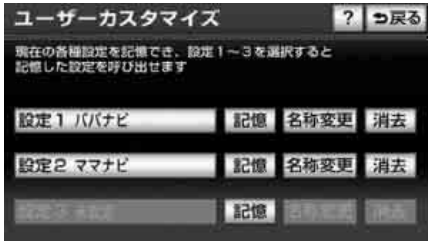
GPSのカレンダー機能で2029年までのカレンダーを表示することができます。



ユーザーごとに設定を記憶するユーザーカスタマイズ機能

（318 ページ参照）

ユーザーごとにナビゲーションの各使用設定を記憶し、簡単に呼び出すことができます。



SDメモリーカードに音楽を録音するリッピング機能

（380 ページ参照）

音楽CDを再生しながら、SDメモリーカードに録音することが可能です。録音したデータは、アーティスト名などから検索できるほか、編集機能でプライベートアルバムを作成することもできます。



3. 特長

お好みの音響空間を創り出す音質調整機能

（344 ページ参照）

車が持つさまざまな音響空間に合った音質を創り出すことができます。



アルバム数枚分を収録した音楽ディスクを再生するMP3/WMAプレーヤー

（361 ページ参照）

音楽データを約1/10サイズに圧縮できるMP3圧縮技術。本機はMP3データを収録したCD-R/RWの再生が可能です。

また、WMAデータを再生することもできます。



高画質・高音質な映像を楽しむことができる地上デジタルTV

（409 ページ参照）

地上デジタルTV放送ならではの、乱れのない高画質な映像、雑音のないCD並みの高音質な番組を楽しむことができます。

また、より広範囲なエリアで視聴できる、ワンセグ放送も受信することができます。



美しい映像と迫力あるサウンドを楽しめるDVDプレーヤー

（435 ページ参照）

高画質・高音質で記録されたDVDビデオや、地上デジタルTV放送を録画・編集したDVDビデオレコーディング（VR）の映像や静止画を再生することができます。



DVDメニューを直接操作できるダイレクトタッチ機能

（443 ページ参照）

DVDのディスクメニューに直接タッチして操作することができます。



お車でスライドショーを楽しむことができるデジタルフォトフレーム

（484 ページ参照）

USBメモリやSDメモリーカードに記録された写真データをスライドショーで再生することができます。



システムアップ

システムアップ製品やアクセサリーの取り付けについては、販売店にご相談ください。

- **2 メディア /3 レベル対応 VICS ユニット**（295 ページ参照）
  別売の2 メディア/3 レベル対応VICS ユニットを接続すると、光・電波ビーコンを受信し、渋滞情報を考慮したルート探索やリアルタイムな割り込み情報を表示できます。
- **ETCシステム**（300 ページ参照）
  ETC(Electronic Toll Collection) システムは、有料道路の通過をスムーズに行うために、自動で料金を精算するシステムです。
- **バックアイカメラ**（306 ページ参照）
  バックギアにシフトすると本機のモニター画面に自動で後方のカメラ映像を映すことができます。
  また、車幅や距離感覚を補うガイド線表示に対応しています。俯瞰機能付きバックアイカメラを接続している場合は、俯瞰（ふかん）映像に切り替えることができます。
- **フロントアイカメラ**（312 ページ参照）
  見通しの悪い交差点やT字路などで、本機のモニター画面に車両の左右のカメラ映像を映すことができます。
- **iPod接続コード**（457 ページ参照）
  別売のiPod接続コードを接続すると、本機でiPodの操作をすることができます。
- **拡張配線コード**（455 ページ参照）、（478 ページ参照）
  別売の接続コードを接続すると、本機でポータブルオーディオやビデオカメラを再生することができます。

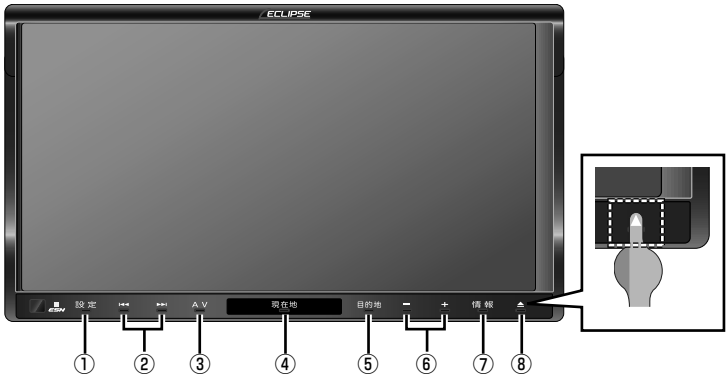
4. 本機について

各部の名称と操作

本機はパネルに配置しているスイッチ（パネルスイッチ）を押したり、画面に表示されるスイッチ（タッチスイッチ）を直接タッチして操作します。

■パネルスイッチ

それぞれのパネルスイッチを押して操作します。



①	設定	いろいろな設定をするときや、画質の調整をしたり画面を消すときに押します。
②	⏮、⏭	TV・ラジオの選局、音楽用CDの選曲、DVDのチャプター選択などを行うときに押します。
③	A V	オーディオの操作画面を表示するときや、オーディオの電源を入れるとき、切るときに押します。
④	現在地	ナビゲーション画面/現在地を表示するときに押します。 別売のフロントカメラ装着時は、音が鳴るまで押すと、フロントカメラ映像が表示されます。
⑤	目的地	ナビゲーションで目的地を設定するときに押します。
⑥	−、＋	オーディオやハンズフリー機能を使用しているときの受話音や着信音の音量を調整するときに押します。
⑦	情報	各情報機能やハンズフリー機能を使用するときに押します。 音楽の録音開始や停止をするときにも押します。
⑧	⏏	ディスプレイを開くときや、画面の角度調整をするときに押します。

ワンポイント

パネルスイッチは、上記イラストの様に、赤い突起部のみを押さずにスイッチ全体（文字）を押してください。

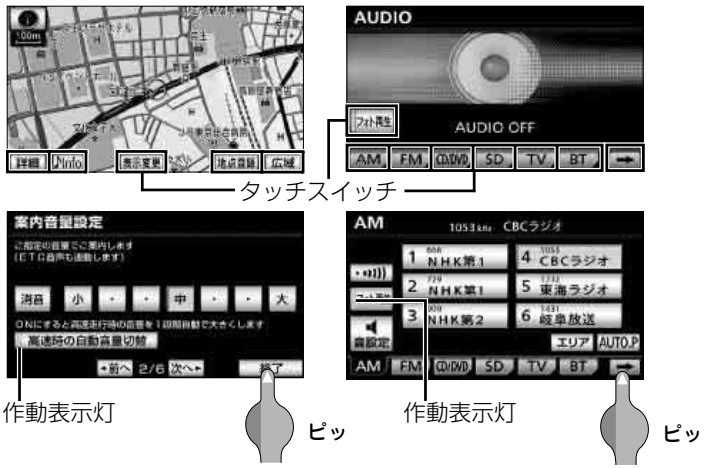
■タッチスイッチ

画面のスイッチにタッチして操作します。

⚠ 重要

タッチスイッチは指でタッチしてください。

ボールペン、シャープペンシルの先など先端の硬い物や先端の鋭利な物で操作すると、故障の原因になることがあります。



4. 本機について

タッチスイッチの操作について

- タッチスイッチは“ピッ”という応答音が鳴るまでタッチしてください。
- 画面保護のため、タッチスイッチは指で軽くタッチしてください。
- スイッチの反応がないときは、一度画面から手を離してから再度タッチしてください。
- 操作できないタッチスイッチは、色がトーンダウンします。
- スイッチの機能が働いているときは、タッチスイッチの色が明るくなるものや、作動表示灯が点灯するものがあります。

■ タッチスイッチを表示しない

〈ナビゲーション画面〉



タッチスイッチの表示が消えます。

On にタッチするとタッチスイッチが表示されます。

詳しくは、**「タッチスイッチの表示切り替え」**（96ページ）を参照してください。

ワンポイント

液晶画面に保護フィルム（保護フィルター）等を貼り付けないでください。タッチスイッチが正常に操作できなくなります。

電源の入れ方・切り方

本機は、車のエンジンをかけると自動的に電源が入り、ナビゲーションの画面、またはオーディオの画面※を表示します。エンジンを切ると電源も切れます。

※ 前回、オーディオソースの画面（映像を伴うオーディオソース画面も含む）をご覧になっている途中でエンジンを切った場合はそのオーディオソースの画面を表示します。

■ 本機の電源を入れる



ワンポイント

初めて本機を起動したときは、カンタン初期設定画面が表示されます。（51 ページ参照）

■ オーディオの電源を切る



1秒以上押します。



再度、1秒以上押すと、
電源を切る前のオーディオ
が作動します。

ワンポイント

- ナビゲーションの画面が表示されないときは、現在地 を押してください。
- オーディオの電源が入らないときは、AUDIO　OFF画面で切り替えたいソースにタッチしてください。詳しくは、**「ソースの切り替え方」**（340ページ）を参照してください。
- ナビゲーションの電源は切ることができません。

4. 本機について

SDメモリーカードの出し入れ

本機では、地図SDカード（同梱）と、音楽用SDメモリーカード、デジタルフォトフレーム用SDメモリーカードを使用することができます。

注意

- ディスプレイの開閉時にオートマチックチェンジレバー（“P”位置）もしくはシフトレバー（1・3・5・Ⓡ位置）やカップホルダー上の缶などに干渉する場合は、チェンジレバーもしくはシフトレバーを“N”または“ニュートラル”位置にするか缶などを取り除いて開閉を行ってください。
- ディスプレイ部を開けたとき、ディスプレイ上にコップや缶などの物を置かないでください。ディスプレイが損傷するおそれがあります。
- ディスプレイ部にジュースなどをこぼしたときは、すぐにふき取ってください。そのまま放置しておくと故障するおそれがあります。
- 熱やホコリからディスプレイを保護するため、出し入れするとき以外は、ディスプレイ部を閉じておいてください。

ワンポイント

⏏ を“ピッ”と音がするまで押し続けても、ディスプレイ部を開くことができます。

■SDメモリーカードの入れ方

注意

- SD メモリーカードは ▶ マークを奥にして、“カチッ”と音がするまで差し込んでください。奥のストッパーに突き当たると、それ以上は差し込めませんので、無理に力を加えないでください。
- miniSDHC カード、microSDHCカードを差し込むときは、必ず、専用のアダプターを取り付けてから差し込んでください。（miniSDHC カード、microSDHC カードのみを差し込むと取り出せないことがあります。）
- SDメモリーカードの差し込み途中に、CLOSE にタッチ、または ⏏ を押さないでください。

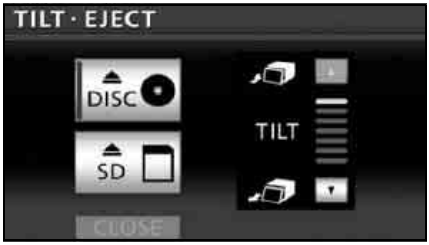
チェック

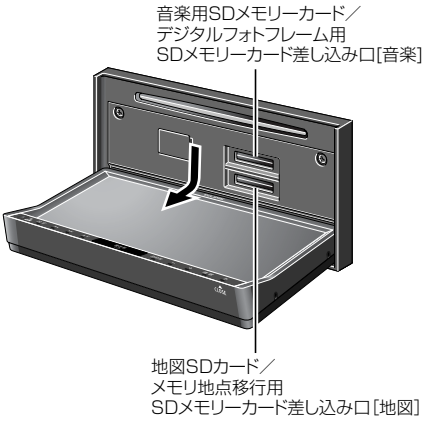
- 音楽用SD メモリーカードを再生するには、本機で音楽を録音する必要があります。（380 ページ参照）
- 音楽用SDメモリーカード、デジタルフォトフレーム用SDメモリーカードと地図SDカードでは、差し込み口が異なります。
- 地図SDカードは、ロックせずに差し込んでください。

1 ⏏ を押します。

2 ⏏SD にタッチします。

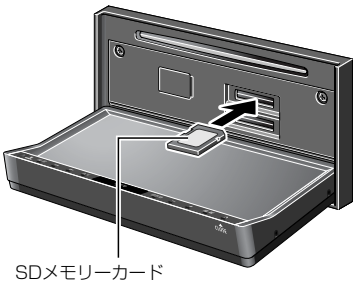
- ディスプレイ部が開き各差し込み口があらわれます。





3 SDメモリーカードを差し込みます。

- SD　メモリーカードを奥まで差し込んだことを確認します。
- SD　メモリーカードを差し込んだ場合、CLOSE にタッチすると、ディスプレイ部が閉じます。 を押してもディスプレイ部は閉じます。



ワンポイント

●音楽CDと音楽用SDメモリーカードを差し込んだ場合、音楽をSDメモリーカードに録音することができます。（380 ページ参照）

バッテリーとの接続が断たれたとき

地図SDカードを取り出した状態で、エンジンスイッチをACC、またはON にすると、「スイッチをピッと鳴るまで押して、ディスプレイを開き地図SD カードを入れて下さい」のメッセージが表示されます。その場合、次の手順で地図SDカードを差し込みます。

チェック

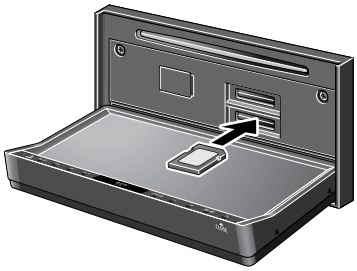
地図SDカードは、ロックせずに差し込んでください。

1 を“ピッ”と音がするまで押します。

- ディスプレイ部が開きます。

2 地図SDカードを差し込みます。

- プログラムの読み込みを開始します。完了するとオープニング画面を表示し、その後TILT・EJECT 画面が表示されます。

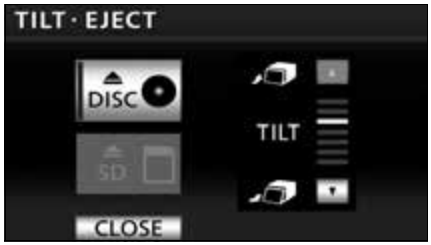


次ページに続く

4. 本機について

3 CLOSE にタッチします。

- ディスプレイ部が閉じます。
- ⏏ を押してもディスプレイ部は閉じます。



ワンポイント

■音楽用SDメモリーカードについて

- 4GB～32GB までの容量のSDメモリーカードに対応しています。
- 下記のマークの付いた SD メモリーカードが使用できます。



- SD Logo is a trademark of SD-3C, LLC.
  miniSD Logo is a trademark of SD-3C, LLC.
  microSD Logo is a trademark of SD-3C, LLC.
- 録音する音楽用SD メモリーカードは、Panasonic ／東芝／ Sandisk 製の class4～10のSD メモリーカードのご使用を推奨します。ご使用になるSDメモリーカードによっては、再生時の音飛びなどが発生する場合があり、その場合、弊社は保証することができません。
- FAT ファイルシステムのみ対応しています。NTFS ファイルシステムには対応していません。
- マルチメディアカード（MMC）は使用できません。
- “miniSDHC カード”や“microSDHC カード”を使用する場合は、専用のアダプターをご使用ください。
- 他の機器で使用した SD メモリーカード、miniSDカード、microSDカードを使用する場合は、次のソフトでフォーマット（初期化）してください。
  フォーマット（初期化）すると、SDメモリーカード、miniSD　　カード、microSDカード内に記録されたデータは消去されます。
  次のソフトでフォーマットしていないSDメモリーカード、miniSDカード、microSDカードで、SD規格に準拠していない場合、本機で使用できないことがあります。
  - Panasonic SD-Jukebox V5 以降
  - Panasonic　SD　メモリーカードフォーマットソフトウェアV2.0

■デジタルフォトフレーム、メモリ地点の移行、オープニング画像の登録用SDメモリーカードについて

- 次の容量の SD メモリーカードに対応しています。
  - SD:2GBまで
  - SDHC：4GB～32GB
- 下記のマークの付いた SD メモリーカードが使用できます。



- SD Logo is a trademark of SD-3C, LLC.
  miniSD Logo is a trademark of SD-3C, LLC.
  microSD Logo is a trademark of SD-3C, LLC.
- デジタルフォトフレームに使用する　SD メモリーカードはPanasonic ／東芝／ Sandisk 製の SD メモリーカード（全class対応）のご使用を推奨します。
- メモリ地点移行、オープニング画像に使用するSDメモリーカードはPanasonic製のclass2～6のSDメモリーカードのご使用を推奨します。
- FAT ファイルシステムのみ対応しています。NTFS ファイルシステムには対応していません。
- SD スピードクラスによっては、画像の表示時間が異なります。

- マルチメディアカード（MMC）は使用できません。
- “miniSDHC カード”や“microSDHC カード”を使用する場合は、専用のアダプターをご使用ください。
- 他の機器で使用した SD メモリーカード、miniSDカード、microSDカードを使用する場合は、次のソフトでフォーマット（初期化）してください。
  フォーマット（初期化）すると、SDメモリーカード、miniSD　　カード、microSDカード内に記録されたデータは消去されます。
  次のソフトでフォーマットしていないSDメモリーカード、miniSDカード、microSDカードで、SD規格に準拠していない場合、本機で使用できないことがあります。
  - Panasonic SD-Jukebox V5 以降
  - Panasonic　SD　メモリーカードフォーマットソフトウェアV2.0

■SDメモリーカードの出し方

⚠ 注 意

- ディスプレイの開閉時にオートマチックチェンジレバー（“P”位置）もしくはシフトレバー（1・3・5・Ⓡ位置）やカップホルダー上の缶などに干渉する場合は、チェンジレバーもしくはシフトレバーを“N”または“ニュートラル”位置にするか缶などを取り除いて開閉を行ってください。
- SDメモリーカードを取り出す際、下記に注意してください。

  ＜A／T車＞

  SDメモリーカードを取り出す際、Pレンジで干渉する場合は、Nレンジに切り替えてから操作してください。（コラムA／TのA／T車はPまたはNレンジで操作してください。）

  ＜M／T車＞

  SDメモリーカードを取り出す際、1・3・5・Ⓡポジションで干渉する場合は、ニュートラルに切り替えてから操作してください。
- ディスプレイ部を手で閉じないでください。ディスプレイが損傷するおそれがあります。
- ディスプレイ部を開けたとき、ディスプレイ上にコップや缶などの物を置かないでください。ディスプレイが損傷するおそれがあります。
- ディスプレイ部にジュースなどをこぼしたときは、すぐにふき取ってください。そのまま放置しておくと故障するおそれがあります。
- SDメモリーカードを取り出すとき、SDメモリーカードが押し出された状態のままディスプレイ部を閉じないでください。SDメモリーカードを傷つけるおそれがあります。
- 熱やホコリからディスプレイを保護するため、SDメモリーカードを出し入れするとき以外は、ディスプレイ部を閉じておいてください。
- SD メモリーカード再生中や録音中は、絶対に取り出さないでください。データが破損する恐れがあります。破損した場合、補償できませんのでご容赦ください。
- 本機からディスクまたはSD メモリーカードを取り出すときは水平方向に引き出してください。上側に強く引き出さないでください。また、下側にも強く押しながら引き出さないでください。ディスクに傷がつき、音とびをしたり、SDメモリーカードを破損するおそれがあります。

1 ⏏ を押します。

2 ⏏SD にタッチします。

- SDメモリーカードはカードを軽く押して取り出します。



次ページに続く

4. 本機について

3 取り出し後、CLOSE にタッチします。

● ⏏ を押してもディスプレイ部は閉じます。

ワンポイント

ディスプレイ部を開けたままエンジンスイッチをOFF（LOCK）にすると、操作音を5 回鳴らしてお知らせします。⏏ を押すとディスプレイ部を閉じることができます。

ディスクの出し入れ

音楽をお聞きになるときは、音楽 CD を、DVDを再生するときはDVDを差し込み口に入れてください。

注 意

- ディスプレイの開閉時にオートマチックチェンジレバー（“P”位置）もしくはシフトレバー（1・3・5・Ⓡ位置）やカップホルダー上の缶などに干渉する場合は、チェンジレバーもしくはシフトレバーを“N”または“ニュートラル”位置にするか缶などを取り除いて開閉を行ってください。
- ディスプレイ部を開けたとき、ディスプレイ上にコップや缶などの物を置かないでください。ディスプレイが損傷するおそれがあります。
- ディスプレイ部にジュースなどをこぼしたときは、すぐにふき取ってください。そのまま放置しておくと故障するおそれがあります。
- 熱やホコリからディスプレイを保護するため、出し入れするとき以外は、ディスプレイ部を閉じておいてください。
- ディスク差し込み口に手や指を入れないでください。けがの原因となることがあります。

ワンポイント

● ⏏ を“ピッ”と音がするまで押し続けても、ディスプレイ部を開くことができます。

- インクジェットプリンタでのレーベル印刷に対応しているディスクは、正常に出し入れできない場合があります。

■各ディスク（CD・DVD）の入れ方

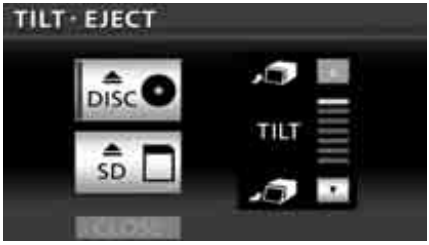
重 要

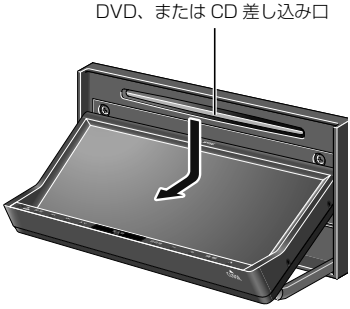
- 地図ディスク（DVD-ROM）は使用できませんので差し込まないでください。
- 本機は8cm CDおよび8cm DVDを再生することができます。故障の原因となるため、アダプタ等は使用せず、そのまま差し込んでください。
- ディスクの差し込み途中に、CLOSE にタッチ、または ⏏ を押さないでください。

1 ⏏ を押します。

2 ⏏DISC にタッチします。

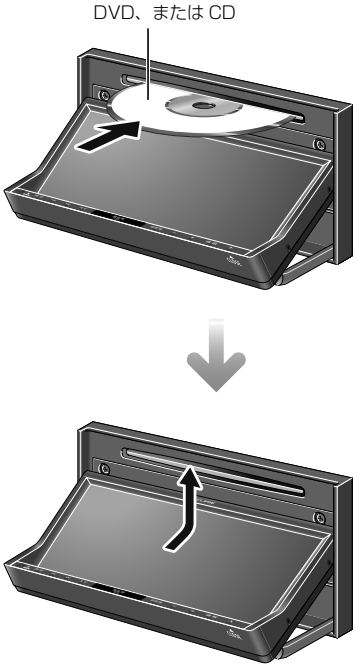
● ディスプレイが開き、差し込み口があらわれます。





3 差し込み口に希望のディスクを差し込みます。

- ディスク差し込み後、ディスプレイが自動で閉じます。
- DVDおよびCDは、中心の穴と端をはさんで持ち、ラベル面を上にして差し込んでください。
- DVDを差し込んだ場合、DVDの再生が始まります。
- CD を差し込んだ場合、音楽 CD、またはMP3/WMAの再生が始まります。



ワンポイント

■CDについて

- 下記のマークの付いた音楽用CDやCD-R（CD-Recordable）、CD-RW（CD-ReWritable）が使用できます。



- 記録部分に透明または半透明部分があるCD、C-thru Discは、正常に出し入れや再生ができなくなるおそれがありますので使用しないでください。
- CCCD（Copy Control CD）は正式なCD規格に準拠していないため再生できない場合があります。



- CD-R （CD-Recordable ）、CD-RW（CD-ReWritable ）は、記録状態やディスクの特性、キズ、汚れ、長時間の車室内環境における劣化により再生できない場合があります。また、ファイナライズ処理されていないCD-R 、CD-RW は再生できません。
- 8cmCD を差し込むときはアダプターを使用しないでください。CDを取り出せなくなるおそれがあります。
- CDを扱うときは、中心の穴と端をはさんで持ち、ラベル面を上にしてください。

■DVDについて

- 下記のマークの付いたDVDビデオディスクが再生できます。また、DVDビデオフォーマットに準じて記録されたDVD±R/RW/R DLディスクや、DVDビデオレコーディング（VR）フォーマットに準じて記録された CPRM 対応の DVD-R/RW/R DLディスクも再生することができます。



- "DVD Logo" is a trademark of DVD Format / Logo Licensing Corporation.

次ページに続く

4. 本機について

- Dual Disc（DVD層と非DVD層を一枚に貼り合わせた両面ディスク）は、上記のマークの付いている面のみ再生できます。（ディスクの出し入れ時にディスクが損傷するおそれがあります。）
- DVDビデオディスクによっては一部の機能が使用できない場合があります。
- DVD±R/RW/R DL（DVD±Recordable/ReWritable/Recordable Dual Layer）は、記録状態やディスクの特性、キズ、汚れ、長時間の車室内環境における劣化により再生できないことがあります。また、ファイナライズ処理されていないDVD ± R/RW/R DL は再生することができません。パソコンで記録したディスクは、アプリケーションの設定や環境により再生できないことがあります。
- Dolby Digitalに対応しており、下記のマークのついたディスクが使用できます。

DOLBY DIGITAL

Manufactured under license from Dolby Laboratories.
Dolby and the double-D symbol are trademarks of Dolby Laboratories.

- DVDビデオディスクを扱うときは、中心の穴と端をはさんで持ち、ラベル面を上にしてください。

■各ディスク（CD・DVD）の出し方

⚠ 重要

- ディスクを取り出す際、下記に注意してください。

  ＜A／T車＞

  ディスクを取り出す際、Pレンジで干渉する場合は、Nレンジに切り替えてから操作してください。（コラムA／Tの場合はPまたはNレンジで操作してください。）

  ＜M／T車＞

  ディスクを取り出す際、1・3・5・Ⓡポジションで干渉する場合は、ニュートラルに切り替えてから操作してください。
- 各ディスクを取り出すとき、押し出された状態のままディスプレイを閉じないでください。本機およびディスクにキズがつくおそれがあります。
- ディスプレイを手で閉じないでください。ディスプレイが損傷するおそれがあります。
- ディスプレイを開けたとき、ディスプレイ上にコップや缶などの物を置かないでください。ディスプレイが損傷するおそれがあります。
- ディスプレイにジュースなどをこぼしたときは、すぐにふき取ってください。そのまま放置しておくと故障するおそれがあります。
- 熱やホコリからディスプレイを保護するため、各ディスクを出し入れするとき以外は、ディスプレイを閉じておいてください。

1 ⏏ を押します。

2 ▲DISC にタッチします。
（自動でディスクが押し出されます。）



3 取り出し後、CLOSE にタッチします。

● ▲ を押してもディスプレイは閉じます。

USBメモリの接続（取りはずし）

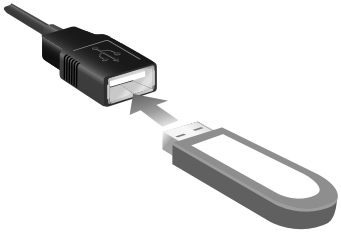
⚠ 重要

- ●必ず本機に同梱されている「USB接続コード」をご使用ください。
- ●本機でUSBメモリを使用しているときにUSBメモリ内のデータが消失しても、消失したデータの補償はできませんのでご容赦ください。
- ●USBメモリを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障する恐れがあります。その場合、弊社は補償することができません。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。また、車を離れるときは、車内に放置しないでください。
- ●オーディオソースがUSBのとき、USBメモリを取りはずさないでください。USBメモリ内のデータが破損するおそれがあります。

チェック

- ●接続したUSB　メモリが本機で正しく認識できないことがあります。USBメモリを取り外し再度接続してください。
- ●使用するUSB　メモリによって本機で正しく認識できない場合があります。別のUSBメモリで再度接続してください。

1 USBメモリを接続します。（取りはずします。）



ワンポイント

- ●本機で使用できる　USB　メモリは以下のフォーマットです。
  - ・対応クラス：マスストレージクラス（SCSI対応）
  - ・対応USB Ver.: USB1.1、USB2.0
  - ・最大消費電流：1A未満
  - ・ファイルフォーマット：　FAT　16/32 (Windows®)
- ●上記以外のUSBメモリは、正常な動作が行えないため接続しないでください。また、上記を満たしているUSBメモリでも、正常に動作しないことがあります。
- ●USB接続コードに、iPodやiPhoneを接続しても認識させることはできません。
- ●本機は市販のUSBハブやマルチカードリーダ、外付けのハードディスク、USB端子付ポータブルオーディオプレーヤーには対応していません。
- ●USB メモリ以外（USB 扇風機や USB クリーナーなど）は接続しないでください。接続して使用すると、ノイズなどが発生する場合があります。
- ●本機は市販のUSB 充電コード（携帯電話充電コード）を使用することができますが、コードの種類によっては正しく認識できない場合があります。
- ●本機のUSBメモリ接続コードから延長コードを介してUSB機器を接続しても、正常に動作しないことがあります。

4. 本機について

ディスプレイの角度調整

車外からの光などで画面が見にくいときは画面の角度を調整できます。

⚠ 注 意

ディスプレイの角度調整をするときは手などをはさまないよう注意してください。けがの原因や、ディスプレイの故障の原因になります。

⚠ 重 要

- ディスプレイがTILT状態のときに上部のすき間からディスクを差し込まないでください。本機およびディスクにキズがつくおそれがあります。
- ディスプレイの角度調整をする際、下記に注意してください。

  ＜A／T車＞

  チルト位置を設定する際、PまたはⓇ、Nレンジで手などが干渉しないように設定しご使用ください。（走行レンジで干渉する場合はチルト位置の設定はしないでください。）

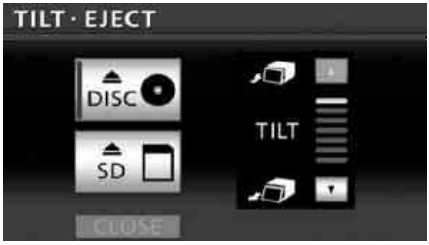
  ＜M／T車＞

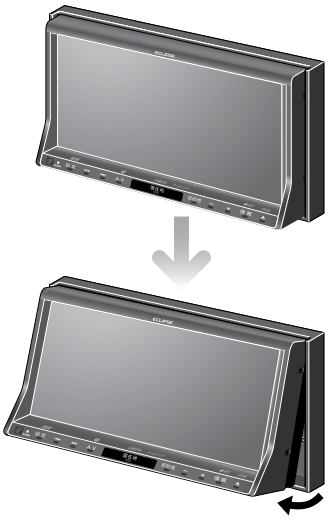
  チルト位置を設定する際、1・3・5・Ⓡポジションで手などが干渉しないように設定しご使用ください。（干渉する場合はチルト位置の設定をしないでください。）

1 ⏏ を押します。

2 TILTの ▲ 、または ▼ にタッチします。

- ▲ ：
  タッチするごとにディスプレイが傾いた状態から1段階（5∀ ずつもどります。（最大6段階30∀）
- ▼ ：
  タッチするごとにディスプレイが斜め下方に1段階（5∀ ずつ傾きます。（最大6段階30∀）





3 調整後、 ⏏ を押します。

ワンポイント

- ディスプレイを傾けた状態でも、ディスプレイを開くことができます。ディスプレイを閉じると、元の傾いた状態にもどります。
- ディスプレイを傾けた状態でエンジンスイッチをOFF（LOCK）にすると、自動的に傾いていない状態になります。次にエンジンスイッチをACCまたはONにしたときは、元の傾いた状態にもどります。

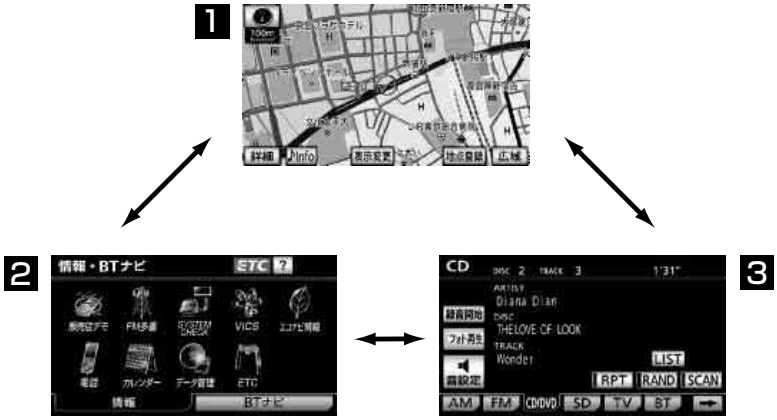
液晶パネルについて

- 液晶パネルは斜め方向から見ると画面が白っぽく見えたり、黒っぽく見えたりすることがあります。
- 太陽の光などの外光が表示部にあたると画面が見えにくくなります。

4. 本機について

本機のモードについて

本機には大きく分けて**「ナビゲーション」**・**「情報」**・**「オーディオ」**の3つのモードがあります。
どのモードからでも、希望のモードに切り替えることができます。



	モード	主な機能
1	ナビゲーション	● 現在地の表示 ● 目的地の案内 ● 地点（自宅・メモリ地点）の登録
2	情報	● FM多重放送の受信 ● VICS情報の表示 ● エコナビ情報 ● ハンズフリー機能の操作※ ● BTナビの操作※ など
3	オーディオ	● AM・FM放送の受信 ● CDの操作 ● MP3／WMAの操作 ● DVDの操作 ● SDメモリーカードの操作 ● USBメモリの操作 ● Bluetoothオーディオの操作※ ● AUXの操作 ● VTRの操作 ● iPodの操作 ● 地上デジタルTV放送の受信 ● デジタルフォトフレームの操作

※ AVN-Z01のみ

本機の作動条件について

本機の機能は、次の条件（エンジンスイッチの位置）により、操作できる場合とできない場合があります。

❍：操作できます　Δ：操作できません

各機能	エンジンスイッチ				
	OFF（LOCK）	ACC	ON停車中※2	ON走行中	ディスプレイがオープン状態
ナビゲーション／情報	Δ	❍	❍	走行中は安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります	Δ
オーディオ※1（映像を伴わないオーディオソース）	Δ	❍	❍	走行中は安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります	Δ
オーディオ※1（映像を伴うオーディオソース）	Δ	❍	❍	走行中は安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります※3	Δ
FM多重放送（FM多重文字情報）	Δ	❍	❍	一部の番組を除き、ご使用になれません	Δ
ハンズフリー（AVN-Z01のみ）	Δ	❍	❍	走行中は安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります	Δ
ディスクおよびSDメモリーカードの出し入れ／ディスプレイの角度調整	エンジンOFF後はディスプレイを閉じることができます	❍	❍	❍	ディスプレイの角度調整はできません

※1 映像を伴わないオーディオソース：FM、AM、CD、MP3/WMA、AUX、iPod、USBメモリ、Bluetooth オーディオ（AVN-Z01のみ）、SDメモリーカード
　映像を伴うオーディオソース：DVD、TV、VTR

※2 パーキングブレーキがかかっている状態。

※3 映像は表示されません。

ワンポイント

操作できないスイッチは、色がトーンダウンし、操作できません。また、走行中に操作できないスイッチを操作すると、画面に操作禁止メッセージが表示されることがあります。

4. 本機について

各モードの呼び出し

次のスイッチを押すと各画面に切り替わります。

■ナビゲーション画面

現在地 を押します。



■情報画面

情報 を押します。



■オーディオ操作画面

A/V を押します。

(CDプレーヤー作動時) ※1



(OFF画面) ※2



※1 オーディオの機能が作動しているときに表示されます。

※2 オーディオの機能が OFF のときに表示されます。

■オンスクリーン表示について

ナビゲーション画面表示中や画面が消えているときにオーディオを操作（トラック選曲や周波数選局など）すると、オンスクリーンが表示されます。

オンスクリーン表示はしばらくすると自動で解除されます。



5. カンタン初期設定

初めて本機を起動したときやバッテリーをはずしたときは、カンタン初期設定画面が表示されます。最初に設定しておくと便利な、自宅や案内音量、車両情報などを設定することができます。設定状況は、画面で確認することができます。

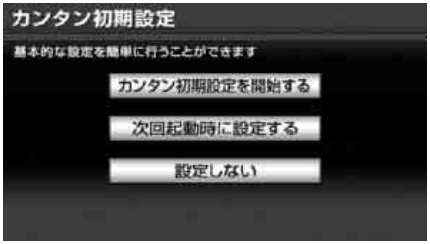
カンタン初期設定の開始

チェック

地図SDカードを差し込む必要があります。（38 ページ参照）

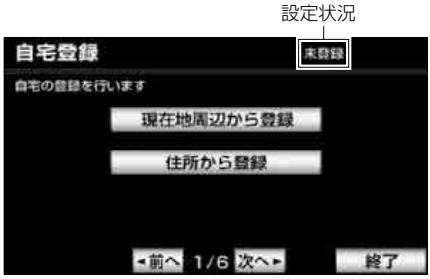
1 **カンタン初期設定を開始する** にタッチします。

- **次回起動時に設定する** にタッチすると、カンタン初期設定を終了します。次に本機を起動したとき、カンタン初期設定画面が再度表示されます。
- **設定しない** にタッチすると、カンタン初期設定を終了します。次に本機を起動しても、カンタン初期設定画面は表示されません。



2 自宅の地図を呼び出します。

- **現在地周辺から登録** にタッチすると、現在地周辺の地図が表示されます。
- **住所から登録** にタッチすると、住所から地図を呼び出すことができます。（137 ページ参照）
- 項目によって、設定状況を表示します。



3 **セット** にタッチします。



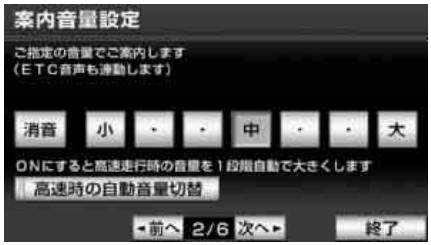
4 **次へ▶** にタッチします。

次ページに続く

5. カンタン初期設定

5 案内音量を設定します。

● 設定については、**「音量の設定」**（90ページ）を参照してください。



6 次へ▶ にタッチします。

7 車両情報を設定します。

● 設定については、**「車両情報を設定する」**（193ページ）、**「ラジオアンテナの設定」**（63ページ）を参照してください。



8 次へ▶ にタッチします。

9 ECO設定をします。

● 設定については、**「燃費を設定する」**（274ページ）を参照してください。



● AVN-V01ご購入のお客様は **9** 終了後、**完了**、**はい** の順にタッチして、カンタン初期設定を終了します。AVN-Z01ご購入のお客様は **10** へ進みます。

10 次へ▶ にタッチします。

11 Bluetooth電話設定をします（AVN-Z01のみ）。

● 設定については、**「携帯電話を登録する」**（504ページ）を参照してください。



12 次へ▶ にタッチします。

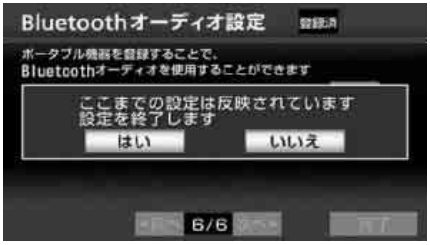
13 Bluetoothオーディオ設定をします（AVN-Z01のみ）。

● 設定については、**「*Bluetooth*®対応機器を登録する」**（468ページ）を参照してください。



14 **完了** にタッチします。

15 **はい** にタッチします。



ワンポイント

●設定の途中で **終了** にタッチし、**はい** にタッチすると、カンタン初期設定を終了することができます。次に本機を起動したとき、カンタン初期設定画面は表示されません。設定の続きは、設定・編集画面（ナビ）の **ナビ詳細設定** から行ってください。（79 ページ参照）

●設定の途中でパネルスイッチにタッチして他の画面に切り替えた場合、そこまでの設定が反映されます。次に本機を起動したとき、カンタン初期設定画面が再度表示されます。

●**◀前へ** にタッチすると、前の画面に戻ることができます。

●カンタン初期設定は、設定・編集画面（ナビ）の **ナビ詳細設定** からも行うことができます。（79 ページ参照）

6. E-iSERVについて

携帯電話を使って　E-iSERV（ECLIPSE information SERVICE)にアクセスすると、ケータイリンク機能のアプリケーションソフトをダウンロードすることができます。ダウンロードした機能は、赤外線通信を使って本機に読み込むことができます。

ダウンロードされるケータイリンク機能は以下です。

● **モクテキチネット**

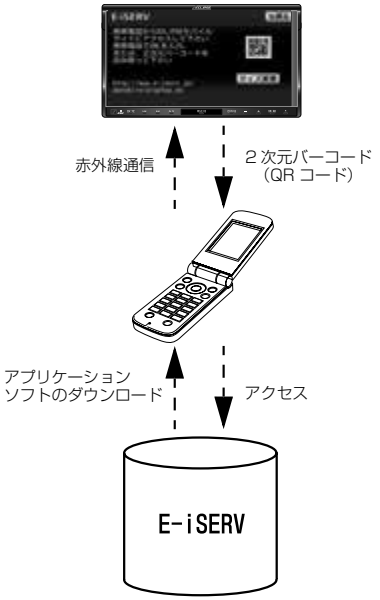
モクテキチネットとは、パソコンや携帯電話から専用サイトへアクセスし、検索した目的地のマップコードを専用のアプリケーションソフトで送信することができる機能です。詳しくは、**「赤外線通信で送信する」**(55ページ)を参照してください。

● **Pic-CLIP**

本機は対応していません。

● **助手席リモコン**

専用のアプリケーションソフトを用いることにより、携帯電話を使ってリモコン操作ができます。



ケータイリンクのアプリをダウンロードする

E-iSERVにアクセスして、アプリケーションソフトをダウンロードします。

ダウンロードしたあとは、ケータイリンク機能の、モクテキチネットと助手席リモコンのサービスを利用できます。

⚠ 警告

運転者が走行中に携帯電話を使用することは法律で禁止されています。安全のため、走行中の操作は絶対に行わないでください。

チェック

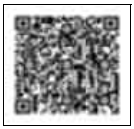
- 2次元バーコード（QRコード）の読み取りに対応している携帯電話でご利用いただけます。
- 携帯電話の動作確認機種は、弊社ホームページおよびE-iSERVを参照してください。
- ケータイリンク、ケータイ版E-iSERVは、スマートフォン対象外です。

1 設定・編集画面（ナビ）（77 ページ参照）で、**E-iSERV** にタッチします。

2 携帯電話でバーコードを読み込む、またはURLを入力してE-iSERVにアクセスします。



- URL：
  http://www.e-iserv.jp/dpmobile/dispTop.do
  2次元バーコード：



ワンポイント

- 携帯電話の操作については携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- 2次元バーコードの読み取りは、携帯電話各社で完全に保証されておりません。また、読み取り環境や条件によって読み取りが困難になることがあります。
- 2次元バーコードが読み取れないときは、2次元バーコードのサイズを変更する、または携帯電話および本機の画面の明るさを変えることで読み取ることができる場合があります。
- 携帯電話の通信料金はお客様のご負担になります。
- QR　コードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- ケータイリンクは富士通テン株式会社の登録商標です。

ケータイリンク®

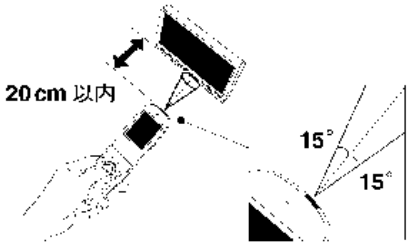
赤外線通信で送信する

E-iSERVからダウンロードした情報は、携帯電話の赤外線通信を使用して、本機に読み込むことができます。



■ モクテキチネット（赤外線ケータイリンク）を使う場合

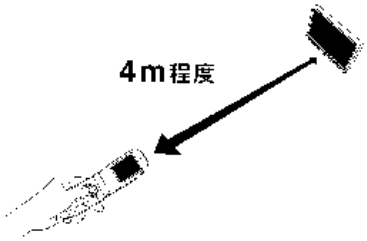
通信の規格上、双方向の通信が必要なため、近づけて操作する必要があります。操作するときは携帯電話と本機の受光部をまっすぐ近づけて送信し、通信終了までそのままお待ちください。



6. E-iSERVについて

■助手席リモコンを使う場合

携帯電話の赤外線送信部から送信のみの通信となるため、後部座席などの離れた場所からも操作することができます。



7. 本機の設定

本機は、BEEP音（操作音）の設定やオーディオ操作画面の継続表示の設定、アクセントカラーの切り替え、セキュリティ機能の設定、個人情報の初期化など、下記の設定を行うことができます。

- BEEP音（操作音）の設定（57 ページ参照）
- ナビゲーション音声の出力位置切り替え（57 ページ参照）
- 操作画面継続表示の設定（58　ページ参照）
- アクセントカラーの切り替え（58 ページ参照）
- オープニング画面の切り替え（59 ページ参照）
- 画面の調整・設定（61 ページ参照）
- ラジオアンテナの設定（63 ページ参照）
- ESN（ECLIPSE Security Network）の設定（64 ページ参照）
- 個人情報の初期化（70 ページ参照）

操作音の設定

パネルスイッチを押したときや、タッチスイッチにタッチしたときの“ピッ”という操作音を設定することができます。

1 設定・編集画面（77 ページ参照）で、**共通設定** にタッチします。

2 BEEP音通知の **1** 、**2** 、**3** 、**4** 、**OFF**（消音）のいずれかにタッチします。



3 **完了** にタッチします。

ナビゲーション音声の出力位置切り替え

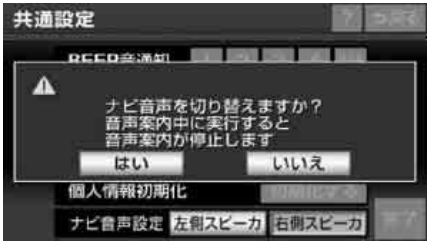
ルート案内中の音声案内など、ナビ音声を出力するスピーカの位置を前席左側、または前席右側に切り替えることができます。

1 設定・編集画面（77 ページ参照）で、**共通設定** にタッチします。

2 ナビ音声設定の **左側スピーカ** 、または **右側スピーカ** にタッチします。



3 **はい** にタッチします。



4 **完了** にタッチします。

7. 本機の設定

ワンポイント

ルート案内中にナビゲーション音声の出力位置を切り替えると、現在のルート案内が終了するまで音声案内などが聞こえなくなります。（新しく目的地を設定すると、音声案内などを聞くことができます。）

操作画面継続表示の設定

オーディオ操作画面に切り替え、約20秒以上操作しなかったとき、自動的に切り替え前の画面に戻すことができます。また、継続してオーディオ操作画面を表示する設定に切り替えることができます。

1 設定・編集画面（77 ページ参照）で、**共通設定** にタッチします。

2 操作画面継続表示の **する** 、または **しない** にタッチします。

● 各画面を継続して表示させるには **する** にタッチしてください。



3 **完了** にタッチします。

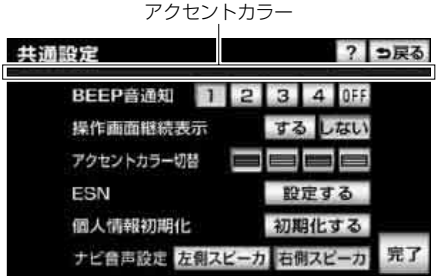
ワンポイント

●操作画面継続表示の **しない** にタッチすると、オーディオ操作画面を表示しても自動でもとの画面に切り替わります。オーディオ操作画面を再度表示させる場合は、AV を押してください。

●操作画面継続表示の **しない** にタッチしても、オーディオ操作画面の表示中に割り込み画面が表示、解除された場合、もとの画面にもどらないことがあります。

アクセントカラーの切り替え

情報画面や設定画面、オーディオ操作画面で表示されるアクセントカラーやタッチスイッチ（ON時）の色を切り替えることができます。



1 設定・編集画面（77 ページ参照）で、**共通設定** にタッチします。

2 アクセントカラーにタッチします。



3 **完了** にタッチします。

オープニング画面の設定

■オープニング画面を切り替える

本機のオープニング画面（電源を入れたときに表示される画面）の画像を切り替えることができます。またSDメモリーカードに保存した画像データをオープニング画面として表示することもできます。

1 設定・編集（画像設定）（77 ページ参照）で、**オープニング画像変更** にタッチします。

2 **1** 、**2** 、**3** 、**カスタム** のいずれかにタッチします。

● **カスタム** は画像が登録してあるときのみタッチできます。



3 **完了** にタッチします。

■お好みの画像データに書き換える

SDメモリーカードに記録した画像データをオープニング画面として登録することができます。使用できる画像データについては、**「使用できる画像データ」**（60ページ）を参照してください。

チェック

- 画像データ以外のデータが SD メモリーカード内に混在すると、画像データを読み込むことができない場合があります。
- SD メモリーカードに音楽を録音している場合は、録音を止めてから画像データを書き換えてください。**「SDメモリーカードへ録音する」**（388ページ参照）

1 設定・編集（画像設定）（77 ページ参照）で、**オープニング画像変更** にタッチします。

2 画像データを記録したSDメモリーカードを地図SDカード差し込み口に差し込みます。（38 ページ参照）

● 画像データの読み込み中は本機およびエンジンスイッチの操作をしないでください。

3 **カスタムの変更** にタッチします。



次ページに続く

7. 本機の設定

4 設定したい画像を選択します。



- プレビュー にタッチすると、選択した画像を表示することができます。
- 複数のデータがある場合は、 、または にタッチすると画像を切り替えて表示することができます。



5 決定 にタッチします。

- 設定したオープニング画面が表示されます。

6 完了 にタッチします。

■使用できる画像データ

項目	内容
画像容量	4MB以下（1ファイル当たり）
画素数	最大1000万画素
最大取り込み画像サイズ	6656×3328 dot
ファイル拡張子	.jpg（JPEG2000は非対応）
表示ファイル数（枚数）	100まで
ファイル名文字数	半角28文字・全角14文字まで（+.jpg）※1/※2
表示文字数	半角28文字・全角14文字まで（+.jpg）※1/※2/※3
取り込み対象となる画像ファイル	ルートディレクトリ（最上位階層）

※1 半角数字、半角英字（大文字）、記号“_”（アンダースコア）、記号、漢字（表示できない文字有り）のみです。

※2 ファイル名が半角29文字以上の場合、半角28文字まで表示されます。

※3 拡張子.jpgは表示されません。

ワンポイント

- 画像サイズが横800×縦480dotより大きい場合、元の画像を規定サイズに縮小し、表示します。画像のない部分は黒帯になります。
- 画像サイズが横800×縦480dotより小さい場合、サイズを変更しないでディスプレイの中央部に表示します。画像のない部分は黒帯を表示します。
- 他の機器で使用した SD メモリーカード、miniSDカード、microSDカードを使用する場合は、次のソフトでフォーマット（初期化）してください。
  フォーマット（初期化）すると、SDメモリーカード、miniSDカード、microSDカード内に記録されたデータは消去されます。
  次のソフトでフォーマットしていないSDメモリーカード、miniSDカード、microSDカードで、SD規格に準拠していない場合、本機で使用できないことがあります。
  - Panasonic SD-Jukebox V5 以降
  - Panasonic SD メモリーカードフォーマットソフトウェアV2.0

画面の調整・設定

画面を見やすくするため、ライト（車幅灯、尾灯、番号灯）の点灯・消灯により〈昼画表示〉と〈夜画表示〉に切り替わります。

取り付ける車種により、ライトの点灯、消灯を本機が検出できない場合があります。その場合は、手動で〈昼画表示〉と〈夜画表示〉を切り替えてください。

● ライト消灯時…＜昼画表示＞



● ライト点灯時…＜夜画表示＞

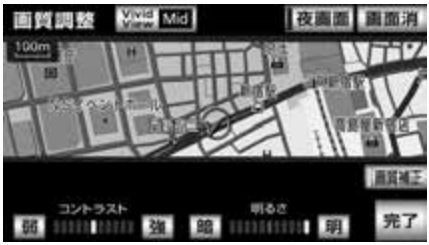


■画質調整画面を表示する

1 ナビゲーション画面、オーディオ操作画面、または映像画面のときに 設定 を1秒以上押します。

2 調整が終了したら、**完了** にタッチします。

● 約20秒以上操作しなかったときは、自動で設定し表示していた画面にもどります。



■自動で画面の明るさを変える（直射日光補正機能）

ディスプレイに光が直接当たると画面が白っぽくなり、見えにくくなります。この現象を解消するために、元の画像の色味や明るさを自動補正して、見やすくすることができます。



1 **画質補正** にタッチします。

● 作動表示灯が点灯します。

● 再度タッチすると、設定が解除されます。

ワンポイント

●照度センサーの近くで赤外線リモコンなどを操作すると、誤作動することがあります。

●ディスプレイ前面にある照度センサーへ光が入った時に効果を発揮します。

7. 本機の設定

■夜画・昼画表示に切り替える

1 昼画（夜画）表示のときに 夜画面 （ 昼画面 ）にタッチします。

● タッチするごとに、夜画表示と昼画表示が切り替わります。



ワンポイント

本機の電源を入れると、パネルスイッチは常時点灯します。

■画面を消す

1 画面消 にタッチします。

● 再度、画面を表示させるには 現在地 を押します。

■画質の調整

昼画・夜画は、それぞれ独立して調整することができます。

チェック

操作画面、設定画面を表示している時は「色合い」、「色の濃さ」を調整することができません。



● **ナビゲーション画面およびオーディオ操作画面時**



● **映像画面時**

色合い（映像画面時のみ）

1 緑色を強くするときは 緑 、赤色を強くするときは 赤 にタッチします。

色の濃さ（映像画面時のみ）

1 濃くするときは 濃 、淡くするときは 淡 にタッチします。

コントラスト

1 強くするときは **強** 、弱くするときは **弱** にタッチします。

明るさ

1 明るくするときは **明** 、暗くするときは **暗** にタッチします。

- ライト消灯時の初期設定は最大値（一番明るい状態）になっています。

VividView

画質全体を同時に補正することができます。

1 **VividView** にタッチします。

- タッチスイッチにタッチするごとに、下図の順に補正レベルを切り替えることができます。

Mid → Hi → Off → Low

ラジオアンテナの設定

お車のラジオアンテナがオートアンテナの場合、ラジオ受信時以外にもラジオアンテナが上がったままになります。このときは、本機から強制的にラジオアンテナを下げることができます。

⚠ 重要

ラジオアンテナを下げたまま、エンジンスイッチをOFF（LOCK）にした場合、次にエンジンスイッチをACC、またはONにしてもラジオアンテナは、下がったままになります。ラジオアンテナを上げるときは、設定画面で、**上げる** にタッチしてください。

1 設定・編集画面（ナビ）（77 ページ参照）で、**ナビ詳細設定** にタッチします。

2 **その他** にタッチします。



3 車両情報設定の **変更する** にタッチします。



4 ラジオアンテナの **上げる** 、または **下げる** にタッチします。

- **下げる** にタッチしたときは、メッセージを確認後、**表示消去** にタッチします。



5 **完了** にタッチします。

7. 本機の設定

ESNの設定

ESN（ECLIPSE Security Network)は、バッテリーターミナルをはずして再度接続した場合に、本機をロックする（操作できなくする）セキュリティ機能です。

ESN作動中はセキュリティインジケータを点滅させて、盗難を抑止することができます。

また、ACCセキュリティを作動させると、エンジンスイッチをOFF（LOCK）にするたびに本機をロックすることができます。



セキュリティインジケータ

■ESN設定画面を表示する

1 設定・編集画面（77 ページ参照）で、**共通設定** にタッチします。

2 ESNの **設定する** にタッチします。

● ESN設定画面が表示されます。



■ESNを作動する

ESNは4桁の暗証番号を本機に登録することで作動します。

● 暗証番号の初期設定は「0000」です。暗証番号は他人にわかりにくい番号にしてください。

1 ESN設定画面で、**コード設定** にタッチします。

● 表示されるシリアルNo.は、保証書に記載されている製造番号と同一の、機器固有の番号です。



2 現在の暗証番号を入入します。

● 入力した暗証番号は“＊”で表示されます。

● 初期設定は「0000」です。

● 間違えたときは、**修正** にタッチすると、1番号ずつ消去されます。



3 **完了** にタッチします。

4 新しい暗証番号を入力します。



5 **完了** にタッチします。

6 もう一度、**4** で入力した暗証番号を入力します。



7 **完了** にタッチします。

8 **はい** にタッチします。

● ESNが作動します。



次ページに続く

ワンポイント

登録した暗証番号は、セキュリティの解除や暗証番号の変更を行うときに必要になります。登録した暗証番号を忘れたときの確認用にメモなどをしておくことをおすすめします。

■ESNのロックを解除する

バッテリーターミナルをはずした後、エンジンスイッチをONにすると、セキュリティがロックされた状態で起動します。ロックを解除するには、設定した4桁の暗証番号を入力します。

1 **OK** にタッチします。

● 暗証番号入力画面が表示されます。



2 設定した4桁の暗証番号を入力します。

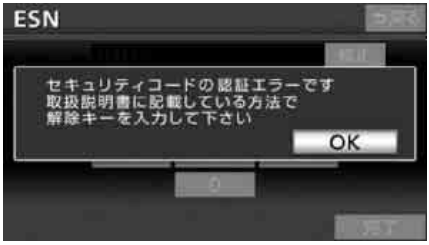
● 間違えたときは **修正** にタッチすると、1文字ずつ消去されます。



3 **完了** にタッチします。

ワンポイント

- ACCセキュリティを **する** に設定していた場合、ESNのロックを解除しても、ACCセキュリティの設定は **する** のまま保持されますが、ESNの設定をキャンセルした場合は、ACCセキュリティの設定もキャンセルされます。
- 5回照合できなかった場合、次の画面が表示されます。その場合、**「ESN／ACCセキュリティのロック解除に5回連続で失敗したとき」**（66ページ）を参照してください。



■ESN／ACCセキュリティのロック解除に5回連続で失敗したとき

ロックを解除するには、解除キーの入力が必要です。

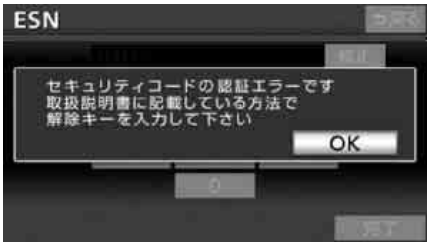
解除キーは携帯電話からE-iSERVにメールを送ると取得することができます。

チェック

ロックを解除するときに使用する解除キーは、ESN作動時に設定した4桁の暗証番号とは異なります。

1 OK にタッチします。

● 解除キー入力画面が表示されます。



2 携帯電話で2次元バーコードを読み取り、メーラーを立ち上げます。

● 2次元バーコードは、セキュリティ保護のため、Web上では公開しておりません。製品に同梱されている「取扱説明書」の139ページを参照してください。

● 携帯電話のメールの作成画面が表示されます。

● アドレスはあらかじめ入力されています。

3 メールのタイトルにシリアルNo.（8桁）、本文に前回のキー No.（6桁）を入力します。





4 メールを送信します。

● 今回のキー No. が記載されたメールが E-iSERVより返信されます。

5 メールに記載されている、今回のキー No.を入力します。

● 間違えたときは 修正 にタッチすると、1文字ずつ消去されます。



次ページに続く

7. 本機の設定

6 完了 にタッチします。

● 入力したキー No. が5回照合できなかった場合、"お客様相談窓口へお問い合わせ下さい"のメッセージが表示され、操作できなくなります。この場合、お客様相談窓口（0120-022210）までご連絡ください。

ワンポイント

- 本機能はNTT docomo、au、SoftBankの3キャリアに対応しています。（一部の携帯電話やドメインには対応していません。）対応機種の詳細は、ECLIPSE ホームページ「お客様サポート」（http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/）をご確認ください。
- 携帯電話以外（パソコンなど）から送信されたメールや、ファイルが添付されているメール（デコメールやHTMLメールなど）には対応していません。
- メールにはシリアルNo.や前回のキーNo.以外の文字を入力しないでください。桁数が違う場合や、英数字以外の文字が入力されている場合、エラーメールが返信されます。
- 携帯電話がE-iSERV（esn_admin@eismail.ten.fujitsu.com）からのメールを受信できるよう設定しておいてください。
- メールサーバーの通信状況やメンテナンス状況によっては、メールの返信に時間がかかる場合があります。
- E-iSERV のメンテナンス等サービスに関する情報は、ホームページでご確認ください。http://www.e-iserv.jp/top/index.html
- ESN では、解除コード取得の際、お客様の携帯電話から送られたメールや個人情報については、厳重管理のもとサーバーに保存致しますが、警察からの捜査協力依頼があった場合、保存している個人情報を提供します事をご了承ください。

■ESNの設定を解除する

チェック

ESNを解除した場合、ACCセキュリティも解除されます。ACCセキュリティのみを解除したい場合は、**「ACCセキュリティを解除する」**（70ページ）を参照してください。

1 ESN設定画面で、キャンセル にタッチします。



2 暗証番号を入力します。



3 完了 にタッチします。

4 **はい** にタッチします。



ワンポイント

ESNの設定をしている場合、バッテリーの交換などを行うと、ESNのロックがかかります。バッテリーを交換などを行う際は、事前にESNの設定を解除してください。

■ACCセキュリティを作動する

ACCセキュリティを作動させると、エンジンスイッチをOFF（LOCK）にするたびに、本機をロックすることができます。

チェック

ACCセキュリティの作動は、ESNの作動中のみ行うことができます。

1 ESNを作動します。

- **「ESNを作動する」**（64ページ）を参照してください。

2 ESN設定画面で、ACCセキュリティの **する** にタッチします。



■ACCセキュリティのロックを解除する

ACCセキュリティが作動しているときは、エンジンスイッチをOFF（LOCK）からONにするたびに、認証画面が表示されます。認証画面で暗証番号を入力するとロックを解除することができます。

1 設定した4桁の暗証番号を入力します。

- 間違えたときは、**修正** にタッチすると、1番号ずつ消去されます。



2 **完了** にタッチします。

ワンポイント

5回照合できなかった場合、次の画面が表示されます。その場合、**「ESN／ACCセキュリティのロック解除に5回連続で失敗したとき」**（66ページ）を参照ください。



7. 本機の設定

■ ACCセキュリティを解除する

1 ESN設定画面で、ACCセキュリティの **しない** にタッチします。



■ セキュリティインジケータの表示を設定する

ESNを作動させているときに点滅するセキュリティインジケータ表示をON（点滅する）またはOFF（点滅しない）で切り替えることができます。

1 ESN設定画面で、インジケータの **ON** 、または **OFF** にタッチします。



個人情報の初期化

本機に登録した内容を消去し、本機を初期状態にもどすことができます。

初期化（消去）される項目は下記になります。

項目	初期化される内容
メンテナンス	各種項目・自動通知設定
	販売店の設定
メモリ地点	登録したメモリ地点
	登録した迂回メモリ地点
目的地履歴	目的地を設定したときに自動で記憶される地点
ユーザーカスタマイズ	ユーザーカスタマイズの設定
走行軌跡	保存した走行軌跡の履歴
ラジオ	プリセットスイッチに記憶した放送局
地上デジタルTV放送	プリセットスイッチに記憶したチャンネル
	地域の設定
Bluetooth オーディオ※	Bluetoothオーディオの登録情報
ハンズフリー※	登録した電話帳データ
	発信履歴および着信履歴
	登録したBluetooth携帯電話の情報
	ロックNo.の設定
	ハンズフリー関連の設定、編集項目
Yahoo! JAPANと連携機能※	携帯電話から送信したドライブプラン情報
	携帯電話から送信した地点情報
	ロックNo.の設定
	保存した走行軌跡の履歴
オープニング画面	オープニング画面の設定
オンデマンドVICS※	オンデマンドVICS設定
エコナビ情報機能	燃費設定および燃費履歴
ステアリングスイッチ	ステアリングスイッチ設定

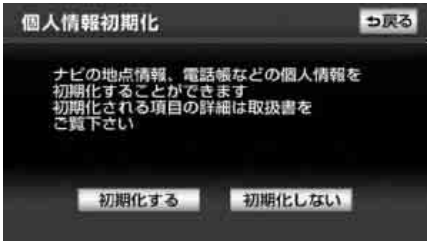
※ AVN-Z01のみ

1 設定・編集画面（77 ページ参照）で、**共通設定** にタッチします。

2 個人情報初期化の **初期化する** にタッチします。

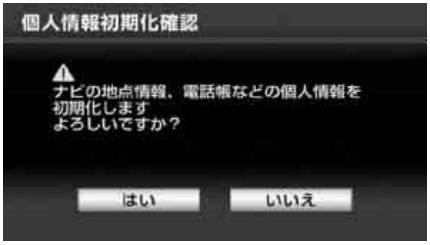


3 **初期化する** にタッチします。



4 **はい** にタッチします。

● 個人情報を初期化後、**2** の画面にもどります。



ワンポイント

- 一度初期化（消去）された内容（データ）は元にもどせません。十分注意して初期化作業をおこなってください。
- 初期化中はオーディオの出力が停止します。初期化後、自動で音声は出力されません。
- Bluetooth オーディオ、ハンズフリー機能、またはオンデマンドVICSを使用している場合、Bluetooth接続が切断されます。

MEMO

ナビゲーション

1. GPSボイスナビゲーションについて

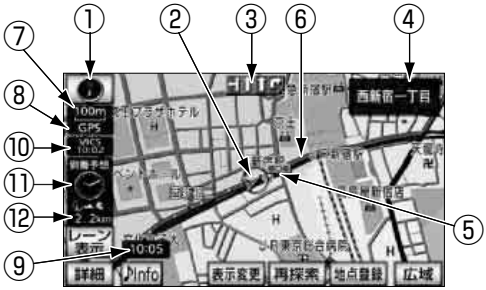
目的地を設定することによって、自動的にルートを探索し、音声と画面表示によるルート案内を行います。

GPSボイスナビゲーションをお使いになる前に

- 地図データに情報が無い場合は、路線名の表示や施設の検索、ルートの案内などをすることができません。
- 本機が探索するルートは目的地周辺までの参考ルートです。必ずしも最短ルート、早く行けるルート、渋滞していないルートではありません。
- 施設の表示やルートの案内などは、実際とは異なる場合があります。
- 到着予想時刻は、走行条件などにより、多少の誤差が生じる場合があります。
- 交差点案内や音声案内などは、状況により異なる場合があります。また、まれに誤った案内が行われる場合があります。

ナビゲーション画面の見方

ナビゲーションの地図表示には現在地画面とスクロールさせた地図画面があります。



＜現在地画面＞



＜スクロール地図画面＞

① **方位マーク**（ヘディングアップ時は ）
地図の方角が表示されます。

- 地図向き（ノースアップ／ヘディングアップ）の切り替えについては**「地図向きの切り替え」**（103ページ）を参照してください。

② **自車マーク**
現在位置と車が向いている方角が表示されます。

③ **レーン（車線）表示**
通過・分岐する交差点の車線が表示されます。（地図データに情報のある交差点のみ）

- 目的地案内中は走行を推奨する車線が青色で表示されます。

④ **名称表示（**  **）**

状況により次の名称が表示されます。（地図データに情報のある地点のみ）

- 通過・分岐する交差点の名称
- 走行している道路の名称、または路線番号
- 通過するインターチェンジ（IC）・サービスエリア（SA）・パーキングエリア（PA）の名称（高速道路を走行しているときのみ）
- 分岐するインターチェンジ（IC）・ジャンクション（JCT）の方面名称（高速道路を走行しているときのみ）

⑤ **案内ポイント**

交差点案内（車線表示・交差点名称表示・交差点拡大図）が表示されます。

- 交差点案内については、**「交差点案内」**（188ページ）を参照してください。

⑥ **ルート表示**

目的地を設定したとき、目的地までのルートが表示されます。

- 案内が行われるのは、濃い青（ ）の表示上に現在地があるときです。出発地および目的地周辺の細街路では薄い青のルートのみ表示します。

⑦ **スケール表示**

表示させている地図の縮尺が表示されます。

 の長さがこの場合は100mになります。

⑧ **GPSマーク**

GPS衛星からの位置情報が利用されているときに、表示されます。

ただし、GPSマークが表示されているときでも、GPS衛星の状態などにより誤差が生じることがあります。

GPSは次のようなときに利用できないことがあります。

- ビル、トンネル、高架道路などでGPS衛星からの電波が遮断されるとき
- GPS アンテナのまわりに遮へい物があるなど電波が遮断されるとき
- GPS 衛星が電波を出していないとき（米国の追跡官制センターで信号をコントロールしているため改良・修理等で電波が止まることがあります。）
- デジタル式携帯電話（1.5GHz）を GPS アンテナ付近で使用したとき

⑨ **時計表示**

現在の時刻が表示されます。

- 表示については、**「時計表示の切り替え」**（90ページ）を参照してください。

⑩ **VICSタイムスタンプ** 

VICS情報が提供された時刻が表示されます。また、渋滞規制案内音声があるときは、タッチスイッチに替わります。

（目的地案内中のルート上（約10km以内）にVICS情報があるときは、タイムスタンプが、渋滞：赤、混雑：橙、規制：黄になります。）

- VICS情報の表示については、**「VICS情報の表示」**（227ページ）を参照してください。
- 地図上に表示されるマークについては、**「地図に表示されるVICS表示マークについて」**（232ページ）、または**「凡例」**（573ページ）を参照してください。

次ページに続く

1. GPSボイスナビゲーションについて

⑪ **到着予想時刻表示／目的地方向マーク**
状況により次のマークが表示されます。

■ **到着予想時刻表示** 

目的地案内中、目的地へ到着する予想時刻が表示されます。

- 到着予想時刻については、**「到着予想時刻表示の設定」**（191ページ）を参照してください。
- 案内中の到着予想時刻表示の切り替えについては**「到着予想時刻／残距離表示の切り替え」**（201ページ）を参照してください。

■ **目的地方向マーク** 

ルートからはずれたとき、目的地の方向が表示されます。

⑫ **残距離表示**
現在地から目的地までの距離が表示されます。

- 目的地案内中は、表示されているルートを通っての距離が表示されます。
- ルートからはずれたときは、直線距離が表示されます。
- 残距離表示の切り替えについては、**「到着予想時刻／残距離表示の切り替え」**（201ページ）を参照してください。

⑬ **カーソルマーク**
検索した地図やスクロールさせた地図に表示されます。

スクロールするには地図（タッチスイッチ以外の場所）に直接タッチします。

⑭ **カーソル位置地名表示**
スクロールしたカーソル位置の地名が表示されます。（手をはなしてから約6秒間）

1. 設定・編集画面・リスト画面について

ナビゲーションの設定

設定・編集画面では、ナビゲーションの設定や編集をすることができます。

特に**「ナビ詳細設定」**、**「安全・快適走行設定」**は、ナビゲーションをお使いになる前にあらかじめ設定しておくことをおすすめします。

1 設定 を押します。

● 設定・編集画面が表示されます。

2 ナビ や 運転支援 などのタブにタッチすると、下記の設定、編集を行うことができます。

● タブの切り替え方については、86ページを参照してください。

● 共通設定 、 ? は全てのタブで表示されます。



● **設定・編集画面（ナビ）**



● **設定・編集画面（運転支援）**

タブ	設定項目	機　能	ページ
ナビ	音量設定	音量の設定	90
		高速時の自動音量切り替えの設定	90
	案内中止／案内再開※1	目的地案内の中止・再開	183
	ルート変更※1	目的地の追加・並び替え・消去	170、173、174
		区間別探索条件の変更	172
		乗降インターチェンジ（IC）の指定・解除	176、177
		通過道路の指定・修正・解除	178、180、181
	メモリ地点登録編集	メモリ地点の登録・修正・消去	237、238、247
		迂回メモリ地点の登録・修正・消去	249、250、251
		メモリ地点の移行	252
	地図更新	地図データの更新・データベース情報表示	323
	E-iSERV	赤外線ケータイリンク機能の設定	54
	ナビ詳細設定	ナビゲーションの設定	79

※1 目的地が設定されていないときは、トーンダウンし、タッチしても操作できません。

次ページに続く

1. 設定・編集画面・リスト画面について

タブ	設定項目	機　能	ページ
電話※4	音量設定	電話音量・着信音量の設定、高速時の自動音量切り替え設定	519
	電話機選択	使用する通信機器の選択、携帯電話の名称変更	520
	電話帳編集	電話帳の登録・編集・削除、ワンタッチダイヤルの登録・削除	526
	ハンズフリー設定	携帯電話の登録、削除、ハンズフリーの設定	504、522、523
	通信接続設定	オンデマンドVICSの設定	219
オーディオ	オーディオ プレイヤー切替	使用するポータブルオーディオの選択	475
	Bluetooth オーディオ設定※4	Bluetoothオーディオの設定	474
	サウンドライブラリ 編集	音楽用SDメモリーカードの音楽データ編集	395
	CD⇒SD録音設定	録音の設定	388
運転支援	安全・快適走行設定	注意地点案内（安全・快適走行設定）の設定	84
	注意喚起設定	速度超過アラーム・リバースシフトアラームの設定	93
	カメラ設定※2	バックアイカメラのガイド線表示・フロントアイカメラの自動表示・フロントアイカメラ一時停止データ連動の設定	307、313
	ステアリングスイッチ 設定	ステアリングスイッチの設定	491
メンテナンス	項目設定	メンテナンス時期の設定	260、262、263
	販売店設定	販売店の設定・修正・消去	264、265
	メンテナンス詳細設定	メンテナンスの設定	261、263、264
画像設定	オープニング画像変更	オープニング画像の変更	59
	デジタルフォトフレーム	デジタルフォトフレームの設定	487
ETC※3	通知設定	ETCの設定	304
共通設定	BEEP音通知	BEEP（操作）音の設定	57
	操作画面継続表示	操作画面継続表示の設定	58
	アクセントカラー切替	アクセントカラーの切り替え	58
	ESN	ESNの設定・解除	64
	個人情報初期化	個人情報の初期化	70
	ナビ音声設定	ナビ音声の出力位置の切り替え	57
?		ヒント機能の操作	87

※2 別売のバックアイカメラ、またはフロントアイカメラ接続時に表示されます。
※3 別売のETC車載器接続時に表示されます。
※4 AVN-Z01のみ。

■ナビ詳細設定をする

ナビ詳細設定から設定できる項目は、**「地図表示設定」**、**「自動表示切替設定」**、**「案内表示設定」**、**「音声設定」**、**「ルート系設定」**、**「その他」**に分類されています。

1 設定・編集画面（ナビ）（77 ページ参照）で、**ナビ詳細設定** にタッチします。



2 タッチスイッチにタッチすると、各項目の設定を行うことができます。

● タッチスイッチから設定できる項目については、下記のページを参照してください。



タッチスイッチ	ページ
地図表示設定	80
自動表示切替設定	81
案内表示設定	81
音声設定	82
ルート系設定	82
その他	83

3 設定が終わったら、**完了** にタッチします。



ワンポイント

ナビ詳細設定画面で **初期状態** にタッチすると、下記を除く各種設定項目がすべて初期設定の状態にもどります。

- 右画面設定
- 3D 地図表示設定
- 周辺施設表示
- 平均車速の設定
- 渋滞考慮探索設定
- 目的地メニューカスタマイズ
- スイッチ表示の設定
- 周辺施設走行中呼出ジャンル
- 車両情報設定
- ナビ補正
- VICS 割込設定
- ユーザーカスタマイズ

1. 設定・編集画面・リスト画面について

地図表示設定

● 太字は初期設定です。

項目	機能概要	設定	ページ
右画面設定	2画面表示の右画面の地図を設定することができます。	変更する	105
2D 時フロントワイド	ノースアップ表示（1画面表示）のとき、車の進行方向の地図を広く表示することができます。	する／**しない**	104
2D 時フロントワイド 右画面の地図で表示	2画面表示の右画面がノースアップ表示のとき、車の進行方向の地図を広く表示することができます。	する／**しない**	104
2D 時フロントワイド	ヘディングアップ表示のとき、車の進行方向（画面上側）の地図を広く表示することができます。	**する**／しない	104
2D 時フロントワイド 右画面の地図で表示	2画面表示の右画面がヘディングアップ表示のとき、車の進行方向（画面上側）の地図を広く表示することができます。	**する**／しない	104
3D 時のルート方向アップ	（目的地案内中に）3D表示のとき、ルートが表示されている方向の地図を広く表示することができます。	する／**しない**	114
3D地図表示設定	3D地図表示の見下ろす角度を調整することができます。	変更する	113
昼の地図色	昼画の地図表示色を変更することができます。	**ストレート**／ナチュラル／ビジブル／クリア／カラフル	88
夜の地図色	夜画の地図表示色を変更することができます。	**ストレート**／ナチュラル／ビジブル／クリア／カラフル	88
自車マーク変更	地図に表示される自車マークを変更することができます。	ノーマル／ 	88
リアルワイドマップ表示	地図マークのイラスト表示や道路の太さをより実際の道路に近づけて表示することができます。	**する**／しない	115
地図の文字サイズ変更	地図に表示されている名称（文字）の大きさを切り替えることができます。	大／**中**／小	89
周辺施設表示	地図に表示する施設ランドマークを設定することができます。	変更する	121
立体ランドマーク表示	地図に立体的な施設マーク（立体ランドマーク）を表示することができます。	**する**／しない	117
シーズンレジャーランドマーク表示	桜などの季節になると、地図に桜や紅葉の名所をマーク表示することができます。	**する**／しない	116
地図スクロール時の地名表示	地図スクロール時に地図中心（  ）の地名を表示することができます。	**する**／しない	95

自動表示切替設定

● 太字は初期設定です。

項目	機能概要	設定	ページ
交差点拡大図自動表示	（目的地案内中に）分岐する交差点に近づくと、自動的に交差点拡大図を表示することができます。	**する**／しない	188
リアル交差点拡大図自動表示	（目的地案内中に）分岐する交差点に近づくと、リアルな交差点拡大図を表示することができます。	**する**／しない	189
高速分岐模式図自動表示	（目的地案内中に）高速道路走行中、分岐点に近づくと、自動的に高速分岐案内図を表示することができます。	**する**／しない	198
レーンリスト自動表示	（目的地案内中に）走行する交差点の名称と車線レーンのリスト図を表示することができます。	**する**／しない	190
ターンリスト自動表示	最終目的地まで走行する道路名称、ターン方向および距離のリスト図を表示することができます。	する／**しない**	197
都市高マップ自動表示	（目的地案内中に）都市高速を走行すると、自動的に都市高マップを表示することができます。	する／**しない**	198
高速路線マップ自動表示	高速道路を走行すると、自動的に高速路線マップを表示することができます。	する／**しない**	110

案内表示設定

● 太字は初期設定です。

項目	機能概要	設定	ページ
縮尺切替メッセージ表示	縮尺切り替え時に地図表示切り替えを通知するメッセージを表示することができます。	する／**しない**	99
料金案内	（目的地案内中に）料金所に近づくと、料金を画面と音声で案内することができます。	**する**／しない	193
料金所レーン案内	（目的地案内中に）料金所に近づくと、料金を画面と音声で案内することができます。	**する**／しない	195
県境案内	都道府県をこえたときに、マークと音声で案内することができます。	**する**／しない	118
3D交差点拡大図	（目的地案内中に）分岐する交差点に近づくと、３Ｄで交差点拡大図を表示することができます。	する／**しない**	186
到着予想時刻表示	平均車速を変更することができます。（目的地までの到着予想時刻を計算する基準となります。）また、画面左に表示される到着予想時刻を、アナログ／デジタル表示で切り替えることができます。	設定／**アナログ**／デジタル	191

1. 設定・編集画面・リスト画面について

音声設定

● 太字は初期設定です。

項目	機能概要	設定	ページ
VICS渋滞・規制音声自動発声	（目的地案内中に）ルート上（約10km以内）のVICS情報を自動的に音声で案内することができます。	**する**／しない	229
自動音声案内	（目的地案内中に）交差点や分岐点、目的地に近づくと自動的に音声で案内することができます。	**する**／しない	200
細街路での音声案内	細街路（幅5.5m未満の道路）でも、目的地の直前まで音声で案内することができます。	**する**／しない	200
他モード時の案内	ナビゲーション以外の画面を表示しているときに、ナビゲーションの音声案内をすることができます。	**する**／しない	200
操作説明音声	表示している画面の操作手引き（説明）を音声で案内することができます。	**する**／しない	91
ハートフル音声	自宅に到着したときなどに「お疲れさまでした」などの気のきいたフレーズの音声を出力することができます。	**する**／しない	92
エコドライブインフォメーション	エコドライブに役立つアドバイスを、約1 週間に1 回、音声で案内することができます。	**する**／しない	279

ルート系設定

● 太字は初期設定です。

項目	機能概要	設定	ページ
自動再探索	（目的地案内中に）ルートからはずれたとき、自動的にルートを再探索することができます。	**する**／しない	208
季節規制メッセージ表示	季節規制区間（冬期通行止め道路など）を含むルートを探索したときに、メッセージを表示することができます。	**する**／しない	166
渋滞考慮探索設定	渋滞考慮探索、新旧ルート比較表示の設定をすることができます。	変更する	161

その他

● 太字は初期設定です。

項目	機能概要	設定	ページ
スイッチ表示設定	地図画面に表示するタッチスイッチを設定することができます。	変更する	96
目的地メニュー カスタマイズ	目的地設定画面や目的地追加画面の1ページ目に表示するスイッチを設定することができます。	変更する	209
周辺施設　走行中呼出ジャンル	走行中に簡易操作で表示できる施設マーク（周辺施設の6項目）を変更することができます。	変更する	124
車両情報設定※1	車両情報（ナンバープレートの分類・車両寸法・モーターアンテナ車）を設定することができます。	変更する	193
目的地履歴の消去	過去に設定した目的地の履歴を消去することができます。	消去する	182
時計表示	地図画面にGPS時計を表示することができます。	**する**／しない	90
ナビ補正	現在地の修正や距離の補正をすることができます。	補正する	315
VICS 割込設定※2	ビーコンから受信したVICS 情報の自動表示と、表示時間を設定することができます。	変更する	296
ユーザカスタマイズ	ナビ設定の記憶や呼び出しをすることができます。	設定する	318
カンタン初期設定	カンタン初期設定の設定や設定した内容を修正することができます。	設定する	51

※1 目的地が設定されているときは、トーンダウンし、タッチしても操作できません。
※2 別売の2 メディア/3 レベル対応VICS ユニットを接続していない場合、表示されません。

1. 設定・編集画面・リスト画面について

■安全・快適走行設定をする

安全・快適走行設定では、運転中に注意する地点の案内について設定することができます。

1 設定・編集画面（運転支援）（77ページ参照）で **安全・快適走行設定** にタッチします。

● 安全・快適走行設定画面が表示されます。



2 安全・快適走行設定画面から、下記の設定を行うことができます。



3 設定が終わったら、 **完了** にタッチします。

● 太字は初期設定です。

項目	機能概要	設定	ページ
一時停止案内	一時停止地点に近づくと、マークと音声で案内することができます。	**する**／しない	118
踏切案内	踏切に近づくと、マークと音声で案内することができます。	する／**しない**	
合流案内	高速道路走行中、合流道路に近づくと、マークと音声で案内することができます。	する／**しない**	
カーブ案内	急カーブに近づくと、マークと音声で案内することができます。	する／**しない**	
レーン警告	一般道の右左折専用レーンを音声で案内することができます。都市高速のレーン減少地点を警告マークと音声で案内することができます。	する／**しない**	
事故多発地点案内	高速道路走行中、交通事故の多発している地点に近づくと、マークと音声で案内することができます。一般道走行中は、地図にマークを表示することができます。	する／**しない**	
学校存在案内	学校に近づくと、マークと音声で案内することができます。	する／**しない**	

リスト画面の切り替え方

■▲・▼の切り替え表示

▲ ・ ▼ にタッチすると、1項目ずつリストが動きます。



■行の切り替え表示

あ行 ・ か行 ・ さ行 ・ た行 ・ な行 ・ は行 ・ ま行 ・ や行 ・ ら行 ・ わ行 にタッチすると、行ごとにリストが動きます。

- タッチするごとに、行の中で「あ→い」と音ごとにリストが動きます。



■英数字の切り替え表示

ABC ・ DEF ・ GHI ・ JKL ・ MNO ・ PQRS ・ TUV ・ WXYZ ・ 0-9 にタッチします。

- タッチするごとに、「A→B」と次の英数字にリストが動きます。



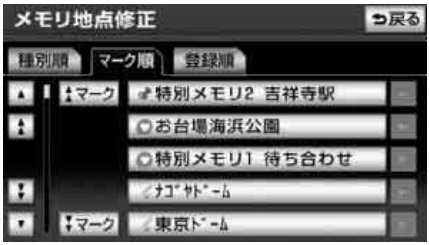
■ページの切り替え表示

▲▲ ・ ▼▼ にタッチすると、1ページずつリストが動きます。



■マークの切り替え表示

▲マーク ・ ▼マーク にタッチすると、次のマークにリストが動きます。



1. 設定・編集画面・リスト画面について

■種類の切り替え表示

▲種類 ・ ▼種類 にタッチすると、次の種類にリストが動きます。



■地域の切り替え表示

北海道 ・ 東北 ・ 関東 ・ 中部 ・ 近畿 ・ 中四国 ・ 九州 にタッチすると、地域ごとにリストが動きます。



■施設項目の切り替え表示

店 ・ 宿泊 ・ 遊び ・ 公共 ・ 医療 ・ 交通 ・ 文化 ・ 他 にタッチすると、施設項目ごとにリストが動きます。



文字の表示範囲の切り替え方

リストに表示されている名称の文字数が多い場合、名称がすべて表示されないことがあります。次の操作をすると、名称をすべて確認することができます。

▶ 、または ◀ にタッチすると、名称をすべて確認することができます。



タブの切り替え方

設定・編集画面やオーディオ操作画面など画面下部にタブが表示されている場合、タブを表示したまま画面を切り替えることができます。

➡ 、または ⬅ にタッチすると、タブの表示を切り替えることができます。



タブ

ワンポイント

別売のシステムアップ製品やアクセサリーなどの接続状態により、表示されるタブは異なります。

2. ヒント機能

ヒント機能の操作

ナビゲーションの画面上に表示される各タッチスイッチの機能説明を表示することができます。 ? スイッチが表示されている画面でヒント機能を使用することができます。下記の説明はヒント機能の一例です。

1 設定・編集画面（77 ページ参照）で、 ? にタッチします。

2 ヒント機能対象スイッチにタッチします。

- 約6秒間、機能の説明を画面上に表示します。
- ? 戻る にタッチするとヒント機能を解除します。



ワンポイント

- 走行中はヒント機能は操作できません。
- ヒント機能を操作中は通常の操作ができませんので ? 戻る にタッチしてから操作してください。
- 機能説明を表示しないタッチスイッチもあります。

3. 画面の調整・音声の設定

地図の表示色の切り替え

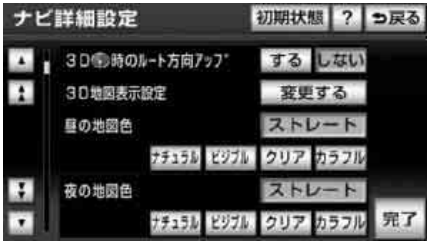
昼画・夜画それぞれの地図表示色（5種類）を切り替えることができます。

1 設定・編集画面（ナビ）（77 ページ参照）で、**ナビ詳細設定** にタッチします。

2 **地図表示設定** にタッチします。



3 昼の地図色・夜の地図色それぞれで、**ストレート** ・ **ナチュラル** ・ **ビジブル** ・ **クリア** ・ **カラフル** のいずれかにタッチします。



4 **完了** にタッチします。

自車マークの切り替え

地図上に表示される自車マークを切り替えることができます。

1 設定・編集画面（ナビ）（77 ページ参照）で、**ナビ詳細設定** にタッチします。

2 **地図表示設定** にタッチします。



3 自車マーク変更の、**ノーマル** ・ ・ ・ ・ のいずれかにタッチします。



4 **完了** にタッチします。

地図の名称（文字）サイズの切り替え

地図に表示されている名称（文字）の大きさを、**大** ・ **中** ・ **小** から選ぶことができます。



● 文字サイズ［大］



● 文字サイズ［中］



● 文字サイズ［小］

1 設定・編集画面（ナビ）（77 ページ参照）で、**ナビ詳細設定** にタッチします。

2 **地図表示設定** にタッチします。



3 地図の文字サイズ変更の、**大** ・ **中** ・ **小** のいずれかにタッチします。



4 **完了** にタッチします。

ワンポイント

3D表示（112 ページ参照）にしている場合、手前側から大きい文字で表示されます。

3. 画面の調整・音声の設定

時計表示の切り替え

地図画面に表示される現在時刻の表示を切り替えることができます。

1 設定・編集画面（ナビ）（77 ページ参照）で、**ナビ詳細設定** にタッチします。

2 **その他** にタッチします。



3 時計表示の **する** 、または **しない** にタッチします。



4 **完了** にタッチします。

ワンポイント

時計表示の時刻はGPS電波を利用して自動調整します。（手動で調整することはできません。）

音量の設定

操作の手引きを説明する音声やルート案内中に聞こえる音声の音量を調整することができます。

■音量を調節する

1 設定・編集画面（ナビ）（77 ページ参照）で、**音量設定** にタッチします。

2 **消音** ・ **小** ・ **・** ・ **・** ・ **中** ・ **・** ・ **・** ・ **大** のいずれかにタッチします。



3 **完了** にタッチします。

■高速走行時の自動音量切り替えを設定する

高速走行中は、設定した音量が自動的に1段階上がるようにすることができます。

自動音量切替をON（自動で上がる）にするか、OFF（上がらない）にするか、選ぶことができます。

1 設定・編集画面（ナビ）（77 ページ参照）で、**音量設定** にタッチします。

2 高速時の自動音量切替 にタッチします。

● タッチするたびに、ONとOFFが切り替わります。



3 完了 にタッチします。

ワンポイント

高速時の自動音量切替をONにすると、車速が約80km/h以上になったときに、設定した音量が自動的に1段階上がります。（車速が約70km/h以下になると、もとの音量にもどります。）

操作説明音声（ボイスヘルプ）の設定

操作の手引きとなる説明音声を出力させることができます。

■操作説明音声を設定する

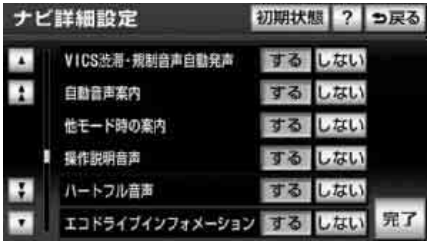
操作説明音声をON（発声する）にするか、OFF（発声しない）にするか、選ぶことができます。

1 設定・編集画面（ナビ）（77 ページ参照）で、ナビ詳細設定 にタッチします。

2 音声設定 にタッチします。



3 操作説明音声の する 、または しない にタッチします。



4 完了 にタッチします。

3. 画面の調整・音声の設定

ハートフル音声の設定

ハートフル音声をON（発声する）に設定すると、通常のナビゲーションの音声案内とは別に日付、あいさつなどの音声を出力させることができます。

その日に初めてエンジンスイッチをACC、またはONにし、ナビゲーション画面を表示したとき日付、曜日などをお知らせします。

[ハートフル音声の例]

- 日付案内の例
  今日は○月○日○曜日○○○（記念日など）です。（1回のみ／日）
- 自宅到着の例
  お疲れさまでした。（目的地設定の **自宅に帰る** からルート案内したときのみ）
- 挨拶の例
  - 明けましておめでとうございます。（1/1～1/3に1回のみ／日）
  - メリークリスマス。（12/24～12/25に1回のみ／日）

■ハートフル音声を設定する

ハートフル音声をON（発声する）にするか、OFF（発声しない）にするか、選ぶことができます。

1 設定・編集画面（ナビ）（77 ページ参照）で、**ナビ詳細設定** にタッチします。

2 **音声設定** にタッチします。



3 ハートフル音声の **する** 、または **しない** にタッチします。



4 **完了** にタッチします。

ワンポイント

以下の場合、ハートフル音声が2回出力されます。

- 午前 5 時までにナビゲーションを起動する
  …1回目の音声出力
- 再度、午前5時以降にナビゲーションを起動する
  …2回目の音声出力

注意喚起設定をする

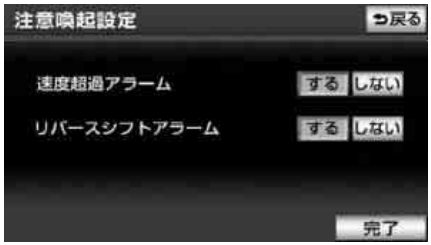
注意喚起設定では、運転中に車両の状態を音声で案内させることができます。

■速度超過アラームを設定する

走行時、車速が約100km/h になったとき、速度に注意するよう音声で案内させることができます。

1 設定・編集画面（運転支援）（77ページ参照）で **注意喚起設定** にタッチします。

2 速度超過アラームの **する** 、または **しない** にタッチします。



3 **完了** にタッチします。

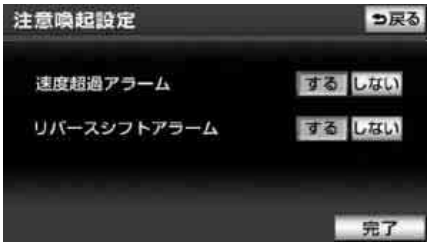
■リバースシフトアラームを設定する

バックギアにシフトしたときに、画面表示と音声で案内させることができます。



1 設定・編集画面（運転支援）（77ページ参照）で **注意喚起設定** にタッチします。

2 リバースシフトアラームの **する** 、または **しない** にタッチします。



3 **完了** にタッチします。

ワンポイント

バックアイカメラ接続時は音声のみ案内されます。

4. 地図の表示

現在地の表示

エンジンスイッチをACC、またはONにすると、現在地画面になります。

- 地図に現在の車の位置（自車位置）が表示されます。
- 現在地以外の画面を表示させているときは、現在地 を押すと、現在地画面にもどります。

チェック

- エンジンスイッチを OFF（LOCK）にするとき、TVやDVDなどの映像画面を表示していた場合は、エンジンスイッチをACC、またはONにしても現在地が表示されません。
- 高速路線マップを表示させているときは、地名・路線名・路線番号は表示されません。

1 現在地画面で、現在地 を押します。

- 現在地付近の地名が表示されます。
- 現在地が道路上のときは、路線名・路線番号が表示される場合があります。（25m～200mスケール図のとき）

地名表示



ワンポイント

- 取り付け後、およびバッテリーターミナルを脱着したあとは、実際の現在地と異なる場所に自車マークが表示されている（自車マークがずれている）ことがあります。しばらく走行すると、マップマッチングやGPS情報が利用されて、自車位置が自動的に修正されます。（場合によっては、数分程度かかることがあります。）
  GPS情報が利用されず、自車位置が自動的に修正されないときは、安全な場所にいったん停車して、自車位置の修正を行ってください。（315 ページ参照）
- 走行中は道路の表示が制限されます。（細街路などは表示されません。）ただし、細街路を走行したときなどは、必要に応じて表示されます。

■緯度・経度の表示

現在地の緯度や経度を表示することができます。

1 現在地画面で、現在地 を押します。

2 座標 にタッチします。



● 現在地の住所と、緯度経度の座標が表示されます。



ワンポイント

緯度経度は、世界測地系と日本測地系の両方の座標が表示されます。

地図の移動（ワンタッチスクロール）

地図を表示させているときに、地図（タッチスイッチ以外の場所）に直接タッチすると、タッチした地点が画面の中心となり、地図を動かすこと（スクロール）ができます。また、スクロール中は、地図中心付近の地名を表示します。

■地図の移動

1 地図にタッチ（タッチスイッチ以外の場所）します。

● 地図左に現在地からの直線距離が表示されます。

● 画面の中心付近にタッチし続けるとゆっくり連続して地図が移動します。

● 画面の端付近にタッチし続けると高速で連続して地図が移動します。

● 地図の移動後、カーソルの地名が約 6 秒間、画面上部に表示されます。

● カーソル位置が道路上のときは、路線名・路線番号が表示される場合があります。（50m～200mスケール図のとき）

地名表示



ワンポイント

●安全のため、走行中の地図の移動は、一定の距離でのスクロールになります。

●ワンタッチスクロールで地図を動かすと、地図が固定され、現在地が移動しても地図は動きません。現在地 を押すと、もとの状態（地図が動く）にもどります。

●地図を移動させたときは、地図向きの切り替え（103 ページ参照）ができないことがあります。

■スクロール時の地名表示を設定する

地図スクロール時の地名表示をON（する）にするか、OFF（しない）にするか、選ぶことができます。

1 設定・編集画面（ナビ）（77 ページ参照）で、**ナビ詳細設定** にタッチします。

2 **地図表示設定** にタッチします。



次ページに続く

4. 地図の表示

3 地図スクロール時の地名表示の **する** 、または **しない** にタッチします。



4 **完了** にタッチします。

タッチスイッチの表示切り替え

地図を表示させているときに、画面上のタッチスイッチの表示を少なくすることができます。

■ タッチスイッチの表示を切り替える

1 **♪Info** にタッチします。

- 現在作動しているオーディオのソース名や再生している曲名、受信している放送局名などの情報が表示されます。(342 ページ参照)



2 **◀◀Off** にタッチします。

- タッチスイッチが表示されていないときは、タッチスイッチによる操作をすることはできません。操作をするときは、タッチスイッチを表示させてください。



- タッチスイッチが表示されていないときに、**▶▶On** にタッチすると、タッチスイッチが表示されます。

■ タッチスイッチの表示を設定する

◀◀Off にタッチしたときに表示するスイッチを設定することができます。

1 設定・編集画面（ナビ）（77 ページ参照）で、 **ナビ詳細設定** にタッチします。

2 **その他** にタッチします。



3 スイッチ表示設定の **変更する** にタッチします。



4 表示するタッチスイッチ（トーンダウンしているタッチスイッチ）にタッチします。

- トーンダウンしているタッチスイッチは **◀◀Off** にタッチしたとき表示されません。
- **初期状態** にタッチすると、タッチスイッチの表示設定が初期設定の状態にもどります。
- タッチスイッチの表示設定で、すべてのタッチスイッチを表示する設定にしたとき、**▶▶On** は表示されません。

表示されるタッチスイッチ



表示されないタッチスイッチ

5 **完了** にタッチします。

ワンポイント

広域 、および **詳細** の表示設定は同じになります。別々の表示設定にすることはできません。

地図縮尺の切り替え

地図を1/2048万図～1/2500図までの希望の縮尺（地図の範囲）に切り替えることができます。また、目的地が設定されているときは、ワンタッチで目的地までを表示する縮尺に切り替えることができます。

タッチスイッチ		縮尺	スケール表示
市街図	詳細	1/2500	25m
	広域	1/5000	50m
市街図		1/5000	50m
詳細		1/1万	100m
		1/2万	200m
		1/4万	400m
		1/8万	800m
		1/16万	1.6km
		1/32万	3km
		1/64万	7km
		1/128万	13km
		1/256万	26km
		1/512万	50km
		1/1024万	100km
広域		1/2048万	200km

4. 地図の表示

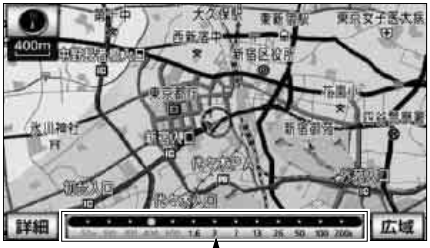
■希望の縮尺に切り替える

チェック

走行中は安全のため、縮尺を無段階に切り替える、またはスケールバーの数字にタッチして縮尺を切り替えることはできません。

1 地図の範囲を広くするときは **広域** 、狭くするときは **詳細** にタッチします。

- タッチスイッチにタッチするごとに、1段階ずつ切り替わります。
- **広域** 、または **詳細** にタッチしたあと、スケールバーの数字にタッチすると、タッチした数字の縮尺に切り替わります。
- **広域** 、または **詳細** を約1秒以上タッチし続けると、縮尺を無段階に切り替えることができます。
- 新たに切り替えた縮尺が ◯ （黄色）で表示されます。



スケールバー

ワンポイント

- 3D 表示にしているときはスケール表示の ⌊⌋ を表示しません。また、バーチャタウンマップ表示中はREALと表示します。
- 最大範囲（200km スケール図）にすると **広域** が消去されます。また、最小範囲（50mスケール図）にすると **詳細** が **市街図** （100 ページ参照）に切り替わります。（市街図が収録されている地域のみです。市街図が収録されていない地域は **詳細** が消去されます。）

■目的地までの縮尺に切り替える

目的地が設定されているときに、現在地を中心にワンタッチで、目的地までのルートを表示できる縮尺に切り替えることができます。

（複数の目的地が設定されているときは次の目的地まで）

チェック

3D表示中（112 ページ参照）、市街図表示中（100 ページ参照）は **ルート** が表示されません。

1 目的地が設定されているときに、**広域** 、または **詳細** にタッチします。



2 **ルート** にタッチします。



ワンポイント

設定しているルート、または現在地によってはルート全体を表示できないことがあります。

■縮尺切替メッセージ表示を設定する

縮尺切替中に『市街図を表示します』などのメッセージを画面に表示させることができます。



● 縮尺切替メッセージ表示

縮尺切替メッセージ表示をON（する）にするか、OFF（しない）にするか、選ぶことができます。

1 設定・編集画面（ナビ）（77 ページ参照）で、**ナビ詳細設定** にタッチします。

2 **案内表示設定** にタッチします。



3 縮尺切替メッセージ表示の **する**、または **しない** にタッチします。



4 **完了** にタッチします。

📖ワンポイント

縮尺切替メッセージ表示を **する** に設定したときは、以下のメッセージを表示することができます。

- 「都市高マップは 200m 図より詳細な地図では表示できません」
- 「都市高マップは 1.6km 図より広域な地図では表示できません」
- 「施設情報・VICS 情報は広域の地図には表示されません」
- 「施設情報は 800m 図より広域の地図には表示されません」
- 「VICS・交通情報は 1.6km 図より広域の地図には表示されません」
- 「市街図を表示します」
- 「リアル市街図を表示します」

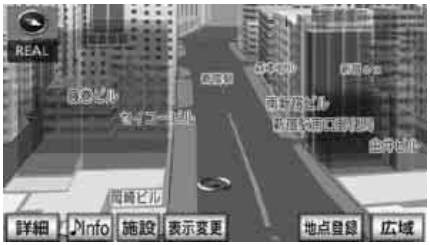
4. 地図の表示

市街図の表示

市街図が収録されている地域では、1 ／ 2500図（25mスケール図）と1／5000図（50mスケール図）の市街図表示に切り替えることができます。



● 市街図



● バーチャタウンマップ表示

■市街図表示に切り替える

1 50mスケール図を表示させているときに、**市街図** にタッチします。

● 50mスケールの市街図が表示されます。



■市街図の縮尺を切り替える

1 地図の範囲を広くするときは **広域** 、狭くするときは **詳細** にタッチします。



ワンポイント

- 市街図が収録されていない地域に地図、または現在地を移動させると、市街図表示は自動的に解除されます。
- 25m　スケールの市街図では、一方通行を ➡ で表示します。バーチャタウンマップでは ⊖ で表示します。**「バーチャタウンマップを表示する」**（112ページ参照）
- 走行中、市街図で地図の移動（ワンタッチスクロール）はできません。
- 3D 表示にしているとき、25m スケールの市街図表示に切り替えると、自動的にバーチャタウンマップ表示になります。バーチャタウンマップ表示の操作については、**「バーチャタウンマップを表示する」**（112ページ）を参照してください。

■市街図表示を解除する

1 50mスケールの市街図を表示させているときに、**広域** にタッチします。



■施設の内容を表示する（ビルディングクイックサーチ）

1 市街図を表示させているときに、**施設** にタッチします。

- 3D表示（バーチャタウンマップ含む）・2画面表示の場合は解除され、通常の市街図になります。



2 にタッチして、内容を表示させる施設がある建物の位置に地図を動かします。



3 **施設情報** にタッチします。

- 選んだ建物の建物名称・建物形状（建物が立ち上がります。）・施設の件数・階数・店名・会社名などが表示されます。
- 選んだ建物に複数の施設がないときは、施設の内容が表示されます。



4 表示させる施設名称にタッチします。

- 選んだ施設の内容が表示されます。
- リスト最上段の施設位置を建物に表示します。



4. 地図の表示

走行軌跡の表示

走行した道路の軌跡（約1000km）を自動で保存し、表示することができます。

保存できる距離をこえて走行したときは、古い軌跡は消去して、新しい軌跡を保存します。



走行軌跡表示

■走行軌跡を表示する

チェック

- ●25m～50kmスケール図で表示させることができます。
- ●バーチャタウンマップ（112 ページ参照）、または高速路線マップ（109 ページ参照）を表示させているときは、走行軌跡を表示することはできません。

1 地図を表示させているときに、**表示変更** にタッチします。

2 **走行軌跡表示** にタッチします。



■走行軌跡の消去・表示解除をする

1 地図を表示させているときに、**表示変更** にタッチします。

2 **走行軌跡解除** にタッチします。



3 **はい** 、または **いいえ** にタッチします。

- **はい** 保存してある軌跡を消去して、表示も解除します。
- **いいえ** 保存してある軌跡はそのままで、表示を消去します。



地図向きの切り替え

表示させている地図の向きを切り替えることができます。

● ノースアップ表示

車の進行方向に関係なく、つねに北が上になるように地図が表示されます。



● ノースアップ表示

● ヘディングアップ表示

北を示します（赤色）

車の進行方向がつねに上向きになるように地図が表示されます。



● ヘディングアップ表示

■地図の向きを切り替える

チェック

3D表示（112 ページ参照）にしているときは、地図向きを切り替えることはできません。

1 （または ）にタッチします。

● ノースアップ表示とヘディングアップ表示が切り替わります。



ワンポイント

ヘディングアップ表示のとき、目的地の設定で呼び出した地図・全ルート図表示画面などは、ノースアップ表示になりますが、現在地画面にすると、ヘディングアップ表示にもどります。

4. 地図の表示

フロントワイド表示の切り替え

画面の中心に表示される自車マーク を、中心からずれて表示させることにより、進行方向の地図を広く表示させることができます。

次のそれぞれの条件で、フロントワイド表示にさせることができます。

① ノースアップ表示（1 画面表示）のとき、車の進行方向の地図を広く表示させる。

② 2画面表示（105 ページ参照）の右画面が、ノースアップ表示のとき、車の進行方向の地図を広く表示させる。

③ ヘディングアップ表示のとき、車の進行方向の地図を広く表示させる。

④ 2画面表示（105 ページ参照）の右画面が、ヘディングアップ表示のとき、車の進行方向の地図を広く表示させる。



● フロントワイド表示



● 通常の表示

■ フロントワイド表示を設定する

①～④の条件それぞれで、フロントワイド表示をON（する）にするか、OFF（しない）にするか、選ぶことができます。

1 設定・編集画面（ナビ）（77 ページ参照）で、**ナビ詳細設定** にタッチします。

2 **地図表示設定** にタッチします。



3 各フロントワイドの項目の **する** 、または **しない** にタッチします。



4 **完了** にタッチします。

2画面表示の切り替え（Wサイトナビ）

地図を表示させているときに、画面を左右に2分割して次のような表示をさせることができます。

[例]

左右異なる縮尺・ヘディングアップ表示とノースアップ表示・施設表示のONとOFF・3D表示のONとOFFに分割して表示できます。



● 2画面表示

■2画面表示に切り替える

チェック

シティドライブモード画面（107 ページ参照）、ターンリスト図（197 ページ参照）などの案内図表示中は2画面に切り替えることができません。

1 地図を表示させているときに、**表示変更** にタッチします。



2 **地図表示** にタッチします。



3 **2Dツイン**（通常の2画面表示）、または **3Dツイン**（左画面を3D表示した2画面表示）にタッチします。

● 2画面表示に切り替わります。

● 左側の画面は 1 画面表示のときと同じ方法で操作できます。



ワンポイント

目的地の設定で呼び出した地図・全ルート図表示画面などは、2画面表示が解除されますが、現在地画面にすると、2画面表示にもどります。

4. 地図の表示

■右画面を操作する

1 右画面内の地図にタッチします。

2 各タッチスイッチにタッチすると次の操作ができます。



■ **地図縮尺を切り替える（97 ページ参照）**

詳細 、または 広域 にタッチします。

■ **地図の向きを切り替える（103 ページ参照）**

（または ）にタッチします。（2画面表示でも操作できます。）

■ **3D表示に切り替える（112 ページ参照）**

3D表示をON（する）にするか、OFF（しない）にするか、選ぶことができます。3D表示 にタッチします。

■ **施設の表示を設定する（120 ページ参照）**

左画面に施設を表示させているとき、施設をON（表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。周辺施設表示 にタッチします。

■ **VICS情報の表示を設定する（225 ページ参照）、（227 ページ参照）**

左画面にVICS情報を表示させているとき、VICS情報をON（表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。VICS表示 にタッチします。

3 地図縮尺、または地図の向きを切り替えた場合、戻る にタッチします。

ワンポイント

- 2画面にしたときの右画面については、前回に設定した表示方法が記憶されています。
- 施設の表示・VICS情報の表示は、左画面と同じ表示設定で、右画面にも表示されます。また、左画面に表示させていないときは、右画面に表示できません。

■2画面表示を解除する

1 地図を表示させているときに、表示変更 にタッチします。

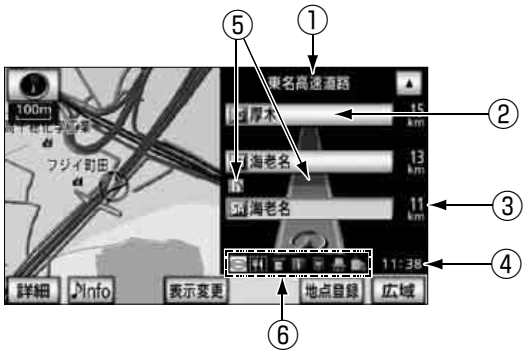
2 地図表示 にタッチします。

3 2D （通常の表示）、または 3D （通常の3D表示）にタッチします。



シティドライブモード画面

高速道路走行中（東名高速道路、名神高速道路など）、自動的に画面を左右に2分割して右側にシティドライブモード画面を表示します。また、目的地案内中は都市高速、有料道路でも自動でシティドライブモード画面が表示されます。



① 道路名称表示
走行中、または選んだ施設（SA・PA・IC）のある道路名称が表示されます。

② 施設名称表示
施設（SA・PA・IC）の名称が表示されます。

③ 距離表示
現在地からの距離が表示されます。

④ 通過予想時刻表示
選んだ施設（SA・PA・IC）の通過予想時刻が表示されます。

⑤ VICSマーク・表示
VICS情報が受信されたとき、表示されます。（VICSマークについては、**「地図に表示されるVICS表示マークについて」**（232ページ）、VICS表示については**「VICS情報表示の設定」**（225ページ）、**「VICS情報の表示」**（227ページ）を参照してください。）

⑥ 設備マーク表示
選んだ施設［サービスエリア（SA）・パーキングエリア（PA）］にある設備が最大7つまで表示されます。（ガソリンスタンドは常に先頭に表示されます。設備が多い場合、表示されないマークもあります。）

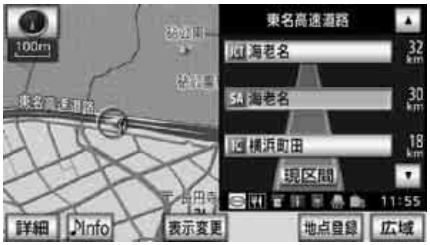
次ページに続く

4. 地図の表示

■シティドライブモード画面を操作する

1 ▲ ・ ▼ 、または施設（SA・PA・IC）名称にタッチします。

- 選んだ施設（SA・PA・IC）に切り替わります。
- 施設(SA･PA･IC)を選んだとき、**現区間** にタッチすると、現在地からのシティドライブモード画面にもどります。



■シティドライブモード画面を解除する

1 **表示変更** にタッチします。

2 **地図表示** にタッチします。

3 **高速略図解除** にタッチします。

- 再度、シティドライブモード画面を表示するときは、この画面で、**高速略図表示** にタッチします。



■ 設備マーク表示

マーク	内容
	レストラン
	ドラッグストア
	仮眠施設
	お風呂
	キャッシュコーナー
	ハイウェイ情報ターミナル
	郵便局・ポスト
FAX	ＦＡＸ
	ショッピングコーナー
	休憩所
	スナックコーナー
	トイレ
	ハイウェイオアシス
IC	スマートインターチェンジ

- ガソリンスタンドは、ロゴマークが表示されます。

ワンポイント

- 目的地案内をしていないときの施設名称表示は、最大10カ所までになります。
- 反対車線の施設情報は表示されません。
- 通過予想時刻※は設定した平均車速（191ページ参照）から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。
  ※ 通過予想時刻（ ④ ）には、VICS情報および渋滞統計データは考慮されません。
- サービスエリア（SA）・パーキングエリア（PA）にはいるなど、高速道路の本線からはずれたときは、シティドライブモードが解除されることがあります。
- 目的地案内中、出口インターチェンジ（IC）、分岐するジャンクション（JCT）、サービスエリア（SA）、またはパーキングエリア（PA）の手前では、高速分岐模式図（198ページ参照）が自動的に表示され、シティドライブモードが解除されます。（高速分岐模式図自動表示が **しない** に設定されているときは切り替わりません。）ジャンクション（JCT）、サービスエリア（SA）、またはパーキングエリア（PA）のときは、高速分岐模式図が終了すると、自動的にシティドライブモードにもどります。
- ターンリスト図（197 ページ参照）は、同時に表示することができません。

高速路線マップ

高速道路や一般道路を走行中に、画面に高速道路を表示して案内することができます。

■高速道路を走行中の場合

高速道路を走行すると、自動的に右画面がシティドライブモードに切り替わります。その際に左画面に高速路線マップを表示することができます。



● 高速路線マップ表示

4. 地図の表示

高速路線マップの縮尺を切り替える

チェック

走行中はスケールバーにタッチして縮尺を切り替えることができません。

1 表示範囲を広くするときは **広域** 、狭くするときは **詳細** にタッチします。（4段階に切り替えることができます。）

- タッチスイッチにタッチするごとに、1段階ずつ切り替わります。
- **広域** 、または **詳細** にタッチしたあと、スケールバーにタッチすると、タッチした縮尺に切り替わります。



ワンポイント

目的地案内中、出口インターチェンジ（IC）、分岐するジャンクション（JCT）、サービスエリア（SA）、またはパーキングエリア（PA）の手前では、地図の右側に高速分岐模式図（198 ページ参照）が自動的に表示されます。（高速分岐模式図自動表示を **しない** に設定しているときは表示されません。）ジャンクション（JCT）、サービスエリア（SA）、またはパーキングエリア（PA）のときは、高速分岐模式図が終了すると、自動的にもとの画面にもどります。

高速路線マップの自動表示を設定する

高速路線マップを自動でON（自動で切り替える）にするか、OFF（切り替えない）にするか、選ぶことができます。

1 設定・編集画面（ナビ）（77 ページ参照）で、 **ナビ詳細設定** にタッチします。

2 **自動表示切替設定** にタッチします。



3 高速路線マップ自動表示の **する** 、または **しない** にタッチします。



4 **完了** にタッチします。

ワンポイント

- 高速路線マップ自動表示が **しない** に設定されているときは、**表示変更** から高速路線マップを表示することができます。
- **「都市高マップ」**（198 ページ参照）は、同時に表示することができません。

高速路線マップ表示を解除する

1 高速路線マップを表示させているときに **表示変更** にタッチします。

2 **地図表示** にタッチします。



3 **高速路線マップ解除** にタッチします。

● 表示するときは、再度この画面で、**高速路線マップ表示** にタッチします。



■一般道路を走行中の場合

一般道路を走行中、現在地付近の高速路線マップを表示させることができます。



● 高速路線マップ表示

高速路線マップに表示を切り替える

1 地図を表示させているときに **表示変更** にタッチします。

2 **地図表示** にタッチします。



3 **高速路線マップ** にタッチします。

● 解除するときは、高速路線マップ画面で、**戻る** にタッチ、または **現在地** を押します。



ワンポイント

高速路線マップは地図向きを切り替えることができません。

4. 地図の表示

3D表示の設定

地図を立体的に表示させることができます。

■3D表示に切り替える

1 地図を表示させているときに、**表示変更** にタッチします。

2 **地図表示** にタッチします。



3 **3D**（通常の3D表示）、または **3Dツイン**（左画面を3D表示した2画面表示）にタッチします。

● 3D表示に切り替わります。

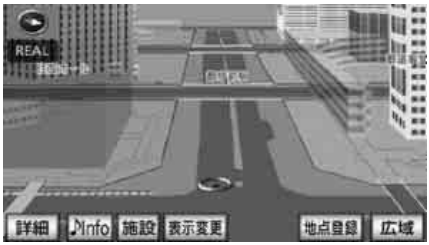


ワンポイント

- 3D表示は、ヘディングアップ・フロントワイド表示になります。
- 目的地の設定で呼び出した地図・全ルート図表示画面などは、3D表示が解除されますが、現在地画面にすると、3D表示にもどります。

■バーチャタウンマップを表示する

3D表示にさせていたとき、25mスケールの市街図表示に切り替えると、自動的にバーチャタウンマップ表示になります。



● **バーチャタウンマップ表示**

1 50mスケールの3D市街図表示で、**詳細** にタッチします。

● 市街図表示については、**「市街図の表示」**（100ページ）を参照してください。



ワンポイント

- 25mスケールの市街図表示中に3D表示に切り替えてもバーチャタウンマップ表示になります。
- バーチャタウンマップにすると一方通行の表示が ⊖ にかわります。

■バーチャタウンマップの視点を調整する

バーチャタウンマップの視点（角度と高さ）を切り替えることができます。

1 視点を上げるときは **広域** 、下げるときは **詳細** にタッチします。

- タッチするたびに低⇑⇓ 中⇑⇓ 高の３段階に切り替わります。
- スケールバーにタッチすると、低 ⇑⇓ 中 ⇑⇓ 高の3段階に切り替わります。
- **広域** 、または **詳細** を約１秒以上タッチし続けると、9段階に切り替わります。



ワンポイント

- バーチャタウンマップの視点（角度と高さ）が最大（高）のとき、**広域** にタッチすると、バーチャタウンマップを解除することができます。
- バーチャタウンマップの視点（角度と高さ）が最小（低）のとき、**詳細** は表示されません。

■見下ろす角度を調整する

チェック

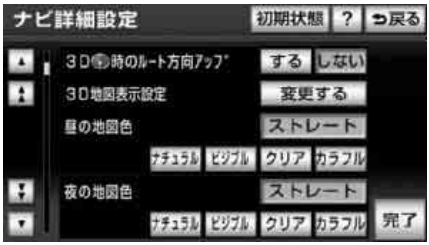
走行中は、見下ろす角度の調整は操作できません。

1 設定・編集画面（ナビ）（77 ページ参照）で、**ナビ詳細設定** にタッチします。

2 **地図表示設定** にタッチします。



3 3D地図表示設定の **変更する** にタッチします。



4 角度を上げるときは 、下げるときは  にタッチして角度を設定します。

- **初期状態** にタッチすると、角度が初期設定の状態（約23∀）にもどります。



5 **セット** にタッチします。

4. 地図の表示

■地図向きを回転する

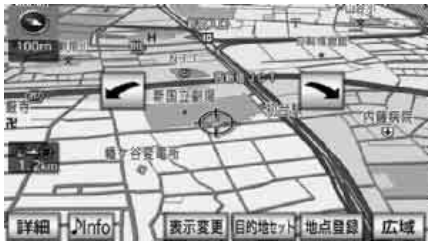
チェック

走行中は、地図向きを回転することができません。

1 3D表示させているときに、地図にタッチします。

2 にタッチすると時計まわり、にタッチすると反時計まわりに回転します。

● 現在地 を押すと、もとの表示状態（回転前の状態）にもどります。



■ルート方向アップ表示を設定する

3D表示画面で目的地案内中は、ルートが表示されている方向の地図を広く表示させることができます。

ONのときは、方位マークが になります。



● ルート方向アップ表示

ルート方向アップをON（する）にするか、OFF（しない）にするか、選ぶことができます。

1 設定・編集画面（ナビ）（77 ページ参照）で、ナビ詳細設定 にタッチします。

2 地図表示設定 にタッチします。



3 3D 時のルート方向アップの する 、または しない にタッチします。



4 完了 にタッチします。

■3D表示、バーチャタウンマップを解除する

1 3D表示、バーチャタウンマップを表示させているときに、表示変更 にタッチします。

2 地図表示 にタッチします。



3 2D （通常の表示）、または 2Dツイン （通常の2画面表示）にタッチします。



リアルワイドマップ

リアルワイドマップでは表示する地図を行政区域ごとに塗り分け、地図マークをイラスト的に表示します。また、道路の太さをより実際に近づけて表示します。（初期状態は表示する設定になっています。）



● リアルワイドマップ表示



● 通常地図表示

■ リアルワイドマップ表示を設定する

リアルワイドマップ表示をON（する）にするか、OFF（しない）にするか、選ぶことができます。

1 設定・編集画面（ナビ）（77 ページ参照）で、 ナビ詳細設定 にタッチします。

2 地図表示設定 にタッチします。



3 リアルワイドマップ表示の する 、または しない にタッチします。



次ページに続く

4. 地図の表示

4 完了 にタッチします。

シーズンレジャーランドマークの表示

桜の名所など、季節や場所（名所）に応じたシーズンレジャーランドマークを表示させることができます。

［例］

マーク	内容
	桜の名所
	紅葉の名所



● シーズンレジャーランドマーク表示

チェック

800mスケール図以下の詳細な地図で表示させることができます。（全ルート図表示画面、バーチャタウンマップを除く）

■シーズンレジャーランドマーク表示を設定する

シーズンレジャーランドマークをON（表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。

1 設定・編集画面（ナビ）（77 ページ参照）で、 ナビ詳細設定 にタッチします。

2 地図表示設定 にタッチします。



3 シーズンレジャーランドマーク表示の する 、または しない にタッチします。



4 完了 にタッチします。

3Dランドマークの表示

地図に立体的な施設マーク（3Dランドマーク）を表示させることができます。



● 3Dランドマーク表示

チェック

800mスケール図以下の詳細な地図で表示させることができます。（全ルート図表示画面、バーチャタウンマップを除く）

■ 3Dランドマークの表示を設定する

3DランドマークをON（表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。

1 設定・編集画面（ナビ）（77 ページ参照）で、**ナビ詳細設定** にタッチします。

2 **地図表示設定** にタッチします。



3 立体ランドマーク表示の **する** 、または **しない** にタッチします。



4 **完了** にタッチします。

■ 3Dランドマークの内容を表示する

1 3Dランドマークにタッチします。

● 3 D ランドマークの名称と現在地からの直線距離が表示されます。

2 **情報** にタッチします。

● 3Dランドマークの内容が表示されます。



直線距離表示

4. 地図の表示

県境案内の設定

都道府県境をこえたとき、地図右上にその都道府県のマークを表示させ音声で案内することができます。



● 県境案内表示

■県境案内表示を設定する

県境案内をON（表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。

1 設定・編集画面（ナビ）（77 ページ参照）で、**ナビ詳細設定** にタッチします。

2 **案内表示設定** にタッチします。



3 県境案内の **する** 、または **しない** にタッチします。



4 **完了** にタッチします。

注意地点案内（安全・快適走行設定）の設定

注意する地点の案内がある場所に近づくと、地図右上にマークを表示し、音声でお知らせします。



● 注意地点案内表示

場所	案内マーク
一時停止	
踏切	
合流	
カーブ	

場所	案内マーク
レーン※1	
事故多発地点※2	
学校付近	

※1 都市高速道路走行中のみ表示されます。一般道路は音声のみの案内になります。

※2 一般道路走行中は地図上のマーク表示のみになります。

ワンポイント

- 地図データに情報のない地点では、注意地点案内は行われません。
- 合流の案内は、直前の分岐から距離が短い場合は行われないことがあります。
- 目的地案内開始直後や目的地周辺では、注意地点案内が行われないことがあります。
- 次の注意地点案内が近いときは、続けて案内が行われます。
- 案内マークは50 ～ 800m スケール図の地図で表示させることができます。（バーチャタウンマップ、全ルート図表示画面を除く）
- 踏切案内、合流案内のマークが表示される地点は地図上に■（黄色）で表示されます。
- 高速路線マップを表示している場合は、地図上に■（黄色）は表示されません。
- この地図に使用している事故多発地点データは、警察庁および国土交通省のデータをもとに作成しました。
- 注意地点案内は、遅れたり早くなることがあります。
- 学校存在案内は、主に全国の小学校、中学校を対象としています。また、通学時間帯以外は案内しない場合があります。

■注意地点案内を設定する

各注意地点案内をON（案内する）にするか、OFF（案内しない）にするか選ぶことができます。

1 設定・編集画面（ナビ）（77 ページ参照）で、**運転支援** にタッチします。

2 **安全・快適走行設定** にタッチします。



3 各注意地点案内の **する** 、または **しない** にタッチします。



4 **完了** にタッチします。

4. 地図の表示

施設の表示

地図に ◮、または ✥ から半径約10km以内にある施設のマークを最大200件表示することができます。

チェック

800mスケール図以下の詳細な地図で表示させることができます。(全ルート図表示画面を除く)



● 施設表示

ワンポイント

◮ または ✥ が移動すると施設ランドマークの表示も切り替わります。

■走行中に簡易操作で表示する

走行中に簡易操作で施設ランドマークを表示することができます。

チェック

高速路線マップを表示させているときは、施設ランドマークを表示させることはできません。

1 地図を表示させているときに、**表示変更** にタッチします。

2 **周辺施設** にタッチします。



3 表示させる施設 **GS** 、**コンビニ** 、**レストラン** 、**駐車場** 、**銀行** 、**郵便局** にタッチします。

- タッチした施設ランドマークが表示されます。
- **1** ～ **3** を繰り返すと、5つまで選択することができます。
- もう一度タッチすると、選んだ施設ランドマークが解除されます。



ワンポイント

走行中に表示することができる施設ランドマークを変更することができます。**「周辺施設走行中呼び出しジャンルの変更」**（124ページ参照）

■施設ランドマークを消去する

1 地図を表示させているときに、**表示変更** にタッチします。

2 **周辺施設** にタッチします。



3 **表示解除** にタッチします。



■複数ジャンルを表示する

複数（5ジャンルまで）の施設ランドマークを表示させることができます。

1 設定・編集画面（ナビ）（77 ページ参照）で、**ナビ詳細設定** にタッチします。

2 **地図表示設定** にタッチします。



3 周辺施設表示の **変更する** にタッチします。



4 **全ジャンル** にタッチします。



次ページに続く

4. 地図の表示

5 施設のジャンルにタッチします。



6 表示させる詳細な施設のジャンルにタッチします。

- マークが表示されていないジャンルにタッチしたときは、さらに詳細な施設のジャンルを選択することができます。
- 5 ジャンルまでの施設ランドマークを同時に表示させることができます。
- ○○全て にタッチすると、その項目のすべてのジャンルが選択されます。
- 表示解除 にタッチすると、選択されているすべてのジャンルが解除されます。
- もう一度タッチすると、選んだ施設ランドマークが解除されます。



7 完了 にタッチします。



■周辺の施設を検索する

施設ランドマークを表示しているときに 、または の10km以内にある施設を検索することができます。

1 地図を表示させているときに、表示変更 にタッチします。

2 周辺施設 にタッチします。



3 **施設検索** にタッチします。

● 選択されている施設のリストが表示されます。



4 表示させる施設名称にタッチします。

● 選んだ施設を中心にした地図が表示され、施設の名称と現在地からの直線距離が表示されます。

● のとき前方に施設がある場合は（矢印上）で表示されます。（車の進行方向から見える位置）

● **種類順** にタッチすると、施設のマークの種類順に並びかわります。

● **距離順** にタッチすると、 、または から近い施設の距離順に並びかわります。

● 目的地が設定されているときは、ルートに沿ったリストを表示することができます。**「ルートを考慮したリストを表示する」**（123ページ参照）



5 **情報** が表示されたときは、**情報** にタッチします。

● 施設の内容が表示されます。



■ルートを考慮したリストを表示する

目的地が設定されているとき、距離・方向をルートに連動したリストにすることができます。（距離の表示は道なり距離、マークの表示は施設がルートの左右どちらか、または現在地より後方を表示しています。）

1 **ルート沿い考慮** にタッチします。

● 施設名称にタッチすると、選んだ施設を中心にした地図が表示され、施設名称と現在地からの道なり距離が表示されます。

● **距離順** にタッチすると、 から近い施設の距離順に並びかわります。

● **種類順** にタッチすると、施設のマークの種類順に並びかわります。



4. 地図の表示

■施設の情報を表示する（クイックサーチ）

1 施設ランドマークにタッチします。

- 施設の名称と現在地からの直線距離が表示されます。
- 同じ建物に複数の施設がある場合、施設ランドマークにタッチするごとに、施設名称が切り替わります。

2 **情報** が表示されたときは、**情報** にタッチします。

- 施設の内容が表示されます。



周辺施設 走行中呼び出しジャンルの変更

走行中に簡易操作で表示することができる施設ランドマーク（120 ページ参照）を設定することができます。

初期状態は **GS** 、 **コンビニ** 、 **レストラン** 、 **駐車場** 、 **銀行** 、 **郵便局** が設定されています。

1 設定・編集画面（ナビ）（77 ページ参照）で、 **ナビ詳細設定** にタッチします。

2 **その他** にタッチします。

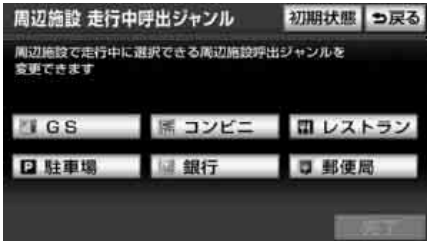


3 周辺施設 走行中呼出ジャンルの **変更する** にタッチします。



4 変更したい施設のジャンルにタッチします。

● **初期状態** にタッチすると、すべての周辺施設 走行中呼出ジャンルの項目が初期設定の状態にもどります。



5 施設のジャンルにタッチします。



6 表示させる詳細な施設のジャンルにタッチします。

● マークが表示されていないジャンルにタッチしたときは、さらに詳細な施設のジャンルを選択することができます。



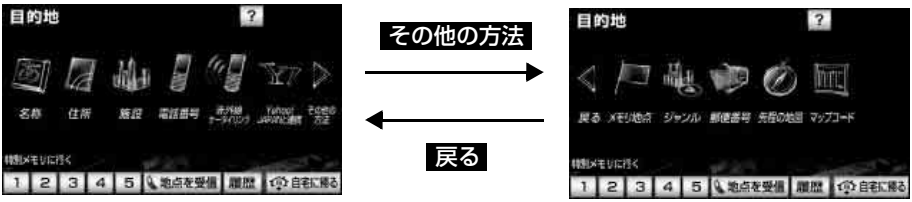
7 **完了** にタッチします。

5. 地図の呼び出し方法

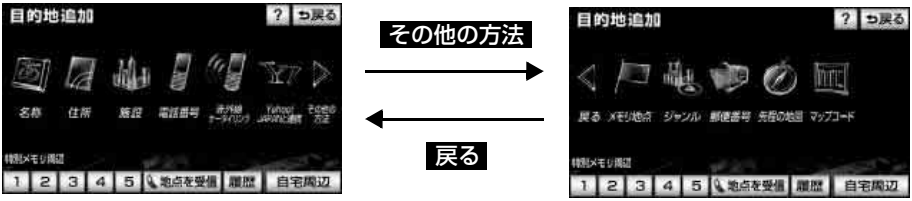
目的地の設定・目的地の追加・自宅の登録・メモリ地点の登録・特別メモリ地点の登録・迂回メモリ地点の登録・販売店の設定のときには、設定・登録する場所を、さまざまな方法により呼び出し、表示させることができます。

地図の呼び出し方法を選ぶまでの手順については、各項目の該当ページを参照してください。

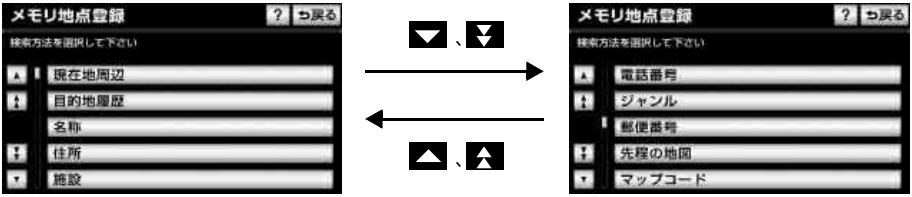
● 目的地の設定のとき



● 目的地の追加のとき



● メモリ地点の登録、迂回メモリ地点の登録、販売店の設定のとき



● 目的地の設定（156 ページ参照）
● 目的地の追加（170 ページ参照）
● メモリ地点の登録（237 ページ参照）
● 迂回メモリ地点の登録（249 ページ参照）
● 販売店の設定（264 ページ参照）

上の画面は、目的地設定／追加・メモリ地点登録のときの画面を代表として記載しています。

表示された画面で、地図の呼び出し方法にタッチして項目を選択します。

項目（タッチスイッチ）	機　能
名称	施設の名称を入力することで、その施設周辺の地図を表示させることができます。また、住所の名称を入力すると、その地域の地図を表示させることができます。（129 ページ参照）
住所	住所を入力することで、その地点（または地域）の地図を表示させることができます。（137 ページ参照）
施設	さまざまなジャンルから施設を選び、その施設周辺の地図を表示させることができます。（137 ページ参照）
電話番号	電話番号を入力することで、その番号の施設周辺の地図を表示させることができます。また、その番号が使用されている地域の地図を表示させることができます。（139 ページ参照）
赤外線ケータイリンク	携帯電話で検索した場所の情報を、携帯電話の赤外線通信機能を使って本機へ送信し、その地図を表示することができます。（141 ページ参照）事前にお手持ちの携帯電話にアプリケーションソフトをダウンロードする必要があります。（54 ページ参照）
Yahoo! JAPANと連携※	Yahoo! JAPANのサービスで登録した施設や場所を本機へ転送し、その地図を表示することができます。（142 ページ参照）
メモリ地点	メモリ地点周辺の地図を表示させることができます。（144 ページ参照）［メモリ地点が登録されているときのみ。メモリ地点については、237ページ参照。］
ジャンル	現在地、目的地などの周辺施設を選ぶことで、その施設がある地図を表示させることができます。（144 ページ参照）
郵便番号	郵便番号を入力することで、その番号が使用されている地域の地図を表示させることができます。（147 ページ参照）
先程の地図	最後に表示していた地図を表示させることができます。
マップコード	マップコードを入力することで、その場所を特定し、地図を表示させることができます。（147 ページ参照）
地点を受信※	Bluetooth 携帯電話で取得した位置情報を本機に転送して、地図を呼び出すことができます。（148 ページ参照）
履歴	過去に設定された目的地、または前回の出発地から、その地点周辺の地図を表示させることができます。（149 ページ参照）［目的地履歴が登録されているときのみ。目的地履歴については、182ページ参照。］
目的地履歴	
特別メモリに行く 1 ／ 2 ／ 3 ／ 4 ／ 5	登録されている地点を目的地としてルート探索が開始されます。［それぞれの地点が登録されているときのみ。自宅および特別メモリ地点については、240ページ参照。］
自宅に帰る	
現在地周辺	現在地周辺の地図を表示させることができます。
自宅周辺	登録されている地点の地図を表示させることができます。（149 ページ参照）［それぞれの地点が登録されているときのみ。自宅および特別メモリ地点については、240ページ参照。］
特別メモリ周辺 1 ／ 2 ／ 3 ／ 4 ／ 5	

※ AVN-Z01のみ

5. 地図の呼び出し方法

ワンポイント

目的地設定画面、目的地追加画面の1ページ目に表示するスイッチを設定することができます。
（209 ページ参照）

名称で地図を呼び出す

部分的にわかっている施設の名称を入力し、ジャンル・地域や市区町村名などで候補を絞り込んで地図を呼び出すことができます。また、住所の名称を入力すると、その地域の地図を呼び出すことができます。

候補数が少ないときは、リスト画面から直接選びます。

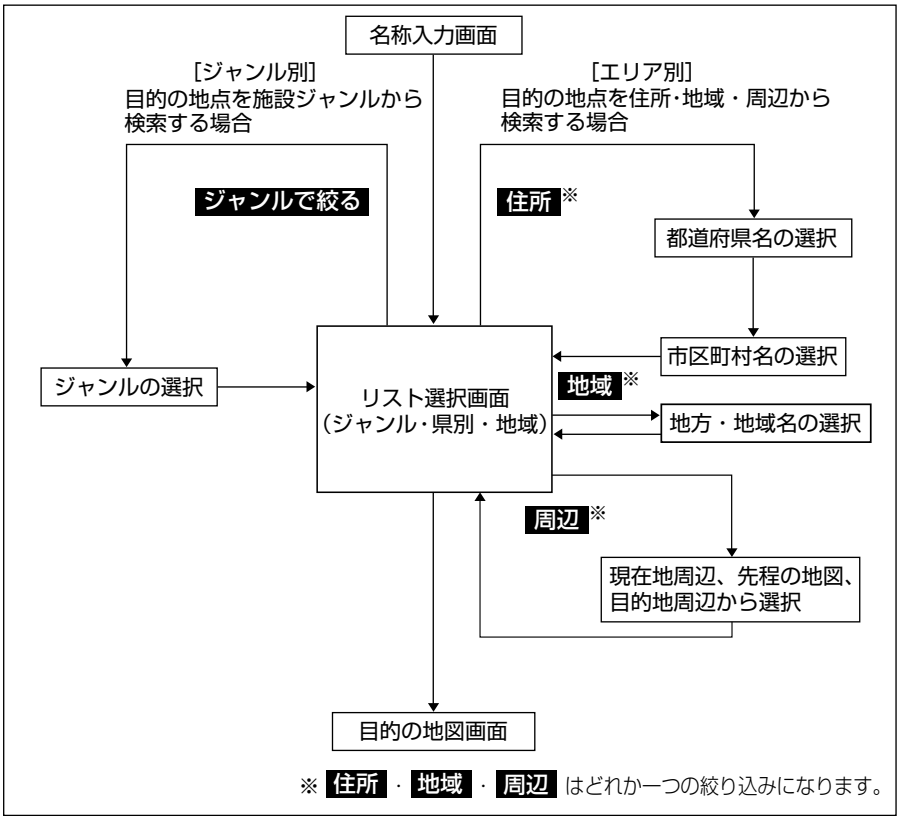
● 目的の地点をエリアから絞り込む **エリアで絞る**

- **住所** から、都道府県、市区町村の順に絞り込み、リストを呼び出します。
- **地域** から、地方および地域を絞り込み、リストを呼び出します。
- **周辺** から、現在地周辺、先程の地図、目的地周辺で絞り込み、リストを呼び出します。

● 目的の地点を施設ジャンルから絞り込む **ジャンルで絞る**

- **ジャンルで絞る** から、施設ジャンルを絞り込み、リストを呼び出します。

[操作の流れ]



次ページに続く

5. 地図の呼び出し方法

1 施設の名称（または住所）を1文字ずつタッチして入力します。

- 35文字まで入力でき、12文字まで表示します。
- 間違えたときは **修正** にタッチすると、1文字ずつ消去されます。
- 検索先の候補がない文字のタッチスイッチは色がトーンダウンし、タッチしても入力できません。
- 1文字タッチするごとに、検索される施設名称の件数が表示されます。



2 **完了** にタッチします。

- 入力した文字から検索された施設名称（または住所）の全国リスト画面が表示されます。

3 表示させる施設名称（または住所）にタッチします。

- 地図が表示されます。
- 表示された地図については**「呼び出した地図の操作」**（150ページ）を参照してください。
- 施設が特定できなかったときは、次に表示された画面で、**OK** にタッチすると、周辺の地図が表示されます。
- 施設名称に複数の店舗（チェーン店）があるときは、グループ化されてリストに表示されます。施設名称の右側に検索された施設の店舗数が表示されます。
- 候補数が多いときは**「[操作の流れ]」**（129ページ参照）にしたがって［エリア別］、または［ジャンル別］で絞り込みます。

  全国リスト画面に表示させる施設のエリアを指定するときは **エリアで絞る** にタッチします。（131 ページ参照）

  施設のジャンルを指定するときは **ジャンルで絞る** にタッチします。（135 ページ参照）
- 住所を入力したときは、表示させる住所にタッチすると、地図が表示されます。

  住所一覧 にタッチすると住所を検索することができます。（152 ページ参照）
- **戻る** にタッチすると、入力した画面が表示され、名称を修正することができます。



4 グループ化されたリストにタッチしたときは、表示させる施設名称（または住所）にタッチします。

- 地図が表示されます。
- 施設が特定できなかったときは、次に表示された画面で、**OK** にタッチすると、周辺の地図が表示されます。
- 表示された地図については**「呼び出した地図の操作」**（150ページ）を参照してください。
- **名称順** にタッチすると、施設・店舗の名称、または都道府県名の50音順に並びかわります。
- **距離順** にタッチすると、現在地から近い施設の順に並びかわります。



ワンポイント

入力中に検索先の候補が5件以下になり、約10秒以上操作しなかったときは、自動的にその時点で入力した文字から検索された施設名称の全国リスト画面が表示されます。

■エリア別で絞り込みする場合

住所から絞り込むとき

1 全国リスト画面で、**エリアで絞る** にタッチします。

2 **住所** にタッチします。

3 施設のある都道府県（一部市）名にタッチします。

- **全エリア** にタッチすると、全国リスト画面（130ページの **3** ）にもどります。



● 都道府県指定画面

4 表示させる施設の市区町村名にタッチします。

- **○○全域** にタッチすると、指定した都道府県（一部市）別施設リスト画面が表示されます。

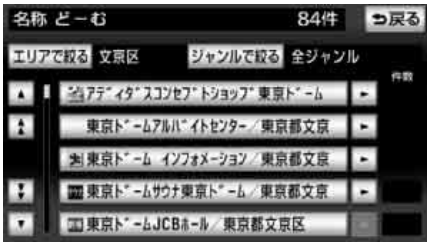


次ページに続く

5. 地図の呼び出し方法

5 表示させる施設名称にタッチします。

- 地図が表示されます。
- 施設が特定できなかったときは、次に表示された画面で、**OK** にタッチすると、周辺の地図が表示されます。
- 施設名称に複数の店舗 (チェーン店) があるときは、グループ化されてリストに表示されます。施設名称の右側に検索された施設の店舗数が表示されます。
- **戻る** にタッチすると、入力した画面が表示され、名称を修正することができます。
- **ジャンルで絞る** にタッチすると、施設リスト画面に表示させる施設のジャンルを指定することができます。(135 ページ参照)
- 表示された地図については**「呼び出した地図の操作」**(150ページ) を参照してください。



6 グループ化されたリストにタッチしたときは、表示させる施設名称（または住所）にタッチします。

- 地図が表示されます。
- 施設が特定できなかったときは、次に表示された画面で、**OK** にタッチすると、周辺の地図が表示されます。
- 表示された地図については、**「呼び出した地図の操作」**（150ページ参照）を参照してください。



ワンポイント

- エリアを選択する場合は、**住所** 、**地域** 、または **周辺** のどれか１つのみの設定になります。
- 設定したエリアに該当する施設がない場合、リストは表示されません。別のエリアを設定してください。

地域から絞り込むとき

1 全国リスト画面で、**エリアで絞る** にタッチします。

2 **地域** にタッチします。

3 施設のある地域名にタッチします。

● **全エリア** にタッチすると、全国リスト画面（130ページの **3** ）にもどります。



● **地域指定画面**

4 表示させる施設名称にタッチします。

● 地図が表示されます。

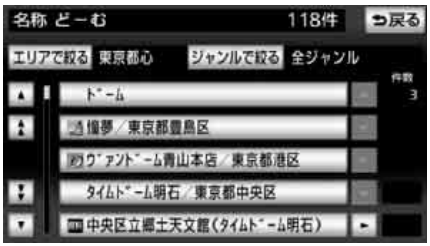
● 施設が特定できなかったときは、次に表示された画面で、**OK** にタッチすると、周辺の地図が表示されます。

● 施設名称に複数の店舗（チェーン店）があるときは、グループ化されてリストに表示されます。施設名称の右側に検索された施設の店舗数が表示されます。

● **戻る** にタッチすると、入力した画面が表示され、名称を修正することができます。

● **ジャンルで絞る** にタッチすると、施設リスト画面に表示させる施設のジャンルを指定することができます。（135 ページ参照）

● 表示された地図については**「呼び出した地図の操作」**（150ページ）を参照してください。



5 グループ化されたリストにタッチしたときは、表示させる施設名称（または住所）にタッチします。

● 地図が表示されます。

● 施設が特定できなかったときは、次に表示された画面で、**OK** にタッチすると、周辺の地図が表示されます。

● 表示された地図については、**「呼び出した地図の操作」**（150ページ）を参照してください。



5. 地図の呼び出し方法

周辺から絞り込むとき

1 全国リスト画面で、**エリアで絞る** にタッチします。

2 **周辺** にタッチします。

3 施設周辺の地図を呼び出す方法にタッチします。

- **全エリア** にタッチすると、全国リスト画面（130ページの **3** ）にもどります。
- **現在地周辺** にタッチすると、現在地周辺の地図が表示されます。
- **先程の地図** にタッチすると、最後に表示していた地図が表示されます。
- **目的地周辺** にタッチすると、目的地が1つのみ設定されているときは、目的地周辺の地図が表示されます。
  目的地が複数設定されているときは、目的地のリストが表示されます。



4 複数の目的地が設定されているときは、表示させる目的地にタッチします。



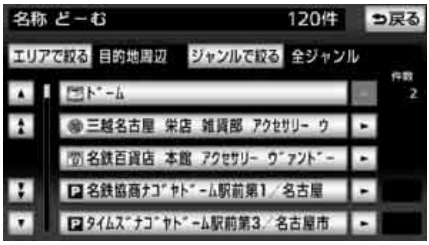
5 **セット** にタッチします。

- 🏠 にタッチして地図を移動することができます。



6 表示させる施設名称にタッチします。

- 地図が表示されます。
- 施設が特定できなかったときは、次に表示された画面で、**OK** にタッチすると、周辺の地図が表示されます。
- 施設名称に複数の店舗（チェーン店）があるときは、グループ化されてリストに表示されます。施設名称の右側に検索された施設の店舗数が表示されます。
- **戻る** にタッチすると、入力した画面が表示され、名称を修正することができます。
- **ジャンルで絞る** にタッチすると、施設リスト画面に表示させる施設のジャンルを指定することができます。（135 ページ参照）
- 表示された地図については、**「呼び出した地図の操作」**（150ページ）を参照してください。



7 グループ化されたリストにタッチしたときは、表示させる施設名称（または住所）にタッチします。

- 地図が表示されます。
- 表示された地図については、**「呼び出した地図の操作」**（150ページ）を参照してください。
- 施設が特定できなかったときは、次に表示された画面で、**OK** にタッチすると、周辺の地図が表示されます。



ワンポイント

目的地周辺 は、目的地が設定されているときに表示されます。

■施設ジャンル別で絞り込みする場合

施設ジャンルの中から絞り込む方法です。目的の地点の施設でジャンルがわかっている場合に便利です。候補数が多いときは **エリアで絞る** による絞り込みで候補数を減らしてから検索します。

1 全国リスト画面で、**ジャンルで絞る** にタッチします。

2 表示させる施設のジャンルにタッチします。

- **全ジャンル** にタッチすると、全国リスト画面（130ページの **3** ）にもどります。
- 地名だけを表示させるときは、その他の **住所** にタッチします。



● ジャンル指定画面

3 詳細な施設のジャンルにタッチします。

- **○○全て** にタッチすると、その項目のすべての施設が設定されます。

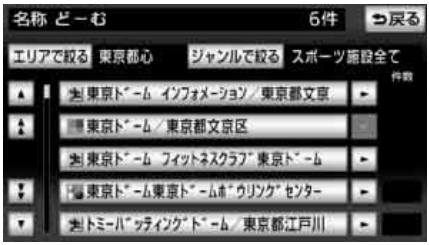


次ページに続く

5. 地図の呼び出し方法

4 表示させる施設名称にタッチします。

- 地図が表示されます。
- 施設が特定できなかったときは、次に表示された画面で、OK にタッチすると、周辺の地図が表示されます。
- 施設名称に複数の店舗 (チェーン店) があるときは、グループ化されてリストに表示されます。施設名称の右側に検索された施設の店舗数が表示されます。
- 戻る にタッチすると、入力した画面が表示され、名称を修正することができます。
- エリアで絞る にタッチすると、施設リスト画面に表示させる施設（または住所）のエリアを指定することができます。（131ページ参照）
- 表示された地図については**「呼び出した地図の操作」**（150ページ）を参照してください。



5 グループ化されたリストにタッチしたときは、表示させる施設名称（または住所）にタッチします。

- 地図が表示されます。
- 施設が特定できなかったときは、次に表示された画面で、OK にタッチすると、周辺の地図が表示されます。
- 表示された地図については、**「呼び出した地図の操作」**（150ページ）を参照してください。



ワンポイント

- 施設ジャンルの選択は、1ジャンルの設定になります。また、ジャンルで絞る で設定後、エリアで絞る でエリア別の絞り込みができます。
- 施設によっては、表示された地点が必ずしも正確な所在地となっているとは限らず、所在地の住所を代表する地点が表示されることがあります。

住所で地図を呼び出す

住所がわかっている場合は、住所から選んで地図を呼び出すことができます。

1 都道府県名・市区町村名・町名・丁目（字）の順で、表示させる地名にタッチします。



2 地名を選んだあと、詳細がわからないときは **○○主要部** にタッチします。

- タッチした地名の広域図が表示されます。
- **○○主要部** にタッチして地図を表示した場合、**周辺住所** は表示されません。

3 丁目にタッチしたあと、**番地指定** にタッチします。

- 番地・号数を入力することができます。



4 **番地指定** にタッチしたときは、数字、または「ー」を１つずつタッチして入力します。

- 間違えたときは **修正** にタッチすると、１文字ずつ消去されます。



5 **完了** にタッチします。

- 入力した番地から検索された地図が表示されます。
- 表示された地図については**「呼び出した地図の操作」**（150ページ）を参照してください。
- 入力した番地に該当する住所があるときは、その住所付近の地図が表示されます。
- 入力した番地に該当する住所がないときは、その丁目（字）の広域図が表示されます。**周辺住所** にタッチすると周辺住所を検索することができます。（153 ページ参照）

施設で地図を呼び出す

さまざまなジャンルから施設を選択して地図を呼び出すことができます。

次ページに続く

5. 地図の呼び出し方法

施設ジャンル

項目	ジャンル
店	デパート
	ショッピングモール
	アウトレットモール
宿泊	ホテル
遊び	ゴルフ場
	温泉
	遊園地
	動植物園
	水族館
	スキー場
	キャンプ場
	マリーナ
	競技場
	公営娯楽
公共	役所
	警察署
	公園
医療	病院
交通	駅
	空港
	港
	高速IC・SA・PA
	有料IC・SA・PA
	道の駅
	交差点
文化	名所・旧跡
	城・城跡
	神社・寺
	美術・博物館
	資料館
	ホール
	国際展示場
他	式場

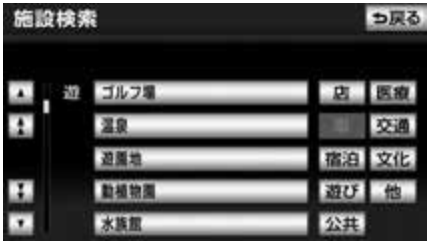
ゴルフ場・駅・ホテル・役所・空港・式場・病院以外の項目は、**その他** にタッチすると選択できます。

1 表示させる施設のジャンルにタッチします。

● **その他** にタッチするとタッチスイッチ以外のジャンルが選択できます。



2 **その他** にタッチしたときは、表示させる施設のジャンルにタッチします。



3 施設のある都道府県名（路線名）にタッチします。

- さらに市区町村名（路線名･販売会社名）が表示されることがあります。このとき、同様に市区町村名（路線名･販売会社名）にタッチします。
- 施設のジャンルによっては、全国施設リストがあります。
  このとき、全国施設リスト画面から、施設名称を選び、地図を表示させることができます。
  全国の○○ にタッチすると、全国施設リスト画面になり、全国の施設名称が50音順に表示されます。



4 表示させる施設名称にタッチします。

- 地図が表示されます。
- 表示された地図については**「呼び出した地図の操作」**（150ページ）を参照してください。



ワンポイント

- 施設名称の中でも、登録されていない施設があります。その際は、名称、住所、電話番号もしくはジャンルによる検索で周辺の地図を呼び出すことができます。（129、137、139、144ページ参照）
- 高速インターチェンジ（IC）・サービスエリア（SA）・パーキングエリア（PA）は、路線別のリストがあります。
- 高速インターチェンジ（IC）・サービスエリア（SA）・パーキングエリア（PA）以外は、都道府県別のリストがあります。
- 駅、有料インターチェンジ（IC）は、都道府県別のリストのあとに路線別のリストがあります。
- 交差点は、都道府県別のリストのあとに市区町村別のリストがあります。

電話番号で地図を呼び出す

電話番号がわかっている場合、電話番号を入力すると、登録されている施設や個人宅（ピンポイント検索）の場合は、周辺の地図を、それ以外はその局番を使用している周辺の地図を呼び出すことができます。また、メモリ地点に電話番号が設定してある場合（**「メモリ地点の電話番号を入力する」**246ページ参照）は、メモリ地点や特別メモリ地点が呼び出せます。

1 数字を1番号ずつタッチして入力します。

- 市外局番から入力します。
- 市内局番までで検索する場合は、6桁入力した後、**完了** にタッチします。
- 間違えたときは **修正** にタッチすると、1番号ずつ消去されます。

5. 地図の呼び出し方法



2 **完了** にタッチします。

- 入力した番号から検索された地図が表示されます。
- 入力した番号に該当する施設があるときは、その施設付近の地図が表示されます。
- 表示された地図については**「呼び出した地図の操作」**（150ページ）を参照してください。
- 入力した番号に該当する施設がないとき、市内局番まで入力したときは、入力した市外・市内局番が使用されている地域の地図が表示されます。

  住所一覧 にタッチすると住所を検索することができます。（152 ページ参照）
- 同じ電話番号で複数の地点があるときは、**3** の画面が表示されます。
- 地図データに収録された「個人宅」の電話番号を入力した場合、名字を入力する画面が表示されます。
（個人宅ピンポイント検索）



3 表示させる施設名称にタッチします。

- 入力した番号から検索された地図が表示されます。
- 表示された地図については**「呼び出した地図の操作」**（150ページ）を参照してください。



ワンポイント

- 局番が変更になった場合は検索できません。また、一部地域では検索できない場合があります。検索できない場合は、他の方法で地図を呼び出してください。
- 施設によっては、表示された地点が必ずしも正確な所在地となっているとは限りません。また、以下のようなケースで一般情報誌などとは異なった検索が行われることがあります。
  - デパートの美術館、アミューズメントパークなどでは、問い合わせ先の場所と所在地が離れていることがあります。このとき、電話番号を入力すると、問い合わせ先の所在地の地図が表示されます。
  - 一般情報誌などではホールなどの電話番号として、管理会社の電話番号を記載していることがあります。このとき、電話番号を入力すると、ホール名ではなく、管理会社名が検索され、その管理会社の所在地周辺の地図が表示されます。
- 施設の電話番号や所在地、名前などは１年間で数万件が変化するため、実際と異なる場合があります。
- 地図に表示される住所は、隣接する地名が表示されることがあります。

●収録されていない電話番号（全桁）を入力して表示させた地図の地点は、目的地の設定などをした時点で自動的に記憶されます。次回、同じ番号を入力すると記憶された地図が表示されます。

●収録されていない電話番号を入力して表示し、目的地・メモリ地点などに設定した地点は、最大 100 カ所まで記憶されます。100カ所をこえたときは、古いものから自動的に消去されます。

●「個人宅電話番号・名称データ」は、日本ソフト販売株式会社の「Bellemax®」のデータを使用しています。

赤外線ケータイリンクで地図を呼び出す

⚠ 警 告

運転者が走行中に携帯電話を使用することは法律で禁止されています。安全のため、走行中の操作は絶対に行わないでください。

E-iSERV から携帯電話にダウンロードした施設などの位置情報を、赤外線通信を使用して本機に読み込むことができます。読み込みが終わると該当する地図を呼び出すことができます。E-iSERVへのアクセスについては**「ケータイリンクのアプリをダウンロードする」**（54ページ）を参照してください。

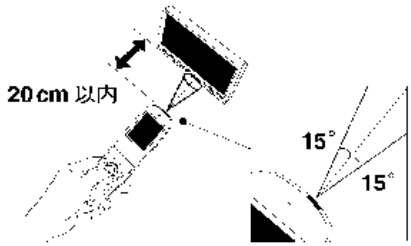
チェック

●赤外線通信を行うには、携帯電話と本機をそれぞれ操作する必要があります。また、携帯電話から位置情報を送信するには、専用のアプリケーションソフトが必要です。

●通信の規格上、双方向の通信が必要なため、近づけて操作する必要があります。操作する時は携帯電話と本機の受光部をまっすぐ近づけて送信し、通信終了までそのままお待ちください。

■携帯電話の操作

1 専用のアプリケーションソフトから位置情報を送信します。



■本機の操作

1 目的地画面で **赤外線ケータイリンク** にタッチします。

● 画面にメッセージが表示され、読み込んだ位置情報に該当する地図が表示されます。

● 表示された地図については、**「呼び出した地図の操作」**（150ページ）を参照してください。

ワンポイント

●IrDAバージョン1.2に対応しています。

●直射日光が当たる場所や蛍光灯の真下、他の赤外線装置の近くでは正常に受信できない場合があります。

●通信距離はあくまで目安です。携帯電話の機種や周囲の環境によって異なります。

●赤外線受光部が汚れていると通信しにくくなります。汚れている時は傷つかないように柔らかい布でふき取ってください。

●携帯電話の操作については携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

●データ受信中は電源を切らないでください。

5. 地図の呼び出し方法

Yahoo! JAPANで登録した地点/ルートから呼び出す（AVN-Z01のみ）

⚠ 警告

運転者が走行中に携帯電話を使用することは法律で禁止されています。安全のため、走行中の操作は絶対に行わないでください。

Yahoo! JAPANのサービスで登録した施設や場所の位置情報を携帯電話から本機へ送信して地図を呼び出すことができます。また、作成したドライブルートの情報を送信してルート探索をすることもできます。

本機能を使用するためには、専用のアプリケーションを携帯電話にダウンロードする必要があります。詳細は次のホームページを参照してください。

路線・地図アプリ紹介ページ

・パソコン
http://transit.map.yahoo.co.jp/mobile/app/info.html

・モバイル
http://map.mobile.yahoo.co.jp/dl

※ Yahoo！ JAPAN のサービスや専用のアプリケーションについては予告なく変更、終了する場合があります。

なお、2012年12月20日で「ドライブルート（ドライブルートの情報を車載機へ送信する）」、「走行軌跡（車載機に保存されている走行軌跡の情報を携帯電話に送信し、Yahoo！ JAPANのサービスでの活用）」のサービスは終了しました。

チェック

本機に登録されたBluetooth携帯電話のみ使用することができます。（504 ページ参照）

1 目的地受信 、ドライブルート 、地点情報 のいずれかにタッチします。

● 目的地受信 …目的地情報を本機へ送信し、検索された地図を表示することができます。（143 ページ参照）

ドライブルート …作成したドライブルートの情報を本機へ送信することができます。（143 ページ参照）

地点情報 …最大100件まで地点情報を本機へ送信することができます。（144 ページ参照）



ワンポイント

●送信中に走行を開始した場合、前の画面に戻ります。ただし、携帯電話の操作が完了している場合、送信が完了してから前の画面に戻ります。

●送信中にエンジンスイッチを OFF(LOCK)にした場合、送信が中止されます。その場合、エンジンスイッチをACC、またはONにして再度操作します。

●送信中に本機を操作したり、他の画面に切り替わった場合、送信が中止されます。

●データ送信中は、Bluetooth オーディオ（469 ページ参照）やハンズフリー（506 ページ参照）、オンデマンドVICS（219 ページ参照）の接続が切断されます。その場合、送信が終了すると、再接続されます。（機種により、再接続に時間がかかることや再接続できないことがあります。）

●路線・地図アプリ紹介ページの情報料、アプリケーション使用料は無料です。

●携帯電話の通信料金は、お客様のご負担になります。

●本機の情報を携帯電話に送信することもできます。詳しくは、**「地点情報の送信」**（283 ページ）を参照してください。

■目的地情報を本機へ送信する

1 携帯電話から位置情報を送信します。

- **中止** にタッチすると、通信を中止し前の画面が表示されます。
- 位置情報を取得するとメッセージが表示され、検索された地図が表示されます。（150 ページ参照）



ワンポイント

表示される地図は、携帯電話で送信した位置情報とずれる場合があります。

■ドライブルートの情報を本機へ送信する

1 **新規受信** にタッチします。



2 携帯電話から情報を送信します。

- **中止** にタッチすると、通信を中止し前の画面が表示されます。



- 情報を取得するとメッセージが表示され、リスト画面が表示されます。リストにタッチすると、ドライブルート詳細画面が表示されます。
- リスト画面で **全消去** 、**はい** の順にタッチすると、送信した全てのドライブルート情報を削除することができます。



- ドライブルート詳細画面の **探索開始** にタッチすると、ルート探索を開始します。
- **消去** 、**はい** の順にタッチすると、選択したドライブルートを削除することができます。

ワンポイント

本機に保存されている情報は、携帯電話から本機へ送信するごとに新しい情報に上書きされます。

5. 地図の呼び出し方法

■地点情報を本機へ送信する

1 新規受信 にタッチします。



2 携帯電話から情報を送信します。

● 中止 にタッチすると、通信を中止し前の画面が表示されます。



● 情報を取得するとメッセージが表示され、リスト画面が表示されます。地点にタッチすると、検索された地図が表示されます。

● リスト画面で 全消去 、 はい の順にタッチすると、送信した全ての地点情報を削除することができます。

ワンポイント

本機に保存されている情報は、携帯電話から本機へ送信するごとに新しい情報に上書きされます。

メモリ地点で地図を呼び出す

メモリ地点をあらかじめいくつか登録しておけば**「メモリ地点の登録」**（237ページ）、メモリ地点から地図を呼び出すことができます。

1 リストから表示させるメモリ地点にタッチします。

● メモリ地点の地図が表示されます。

● 表示された地図については、**「呼び出した地図の操作」**（150ページ）を参照してください。



ジャンルで地図を呼び出す

現在地や目的地（目的地設定時）周辺、または指定した住所周辺の施設付近から地図を呼び出すことができます。

1 施設のジャンルにタッチします。



2 詳細な施設のジャンルにタッチします。

- マークが表示されていないジャンルにタッチすると、さらに詳細な施設のジャンルを選択することができます。
- 5つまで選択することができます。
- **戻る** にタッチすると、前の画面に戻り、別のジャンルを選択することができます。
- **選択解除** にタッチすると、選択されているジャンルが右側から順に解除されます。
- もう一度タッチすると、選んだジャンルが解除されます。



3 **完了** にタッチします。

- エリアを指定（145 ページ）していないときは、現在地周辺のリストが表示されます。

4 施設名にタッチします。

- タッチした施設の地図が表示されます。
- **距離順** 、 **種類順** 、または **ルート沿い考慮** にタッチするとリストを切り替えることができます。**「周辺の施設を検索する」**（122ページ）、または **「ルートを考慮したリストを表示する」**（123ページ）を参照してください。
- 表示された地図については、**「呼び出した地図の操作」**（150ページ）を参照してください。



■エリアを指定して施設を表示する

1 **エリア** にタッチします。



次ページに続く

5. 地図の呼び出し方法

2 周辺施設を表示させたい地域にタッチします。

- **現在地周辺** にタッチすると、現在地周辺の地図が表示されます。
- **先程の地図** にタッチすると、最後に表示していた地図が表示されます。
- **住所指定** にタッチすると、住所から周辺施設を表示させたい地域を選択することができます。**「住所で地図を呼び出す」**（137ページ）を参照してください。
- 目的地周辺の名称にタッチすると、タッチした目的地周辺の地図が表示されます。



3 **セット** にタッチします。

- 🏠 にタッチして地図を移動することができます。

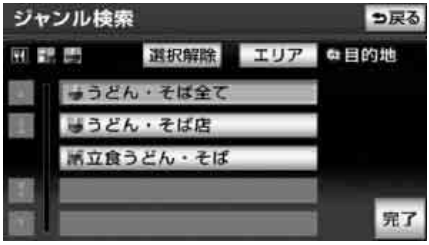


4 施設ジャンルにタッチします。



5 詳細な施設のジャンルにタッチします。

- マークが表示されていないジャンルにタッチすると、さらに詳細な施設のジャンルを選択することができます。
- 5つまで選択することができます。
- **戻る** にタッチすると、前の画面に戻り、別のジャンルを選択することができます。
- **選択解除** にタッチすると、選択されているジャンルが右側から順に解除されます。
- **○○全て** にタッチすると、その項目のすべてのジャンルが選択されます。
- もう一度タッチすると、選んだジャンルが解除されます。



6 **完了** にタッチします。

- 選択したエリアのリストが表示されます。

7 施設名にタッチします。

- タッチした施設の地図が表示されます。
- **距離順**、**種類順**、**ルート沿い考慮**のいずれかにタッチするとリストを切り替えることができます。**「周辺の施設を検索する」**（122ページ）、または**「ルートを考慮したリストを表示する」**（123ページ）を参照してください。
- 表示された地図については、**「呼び出した地図の操作」**（150ページ）を参照してください。



郵便番号で地図を呼び出す

郵便番号がわかっている場合は、郵便番号から地図を呼び出すことができます。

1 数字を1番号ずつタッチして入力します。

- 間違えたときは **修正** にタッチすると、1番号ずつ消去されます。



2 **完了** にタッチします。

- 入力した郵便番号から検索された地図が表示されます。**住所一覧**にタッチすると住所を検索することができます。（152ページ参照）
- 表示された地図については、**「呼び出した地図の操作」**（150ページ）を参照してください。

マップコードで地図を呼び出す

マップコードから地図を呼び出すことができます。

1 数字を1番号ずつタッチして入力します。

- 間違えたときは **修正** にタッチすると、1番号ずつ消去されます。



2 **完了** にタッチします。

- 入力したマップコードから検索された地図が表示されます。
- 表示された地図については、**「呼び出した地図の操作」**（150ページ）を参照してください。

5. 地図の呼び出し方法

ワンポイント

- 郵便番号は7桁で入力してください。
- マップコードとは、日本全国のすべての位置を数字としてコード化し、6～10桁の番号（標準マップコードの場合）でその場所を特定することができるものです。従来は、住所などを使って、場所を特定していましたが、住所では特定できないところ（景勝地や山、川、海など）もマップコードで位置を特定することができるようになります。
- 標準マップコード（6～10桁）の後に＊を入力し、高分解能マップコード（1～2桁）を入力することで、より詳細な位置を特定することができます。
- マップコードについては、次のホームページで紹介されていますので、そちらをご覧ください。
  http://www.e-mapcode.com
- マップコードは、メモリ地点・迂回メモリ地点を登録すると、修正画面に表示されます。
  - メモリ地点…238ページ参照
  - 迂回メモリ地点…250ページ参照
- 「マップコード」は、株式会社デンソーの登録商標です。

携帯電話で地図を呼び出す（AVN-Z01のみ）

Bluetooth 携帯電話で検索した施設の位置情報や、受信したメールに含まれている待ち合わせ場所の情報を本機へ送信して、その場所の地図を呼び出すことができます。本機能を使用するためには、専用のアプリケーションを携帯電話にダウンロードする必要があります。本機で動作確認済みの機種についてはECLIPSE ホームページ「お客様サポート」をご確認ください。また、携帯電話の設定や利用方法については、各携帯電話会社にお問い合わせください。

⚠ 警告

運転者が走行中に携帯電話を使用することは法律で禁止されています。安全のため、走行中の操作は絶対に行わないでください。

チェック

ハンズフリー（506 ページ参照）に接続中の携帯電話のみ使用することができます。

1 携帯電話から位置情報を転送します。

- 位置情報を取得するとメッセージが表示され、検索された地図が表示されます。（150 ページ参照）
- **中止** にタッチすると、通信を中止し前の画面が表示されます。



ワンポイント

- 同乗者が携帯電話を操作する場合、ハンズフリー（506 ページ参照）に接続中の携帯電話から走行中は地点を受信することはできません。
- 送信中にエンジンスイッチを OFF(LOCK) にした場合、送信が中止されます。その場合、エンジンスイッチをACC、またはONにして再度操作します。
- 送信中に本機を操作したり、他の画面に切り替わった場合、送信が中止されます。
- データ送信中は、Bluetooth オーディオ（469 ページ参照）、ハンズフリー（506 ページ参照）およびオンデマンド VICS（219 ページ参照）の接続が切断されます。その場合、送信が終了すると、再接続されます。（機種により、再接続できないことがあります。）
- 表示される地図は、携帯電話で送信した位置情報とずれる場合があります。

履歴で地図を呼び出す

以前に設定した目的地を最新100件まで自動的に記憶し、簡単に同じ地点の地図を呼び出すことができます。

1 リストから表示させる目的地履歴にタッチします。

- 以前に設定した目的地の地図が表示されます。
- **前回出発地** にタッチすると、前回、ルート案内をした出発地の地図が表示されます。
- 表示された地図については、**「呼び出した地図の操作」**（150ページ）を参照してください。



ワンポイント

- 目的地履歴には、以前、目的地に設定した日付が表示されます。
- 自宅および特別メモリ地点は、目的地履歴に記憶されません。
- 携帯電話で呼び出した地図は、目的地履歴に記憶されないことがあります。また、設定したときの名称と異なる名称が記憶されることがあります。
- 目的地履歴を消去するには、**「目的地履歴（ラストゴールメモリー）の消去」**（182ページ）を参照してください。

特別メモリ地点で地図を呼び出す

特別メモリ地点をあらかじめいくつか登録しておけば、（**「メモリ地点の登録」**（237ページ）、特別メモリ地点から地図を呼び出すことができます。

1 リストから表示させる特別メモリ地点にタッチします。

- 特別メモリ地点の地図が表示されます。
- 表示された地図については、**「呼び出した地図の操作」**（150ページ）を参照してください。



6. 呼び出した地図の操作

地図を呼び出すと、ピンポイントで検索できた地図、またはピンポイントで検索できない地図（周辺）のどちらかが表示されます。これらの呼び出した地図からさらに検索などをすることができます。

表示した地図の操作

ピンポイントで地図を表示するには次の条件になります。

①**「名称で地図を呼び出す」**で施設名称を入力したとき

②**「主要施設で地図を呼び出す」**とき

③**「電話番号で地図を呼び出す」**で該当する施設のとき

④**「ジャンルで地図を呼び出す」**とき

⑤**「携帯電話で地図を呼び出す」**とき



● ピンポイントで検索できたとき



● ピンポイントで検索できないとき

■ ピンポイントで検索できたとき

■ 位置の変更

にタッチして位置を変更します。

■ 施設内容の表示

①～④の条件で表示した施設の情報を表示します。

● ピンポイント検索した施設に情報があるときは、**情報** が表示されます。また、呼び出した地図に マークが表示されます。

■ 提携駐車場の検索

①～④の条件で表示した施設の提携駐車場を検索します。

■ピンポイントで検索できないとき

■ 位置の変更

にタッチして位置を変更します。

■ 周辺の住所検索

呼び出した地図周辺（ピンポイントで該当しない）の住所から検索します。

- **「名称で地図を呼び出す」**で住所を入力したときは **住所一覧** が表示されます。
- **「電話番号で地図を呼び出す」**から呼び出したときは **住所一覧** が表示されます。
- **「郵便番号で地図を呼び出す」**から呼び出したときは **住所一覧** が表示されます。
- **「住所で地図を呼び出す」**および **住所一覧** から番地入力で検索できないときは **周辺住所** が表示されます。
- 郵便番号で地図を呼び出したときに マークが表示されることがありますが、施設内容の表示や提携駐車場の検索はできません。

ワンポイント

- 携帯電話で呼び出した地図の操作は、**「地点情報の受信」**（284ページ）を参照してください。
- 携帯電話から地図を呼び出したときは、**戻る** が表示されません。

位置の変更

1 にタッチして地図を動かします。



施設内容の表示

1 **情報** にタッチします。

- 施設の内容が表示されます。



ワンポイント

- 施設の内容を表示させることができるのは、**「表示した地図の操作」**（150ページ参照）の①・②・③・④の方法で、地図を呼び出したときのみです。
- 施設によっては、内容が表示されない、または一部の内容のみ表示されることがあります。
- 携帯電話から地図を呼び出したときは、**情報** が表示されないことがあります。

6. 呼び出した地図の操作

提携駐車場の検索

検索した施設（デパート・ホテルなど）と提携している駐車場を表示させることができます。

1 提携P にタッチします。

● 専用･提携別の距離順にリストが表示されます。



2 表示させる駐車場名称にタッチします。

● 施設の内容（情報）が表示されます。また、駐車場名称の右にある 地図 にタッチすると、地図が表示されます。



ワンポイント

- 提携駐車場を表示させることができるのは、**「表示した地図の操作」**（150ページ参照）の①・②・③・④の方法で、地図を呼び出したときのみです。また、提携P が表示されても検索できない場合があります。
- 提携駐車場は車両情報の設定によって検索される駐車場が異なります。車両寸法が入力されていないときは、車両寸法を考慮せずに、駐車場が検索されます。**「車両情報を設定する」**（193ページ参照）

住所の検索

■住所一覧から検索する

- **■「名称で地図を呼び出す」から住所を入力したとき。**
- **■「郵便番号で地図を呼び出す」から検索したとき。**
- **■「電話番号で地図を呼び出す」から施設が検索できなかったとき。**

1 住所一覧 にタッチします。



2 表示させる住所にタッチします。

● 住所の地図が表示されます。

● 詳細がわからないときは、 ○○主要部 にタッチすると、タッチした地名の広域図が表示されます。

● 住所一覧 から番地を入力して検索できないときは 周辺住所 が表示されます。



■周辺住所から検索する

■「住所で地図を呼び出す」から番地入力で検索できないとき。

■「住所一覧から検索する」（152 ページ参照）の 住所一覧 から番地を入力して検索できないとき。

チェック

○○主要部 にタッチして表示した地図の場合、周辺住所 は表示されません。

1 周辺住所 にタッチします。



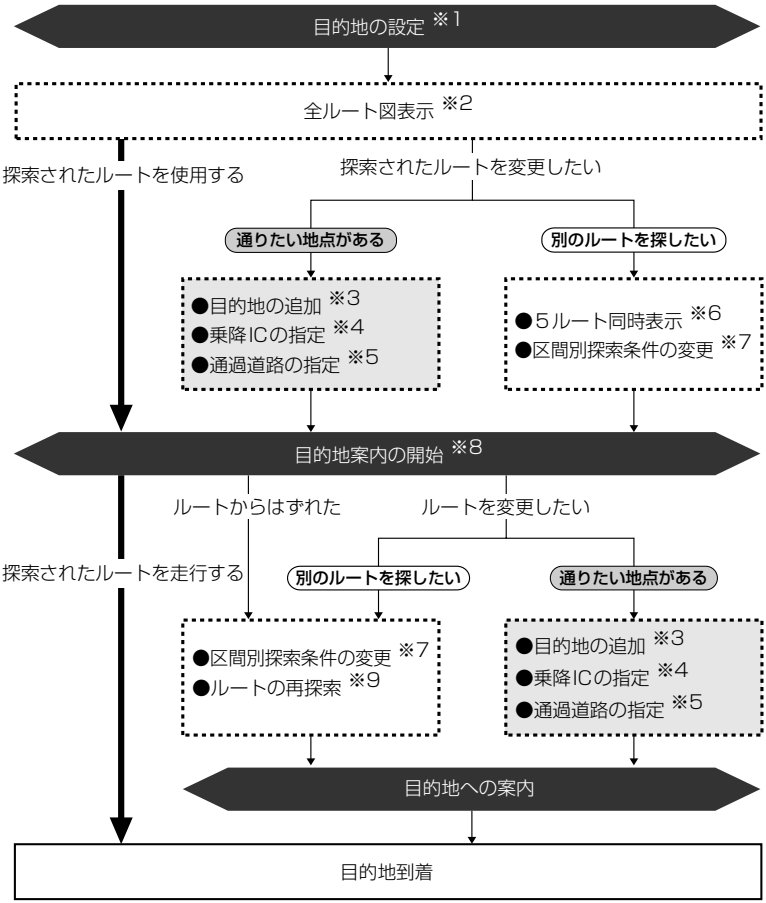
2 表示させる住所にタッチします。

- 住所の地図が表示されます。
- リストの最上段の住所を で表示します。



1. 目的地設定・ルート探索について

目的地へ案内するまでのルート探索には、目的地の追加や通過道路、インターチェンジ（IC）の指定、ルートの探索条件などの設定をすることができます。



※1**「目的地の設定」**（156ページ参照）
※2**「全ルート図表示」**（163ページ参照）
※3**「目的地の追加」**（170ページ参照）
※4**「乗降インターチェンジ（IC）の指定」**（176ページ参照）
※5**「通過道路の指定」**（178ページ参照）
※6**「5ルート同時表示（5ルート探索機能）」**（168ページ参照）
※7**「区間別探索条件の変更」**（172ページ参照）
※8**「案内の開始」**（183ページ参照）
※9**「ルートの再探索」**（207ページ参照）

2. 目的地を設定してルート探索

目的地案内（ルート案内）を行うには、目的地を設定することから始めます。

目的地を設定するには以下の方法があります。

- 地図スクロールから設定
- 携帯電話から設定（AVN-Z01のみ）
- 登録地点（自宅、特別メモリ地点）から設定
- 地図の呼び出し方法から設定

項目	設定方法
地図スクロールから設定	地図をスクロールさせて **目的地セット** にタッチして設定します。
携帯電話から設定 （AVN-Z01のみ）	Bluetooth携帯電話から情報を転送した地点を設定します。専用のアプリケーションを携帯電話にダウンロードしていないと、使用できません。
登録地点から設定	自宅を登録してある地点を設定します。自宅を登録していないと使用できません。自宅が登録されていないときは、自宅を登録するメッセージが表示されます。**はい** にタッチすると自宅を登録する画面に切り替わります。**「メモリ地点の登録」**（237ページ参照）
	特別メモリ地点（5カ所）に登録してある地点を設定します。特別メモリを登録していないと使用できません。**「メモリ地点の登録」**（237ページ参照）
地図の呼び出し方法から設定	地図の呼び出し方法から検索して設定します。**「地図の呼び出し方法」**（126ページ参照）

目的地を設定すると、自動的に推奨ルートの探索が始まります。

推奨ルート以外のルートや目的地を追加したり、インターチェンジ（IC）・通過道路を設定するときは、ルート探索後に設定します。

ワンポイント

目的地を設定した地図の地点は、自動的に記憶（最大100カ所まで）され、目的地の設定のときなどに、地図を呼び出すことができます。100カ所をこえたときは、古いものから自動的に消去されますが、不要な目的地は消去することもできます。**「目的地履歴（ラストゴールメモリー）の消去」**（182ページ参照）

2. 目的地を設定してルート探索

目的地の設定

チェック

目的地を設定する場合は800mスケール図以下の詳細な地図で設定してください。

■地図スクロールから設定する

地図（タッチスイッチ以外の場所）にタッチして地図を移動します。

1 タッチスイッチがある以外の場所にタッチします。

2 目的地セット にタッチします。

- 800m スケール図より広域な地図を表示させていたときは、800mスケール図に切り替わります。



3 にタッチして、目的地を設定する位置に地図を動かします。

4 目的地セット にタッチします。

- の位置に目的地が マークで表示され、ルート探索が開始されます。



5 すでに目的地が設定されているときは、新規目的地 にタッチすると、設定されていた目的地を消去して、新しく目的地が設定されます。

- 追加目的地 にタッチすると、目的地が追加されます。



6 目的地セット （ 新規目的地 、 追加目的地 ）にタッチしたとき、高速道路や橋、トンネルなどの付近では、目的地を設定する道路の種類を選ぶ画面が表示されることがあります。

● 設定する 、または 他の道路 にタッチして、目的地を設定する道路の種類を選びます。



ワンポイント

すでに目的地が設定されているときに地図スクロールから追加した目的地は、一番手前の目的地になります。

■携帯電話から設定する（AVN-Z01のみ）

Bluetooth 携帯電話で検索した施設の位置情報や、受信したメールに含まれている待ち合わせ場所の情報を本機へ送信して、その場所の地図を呼び出すことができます。

本機能を使用するためには、専用のアプリケーションを携帯電話にダウンロードする必要があります。本機で動作確認済みの機種についてはECLIPSE ホームページ「お客様サポート」をご確認ください。また、携帯電話の設定や利用方法については、各携帯電話会社にお問い合わせください。

⚠ 警 告

運転者が走行中に携帯電話を使用することは法律で禁止されています。安全のため、走行中の操作は絶対に行わないでください。

チェック

ハンズフリー（506 ページ参照）に接続中の携帯電話のみ使用することができます。

1 情報・BTナビ画面（BTナビ）（282 ページ参照）で、 地点を受信 にタッチします。

2 携帯電話から位置情報を転送します。

● 位置情報を取得するとメッセージが表示され、検索された地図が表示されます。（150 ページ参照）

● 中止 にタッチすると、通信を中止し前の画面が表示されます。



3 目的地セット にタッチします。



次ページに続く

2. 目的地を設定してルート探索

4 すでに目的地が設定されているときは、**新規目的地** にタッチすると、設定されていた目的地を消去して、新しく目的地が設定されます。

● **追加目的地** にタッチすると、目的地が追加されます。



5 **目的地セット**（**新規目的地**、**追加目的地**）にタッチしたとき、高速道路や橋、トンネルなどの付近では、目的地を設定する道路の種類を選ぶ画面が表示されることがあります。

● **設定する**、または **他の道路** にタッチして、目的地を設定する道路の種類を選びます。

ワンポイント

- 同乗者が携帯電話を操作する場合、ハンズフリー（506 ページ参照）に接続中の携帯電話から走行中は地点を受信することはできません。
- 転送中にエンジンスイッチを OFF(LOCK) にしたときは、転送が中止されます。エンジンスイッチをON、またはACCにして再度操作を行ってください。
- 転送中に本機を操作したり、他の画面に切り替わったときは、転送が中止されます。
- データ転送中は、Bluetooth オーディオ（469 ページ参照）、ハンズフリー（506 ページ参照）およびオンデマンド VICS（219 ページ参照）の接続が切断されます。この場合、転送が終了すると、再接続されます。（機種によっては接続に時間がかかったり、再接続できないことがあります。）
- 表示される地図は、携帯電話で送信した位置情報とずれる場合があります。

■登録地点から設定する

1 目的地 を押します。

2 **自宅に帰る**、または **1** ～ **5** にタッチします。

● 自宅が登録されていないときは、**自宅に帰る** にタッチすると、自宅を登録するメッセージが表示されます。**はい** にタッチすると自宅を登録することができます。



● 自宅、または特別メモリ地点の位置に目的地が マークで表示され、ルート探索が開始されます。



3 すでに目的地が設定されているときは、**新規目的地** にタッチすると、設定されていた目的地を消去して、新しく目的地が設定されます。

● **追加目的地** にタッチすると、目的地が追加されます。[**「目的地の追加」**（170ページ）の **4** ～ **7** 参照]



■地図の呼び出し方法から設定する

1 目的地 を押します。

2 地図の呼び出し方法を選び、目的地を設定する地点の地図を表示させます。

● **「地図の呼び出し方法」**（126ページ）、**「呼び出した地図の操作」**（150ページ）を参照してください。



3 **目的地セット** にタッチします。

● ✥ の位置に目的地が ● マークで表示され、ルート探索が開始されます。



4 すでに目的地が設定されているときは、**新規目的地** にタッチすると、設定されていた目的地を消去して、新しく目的地が設定されます。

● **追加目的地** にタッチすると、目的地が追加されます。以降の設定方法は **「目的地の追加」**（170ページ）の **4** ～ **7** を参照してください。



2. 目的地を設定してルート探索

5 目的地セット（新規目的地、追加目的地）にタッチしたとき、高速道路や橋、トンネルなどの付近では、目的地を設定する道路の種類を選ぶ画面が表示されることがあります。

- 設定する、または 他の道路 にタッチして、目的地を設定する道路の種類を選びます。



ルート探索

目的地を設定すると自動でルート探索を開始します。

- ルート探索中に、ほかの画面に切り替えても探索は続けられています。
- 目的地までの距離が近すぎるときは、ルートは表示されません。
- 5000kmをこえるルートは探索することができません。
- ビーコンから受信した VICS 情報（210ページ参照）を利用して交通状況を考慮したルートを探索することができます。**「渋滞考慮ルート探索の設定」**（161ページ参照）
- 目的地や出発地の周辺は、細街路（163ページ参照）を探索することがあります。
- ルート探索が終了すると、全ルート図表示画面（現在地から目的地までの全体ルート）になります。**「全ルート図表示」**（163ページ参照）

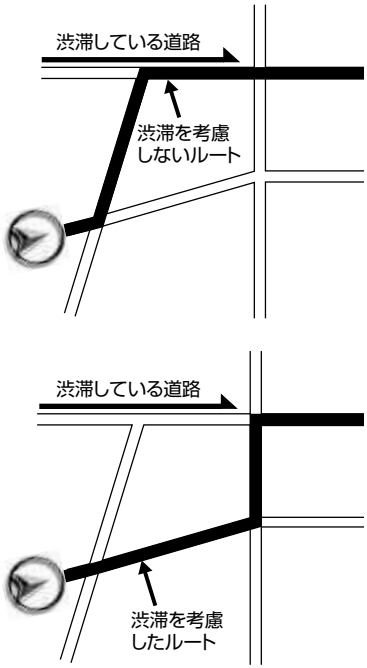
ワンポイント

- ルートの探索は、原則として道幅が5.5m以上の道路を対象としています。ただし、5.5m未満の主要道路でもルートを探索することがあります。
- 高速道路や有料道路のインターチェンジ（IC）・サービスエリア（SA）・パーキングエリア（PA）内などでルート探索が行われると、その周辺の一般道から開始するルートが探索されることがあります。このときは、ルートの再探索（207 ページ参照）を行ってください。
- VICS は、財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。
  道路交通情報データは、財団法人日本道路交通情報通信センターから提供されます。また、データ作成には、財団法人道路交通情報通信システムセンター（VICS センター）の技術が用いられています。

渋滞考慮ルート探索の設定

受信したVICS 情報（210 ページ参照）、(295 ページ参照)、(219 ページ参照）や渋滞統計データなどから探索した曜日、時間帯の交通状況を考慮（235 ページ参照）して、ルートを探索することができます。

また、5ルート同時表示（168 ページ参照）やルートの探索条件などが渋滞考慮ルートになります。



■渋滞考慮探索を設定する

渋滞考慮探索をON（する）にするか、OFF（しない）にするか、選ぶことができます。

1 設定・編集画面（ナビ）（77 ページ参照）で、**ナビ詳細設定** にタッチします。

2 **ルート系設定** にタッチします。



3 渋滞考慮探索設定の **変更する** にタッチします。



4 渋滞考慮探索の **する** 、または **しない** にタッチします。



5 **完了** にタッチします。

2. 目的地を設定してルート探索

ワンポイント

別売の2メディア/3レベル対応VICSユニットを接続した場合は、渋滞統計データを考慮を **する** にすると、ビーコンからのVICS情報を受信するたびに、受信された渋滞・規制情報が考慮されたルートを探索、表示させることができます。（299 ページ参照）

新旧ルート比較表示の設定

目的地案内中に受信したVICS情報をもとに新しいルートが見つかった場合、もとのルートと比較して選択することができます。

チェック

別売の2 メディア /3 メディアレベル対応VICSユニットの接続（295 ページ参照）、またはオンデマンドVICS（AVN-Z01のみ）の接続（219 ページ参照）が必要です。



● **新旧ルート比較表示画面**

1 設定・編集画面（ナビ）（77 ページ参照）で、**ナビ詳細設定** にタッチします。

2 **ルート系設定** にタッチします。

3 渋滞考慮探索設定の **変更する** にタッチします。



4 新旧ルート比較表示の **する** 、または **しない** にタッチします。



5 **完了** にタッチします。

ワンポイント

新旧ルート比較表示が **しない** に設定されている場合は、探索するごとに新しいルートで案内します。

■ルートを選択する

目的地案内中に新しいルートが見つかった場合、メッセージを表示してお知らせします。

1 新ルート 、または 元ルート にタッチします。

- 選択したルートで案内されます。
- 現在地から、新しいルートともとのルートの分岐点の距離を表示します。
- メッセージが表示されてから操作をしなかったときは、自動で新しいルートが選択されます。



全ルート図表示

ルート探索が終了すると、全ルート図表示画面になります。

全ルート図が表示されたあと、現在地 を押したとき、または走行して約3秒以上操作しなかったときは、自動的に目的地案内が開始されます。



● ルート探索終了（全ルート図）画面

■ルートの表示について

ルートの表示色は、以下の4種類あります。

- **青色**
  目的地が一つのとき、または複数設定されているときは現区間（次の目的地まで）の表示
- **青枠の白色**
  目的地が複数設定されているときの現区間（次の目的地まで）以外の表示
- **水色**
  細街路の表示（163 ページ参照）
- **青枠の橙色**
  季節規制区間の表示（166 ページ参照）



ワンポイント

高速路線マップのルート表示色は青色のみになります。

■細街路の表示について

現在地周辺・目的地周辺では、細街路（幅5.5m未満の道路）もルートが探索されます。

⚠ 警告

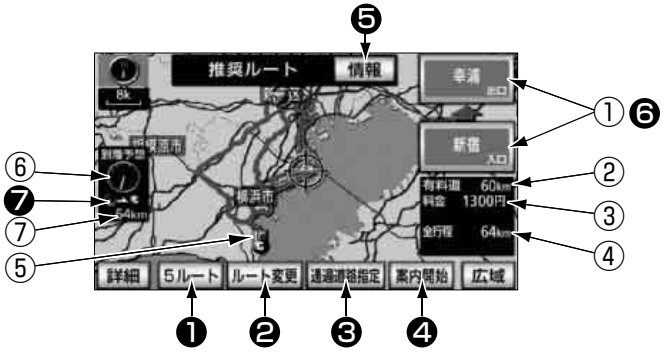
細街路では、交通規制（一方通行など）により、通行できないルートが探索されることがあります。必ず、実際の交通規制にしたがってください。



2. 目的地を設定してルート探索

全ルート図の表示・タッチスイッチについて

全ルート図では、現在地から目的地までの到着予想時刻や距離などが表示されます。また、画面のタッチスイッチから探索されたルートを変更したり、案内の情報を表示することができます。



■表示について

最終目的地までの表示になります。

① **インターチェンジ（IC）名称表示**

有料道路を通るときは、一番最初に入るインターチェンジ（IC）の名称が下に、一番最後に出るインターチェンジ（IC）の名称が上に表示されます。

② **有料道路距離表示**

目的地までに通るすべての有料道路の距離が表示されます。

③ **料金案内**

目的地までに通るすべての有料道路の料金が表示されます

- 料金が特定できないときは、「不明」または「○○○円以上」と表示されます。
- 全ルート図を再表示したときは、残りの料金が表示されます。全ルート図の再表示については**「全ルート図の再表示」**（201ページ）を参照してください。

④ **距離表示**

目的地（複数のときは最終目的地）までの距離が表示されます。

⑤ **ICマーク**

有料道路を通るときは、一番最初に入るインターチェンジ（IC）と、一番最後に出るインターチェンジ（IC）の位置に表示されます。

⑥ **到着予想時刻表示**

目的地への到着予想時刻が表示されます。

⑦ **残距離表示**

目的地まで、表示されているルートを通っての距離が表示されます。（目的地案内開始後でルートからはずれたときは、目的地までの直線距離が表示されます。）

■タッチスイッチについて

全ルート図表示画面で、タッチスイッチにタッチすると、次のことができます。

❶ **5ルート**
別のルートを表示させ、選ぶことができます。(168 ページ参照)

❷ **ルート変更**
ルート変更の画面を表示して、探索条件の変更をすることができます。また、目的地の追加、インターチェンジ(IC)・通過道路の指定などをすることができます。(169 ページ参照)

❸ **通過道路指定**
地図にタッチすると表示されます。

通過道路指定 にタッチすると通過道路が指定できます。(178 ページ参照)

❹ **案内開始**
(**目的地案内開始後は、案内に戻る**)
目的地案内(183 ページ参照)、またはデモンストレーション(184 ページ参照)を開始させることができます。目的地案内開始後は、現在地画面にもどります。

❺ **情報**
ルート情報(案内道路情報)を表示させることができます。(167 ページ参照)

❻ **インターチェンジ(IC)名称**
インターチェンジ(IC)名称表示にタッチすると、表示されている乗降インターチェンジ(IC)を指定(すでに指定されている場合は変更)することができます。(176 ページ参照)

❼ **到着予想時刻/残距離表示**
目的地が2カ所以上設定されているときは、到着予想時刻/残距離表示にタッチすると、表示される目的地を切り替えることができます。(201 ページ参照)

📖ワンポイント

- 到着予想時刻は設定した平均車速(191 ページ参照)から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。
- 交通規制(常時進入禁止、時間による進入禁止など)区間を通らないと目的地に行けないようなときは、ルート上の規制箇所に ✕ が表示されることがあります。
- 目的地案内開始後にも全ルート図を表示させることができます。(201 ページ参照)
- 料金は設定した車両情報(193 ページ参照)から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。
- 高速道路上に目的地を設定したとき、および高速道路走行中にルートを変更したときは、料金案内は行いません。

2. 目的地を設定してルート探索

季節規制区間の表示・回避

長期間に渡り規制される区間（冬期通行止めになる道路など）を含むルートが探索されたときは、全ルート図表示画面にルートが青枠の橙色で表示されます。

このとき、画面にメッセージを表示させることができます。



● 季節規制区間メッセージ表示

■季節規制区間を回避する

チェック

季節規制回避（または **季節規制通過**）は、季節規制区間を通るルートが探索されたときのみ表示されます。

1 全ルート図表示画面、または設定・編集画面（ナビ）（77 ページ参照）で、**ルート変更** にタッチします。

2 **季節規制回避** にタッチします。

● ルート探索が開始されます。

● 季節規制区間を再度通るルートを探索する場合は **季節規制通過** にタッチします。



ワンポイント

規制区間を通らないと目的地などに行けないようなときは、**季節規制回避** にタッチしても、規制区間を利用するルートが探索されることがあります。

■季節規制区間メッセージ表示を設定する

季節規制区間を含むルートが探索されたときに表示されるメッセージをON（表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。

1 設定・編集画面（ナビ）（77 ページ参照）で、**ナビ詳細設定** にタッチします。

2 **ルート系設定** にタッチします。



3 季節規制メッセージ表示の **する** 、または **しない** にタッチします。



4 **完了** にタッチします。

ルート情報（案内道路情報）の表示

目的地までのルートを、設定した地点、乗降インターチェンジ（IC）、道路の種類別などに区分し、区間の距離、高速道路などの料金、または目的地や乗降インターチェンジ（IC）の通過予想時刻を一覧で表示することができます。また、出発した地点・目的地などの周辺地図を表示することもできます。

1 全ルート図表示画面で、**情報** にタッチします。



2 ▲ 、または ▼ にタッチします。

- 現在地がルート上にあるときは、ルート情報画面の区間に自車位置 ◭ が表示されます。
- 現在地がルート上にない（ルートからはずれた）ときは、ルートが表示されている地点からの情報が表示されます。
- 乗降インターチェンジ（IC）・ジャンクション（JCT）・目的地・通過道路・道路の種別の変わり目でルート情報を分割して表示します。
- 分割されたそれぞれのルート情報は、道路名称・距離・有料道路の料金・分割された地点への通過予想時刻が表示されます。



3 **地図** にタッチします。

- 設定したそれぞれの地点の地図が表示されます。

ワンポイント

- ルート案内中にも **表示変更** から全ルート図を表示してルート情報を表示することができます。
- 料金は設定した車両情報（193　ページ参照）から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。
- 通過予想時刻は設定した平均車速（191　ページ参照）から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。
- 携帯電話で目的地を設定した場合、検索した施設名称と表示する目的地名称が異なることがあります。

2. 目的地を設定してルート探索

5ルート同時表示（5ルート探索機能）

目的地を設定すると推奨ルートが探索され、現在地から目的地までの全ルート図が表示されます。推奨ルート以外に有料道路優先ルート、一般道路優先ルート、距離優先ルート、別ルートの合計5ルートを同時表示させて選ぶことができます。探索が終了したルートから順に表示されます。

チェック

次のときは、5ルート同時表示はできません。

- 目的地が2カ所以上設定されているとき。
- 通過する地点［乗降インターチェンジ（IC）・通過道路］が指定されているとき。
- 目的地案内が開始されたあと。

1 全ルート図表示画面で、**5ルート** にタッチします。

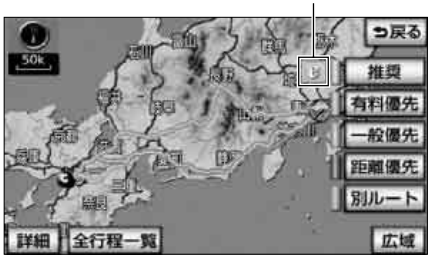
- 5　つのルートが色分けされて表示されます。



2 **全行程一覧** にタッチします。

- 5つのルートの距離・料金・所要時間が表示されます。
- ルート名称にタッチすると、タッチしたルートが表示された全ルート図表示画面になります。
- 燃費を設定している場合、最もエコなルートにアイコンが表示されます。（274 ページ参照）

エコアイコン



3 ルート名称にタッチします。

- タッチしたルートが表示された全ルート図表示画面になります。



全行程一覧表　戻る

探索条件	全行程	有料道路	料金	所要時間
推奨	514km	511km	13500円	6時間50分
有料優先	514km	511km	13500円	6時間50分
一般優先	539km	74km		16時間49分
距離優先	497km	195km	5300円	12時間50分
別ルート	549km	542km	13450円	7時間18分

ワンポイント

- 渋滞考慮探索（161 ページ参照）が **する** に設定されているときは、渋滞を考慮したルートになります。
- ルートの特長については、**「タッチスイッチ一覧」**（205ページ）を参照してください。
- 料金は設定した車両情報（193　ページ参照）から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。
- 所要時間は設定した平均車速（191 ページ参照）から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。

3. 探索ルートの変更

目的地を設定し、ルートを探索した後、目的地を追加したり、インターチェンジ（IC）、通過道路の指定など、ルートを変更することができます。ルートを変更するには次の方法があります。

● 全ルート図表示画面、または設定・編集画面（ナビ）から **ルート変更** にタッチすると、ルート変更画面になります。

ルート変更画面から各設定を行います。

●全ルート図表示画面



ルート変更

●設定・編集画面（ナビ）



ルート変更



●ルート変更画面

- 目的地の追加（170 ページ参照）
- 区間別探索条件の変更（172 ページ参照）
- 目的地の並び替え（173 ページ参照）
- 目的地の消去（174 ページ参照）
- 乗降インターチェンジ（IC）の指定（176 ページ参照）
- インターチェンジ（IC）指定の解除（177 ページ参照）
- 通過道路の指定（178 ページ参照）
- 通過道路指定の修正（180 ページ参照）
- 通過道路指定の解除（181 ページ参照）

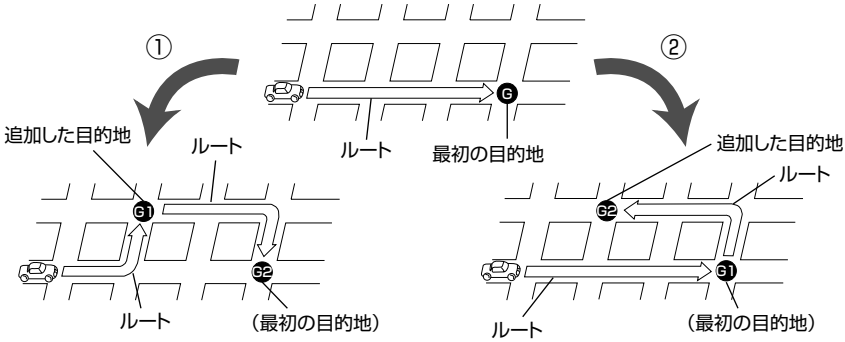
3. 探索ルートの変更

目的地の追加

目的地を設定したあと、さらに追加して最大5ヵ所まで目的地を設定することができます。
以下のようなときに、追加して目的地を設定します。

① 設定した目的地と現在地の間で、立ち寄る地点を設定するとき。

② 設定した目的地を立ち寄る地点に変更し、新しく目的地を設定するとき。



チェック

800mスケール図以下の詳細な地図で、目的地の設定をすることができます。

1 **ルート変更** にタッチします。

2 目的地・通過目的地の **追加** にタッチします。



3 地図の呼び出し方法を選び、目的地を設定する地点の地図を表示させます。

●**「地図の呼び出し方法」**（126ページ）、**「呼び出した地図の操作」**（150ページ）を参照してください。



4 **目的地セット** にタッチします。

● ✥ の位置に目的地が ● マークで表示されます。



5 **目的地セット** にタッチしたとき、高速道路や橋、トンネルなどの付近では、目的地を設定する道路の種類を選ぶ画面が表示されることがあります。

● **設定する** 、または **他の道路** にタッチして、目的地を設定する道路の種類を選びます。



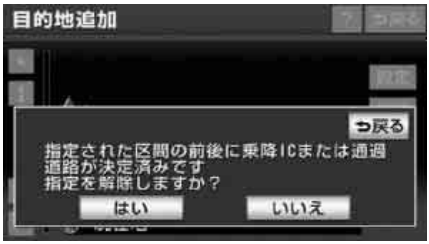
6 指定する区間の **設定** にタッチします。



7 インターチェンジ（IC）・通過道路が指定されているときは、解除する画面が表示されることがあります。

● **はい** にタッチすると、解除されます。

● **いいえ** にタッチすると、解除せず設定します。



次ページに続く

3. 探索ルートの変更

8 **探索開始** にタッチします。

- ルート探索が開始されます。
- 目的地を設定したあと、この画面から、次のことができます。
  - ・区間別探索条件の変更（172 ページ参照）
  - ・目的地の並び替え（173 ページ参照）
  - ・目的地の消去（174 ページ参照）
  - ・乗降インターチェンジ(IC)の指定(176 ページ参照)
  - ・インターチェンジ(IC)指定の解除(177 ページ参照)
  - ・通過道路の指定（178 ページ参照）
  - ・通過道路指定の修正（180 ページ参照）
  - ・通過道路指定の解除（181 ページ参照）



- さらに追加して、目的地を設定するときは、**追加** にタッチすると、**3** の画面（170 ページ参照）が表示されますので、**3** ～ **7** を繰り返します。

ワンポイント

- 目的地を設定した地図の地点は、自動的に記憶され、目的地の設定のときなどに、地図を呼び出すことができます。(最大100カ所まで）100カ所をこえたときは、古いものから自動的に消去されますが、不要な目的地は、消去することもできます。**「目的地履歴(ラストゴールメモリー)の消去」**(182 ページ参照)
- インターチェンジ（IC）や通過道路（176 ページ参照)、(178 ページ参照）が指定されているとき、目的地を追加すると、指定されている地点によっては、インターチェンジ（IC）・通過道路の指定が解除されることがあります。
- 目的地の設定と同じ方法で **追加目的地** にタッチして、追加することもできます。**「地図スクロールから設定する」**（156ページ参照）、**「登録地点から設定する」**（158 ページ参照）、**「地図の呼び出し方法から設定する」**（159ページ参照）

区間別探索条件の変更

区間別に探索条件を変更して、再探索することができます。

1 **ルート変更** にタッチします。

2 **探索条件変更** にタッチします。



3 それぞれの区間の探索条件（ルート名称）にタッチします。

- 現在地から次の目的地までの区間は、**別ルート** が表示されます。



4 **探索開始** にタッチします。

- ルート探索が開始されます。

ワンポイント

探索条件の特長については、**「タッチスイッチ一覧」**（205ページ）を参照してください。

目的地の並び替え

複数設定した目的地を並び替えて再探索することができます。

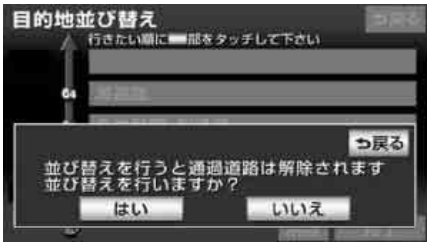
1 **ルート変更** にタッチします。

2 目的地・通過目的地の **並び替え** にタッチします。



3 インターチェンジ（IC）・通過道路が指定されているときは、解除して、並び替えを行う確認画面が表示されます。

- **はい** にタッチすると、解除して、並び替えを行います。
- **いいえ** にタッチすると、並び替えを中止してもとの画面にもどります。



4 現在地から次に行く目的地の順に、目的地名称にタッチします。

- タッチした目的地名称の左側に、新しい順番が表示されます。
- 間違えたときに **解除** にタッチすると、選ばれていた順番が解除されます。
- すでに選ばれている目的地名称にタッチすると、その目的地の順番が解除され、以降の順番が繰り上げられます。



5 **完了** にタッチします。

- 最終目的地の１つ手前の目的地を選択すると、**完了** にタッチしなくても、約3秒後、自動的に **探索開始** （下記 **6** ）が表示されます。
- すべての目的地名称にタッチしないで、並び替えたい目的地のみにタッチしてから **完了** にタッチしたときは、タッチした目的地のみが手前になった順番になります。

6 **探索開始** にタッチします。

- ルート探索が開始されます。

ワンポイント

インターチェンジ(IC)・通過道路が指定（176ページ参照）、（178 ページ参照）されているときに並び替えをすると、インターチェンジ(IC)・通過道路の指定が解除されることがあります。

3. 探索ルートの変更

目的地の消去

複数設定した目的地の1つを消去することができます。また、すべての目的地を同時に消去することもできます。

■ルート変更スイッチから消去する

1 ルート変更 にタッチします。

2 目的地・通過目的地の 消去 にタッチします。

● 1カ所のみ設定されていたときは、4 の画面が表示されます。



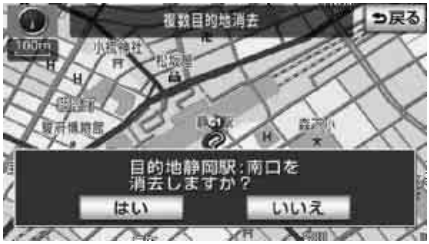
3 目的地名称にタッチします。

● すべての目的地を消去するときは、全消去 にタッチします。



4 はい にタッチします。

● すべての目的地を消去したとき、1カ所のみ設定されていたときは、現在地画面になります。



5 探索開始 にタッチします。

● ルート探索が開始されます。

■目的地スイッチから消去する

1 目的地 を押します。

2 目的地消去 にタッチします。

● 1カ所のみ設定されていたときは、4 の画面が表示されます。



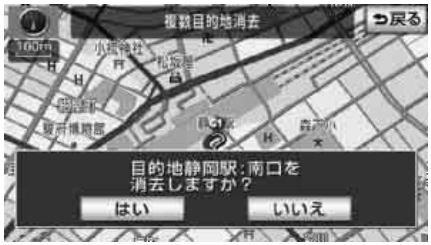
3 目的地名称にタッチします。

● すべての目的地を消去するときは、**全消去** にタッチします。



4 **はい** にタッチします。

● すべての目的地を消去したとき、1カ所のみ設定されていたときは、現在地画面になります。



5 **探索開始** にタッチします。

● ルート探索が開始されます。

■地図画面から消去する

1 地図を表示させているときに、消去したい目的地にタッチします。

2 **情報** にタッチします。



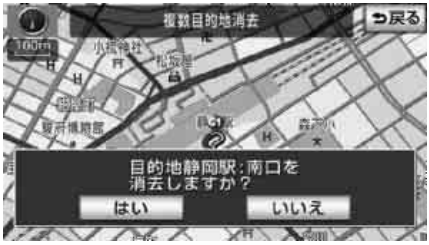
3 **消去** にタッチします。



4 **はい** にタッチします。

● 目的地が 1 カ所のみ設定されていたときは、現在地画面になります。

● ルート探索が開始されます。



3. 探索ルートの変更

乗降インターチェンジ（IC）の指定

目的地を設定したあと、全ルート図表示画面に表示されている乗降インターチェンジ（IC）を指定することができます。

⚠ 注意

スマートIC（ETC専用インターチェンジ）を選択することもできます。このとき、ETC車載器の有無、規制情報などは考慮されませんので、事前にご確認のうえ、注意して走行してください。

チェック

目的地（現在地）が高速道路上の場合は、出口（入口）の指定はできません。

1 全ルート図表示画面で、変更するインターチェンジ（IC）名称表示にタッチします。

- **ルート変更** にタッチしても指定することができます。ルート変更画面で **スマートIC考慮** にタッチすると、スマートICを考慮したルートを再探索することができます。



2 左画面で地図を移動し、ICマークにタッチする、または右画面でインターチェンジ（IC）名称にタッチします。

- 選択しているインターチェンジ（IC）は IC マークが表示されます。
- 同じインターチェンジ（IC）に複数の出入口があるときは、複数のICマークが選択されます。
- 右画面でインターチェンジ名称を選ぶときは、▲ ・ ▼ ・ **次路線** にタッチして、表示されているICを切り替えます。（ **次路線** はジャンクションがあり分岐するときのみ表示されます。）
- 右画面でインターチェンジ名称にタッチすると、左画面中央にインターチェンジ（IC）の位置が表示されます。
- 左画面の高速路線マップの縮尺は、4段階に切り替えることができます。
- インターチェンジ（IC）の道路名が画面右上に表示されます。



3 **探索開始** にタッチします。

- 全ルート図表示画面から操作を行ったときは、ルート探索が開始されます。

4 指定したインターチェンジ（IC）に出口（または入口）が2カ所以上あるときは、**次候補** にタッチして、出口（または入口）を選びます。

● 表示されている出口（または入口）を指定するときは、**セット** にタッチします。



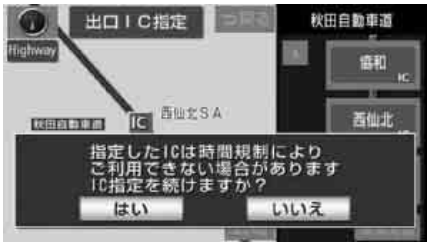
5 **セット** にタッチします。

● インターチェンジ（IC）が IC マークで指定されます。

● 全ルート図表示画面から設定したときは、ルートが探索され全ルート図表示画面になります。



6 時間規制があるインターチェンジ（IC）を選んだときにインターチェンジ（IC）指定を続けたいときは、**はい** にタッチします。



7 ルート変更画面から操作を行ったときは **探索開始** にタッチします。

● ルート探索が開始されます。

ワンポイント

- 指定できるインターチェンジ（IC）は入口、出口とも各１カ所になります。
- ルート案内中からでも乗降インターチェンジ（IC）を指定することができます。詳しくは**「タッチスイッチ一覧」**（205ページ）を参照してください。
- スマート IC を選択することもできます。このとき、ETC車載器の取付有無、規制情報などは考慮されません。事前に国土交通省のホームページで、ご確認の上、注意して走行してください。

インターチェンジ（IC）指定の解除

1 全ルート図表示画面で、解除するインターチェンジ（IC）名称表示にタッチします。

● **ルート変更** にタッチしても解除することができます。



次ページに続く

3. 探索ルートの変更

2 出口解除 （または 入口解除 ）にタッチします。

● インターチェンジ（IC）の指定が解除され、ルート探索が開始されます。



ワンポイント

案内開始後の現在地画面からインターチェンジ(IC)指定を解除することができます。(205ページ参照)

通過道路の指定

■全ルート図画面から指定する

1 全ルート図表示画面で、地図にタッチします。

2 通過道路指定 にタッチします。

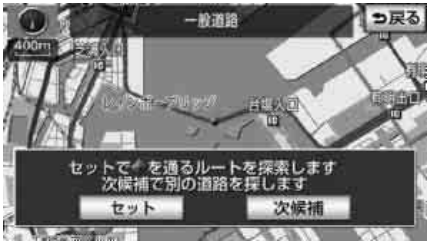
● 800m スケール図より広域な地図を表示させていたときは、800mスケール図に切り替わります。



3 次候補 にタッチします。

● 別の通過道路を選びます。

● 表示されている道路を指定するときは、セット にタッチします。



4 セット にタッチします。

● 通過道路が ◆ マークで指定されます。

● 目的地が１カ所のみ設定されていて、インターチェンジ（IC）・通過道路が指定されていなかったときは、ルートが探索され、全ルート図表示画面になります。

5 目的地が２カ所以上設定されているとき、またはインターチェンジ（IC）・通過道路が指定されているときは、指定する区間の 設定 にタッチします。

● ルートが探索され、全ルート図表示画面になります。



■ルート変更スイッチから指定する

1 **ルート変更** にタッチします。

2 通過点（通過道路指定）の **指定** にタッチします。



3 通過道路を指定する位置に地図を動かします。

4 **通過道路セット** にタッチします。

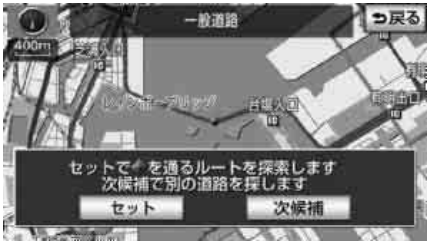
● 800m スケール図より広域な地図を表示させていたときは、800mスケール図に切り替わります。



5 **次候補** にタッチします。

● 別の通過道路を選びます。

● 表示されている道路を指定するときは、**セット** にタッチします。

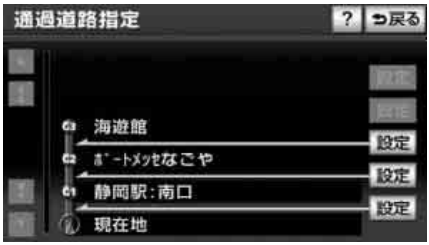


6 **セット** にタッチします。

● 通過道路が ◆ マークで指定されます。

● 目的地が１カ所のみ設定されていて、インターチェンジ（IC）・通過道路が指定されていなかったときは、**8** の画面になります。

7 目的地が２カ所以上設定されているとき、またはインターチェンジ（IC）・通過道路が指定されているときは、指定する区間の **設定** にタッチします。



次ページに続く

3. 探索ルートの変更

8 **探索開始** にタッチします。

● ルート探索が開始されます。



ワンポイント

- 最大2カ所まで指定することができます。
- インターチェンジ（IC）が指定（176 ページ参照）されているとき、通過道路を指定すると、指定されている地点によっては、インターチェンジ（IC）の指定が解除されることがあります。
- 表示されている地図に道路情報が少ないときは、**次候補** にタッチしても、道路が選択できないことがあります。

通過道路指定の修正

1 **ルート変更** にタッチします。

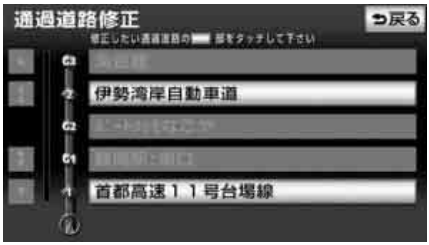
2 通過点（通過道路指定）の **修正** にタッチします。

● 1カ所のみ設定されていたときは、**4** になります。



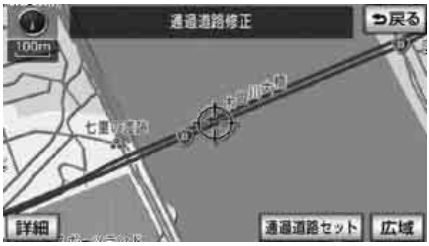
3 道路名称などにタッチします。

● 地図が表示されます。



4 通過道路を修正する位置に地図を動かします。

5 **通過道路セット** にタッチします。



6 **次候補** にタッチします。

● 別の通過道路を選びます。

● 表示されている道路を指定するときは、**セット** にタッチします。



7 **セット** にタッチします。

● 通過道路が ◆ マークで指定されます。

8 **探索開始** にタッチします。

● ルート探索が開始されます。



ワンポイント

表示されている地図に道路情報が少ないときは、**次候補** にタッチしても、道路が選択できないことがあります。

通過道路指定の解除

1 **ルート変更** にタッチします。

2 通過点（通過道路指定）の **解除** にタッチします。

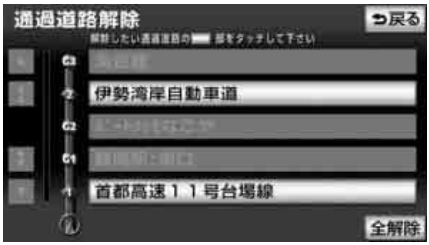
● 1カ所のみ設定されていたときは、**4** の画面になります。



3 道路名称などにタッチします。

● 地図が表示されます。

● すべての通過道路を解除するときは、**全解除** にタッチします。



4 **はい** にタッチします。



5 **探索開始** にタッチします。

● ルート探索が開始されます。



ワンポイント

案内開始後の現在地画面から通過道路指定を解除することができます。（205 ページ参照）

4. 目的地履歴（ラストゴールメモリー）について

目的地を設定した地図の地点は、自動的に記憶され、目的地の設定のときなどに、地図を呼び出すことができます。（最大100カ所まで）100カ所をこえたときは、古いものから自動的に消去されますが、不要な目的地は、消去することもできます。

目的地履歴（ラストゴールメモリー）の消去

1 設定・編集画面（ナビ）（77 ページ参照）で、**ナビ詳細設定** にタッチします。

2 **その他** にタッチします。



3 目的地履歴の消去の **消去する** にタッチします。



4 地点名称にタッチします。

● すべての目的地履歴を消去するときは、**全消去** にタッチします。



5 **はい** にタッチします。



5. 目的地案内の開始・中止・再開

案内の開始

ルートの探索が終了すると、全ルート図が表示されます。全ルート図表示画面で **案内開始** にタッチすると目的地案内が始まります。

また、目的地案内を途中で中止したり、再開することができます。

1 全ルート図表示画面で、**案内開始** にタッチします。

- 目的地案内が開始されます。
- 全ルート図が表示されたあと、 現在地 を押したとき、または走行して約3秒以上操作しなかったときも、自動的に目的地案内が開始されます。



案内の中止・再開

1 設定・編集画面（ナビ）（77 ページ参照）で、**案内中止** にタッチします。

- 目的地案内を中止しても、目的地は消去されません。
- 中止した目的地案内を再開させるときは、再度設定・編集画面（ナビ）（77 ページ参照）で、**案内再開** にタッチします。



5. 目的地案内の開始・中止・再開

デモンストレーション（デモ）

ルート探索終了後、目的地案内が開始される前に、目的地案内のデモ走行を見ることができます。

チェック

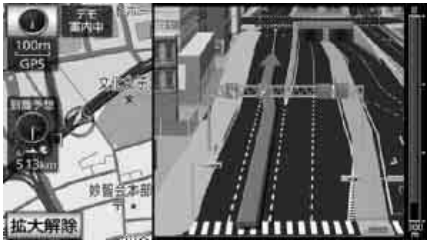
デモンストレーション（デモ）は、目的地設定後のルート探索終了時（案内開始前）に表示される全ルート図画面で行うことができます。また、走行中はデモンストレーション機能は使用できません。

1 全ルート図表示画面で、**案内開始** に約3秒以上タッチし続けます。

- デモが始まります。
- デモンストレーションの速度を速くしたいときは、縮尺を広域に、遅くしたいときは、縮尺を詳細にしてください。**「地図縮尺の切り替え」**（97ページ参照）

2 デモ中に 現在地 （または 目的地 ）を押します。

- デモが終了します。
- デモ中に走行したときも、デモが終了し、目的地案内が開始されます。



● **デモ案内中画面**

ワンポイント

オンルートスクロール（202 ページ参照）を使っても、探索されたルートの確認ができます。

6. 目的地案内について

案内画面について

ルート案内を開始すると、分岐する地点を案内図や拡大図で分かりやすく案内します。（ルート案内の音声は、安全を考慮しているため、目的地の周辺で終了します。）
案内図と拡大図には以下の種類があります。

■ 案内図

高速道路などに入ると下記の案内図を表示することができます。（186 ページ参照）

案内図	機　能	ページ
ターンリスト図	現在地から3つ先までの分岐する交差点やインターチェンジ（IC）の名称、距離などをリストにして表示します。	197
高速路線マップ※	高速道路のみをシンプルに表示します。	109
シティドライブモード画面	高速道路を、サービスエリア（SA）の施設情報などを簡略表示した画面と、地図画面の2画面で表示します。	107
都市高マップ	都市高速道路のみをシンプルに表示します。	198

※ ルート案内をしていない場合も、表示することができます。

ワンポイント

地図データに情報がない場合は、案内図を表示できないことがあります。

■ 拡大図

案内ポイントに接近すると下記の拡大図を自動で表示することができます。（186 ページ参照）

拡大図		機　能	ページ
交差点拡大図		分岐する交差点を拡大表示します。	188
	3Dイラスト拡大図	都市高速のインターチェンジ（IC）の入口などを立体的に表示します。	189
	リアル交差点拡大図	交差点拡大図をリアルに表示します。	189
	立体交差点拡大図	一般道の立体交差点を3Dで表示します。	189
	難交差点拡大図	複雑な形状の交差点を立体的に表示します。	189
	3D交差点拡大図	交差点拡大図を3Dで表示します。	189
	側道案内拡大図	側道に入る地点や本線にもどる地点を拡大表示します。	189
高速分岐模式図		高速道路の分岐点を立体的に表示します。	198
レーンリスト図		分岐する交差点の手前で、走行する交差点の名称と車線をリストで表示します。	190

ワンポイント

●地図データに情報が無い地点では、拡大図は表示されません。
●案内図表示中でも、案内ポイントに近づくと拡大図が表示されます。

6. 目的地案内について

■ 案内図の切り替え

案内図の自動表示を設定する

各案内図を自動でON(表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。

各案内図の自動表示をするか、しないか、ナビ詳細設定の自動表示切替設定で選ぶことができます。（79 ページ参照）

案内図を切り替える

自動表示を設定していない場合や、他の案内図を表示したい場合は、手動で切り替えることができます。

1 表示変更 にタッチします。



2 地図表示 にタッチします。



3 表示したい案内図にタッチします。

● 案内図を解除したいときは、この画面で、○○解除 にタッチします。



■ 拡大図の切り替え

レーンリスト図の切り替え方法については190ページを参照してください。

拡大図の自動表示を設定する

各拡大図を自動でON(表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。

各拡大図の自動表示をするか、しないか、ナビ詳細設定の自動表示切替設定で選ぶことができます。（79 ページ参照）

拡大図を解除する

表示された拡大図を解除することができます。

1 拡大解除 にタッチします。

● 再度、拡大図を表示させるには、現在地 を押します。



ワンポイント

- 案内地点から遠い場合や、地図データに情報が無い場合は、タッチスイッチが表示されません。
- 下記の拡大図は交差点拡大図自動表示が **する** の場合に表示されます。
  - 3Dイラスト拡大図
  - リアル交差点拡大図
  - 立体交差点拡大図
  - 3D 交差点拡大図（3D 交差点拡大図が **する** の場合）
  - 難交差点拡大図
  - 側道案内拡大図
- ターンリスト図とシティドライブモード画面は同時に表示できません。
- 高速路線マップと都市高マップは同時に表示できません。

6. 目的地案内について

交差点案内

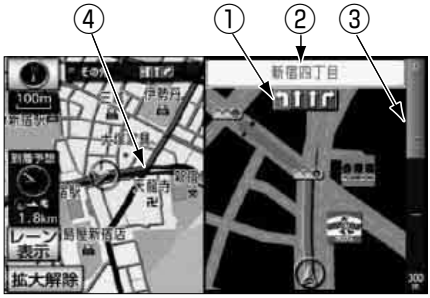
走行中、交差点が近づくと、交差点の案内が行われます。目的地案内中は分岐する交差点が近づく（約300m以内）と、交差点拡大図が自動的に表示されます。

表示の方法については、**「拡大図の切り替え」**（186ページ）を参照してください。

■分岐しない交差点について



■分岐する交差点（交差点拡大図）について



① **レーン（車線）表示**
通過・分岐する交差点の車線が表示されます。
・走行を推奨する車線が青色で表示されます。

② **交差点名称表示**
通過・分岐する交差点の名称が表示されます。

③ **残距離表示**
交差点までの距離が表示されます。
（交差点に近づくとともに ▌ が短くなります。）

④ **案内ポイント**
交差点案内が表示されます。

ワンポイント

●案内ポイントの種類により、表示される画面は異なります。
・ （赤）…交差点拡大図が表示されます。
・ …信号機がある交差点の名称・レーンが表示されます。
・ （灰）…レーンが表示されます。

●次のようなときは、交差点案内が行われないことがあります。
・目的地案内開始直後
・目的地周辺

●交差点拡大図が表示されているとき、交差点名称・レーンは分岐する交差点のものが表示され、分岐する交差点より手前の交差点案内は行われません。

■3Dイラスト拡大図について

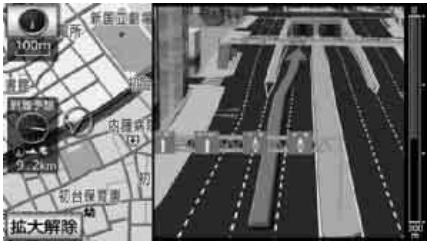
都市高速のIC入口などでは、立体的な案内画面が表示されます。



● 3Dイラスト拡大図

■難交差点拡大図について

複雑な形状の交差点では、立体的な案内画面が表示されます。



● 難交差点拡大図

■リアル交差点拡大図について

交差点拡大図をリアルな表示に切り替えることができます。



● リアル交差点拡大図

■3D交差点拡大図について

交差点拡大図を3D表示させることができます。



● 3D交差点拡大図

■立体交差点拡大図について

立体交差点情報のある交差点では、立体的な案内画面を表示させることができます。



● 立体交差点拡大図

■側道案内拡大図について

本線から側道、または側道から本線を通るルートが探索されている場合、側道の手前（約300m以内）では、側道案内拡大図が自動的に表示されます。



● 側道案内拡大図

6. 目的地案内について

レーンリスト図案内

分岐する交差点の手前（約700m以内）では、走行する交差点の名称と車線のレーンリスト図を表示させることができます。

- 交差点拡大図案内* 赤色
- 案内ポイント* 緑色、桃色、橙色
- 地図上の案内ポイント ■ とレーンリストの ■ は同じ色で表示されます。



● レーンリスト図表示

ワンポイント

レーンリスト図が表示されていても、分岐する交差点の約300m手前では交差点拡大図が自動的に表示されます。（交差点拡大図自動表示を **しない** に設定しているときは切り替わりません。）

■レーンリスト図の自動表示を設定する

レーンリスト図を自動でON（表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。

レーンリスト図の自動表示をするか、しないか、ナビ詳細設定の自動表示切替設定で選ぶことができます。（79 ページ参照）

■レーンリスト図を切り替える

自動表示を設定していない場合は、手動で切り替えることができます。

1 **レーン表示** にタッチします。

- レーンリスト図を解除したいときは、**レーン解除** にタッチします。



フェリー航路の案内

フェリーの航路は ■■■■ （破線）で表示されます。

- フェリーターミナルまで音声案内が行われます。
- フェリー利用後、しばらく走行すると目的地案内が再開されます。



ワンポイント

フェリー航路を使用する全ルート図表示画面では、フェリー料金を表示しません。ただし、到着予想時刻は、フェリー時間を含んでいます。

到着予想時刻表示の設定

目的地案内中の現在地画面（現在地がルート上にあるとき）で、画面左に到着予想時刻が表示されます。到着予想時刻は、アナログ／デジタル表示を切り替えることができます。



● 到着予想時刻表示（アナログ表示）



● 到着予想時刻表示（デジタル表示）

ワンポイント

到着予想時刻は、ルートからはずれたとき目的地方向マークになります。

■アナログ／デジタル表示を切り替える

1 設定・編集画面（ナビ）（77 ページ参照）で、**ナビ詳細設定** にタッチします。

2 **案内表示設定** にタッチします。



3 到着予想時刻表示の **アナログ** 、または **デジタル** にタッチします。



4 **完了** にタッチします。

■平均車速を設定する

以下の時刻・時間を計算する基準として平均車速を設定することができます。

- シティドライブモード画面の通過予想時刻（107 ページ参照）
- 全ルート図表示画面の到着予想時刻（164 ページ参照）
- ルート情報の通過予想時刻（167 ページ参照）
- 全行程一覧表（5ルート同時表示）の所要時間（168 ページ参照）
- 現在地画面の到着予想時刻（74 ページ参照）

次ページに続く

6. 目的地案内について

1 設定・編集画面（ナビ）（77 ページ参照）で、**ナビ詳細設定** にタッチします。

2 **案内表示設定** にタッチします。



3 到着予想時刻表示の **設定** にタッチします。



4 それぞれの道路の設定速度を入力します。

- 速度を上げるときは ▶、下げるときは ◀ にタッチします。（タッチするたびに、5km/hずつ変更されます。）
- **初期状態** にタッチすると、初期設定の状態（高速道80km/h・有料道60km/h・一般道30km/h）にもどります。
- **VICS 情報考慮** にタッチすると、VISC情報（210 ページ参照）をもとに渋滞や交通規制を考慮した到着予想時刻を表示することができます。



5 **完了** にタッチします。

料金案内

目的地案内中の現在地画面（現在地がルート上にあるとき）で、料金所に近づくと、画面左上に料金を表示し、音声で案内することができます。



● 料金案内表示

■料金案内表示を設定する

料金案内をON（表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。

1 設定・編集画面（ナビ）（77 ページ参照）で、**ナビ詳細設定** にタッチします。

2 **案内表示設定** にタッチします。



3 料金案内の **する** 、または **しない** にタッチします。



4 **完了** にタッチします。

ワンポイント

- 料金は設定した車両情報（193　ページ参照）から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。また、ETCによる割引は考慮されません。
- 有料道路と一般道が並行している場合などは、有料道路上の自車位置が一般道へずれることがあります。このときは再探索が行われると、実際と異なる料金を案内することがあります。
- 出発した地点がわからないとき（有料道路内で再探索したときなど）、または有料道路内に目的地を設定したときなどは**「○○○円以上」**と表示されます。
- 高速道路上に目的地を設定したとき、および高速道路走行中にルートを変更したときは料金案内は行いません。

車両情報を設定する

以下のときの検索および料金を計算する基準として車両情報を設定することができます。

- 提携駐車場の検索（152 ページ参照）
- 全ルート図表示画面の料金表示（164 ページ参照）
- ルート情報の料金表示（167 ページ参照）
- 全行程一覧表（5ルート同時表示）の料金表示（168 ページ参照）
- 現在地（目的地案内中）画面の料金案内（192 ページ参照）

チェック

目的地が設定されているときは、車両情報の設定ができません。

1 設定・編集画面（ナビ）（77 ページ参照）で、**ナビ詳細設定** にタッチします。

6. 目的地案内について

2 **その他** にタッチします。



3 車両情報設定の **変更する** にタッチします。



4 お車のナンバープレートの分類番号（ **1** ・ **3** ・ **5・7** ・ **軽** ）にタッチします。



5 車両寸法（長さ・幅・高さ）を入力します。

- 寸法を大きくするときは ▶ 、小さくするときは ◀ にタッチします。
- **初期状態** にタッチすると、初期設定の状態（寸法が入力されていない状態）にもどります。



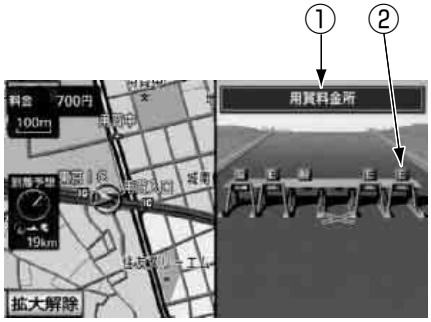
6 **完了** にタッチします。

ワンポイント

- 最大寸法（長さ600cm以上・幅250cm以上・高さ300cm以上）にすると ▶ 、最小寸法（長さ450cm以下・幅160cm以下・高さ150cm以下）にすると ◀ の色がトーンダウンし、タッチしても操作できません。
  - 長さ： 450～500cm（5cm単位）、500～600cm（10cm単位）
  - 幅： 160～200cm（5cm単位）、200～250cm（10cm単位）
  - 高さ： 150～200cm（5cm単位）、200～300cm（10cm単位）
- 提携駐車場は、車両寸法、ナンバープレートから検索しています。
- 料金案内・表示（192 ページ参照）はナンバープレートから計算しています。

料金所レーン案内

目的地案内中の現在地画面（現在地がルート上にあるとき）で、料金所に近づくと料金所のレーン図を表示することができます。ETCレーンの位置を画面表示で案内します。



① **料金所名称表示**
料金所の名称が表示されます。

② **レーンの種別表示**
各レーンの種別がマークで表示されます。

- E ：ETC専用の場合
- 混 ：ETC／一般料金所混在の場合
- 般 ：一般料金所の場合
- ：同じ内容のレーンが４つ以上続く場合
- ：続くレーン数が 10 レーンを越える場合
- ? ：不明／閉鎖

ワンポイント

次の場合、料金所レーンの前に大きく“×”が表示されます。

- 閉鎖されている場合
- 料金所を通過すると案内ルートから外れる場合

■料金所レーン案内図の自動表示を設定する

料金所レーン案内図を自動でON（表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。

1 設定・編集画面（ナビ）（77 ページ参照）で、**ナビ詳細設定** にタッチします。

2 **案内表示設定** にタッチします。



3 料金所レーン案内の **する** 、または **しない** にタッチします。



4 **完了** にタッチします。

6. 目的地案内について

ワンポイント

- 料金所、ETC レーンの車線運用は変更される場合があります。案内表示板や標識などにしたがってください。
- 地図データに情報のない料金所では、料金所レーン案内図は表示されません。また、料金所レーン案内図が表示されても、料金所名称表示が表示されないことがあります。
- 料金所の名称、レーン数が実際の料金所と異なることがあります。

■料金所レーン案内図を解除する

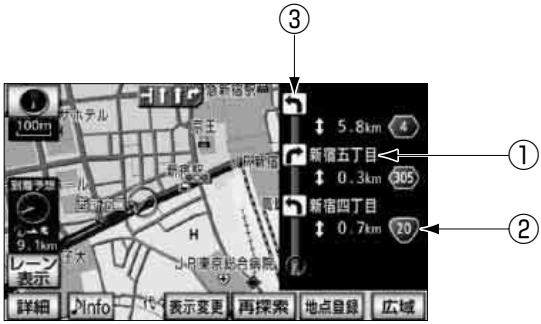
1 **拡大解除** にタッチします。

- 再度、料金所レーン案内図を表示させるには、現在地 を押します。

ターンリスト図案内

ターンリスト図案内画面は、現在地から3つ先までの分岐する交差点・インターチェンジ(IC)・ジャンクション(JCT)などの名称、案内方向、距離、路線名、路線番号が表示されます。

表示の方法については、**「案内図の切り替え」**(186ページ)を参照してください。



① **案内ポイント**

分岐する交差点・インターチェンジ(IC)・ジャンクション(JCT)名称が表示されます。

現在地から次に分岐する交差点・インターチェンジ(IC)・ジャンクション(JCT)までは路線名が表示されます。

② **距離表示**

案内ポイントの区間の距離、路線番号が表示されます。

③ **案内方向**

案内ポイントで案内する方向が表示されます。

ワンポイント

- 一般道路走行中は、ターンリスト図が表示されていても、交差点の約700m手前ではレーンリスト図、300m手前では交差点拡大図が自動的に表示されます。(レーンリスト自動表示、または交差点拡大図自動表示を **しない** に設定しているときは切り替わりません。)

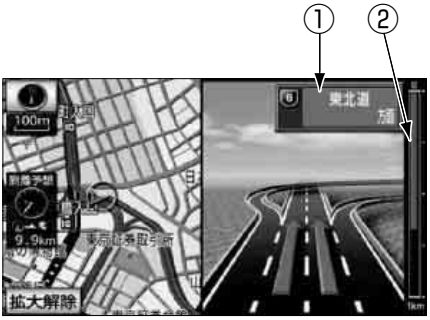
  また、高速道路走行中は、分岐点に近づくと高速分岐案内が表示されます。(高速分岐模式図自動表示を **しない** に設定しているときは切り替わりません。)
- ターンリスト図表示中は、2画面表示が解除されます。(2画面表示にするときは、ターンリスト図を解除してください。)
- ターンリスト自動表示が **しない** に設定されているときは、**表示変更** の **地図表示** からターンリスト図を表示することができます。

6. 目的地案内について

高速分岐案内（ジャンクションレーンアシスト）

目的地案内中の現在地画面（現在地がルート上にあるとき）で、高速道路を走行しているとき、分岐点［出口インターチェンジ（IC）・ジャンクション（JCT）・サービスエリア（SA）・パーキングエリア（PA）］が近づくと、高速分岐模式図が自動的に表示されます。

表示の方法については、**「拡大図の切り替え」**（186ページ）を参照してください。



① **分岐点名称表示**

インターチェンジ（IC）の出口名称、ジャンクション（JCT）、サービスエリア（SA）、またはパーキングエリア（PA）の方面名称が表示されます。

② **残距離表示**

分岐点までの距離が表示されます。（分岐点に近づくとともに ▌ が短くなります。）

ワンポイント

- 高速分岐模式図が表示されても、分岐点名称表示が表示されないことがあります。
- 次のようなときは、高速分岐模式図が表示されないことがあります。
  - ・目的地案内開始直後
  - ・目的地周辺

都市高マップ

目的地案内中の現在地画面（現在地がルート上にあるとき）で、都市高速にはいると、自動的に都市高マップを表示させることができます。

表示の方法については、**「案内図の切り替え」**（186ページ）を参照してください。



● **都市高マップ表示**

チェック

- 200m ～ 1.6km スケール図の地図で表示することができます。
- 各種設定の高速路線マップ自動表示が **する** に設定されているときは、都市高マップを自動で表示することができません。

ワンポイント

- サービスエリア（SA）・パーキングエリア（PA）にはいるなど、都市高速道路の本線からはずれたときは、都市高マップが解除されることがあります。
- 都市高マップは、2画面表示しているとき、左画面に表示されます。
- 高速路線マップ（109 ページ参照）は、同時に表示することができません。

音声案内

目的地案内中は、交差点、分岐点、通過点、インターチェンジ（IC）・パーキングエリア（PA）・サービスエリア（SA）の入口、出口、ジャンクション（JCT）、目的地に近づくと、自動で残りの道のりと曲がる方向を10方向（右、左、ナナメ右、ナナメ左、右にもどる、左にもどる、右手前、左手前、もどる、直進）で音声案内します。音声案内はPCM音声（肉声）で案内します。

チェック

- 音声案内は、自動音声案内が **する** に設定されているときに出力されます。（200 ページ参照）
- カーブ・合流・踏切・レーンの音声案内は各道路形状警告が **する** に設定されているときに出力されます。（118 ページ参照）
- 高速道路の料金案内は、料金案内が **する** に設定されているときに出力されます。（193 ページ参照）

1 現在地 を押します。

- 分岐交差点までの距離に応じた音声案内が行われます。



[目的地案内中の音声案内の例]

● 一般道音声機能

交差点などで交差点名や残りの距離、方向などを案内します。

また、分岐点の直前で「右（左）方向です。」と案内します。（ジャスト案内）

音声案内例は、下記のようになります。

・およそ700m先、○○を右方向です。

・まもなく右方向です。

● 注意地点の音声案内

カーブ・踏切などや推奨レーンを事前に音声で案内します。（ただし、分岐案内と重なった場合は、分岐案内が優先されます。カーブによっては案内しない場合もあります。）また、高速道路のルート走行中に合流点がある場合、音声にて合流を知らせます。（合流手前１ｋｍ以内に分岐点などがある場合では案内しません。）

音声案内例は、下記のようになります。

・この先、カーブがあります。

・この先、踏切です。

・この先、右からの合流があります。

・この先、左折専用レーンがあります。

・この先、右側車線が減少します。

● 高速分岐音声案内

高速道路のルート走行中は、分岐点で拡大表示を行い、音声で進行方向を案内します。

音声案内例は、下記のようになります。

・およそ○○km先、○○方向、○○方面です。

● 高速料金音声案内

ルート走行中に高速道路料金所手前で高速道路の料金を案内します。

音声案内例は、下記のようになります。

・この先○○mで料金所です。料金は○○です。

● 細街路進入時の音声案内

音声案内例は、下記のようになります。

・実際の交通規制や道幅に注意して走行してください。

次ページに続く

6. 目的地案内について

[目的地に到着したときの音声案内の例]

音声案内例は、下記のようになります。

・まもなく目的地です。

[目的地直前の例]

音声案内例は、下記のようになります。

・目的地は右（左）側にあります。

ワンポイント

- 音声案内は目的地周辺までの案内をします。実際の道路状況および交通規制にしたがって走行してください。
- 目的地に到着する直前でルートからはずれ再探索された後、目的地に近づくと再度、音声案内されることがあります。
- 音声案内の音量は調節することができます。（90 ページ参照）ただし、**消音** を選んでいると、音声案内されません。

■ 自動音声案内を設定する

自動音声案内をON（出力する）にするか、OFF（出力しない）にするか、選ぶことができます。

自動音声案内をするか、しないか、ナビ詳細設定の音声設定で選ぶことができます。（79 ページ参照）

細街路での案内

目的地案内中、目的地周辺で、細街路（幅5.5m 未満の道路）を通るときにも、音声案内をすることができます。

細街路での案内をするか、しないか、ナビ詳細設定の音声設定で選ぶことができます。（79 ページ参照）

他モードでの案内

ナビゲーション以外の画面を表示しているときに、ナビゲーションの音声案内をするか、しないか選ぶことができます。

他モードでの案内をするか、しないか、ナビ詳細設定の音声設定で選ぶことができます。（79 ページ参照）

7. 案内ルートの操作

全ルート図の再表示

出発地から目的地までの全ルート図を表示することができます。

1 地図表示させているときに、**表示変更** にタッチします。

2 **全ルート** にタッチします。

- 全ルート図表示画面になります。
- 再表示された全ルート図には、残り料金、全料金が表示されます。



- 全ルート図表示画面の詳しい内容については、**「全ルート図の表示・タッチスイッチについて」**（164ページ）を参照してください。
- **案内に戻る** にタッチすると、現在地画面になります。

ワンポイント

設定しているルートによっては、ルート全体を表示できないことがあります。

到着予想時刻／残距離表示の切り替え

目的地案内中の現在地画面（現在地がルート上にあるとき）で、目的地が2カ所以上設定されているとき、残距離表示を切り替えることができます。また、到着予想時刻も同時に切り替えることができます。

1 到着予想時刻／残距離表示にタッチします。

- 目的地が2ヵ所のときは、タッチするごとに到着予想時刻／残距離表示の目的地が切り替わります。
- ルートからはずれたときは目的地の方向と直線距離を表示します。



到着予想時刻／残距離表示

2 表示させたい目的地までの到着予想時刻／残距離表示にタッチします。

- ◀ にタッチすると、もとにもどります。



次ページに続く

7. 案内ルートの操作

ワンポイント

状況により目的地までの残距離表示が異なります。

・現在地がルート上にあるとき
　…表示されているルートを通っての距離
・ルートからはずれたとき
　…直線距離

オンルートスクロール

表示している画面に案内ルートが表示されているとき、目的地、または出発した地点および設定されている施設までルートにそって、地図を移動し、確認することができます。

■オンルートスクロールを開始する

チェック

- ●高速路線マップでは、オンルートスクロールを行うことができません。
- ●表示している地図にルートが表示されていないときは、オンルートスクロールをさせることができません。
- ●800m スケール図より広域の地図を表示させたときは、「次の施設まで」のオンルートスクロールをさせることはできません。

1 地図を表示させているときに、**表示変更** にタッチします。

2 **オンルートスクロール** にタッチします。



3 スクロールのタッチスイッチ（ ・ ・ ・ ）にタッチします。

- **設定** にタッチすると目的地、またはルート沿いの施設までの移動を設定することができます。



■オンルートスクロールの施設を設定する

1 オンルートスクロール画面で、**設定** にタッチします。

2 オンルートスクロール画面に表示させたい施設にタッチします。

- ５つまで選択することができます。
- **全ジャンル** にタッチすると、タッチスイッチに表示されている以外の施設を設定することができます。**「複数ジャンルを表示する」**（121ページ参照）
- **表示解除** にタッチすると、選択されているジャンルをすべて解除して、**次の目的地まで** が選択されます。
- もう一度タッチすると、そのジャンルが解除されます。



3 次の目的地まで 、または 次の施設まで にタッチします。

4 完了 にタッチします。

■オンルートスクロール画面の操作について

チェック

走行中は操作できません。オンルートスクロール中に走行すると ▶G ・ ◀G のみ操作することができます。

次の目的地までの場合

- ▶G
  …次の目的地まで、地図が移動されます。
- ◀G
  …出発した地点（前の目的地）まで、地図が移動されます。
- ▶|G
  …次の目的地の地図が表示されます。
- |◀G
  …出発した地点（前の目的地）の地図が表示されます。
- ⏸ にタッチすると、地図の移動が一時停止されます。
- 現在地 を押すとオンルートスクロールが終了します。
- ▶▶G ・ ◀◀G にタッチすると、移動が早送りされます。

次の施設までの場合

施設が選ばれているときのみタッチすることができます。

- ▶G
  …目的地方向で、ルート沿いの次の施設ランドマークまで地図が移動されます。
- ◀G
  …出発した地点の方向で、ルート沿いの手前の施設ランドマークまで地図が移動されます。
- ▶|G
  …目的地方向で、ルート沿いの次の施設ランドマークの地図が表示されます。
- |◀G
  …出発した地点の方向で、ルート沿いの手前の施設ランドマークの地図が表示されます。
- ⏸ にタッチすると、地図の移動が一時停止されます。
- 現在地 を押すとオンルートスクロールが終了します。
- ▶▶G ・ ◀◀G にタッチすると、移動が早送りされます。



ワンポイント

- 次の表示中は、オンルートスクロールを行うと表示が解除されますが、現在地 を押すともどります。
  - ・2画面表示をしているとき
  - ・シティドライブモード画面を表示しているとき
  - ・都市高マップを表示しているとき
  - ・3D表示をしているとき
- オンルートスクロールで設定した施設は周辺施設で設定した施設とは異なります。
- 施設ランドマークまで移動したときは、施設の情報を表示することができます。（124ページ参照）
- 表示される地図によってオンルートスクロールが止まることがあります。

8. ルートの再探索

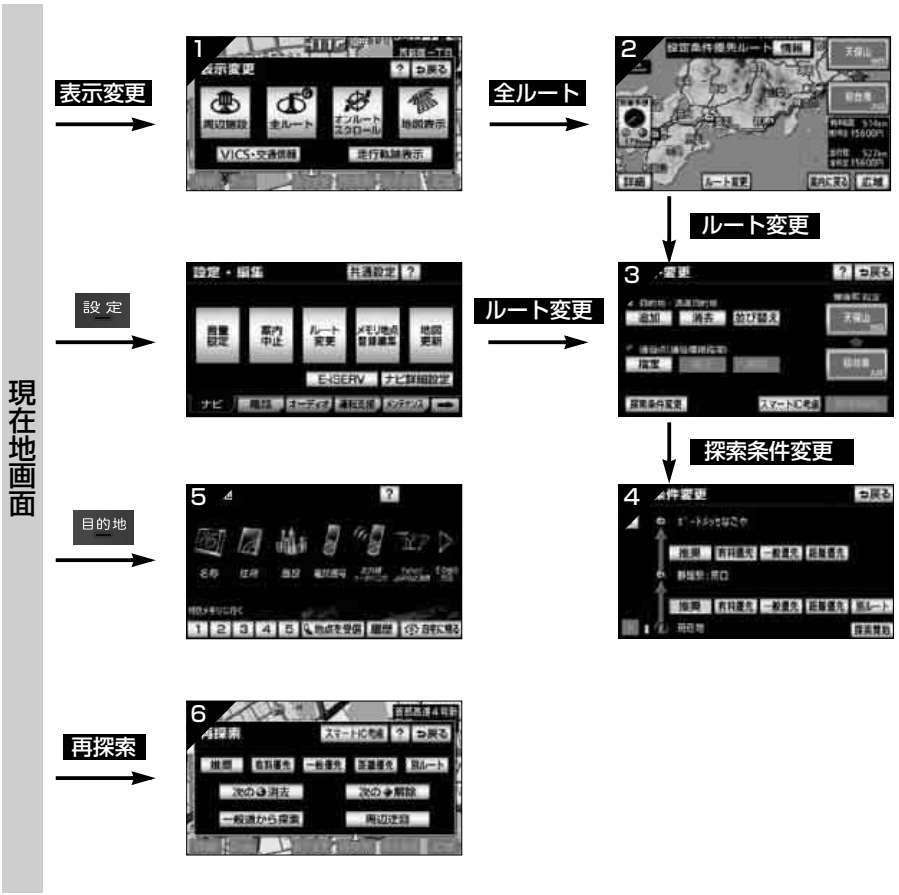
ルートの再探索について

案内中のルートに目的地の追加などを設定したり、探索条件を変更して、ルートを再探索することができます。

ルートを変更するには、「**表示変更** の **全ルート** から変更する方法」、「設定 から変更する方法」、「目的地 から変更する方法」、または「案内中の **再探索** から簡易に変更する方法」があります。

以下の画面でルートを再探索することができます。

● 各画面のタッチスイッチについては次ページを参照してください。



タッチスイッチ一覧

画面No.	タッチスイッチ	機　能	ページ
1	全ルート	全ルート図を表示します。	201
2	インターチェンジ名称	入口・出口のインターチェンジを指定・解除します。	176 177
	ルート変更	ルート変更画面を表示します。	169
3	目的地・通過目的地 追加 ・ 並び替え 消去	目的地を追加・並び替え・消去します。	170 173 174
	通過点（通過道路指定） 指定 ・ 修正 ・ 解除	通過道路を指定・修正・解除します。	178 180 181
	インターチェンジ名称	入口・出口のインターチェンジを指定・解除します。	176 177
	探索条件変更	探索条件変更画面を表示します。	172
	スマートIC考慮	スマートICを考慮したルートを探索します。	176
4	探索条件	各区間の探索条件を設定します。 （探索条件については次ページを参照してください。）	172
5	地図の呼び出し方法	目的の地図を呼び出します。 目的地を設定・追加します。	126
6	スマートIC考慮	スマートICを考慮したルートを探索します。	207
	探索条件	ルートの探索条件を変更します。 （探索条件については次ページを参照してください。）	207
	次の 消去 指定 解除 次の 解除	次の目的地を消去・インターチェンジ（IC）の指定を解除・通過道路指定を解除して探索します。	207
	有料道から探索 ※1 一般道から探索 ※1	高架道路の上下で並走している道路など間違ったルートの表示を訂正して探索します。	207
	周辺迂回 ※2	前方の案内道路周辺を迂回するルートを探索します。	207

※1 有料道路と一般道が並行している場所のように、案内可能な別の道路があるときのみ表示されます。また、ルートからはずれたときは、表示されません。

※2 ルートからはずれたときは、表示されません。

次ページに続く

8. ルートの再探索

画面No.		タッチスイッチ	機　能	ページ
4、6	探索条件	推奨	現在地から次の目的地※4の間で、一般的なルートが探索されます。	172
		有料優先	現在地から次の目的地※4の間で、有料道路を優先してルートが探索されます。	
		一般優先	現在地から次の目的地※4の間で、一般道路を優先してルートが探索されます。	
		距離優先	現在地から次の目的地※4の間で、距離の短いルートが探索されます。	
		別ルート ※3	現在地から次の目的地※4の間で、他のルートとは別のルートが探索されます。	

※3 5ルート同時表示（168 ページ参照）から選んだときは、推奨ルートとは別のルートが探索されます。

※4 現在地と次の目的地の間にインターチェンジ（IC）・通過道路が指定されているときは、現在地から指定されているインターチェンジ（IC）・通過道路の間で、ルートが探索されます。

■ルートの再探索

1 現在地画面で、**再探索** にタッチします。



2 再探索させる項目（205 ページ参照）にタッチします。

- ルート探索が開始されます。
- **スマートIC考慮** にタッチすると、スマートICを考慮したルートを再探索することができます。
- **次の消去** ・ **指定解除** （または **次の解除** ）にタッチすると、現在地の次の目的地を消去、またはインターチェンジ（IC）の指定を解除（次の通過道路を解除）して、再探索をさせることができます。
- **一般道から探索** （有料道を走行中に一般道の案内がされているときは **有料道から探索** ）にタッチすることで、高架道路の上下や並行している道路でルートを訂正してルートを再探索することができます。



ワンポイント

- 道路形状により再探索されないことや条件を変更しても同じルートを再探索することがあります。
- **スマートIC考慮** にタッチしても、スマートICを通るルートが探索できないことがあります。
- スマートICを選択することもできます。このとき、ETC車載器の取付有無、規制情報などは考慮されません。事前に国土交通省のホームページで、ご確認の上、注意して走行してください。
- ルートを大きくはずれて走行したときは、走行していたルートへもどるルートではなく、設定されている目的地［インターチェンジ（IC）・通過道路］に向かうルートが再探索されます。
- 「○○○優先」というのは、ルート探索のひとつの条件にすぎません。大きく遠まわりになるようなときは、**有料優先** にタッチしても有料道路を利用しないルートが探索されたり、有料道路を通らないと目的地に行けないようなときは、**一般優先** にタッチしても有料道路を利用するルートが探索されることがあります。
- 高架道路の下や並行している一般道路上で、ルート探索を行うと、高架有料道路や並行している有料道路上のルート案内をしてしまうことがあります。（都市高速道路下の道路を走行または駐車しているのに、高速道路のルート案内をしてしまう場合など）また、逆のケースもあります。

8. ルートの再探索

自動再探索（ハイパーリルート）

ルートからはずれ、案内可能な道路を走行しているときに、自動的に再探索（周辺探索、または全ルート探索）させることができます。

再探索されるルートは、ルートからはずれたときの状況により異なります。

- 周辺探索
  …もとのルートへ復帰するルートが探索されます。
- 全ルート探索
  …現在地から目的地※の間で、選ばれている条件でルートが探索されます。

※ 現在地と次の目的地の間にインターチェンジ（IC）・通過道路が指定されているときは、現在地から指定されているインターチェンジ（IC）・通過道路の間で、ルートが探索されます。

自動再探索をするか、しないか、ナビ詳細設定のルート系設定で選ぶことができます。（79 ページ参照）

9. 目的地設定画面の設定

目的地設定画面のスイッチ設定（目的地メニューカスタマイズ）

目的地設定画面の１ページ目に表示させるスイッチを設定することができます。
設定されたスイッチは、目的地設定画面、目的地追加画面で表示されます。

1 設定・編集画面（ナビ）（77 ページ参照）で、**ナビ詳細設定** にタッチします。

2 **その他** にタッチします。



3 目的地メニューカスタマイズの **変更する** にタッチします。



4 設定されているスイッチ（点灯しているスイッチ）にタッチして設定を解除します。



5 １ページ目に表示したいスイッチを６つ選択し、タッチします。

● 選択されたタッチスイッチが点灯します。

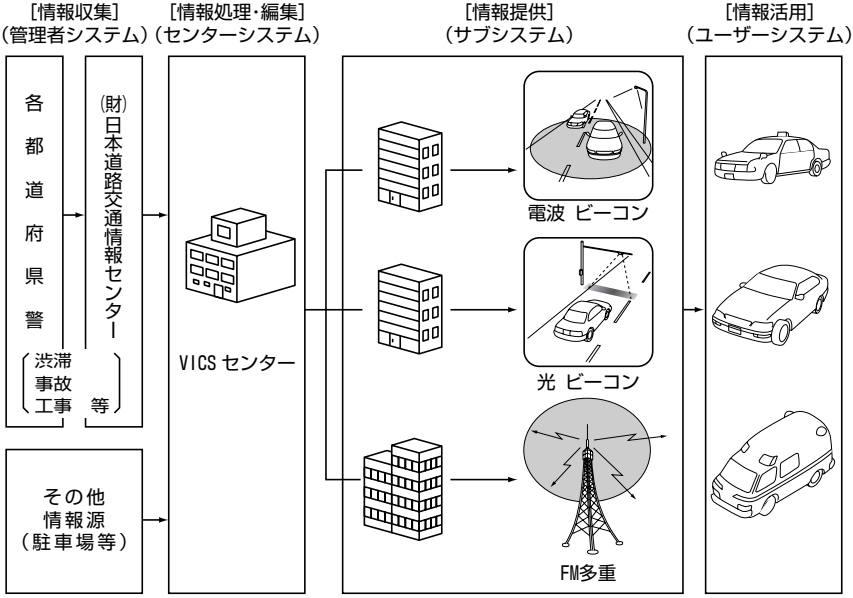
6 **完了** にタッチします。

1. VICS機能の紹介

VICSとは

道路交通情報通信システム（VICS：Vehicle Information and Communication System）は渋滞や事故、工事、所要時間、駐車場の道路交通情報をリアルタイムに送信し、地図画面等に表示するシステムです。また、道路交通情報の提供をとおして、安全性の向上、交通の円滑による環境の保全等を促進することを目的としています。

VICSは大きく分けて、「情報収集」「情報処理・編集」「情報提供」「情報活用」の4つのブロックからなります。



VICSリンクデータベースの著作権は（財）日本デジタル道路地図協会、（財）日本交通管理技術協会が有しています。

VICSおよび本機に付与された VICS のマーク・ロゴタイプは財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。

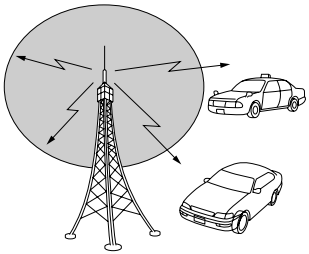
VICSのメディア概要

■FM多重

FM多重は、放送局から広く電波の届く範囲の車両に情報の提供を行います。

本機に内蔵のFM多重チューナーでFM多重放送を受信することができます。

VICS情報の受信については**「VICS FM多重放送局の選択」**（216ページ）を参照してください。



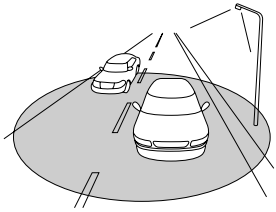
1. VICS機能の紹介

■電波ビーコンと光ビーコン

別売の2メディア/3レベル対応VICSユニット※を接続することによって、電波ビーコン、光ビーコンを受信することができます。

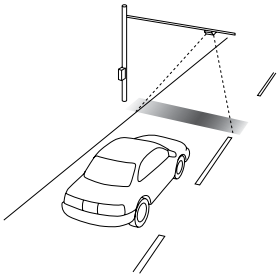
電波ビーコン

電波ビーコンは、主に高速道路の路側に設置され、その地点を通過する車両に情報の提供を行います。



光ビーコン

光ビーコンは、主に一般道路上の各レーンに設置され、そのレーンを通過する車両に情報の提供を行います。



※ 別売の2メディア/3レベル対応VICSユニットについては、**「2メディア/3レベル対応VICSユニットの操作」**（295ページ）を参照してください。

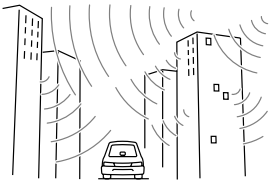
■オンデマンドVICS （AVN-Z01のみ）

オンデマンドVICS は、MapFan® が提供する「渋滞チャンネル」のサービスを利用し、Bluetooth機能を搭載した携帯電話を介して、交通情報（渋滞情報）を本機へ配信する機能です。
詳細は、**「オンデマンドVICS機能 （AVN-Z01のみ）」**（219ページ）を参照してください。

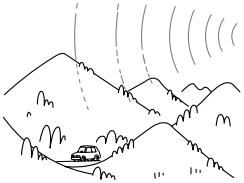
VICS特有の事項

- 提供情報はあくまで参考情報としてご利用ください。
  （提供される情報は最新でない場合があります。）
- VICS の表示内容は、VICS センターが提供していますので、本取扱説明書の画面表示は、実際の表示内容とは異なる場合があります。
- 電波や光の信号がうまく受信できないときに一部表示が乱れる場合があります。新しい電波が正しく受信されれば正しい表示に更新されます。

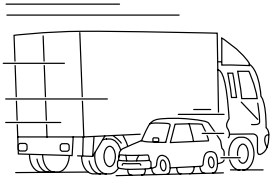
■FM多重放送特有の事項



①高層ビルの間では電波が乱反射してうまく受信できないことがあります。

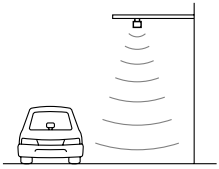


②盆地のような所では、うまく受信できないことがあります。

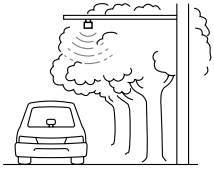


③トラックとすれちがったりするとうまく受信できないことがあります。

■電波ビーコン特有の事項



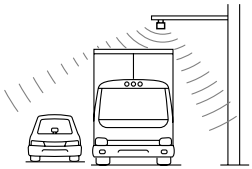
①直線的にしか電波は届きません。



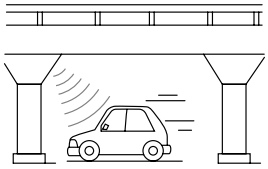
②水に吸収される性質があるので、街路樹が繁っているとうまく受信できないことがあります。



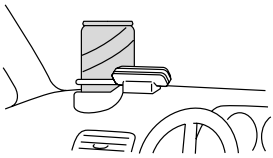
③トンネルの中や高架道路の所では乱反射して、うまく受信できないことがあります。



④トラックの陰に入ると、うまく受信できないことがあります。



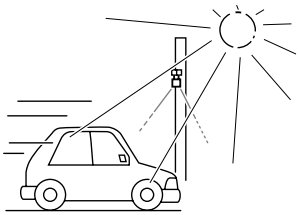
⑤高架道路の下で電波を受信すると誤った位置を判断することがあります。



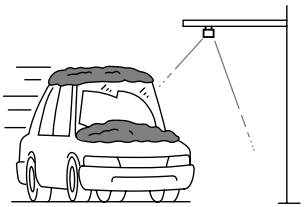
⑥VICSのアンテナの上や近くに金属を置かないでください。

1. VICS機能の紹介

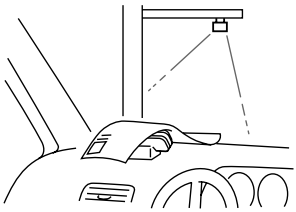
■光ビーコン特有の事項



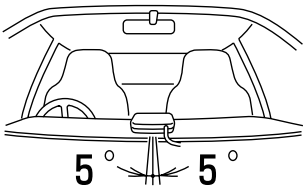
①太陽と光ビーコンからの信号が重なると、うまく受信できないことがあります。



②雪が積もっていたり、ウインドガラスが汚れていると、うまく受信できないことがあります。



③VICSのアンテナの上や近くに紙類等光を受信するのを妨げる物を置かないでください。



④VICSのアンテナの取り付け方向は、±5°でセットしてください。ずれた場合は、うまく受信できないことがあります。

VICS情報提供内容と表示について

- VICS情報は文字表示、簡易図形表示または地図表示から渋滞・交通規制等を表示します。
- VICSセンターからVICS情報が配信された時刻を表示します。

■レベル1（文字表示）



■レベル2（簡易図形表示）



■レベル3（地図表示）



ワンポイント

- 情報が受信できない場合など、VICS情報が表示できないことがあります。
- 情報提供エリアの違いなどによって情報内容が異なります。
- オンデマンドVICSで受信される情報は、レベル3（地図表示）のみです。

2. VICS FM多重放送の受信

VICS FM多重放送局の選択

VICS情報を提供しているFM放送局を選ぶことができます。

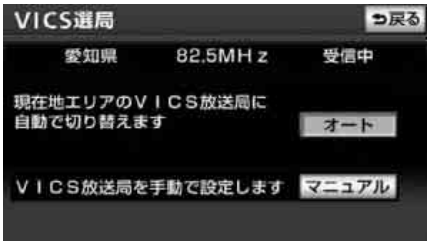
1 情報・BTナビ画面（情報）（266ページ参照）で、**VICS** にタッチします。

2 **VICS選局** にタッチします。



3 **オート**、または **マニュアル** にタッチします。

- **オート**
  …自動で選択します。
- **マニュアル**
  …手動（エリアまたは周波数）で選択します。
- 初期設定は、**オート** が選択されています。「オート」で受信されないときのみ、**マニュアル** で放送局（または放送エリア）を選択してください。



■自動で選択する

現在地がある都道府県の放送局が受信され、現在地を移動させると、自動的に受信可能な放送局に切り替わります。

1 **オート** にタッチします。

- 放送局が受信されると、**「受信中」**が表示されます。
- 自動選択中は、タッチスイッチの色が明るくなります。



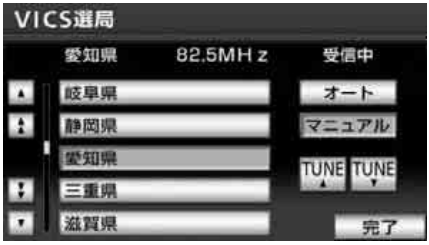
■エリアで選択する

選んだ都道府県の放送局が受信されます。受信状態がかわると、選んだ都道府県内で、自動的に受信可能な放送局に切り替わります。

1 **マニュアル** にタッチします。

2 受信させる放送局のある都道府県名にタッチします。

- 放送局が受信されると、**「受信中」**が表示されます。



3 完了 にタッチします。

■周波数を手動で選択する

選んだ周波数の放送局が受信されます。受信状態がかわっても自動的に放送局は切り替わりません。

1 マニュアル にタッチします。

2 TUNE▲ 、または TUNE▼ にタッチして、放送局の周波数を選びます。

● 放送局が受信されると、**「受信中」**が表示されます。



3 完了 にタッチします。

2. VICS FM多重放送の受信

ワンポイント

●通常は **オート** でご使用ください。

●VICS情報が受信できる代表的な周波数（2011年5月現在）

北海道（旭川地区　85.8MHz）（函館地区　87.0MHz）（札幌地区　85.2MHz）
（室蘭地区　88.0MHz）（釧路地区　88.5MHz）（帯広地区　87.5MHz）
（北見地区　86.0MHz）

青森県	86.0MHz	秋田県	86.7MHz	岩手県	83.1MHz
山形県	82.1MHz	宮城県	82.5MHz	福島県	85.3MHz
茨城県	83.2MHz	栃木県	80.3MHz	群馬県	81.6MHz
埼玉県	85.1MHz	千葉県	80.7MHz	東京都	82.5MHz
神奈川県	81.9MHz	山梨県	85.6MHz	静岡県	88.8MHz
長野県	84.0MHz	岐阜県	83.6MHz	愛知県	82.5MHz
三重県	81.8MHz	新潟県	82.3MHz	石川県	82.2MHz
富山県	81.5MHz	福井県	83.4MHz	滋賀県	84.0MHz
京都府	82.8MHz	大阪府	88.1MHz	兵庫県	86.5MHz
奈良県	87.4MHz	和歌山県	84.7MHz	岡山県	88.7MHz
広島県	88.3MHz	鳥取県	85.8MHz	島根県	84.5MHz
山口県	85.3MHz	香川県	86.0MHz	徳島県	83.4MHz
高知県	87.5MHz	愛媛県	87.7MHz	福岡県	84.8MHz
大分県	88.9MHz	佐賀県	81.6MHz	長崎県	84.5MHz
熊本県	85.4MHz	宮崎県	86.2MHz	鹿児島県	85.6MHz
沖縄県	88.1MHz				

●新規エリアについては周波数を手動で選択しないと受信できない場合があります。

●VICS情報のサービスエリアについては、**「VICS情報有料放送サービス契約約款」**（556ページ）を参照してください。

●VICSシステムでは、あらかじめ地図データに情報提供される道路単位（VICSリンク）を設定しています。これは毎年追加・更新・削除されるため、データベースの更新を行わない場合、本機の発売から経年でVICS地図情報（レベル3）（渋滞や混雑の矢印など）の一部が表示されなくなることがあります。

最新の情報に対応するためには、地図データの更新を行う必要があります。

情報提供サービス維持のため、変更前のVICSリンクにも変更後3年間は、従来通り情報を提供する仕組みになっています。

●VICS FM多重放送の運用時間は24時間です。休止時間については、VICS FM多重放送の「気象警報他」でご案内します。運用時間は予告なく変更されることがあります。

3. オンデマンドVICS機能 （AVN-Z01のみ）

オンデマンドVICS機能の紹介

オンデマンドVICSとは、携帯電話のBluetooth無線技術を用いて、通信による渋滞情報を取得するシステムです。取得した情報をもとに地図に渋滞情報の表示と、事故や交通規制などの表示を行うことができます。

チェック

渋滞情報を取得するには、インクリメントＰ株式会社が運営するケータイ向け「MapFan™」への有料会員登録が必要になります（221 ページ参照）。取得した交通規制情報は、ルート探索時に反映することができますが、渋滞情報はルート探索への反映はできません。



ワンポイント

- ケータイ向け「MapFan™」ではオンデマンドVICS以外にも、お出かけ時のさまざまなシーンにお応えする便利な機能を搭載しています。
- ケータイ向け「MapFan™」の使用には別途、携帯電話の通信料（パケット料金）が必要になります。パケット通信料が高額となる場合があるため、パケット定額サービス等のご加入を強く推奨します。
- オンデマンドVICSを利用する場合、外部機器と接続したデータ通信となるため携帯電話向けパケット定額サービスにおける上限額は適用外になります。別途、ご使用の携帯電話料金プランを必ずご確認ください。
- 取得1 回あたり平均パケット使用量と料金目安は下記を参照ください。
  - ・都市部では、約175 パケット：約4 円
  - ・地方部では、約10 パケット：約1 円

  （月に40 時間運転・20 分に1 回取得したとすると、都市部では約480 円、地方部では約120 円）

  ※ 上記金額はあくまでも目安になります。データ量（＝パケット料）は、取得する地域、および日時によって上下します。パケット料金単価は、お客様の加入プランや携帯電話会社に依存します。上記目安金額はNTT ドコモのパケットし放題プラン適用です。（2010 年9 月現在1 パケット[128byte] = 0.021円で計算）
- オンデマンドVICSを試用期間※後も続けてご利用される場合、ケータイ向け「MapFan™」利用料として、月額315円が課金されます（2010年10月現在）。

  ※ 試用期間は30日間です（2010年10月現在）。詳細は、ケータイ向け「MapFan™」にアクセスしてご確認ください。（221 ページ参照）

次ページに続く

3. オンデマンドVICS機能 （AVN-Z01のみ）

●オンデマンドVICSをご利用になれる携帯電話は、Bluetoothでインターネット接続できる機種に限られます。詳しくは、弊社ホームページをご覧ください。（http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/）

●渋滞情報は、インクリメントＰ株式会社が運営する「インクリメントＰ交通情報サービス」からの提供です。道路交通情報データは、財団法人日本道路交通情報センターから提供されます。また、データ作成には財団法人道路交通情報通信システムセンター（VICSセンター）の技術が用いられています。

■対応*Bluetooth*®仕様および対応プロファイルについて

● 対応Bluetooth仕様：
Bluetooth Specification Ver. 1.1以上（Ver.2.0 + EDR以上を推奨）

● 対応プロファイル：
DUN (Dial Up Network) Ver.1.1

オンデマンドVICSのユーザー登録

チェック

- オンデマンド VICS の情報を受信するには、事前にMapFan®にユーザー登録する必要があります。
- 事前に携帯電話の登録（504 ページ参照）とBluetooth接続（506 ページ参照）をする必要があります。

1 設定・編集画面（電話）（77 ページ参照）で、**通信接続設定** にタッチします。

2 **オンデマンド VICS 取得設定** にタッチします。



3 オンデマンドVICSのユーザー登録の **MapFan の登録** にタッチします。



4 画面上のQRコードを携帯電話で読み取る、またはURLを直接入力して、各サービスサイトにアクセスします。



5 携帯電話の登録画面にしたがって登録します。

3. オンデマンドVICS機能 （AVN-Z01のみ）

通信接続の設定をする

オンデマンドVICSを受信するために使用する携帯電話と本機の通信接続設定を行います。

チェック

事前に携帯電話の登録（504 ページ参照）とBluetooth接続（506 ページ参照）をする必要があります。

1 設定・編集画面（電話）（77 ページ参照）で、**通信接続設定** にタッチします。

2 使用する携帯電話を選んでタッチします。



3 プロバイダを選択します。



- **その他のプロバイダ** を選択する場合、**「その他のプロバイダを使用する場合」**（222 ページ）を参照してください。

4 **完了** にタッチします。

■その他のプロバイダを使用する場合

1 プロバイダリスト画面で、**その他のプロバイダ** にタッチします。



2 各項目を設定します。



- 各項目を設定し終えたら、**完了** にタッチします。
- 設定内容の詳細は、携帯電話の取扱説明書を参照してください。

オンデマンドVICSの取得設定

オンデマンドVICSの自動接続する･しない、接続時間の間隔、取得先の指定を設定することができます。

■オンデマンドVICSの自動接続する・しないを設定する

1 設定・編集画面（電話）（77 ページ参照）で、**通信接続設定** にタッチします。

2 **オンデマンド VICS 取得設定** にタッチします。



3 オンデマンドVICSの自動接続の **する** または **しない** にタッチします。



- **する** にタッチした場合、自動でVICS情報を取得します。**－** 、または **＋** にタッチすると、取得時間の間隔を5分～30分の間で設定することができます。
- **しない** にタッチした場合、手動でVICS情報を取得します。手動での取得方法は**「オンデマンドVICSを手動で取得する」**（224ページ）を参照ください。
- オンデマンドVICSの自動接続を **する** に設定する場合、事前に通信接続設定（222 ページ参照）を行ってください。

4 **完了** にタッチします。

3. オンデマンドVICS機能 （AVN-Z01のみ）

■オンデマンドVICSを手動で取得する

チェック

事前に携帯電話の登録（504 ページ参照）、Bluetooth接続（506 ページ参照）をする必要があります。

1 地図を表示させているときに、**表示変更** にタッチします。

2 **VICS・交通情報** にタッチします。



3 **オンデマンド VICS 取得** にタッチします。



4. VICS情報の表示・案内

VICS情報表示の設定

地図（レベル3）に表示するVICS情報や交通情報を設定することができます。

1 地図を表示させているときに、**表示変更** にタッチします。

2 **VICS・交通情報** にタッチします。



3 **表示設定** にタッチします。



4 VICS・交通情報を表示させる項目のタッチスイッチにタッチします。

● VICS情報（現況情報）

渋滞・混雑
…渋滞・混雑情報の表示

空き道
…空いている道の情報の表示

規制情報
…事象・規制情報の表示

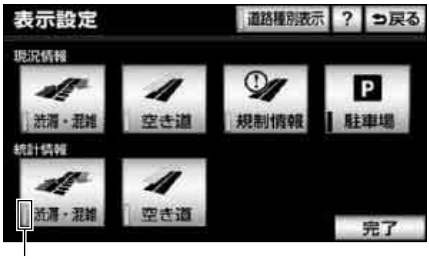
駐車場
…駐車場情報の表示

● 交通情報（統計情報）

渋滞・混雑
…渋滞・混雑情報の表示

空き道
…空いている道の情報の表示

● VICSマーク（232　　ページ参照）は、**規制情報** 、または **駐車場** を設定していないと表示されません。



作動表示灯

● 作動表示灯の点灯している情報が、地図上に表示されます。再度タッチすると、表示が解除されます。

5 **完了** にタッチします。

4. VICS情報の表示・案内

VICS表示道路色を切り替える

道路の種別を通常の色分けと、VICS対象道路（緑・紫）との色分けに切り替えることができます。

1 地図を表示させているときに、**表示変更** にタッチします。

2 **VICS・交通情報** にタッチします。



3 **表示設定** にタッチします。



4 **道路種別表示** にタッチします。

● 設定時の道路色：

高速道・有料道は紫、国道は赤、主要地方道路は緑、県道は橙色、それ以外の道路を灰色で表示

非設定時の道路色：

VICS対象一般道を緑、VICS対象高速道を紫、それ以外の道路を灰色で表示



5 **完了** にタッチします。

ワンポイント

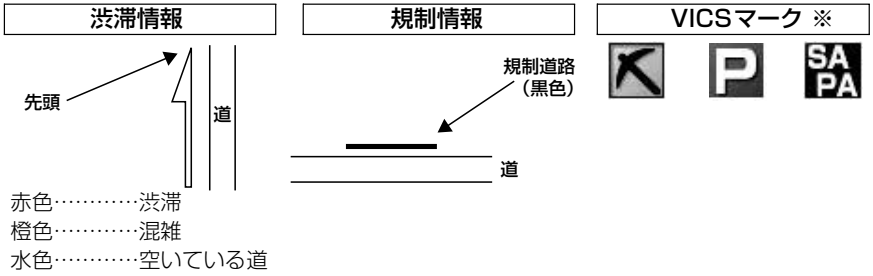
VICS対象道路は将来の計画も含めた情報提供の可能性のある道路です。したがって、現時点では情報提供されていない道路もあります。

VICS情報の表示

■VICS情報の表示

地図にVICS情報（渋滞・規制情報、VICSマーク）を表示させることができます。

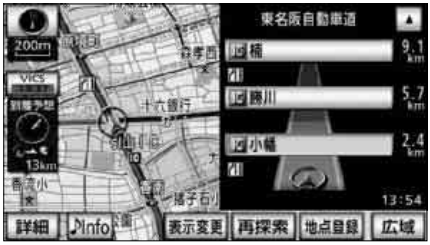
- VICS 情報が受信されると、タイムスタンプに VICS 情報が提供された時刻が表示され、VICS情報が表示されます。
- タイムスタンプの表示は下記になります。
  - 表示中の地図にVICS情報（レベル3）がある場合
  - VICS情報を受信しているが、表示中の地図にVICS情報（レベル3）がない場合
  - VICS情報を受信していない場合
- ルート上（約10km以内）にVICS情報があるときは、タイムスタンプの色が以下のように変わります。また、タッチスイッチに替わったときは、タッチすると音声案内を聞くことができます。
  - ・赤色（渋滞情報）、橙色（混雑情報）、黄色（交通規制情報）
  - ・タッチスイッチ（ ）* 渋滞・規制音声案内があるとき



※ 規制情報、駐車場、サービスエリア（SA）・パーキングエリア（PA）情報の詳細については**「地図に表示されるVICS表示マークについて」**（232ページ）を参照してください。



●一般道路



●高速道路

チェック

- ●1.6kmスケール図以下の詳細な地図で表示させることができます。
- ●VICS情報が表示されているときは、シティドライブモード、高速路線マップ、都市高マップにVICS情報を表示させることができます。

4. VICS情報の表示・案内

ワンポイント

VICSマークによっては、200mスケール図以下の詳細な地図で表示するマークもあります。

■交通情報の表示

収録された渋滞統計情報と走行した道路情報から渋滞を予測し、地図上に ーーー（破線）で表示することができます。

破線の色は下記を表しています。

- 赤色…渋滞
- 橙色…混雑
- 水色…空いている道

■VICS情報を地図表示する

1 地図を表示させているときに、**表示変更** にタッチします。

2 **VICS・交通情報** にタッチします。

3 **全て**（一般道・有料道路）・**高速道のみ**（有料道路のみ）・**一般道のみ**（一般道のみ）のいずれかにタッチします。

- **一般道のみ** に設定している場合でも、シティドライブモードにVICS情報が表示されます。



■VICSマークの内容表示について

規制情報、または駐車場情報の内容を表示することができます。

1 VICSマークにタッチします。

- VICSマークの内容と現在地からの直線距離が表示されます。



ワンポイント

- タイムスタンプは、VICS情報が提供された時刻を示しています。VICSが受信された時刻ではありません。
- VICS情報は継続して受信されないと、提供時刻の約30分後に自動的に消去されます。
- VICSマークによっては、内容が表示されないVICSマークもあります。

■VICS情報を消去する

1 地図を表示させているときに、**表示変更** にタッチします。

2 **VICS・交通情報** にタッチします。

3 **非表示** にタッチします。

- VICS･交通情報が表示されなくなります。
- VICS情報の提供をお知らせするタイムスタンプが表示されなくなります。



VICS渋滞・規制音声案内

目的地案内中の現在地画面（現在地がルート上にあるとき）で、約10km以内のルート上のVICS情報を音声でお知らせします。

また、音声を聞き逃したときは、もう一度音声を聞くことができます。

[音声案内の例]

- VICS　渋滞表示がある地点では、「およそ1km先、渋滞があります。」
- VICS　　マークのある地点では、「およそ5km先、電気工事のため車線規制中です。」

音声案内はあくまでも参考としてください。

■渋滞・規制の音声自動発声を設定する

VICS渋滞・規制音声自動発声をON（出力する）にするか、OFF（出力しない）にするか、選ぶことができます。

1 設定・編集画面（ナビ）（77 ページ参照）で、**ナビ詳細設定** にタッチします。

2 **音声設定** にタッチします。



3 VICS渋滞・規制音声自動発声の **する** 、または **しない** にタッチします。



4 **完了** にタッチします。

4. VICS情報の表示・案内

■渋滞・規制を音声で案内する

渋滞・規制音声案内を聞くことができます。ルート上（約10km以内）にVICSの渋滞・規制案内がある場合は、タイムスタンプがタッチスイッチ（ VICS ）に切り替わります。

1 地図を表示させているときに、タイムスタンプにタッチします。

● 渋滞・規制案内情報が音声で案内されます。



タイムスタンプ

VICS図形情報の表示

1 情報・BTナビ画面（情報）（266ページ参照）で、 VICS にタッチします。

2 FM図形 にタッチします。



3 表示させる図形情報の番号にタッチします。

● 文字 にタッチすると、VICS文字情報が表示されます。



4 ▲ 、または ▼ にタッチするか、自動送り にタッチします。

● ▲ 、または ▼ にタッチすると、図形情報のページを1ページずつ送ることができます。

● 自動送り にタッチすると（タッチスイッチが 停止 になります。）、図形情報が自動で送られます。すべての情報が表示されたあとは、最初のページにもどります。
（走行中は自動送りできません。）

● 図形情報の自動送りを停止するときは 停止 にタッチします。
また、自動送り中に ▲ 、または ▼ にタッチして、図形情報を送ったときは、自動送りは終了します。

● 文字 にタッチすると、VICS文字情報が表示されます。

● 目次 にタッチすると、目次にもどります。



ワンポイント

緊急情報を受信したときは、他の情報より優先して割込表示されます。割込んだ情報は **割込情報** から再表示することができます。

VICS文字情報の表示

1 情報・BTナビ画面（情報）（266ページ参照）で、**VICS** にタッチします。

2 **FM文字** にタッチします。



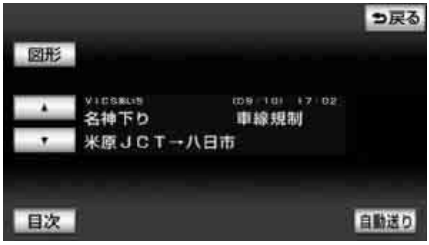
3 表示させる文字情報の番号にタッチします。

- **図形** にタッチすると、VICS図形情報が表示されます。



4 ▲、または ▼ にタッチするか、**自動送り** にタッチします。

- ▲、または ▼ にタッチすると、文字情報のページを1ページずつ送ることができます。
- **自動送り** にタッチすると（タッチスイッチが **停止** になります。）、文字情報が自動で送られます。すべての情報が表示されたあとは、最初のページにもどります。
  （走行中は自動送りできません。）
- 文字情報の自動送りを停止するときは **停止** にタッチします。
  また、自動送り中に ▲、または ▼ にタッチして、文字情報を送ったときは、自動送りは終了します。
- **図形** にタッチすると、VICS図形情報が表示されます。
- **目次** にタッチすると、目次にもどります。



ワンポイント

緊急情報を受信したときは、他の情報より優先して割込表示されます。割込んだ情報は **割込情報** から再表示することができます。

4. VICS情報の表示・案内

地図に表示されるVICS表示マークについて

VICS情報の中で使用されるマークの代表的な例を示します。

表示	情報内容
	事故
	故障車
	路上障害
 （青色）	注意
 （黒色）	注意（地震警戒宣言）
	工事
	火災
	雨
	凍結
	雪
	作業
	通行止め
	右折禁止
	左折禁止
	直進禁止
	片側交互通行
	チェーン規制
	進入禁止

表示	情報内容
 （青色）	駐車場 空
 （赤色）	駐車場 満
 （橙色）	駐車場 混雑
 （黒色）	駐車場 不明
	駐車場 閉鎖
	対面通行
	車線規制
	徐行
	入り口閉鎖
	大型通行止め
	入り口規制
	出口規制
	速度規制 30㎞/h
 （青色）	SA PA情報 空
 （赤色）	SA PA情報 満
 （橙色）	SA PA情報 混雑
 （黒色）	SA PA情報 不明
	イベント

表示されるマークは実際と異なることがあります。また、複数の規制を代表して１つのマークで表示することがあります。

VICSの用語説明

より正しく有効に利用していただくために、次に出てくる用語の説明をご一読ください。

■ 緊急情報

津波情報等の緊急に伝達される必要のある情報の場合、本機では、他の情報より優先して表示提供されます。

■ 交通情報関連の用語

- 渋滞：交通の流れが非常に悪い状態をいいます。
- 混雑：交通の流れがやや悪い状態をいいます。

■ 駐車場情報関連の用語

- 満車：駐車場において、ほぼ満車の状態をいいます。
- 混雑：駐車場において、利用率が高い状態をいいます。
- 空車：駐車場の利用が可能な状態をいいます。
- 不明：駐車場の情報が無い状態をいいます。
- 閉鎖：駐車場が閉鎖されている状態をいいます。

VICSセンター著作権について

1 お客様は、共通ネットワーク仕様書の著作権その他知的所有権を財団法人道路交通情報通信システムセンター、社団法人新交通管理システム協会および財団法人道路新産業開発機構が所有しまたは管理すること、並びに共通ネットワーク仕様書以外のVICS技術情報等の著作権その他知的所有権および使用許諾権を財団法人道路交通情報通信システムセンターが所有しまたは管理することに同意する。

2 お客様は、財団法人道路交通情報通信システムセンター、社団法人新交通管理システム協会および財団法人道路新産業開発機構の共通ネットワーク仕様書の著作権その他知的所有権の保護に努める、並びに財団法人道路交通情報通信システムセンターの共通ネットワーク仕様書以外のVICS技術情報等の著作権その他知的所有権および使用許諾権の保護に努める。

4. VICS情報の表示・案内

VICSの問い合わせ先

● VICS車載機の調子や使用方法、受信の可否に関して

● 地図表示（レベル3）の内容に関して

● VICS情報の受信エリアや内容の概略に関して

これらの内容のお問い合わせは、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

● 文字表示（レベル1）の内容に関して

● 簡易図形表示（レベル2）の内容に関して

● VICSの概念、サービス提供エリアに関して

これらの内容のお問い合わせは、サービス・サポート・センターまでご連絡ください。

電話受付	＜受付時間　09:30～17:45 土曜、日曜、祝日を除く＞
電話番号	0570-00-8831（全国）※ ※全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。 ※PHS、IP電話等からはご利用できません。
FAX受付	＜受付時間　24時間＞
FAX番号	03-3562-1719（全国）

VICSの最新情報やFM多重放送局の周波数の情報などは、下記のホームページでご覧いただけます。

URL：http://www.vics.or.jp/

なお、お問い合せ先の判断に迷うようなときには、まずお買い上げいただいた販売店までご連絡ください。

オンデマンドVICS に関するお問い合わせは、以下のサイトをご確認ください。

・NTT ドコモ：　i モード＞メニューリスト＞乗換/ 地図/ 交通＞地図・ナビゲーション＞iMapFan 地図ナビ交通＞サポート＞お問い合わせ

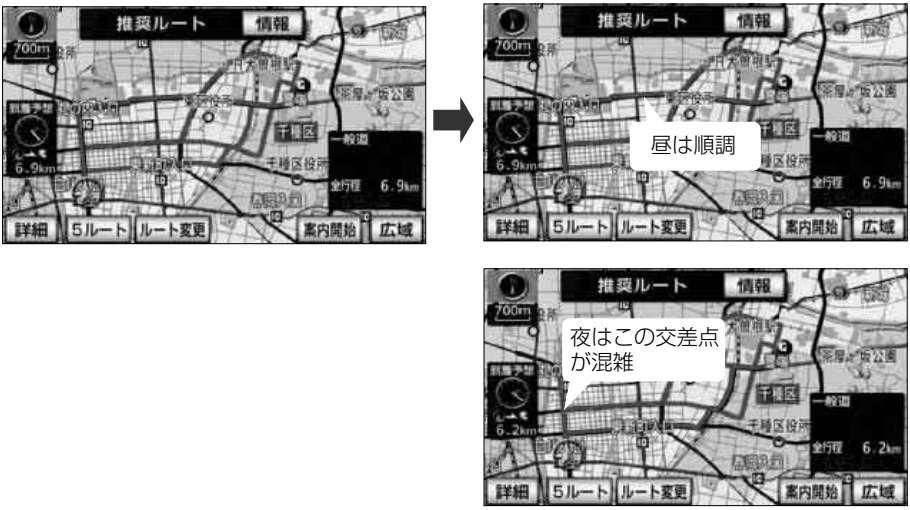
・SoftBank：　Yahoo! ケータイ＞メニューリスト＞交通・グルメ・旅行＞地図＞ケータイ地図MapFan ＞サポート＞お問い合わせ

・au(KDDI)：　EZweb ＞カテゴリで探す（メニューリスト）＞地図・交通・旅行＞地図＞ケータイ地図Mapfan ＞サポート＞お問い合わせ

5. 渋滞考慮機能

渋滞考慮とは

収録された渋滞統計データとVICS情報から、走行した道路、曜日・時間帯から渋滞を考慮し、所要時間が少なくなるようなルートを探索することができます。



渋滞考慮機能では、以下の機能に反映されます。

- 渋滞考慮ルートの探索（161 ページ参照）
- ルート探索時の到着予想時刻の計算（191 ページ参照）
- ルートの再探索（207 ページ参照）

1. 地点の登録とは

地図上に覚えておきたい地点を自宅、メモリ地点、または特別メモリ地点に分けて400カ所までメモリ地点として登録することができます。（自宅1カ所、特別メモリ地点5カ所を含みます。）また、迂回メモリ地点を登録（10カ所まで）するとルート探索時には、その地点を迂回するルートを探索することができます。

メモリ地点には、70種類のマーク、7種類の音声付きマークから選択して地点ごとに登録することができ、すべての地点には、名称、名称読み、電話番号を設定することができます。（迂回メモリ地点を除く）

登録したメモリ地点は、地図上に呼び出したり、ルート探索時に呼び出したりできるので、有効にご利用ください。

間違って登録した場合は、修正および消去することができます。

（すでにメモリ地点が400カ所、迂回メモリ地点が10カ所登録されているときは、不要な地点を消去してから登録してください。）

■ 自宅

自宅は1カ所登録でき、1回の操作で自宅に帰るルートを探索することができますので、**最初に登録することをおすすめします。**

■ 特別メモリ地点

特別メモリ地点は5カ所まで登録でき、地点検索時などにはタッチスイッチに割り当てることができます。また、目的地の設定のときは1回の操作でルートを探索することができます。

■ メモリ地点

メモリ地点（自宅および特別メモリ地点を含む）は、登録した種別、マーク、または登録順に並びかえて表示することができ、地点検索時などにリストから選択することができます。

● 音声付きマーク

音声付きメモリ地点には、次のような機能を持たせることができます。

- **近づくと音、または音声で知らせる設定**
  ベル、チャイム、オルゴール、注意、スピード注意、登録地点接近
- **近づく方向を限定して知らせる設定**
  方向付きメモリ

■ 迂回メモリ地点

迂回メモリ地点は10カ所まで登録でき、地点ごとに迂回範囲を設定することができます。また、迂回メモリ地点には名称を設定することができます。

ワンポイント

- 表示されるメモリ地点の住所は、登録の方法により異なります。
- 登録したメモリ地点は、付近の住所およびマップコードが表示されます。
- 登録する場所、地図の呼び出し方法によっては名称、電話番号が自動で入力されることがあります。
- 迂回メモリ地点は、マークを変更することはできません。

2. メモリ地点の登録・修正・消去

メモリ地点の登録

携帯電話で呼び出した地図（148 ページ参照）をメモリ地点に登録したい場合は、**「表示した地図の操作」**（150ページ）を参照してください。

■ワンタッチで登録する

現在、表示させている地図にメモリ地点を登録することができます。

チェック

800mスケール図以下の詳細な地図で登録することができます。（現在地でのワンタッチ登録を除く）

1 メモリ地点を登録する位置に地図を動かし、**地点登録** にタッチします。

- （または ）の位置にメモリ地点が マークで表示されます。
- 高速道路を走行中（現在地）に **地点登録** にタッチすると、 マーク（進行方向の方向付音声付きメモリ地点）で登録されます。



■離れた場所を登録する

1 設定・編集画面（ナビ）（77 ページ参照）で、**メモリ地点登録編集** にタッチします。

2 メモリ地点の **登録** にタッチします。



3 地図の呼び出し方法を選び、メモリ地点を登録する地点の地図を表示させます。

- **「地図の呼び出し方法」**（126ページ）、**「呼び出した地図の操作」**（150ページ）を参照してください。



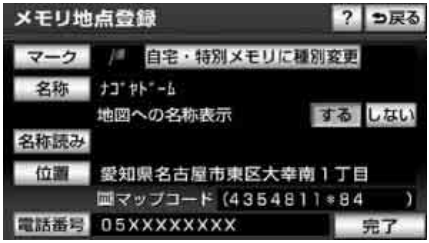
4 **セット** にタッチします。



2. メモリ地点の登録・修正・消去

5 入力、修正をしたいときは、それぞれの項目にタッチします。

- 入力、修正方法は以降を参照してください。
  - ·**「メモリ地点のマークを変更する」**(240ページ参照)
  - ·**「メモリ地点の名称を入力する」**(243ページ参照)
  - ·**「メモリ地点の名称を表示する」**(245ページ参照)
  - ·**「メモリ地点の名称読みを入力する」**(245ページ参照)
  - ·**「メモリ地点の位置を修正する」**(246ページ参照)
  - ·**「メモリ地点の電話番号を入力する」**(246ページ参照)
- **自宅・特別メモリに種別変更** にタッチすると、自宅や特別メモリ地点に変更することができます。**「メモリ地点の種別(自宅・特別メモリ)を変更する」**(240ページ参照)



6 **完了** にタッチします。

メモリ地点の修正・入力

登録したメモリ地点は、メモリ地点修正画面から種別を変更したり、マーク、名称、名称読みなどを修正、入力することができます。

■設定スイッチからメモリ地点修正画面を表示する

1 設定・編集画面(ナビ)(77ページ参照)で、**メモリ地点登録編集** にタッチします。

2 メモリ地点の **修正** にタッチします。



3 修正するメモリ地点にタッチします。

4 修正、入力する項目にタッチします。

- 入力、修正方法は以降を参照してください。
  - ·**「メモリ地点のマークを変更する」**(240ページ参照)
  - ·**「メモリ地点の名称を入力する」**(243ページ参照)
  - ·**「メモリ地点の名称を表示する」**(245ページ参照)
  - ·**「メモリ地点の名称読みを入力する」**(245ページ参照)
  - ·**「メモリ地点の位置を修正する」**(246ページ参照)
  - ·**「メモリ地点の電話番号を入力する」**(246ページ参照)
- **自宅・特別メモリに種別変更** にタッチすると、自宅や特別メモリ地点に変更することができます。**「メモリ地点の種別(自宅・特別メモリ)を変更する」**(240ページ参照)



- **自宅・特別メモリの種別解除** にタッチすると、自宅や特別メモリ地点をメモリ地点に変更することができます。**「自宅、特別メモリ地点を解除する」**(240ページ参照)



■地図画面からメモリ地点修正画面を表示する

1 地図を表示させているときに、修正したいメモリ地点にタッチします。

2 **情報** にタッチします。



3 **修正** にタッチします。

- **修正** にタッチすると、メモリ地点修正画面が表示されます。
- **目的地セット** (または **新規目的地** 、**追加目的地**)にタッチすると、目的地に設定することができます。



2. メモリ地点の登録・修正・消去

■ メモリ地点の種別（自宅・特別メモリ）を変更する

メモリ地点に登録されている地点を自宅や特別メモリ地点に変更することができます。

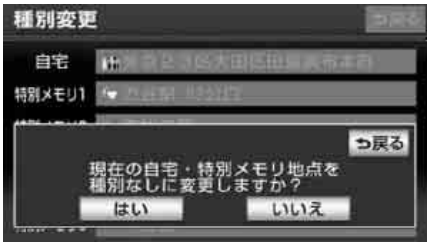
1 メモリ地点修正画面で、**自宅・特別メモリに種別変更** にタッチします。

2 自宅、または特別メモリ１～５のいずれかにタッチします。



3 すでに自宅、または特別メモリ地点が登録されているときは、次に表示された画面で、**はい** にタッチします。

● 登録されていた地点はメモリ地点になります。



4 **完了** にタッチします。

■ 自宅、特別メモリ地点を解除する

自宅、または特別メモリ地点に登録されている地点をメモリ地点に変更することができます。

1 メモリ地点修正画面で、**自宅・特別メモリの種別解除** にタッチします。

2 **はい** にタッチします。

● 登録されていた地点はメモリ地点になります。



3 **完了** にタッチします。

■ メモリ地点のマークを変更する

1 メモリ地点修正画面で、**マーク** にタッチします。



2 変更するマークにタッチします。

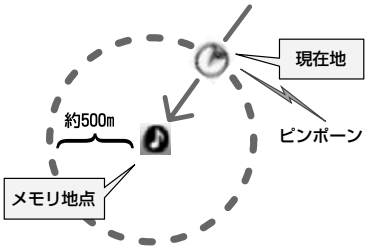
● メモリ地点のマークは、 **マーク1** ・ **マーク2** ・ **マーク3** ・ **音声付き** にタッチして、マークの種類を変更します。



● マーク1

● **マーク無し** にタッチすると、登録したメモリ地点のマークを地図に表示されないようにすることができます。

● 音声付きのマークを選ぶと、メモリ地点に約500mまで近づくと音が鳴るようにすることができます。



● **音確認** にタッチすると、それぞれのマークに近づいたときに鳴る音が出力されます。

ワンポイント

マーク2 ・ **マーク3** ・ **音声付き** のいずれかにタッチした場合は、下記のマーク変更画面が表示されます。



● マーク2



● マーク3



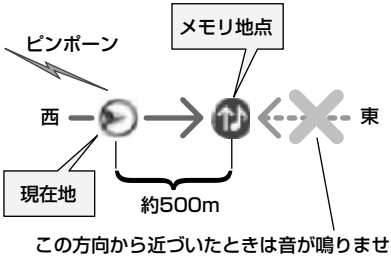
● 音声付き

2. メモリ地点の登録・修正・消去

方向付きを設定する場合

方向付きメモリ にタッチすると、設定した方向からメモリ地点に約500mまで近づいたときのみ音が鳴るようにすることができます。

例えば、東西に走る道路では、西側からメモリ地点に近づいたときには音が鳴り、東側から近づいたときには音が鳴らないようにすることができます。



1 メモリ地点修正画面で、**マーク** にタッチします。



2 **音声付き** にタッチします。



3 **方向付きメモリ** にタッチします。



4 方向を設定します。

● 方向を反時計まわりに動かすときは ◀ 、時計まわりに動かすときは ▶ にタッチします。



5 **セット** にタッチします。

6 **完了** にタッチします。

● メモリ地点が マークで表示されます。

■メモリ地点の名称を入力する

1 メモリ地点修正画面で、**名称** にタッチします。



2 すでに名称が表示されているときは、**修正** にタッチして名称を消去します。



3 ひらがなと漢字以外の文字を入力するときは、**カナ**（カタカナ）・**英数字**（アルファベット・数字）・**数記号**（数字・記号）にタッチして、入力画面を切り替えます。

- **スペース** にタッチすると、スペースを入力することができます。
- 数字・記号入力画面では ▲ 、または ▼ でページを切り替えることができます。
- ひらがな入力と漢字入力については**「ひらがな・漢字を入力するには」**（244ページ）を参照してください。



4 **半角**（または **全角**）にタッチして、入力する文字の大きさを切り替えます。

- **英数字** にタッチしてアルファベット・数字を入力するときは、さらに **大文字**（または **小文字**）にタッチして、入力する文字の書体を切り替えます。

5 文字を１文字ずつタッチして入力します。

- 間違えた（または入力されている）ときは **修正** にタッチすると、１文字ずつ消去されます。



次ページに続く

2. メモリ地点の登録・修正・消去

6 完了 にタッチします。

ワンポイント

- 入力することができる文字数は最大 35 文字（半角文字は70文字）までです。
- 未確定状態で入力可能な文字数は最大 20 文字です。
- 登録した地点によっては、すでにメモリ地点の名称が入力されていることがあります。

ひらがな・漢字を入力するには

1 かな にタッチして、入力画面を切り替えます。

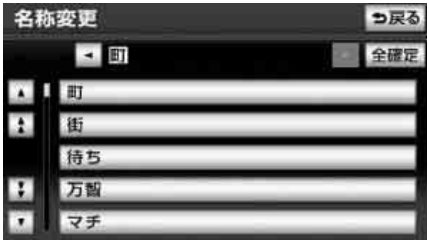
2 文字（ひらがな）を1文字ずつタッチして入力します。

- 未確定状態での最大入力文字数をこえると、入力ができなくなります。また、確定しても入力制限文字数をこえる文字は削除されます。

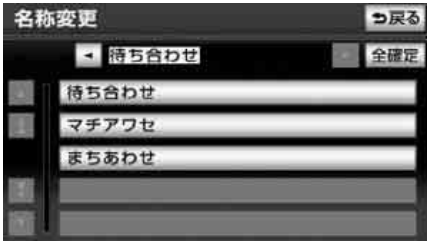
3 ひらがなを入力するときは、無変換 、漢字を入力するときは、変換 にタッチします。



4 変換 にタッチしたときは、次に表示された画面（変換するリスト）で、入力する漢字、または熟語にタッチします。



- 変換する文字の範囲を変更するときは、◀ ・ ▶ にタッチして、範囲を変更します。
- 全確定 にタッチすると、表示されている状態で登録されます。



5 完了 にタッチします。

■ メモリ地点の名称を表示する

入力したメモリ地点の名称を地図に表示させることができます。



1 メモリ地点修正画面で、地図への名称表示の **する** 、または **しない** にタッチします。



2 **完了** にタッチします。

ワンポイント

地図に名称を表示できる文字数は、最大15文字（半角30文字）までです。

■ メモリ地点の名称読みを入力する

メモリ地点に名称読みを入力することができます。

1 メモリ地点修正画面で、**名称読み** にタッチします。



2 名称を１文字ずつタッチして入力します。

● 間違えたときは **修正** にタッチすると、1文字ずつ消去されます。



3 **完了** にタッチします。

ワンポイント

入力することができる名称読みの文字数は、最大24文字（半角のみ）までです。

2. メモリ地点の登録・修正・消去

■メモリ地点の位置を修正する

1 メモリ地点修正画面で、**位置** にタッチします。



2 にタッチして、メモリ地点を修正する位置に地図を動かします。



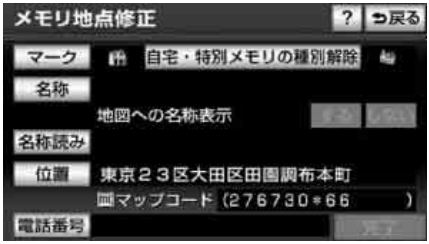
3 **セット** にタッチします。

- の位置にメモリ地点が **1** で表示されているマークで表示されます。
- 位置を修正すると、**1** で表示されている住所とマップコードも修正されます。

4 **完了** にタッチします。

■メモリ地点の電話番号を入力する

1 メモリ地点修正画面で、**電話番号** にタッチします。



2 数字を１番号ずつタッチして入力します。

- 市外局番から入力します。
- 間違えた（または入力されている）ときは **修正** にタッチすると、１番号ずつ消去されます。



3 **完了** にタッチします。

ワンポイント

- メモリ地点に電話番号を入力しておくと、そのメモリ地点は、電話番号で地図を呼び出すことができます。（139 ページ参照）
- 登録した地点によってはすでに電話番号が入力されていることがあります。

メモリ地点の消去

■ メモリ地点登録編集画面から消去する

1 設定・編集画面（ナビ）（77 ページ参照）で、**メモリ地点登録編集** にタッチします。

2 メモリ地点の **消去** にタッチします。

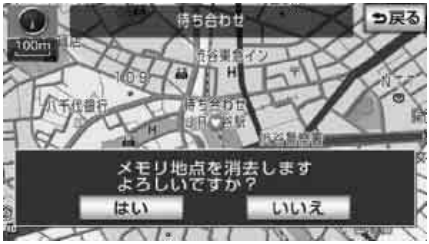


3 消去するメモリ地点にタッチします。

● すべてのメモリ地点を消去するときは、**全消去** にタッチします。



4 **はい** にタッチします。



■ 地図画面から消去する

1 地図を表示させているときに、消去したいメモリ地点のマークにタッチします。

2 **情報** にタッチします。



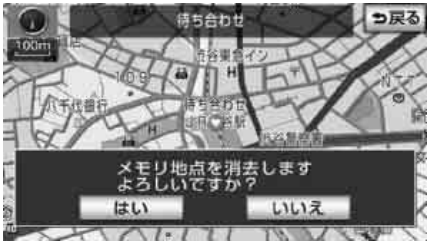
3 **消去** にタッチします。



次ページに続く

2. メモリ地点の登録・修正・消去

4 **はい** にタッチします。



3. 迂回メモリ地点の登録・修正・消去

迂回メモリ地点は、地図に10カ所まで登録することができます。(10カ所をこえて登録するときは、不要な迂回メモリ地点を消去してから登録してください。)

迂回メモリ地点を登録しておくと、ルートを探索させるとき、登録したエリアを迂回するルートを探索させることができます。

工事や事故による通行止め・渋滞地点がわかっているときなどに便利です。

迂回メモリ地点の登録

チェック

800mスケール図以下の詳細な地図で登録することができます。

1 設定・編集画面（ナビ）（77 ページ参照）で、**メモリ地点登録編集** にタッチします。

2 迂回メモリの **登録** にタッチします。



3 地図の呼び出し方法を選び、迂回メモリ地点を登録する地点の地図を表示させます。

- **「地図の呼び出し方法」**（126ページ）、**「呼び出した地図の操作」**（150ページ）を参照してください。



4 **セット** にタッチします。



5 ▲、または ▼ にタッチして迂回させる範囲を設定します。

- 範囲を広くするときは ▲、狭くするときは ▼ にタッチします。
- 最大範囲にすると ▲、最小範囲にすると ▼ の色がトーンダウンし、タッチしても操作できません。
- 矢印中央の数値が範囲の長さ（縦・横）になります。



次ページに続く

3. 迂回メモリ地点の登録・修正・消去

6 **セット** にタッチします。

● ✥ の位置に迂回メモリ地点が ✖ マーク、または □ （範囲）で表示されます。



7 **完了** にタッチします。

● **無効** にタッチすると、迂回メモリ地点を登録しても、迂回するルートは探索されなくなります。

有効 にタッチすると、迂回するルートを探索させることができます。

● 登録した迂回メモリ地点は、付近の住所およびマップコードが表示されます。



ワンポイント

- 表示される迂回メモリ地点の住所は、登録の方法により異なります。
- 登録する場所、地図の呼び出し方法によっては名称が同時に入力されることがあります。
- 高速道路（都市高速・有料道路を含む）およびフェリー航路は、迂回させる範囲内に設定しても迂回させることはできません。
  迂回させたいときは、迂回地点（最小範囲：✖ ）を地図上に設定してください。
- 目的地などを設定した位置、および現在地の位置などにより迂回しない場合があります。

迂回メモリ地点の修正

1 設定・編集画面（ナビ）（77 ページ参照）で、**メモリ地点登録編集** にタッチします。

2 迂回メモリの **修正** にタッチします。



3 修正・入力する迂回メモリ地点にタッチします。



4 修正・入力する項目にタッチします。

- 修正方法は、メモリ地点の修正・入力方法と同じです。
  - ·**「メモリ地点の名称を入力する」**（243 ページ参照）
  - ·**「メモリ地点の名称を表示する」**（245 ページ参照）
  - ·**「メモリ地点の位置を修正する」**（246 ページ参照）
- **迂回エリア変更** にタッチすると、迂回させる範囲を変更することができます。（249 ページ参照）
- **無効** にタッチすると、迂回メモリ地点を登録しても、迂回するルートは探索されなくなります。
  有効 にタッチすると、迂回するルートを探索させることができます。



5 **完了** にタッチします。

迂回メモリ地点の消去

1 設定・編集画面（ナビ）（77 ページ参照）で、**メモリ地点登録編集** にタッチします。

2 迂回メモリの **消去** にタッチします。



3 消去する迂回メモリ地点にタッチします。

- すべての迂回メモリ地点を消去するときは、**全消去** にタッチします。



4 **はい** にタッチします。



4. メモリ地点の移行

メモリ地点の移行について

本機に登録したメモリ地点と迂回メモリ地点を、SD メモリーカードに保存することができます。本機から新しいナビに買い替える場合、そのナビがメモリ地点移行機能に対応していると、SD メモリーカードに保存されたメモリ地点と迂回メモリ地点を移し替えることができます。

メモリ地点の移行に使用できるSDメモリーカードは、**「デジタルフォトフレーム、メモリ地点の移行、オープニング画像の登録用SDメモリーカードについて」**（40ページ参照）をご確認ください。

チェック

メモリ地点のデータ移行操作時は、他の操作をすることができません。

パスワードの設定

■パスワードを設定する

データの読み込みで使用するパスワードを設定すると、メモリ地点のデータを保存することができます。

チェック

- 設定したパスワードは、SD メモリーカードからメモリ地点を読み込むときに必要です。
- パスワードを忘れた場合、メモリ地点の移行を行うことができません。また、一度移行したメモリ地点の情報は、復元することができません。パスワードは忘れないように、メモしておくことをおすすめします。

1 設定・編集画面（ナビ）（77 ページ参照）で、**メモリ地点登録編集** にタッチします。

2 **メモリ地点移行** にタッチします。



3 パスワードの **設定** にタッチします。



4 数字４桁のパスワードを入力します。



- すでにパスワードが設定されている場合は、既存のパスワードを入力後に新しいパスワードを入力します。
- パスワードを間違えた場合は、**修正** にタッチして修正し、再度入力します。

5 **完了** にタッチします。

6 もう一度 **4** で入力したパスワードを入力します。



7 **完了** にタッチします。

■パスワードを初期化する

チェック

パスワードを忘れた場合、パスワードの初期化が必要です。初期化すると、本機に登録しているメモリ地点も消去されますのでご注意ください。

1 設定・編集画面（ナビ）（77 ページ参照）で、**メモリ地点登録編集** にタッチします。

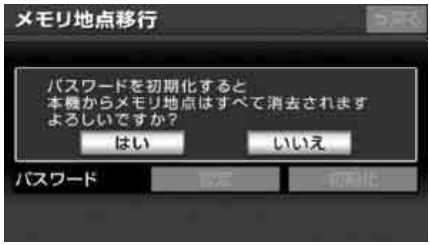
2 **メモリ地点移行** にタッチします。



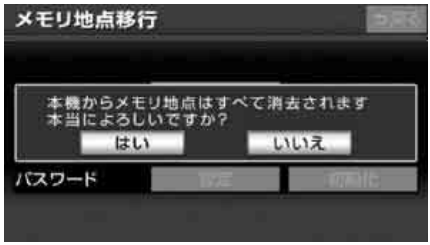
3 パスワードの **初期化** にタッチします。



4 **はい** にタッチします。



5 **はい** にタッチします。



4. メモリ地点の移行

メモリ地点をSDメモリーカードに移す

本機に登録されているメモリ地点、迂回メモリ地点のデータをSD メモリーカードに保存することができます。

チェック

- メモリ地点を保存する前に、パスワードを設定してください。(252 ページ参照)
- メモリ地点をSD メモリーカードに保存すると、本機に登録しているメモリ地点は全て消去されます。また、パスワードも初期化されます。
- すでにメモリ地点のデータを保存しているSD メモリーカードを使用した場合、上書き保存となり、保存していたデータは消去されます。消去されたデータは保証できませんので注意して保存してください。
- SD メモリーカードにデータを保存中は、エンジンスイッチをOFF（LOCK）にしないでください。データが破損する恐れがあります。

1 設定・編集画面（ナビ）(77 ページ参照)で、**メモリ地点登録編集** にタッチします。

2 **メモリ地点移行** にタッチします。

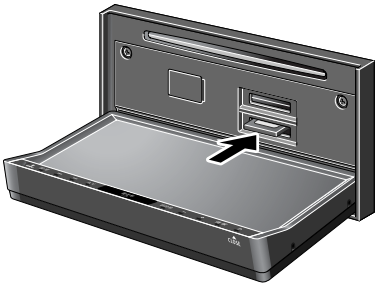


3 保存の **SD** にタッチします。



4 地図SDカードを軽く押して取り出します。

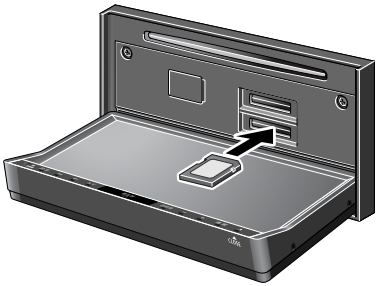
- 差し込み口の横に「地図」と書いてあるSDスロットから、地図SDカードを取り出してください。



5 お手持ちのSDメモリーカードを“カチッ”と音がするまで差し込みます。

● 差し込み口の横に「地図」と書いてあるSDスロットへSDメモリーカードをいれてください。

● SDメモリーカードは、ロックせずに差し込んでください。



6 **OK** にタッチします。



● すでにSDメモリーカード内にメモリ地点データがあるときは確認メッセージが表示されます。データを上書きする場合、**はい** にタッチします。

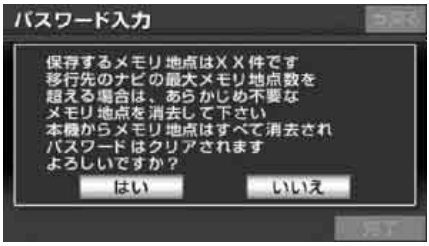
7 パスワードを入力します。



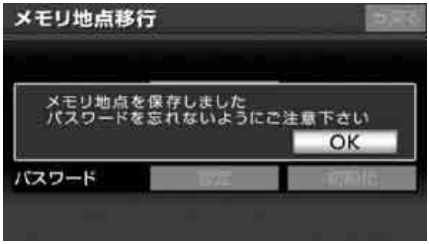
● 間違えて入力した場合は、**修正** にタッチします。

8 **完了** にタッチします。

9 **はい** にタッチします。

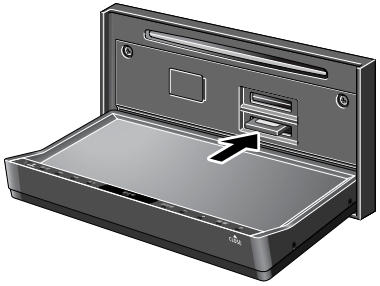


10 **OK** にタッチします。



11 SDカードを軽く押して取り出します。

● 差し込み口の横に「地図」と書いてあるSDスロットから、SDカードを取り出してください。

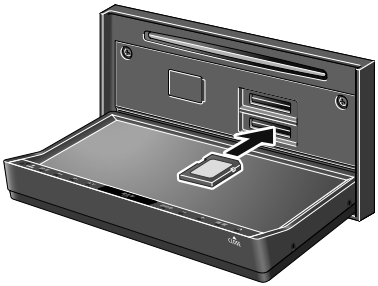


次ページに続く

4. メモリ地点の移行

12 地図SDカードを“カチッ”と音がするまで差し込みます。

- 差し込み口の横に「地図」と書いてあるSDスロットへ、地図SDカードを入れてください。
- 地図SDカードは、ロックせずに差し込んでください。



13 OK にタッチします。



ワンポイント

- 車両のエンジンスイッチをOFF（LOCK）にするなどして保存、読み込みが中断した場合、再度操作します。
- 他の機器で使用した SD メモリーカード、miniSDカード、microSDカードを使用する場合は、次のソフトでフォーマット（初期化）してください。
  フォーマット（初期化）すると、SDメモリーカード、miniSDカード、microSDカード内に記録されたデータは消去されます。
  次のソフトでフォーマットしていないSDメモリーカード、miniSDカード、microSDカードで、SD規格に準拠していない場合、本機で使用できないことがあります。
  - Panasonic SD-Jukebox V5 以降
  - Panasonic SD メモリーカードフォーマットソフトウェアV2.0
- FATファイルシステムのみ対応しています。NTFSファイルには対応していません。
- メモリ地点移行画面（ 3 の画面）で画面外のスイッチを押しても、操作することができません。 戻る にタッチして、メモリ地点画面から操作します。

SDメモリーカードに保存したメモリ地点を本機に移す

チェック

- メモリ地点を移すには、保存するときに入力したパスワードが必要です。
- メモリ地点を移すと、機能対応のナビに登録しているメモリ地点のデータは全て消去され、SDメモリーカードに保存したメモリ地点、迂回メモリ地点のデータに置き替えられます。
- メモリ地点を移すと、SD メモリーカードに保存していたメモリ地点のデータは全て消去されます。
- SD メモリーカードの誤消去防止スイッチがLOCK の状態になっている場合、誤消去防止スイッチのLOCK を解除してから操作します。

1 設定・編集画面（ナビ）（77 ページ参照）で、**メモリ地点登録編集** にタッチします。

2 **メモリ地点移行** にタッチします。

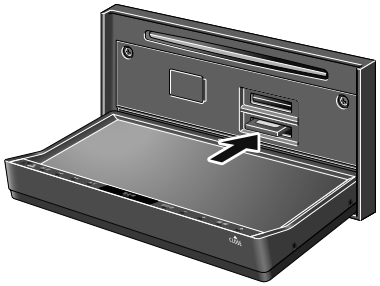


3 読み込みの **SD** にタッチします。



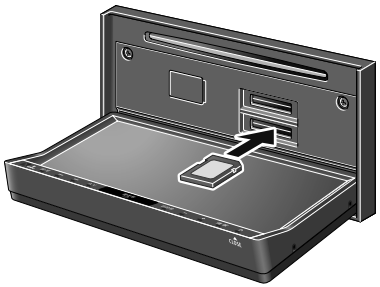
4 地図SDカードを軽く押して取り出します。

- 差し込み口の横に「地図」と書いてあるSDスロットから、地図SDカードを取り出してください。

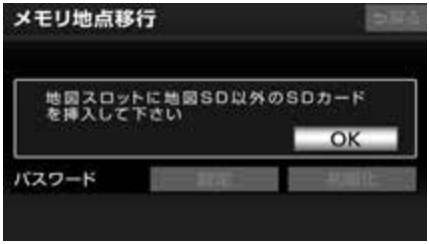


5 メモリ地点が保存されたSDメモリーカードを“カチッ”と音がするまで差し込みます。

- 差し込み口の横に「地図」と書いてあるSDスロットへ、地図SDカードを入れてください。
- 地図SDカードは、ロックせずに差し込んでください。



6 **OK** にタッチします。



7 保存したときに使用したパスワードを入力します。

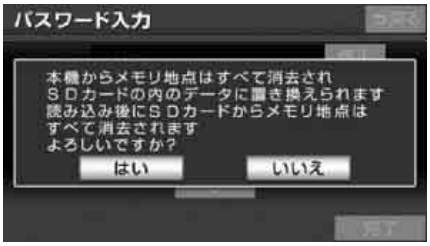


次ページに続く

4. メモリ地点の移行

8 完了 にタッチします。

9 はい にタッチします。

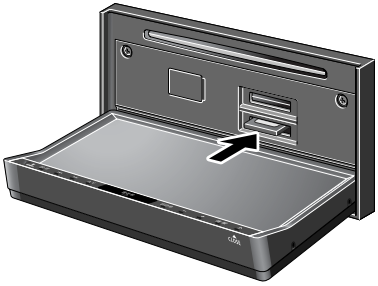


10 OK にタッチします。



11 SDカードを軽く押して取り出します。

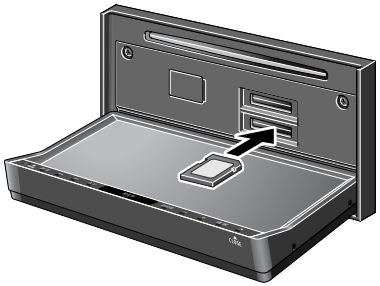
● 差し込み口の横に「地図」と書いてあるSDスロットから、SDカードを取り出してください。



12 地図SDカードを“カチッ”と音がするまで差し込みます。

● 差し込み口の横に「地図」と書いてあるSDスロットへ、地図SDカードを入れてください。

● 地図SDカードは、ロックせずに差し込んでください。



13 OK にタッチします。



ワンポイント

保存できるメモリ地点の件数は、各ナビにより異なります。詳しくは、データを移すナビの取扱説明書を参照してください。

1. メンテナンス機能について

メンテナンス機能は、ナビゲーションのカレンダー機能と車速信号を使用して、車のオイルや消耗部品の交換、各種点検などの時期がきたことをナビゲーションの画面と音声（初回のみ）でお知らせします。

メンテナンスメニュー画面

1 設定・編集画面（メンテナンス）（77 ページ参照）で、**項目設定** にタッチします。

● メンテナンスメニュー画面が表示されます。



● **メンテナンスメニュー画面**

● 未設定の項目は、（黒色）・すでに設定されている項目は、（青色）・メンテナンス案内が行われる時期の項目は（橙色）で表示します。

● メンテナンス項目

項目	内容
	エンジンオイル交換
	オイルフィルター交換
	タイヤローテイション（タイヤ位置交換）
	タイヤ交換
	エアクリーナー
	ブレーキパッド交換
	Vベルト
	冷却水交換
	ブレーキフルード交換
	ＡＴＦ（オートマチックトランスミッションフルード）交換
	任意入力 （その他の項目を５つまで設定することができます。）

ワンポイント

- メンテナンス内容および時期の設定はお買い上げいただきました販売店へご相談ください。
- お知らせするメンテナンス時期は、事前に走行距離や年月日をもとに設定した項目をお知らせするものです。お車の使用状況により、お知らせするメンテナンス時期と実際に必要なメンテナンス時期に誤差が生じる場合があります。
- メンテナンス機能で計測される走行距離と実際の走行距離で誤差が生じることがあります。

1. メンテナンス機能について

メンテナンス時期の設定

チェック

メンテナンス時期の設定をしても自動通知の **する** に設定していないときは、メンテナンス案内が行われません。

1 メンテナンスメニュー画面（259ページ参照）で、設定する項目にタッチします。

- （任意入力未設定）にタッチすると、任意で項目を設定することができます。
- （任意入力未設定）以外にタッチしたときは、**6** の画面が表示されます。
- 設定済の項目にタッチすると、設定内容を修正することができます。



2 （任意入力未設定）にタッチしたときは、マークにタッチします。



3 名称を1文字ずつタッチして入力します。

- 文字の入力方法は、**「メモリ地点の名称を入力する」**（243ページ）を参照してください。



4 **完了** にタッチします。

5 **お知らせ日** 、または **お知らせ距離** にタッチします。

- 日付・距離の両方、または日付のみ・距離のみを設定します。
- **マーク** にタッチすると、マークを変更することができます。（任意入力を設定したときのみ）
- **修正** にタッチすると、タイトル名称を変更することができます。（任意入力を設定したときのみ）



6 数字を１つずつタッチして入力します。

● 間違えたときは **修正** にタッチすると、1文字ずつ消去されます。

● 一桁の日付を入力するときは、 **年** 、 **月** 、 **日** にタッチして入力することができます。（2～9月と、4～9日は、 **月** 、 **日** にタッチする必要はありません。）



● **日付入力画面**



● **距離入力画面**

7 **完了** にタッチします。

8 **設定完了** にタッチします。

● 複数のメンテナンス項目を設定するときは、**2** ～ **8** を繰り返し操作してください。



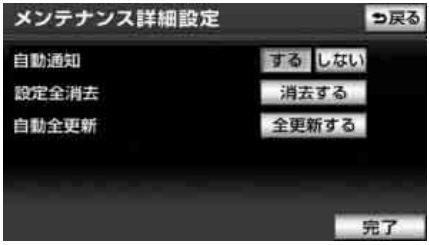
メンテナンス案内の設定

自動案内通知を設定すると、時期を設定した項目の案内が行われます。

1 設定・編集画面（メンテナンス）（77 ページ参照）で、**メンテナンス詳細設定** にタッチします。

2 自動通知の **する** にタッチします。

● 案内をさせないときには、再度この画面で、**しない** にタッチします。



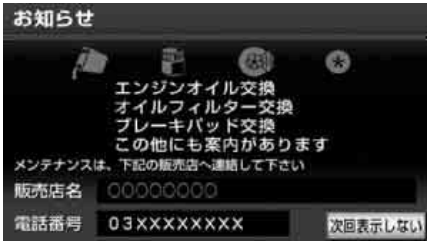
3 **完了** にタッチします。

1. メンテナンス機能について

メンテナンスの案内

設定した日に到達する、または設定をした距離を走行すると、ナビゲーション画面が表示される（立ち上がる）とき、同時に4つまで案内されます。

- 販売店を設定しているときは販売店名、電話番号を表示します。（264 ページ参照）
- 5つ以上の項目があるときは、メンテナンスメニュー画面で確認してください。
- 次回表示しない にタッチすると、次にナビゲーション画面が立ち上がるときは、案内されません。



ワンポイント

- 案内する項目が5つ以上あるときは ★ を表示します。
- メンテナンス時期に到達した後、最初にナビゲーションを立ち上げたときには、画面と音声（初回）で案内します。

メンテナンス設定の更新

■項目ごとに更新する

1 メンテナンスメニュー画面（259 ページ参照）で、設定を更新する項目にタッチします。

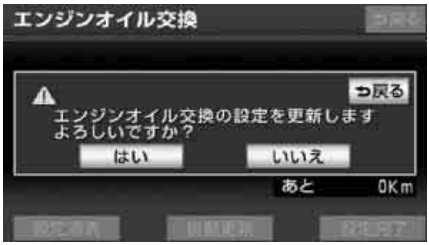


2 自動更新 にタッチします。



3 はい にタッチします。

- 残されていた日数・距離が更新され、新しい日付・設定した距離に変更されます。



4 2 の画面にもどったときは、**設定完了** にタッチします。

ワンポイント

新しい日付は、メンテナンスの時期を設定した日・現在の日・案内する予定だった日から自動的に計算され、変更されます。（項目により、計算方法は異なります。）

■すべてを更新する

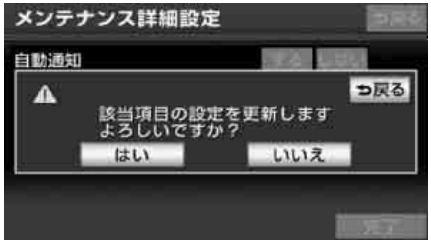
1 設定・編集画面（メンテナンス）（77 ページ参照）で、**メンテナンス詳細設定** にタッチします。

2 自動全更新の **全更新する** にタッチします。



3 **はい** にタッチします。

● 残されていた日数・距離が更新され、新しい日付・設定した距離に変更されます。



メンテナンス設定の消去

■項目ごとに消去する

1 設定・編集画面（メンテナンス）（77 ページ参照）で、**項目設定** にタッチします。

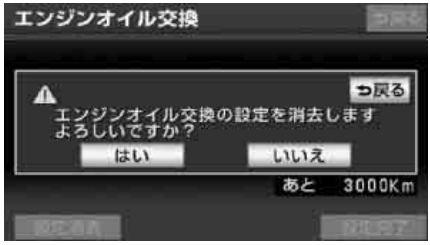
2 設定を消去する項目にタッチします。



3 **設定消去** にタッチします。



4 **はい** にタッチします。



1. メンテナンス機能について

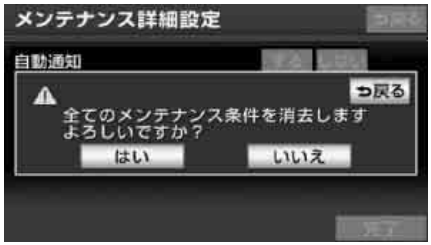
■すべてを消去する

1 設定・編集画面（メンテナンス）（77 ページ参照）で、**メンテナンス詳細設定** にタッチします。

2 設定全消去の **消去する** にタッチします。



3 **はい** にタッチします。



販売店の設定

1 設定・編集画面（メンテナンス）（77 ページ参照）で、**販売店設定** にタッチします。

2 地図の呼び出し方法を選び、販売店を設定する地点の地図を表示させます。

● **「地図の呼び出し方法」**（126ページ）、**「呼び出した地図の操作」**（150ページ）を参照してください。



3 **セット** にタッチします。

● ✥ の位置に販売店が設定されます。



4 **完了** にタッチします。



販売店の修正・消去

1 設定・編集画面（メンテナンス）（77 ページ参照）で、**販売店設定** にタッチします。

2 修正する項目にタッチします。

● **販売店の消去** 、**はい** の順にタッチすると、販売店が消去されます。



● 販売店名の修正・入力は、**「メモリ地点の名称を入力する」**（243ページ）、位置の修正は、**「メモリ地点の位置を修正する」**（246ページ）、電話番号の修正・入力は、**「メモリ地点の電話番号を入力する」**（246ページ）を参照してください。

3 **完了** にタッチします。

1. 情報・BTナビ画面（情報）について

情報機能には、**「FM多重」**、**「SYSTEM CHECK」**、**「VICS」**、**「エコナビ情報」**、**「電話」**、**「カレンダー」**、**「データ管理」**があります。

※ 別売のETC車載器を接続すると、**「ETC」**が表示され、ETCの設定などを行うことができます。

情報・BTナビ画面（情報）

1 情報 を押します。

- 情報･BTナビ画面(情報)が表示されます。
- 情報・BTナビ画面（情報）が表示されない場合、**情報** にタッチします。



● **情報・BTナビ画面（情報）**

2 タッチスイッチにタッチして、**「タッチスイッチ一覧」**（267ページ参照）の操作を行うことができます。

タッチスイッチ一覧

表示順序／項目（タッチスイッチ）		機　能	ページ
1	販売店デモ ※1	販売店専用の機能	—
2	FM多重	FM多重放送の表示	268
3	SYSTEM CHECK	車速パルス、GPS信号の受信感度、距離補正の学習状態などの表示	272
4	VICS	VICS情報の表示・設定	216、230、231、296
5	エコナビ情報	燃費の設定、燃費履歴の確認・編集など	273
6	電話（AVN-Z01）	ハンズフリー機能の操作	498
	電話帳（AVN-V01）	電話帳（交通・ナビ関連）機能	280
7	カレンダー	カレンダーの表示	281
8	データ管理	バージョン情報の表示	382
		音楽用SDメモリーカードの容量表示	384
9	ETC ※2	ETCの設定	302

※1 販売店専用の機能です。販売店以外では使用しないでください。ナビゲーションなどの操作をする場合は、必ず デモOFF にタッチして販売店デモ機能をOFFにしてください。走行中は表示されません。

※2 機器が接続されていないときは、表示されません。

2. FM多重放送

FM多重放送の番組について

ＦＭ多重放送は１つの放送局から同時に複数の番組が放送されています。番組は連動情報番組と独立情報番組に区別され、それぞれの番組は表示の切り替え方が異なります。

● **連動情報番組**

ＦＭ音声放送と連動した番組です。放送中の曲名やリクエストの受け付け番号など放送中の音声放送に合わせた内容で放送される番組です。

● **独立情報番組**

ＦＭ音声放送とは関連のないニュースや天気予報などの独立した内容で放送される番組です。

FM多重放送の表示

チェック

オーディオの電源がＯＦＦのとき、またはＡＭ放送（交通情報放送を含む）を受信しているときやFM放送の電波が遮断されたり、受信できないときは、ＦＭ多重放送を表示させることはできません。

1 情報・BTナビ画面（情報）（266ページ参照）で、**FM多重** にタッチします。

● FM多重放送画面(FMモードで選ばれている放送局の連動情報番組）が表示されます。



● FM多重放送画面

ワンポイント

●走行中は表示させることができない番組もあります。また、ＦＭ多重放送局によっては、走行中、すべての番組を表示させることができない放送局があります。

●ＦＭ　　多重放送を表示させているときに、ＦＭ多重放送の緊急情報を受信したときは、自動的に緊急情報に番組が切り替わります。

●ＦＭ 多重放送を表示させているときは、そのＦＭ多重放送を放送している放送局の番組の音声のみ聞くことができます。（文字情報を表示させているＦＭ多重放送局とは別のＦＭ放送局の番組の音声を聞くことはできません。）

放送局の切り替え

1 **自動選局** にタッチします。

● FM　音声を聞いているときは、パネルスイッチでも、切り替えることができます。**「聞きたい放送局を選ぶ」**（355ページ参照）



番組の切り替え

1 目次 にタッチします。

● 番組連動 にタッチすると、連動情報番組に切り替わります。（連動情報番組を受信しているときは、タッチスイッチの色が明るくなります。）



2 表示させる番組の番号にタッチします。



独立情報番組のページ送り

連動情報番組の文字情報のページは情報が発信されるたびに切り替わりますが、ニュース・天気予報など1回の発信で何ページにもわたる情報（ ▲ ・ ▼ が表示されます。）が送られる独立情報番組は受信側でページを送ることが必要です。

チェック

緊急情報を受信しているときは、自動送りできません。

1 ▲ 、または ▼ にタッチするか、自動送り にタッチします。

● ▲ 、または ▼ にタッチすると、文字情報のページを1ページずつ送ることができます。

● 自動送り にタッチすると（タッチスイッチが 停止 になります。）、文字情報が自動で送られます。すべての情報が表示されたあとは、最初のページにもどります。

● 文字情報の自動送りを停止するときは 停止 にタッチします。
また、自動送り中に ▲ 、または ▼ にタッチして、文字情報を送ったときは、自動送りは終了します。



2. FM多重放送

連動情報番組の文字情報を繰り返し見る

連動情報番組の文字情報のページは情報が発信されるたびに自動的に切り替わります。情報を見逃したときやもう一度見たいときは ▲ にタッチすると、過去に発信された情報を見ることができます。

1 ▲ 、または ▼ にタッチして、表示させる文字情報を切り替えます。

- タッチすると、文字情報の自動切り替えが中断されます。
- 自動切り替えを中断したとき、**最新情報** にタッチすると、最新の文字情報にもどり、もとの状態（文字情報が発信されるたびに自動的に切り替わる。）になります。



文字情報の記録・呼び出し・消去

■記録する

1 記録する文字情報を表示させ **メモ記録** にタッチします。



ワンポイント

記録項目は最大20件です。

■呼び出す

1 **メモ呼出** にタッチします。

- 記録されている文字情報が新しいものから表示されます。

2 ▲ 、または ▼ にタッチして、表示させる文字情報を切り替えます。



■消去する

1 メモ呼出 にタッチして文字情報を呼び出します。

2 ▲ 、または ▼ にタッチして、消去する文字情報を表示させます。



3 消去 にタッチします。

● すべての文字情報を消去するときは、全消去 にタッチします。

4 はい にタッチします。



3. SYSTEM CHECK機能

SYSTEM CHECK機能は、車速パルス、GPS信号の受信感度、距離補正の学習状態の表示やパーキングおよびリバース信号の接続を確認することができます。

SYSTEM CHECK画面の表示

1 情報・BTナビ画面（情報）（266ページ参照）で、SYSTEM CHECK にタッチします。

- SYSTEM CHECK画面になります。
- 各項目は、下記の内容を表しています。表示が実際の状態と異なる場合は販売店にお問い合わせください。



● SYSTEM CHECK画面

項　目		内　容
GPS受信個数		電波を受信しているGPS衛星の個数
GPS測位レベル	3D測位	3D測位状態
	2D測位	2D測位状態
車速パルス	あり	走行している状態
	なし	停車している状態
パーキング信号	あり	パーキングブレーキがかかっている状態
	なし	パーキングブレーキがかかっていない状態
リバース信号	あり	バックギアにシフトしている状態
	なし	バックギア以外にシフトしている状態
距離補正学習状態		距離の補正を自動で行っているとき（317ページ参照）の学習度合い
ETCユニット	あり	ETCユニットが接続されている状態
	なし	ETCユニットが接続されていない状態
VICSユニット	あり	VICSユニットが接続されている状態
	なし	VICSユニットが接続されていない状態
バックカメラ	あり	バックアイカメラが接続されている状態
	なし	バックアイカメラが接続されていない状態
フロントカメラ	あり	フロントアイカメラが接続されている状態
	なし	フロントアイカメラが接続されていない状態
推定速度		速度の表示

※ ナビゲーションの取り付けが正しく行われていないと、正確な情報を表示することができません。

4. エコナビ情報

エコナビ情報機能の紹介

エコナビ情報機能とは、目的地への一番エコなルートをお知らせ（エコルート表示）したり、燃費を計算して履歴情報を表示したり、エコ運転をするためのアドバイスを音声案内（エコドライブインフォメーション）してくれる機能です。

燃費を計算する

エコナビ情報機能の燃費は、満タンに給油した後に走行し、再度満タンに給油した場合に、その間に走行した距離と給油量から計算されます。ガソリンスタンド給油時に給油量を入力すると、燃費が計算され履歴を確認できます。また、履歴をもとに平均燃費が計算され、燃費を設定する（274 ページ参照）ときの参考にすることができます。

チェック

満タンに給油しない場合、燃費が正確に計算されません。

■給油量を入力する

燃費を計算するために、給油量の入力および走行距離のリセット（0km）を行います。給油量を入力すると、燃費が計算され、走行距離はリセットされます。

1 情報・BTナビ画面（情報）（266 ページ参照）で、**エコナビ情報** にタッチします。

2 **燃費履歴** にタッチします。



3 **データ入力** にタッチします。



4 **給油量入力** にタッチします。



- **走行距離リセット** …前回給油時に給油量を入力しなかった場合、給油量を入力しても正しい燃費は計算されません。その場合、給油後に **走行距離リセット**、**はい** の順にタッチして走行距離をリセットし、次回給油時に再度 **1** から操作します。

次ページに続く

4. エコナビ情報

5 給油量を入力します。



● **修正** にタッチすると、1文字ずつ消去することができます。

6 **完了** にタッチします。

ワンポイント

●小数点と小数点以下の数値を入力しないで **完了** にタッチしたときは、小数点以下の数値は0になります。

●走行距離は、最大999.9km まで表示することができます。

●給油量は、最大99.9Lまで入力することができます。

■履歴とグラフを確認する

過去5回分の燃費グラフと前回の燃費、過去の平均燃費が表示されます。



● **履歴・グラフ画面**

1 情報・BTナビ画面（情報）（266ページ参照）で、**エコナビ情報** にタッチします。

2 **燃費履歴** にタッチします。



3 **履歴・グラフ** にタッチします。



ワンポイント

●燃費グラフでは、最大40km/Lまで表示することができます。

●燃費は、最大99.9km/Lまで表示することができます。

■燃費を設定する

燃費履歴を参考に燃費の設定をすると、目的地を設定したときの5ルート同時表示のルート毎に燃料消費量を推定し、最もエコなルート（エコルート）にアイコンを表示することができます（168 ページ参照）。フェリー航路は、燃料消費量の対象になりません。

1 情報・BTナビ画面（情報）（266ページ参照）で、**エコナビ情報** にタッチします。

2 **燃費設定** にタッチします。



3 燃費を設定します。



- ◀、▶ …0.1km/Lずつ数値が変わります。

4 **完了** にタッチします。

ワンポイント

入力できる燃費設定の範囲は、0.1km/L～99.9km/Lです。

燃費履歴を編集・削除する

■履歴を編集する

計算された燃費は、履歴に最大100 件まで保存されます。100件を超えた場合、古い履歴から自動的に消去されます。過去の燃費の確認や給油量、走行距離などの修正をすることができます。

1 情報・BTナビ画面（情報）（266ページ参照）で、**エコナビ情報** にタッチします。

2 **燃費履歴** にタッチします。



3 **履歴一覧** にタッチします。



4. エコナビ情報

4 編集したい履歴（期間）にタッチします。



5 開始日編集 、終了日編集 、走行距離編集 、給油量編集 のいずれかにタッチします。



- 開始日編集 にタッチすると、開始日を編集することができます。
- 終了日編集 にタッチすると、終了日を編集することができます。
- 走行距離編集 にタッチすると、走行距離を編集することができます。
- 給油量編集 にタッチすると、給油量を編集することができます。
- 前へ 、または 次へ にタッチすると履歴（期間）を変更することができます。

6 各項目を設定します。



● 開始日編集画面



● 終了日編集画面



● 走行距離編集画面



● 給油量編集画面

- 修正 にタッチすると、1文字ずつ消去することができます。
- 年 、月 、日 にタッチすると、入力した文字が確定されます。

7 完了 にタッチします。

ワンポイント

- 履歴一覧は、最大100件まで表示することができます。
- 入力できる走行距離は、最大999.9kmまでです。
- 入力できる給油量は、最大 99.9L までです。

■履歴を削除する

1 情報・BTナビ画面（情報）（266ページ参照）で、エコナビ情報 にタッチします。

2 燃費履歴 にタッチします。



3 履歴一覧 にタッチします。



4 削除したい履歴（期間）にタッチします。



- 全消去 にタッチすると、すべての履歴が消去されます。

5 本履歴を削除 にタッチします。



6 はい にタッチします。



4. エコナビ情報

エコ運転評価を表示する

全体のドライブ時間のうち、エコ運転ができた時間の割合を計算し、評価結果を表示することができます。

■ エコ運転評価を表示する

チェック

エコ運転の評価期間は、1日です。日付が変わった時点でリセットされます。

リセットされた評価は最大10日間（当日含む）、履歴情報を確認することができます（278 ページ参照）。

1 現在地 を押します。

2 表示変更 にタッチします。



3 地図表示 にタッチします。



4 地図＆エコ情報 にタッチします。



- エコ運転評価は、5段階で表示されます。
- 評価に合わせ、エコ運転に関するアドバイスが表示されます。



ワンポイント

評価をする上で十分な走行時間が経過していない場合は、エコ評価表示欄に「判定中」と表示されます。

■ エコ運転評価履歴を表示する

10日間のエコ運転評価を、グラフで確認することができます。

1 情報・BTナビ画面（情報）（266 ページ参照）で、エコナビ情報 にタッチします。

2 エコ運転評価履歴 にタッチします。



● エコ運転評価の履歴を消去する場合は、履歴消去 にタッチします。

エコドライブインフォメーションの設定をする

エコ運転をするために役立つアドバイスを、音声で案内することができます。

[エコドライブインフォメーション音声の例]

- 急発進を行うと1度に15cc以上の燃料を浪費します。
- エンジンブレーキを使うと燃費がよくなります。
- タイヤの空気圧が低くなると数%燃費が悪くなります。

1 設定・編集画面（ナビ）（77 ページ参照）で、ナビ詳細設定 にタッチします。

2 音声設定 にタッチします。



3 エコドライブインフォメーションの する 、または しない にタッチします。



4 完了 にタッチします。

ワンポイント

- エコドライブインフォメーションの音声は一般的なものであり、運転環境やご使用の車により該当しないことがあります。
- ハートフル音声（92 ページ参照）と重なったときは、ハートフル音声が優先されます。
- エコドライブインフォメーションは、約1週間に1回のペースで案内されます。

5. 電話帳（交通・ナビ関連）機能（AVN-V01のみ）

電話帳（交通・ナビ関連）の検索

JAF（日本自動車連盟）や道路交通情報センターなどの電話番号を表示させることができます。また、設定されている目的地（156ページ）や登録されているメモリ地点に電話番号が入力（246ページ）されていれば、その地点の電話番号を表示させることができます。

1 情報・BTナビ画面（情報）（266ページ参照）で、**電話帳** にタッチします。



2 表示させる項目にタッチします。

- **目的地**（1カ所のみ設定されているとき）にタッチすると、名称と電話番号が表示されます。



3 表示させる施設のある都道府県名にタッチします。

- **2** で **メモリ地点**、または **目的地**（2カ所以上設定されているとき）にタッチしたときは、地点名称にタッチすると、名称と電話番号が表示されます。



4 表示させる施設名称にタッチします。

- 施設名称と電話番号が表示されます。



ワンポイント

- メモリ地点に電話番号が入力されていないときは、リストを表示しますが電話番号を検索することはできません。
- 目的地に電話番号情報がないときは、タッチスイッチを表示しますが電話番号を検索することはできません。

6. カレンダー機能

カレンダー機能は、GPSの時刻情報を利用して、カレンダー画面や日時を表示します。
時刻情報受信中は GPS が表示されます。

カレンダー画面の表示

1 情報・BTナビ画面（情報）（266ページ参照）で、**カレンダー** にタッチします。

- **▲月** ・ **▼月** にタッチすると、表示される月が切り替わります。
- **▲▲年** ・ **▼▼年** にタッチすると、表示される年が切り替わります。
- 月、または年を切り替えたとき、**今月** にタッチすると、今月のカレンダーが表示されます。



1. 情報・BTナビ画面（BTナビ）について（AVN-Z01のみ）

携帯連携機能には、**「地点を送信」**、**「地点を受信」**、**「Yahoo!JAPANと連携」**があります。携帯電話で表示している地点情報を本機に転送して、目的地に設定したりメモリ地点に登録することができます。また、本機で設定されている現在地と目的地を携帯電話に転送することもできます。

本機能を使用するためには、専用のアプリケーションを携帯電話にダウンロードする必要があります。本機で動作確認済みの機種についてはECLIPSE ホームページ「お客様サポート」をご確認ください。また、携帯電話の設定や利用方法については、各携帯電話会社にお問い合わせください。

情報・BTナビ画面（BTナビ）

⚠ 警 告

運転者が走行中に携帯電話を使用することは法律で禁止されています。安全のため、走行中の操作は絶対に行わないでください。

1 情報 を押します。

- 情報・BTナビ画面（BTナビ）が表示されます。
- 情報・BTナビ画面（BTナビ）が表示されていない場合、**BT ナビ** にタッチします。



● **情報・BTナビ画面（BTナビ）**

2 タッチスイッチにタッチして、**「タッチスイッチ一覧」**（282ページ参照）の操作を行うことができます。

タッチスイッチ一覧

タッチスイッチ	機　能	ページ
地点を送信	現在地と、ナビに設定されている目的地すべての地点情報を、ハンズフリーに接続中の携帯電話に転送することができます。	283
地点を受信	ハンズフリーに接続中の携帯電話で検索した施設の位置情報や、受信したメールに含まれている待ち合わせ場所の情報を本機に転送して、その場所の地図を呼び出すことができます。	284
Yahoo! JAPAN と連携	Yahoo! JAPANのサービスを利用して作成したドライブルートなどを本機へ送信したり、本機に保存されている地点情報を携帯電話へ送信してYahoo! JAPANのサービスで活用することができます。	286

2. 地点情報の送信

現在地の地点情報を、Bluetooth携帯電話へ転送することができます。目的地が設定されている場合、目的地までのすべての地点情報を転送することができます。

地点情報の送信

チェック

ハンズフリー（506 ページ参照）に接続中の携帯電話のみ使用することができます。

1 情報・BTナビ画面（BTナビ）（282 ページ参照）で、**地点を送信** にタッチします。

2 携帯電話を操作して、データ受信ができる状態にします。

- 携帯電話の操作は、地点を送信画面が表示されているときに行ってください。
- 携帯電話の操作については、携帯電話に添付の取扱書を参照してください。

3 **送信** にタッチします。

- 位置情報を転送するとメッセージが表示され、現在地画面が表示されます。
- **中止** にタッチすると、通信を中止し前の画面が表示されます。



ワンポイント

- 転送中にエンジンスイッチを OFF(LOCK) にしたときは、転送が中止されます。エンジンスイッチをON、またはACCにして再度操作を行ってください。
- 転送中に本機を操作したり、他の画面に切り替わったときは、転送が中止されます。
- データ転送中は、Bluetooth オーディオ（469 ページ参照））、ハンズフリー（506 ページ参照）およびオンデマンド VICS（219 ページ参照）の接続が切断されます。この場合、転送が終了すると、再接続されます。（機種によっては再接続に時間がかかったり、再接続できないことがあります。）

3. 地点情報の受信

携帯電話で表示している地点情報を本機に転送して、目的地に設定したりメモリ地点に登録することができます。

地点情報の受信

チェック

ハンズフリー（506 ページ参照）に接続中の携帯電話のみ使用することができます。

1 情報・BTナビ画面（BTナビ）（282 ページ参照）で、**地点を受信** にタッチします。

- 目的地設定画面や目的地追加画面（126 ページ参照）で **地点を受信** にタッチしても操作することができます。

2 携帯電話から位置情報を転送します。

- 位置情報を取得するとメッセージが表示され、検索された地図が表示されます。（150 ページ参照）
- **中止** にタッチすると、通信を中止し、前の画面が表示されます。



- **目的地セット**（または **新規目的地**、**追加目的地**）のいずれかにタッチすると、転送した地点を目的地に設定することができます。（157 ページ参照）
- **地点登録** にタッチすると、転送した地点をメモリ地点として登録することができます。（237 ページ参照）
- **情報** にタッチすると、施設の内容が表示されます。



- 詳細情報がある場合、**詳細情報** にタッチすると、詳細な情報が表示されます。



ワンポイント

- 同乗者が携帯電話を操作する場合、ハンズフリー（506 ページ参照）に接続中の携帯電話から走行中は地点を受信することはできません。
- 転送中にエンジンスイッチを OFF(LOCK) にしたときは、転送が中止されます。エンジンスイッチをON、またはACCにして再度操作を行ってください。
- 転送中に本機を操作したり、他の画面に切り替わったときは、転送が中止されます。
- データ転送中は、Bluetooth オーディオ（469 ページ参照）、ハンズフリー（506 ページ参照）およびオンデマンド VICS（219 ページ参照）の接続が切断されます。この場合、転送が終了すると、再接続されます。（機種によっては接続に時間がかかったり、再接続できないことがあります。）
- 携帯電話で地図を呼び出したときにマークが表示されないことがあります。またマークが表示されても施設内容の表示ができないことがあります。提携駐車場の検索はできません。
- 受信した地点をメモリ地点として登録する場合、コンテンツによっては著作権で保護されているため地点情報を登録することはできません。
- 詳細情報は、コンテンツにより表示できない場合があります。
- 表示される地図は、携帯電話で送信した位置情報とずれる場合があります。

4. Yahoo! JAPANと連携

Yahoo! JAPANと連携画面

Yahoo! JAPANのサービスで作成したドライブルートや地点の情報を本機へ送信して、目的地の設定や地点情報の保存をしたり、本機に保存されている情報を携帯電話へ送信して、Yahoo! JAPANのサービスで活用することができます。

本機能を使用するためには、専用のアプリケーションを携帯電話にダウンロードする必要があります。詳細は次のホームページを参照してください。

路線・地図アプリ紹介ページ

・パソコン
http://transit.map.yahoo.co.jp/mobile/app/info.html

・モバイル
http://map.mobile.yahoo.co.jp/dl

※ Yahoo！ JAPAN のサービスや専用のアプリケーションについては予告なく変更、終了する場合があります。

なお、2012年12月20日で「ドライブルート（ドライブルートの情報を車載機へ送信する）」、「走行軌跡（車載機に保存されている走行軌跡の情報を携帯電話に送信し、Yahoo！ JAPANのサービスでの活用）」のサービスは終了しました。

1 情報・BTナビ画面（BTナビ）（282 ページ参照）で、**Yahoo! JAPAN と連携** にタッチします。

2 タッチスイッチにタッチして、**「タッチスイッチ一覧」**（287ページ参照）の操作を行うことができます。



タッチスイッチ一覧

タッチスイッチ	機　能	ページ
目的地受信 ※	目的地情報を本機へ送信し、検索された地図を表示することができます。	290
ドライブルート ※	作成したドライブルートの情報を本機へ送信することができます。	290
地点情報 ※	最大１００件まで地点情報を本機へ送信することができます。	291
走行軌跡を送信	本機に保存されている走行軌跡の情報を携帯電話へ送信し、Yahoo! JAPANのサービスで活用することができます。	292
メモリ地点を送信	本機に保存されているメモリ地点の情報を携帯電話へ送信し、Yahoo! JAPANのサービスで活用することができます。	293
目的地履歴を送信	本機に保存されている目的地履歴の情報を携帯電話へ送信し、Yahoo! JAPANのサービスで活用することができます。	294
アプリダウンロード	Yahoo! JAPANのモバイルサイトにアクセスして、専用のアプリケーションをダウンロードすることができます。	288
送信セキュリティ設定	本機から携帯電話へ送信するときのセキュリティ機能を設定したり、設定変更時のロックNo.を変更することができます。	288

※ 目的地設定画面や目的地追加画面（126 ページ参照）で Yahoo! JAPAN と連携 にタッチしても操作することができます。

ワンポイント

- 送信中にエンジンスイッチをOFF(LOCK) にした場合、送信が中止されます。その場合、エンジンスイッチをACC、またはONにして再度操作します。
- 送信中に本機を操作したり、他の画面に切り替わった場合、送信が中止されます。
- データ送信中は、Bluetooth オーディオ（469 ページ参照）、ハンズフリー（506 ページ参照）およびオンデマンドVICS（219 ページ参照）の接続が切断されます。その場合、送信が終了すると、再接続されます。（機種により、再接続に時間がかかることや再接続できないことがあります。）
- 路線・地図アプリ紹介ページの情報料、アプリケーション使用料は無料です。
- 携帯電話の通信料金は、お客様のご負担になります。

4. Yahoo! JAPANと連携

アプリケーションをダウンロードする

1 携帯電話に2次元バーコードを読み込む、またはURLを入力してYahoo! JAPANのモバイルサイトにアクセスします。

- **サイズ変更** にタッチすると、2次元バーコードが拡大されます。
- 携帯電話の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書を参照してください。



ワンポイント

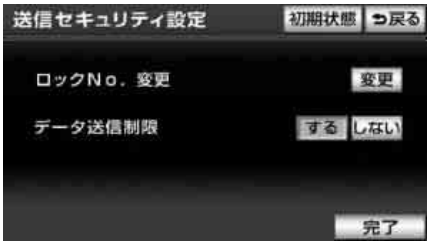
- 2次元バーコードの読み取りは、携帯電話各社で完全に保証されておりません。また、読み取り環境や条件によって読み取りが困難になることがあります。
- 2次元バーコードが読み取れないときは、2次元バーコードのサイズを変更する、または携帯電話および本機の画面の明るさを変えることで読み取ることができる場合があります。
- QR コードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

本機から携帯電話へ送信時のセキュリティを設定する

メモリ地点や目的地履歴などの情報は、個人情報に関わる内容であるため、第3者が情報を勝手に外部へ持ち出せないようにセキュリティを設定することができます。

1 データ送信制限の **する** 、または **しない** にタッチします。

- **変更** にタッチすると、ロックNo.を修正することができます。(289 ページ参照)
- **初期状態** 、**はい** の順にタッチすると、ロックNo.を初期状態に戻すことができます。同時に、送信対象の走行軌跡情報が消去されます。



2 **完了** にタッチします。

3 ロックNo.を入力します。

- 初期状態は「0000」です。
- 間違えたときは **修正** にタッチすると、1番号ずつ消去されます。



4 **完了** にタッチします。

- メッセージが表示され、設定が変更されます。

セキュリティ設定変更時のロックNo.を変更する

チェック

データ送信制限を **する** に設定している場合、ロックNo.を変更することはできません。

1 ロックNo.変更の **変更** にタッチします。

● **初期状態** 、**はい** の順にタッチすると、ロックNo.を初期状態に戻すことができます。同時に、送信対象の走行軌跡情報が消去されます。



2 現在のロックNo.を入力します。

● 初期状態は「0000」です。

● 間違えたときは **修正** にタッチすると、1番号ずつ消去されます。



3 **完了** にタッチします。

4 新しいロックNo.を入力します。

● 間違えたときは **修正** にタッチすると、1番号ずつ消去されます。



5 **完了** にタッチします。

6 **はい** にタッチします。

● メッセージが表示され、設定が変更されます。



7 **完了** にタッチします。

ワンポイント

設定した暗証番号は、送信セキュリティの設定を変更するときに必要になります。設定した暗証番号を忘れたときの確認用にメモなどをしておくことをおすすめします。

4. Yahoo! JAPANと連携

目的地情報を本機へ送信する

チェック

ハンズフリー（506 ページ参照）に接続中の携帯電話のみ使用することができます。

1 携帯電話から位置情報を送信します。

- **中止** にタッチすると、通信を中止し前の画面が表示されます。
- 位置情報を取得するとメッセージが表示され、検索された地図が表示されます。（150 ページ参照）



- **目的地セット**（または **新規目的地**、**追加目的地**）のいずれかにタッチすると、送信した地点を目的地に設定することができます。（157 ページ参照）
- **地点登録** にタッチすると、送信した地点をメモリ地点として登録することができます。（237 ページ参照）



ワンポイント

- 表示される地図は、携帯電話で送信した位置情報とずれる場合があります。
- 受信した地点をメモリ地点として登録する場合、コンテンツによっては著作権で保護されているため地点情報を登録することはできません。

ドライブルートの情報を本機へ送信する

チェック

ハンズフリー（506 ページ参照）に接続中の携帯電話のみ使用することができます。

1 **新規受信** にタッチします。



2 携帯電話から情報を送信します。

● **中止** にタッチすると、通信を中止し前の画面が表示されます。



● 情報を取得するとメッセージが表示され、リスト画面が表示されます。リストにタッチすると、ドライブルート詳細画面が表示されます。

● リスト画面で **全消去** 、 **はい** の順にタッチすると、送信した全てのドライブルート情報を削除することができます。



● ドライブルート詳細画面の **探索開始** にタッチすると、ルート探索を開始します。

● **消去** 、 **はい** の順にタッチすると、選択したドライブルートを削除することができます。

ワンポイント

本機に保存されている情報は、携帯電話から本機へ送信するごとに新しい情報に上書きされます。

地点情報を本機へ送信する

チェック

ハンズフリー（506 ページ参照）に接続中の携帯電話のみ使用することができます。

1 **新規受信** にタッチします。



4. Yahoo! JAPANと連携

2 携帯電話から情報を送信します。

● 中止 にタッチすると、通信を中止し前の画面が表示されます。



● 情報を取得するとメッセージが表示され、リスト画面が表示されます。地点にタッチすると、検索された地図が表示されます。

● リスト画面で 全消去 、 はい の順にタッチすると、送信した全ての地点情報を削除することができます。



● 目的地セット （または 新規目的地 、追加目的地 ）のいずれかにタッチすると、送信した地点を目的地に設定することができます。（157 ページ参照）

● 地点登録 にタッチすると、送信した地点をメモリ地点として登録することができます。（237 ページ参照）

ワンポイント

本機に保存されている情報は、携帯電話から本機へ送信するごとに新しい情報に上書きされます。

走行軌跡情報を携帯電話へ送信する

チェック

●ハンズフリー（506 ページ参照）に接続中の携帯電話のみ使用することができます。

●送信セキュリティ設定のデータ送信制限を する に設定している場合、情報を送信することができません。

1 走行軌跡にタッチする。

● 全消去 、 はい の順にタッチすると、保存されている走行軌跡を削除することができます。



2 携帯電話を操作して、データ受信ができる状態にします。

● 携帯電話の操作は、走行軌跡を送信画面が表示されているときに行います。

● 携帯電話の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書を参照してください。

3 送信 にタッチします。

- 送信が完了するとメッセージが表示されます。
- 中止 にタッチすると、通信を中止し前の画面が表示されます。



ワンポイント

- 走行軌跡とは、目的地を設定して走行したルートが保存されたものです。
- 走行軌跡は最大5件、合計1000kmまでの軌跡が保存されます。
- リストに表示される走行軌跡の名称は、設定した目的地の名称です。
- 携帯電話へ送信することができる走行軌跡は、地図画面に表示される走行した道路の軌跡（102 ページ参照）とは異なります。

メモリ地点を携帯電話へ送信する

チェック

- ハンズフリー（506 ページ参照）に接続中の携帯電話のみ使用することができます。
- 送信セキュリティ設定のデータ送信制限を する に設定している場合、情報を送信することができません。

1 メモリ地点にタッチします。

- 種類別 にタッチすると、自宅、特別メモリ地点、メモリ地点の順に並べかえることができます。
- マーク順 にタッチすると、マークの種類別に並べ替えることができます。
- 登録順 にタッチすると、メモリ地点の登録順に並べ替えることができます。
- 複数のメモリ地点を同時に送信する場合、送信するメモリ地点全てにタッチします。
- 一度選んだメモリ地点をもう一度タッチすると、選択が解除されます。



2 決定 にタッチします。

3 携帯電話を操作して、データ受信ができる状態にします。

- 携帯電話の操作は、メモリ地点を送信画面が表示されているときに行います。
- 携帯電話の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書を参照してください。

次ページに続く

4. Yahoo! JAPANと連携

4 送信 にタッチします。

- 送信が完了するとメッセージが表示されます。
- 中止 にタッチすると、通信を中止し前の画面が表示されます。



目的地履歴を携帯電話へ送信する

チェック

- ハンズフリー（506 ページ参照）に接続中の携帯電話のみ使用することができます。
- 送信セキュリティ設定のデータ送信制限を する に設定している場合、情報を送信することができません。

1 目的地履歴にタッチします。

- 複数の目的地履歴を同時に送信する場合、送信する目的地履歴全てにタッチします。
- 一度選んだ目的地履歴をもう一度タッチすると、選択が解除されます。



2 決定 にタッチします。

3 携帯電話を操作して、データ受信ができる状態にします。

- 携帯電話の操作は、目的地履歴を送信画面が表示されているときに行います。
- 携帯電話の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書を参照してください。

4 送信 にタッチします。

- 送信が完了するとメッセージが表示されます。
- 中止 にタッチすると、通信を中止し前の画面が表示されます。



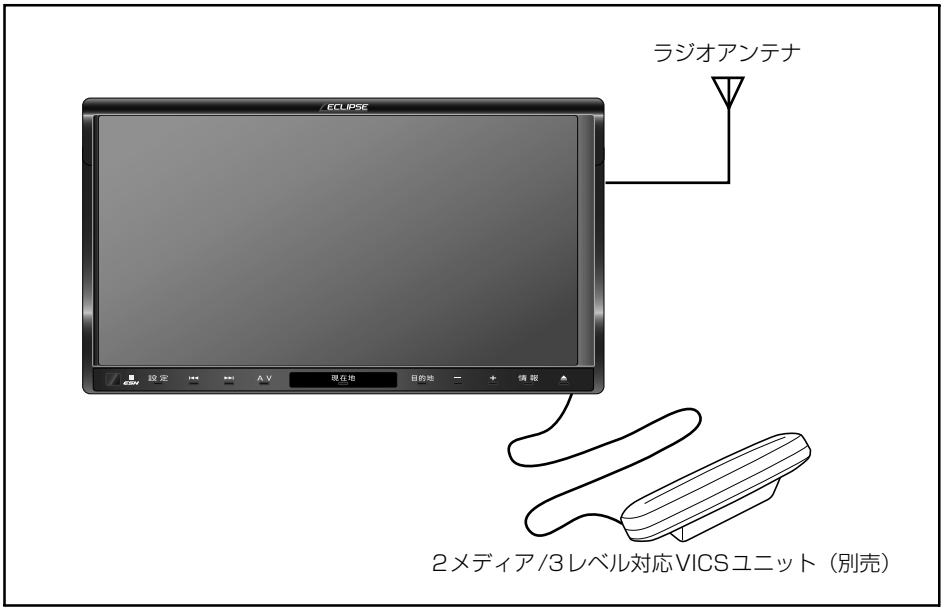
1．2メディア/3レベル対応VICSユニットの操作

内蔵のFM多重機能とは別に、別売の2メディア/3レベル対応VICSユニットを接続した場合は、FM多重放送に加え電波・光ビーコンの受信が可能になります。

- ビーコンが設置されている付近の道路交通情報が提供されます。
- ビーコンから受信した最新の渋滞情報を考慮した経路探索が可能になります。
- ビーコンからの割り込み情報を受信できます。

2メディア/3レベル対応VICSユニットの構成

VICSの電波／光ビーコンを受信するシステム



1．2メディア/3レベル対応VICSユニットの操作

割り込み情報（ビーコン即時案内）の表示

ビーコンからVICS情報が受信されたとき、VICS図形情報（または文字情報）を自動的に表示させることができます。

- ▲ 、または ▼ にタッチして、表示させる割り込み情報を切り替えます。
- 文字情報と図形情報の両方の割り込み情報があるときは、**文字**（文字情報を表示させているときは **図形** ）にタッチして、表示させる情報を切り替えます。
- **表示消** にタッチする、または設定時間以上操作しなかったときは、もとの画面にもどります。



● 割り込み情報の表示

■割り込み情報の表示を設定する

割り込み情報をＯＮ（表示する）にするか、ＯＦＦ（表示しない）にするか、選ぶことができます。

1 設定・編集画面（ナビ）（77 ページ参照）で、**ナビ詳細設定** にタッチします。

2 **その他** にタッチします。

3 VICS割込設定の **変更する** にタッチします。



4 割り込み情報の項目の **する** 、または **しない** にタッチします。

- 注意警戒情報
  …注意警戒情報の表示
- ビーコン文字情報
  …文字情報の表示
- ビーコン図形情報
  …図形情報の表示



5 **完了** にタッチします。

ワンポイント

- FM多重放送のみのVICS情報では、ビーコンからの割り込み情報の表示は行われません。
- ビーコンの運用時間は24時間です。運用時間は予告なく変更されることがあります。
- 割り込み情報を **しない** に設定していても、緊急情報が受信されたときは、自動的に文字情報（または図形情報）が表示されます。

■割り込み情報の表示時間を調整する

割り込み情報が表示されてから、もとの画面にもどるまでの時間を調整することができます。

1 設定・編集画面（ナビ）（77 ページ参照）で、**ナビ詳細設定** にタッチします。

2 **その他** にタッチします。

3 VICS割込設定の **変更する** にタッチします。



4 自動割込みの表示時間の ▶ 、または ◀ にタッチして調整します。

- 表示時間を長くするときは ▶ 、短くするときは ◀ にタッチします。（タッチするたびに、5秒ずつ変更されます。）



5 **完了** にタッチします。

■割り込み情報を呼び出す

割り込み情報をOFF（表示しない）にしているときに、受信された割り込み情報を表示させることができます。また、一度表示された割り込み情報を再度表示させることもできます。

チェック

提供時刻より約30分以上経過した割り込み情報は表示させることができません。

1 情報・BTナビ画面（情報）（266 ページ参照）で、**VICS** にタッチします。

2 **割込情報** にタッチします。



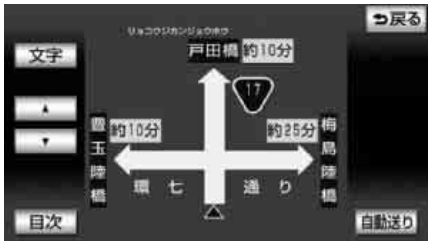
次ページに続く

1．2メディア/3レベル対応VICSユニットの操作

3 ▲、または ▼ にタッチして、表示させる割り込み情報を切り替えます。

- 文字情報と図形情報の両方の割り込み情報があるときは、**文字**（文字情報を表示させているときは **図形**）にタッチして、表示させる情報を切り替えます。
- 再表示した割り込み情報画面は自動的に地図画面にはもどりません。

  戻る にタッチすると割り込み情報画面を解除します。

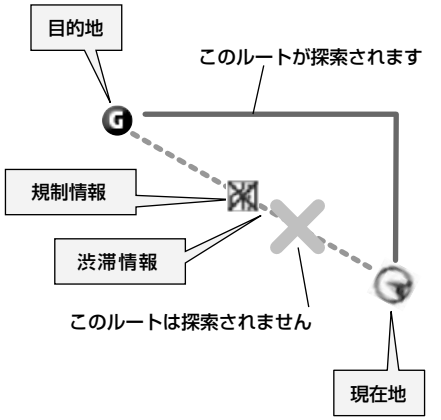


ワンポイント

- FM多重放送のみのVICS情報では、ビーコンからの割り込み情報の表示は行われません。
- ビーコンの運用時間は24時間です。運用時間は予告なく変更されることがあります。

渋滞考慮探索

ビーコンからのVICS情報を受信するたびに、現在地から約10km以内の渋滞・規制情報が考慮されたルート探索をさせることができます。



ワンポイント

渋滞考慮探索はナビ詳細設定の渋滞考慮探索が **する** になっているとき、探索します。（161 ページ参照）

新旧ルート比較

目的地案内中にビーコンから受信した渋滞、規制情報をもとに新しいルートが見つかった場合、もとのルートと比較して選択することができます。



ワンポイント

ナビ詳細設定の新旧ルート比較表示が **する** に設定されていると、新しいルートが見つかったときは、ルート比較画面を表示します。（162 ページ参照）

2. ETCシステムの操作

本機能は別売のナビゲーション対応のETC車載器を接続した場合に表示・操作できます。

ETC車載器を初めて使う

チェック

ETC車載器の取り扱い、ご利用の方法は、ETC車載器の取扱説明書をお読みください。

■車両情報などをETC車載器に登録する（セットアップ）

ETC車載器のご利用には、取り付けられる車両情報などをETC車載器に登録する「セットアップ」が必要になります。

また、車両を変更する場合には、新しい車両の情報などをETC車載器に登録する「再セットアップ」が必要となります。詳しくは、ETC車載器を購入された販売店へお問い合わせください。

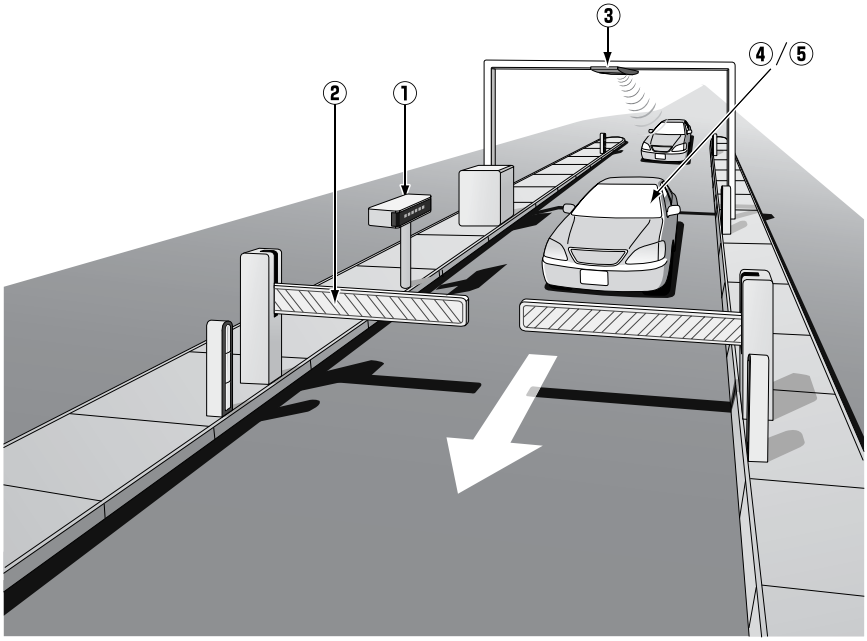
■ETCカードを入手する

ETC車載器のご利用には、ETC車載器に挿入して使用するETCカードが必要となります。クレジット会社が発行するETCカードを利用する場合は、別途発行手続きに伴う審査・条件が必要となります。詳しくは、各ETCカード発行会社へお問い合わせください。

ETCとは

ETC（Electronic Toll Collection）システムは、有料道路の利用時に料金所、検札所の通過をスムーズに行うために、自動で料金を精算するシステムです。

路側無線装置とETC車載器との間で通信を行い、料金はお客様が登録した銀行口座から後日引き落とされます。



①	路側表示器	料金所のETCレーンに設置されています。進入車両に対し、通行の可否などのメッセージが表示されます。
②	発進制御装置（開閉バー）	料金精算を確実にするために、料金所のETCレーンに必要に応じて設置されています。通過車両の発進を制御するもので、踏み切りの遮断機のようなものです。通信が正常に行われると開きます。
③	路側無線装置	料金所のETCレーンに設置されています。料金精算のため、車両のETC車載器との通信を行うためのアンテナです。
④	ETC車載器	車両に装着されています。ETCカードに格納されている料金精算に必要なデータを路側無線装置と通信するための機器です。
⑤	ETCカード※	ETC車載器に挿入します。ICチップを搭載した、ETC車載器用カードのことです。ETCカードでは、このICチップに料金精算に必要なデータが保持されています。

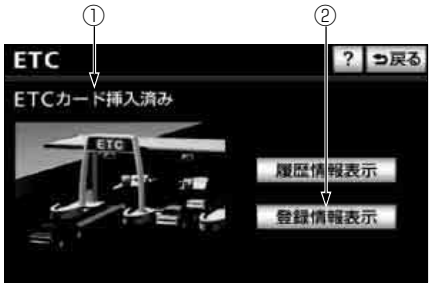
※ ETCカードには有効期限があります。あらかじめETCカードの有効期限をご確認ください。

2. ETCシステムの操作

ETCメニュー画面

1 情報・BTナビ画面（情報）（266ページ参照）で、**ETC** にタッチします。

● ETCメニュー画面になります。



① **ETCカードメッセージ**※

現在のETCユニットの状態が表示されます。

・「ETCカード挿入済み」
…ETC カードが挿入されたことを確認した状態です。

・「ETCカード未挿入」
…ETCカードが挿入されていません。

・「ETCカード確認中」
…ETCカードを読み込んでいます。

・「ETCカード異常」
…ETC カードを読み込むことができません。

・「システム異常」
…ETC システムに何らかの異常が発生しています。（ETCアンテナはずれ検知含む）

・「未セットアップ」
…ETC がセットアップされていない状態

・「セットアップ完了」
…ETC がセットアップ完了している状態

② **登録情報表示**

登録情報表示 にタッチすると、お客様の車のETC車載器に登録された情報が表示されます。

※ ETCカードの有効期限について
ETC車載器に有効期限切れのETCカードを挿入してもエラー表示などはされません。有効期限切れのETCカードでは、開閉バーが開きませんので、ETCレーンを通行できません。お手持ちのETCカードに記載された有効期限をあらかじめご確認ください。

ワンポイント

統一エラーコードについては**「ETC統一エラーコード一覧」**（538ページ）を参照してください。（エラーコードは、最後に発生したコードを保持表示しています。）

走行中の表示

重要

- ETCレーンに進入する場合は、発進制御装置（開閉バー）の手前で十分止まれる速度まで減速し、開閉バーが開いて安全であることを確認してから通過してください。万一、開閉バーが開かないときには衝突するおそれがあります。また、前走車がいる場合は、前走車が急停車しても十分止まることができる車間距離を確保してください。万一、前走車が急停車したときに追突するおそれがあります。
- 走行中は、交通事故防止のためETC車載器からETCカードの抜き差しをしないでください。
- 走行中にETC車載器からETCカードの抜き差しを行うとETCカード内のデータが破損する恐れがあります。

ワンポイント

- ETCレーン通過時にはETCレーン周辺に表示されている案内表示板や標識などにしたがって走行してください。
- ETC レーンを通行する場合は、路側表示器の表示にしたがって走行してください。路側表示器に停止の表示があった場合は車を停止し、係員の指示にしたがってください。

●ETC ユニットを用いたサービス（スマートICなど）があります。サービス提供者から案内される利用方法をご確認ください。

●ETC カードは必ず、入口料金所で使用したETCカードを使用して出口料金所を通過してください。他のETCカードに差し替えると入口料金所情報がETCカードに保持されていないため、出口料金所を通過できなくなります。

●出口に ETC レーンが無い場合は、係員にETCカードを渡し精算処理を行ってください。

●ETC レーンを通過しても本機が無反応だった場合は、通信が正常に行われておりません。係員の指示にしたがってください。係員が不在の場合にはお近くのインターホンにてお問い合わせください。

●ETCを利用するには、ETCカードをETC車載器に差し込んでおく必要があります。ETCカードが差し込まれていない状態ではETCを利用できません。

■ETCレーンの通過案内

ETCレーン（精算用）通過時

ETCによる料金徴収が行われた時に、「支払い料金は○○円です」と音声および画面表示で案内します。

ワンポイント

●走行中、ETCゲートを通過する手前で、ETCゲートの通行の可否を音声と画面表示で案内します。
※ センターからの情報がない場合は通行可の案内は行われません。

●予告アンテナおよび経路チェックアンテナを通過したときも料金所・検札所のETCレーンを通過した場合と同様の表示になります。

●予告アンテナを通過したときにエラーが表示された場合は、その先の料金所ではETCを利用できません。ETC混在レーンまたは一般レーンへ進入し、係員の指示にしたがってください。なお、予告アンテナが設置されていない料金所もあります。

●払い戻しアンテナを通過したときに払い戻しを受ける場合も、精算用のETCレーンを通過した場合と同様の表示になります。

●ETC の利用料金は路側表示器に表示される場合があります。

●ETC　の利用料金および利用履歴は、クレジットカード会社から発行される利用明細にてご確認ください。

●エラーコードについては**「ETC 統一エラーコード一覧」**（538ページ）を参照してください。

履歴の表示

重要

走行中は安全のため、運転者は利用履歴の確認を行わないでください。わき見や前方不注意により交通事故の原因になります。

チェック

利用履歴の確認は利用料金支払に使用したETCカードをETC車載器に差し込んでいないとできません。

1 ETCメニュー画面（302 ページ参照）で、**履歴情報表示** にタッチします。

2 ▲ 、または ▼ にタッチして、表示させる履歴を切り替えます。

● 履歴を切り替えたとき、**最新** にタッチすると、最も新しい履歴にもどります。

● **詳細** にタッチすると、履歴の内容を表示します。



次ページに続く

2. ETCシステムの操作

ワンポイント

- ETC ゲート付近で履歴を表示させると、路側アンテナとの通信ができないことがあります。
- 表示させることができる履歴は、最大 100 件までです。100件を超えた場合、古い履歴から自動的に消去されます。手動による履歴の消去はできません。

登録情報の表示

1 ETCメニュー画面（302 ページ参照）で、**登録情報表示** にタッチします。

- ETC車載器の機器情報が表示されます。
- エラーコードは、最後に発生したコードを保持表示しています。



ワンポイント

- ETC 登録情報画面のセットアップカード情報有効年月日は、現在使用されていないため表示されません。
- 統一エラーコードについては **「ETC 統一エラーコード一覧」**（538ページ）を参照してください。

ETCの設定

■ETCの各項目を設定する

1 設定・編集画面（ETC）（77 ページ参照）で、**通知設定** にタッチします。

2 ETCの項目の **する** 、または **しない** にタッチして設定します。

- ETC割込表示
  ETCを利用するときに通行の可否や利用料金を画面に表示して案内します。
  - ・ゲート通過案内
    ETCゲートの通行可、または通行不可の案内
  - ・予告レーン案内
    この先のETCゲートの通行可、または通行不可の案内
  - ・料金徴収案内
    料金徴収の案内
- ETC音声案内
  ETCを利用するときに、通行の可否や利用料金を音声の出力で案内します。
- ACCオン時警告表示
  エンジンスイッチをOFF（LOCK）からACCの位置にしたとき、ETCカード認識時の異常やETCの異常を画面に表示して警告します。
- ACCオン時警告音声案内
  エンジンスイッチをOFF（LOCK）からACCの位置にしたとき、ETCカード認識時の異常やETCの異常をお知らせします。
- カード抜き忘れ警告
  エンジンスイッチを ACC から OFF（LOCK）の位置にしたとき、カードの抜き忘れをお知らせします。



3 **完了** にタッチします。

ワンポイント

ハートフル音声とETC音声案内が重複することがあります。ETC音声案内を優先して聞く場合、ハートフル音声を **しない** に設定します。（92 ページ参照）ハートフル音声を優先して聞く場合、ETC音声案内を **しない** に設定します。

3. バックアイカメラの操作

別売のバックアイカメラを装着した場合、バックギアにシフトすると、ディスプレイに後方のカメラ映像を映すことができます。また、俯瞰機能付きバックアイカメラを接続している場合、カメラ映像の視点を切り替えることができます。

⚠ 注 意

バックアイカメラの映像はバックミラーやサイドミラーで見るのと同じ左右反転させた映像です。また、車種により見え方が異なります。十分にご注意下さい。

⚠ 重 要

高圧洗車機を使用する場合、カメラ、またはカメラの周囲に直接ノズルを向けることは避けてください。カメラが脱落する恐れがあります。

🕮ワンポイント

- ●バックアイカメラを過信しないでください。
- ●バックアイカメラは、障害物等の確認のための補助手段として使用してください。
- ●雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなる恐れがあります。
- ●モニター画面だけを見ながら後退することは絶対にしないでください。必ずルームミラー、ドアミラーを併用し、後方および周囲の安全を十分確認してください。
- ●以下のような状況では使用しないでください。
  - ・凍結したり、すべりやすい路面、または雪道
  - ・坂道など平坦でない道路
  - ・バックドアが完全に閉まっていないとき
  - ・タイヤチェーン、応急タイヤを使用しているとき
- ●ディスプレイが冷えているときに、映像が尾を引いたり、通常より暗くなり認識しにくくなる場合があります。必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。
- ●カメラのレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なります。
- ●カメラ部を強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃を与えないでください。カメラの位置、取りつけ角度がずれてバックアイカメラが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- ●カメラ部は防水構造となっていますので、取りはずし・分解・改造をしないでください。バックアイカメラが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- ●カメラのカバーを強くこすったり、硬いブラシや研磨剤などでみがいたりすると、カバーが傷つき、映像に悪影響をおよぼすおそれがあります。
- ●カメラのカバーは樹脂ですので、有機溶剤・ボディワックス・油膜取り剤・ガラスコート剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐにふき取ってください。
- ●寒いときにお湯をかけるなどして急激な温度変化をあたえると、バックアイカメラが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- ●カメラ部をぶつけたときは、カメラの故障などによりバックアイカメラが正常に作動しなくなるおそれがあります。早めに販売店で点検を受けてください。
- ●太陽光を直接長時間撮像しないでください。焼き付け現象が残ることがあります。
- ●写真は一例です。ディスプレイに写る範囲は車種によって異なります。
- ●バックギアにシフトした瞬間は、一端白画面になりますが、その後次第に安定します。
- ●太陽光、ヘッドライトなど強い光が当たると上下に白帯が出ることがあります。
- ●長時間使用した場合、温度上昇により白キズや縦線が出ますが、CCDの特性によるものです。

●50Hz電源地域の蛍光灯下では、画面のちらつき（フリッカー現象）が起こりますが故障ではありません。
●バックアイカメラのカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。

バックアイカメラの映像を映す

1 バックギアにシフトします。

● バックアイカメラの画面に切り替わります。

● バックギア以外にシフトするとナビゲーション画面にもどります。



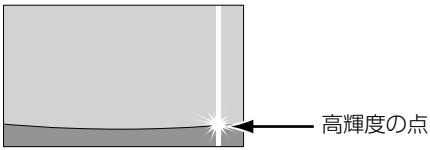


ワンポイント

●車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
●カメラに映る範囲には限度があり、バンパーの両端付近やバンパーの下にあるものは映りません。
●後方の映像は実際の色合いと異なる場合があります。
●画面の明るさ・コントラストを調整することができます。**「画面の調整・設定」**（61ページ参照）

●次のようなときは、画面が見づらくなることがありますが、異常ではありません。
・暗いところ。（夜間など）
・レンズ付近の温度が高い、または低いとき。
・カメラに水滴がついたときや、湿度が高いとき。（雨天時など）
・カメラ付近に異物（泥など）がついたとき。
・太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき。
・高輝度の点（車体に反射した太陽等）がカメラに映ると、CCDカメラ特有のスミヤ現象※が発生することがあります。

＜画面の状況＞



※ スミヤ現象：高輝度の点（車体に反射した太陽等）がカメラに映るとその点の上下（縦方向）に尾を引く現象。

ガイド線の設定・調整

⚠ 警告

●車を降りて目印をつけるときは、必ずエンジンを切ってください。
●ガイド線を調整するときは、安全な場所に停車してください。

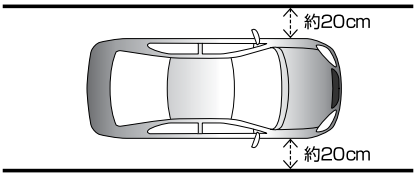
次ページに続く

3. バックアイカメラの操作

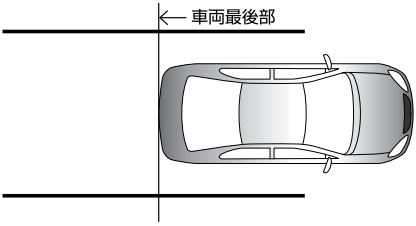
チェック

- ガイド線を表示する場合は、必ず車両に合わせた調整をしてください。
- 俯瞰機能付きバックアイカメラを接続している場合、ガイド線の設定は通常モード、または俯瞰（ふかん）モードのどちらかに合わせた設定になります。ガイド線の設定をしていないモードを表示するときは、ガイド線の表示を解除してください。（309ページ参照）

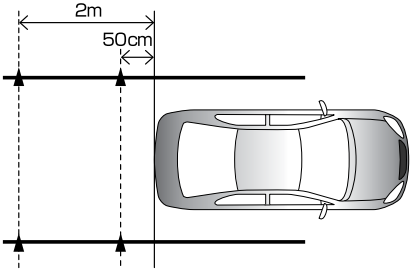
1 車両の幅＋両側約20cmの位置に、直線の目印をガムテープなどでつけます。



2 車両を約2.5m直進させ、車両最後部に直線の目印をつけます。



3 車両最後部から50cmおよび2m離れた左右4ヵ所をマーキングします。



4 設定・編集画面（運転支援）（77ページ参照）で、**カメラ設定** にタッチします。

5 バックガイドカメラ線表示の **調整** にタッチします。

6 **ポイント切換** にタッチします。

- 選択する ■（ポイント）は、**ポイント切換** にタッチするごとに切り替わります。
- 選択した ■（ポイント）が緑色になります。

7 調整する ■（ポイント）にタッチします。



8 ↓、↑、←、→ にタッチし、マーキングした4点と合わせます。

- 矢印（↓、↑、←、→）を約1秒押すと、連続してポイントが移動します。

9 **完了** にタッチします。

ワンポイント

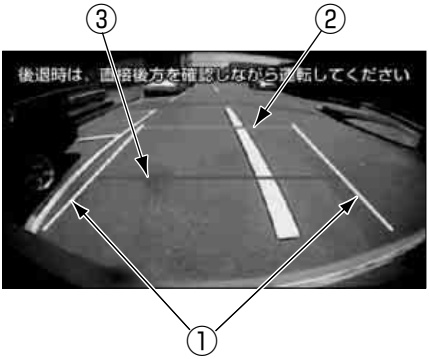
- **初期値** にタッチした後、**はい** にタッチすると初期設定にもどります。
- ポイント調整時、各ポイントの最大調整可能範囲にすると、矢印の色がトーンダウンし、タッチしても操作できません。

画面の見方について

カメラの位置や表示ガイド線の位置により、車と立体物の距離が異なります。

■ガイド線の見方

バックギアにシフトすると、バックアイカメラの映像に切り替わり、車幅や距離感覚を補うガイド線が表示されます。



① 黄色
車幅＋約20cmの目安を示します。

② 橙色
車両後端より約2mの位置を示します。

③ 赤色
車両後端より約50cmの位置を示します。

ガイド線の表示／解除

1 バックアイカメラの映像を表示中に、設定 を1秒以上押します。

2 ガイドON （ ガイドOFF ）にタッチします。

● ガイド線を表示するには ガイドON にタッチします。ガイド線の表示を解除するには ガイドOFF にタッチします。



3. バックアイカメラの操作

視点の切り替え

※ 別売の俯瞰機能付きバックアイカメラを装着している場合のみ操作することができます。

ディスプレイに表示する映像を、上から見た俯瞰（ふかん）モードに切り替えることができます。

● 通常モード

車両後方を全体的に映す映像です。主に車両後方を全体的に確認したいときにご利用ください。

● 俯瞰（ふかん）モード

車両上方から真下方向を映す映像です。主に車両後方の段差、縁石、車両輪止めなどを確認したいときにご利用ください。



● **通常モード**



● **俯瞰（ふかん）モード**

■バックアイカメラの初期設定をする

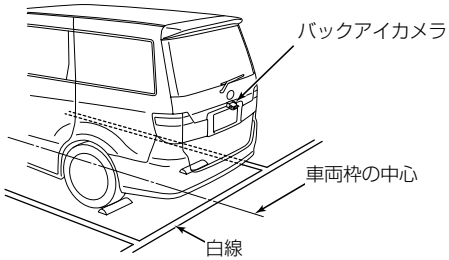
⚠ 注 意

初期設定するときは、安全な場所に停車してください。

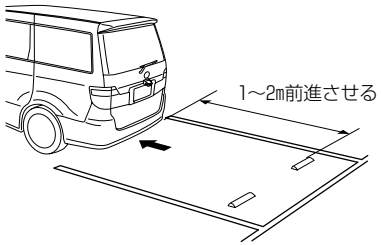
チェック

バックアイカメラの初期設定は必ず駐車車両枠（白線など）と車両輪止めのある駐車場で行ってください。

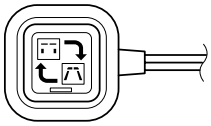
1 駐車車両枠（白線）の中央に車両を止めます。



2 車両を１～２ｍ前進させます。



3 カメラ映像を表示させているときに、画像切り替えスイッチを５秒以上押します。



4 画像切り替えスイッチを押して、視点の高さを切り替えます。

● 画像切り替えスイッチを押すごとに、視点の高さが切り替わります。

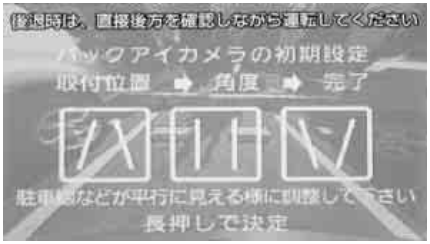


5 画像切り替えスイッチを3秒以上押します。

6 画像切り替えスイッチを押して、角度を切り替えます。

● 画像切り替えスイッチを押すごとに、角度が切り替わります。

● 駐車車両枠などが平行に見える画面をおすすめします。



7 画像切り替えスイッチを3秒以上押します。

● 設定が完了し、カメラの映像が表示されます。

ワンポイント

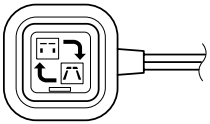
●設定中にバックギア以外にシフトすると、設定が保存されません。

●設定できる角度は6段階です。

■視点を切り替える

1 カメラ映像を表示させているときに、画像切り替えスイッチを押します。

● 画像切り替えスイッチを押すごとに、通常モードと俯瞰（ふかん）モードが切り替わります。



4. フロントアイカメラの操作

別売のフロントアイカメラを装着した場合、本機のディスプレイに自動、または手動で、車両の左右の映像を映すことができます。

● 見通しの悪い交差点やT字路等でも、車両先端部に取り付けられたカメラで状況を容易に確認でき、安全な運転をサポートします。

フロントアイカメラの映像について

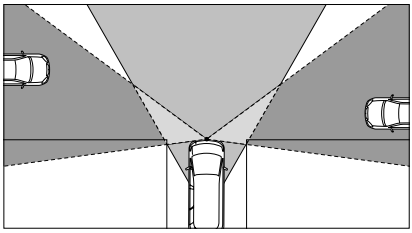
フロントアイカメラの映像は下記の方法で表示することができます。

● 低速走行時にスイッチ操作で表示する

● 高速走行から低速走行に減速した時に自動で表示する



● フロントアイカメラの映像



運転手からの視野範囲
フロントアイカメラによる視野範囲
（視野範囲は車両、取り付け位置によって異なります）

🕮ワンポイント

●高速走行時は安全のためフロントアイカメラ映像を表示できません。低速走行時にのみ表示することができます。

●フロントアイカメラを過信しないでください。

●本機（フロントアイカメラ）は、障害物等の確認のための補助手段として使用してください。

●雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなる恐れがあります。

●必ず、前方および周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

●フロントアイカメラで映し出す範囲は限られていますので、ディスプレイだけを見ながら移動することは絶対にしないでください。前方および周囲の安全を十分確認してください。

●以下のような状況では使用しないでください。

・凍結したり、すべりやすい路面、または雪道

・タイヤチェーン、応急タイヤを使用しているとき

・坂道など平坦でない道路

●外気温が低い場合、画面が暗くなったり、映像が薄れることがあります。特に動いているものの映像が歪む、または画面から見えなくなることがあるため、必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。

●カメラのレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なります。

●カメラ部を強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃を与えないでください。カメラの位置、取り付け角度がずれてフロントアイカメラが正常に作動しなくなるおそれがあります。
●カメラ本体は、レンズの結露防止のため防滴密閉構造となっています。カメラ本体のネジを緩めたり、分解することは絶対にしないでください。防滴性能の劣化をまねき故障等の原因となります。
●レンズ前面のカバーが汚れていると鮮明な画像が得られません。水滴、雪、泥などが付着したときは水を含ませた柔らかい布等で拭き取ってください。ゴミ等が付いた状態で、乾いた布等で強くこするとレンズカバーにキズが付くことがあります。
●カメラのカバーを強くこすったり、硬いブラシや研磨剤などでみがいたりすると、カバーが傷付き、映像に悪影響をおよぼすおそれがあります。
●カメラのカバーは樹脂ですので、有機溶剤・ボディワックス・油膜取り剤・ガラスコート剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐにふき取ってください。
●寒いときにお湯をかけるなどして急激な温度変化をあたえると、フロントアイカメラが正常に作動しなくなるおそれがあります。
●カメラ部をぶつけたときは、カメラの故障などによりフロントアイカメラが正常に作動しなくなるおそれがあります。早めに販売店で点検を受けてください。
●太陽光を直接長時間撮像しないでください。焼き付け現象が残ることがあります。
●太陽光、ヘッドライトなど強い光が当たると上下に白帯が出ることがあります。
●フロントアイカメラの表面に飛び石などで傷がつくことがあります。
●フロントアイカメラは、受像素子に固体撮像素子（CCD素子）を使用したカメラの場合、カメラに強い光が入ると、光源を中心に縦に白い光の線が出ますが、故障ではありません。
●長時間使用した場合、温度上昇により白キズや縦線が出ますが、CCDの特性によるものです。
●50Hz電源地域の蛍光灯下では、画面のちらつき（フリッカー現象）が起こりますが故障ではありません。
●湿度の高いとき（雨の日など）は、カメラが曇り、映像が見づらくなることがあります。
●夜間または暗所ではフロントアイカメラの映像が見えない、または見にくいことがあります。
●カメラの映像は、広角レンズを使用しているため、実際の距離と感覚が異なります。

フロントアイカメラ映像の切り替え

低速走行時に手動、または自動で表示することができます。自動表示モードでは減速度や状況に応じて最適な速度でフロントアイカメラ映像を表示します。

フロントアイカメラ映像の表示、解除の条件は下記の通りです。

表示モード	表示/解除条件
自動表示モード	15km/h以上から13km/h以下になったとき映像を表示。 10km/h未満から10km/h以上になったとき映像を解除。
手動表示モード	現在地 を長押しすると映像を表示。再度押すと映像を解除 （15km/h以上で強制解除）。

ワンポイント

バックアイカメラ映像の表示中は、フロントアイカメラ映像を表示することができません。

4. フロントアイカメラの操作

■手動で表示する

1 現在地 を長押しします。

● 押すたびに、ナビゲーションとフロントアイカメラの画面が切り替わります。

ワンポイント

高速走行時は安全のためフロントアイカメラ映像を表示できません。低速走行時にのみ表示することができます。

■自動で表示する

高速走行から低速走行に減速した時に自動で表示することができます。

見通しの悪い交差点や、駐車場の出入り口など、低速になると自動でカメラ映像を表示するので便利です。

1 設定・編集画面（運転支援）（77ページ参照）で、**カメラ設定** にタッチします。

2 フロントカメラ自動表示の **する** 、または **しない** にタッチします。



3 **完了** にタッチします。

ワンポイント

●高速走行時は安全のためフロントアイカメラ映像を表示できません。低速走行時にのみ表示することができます。

●フロントカメラー時停止データ連動を **する** （314 ページ参照）に設定すると、収録された地点で低速走行した場合のみ自動でカメラ映像に切り替わります。

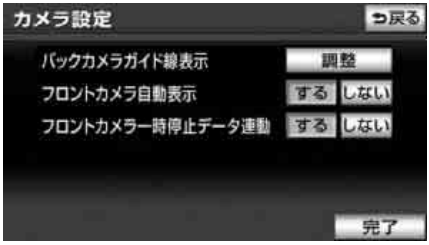
■フロントカメラー時停止データ連動を設定する

地図SDカードに収録されている一時停止場所の地点情報をもとに、フロントアイカメラの映像を自動で表示させることができます。

1 設定・編集画面（運転支援）（77ページ参照）で、**カメラ設定** にタッチします。

2 フロントカメラー時停止データ連動の **する** にタッチします。

● 設定を解除するときは、 **しない** にタッチします。



3 **完了** にタッチします。

1. 補正が必要なとき

次のようなときは補正を行うことが必要です。

● タイヤを交換したとき* 自動補正を行ってください。（距離の補正）

また、次のようなときも補正を行うことができます。

● 実際の現在地と異なる場所に自車マークが表示されている（自車マークがずれている）とき

…自車マークの位置と向いている方向を修正することができます。（現在地の修正）

● 走行中、ナビゲーションの自車マークの進み方と、実際の車の進み方が違っているとき

…自車マークの進み方を修正することができます。（距離の補正）

ただし、地図の自車マークがずれても、しばらく走行すると、マップマッチングやGPS情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。（場合によっては、数分程度かかることがあります。）

GPS情報が利用されず、現在地が自動的に修正されないときは、安全な場所にいったん停車して、現在地の修正を行ってください。

現在地の修正

チェック

800mスケール図以下の詳細な地図で補正することができます。

1 設定・編集画面（ナビ）（77 ページ参照）で、**ナビ詳細設定** にタッチします。

2 **その他** にタッチします。



3 ナビ補正の **補正する** にタッチします。



4 **現在地修正** にタッチします。



次ページに続く

1. 補正が必要なとき

5 ⟰ にタッチして、実際の現在地に地図を動かします。



6 **セット** にタッチします。

7 方向を設定します。

● 方向を反時計まわりに動かすときは ⟲ 、時計まわりに動かすときは ⟳ にタッチします。



8 **セット** にタッチします。

距離の補正

1 設定・編集画面（ナビ）（77 ページ参照）で、**ナビ詳細設定** にタッチします。

2 **その他** にタッチします。



3 ナビ補正の **補正する** にタッチします。



4 **距離補正** にタッチします。

● 自動補正、または手動補正を行います。



■自動補正するとき

1 **自動補正** にタッチします。

- 自動補正中は距離補正を操作することはできません。
- GPS 情報を利用しながら、しばらく走行すると、自動的に補正が終了し、作動表示灯がもとにもどります。



ワンポイント

- 本機は、GPSと車速信号により、自動で距離の補正（自動補正）をしていますが、自動補正を上回る急激な変化（タイヤを新品に交換したり、本機を別のお車に取り付けたときなど）には、距離の補正が遅れることがあります。
  この場合は、GPS電波の受信状態が良好な道路を約30km走行してください。
- 補正できないときは、販売店で点検を受けてください。
- 自動補正中は自車位置がずれることがあります。
- 初期設定は、自動補正モードになっており、走行することにより自動で補正されます。
- 自動補正が終了しても距離補正の学習機能を持っているため、自車マークの進み方が走行状態により、変化することがあります。

■手動補正するとき

1 自車マークの進み方が実際の車の進み方より遅く進むときは ▶（進める）、早く進むときは ◀（遅らせる）にタッチします。



2 **完了** にタッチします。

ワンポイント

補正できないときは、販売店で点検を受けてください。

2. ナビゲーションの設定を記憶したいとき

各種設定の設定状態を3パターンまで記憶させておくことができます。

バッテリーの交換や地図データの更新などをして各種設定が初期状態に戻った場合でも、記憶されている中から、ご希望の各種ナビ設定を呼び出すことにより、その設定状態でナビゲーションを使用することができます。

記憶することのできる設定項目

項目	ページ
地図向きの設定	103
地図表示モードの設定	105、112
地図表示縮尺の設定	97
2画面時の右画面の設定	105
音量設定	90
設定・編集画面（ナビ）のナビ詳細設定項目の設定※	79
メンテナンス自動通知の設定	261
VICS地図表示の設定	225
VICS道路表示内容の設定	228
ETCの設定	304

※ 車両情報設定は、記憶することができません。

ナビゲーション設定の記憶

1 記憶したい状態に設定します。

2 設定・編集画面（ナビ）（77 ページ参照）で、**ナビ詳細設定** にタッチします。

3 **その他** にタッチします。

4 ユーザカスタマイズの **設定する** にタッチします。

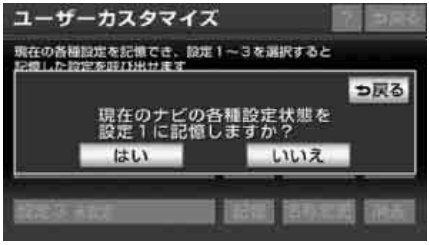


5 設定1～3の右側にある **記憶** にタッチします。



6 **はい** にタッチします。

● すでに記憶されている設定にタッチしたときは、**はい** にタッチすると上書きします。



7 新規で記憶するときは、次に表示された画面で、名称を入力します。

● 入力方法は、**「メモリ地点の名称を入力する」**（243ページ）を参照してください。



8 **完了** にタッチします。

記憶の呼び出し

1 設定・編集画面（ナビ）（77 ページ参照）で、**ナビ詳細設定** にタッチします。

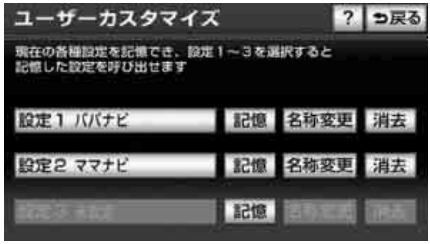
2 **その他** にタッチします。

3 ユーザカスタマイズの **設定する** にタッチします。



4 設定１～３のいずれかにタッチします。

● タッチしたタッチスイッチに記憶されている各種ナビ設定の状態に設定を変更します。



名称の変更

1 設定・編集画面（ナビ）（77 ページ参照）で、**ナビ詳細設定** にタッチします。

2 **その他** にタッチします。

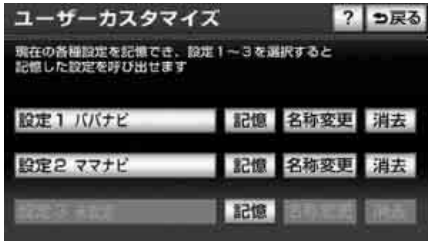
3 ユーザカスタマイズの **設定する** にタッチします。



次ページに続く

2. ナビゲーションの設定を記憶したいとき

4 設定1～3の右側にある **名称変更** にタッチします。



5 修正、入力します。

- 修正、入力方法は、**「メモリ地点の名称を入力する」**（243ページ）を参照してください。



6 **完了** にタッチします。

ナビゲーション設定の記憶の消去

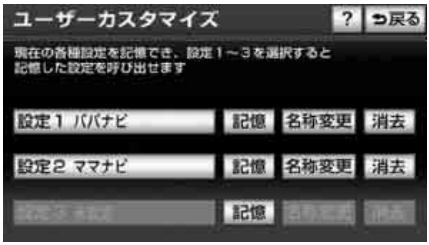
1 設定・編集画面（ナビ）（77 ページ参照）で、**ナビ詳細設定** にタッチします。

2 **その他** にタッチします。

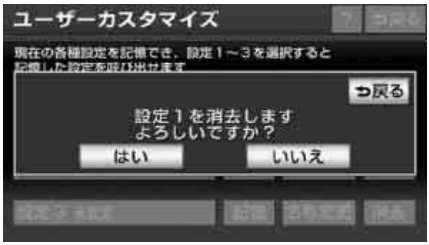
3 ユーザカスタマイズの **設定する** にタッチします。



4 設定1～3の右側にある **消去** にタッチします。



5 **はい** にタッチします。



3. 地図データを更新する

差分更新（マップオンデマンド）と全更新について

地図データの更新には、「差分更新（マップオンデマンド）」と「全更新」があります。

■ 差分更新（マップオンデマンド）について

差分更新はインターネットと地図SDカードを使用して、部分的に地図データを更新する方法です。本機を購入後3年間は、インターネットにかかる実費を除いて更新にかかる費用は無料です。4年目以降は、最新版地図ソフトを購入して全更新をすることで、さらに2年間サービスを利用することができます。

■ 全更新について

全更新は、最新版地図ソフトを使用して、全国の地図データを更新する方法です。最新版地図ソフトは、販売店で購入することができます。全更新については、お買い上げの販売店にご相談ください。

■差分更新の対象について

差分更新（マップオンデマンド）では、全都道府県の差分地図データを更新します。（全国の高速道路、有料道路施設、著名な施設（3Dランドマーク相当）も同時に更新されます。）

※ 市街図、音声案内データについては、更新対象外です。

■更新方法と費用について

■ 更新方法について

マップオンデマンドダウンロードサイト（https://g-book.com/mapondemand/Top.aspx）より、地図データをダウンロードし、地図ＳＤカードに書き込みます。
1回の更新で、全都道府県の地図データを更新することができます。

※ 差分更新をするには、専用のアプリケーションソフトをパソコンにインストールする必要があります。

■ 費用とサービス期間について

本機を購入後、3年間サービスを利用することができます。4年目以降は、最新版地図ソフトを購入して全更新をすることで、さらに2年間サービスを利用することができます。

■ 差分更新の手順について

地図データの差分更新は、以下の手順で行ってください。

①地図SDカードを本機から取り出す。（38 ページ参照）

②パソコンに専用アプリケーションソフト（製品同梱）をインストールする。（323 ページ参照）

③マップオンデマンドダウンロードサイト（https://g-book.com/mapondemand/Top.aspx）から地図データをパソコンにダウンロードする。

④インストールした専用アプリケーションソフトを使って、地図データを地図SDカードに書き込む。

⑤地図SDカードを本機へ差し込む。（38 ページ参照）

次ページに続く

3. 地図データを更新する

ワンポイント

- マップオンデマンドは、G-BOOK でおなじみの、カーナビゲーション用地図更新サービスです。
- G-BOOK はトヨタ自動車株式会社が開発し、トヨタメディアサービス株式会社が運営するテレマティクスサービスです。
- 全国の高速道路、有料道路、主要国道、道路、施設情報が更新対象となります。
- 施設情報のうち、更新対象となるのは、立体ランドマーク相当の著名な施設に限られます。（コンビニやガソリンスタンドなどの一般施設は対象となりません）
- 差分更新（マップオンデマンド）をご利用いただくためには、パソコンでインターネットに接続が可能な環境が必要です。上記環境にないお客様につきましては、有償で差分更新データの書換サービスを承ります。

■ 地図更新終了日の日付の確認

差分更新（マップオンデマンド）は、本機を購入後３年間（更新版地図ソフトをご購入いただいた場合はさらに２年間）ご利用いただけます。また、有償書換サービスの受付も上記期間に準じます。サービスのお申し込みには「地図更新終了日の日付」の情報が必要になりますので、本機にて「地図更新終了日の日付」をあらかじめご確認ください。（323 ページ参照）

■ 有償書換サービスのお問い合わせ

有償書換サービスに関しましては、弊社お客様相談窓口までお問い合わせください。

富士通テン株式会社
「お客様相談窓口」

携帯・PHS OK

フリーダイヤル　0120-022210
携帯電話・PHSからもご利用になれます。

受付時間　午前10:00～12:00、午後1:00～5:00（土・日・祝日などを除く）

4. 地図データの更新

地図データの情報表示

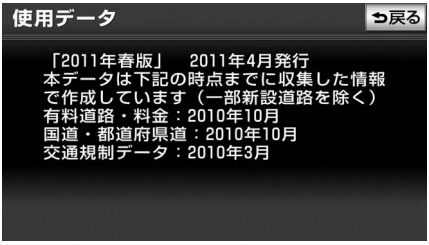
本機に収納されている地図データなどの情報を見ることができます。

下の画面は表示例であり、地図データの作成時期・種類によって表示内容が異なります。

1 設定・編集画面（ナビ）（77 ページ参照）で、**地図更新** にタッチします。

2 **使用データ** にタッチします。





専用のアプリケーションソフトについて

専用のアプリケーションソフト（製品同梱）をパソコンにインストールすることで、地図データの差分更新のほかに、地図リカバリー（出荷状態に戻すこと）や、本機のプログラムおよび使用中の専用アプリケーションソフトのバージョンアップ※などができます。

※ サーバーからダウンロードします。

■ 専用のアプリケーションソフトの動作環境

■ 動作環境

- OS･･･Microsoft Windows XP (Home/Professional) ／ Microsoft Windows Vista (32bit/64bit) ／ Microsoft Windows 7 (32bit/64bit)
- メモリ･･･256MB以上（OSが規定している容量以上）
- HDD･･･1ユーザーあたり約18GB以上の空き容量（最大10ユーザーまで登録可能）

■ 必要なもの

- SDHC メモリーカードリーダー／ライター
- 地図SDカード（製品同梱）
- DVD-ROMドライブ
- インターネット接続可能な環境
- GAZOOのIDとパスワード※

※ GAZOO ホームページから取得してください。（無料）

■ 専用のアプリケーションソフトをインストールする

チェック

●インストールを行うには、「コンピュータの管理者」など、管理者権限を持つユーザーとしてログオンしてください。

次ページに続く

4. 地図データの更新

●インストールを実行する前に、すべてのWindowsプログラムを終了してください。

●掲載している Windows の画面は、Windows XPの画面を使用しています。操作説明に使用している画面は実際の画面と異なることがあります。また、お客様が使用されているOSやアプリケーションソフトのバージョンによっても画面が異なることがあります。

※ Microsoft、Windows、Windows Mediaは、米国マイクロソフトコーポレーションの米国およびその他の国における登録商標および商標です。

●専用のアプリケーションソフトをインストールするにはGAZOOの IDとパスワードが必要です。GAZOOホームページから登録して、IDとパスワードを取得してください。（無料）

1 専用のアプリケーションソフトのディスクを差し込みます。

● ディスクを差し込んでも自動的にインストールが開始されない場合は、専用のアプリケーションソフトのディスクが差し込まれている DVD ドライブを選択し、「setup.exe」を実行します。

● 既に最新バージョンの専用のアプリケーションソフトがインストールされているときは、ダイアログが表示されます。「OK」をクリックするとインストールを終了します。

2 「次へ」をクリックします。

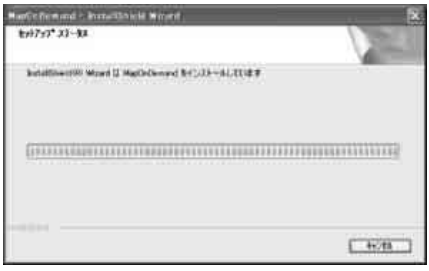


3 利用規約の内容を確認したあと、「使用許諾契約の全条項に同意します」にチェックし、「次へ」をクリックします。



4 インストール先を選択し、「次へ」をクリックします。





5 ショートカット作成場所をチェックして、「次へ」をクリックします。



6 「完了」をクリックします。



7 「OK」をクリックします。



8 「OK」をクリックします。



ワンポイント

最新版地図ソフトをご購入されたお客様は、同梱の専用のアプリケーションソフトのディスクを使って再度インストールを行ってください。

■専用のアプリケーションソフトについて

専用のアプリケーションソフトの使い方については、画面のヘルプを参照してください。

ワンポイント

Windows Vistaをご使用のお客様は、管理者権限を持つユーザーとしてログオンし、専用のアプリケーションソフトを使用してください。

5. 精度と誤差

測位精度について

GPS衛星は米国国防総省によって管理されている非常に精度の高いものですが、建物などの反射によるマルチパスがあると誤差が生じることがあります。

GPS衛星の電波の性質と受信状態について

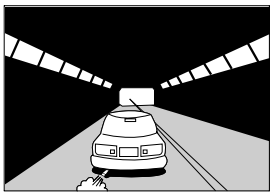
GPSアンテナとGPS衛星の間に障害物があると、衛星からの電波を受信できなくなります。また、測位するには3個以上の電波を同時に受信する必要がありますので、下記のような場所ではGPSによる測位ができなくなることがあります。

さらに、GPSアンテナの上または周囲に障害物（積載物など）がある場合も、衛星からの電波を受信できなくなることがあります。

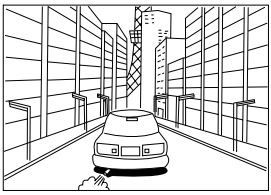
チェック

- GPS衛星は地球を周回していますので、同じ場所でもその時の位置によって電波の受信状態が変化します。また、水平線に近い衛星の電波は障害物の影響を受けやすくなります。
- GPS衛星は米国国防総省によって管理されており、故意に測位精度を落とすことがあります。

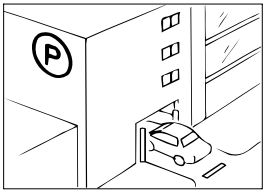
トンネルの中

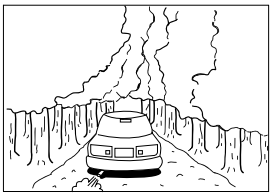


高層ビルなどの障害物で周囲を囲まれたところ

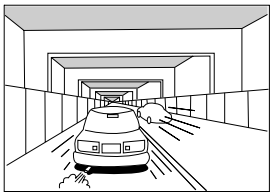


建物の中や地下、屋内駐車場

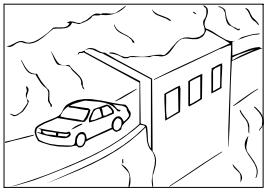




樹木などが密集しているところ



高架道路の下



崖下の道、洞門

現在地表示の誤差について

本機は現在地を測位するために、GPS衛星電波、車速センサーおよび振動ジャイロセンサーからの情報を使用していますが、それぞれには誤差が含まれているため、表示している現在地が実際の位置と一致しないことがあります。

チェック

実際の位置と一致しない場合は、表示している現在地を修正することができます。安全な場所に停車してから行ってください。

タイヤによる誤差について

本機では自車の移動した距離をスピードセンサーで測定（タイヤの回転数に比例）しているので、次の場合には誤差が大きくなって現在地を正しく測定できなくなることがあります。

- 規格外のタイヤを使用したとき。
- 雪道や砂利道などのスリップしやすい道を走行しているとき。
- タイヤの空気圧が適正圧でないとき。
- 新品のタイヤを装着したとき。(距離補正係数の設定を変えて調整できます。)

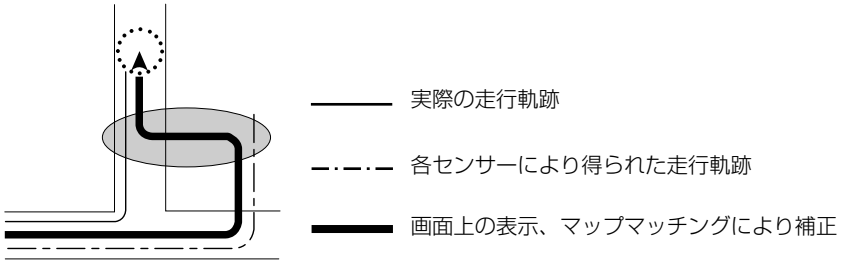
マップマッチングによる自車位置検出の補正について

マップマッチングとは、GPSなどで得られた現在地の情報と今までに走行してきた道路を比較して、最も適切な道路上に現在地を補正させるシステムです。

本機では、自立航法と衛星航法を組み合わせて得られた現在地の情報を、道路形状に合わせて補正させています。

しかし、現在地の誤差はどうしても避けられない為、マップマッチングで補正しても現在地が実際の位置からずれる場合があります。

また、地図データと実際の道路形状が異なる道路を走行すると自車マークがずれる場合があります。



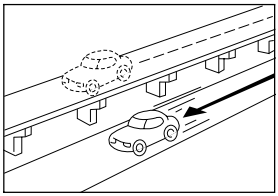
ワンポイント

本機の電源を入れた直後は、動作が安定していないため、お車を動かすと、自車マークが実際と異なる動きをする場合があります。しばらく走行すると、動作が安定するため、通常の動きに戻ります。

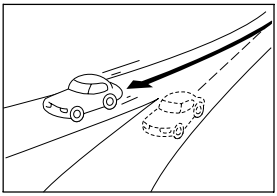
5. 精度と誤差

現在地表示、ルート案内の精度について

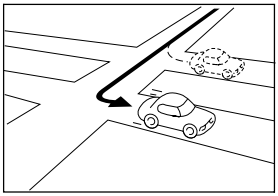
次にあげるように、本機の故障ではありませんが、道路条件や走行状態によっては、正確な現在地表示やルート案内が行われない場合があります。



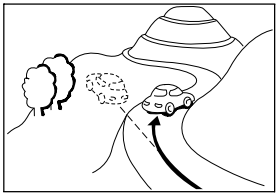
並走している道路に現在地が表示される。



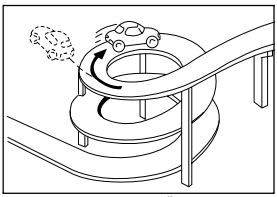
角度の小さなＹ字路を曲がったとき、他方の道路に現在地が表示される。



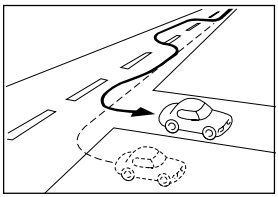
右左折のとき、手前または先の道路に現在地が表示される。



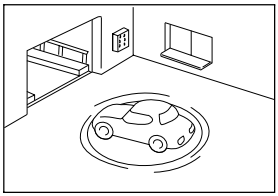
急勾配の道路を走行したとき、現在地がずれて表示される。



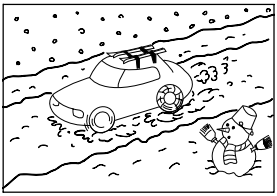
同一方向のカーブが連続する道路を走行したとき、現在地がずれて表示される。



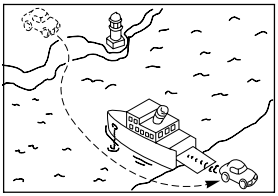
車線変更など蛇行運転をしたとき、現在地がずれて表示される。



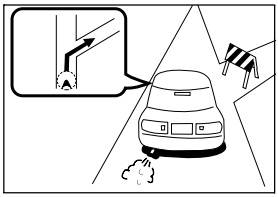
駐車場のターンテーブルなどで、ACC OFFの状態で旋回したとき、現在方位がずれて表示される。



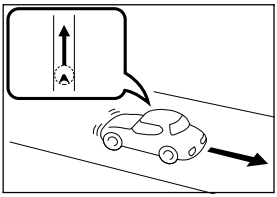
雪道などの滑りやすい路面を走行しているときや、タイヤチェーンなどを装着して走行しているとき、現在地がずれて表示される。



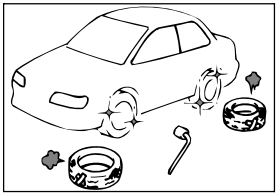
フェリーなど、自車走行以外で移動したとき、GPSによる測位ができるまで移動前の場所に現在地が表示される。



実際には通行できない道路(進入禁止など)を案内する。



後退時に現在地がずれて表示される。

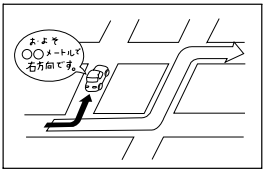


タイヤを交換した場合、自車マークがずれて表示される。

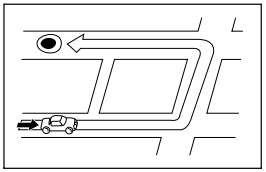
道路、地名データについて

道路や地名は、地図データ作成後に変更される場合がありますので、実態と合わない場合があります。

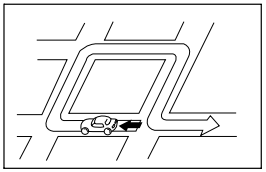
ルート案内について



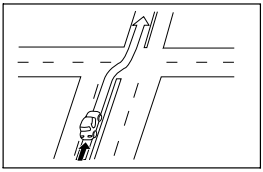
案内ルートをはずれて手前の交差点などで曲がったときなど音声案内が誤ってでる場合があります。



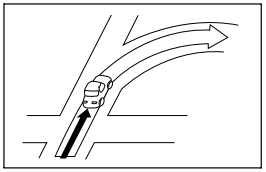
ルート探索時に、ルートが遠回りになる場合があります。



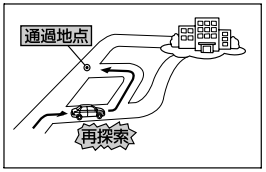
Uターンするルートを案内する場合があります。



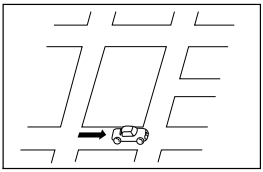
直線道路を走行中に、直進の案内が出る場合があります。(交差点の形状がわかりにくい場合など)



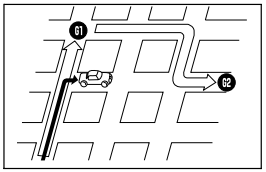
交差点で曲がるのに案内のでない場合があります。



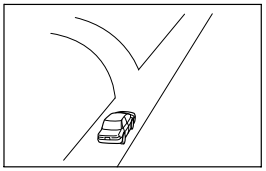
通過地点を通らずに目的地に向かうとき、再探索すると通過地点へもどるルートが出る場合があります。



ルート探索時のルート表示が、次の右左折までに間に合わない場合があります。

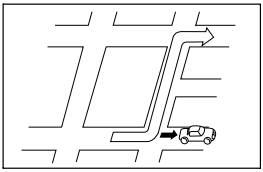


複数目的地の場合、次の目的地を通らずに、再探索するともどるルートになります。

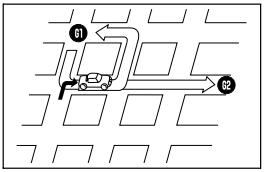


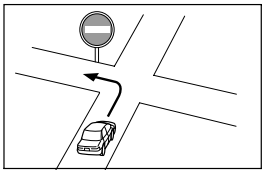
方面の案内で、いくつもの地名を表示する場合があります。

ルート探索完了



再探索





実際の交通規則にしたがって運転してください。

次ページに続く

5. 精度と誤差

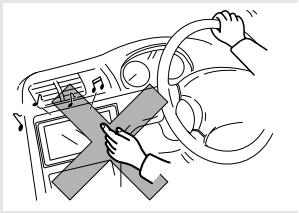
- 高速走行時の再探索時間が長い場合があります。
- 自車マークを手動で修正したときに、正しい位置に修正しない状態で走行すると、その後正しく位置を表示しません。
- 再探索しても、ルートが変わらない場合があります。
- 離島や周囲に案内可能な道路がないところが現在地・目的地・通過道路として設定されている場合に、ルートが探索されないことがあります。
- 現在地と目的地が近い場合にルートが表示されない場合があります。
- 有料優先を選択しても必ず有料道路を通るわけではありません。
  同様に優先しない条件でも有料道路を使うルートが表示されることがあります。
  （「有料道路を優先する、しない」とは、有料道路と一般道路のいずれの道を選ぶことも可能な場合、どちらを優先するかを設定するものです。）

オーディオ・ビジュアル

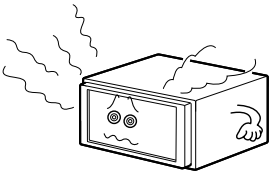
1. ご使用になる前に

⚠ 注 意

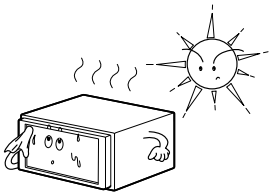
●走行中のオーディオ操作は安全運転に支障がないように十分注意して行ってください。また、車外の音が十分聞こえる音量でお楽しみください。
交通事故の原因となります。



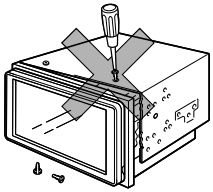
●故障したままの使用は絶対しないでください。
煙、変な音、変なにおいがした場合、すぐに電源をOFFにしてください。



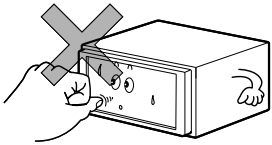
●車内温度には注意してください。
夏期は車内温度が高くなりますので、車内の温度を下げてからお使いください。
故障の原因となります。



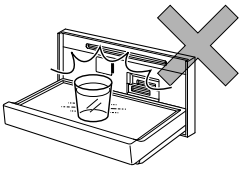
●分解、改造はししないでください。
本機内部は、精密な構造になっていますので、万一不具合が生じた場合にはお買い上げの販売店にご相談ください。



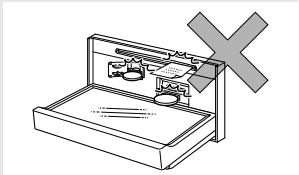
●モニターに強い力を加えたりしないでください。
故障の原因となります。



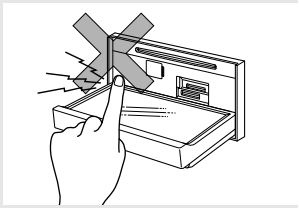
●モニターの上にコップや缶など異物を置かないでください。
また、モニターを倒したままにしないでください。
故障の原因となります。



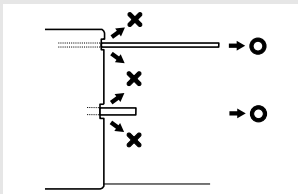
●差し込み口にはディスク、SDメモリーカードおよびmini B-CASカード以外のものを絶対に入れないでください。
故障の原因となります。



●モニター収納時指などを差し込まないよう注意してください。
ケガをしたり、故障の原因となります。



●本機からディスク、またはSDメモリーカードを取り出すときは水平方向に引き出してください。
上側に強く引き出さないでください。また、下側にも強く押しながら引き出さないでください。
ディスクに傷がつき、音とびをしたり、SDメモリーカードを破損するおそれがあります。



SDメモリーカードについて

本機では、地図SDカード（同梱）と、音楽用SDメモリーカード、デジタルフォトフレーム用SDメモリーカードを使用することができます。

チェック

地図SDカードを差し込むときは、ロックせずに差し込んでください。

■ 使用できる音楽用SDメモリーカードについて

- 4GB～32GB までの容量のSDメモリーカードに対応しています。
- 下記のマークの付いたSDメモリーカードが使用できます。

SD Logo is a trademark of SD-3C, LLC.
miniSD Logo is a trademark of SD-3C, LLC.
microSD Logo is a trademark of SD-3C, LLC.

- 録音する音楽用SD メモリーカードは、Panasonic／東芝／Sandisk製のclass4～10のSD メモリーカードのご使用を推奨します。ご使用になるSD メモリーカードによっては、再生時の音飛びなどが発生する場合があり、その場合、弊社は保証することができません。

次ページに続く

1. ご使用になる前に

- FATファイルシステムのみ対応しています。NTFSファイルシステムには対応していません。
- マルチメディアカード（MMC）は使用できません。
- “miniSDHCカード”や“microSDHCカード”を使用する場合は、専用のアダプターをご使用ください。
- 他の機器で使用したSDメモリーカード、miniSDカード、microSDカードを使用する場合は、次のソフトでフォーマット（初期化）してください。
  フォーマット（初期化）すると、SDメモリーカード、miniSDカード、microSDカード内に記録されたデータは消去されます。
  次のソフトでフォーマットしていないSDメモリーカード、miniSDカード、microSDカードで、SD規格に準拠していない場合、本機で使用できないことがあります。
  - Panasonic SD-Jukebox V5 以降
  - Panasonic SD メモリーカードフォーマットソフトウェアV2.0

■ 使用できるデジタルフォトフレーム用SDメモリーカードについて

- 次の容量のSDメモリーカードに対応しています。
  - SD：2GBまで
  - SDHC：4GB～32GBまで
- 下記のマークの付いたSDメモリーカードが使用できます。

SD Logo is a trademark of SD-3C, LLC.
miniSD Logo is a trademark of SD-3C, LLC.
microSD Logo is a trademark of SD-3C, LLC.

- デジタルフォトフレームに使用する SD メモリーカードは Panasonic ／東芝／Sandisk製のSDメモリーカード（全class対応）のご使用を推奨します。
- FATファイルシステムのみ対応しています。NTFSファイルシステムには対応していません。
- SDスピードクラスによっては、画像の表示時間が異なります。
- 他の機器で使用したSDメモリーカード、miniSDカード、microSDカードを使用する場合は、次のソフトでフォーマット（初期化）してください。
  フォーマット（初期化）すると、SDメモリーカード、miniSDカード、microSDカード内に記録されたデータは消去されます。
  次のソフトでフォーマットしていないSDメモリーカード、miniSDカード、microSDカードで、SD規格に準拠していない場合、本機で使用できないことがあります。
  - Panasonic SD-Jukebox V5 以降
  - Panasonic SD メモリーカードフォーマットソフトウェアV2.0
- マルチメディアカード（MMC）は使用できません。
- “miniSDHCカード”や“microSDHCカード”を使用する場合は、専用のアダプターをご使用ください。

■ SDメモリーカードの取り扱いについて

● 定期的にカートリッジの表面についたホコリやゴミなどを乾いた布で拭き取ってください。



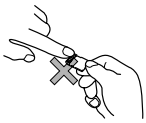
● ラベルがはがれていたり、ネームテープ（ラベル）が貼ってあるSDメモリーカードは使用しないでください。



● 直射日光や湿気の多いところをさけて保管してください。SDメモリーカードが使用できなくなることがあります。



● 持ち運びや保管の際は、付属の収納ケースに入れてください。
● 端子部には、手や金属が触れないようにしてください。



● 静電気や電気的ノイズを受ける恐れのある場所に、SDメモリーカードを放置しないでください。データが破壊される恐れがあります。
● 音楽用SDメモリーカードの再生中は、音楽用SDメモリーカードを抜かないでください。データが破損する恐れがあります。破損した場合、補償できませんのでご容赦ください。

1. ご使用になる前に

ディスクについて

重要

本機は8cm CDおよび8cm DVDを再生することができます。故障の原因となるため、アダプター等は使用せず、そのまま差し込んでください。

ワンポイント

- 寒いときや雨降りのときは、車内のガラスが曇るように、本機内部にも露（水滴）が生ずることがあります。（結露現象）この場合、音がとんだり、再生が停止したりしますので、しばらくの間、換気または除湿してからご使用ください。
- プレーヤー内部を保護するため、異常が生じたときは自動的にプレーヤーの機能が止まります。画面に出たメッセージにしたがって操作しても動かないときは、故障の恐れがありますのでお買い上げの販売店にご相談ください。
- 悪路走行などで激しく振動した場合、音とびをすることがあります。

■ 使用できるディスクについて

- 音楽用CD・映像用DVDは下記のマークのついたディスクが使用できます。また、DVDビデオフォーマットに準じて記録されたDVD∂R/RW/R DLディスクや、DVDビデオレコーディング（VR）フォーマットに準じて記録されたCPRM対応のDVD-R/RW/R DLディスクも再生することができます。



- "DVD Logo" is a trademark of DVD Format / Logo Licensing Corporation.
- DualDisc には対応していません。機器の故障の原因、およびディスクの出し入れの際にディスクに傷がつく原因になることがあるため、使用しないでください。
- Dolby Digitalに対応しており下記のマークのついたディスクが使用できます。



Manufactured under license from Dolby Laboratories.
Dolby and the double-D symbol are trademarks of Dolby Laboratories.

- CD-R（CD-Recordable）、CD-RW（CD-ReWritable）は、記録状態やディスクの特性、キズ、汚れ、長時間の車室内環境における劣化により再生できない場合があります。また、ファイナライズ処理されていないCD-R/RWは再生できません。
- DVD±R/RW/R DL（DVD±Recordable/ReWritable/Recordable Dual Layer）は、記録状態やディスクの特性、キズ、汚れ、長時間の車室内環境における劣化により再生できないことがあります。また、ファイナライズ処理されていないDVD ± R/RW/R DL は再生することができません。パソコンで記録したディスクは、アプリケーションの設定や環境により再生できないことがあります。
- CD-TEXT機能は市販のCD-TEXT対応CDのみ対応しています。CD-RやCD-RWでは文字が正常に表示されない場合があります。
- 記録部分に透明または半透明部分があるCD、C-thru Discは、正常に出し入れや再生ができなくなるおそれがありますので使用しないでください。

● スーパーオーディオCD（SACD）はハイブリッドディスクのCD層のみ再生できます。



● CCCD（Copy Control CD）は正式なCD規格に準拠していないため再生できない場合があります。



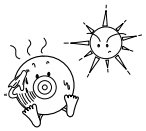
● CD-EXTRAは音楽CDとして再生することができます。

● Mixed Mode CDのデータトラックの音声は再生されません。音楽トラックのみの再生となります。また、DTSトラックが混在したCDは正常に再生されません。

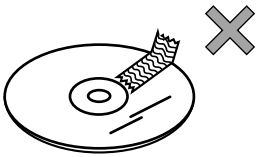
● Video-CDは再生できません。

■ ディスクの取扱いについて

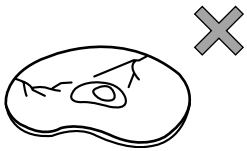
● ディスクは直射日光をさけ、必ずケースにいれて保管してください。ディスクがそり、使用できなくなるおそれがあります。



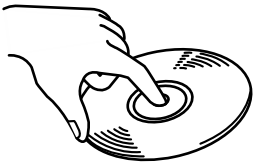
● 記録面はもちろん、レーベル面にも紙テープを貼らないでください。故障の原因となります。



● ひびがはいったディスクやそりが大きいディスクは、使用しないでください。故障の原因となります。



● 記録面に触れないように持ってください。（虹色に光っている面）ディスクが汚れ、音とびをすることがあります。



● 汚れたディスクを使用するとディスクに傷がつき、音とびをするおそれがあります。ディスクが汚れたときは、市販のディスク・クリーナでディスクの内側中心から外側方向へ軽く拭きとってください。

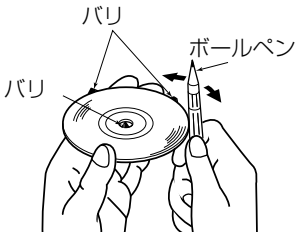


次ページに続く

1. ご使用になる前に

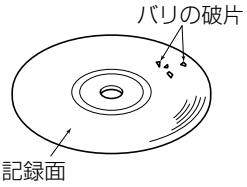
■ 新しいディスクについて

● 新しいディスクをご使用になると、ディスクのセンターホールや外周部に“バリ”があることがあります。“バリ”がついているときは、ボールペンなどで取り除いてからご使用ください。“バリ”がついているディスクを使用すると、ディスクを正しく認識できないなど、正常に動作しない場合があります。



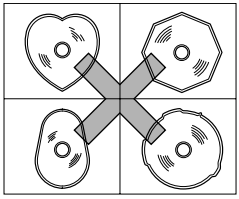
■ レンタルディスクについて

● ディスクにセロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの糊がはみ出したり、剥がした痕があるものはお使いにならないでください。そのままプレーヤーにかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。



■ 特殊形状のディスクについて

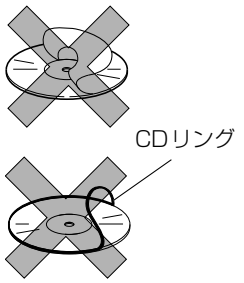
● ハート型や八角形など特殊形状のディスクは、演奏できません。機器の故障の原因となりますので、ご使用にならないでください。



■ ディスクのアクセサリーについて

● 音質向上やディスク保護用として市販されているアクセサリー（スタビライザー、保護シールなど）、CDラベルなどは使用しないでください。ディスクの厚さや外形寸法が変わるため、故障の原因となる場合があります。

● 音質向上や防振効果を高めるCDの保護用として市販されているアクセサリー（CDリング・プロテクター）は使用しないでください。内部ではずれて再生できなかったり取り出せなくなるため、故障の原因となる場合があります。

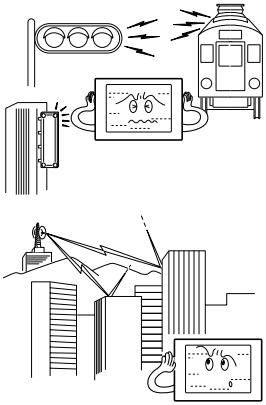


地上デジタルTV放送について

ワンポイント

車載器での地上デジタルTV放送の受信は受信場所によって、電波の強さがかわったり、障害物などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合もあります。この関係の主な例を以下に説明します。

- ●電車の架線、高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くで受信すると、画像が静止したり音声がとぎれる場合があります。
- ●電波の特性上、建物や山などが障害物となって受信状態が悪くなることがあります。
- ●ラジオ放送やアマチュア無線の送信用アンテナの近くで受信すると、画像が静止したり音声がとぎれる場合があります。
- ●トンネル内にはいると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
- ●放送局から遠ざかると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
- ●一部の地域において、アナログTV放送、ラジオ放送などの送信アンテナ塔付近では、受信している周波数以外の電波の影響により、画像が静止したり音声がとぎれる場合があります。



1. ソースの切り替え方

ソースを切り替える

チェック

ハンズフリー通話中は、ソースを切り替えることができません。

1 A V を押します。

- 現在、選択されているソースの操作画面が表示されます。
- ➡、または ⬅ にタッチして、切り替えたいソースのタッチスイッチを表示させます。



2 切り替えたいソースのタッチスイッチにタッチします。

- 操作画面（341ページ）が表示されます。

ワンポイント

別売のシステムアップ製品やアクセサリーの取り付けについては、販売店にご相談ください。

2. 各ソースの操作画面

各ソースの操作画面は、次のように表示されます。

● AM操作画面



● FM操作画面



● CDプレーヤー操作画面



● MP3/WMAプレーヤー操作画面



● DVDプレーヤー操作画面



● SDメモリーカード操作画面



● TV操作画面



● Bluetoothオーディオ操作画面



2. 各ソースの操作画面

● AUX操作画面（別売）



● USBメモリ操作画面



● iPod操作画面（別売）



● VTR操作画面（別売）



オーディオ情報の表示

地図画面を表示したまま、聞いている曲名やアーティスト名、受信している放送局名などの情報を表示することができます。

チェック

ナビゲーション画面を表示しているときに操作します。

1 ♪Info にタッチします。



3. 音の調整

主音量の調整

1 音量調整スイッチを押します。

- ＋：音量UP（大きくなる）
  －：音量DOWN（小さくなる）



音量調整スイッチ

ワンポイント

- 安全運転に支障のないように適度な音量でお聞きください。
- 調整レベルは0～80です。
- ソースを切り替えたとき、音量に違いが生じることがあります。音量は、お使いになるソースに合わせて調整してください。
- ソースを DVD プレーヤーや AUX、VTR、Bluetooth オーディオに切り替えたときに音量を調整すると、各ソースの音量レベルとして記憶させることができます。調整した音量レベルは、他のソースでは反映されません。

4. 音質の調整

音場の設定やイコライザ、音量バランスなどを調整することにより、最適な音響空間を創り出すことができます。

SOUND画面の表示

音質の調整は各オーディオの操作画面から行います。

タッチスイッチ・項目		機　能	ページ
EQ		あらかじめ設定されているイコライザカーブを調整したり、お好みのイコライザカーブを作成することができます。	345
SFC		お聞きになる音楽のジャンルやソースに合わせて音場を調整することができます。	347
POSITION		乗車人数や乗車位置、お車のボデータイプ、ツィーターの有無に合わせて音像定位を切り替えることができます。また、前後、左右の音量バランスを調整することができます。	349
DETAILS	HARMONIZER	圧縮された音楽データをできるだけ原音に戻して再生する音質補正レベルを設定することができます。	351
	E-VOLUTION	様々な圧縮方式で録音された音楽データの曲ごとの音量レベルの差を少なくすることができます。	351
	LOUDNESS	小音量時の低・高音を強調することができます。	352
X-OVER		サブウーファ接続時の出力方式・位相の設定や、出力レベル・X-OVER（クロスオーバ）を調整することができます。	353

1 A V を押します。

2 各オーディオ操作画面（341 ページ参照）で、**音設定** にタッチします。

● SOUND画面が表示されます。



●SOUND画面

EQ（イコライザ）の調整

■イコライザカーブを選択する

あらかじめ設定されているイコライザカーブを選択し、お好みの音質に設定できます。

1 SOUND画面（344 ページ参照）で **EQ** にタッチします。

2 **EQ1** ～ **EQ5** 、**FLAT** のいずれかにタッチすると、表のような音質モードになります。



スイッチ	イコライザカーブ
EQ1	 高域を強調したパターン
EQ2	 低域高域を強調したパターン
EQ3	 低域を強調したパターン
EQ4	 低域高域を少し強調したパターン
EQ5	 ボーカル帯域を強調したパターン
FLAT	 EQ補正なし

3 **戻る** にタッチします。

4. 音質の調整

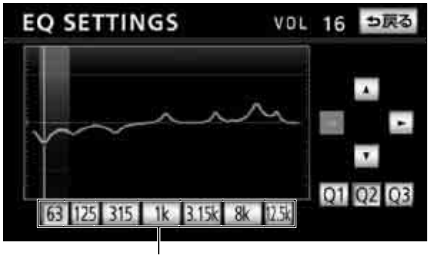
■イコライザカーブの調整、記憶

あらかじめ設定されているイコライザカーブを調整し、記憶させることができます。本機は、7バンドのパラメトリックイコライザで、中心周波数や周波数レベル、Qカーブ（帯域幅）を調整することができます。

1 SETTINGS にタッチします。



2 調整したいバンドの周波数にタッチします。

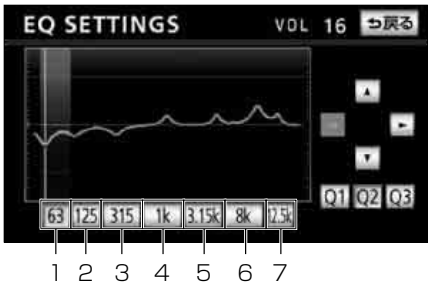


バンド

● グラフに直接タッチしても、中心周波数や周波数レベルを調整することはできません。手順 **2** ～ **5** の操作で調整してください。

3 ◀ 、または ▶ にタッチして、お好みの中心周波数に切り替えます。

● 各バンドの中心周波数は次のように切り替わります。



バンド	中心周波数（Hz）
1	63 ↔ 80 ↔ 100
2	125 ↔ 160 ↔ 200
3	250 ↔ 315 ↔ 400 ↔ 500
4	630 ↔ 800 ↔ 1k ↔ 1.25k
5	1.6k ↔ 2k ↔ 2.5k ↔ 3.15k
6	4k ↔ 5k ↔ 6.3k ↔ 8k
7	10k ↔ 12.5k ↔ 16k

4 ▲ 、または ▼ にタッチして、周波数レベルを調整します。

● タッチし続けると連続的に変化しますが、センター値で停止するので、再度 ▲ 、または ▼ にタッチしてください。

5 Q1 、Q2 、Q3 のいずれかにタッチして、Qカーブパターンを選択します。

● 各バンドごとに Q カーブパターンを選択することができます。

スイッチ	Qカーブパターン
Q1	緩い（帯域幅：広い）
Q2	中間（帯域幅：中間）
Q3	鋭い（帯域幅：狭い）

6 各バンドごとに 2 ～ 5 の操作を繰り返します。

7 戻る にタッチします。

8 記憶させたいスイッチ EQ1 ～ EQ5 のいずれかに“ピーッ”と音がするまでタッチします。

● イコライザの調整値が記憶されます。



9 戻る にタッチします。

ワンポイント

- 周波数レベルは-10～+10の21段階です。
- 隣りあうバンドの中心周波数の値が近い場合、周波数レベルが-10～ +10の範囲を超えた値になることがあります。
- 外部入力機器（iPod、ポータブルオーディオ機器、VTR 機器など）を接続する場合、外部入力機器のEQ設定レベルを高くしていると音が割れることがあります。この場合は、EQ設定レベルを低くしてください。

■イコライザの調整値の呼び出し

記憶したイコライザの調整値を呼び出します。

1 記憶したスイッチ EQ1 ～ EQ5 のいずれかにタッチします。

● イコライザの調整値が呼び出されます。

■EQカーブをリセットする

現在、記憶されているイコライザの調整値を初期値にもどすことができます。

1 FLAT を“ピーッ”と音がするまでタッチします。

● 記憶した EQ1 ～ EQ5 の調整値が初期値にリセットされます。

SFC（音場）の設定

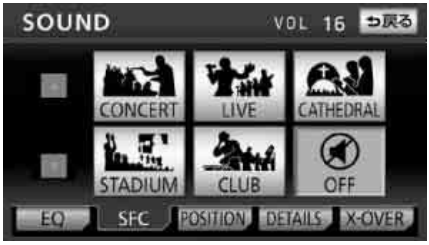
再生する音楽に残響音を加え、さまざまな環境の臨場感を擬似的に再現することができます。

チェック

SFC（音場）レベルを調整中に、別のSFC（音場）モードに切り替えた場合、設定しても調整レベルは記憶されません。

1 SOUND画面（344 ページ参照）で SFC にタッチします。

2 各タッチスイッチにタッチすると、表のような音場モードになります。



次ページに続く

4. 音質の調整

スイッチ	音場モードの種類
CONCERT	コンサートホール
LIVE	ライブハウス
CATHEDRAL	残響音の多い教会
STADIUM	野外スタジアム
CLUB	ディスコ、クラブ
OFF	SFC OFF

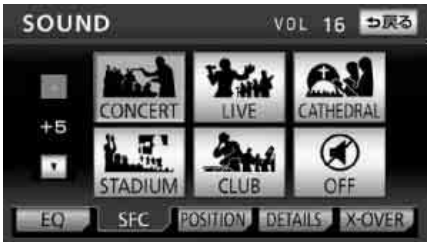
3 戻る にタッチします。

■SFC（音場）の調整、記憶

あらかじめ設定されている各SFC（音場）モードをお好みのレベルに調整、記憶することができます。

1 お好みの音場モードで、▲、または ▼ にタッチします。

2 調整した音場モードを“ピーッ”と音がするまでタッチします。



3 戻る にタッチします。

ワンポイント

調整レベルは-5～+5の11段階です。

■SFC（音場）レベルをリセットする

現在、記憶されているSFC（音場）レベルをメーカー調整値（初期値）にもどすことができます。

1 OFF を“ピーッ”と音がするまでタッチします。

● 音場レベルが初期値にリセットされます。

2 戻る にタッチします。

POSITION（ポジショニングセレクター）の調整

乗車人数や乗車位置、お車のボデータイプ、ツィーターの有無に合わせて音像定位を切り替えることができます。また、前後、左右の音量バランスを調整し、届きにくいスピーカーからの音を強調することができます。

チェック

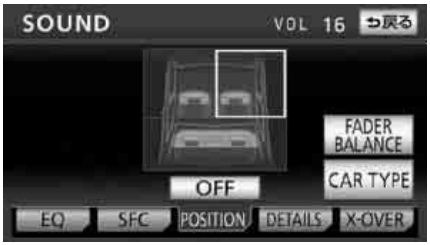
POSITION（ポジショニングセレクター）は、FADER BALANCE（音量バランス）と同時に設定できません。

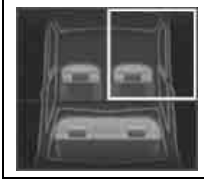
■ポジションを設定する

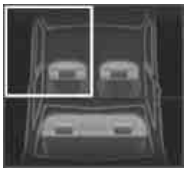
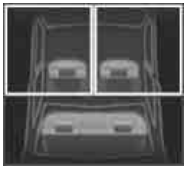
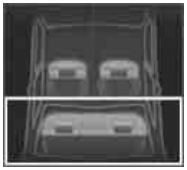
1 SOUND画面（344 ページ参照）で **POSITION** にタッチします。

2 ポジション（シート）にタッチします。

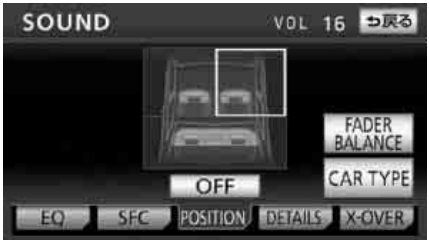
- 設定されたポジションに白色の枠が表示されます。再びタッチすると設定は解除されます。
- **OFF** にタッチすると、全ての設定は解除されます。



表示	ポジション（位置）
	右座席を中心にした音場

表示	ポジション（位置）
	左座席を中心にした音場
	前席を中心にした音場
	後席を中心にした音場

3 **CAR TYPE** にタッチします。



次ページに続く

4. 音質の調整

4 CAR BODY TYPE（車種）およびTWEETER（ツィーター）の有無を設定します。

● ツィーター有りの場合は YES 、無しの場合は NO に設定してください。



タッチスイッチ	モードの種類
COMPACT	コンパクト車
SEDAN	セダン
WAGON	ワゴン車
MINI VAN S	小さいミニバン
MINI VAN L	大きいミニバン
SUV	スポーツ・ユーティリティ・ビークル
SMALL	軽自動車
OTHER	その他

5 戻る にタッチします。

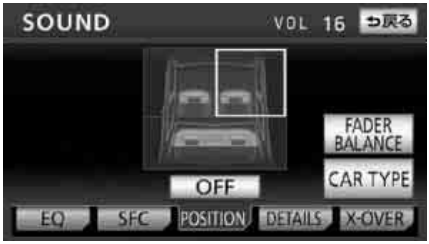
■FADER BALANCE（音量バランス）の調整

チェック

FADER　BALANCE（音量バランス）は、POSITION（ポジショニングセレクター）と同時に設定できません。

1 SOUND画面（344 ページ参照）で POSITION にタッチします。

2 FADER BALANCE にタッチします。



3 お好みのバランスポイントにタッチします。

● 微調整するときは、▲、▼、◀、または ▶ にタッチします。タッチし続けると連続的に変化しますが、センター値で停止するので、再度 ▲、▼、◀、または ▶ にタッチしてください。

● CENTER にタッチすると、音量バランスの設定がリセットされます。（設定値が0になります。）



4 戻る にタッチします。

ワンポイント

調整レベルはF（フロント）側、R（リヤ）側、L（左）側、R（右）側各15段階です。

音質補正の設定（ハーモナイザー）

圧縮時に失われた音の響きや奥行き感、音色などの倍音を自動生成する音質補強レベルを設定することで、クリアなサウンドを楽しむことができます。

チェック

ハーモナイザー機能は、MP3/WMA音楽データを再生しているときおよびソースがiPod、USBメモリ、SDメモリーカード、Bluetoothオーディオのときに効果があります。

1 SOUND画面（344 ページ参照）で DETAILS にタッチします。

2 HARMONIZERの LOW 、Hi 、または OFF にタッチします。

- LOW ：補正効果が小さい
  Hi ：補正効果が大きい
  OFF ：補正なし



3 戻る にタッチします。

E-VOLUTIONの設定

圧縮された音楽データは、録音の条件により音量レベルが異なることがあります。音楽データの音量レベルを自動的に調整することにより、曲ごとの音量レベルの差を少なくすることができます。

E-VOLUTION は、富士通テン株式会社の商標です。

チェック

E-VOLUTION機能は、MP3/WMA音楽データを再生しているとき、およびソースがiPod、USBメモリのときに効果があります。

1 SOUND画面（344 ページ参照）で DETAILS にタッチします。

2 E-VOLUTIONの ON にタッチします。

- OFF にタッチすると、E-VOLUTIONの設定は解除されます。



3 VOL LEVELの LOW 、Mid 、Hi のいずれかにタッチします。

- VOL LEVEL…
  補正する音量レベルを設定

LOW ＜ Mid ＜ Hi
音量レベル小 ⟷ 音量レベル大

次ページに続く

4. 音質の調整

4 PATTERNの 1 、 2 、 3 のいずれかにタッチします。

● PATTERN…
補正の変化パターンを設定

1 ＜ 2 ＜ 3

楽曲の音量変化にあわせて素早く補正※1 ⟷ 楽曲の音量変化にあわせて緩やかに補正※2

※1 音量変化が小さい曲向け
※2 音量変化が大きい曲向け

5 戻る にタッチします。

● E-VOLUTION設定中は再生している曲の補正レベルをインジケータで表示します。（例：E-VOL-2）

インジケータ表示



● 補正レベルは-5～+5の11段階です。

ワンポイント

●E-VOLUTION　は再生中に音量補正を行うため、楽曲や設定状況により、原曲のイメージと異なる場合があります。必要に応じて設定を調整してください。

●本機能は曲の出だしで補正レベルを算出します。レベルを算出後は音量レベルを下げる方向に補正します。

●音源や早送り／早戻しのタイミングによって、補正レベルを継続する場合があります。

LOUDNESSの設定

オーディオを小音量で聞いているときなどの、低・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にすることができます。

1 SOUND画面（344 ページ参照）で DETAILS にタッチします。

2 LOUDNESSの ON 、または OFF にタッチします。



3 戻る にタッチします。

サブウーファの設定

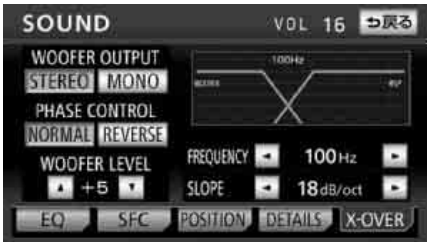
サブウーファを接続する場合は、別売のコードをお買い求めください。

■出力方式を設定する

サブウーファの出力方式を設定することができます。接続されているサブウーファの出力方式（ステレオ、またはモノラル）に合わせてください。

1 SOUND画面（344 ページ参照）で X-OVER にタッチします。

2 WOOFER OUTPUTの STEREO 、または MONO にタッチします。



3 戻る にタッチします。

■位相を切り替える

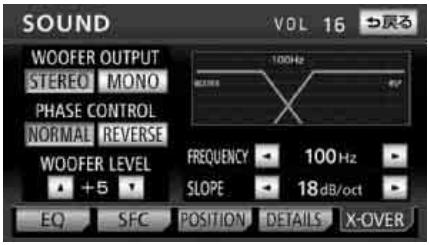
サブウーファから出力される音の中には、フロント/リヤスピーカーの音と同じ周波数帯域のものがあり、さまざまな車室内条件により打ち消しあってしまうことがあります。この現象を防ぐものがサブウーファの位相切り替えです。

車室内条件に合わせて位相を設定することができます。

1 SOUND画面（344 ページ参照）で X-OVER にタッチします。

2 PHASE CONTROLの NORMAL 、または REVERSE にタッチします。

- NORMAL ：各スピーカーとサブウーファの出力タイミングを同じにする
  REVERSE ：各スピーカーとサブウーファの出力タイミングをずらす



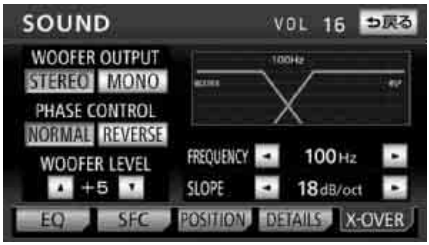
3 戻る にタッチします。

■サブウーファレベルを設定する

サブウーファの出力レベルを調整することができます。

1 SOUND画面（344 ページ参照）で X-OVER にタッチします。

2 WOOFER LEVELの ▲ 、または ▼ にタッチします。



3 戻る にタッチします。

ワンポイント

出力レベルは-6～+6の13段階です。

4. 音質の調整

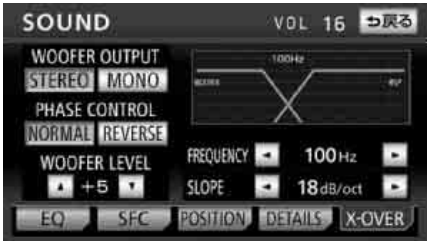
■X-OVER(クロスオーバ)を設定する

X-OVER（クロスオーバ）は、フロント/リヤスピーカー（中高域）とサブウーファ（低域）の再生する周波数帯域を分割して、音のつながりを改善することができます。

1 SOUND画面（344 ページ参照）で X-OVER にタッチします。

2 FREQUENCYの ◀ 、または ▶ にタッチして、カットオフ周波数を選択します。

- カットオフ周波数は、63/80/100/125/160/200(Hz)の中から選択できます。



3 SLOPEの ◀ 、または ▶ にタッチして、スロープを選択します。

- スロープは6／12／18／24／PASS（dB/oct）の中から選択できます。
- 数値が大きいほど、スロープの傾きが急になり、フロント/リヤスピーカーとサブウーファとの音の混ざりが少なくなります。
- “PASS”に設定すると、効果を得ることができません。
- サブウーファが接続されていないときは、スロープを“PASS”に設定してください。“PASS”以外に設定すると、低域音が遮断されます。

1. ラジオの使い方



ラジオを聞く

1 AV を押します。

2 AMラジオを受信するときは **AM** に、FMラジオを受信するときは **FM** にタッチします。



ワンポイント

ラジオアンテナがオートアンテナの場合、強制的にアンテナを下げることができます。詳しくは**「ラジオアンテナの設定」**（63ページ）を参照してください。

聞きたい放送局を選ぶ

■手動で選ぶ

1 ⏭、または ⏮ を押します。

- ⏭：1ステップずつ上がる
  ⏮：1ステップずつ下がる
  （1ステップ：AM 9kHz、FM 0.1MHz）

■自動で選ぶ

1 ⏭、または ⏮ を“ピッ”と音がするまで押します。

- 現在、画面に表示されている周波数に一番近い放送局を、自動的に選局して受信したところで止まります。途中で解除したいときは、もう一度押すと解除します。

ワンポイント

受信電波の弱い地域では、自動選局ができないことがあります。

1. ラジオの使い方

■プリセットスイッチから選ぶ

1 記憶されているプリセットスイッチにタッチします。

● 放送局の記憶は**「放送局を記憶する」**（356ページ）を参照してください。

放送局を記憶する

プリセットスイッチに放送局を記憶させるにはマニュアル（手動）とAUTO.P（自動）の2つのモードがあり、別々に記憶させることができます。

■マニュアル（手動）で記憶する

チェック

“AUTO.P”、または“エリア.P”が画面表示されていないことを確認します。表示されているときは AUTO.P 、または エリア （357ページ参照）にタッチすると、表示が消えてマニュアルに切り替わります。

1 手動選局、または自動選局で記憶させたい放送局を選びます。

2 記憶させたいプリセットスイッチを“ピーッ”と音がするまでタッチします。

● 放送局（周波数）が記憶されます。プリセットスイッチにタッチして選局できるようになります。

■AUTO.P（自動）で記憶する

1 AUTO.P を“ピーッ”と音がするまでタッチします。

● AUTO.Pが点灯し、自動的に選局を始めます。“ピッピッ”と音がすると自動選局が終了し一時的に記憶されます。

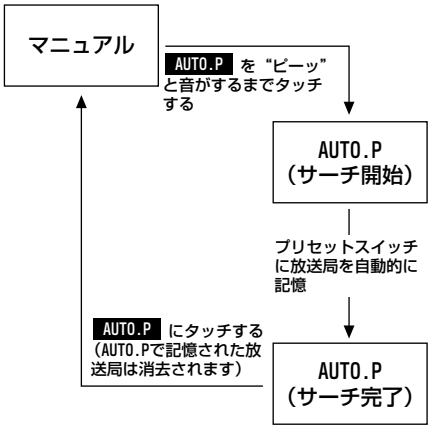
● 受信感度の良い放送局を周波数の低い順に6局まで自動的に記憶します。

● もう一度 AUTO.P にタッチすると、マニュアルで記憶した放送局に表示が切り替わります。

■ AUTO.Pについて

AUTO.Pは一時的にプリセットスイッチに記憶させる機能のため、AUTO.Pを使用してもマニュアルで記憶させた放送局は記憶されています。ふだんお聞きになる放送局をマニュアルで記憶しておけば、旅先などでAUTO.Pを使用してもマニュアルで記憶した放送局は呼び出すことができます。

AUTO.P　　動作中、または動作後に AUTO.P にタッチすると、プリセットメモリーはAUTO.P動作前の状態にもどります。（このときAUTO.Pで記憶した放送局は消去されます。）AUTO.Pからマニュアルへの切り替えは下記になります。



ワンポイント

- 受信電波の弱い地域では AUTO.P での自動受信ができないことがあります。
- 同じ放送局からの受信でも、チューニングスイッチで記憶した放送局とAUTO.Pスイッチで記憶した放送局は一致しないことがあります。
- AUTO.P スイッチを同じ場所で繰り返し操作しても、受信電波の状態により、記憶される放送局が異なることがあります。
- 受信できた放送局が6局未満のとき、残りのプリセットスイッチには何も記憶されません。

■ AUTO.Pで記憶した放送局を変更する

1 手動選局、または自動選局で記憶させたい放送局を選びます。

2 記憶させたいプリセットスイッチを“ピーッ”と音がするまでタッチします。

エリアスイッチについて

自分のいる地域の放送局名の受信周波数がわからないときに、その地域の放送局の表示・選局ができます。

1 **エリア** にタッチします。

- “エリア.P”の表示と、その地域で放送されている放送局名と周波数が表示されます。
- 表示されている放送局を選ぶときは、周波数の表示されているプリセットスイッチにタッチします。
- もう一度 **エリア** にタッチすると、もとの記憶されていた放送局に表示が切り替わります。

ワンポイント

放送が受信できても、放送局名を表示できない地域があります。

交通情報を聞く

チェック

AMラジオを受信中に操作することができます。

1 にタッチします。

- あらかじめセットされている交通情報局（1620kHz）を受信します。

■ 周波数を記憶する

1 通常の選局、または自動選局で記憶させたい周波数を選びます。

2 を“ピッ”と音がするまでタッチします。

ワンポイント

交通情報を受信中、チューニングスイッチを押しても交通情報局は切り替わりません。

ラジオを止める

1 A V を1秒以上押します。

- 再度、A V を1秒以上押すと、止める前の放送局が受信されます。

2. CDプレーヤーの使い方



CDを聞く

■ CDが入っていない場合

1 CDを差し込みます。（42 ページ参照）

● 再生を始めます。

■ CDが入っている場合

1 A V を押します。

2 CD/DVD にタッチします。

● 再生を始めます。



ワンポイント

●CD-TEXTやGracenote音楽認識サービスなど、タイトルや曲名などが記録されているときは、半角25文字、全角12文字まで表示されます。収録タイトル文字数の多いCD-TEXTは表示できないことがあります。

●CD-R/RW の CD-TEXT は表示できない場合があります。

●再生している音楽 CD にタイトルや曲名などが収録されていなくても、地図SDカードにあるGracenoteメディアデータベースに該当する情報がある場合、タイトルを表示します。

●音楽用SDメモリーカードへの録音中は、地図SDカードのGracenoteメディアデータベースに収録されている情報のみ表示することができます。（CD-TEXTは表示できません。）

●CDを再生したとき、自動的に録音を開始するように設定することもできます。（388 ページ参照）

聞きたい曲を選ぶ

聞きたい曲の頭出しができます。

■選曲・頭出しスイッチから選ぶ

チェック

音楽用SDメモリーカードへ録音中は、録音が完了した曲のみ操作することができます。

1 ⏭ 、または ⏮ を押します。

● ⏭ : 次曲を選ぶとき
⏮ : 頭出し・前曲を選ぶとき

■一覧から選ぶ

1 LIST にタッチします。

● CD TRACK LIST画面が表示されます。

2 聞きたい曲にタッチします。



早送り・早戻しする

チェック

音楽用SDメモリーカードへ録音中は、操作することができません。

1 ⏭ 、または ⏮ を“ピッ”と音がするまで押します。

● ⏭ : 曲を進めるとき

⏮ : 曲を戻すとき

“ピッ”と音がすると早送り（早戻し）モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り（早戻し）します。

聞きたい曲を探す

チェック

音楽用SDメモリーカードへ録音中は、操作することができません。

1 SCAN にタッチします。

● 全曲の始めの 10 秒間だけ順に再生します。希望曲になったら、もう一度 SCAN にタッチするとその曲で再生を続けます。

聞きたい曲を繰り返し聞く

チェック

音楽用SDメモリーカードへ録音中は、操作することができません。

1 RPT にタッチします。

● 再生中の曲を繰り返し再生します。

● 一度 RPT にタッチすると、解除するまで繰り返します。もう一度 RPT にタッチすると解除されます。

2. CDプレーヤーの使い方

曲の順番をランダムに聞く

チェック

音楽用SDメモリーカードへ録音中は、操作することができません。

1 RAND にタッチします。

- いま聞いているCDの全曲でランダム再生します。
- 一度 RAND にタッチすると、解除するまでランダム再生します。もう一度 RAND にタッチすると解除されます。

ワンポイント

ランダムに聞く場合、曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めているので、同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

CDを止める

1 A V を1秒以上押します。

- 再度、A V を1秒以上押すと、再生が再開されます。

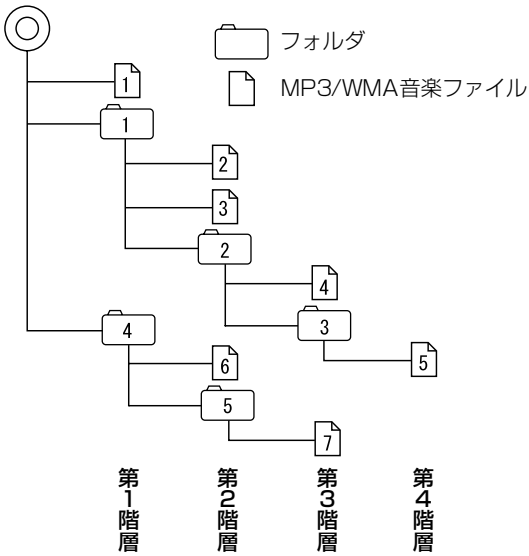
3. MP3/WMAプレーヤーの使い方

走行中は安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります。



[MP3/WMAファイル作成例]

ここでの操作説明は、MP3/WMAファイル作成例をもとに説明しています。



ワンポイント

- MP3/WMAディスクにフォルダ名や音楽ファイル名などが記録されているときは、半角25文字、全角12文字まで表示されます。
- DRM（著作権管理Digital Rights Management）システムのWMAファイルやプロテクト録音（ライセンス管理）されたWMAファイルは再生できません。

3. MP3/WMAプレーヤーの使い方

MP3/WMAを聞く

■ MP3/WMAデータが書き込まれたCDが入っていない場合

1 CDを差し込みます。（42 ページ参照）

- 再生を始めます。
- 通常は、1 ⇓ 2 ⇓ 3 ⇓ 4 ⇓ 5 ⇓ 6 ⇓ 7 の順に再生されます。

■ MP3/WMAデータが書き込まれたCDが入っている場合

1 AV を押します。

2 CD/DVD にタッチします。

- 再生を始めます。
- 通常は、1 ⇓ 2 ⇓ 3 ⇓ 4 ⇓ 5 ⇓ 6 ⇓ 7 の順に再生されます。



聞きたいフォルダを選ぶ

ディスクの中から聞きたいフォルダを選ぶことができます。

■ フォルダ切り替えスイッチから選ぶ

1 ▲ 、または ▼ にタッチします。

- ▲ :次のフォルダを選ぶ
- ▼ :前のフォルダを選ぶ

■ 一覧から選ぶ

1 FOLDERの LIST にタッチします。

- FOLDER LIST画面が表示されます。

2 聞きたいフォルダにタッチします。



聞きたい音楽ファイルを選ぶ

聞きたい音楽ファイルの頭出しができます。

■選曲・頭出しスイッチから選ぶ

1 、または を押します。

- : 次の音楽ファイルを選ぶとき
- :頭出し･前の音楽ファイルを選ぶとき

■一覧から選ぶ

1 FILEの **LIST** にタッチします。

- FILE LIST画面が表示されます。

2 聞きたい音楽ファイルにタッチします。



早送り・早戻しする

1 、または を“ピッ”と音がするまで押します。

- : 曲を進めるとき
- : 曲を戻すとき
- “ピッ”と音がすると早送り（早戻し）モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り（早戻し）します。

聞きたい音楽ファイルを探す

1 **SCAN** にタッチします。

- 再生中のフォルダ内の全ファイルを曲の始めの10秒間だけ順に再生します。
- “ピーッ”と音がするまでタッチすると、ディスク内の各フォルダのはじめの曲を10秒間だけ順に再生します。
- もう一度 **SCAN** にタッチするとその曲で再生を続けます。

3. MP3/WMAプレーヤーの使い方

聞きたい音楽ファイルを繰り返し聞く

1 RPT にタッチします。

- 再生中のファイルを繰り返し再生します。
- “ピーッ”と音がするまでタッチすると、再生中のフォルダ内の全てのファイルを繰り返し再生します。
- 一度 RPT にタッチすると、解除するまで繰り返します。もう一度 RPT にタッチすると解除されます。

音楽ファイルの順番をランダムに聞く

1 RAND にタッチします。

- 再生中のフォルダ内の全ファイルでランダム再生します。
- “ピーッ”と音がするまでタッチすると、ディスク内の全てのファイルでランダム再生します。
- 一度 RAND にタッチすると、解除するまでランダム再生します。もう一度 RAND にタッチすると解除されます。

ワンポイント

ランダムに聞く場合、曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めているので、同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

MP3/WMAを止める

1 A V を1秒以上押します。

- 再度、A V を1秒以上押すと、再生が再開されます。

MP3/WMAについて

MP3（MPEG Audio レイヤ3）は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3を使用すれば、元のファイルを約1/10のサイズに圧縮することができます。

WMA（Windows Media® Audio）はマイクロソフト社の音声圧縮フォーマットです。MP3同様、ファイルを小さいサイズに圧縮することができます。

本機で使用できるMP3/WMAファイルの規格やそれを記録したメディア、フォーマットには制限があります。MP3/WMAファイルを書き込むときには以下のことに注意してください。

■再生可能なMP3ファイルの規格について

- 対応規格：
  MPEG Audio レイヤ3（＝MPEG1 Audio Layer Ⅲ、MPEG2 Audio Layer Ⅲ、MPEG2.5 Audio Layer Ⅲ）
- 対応サンプリング周波数：
  8、11.025、12、16、22.05、24、32、44.1、48 (kHz)
- 対応ビットレート：
  8、16、24、32、40、48、56、64、80、96、112、128、144、160、192、224、256、320 (kbps)
  ※ VBR（可変ビットレート）に対応しています。
  ※ フリーフォーマットには対応していません。
- 対応チャンネルモード：
  ステレオ、ジョイントステレオ、デュアルチャンネル、モノラル

■再生可能なWMAファイルの規格について

- 対応規格：
  WMA Ver.9 Standard Decoder Class3に準拠
- 対応サンプリング周波数：
  22.05、32、44.1、48（kHz）
- 対応ビットレート：
  20、22、32、36、40、44、48、64、80、96、128、160、192、256、320（kbps）
  ※ 2ch再生のみ対応しています。
  ※ VBR（可変ビットレート）に対応しています。
  ※ 可逆圧縮（ロスレス圧縮）には対応していません。
  ※ DRM（著作権保護）には対応していません。
- 対応チャンネルモード：ステレオ、モノラル

3. MP3/WMAプレーヤーの使い方

■ID3タグ/WMAタグについて

MP3やWMAファイルには、ID3タグ/WMAタグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

ID3タグは、ID3 Ver.1.0,1.1に対応しています。

WMAタグは、WMA ASF Revision 1.02.02に対応しています。

■ ID3タグ/WMAタグ

		MP3		WMA
		Ver1.0	Ver1.1	ASF Revision 1.02.02
入力できる項目	TITLE	全角15文字 半角32文字		全角15文字 半角15文字
	ARTIST			
	ALBUM			
表示できる文字		英数字（ASCIIコード） 日本語（S-JISコード）		英数字（ASCIIコード） 日本語（Unicode）

■使用できるメディアについて

MP3/WMAの再生に使用できるメディアはCD-RおよびCD-RWです。DVD∂RおよびDVD∂RWに記録されたMP3/WMAは再生できません。

なお、CD-R、CD-RWは通常の音楽CDに使用されているディスクに比べ高温多湿環境に弱く、一部のCD-R、CD-RWは再生できない場合があります。また、ディスクに指紋やキズを付けた場合、再生できないことや音飛びすることがあります。

一部のCD-R、CD-RWは長時間の車内環境において劣化するものがあります。

なお、CD-R、CD-RWは紫外線に弱いため、光を通さないケースに保管することをおすすめします。

■使用できるディスクのフォーマットについて

使用できるメディアのフォーマットは下記になります。

● ディスクフォーマット：
CD-ROM MODE1、CD-ROM XA MODE2（Form1）

■ ファイルフォーマット

● ISO9660

	LEVEL 1	LEVEL 2
フォルダ名（最大文字数）	半角8文字	半角31文字
ファイル名（最大文字数）	8.3形式	半角31文字
表示できる文字	英数字（ASCIIコード）	

● 拡張フォーマット

	ROMEO形式	JOLIET形式
フォルダ名（最大文字数）	半角64文字	半角128文字※2
ファイル名（最大文字数）	半角64文字※1	半角128文字
表示できる文字	英数字（ASCIIコード） 日本語（S-JISコード）	英数字（ASCIIコード） 日本語（Unicode）

※1 区切り文字“.”含む
※2 区切り文字“.”+拡張子含む

● 最大ディレクトリ階層：
8階層
● 1枚のディスクに書き込み可能なフォルダ数：
256個（ルート含む）
● 1枚のディスクに書き込み可能なファイル数：
512個

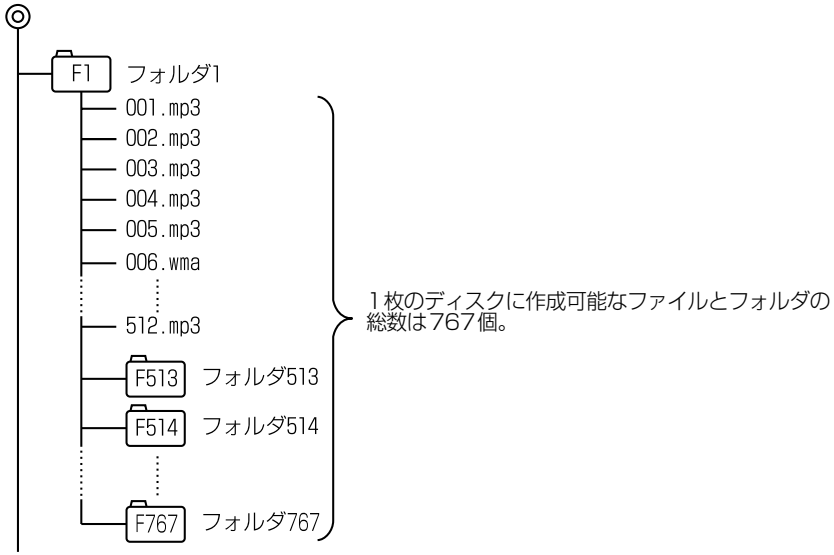
ワンポイント

MP3/WMAディスクにフォルダ名や音楽ファイル名などが記録されているときは、半角25文字、全角12文字まで表示されます。

次ページに続く

3. MP3/WMAプレーヤーの使い方

[MP3/WMA対応CDの構造例]



■ファイル名について

MP3/WMAと認識し再生するファイルはMP3/WMAの拡張子“mp3”/“wma”が付いたものだけです。MP3/WMAファイルには、“mp3”/“wma”の拡張子を付けて保存してください。

拡張子名“mp3”/“wma”は大文字でも小文字でもかまいません。

ワンポイント

MP3/WMA以外のファイルに“mp3”/“wma”の拡張子を付けると、MP3/WMAファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカを破損する場合があります。MP3/WMA以外のファイルに、“mp3”/“wma”の拡張子を付けないでください。

■CD-R、CD-RWについて

- マルチセッションに対応しており、MP3/WMAを追記したCD-Rや、CD-RWの再生が可能です。
- CD-RW を消去して使用する場合には、完全に消去したことを確認してからご使用ください。
  （消去方法はライティングソフトで異なりますので確認してください。また、クイックおよび高速消去は使用しないでください。）
- CD-R、CD-RWはディスクアットワンス、セッションアットワンス、トラックアットワンス記録ディスクのみ読み取り対応です。
- パケットライト記録ディスクには対応しておりません。（例えば、DirectCD等で作成したディスクには対応していません。）
- CD-R、CD-RWは、セッションクローズしている場合のみ再生可能です。ただし、CD-RWは書き込みの設定で、“CDを閉じる”や“CDの終了処理をする”ようにしてください。（設定の方法はライティングソフトで異なりますので確認してください。）

■MP3/WMAの再生について

MP3/WMAファイルが収録されているディスクを差し込むと、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。ファイルのチェックが終わると最初のMP3/WMAファイルを再生します。

チェックが終わるまで“MP3/WMAデータを読み込み中です”が表示されます。（最大10分程度）なお、ディスク内のファイルをチェックしている間、音はでません。

ファイルのチェックを早く終わらせるためにMP3/WMAファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。

■MP3/WMAの演奏時間表示について

MP3/WMAファイルの書き込み状況により、演奏時間が一致しないことがあります。

※ VBRのFAST UP/DOWN動作をすると演奏時間が一致しないことがあります。

■MP3/WMAファイル、フォルダのリスト表示順番

MP3/WMAファイルおよびフォルダのリストは、同一階層内にあるMP3/WMAファイル、フォルダを次のように表示します。

1 MP3/WMAファイルを書き込んだ順に表示

2 次にフォルダを書き込んだ順に表示

3. MP3/WMAプレーヤーの使い方

MP3/WMAファイルの作り方、楽しみ方

MP3/WMAファイルを作成する場合、放送やレコード、録音物、録画物、実演などを録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

■インターネット上のMP3/WMA音楽配信サイトから入手する場合

インターネット上には有料でダウンロードするオンラインショップのサイト、試聴専門のサイトや無料ダウンロードサイトなど、様々なMP3/WMA音楽配信サイトがあります。そのサイトごとのルールを守り（料金支払いなど）、そこから指示通りにダウンロードを行います。

■音楽CDからMP3/WMAファイルに変換する場合

パソコンと市販のMP3/WMAエンコーダ（変換）ソフトを用意します。（インターネット上で無料配布されているエンコーダソフトもあります。）パソコンのCD-ROMドライブに音楽CDを入れ、MP3/WMAエンコーダソフトの手順に従って音楽CDの曲を圧縮変換すると、MP3/WMA形式の音楽データファイルができます。

ワンポイント

- 安定した音質で再生するために、MP3の場合、128kbpsの固定ビットレート、44.1kHzのサンプリング周波数、ステレオのチャンネルモードを推奨します。
- CD-R、CD-RWはディスクの特性により読み取れない場合があります。
- MP3/WMAは市場にフリーウェア等、多くのエンコーダソフトが存在し、エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、また再生できない場合もあります。

■CD-R/RWに書き込む場合

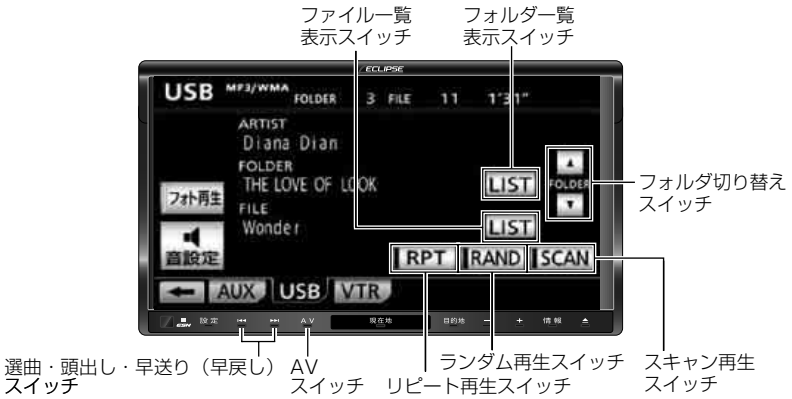
MP3/WMAファイルをパソコンに接続されているCD-R/RWドライブを介してCD-R/RWに書き込みます。この時、ライティングソフトでISO9660 レベル1 またはレベル2、ROMEO、JOLIETという記録フォーマットに設定して書き込みます。

ワンポイント

- ディスクにMP3/WMA以外のファイルを記録すると、ディスクの認識に時間がかかったり、再生できない場合があります。
- 走行中はファイル、フォルダ表示のページ切り替え操作ができません。
- Microsoft、Windows、Windows Mediaは、米国マイクロソフトコーポレーションの米国、およびその他の国における登録商標および商標です。

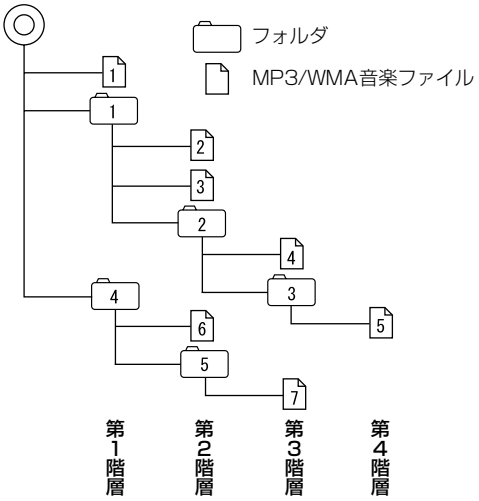
4. USBメモリの使い方

USBメモリを接続すると、収録されているMP3/WMAファイルを再生することができます。
また、リストからの選曲やランダム再生の切り替えなどを本機で操作することができます。
走行中は安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります。



[MP3/WMAファイル作成例]

ここでの操作説明は、MP3/WMAファイル作成例をもとに説明しています。



ワンポイント

- MP3/WMAファイルにフォルダ名や音楽ファイル名などが記録されているときは、半角25文字、全角12文字まで、アーティスト名が記録されているときは、半角30文字、全角15文字まで表示されます。
- DRM（著作権管理Digital Rights Management）システムのWMAファイルやプロテクト録音（ライセンス管理）されたWMAファイルは再生できません。
- USBメモリにMP3/WMA以外のデータが収録されていたり、データ量が多いときは、再生の開始までに時間がかかる場合があります。

4. USBメモリの使い方

USBメモリを聞く

1 USBメモリを本機に接続します。（45 ページ参照）

2 A V を押します。

3 USB にタッチします。

- 再生を始めます。
- 通常は、1 ⇓ 2 ⇓ 3 ⇓ 4 ⇓ 5 ⇓ 6 ⇓ 7 の順に再生します。**「[MP3/WMAファイル作成例]」**（361ページ）
- 同じ階層に複数のMP3/WMA音楽ファイルやフォルダが存在する場合、数字、アルファベット、日本語（SJISコード）の昇順に再生されます。



聞きたいフォルダを選ぶ

■フォルダ切り替えスイッチから選ぶ

1 ▲ 、または ▼ にタッチします。

- ▲ :次のフォルダを選ぶ
  ▼ :前のフォルダを選ぶ

■一覧から選ぶ

1 FOLDERの LIST にタッチします。

- FOLDER LIST画面が表示されます。

2 聞きたいフォルダにタッチします。



聞きたい音楽ファイルを選ぶ

聞きたい音楽ファイルの頭出しができます。

■選曲・頭出しスイッチから選ぶ

1 ⏭ 、または ⏮ を押します。

- ⏭ : 次の音楽ファイルを選ぶとき
  ⏮ :頭出し･前の音楽ファイルを選ぶとき

■一覧から選ぶ

1 FILEの LIST にタッチします。

● FILE LIST画面が表示されます。

2 聞きたい音楽ファイルにタッチします。



早送り・早戻しする

1 、または を“ピッ”と音がするまで押します。

● : 曲を進めるとき
: 曲を戻すとき

● “ピッ”と音がすると早送り（早戻し）モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り（早戻し）します。

聞きたい音楽ファイルを探す

1 SCAN にタッチします。

● 再生中のフォルダ内の全ファイルを曲の始めの10秒間だけ順に再生します。

● “ピーッ”と音がするまでタッチすると、USBメモリ内の各フォルダのはじめの曲を10秒間だけ順に再生します。

● もう一度 SCAN にタッチするとその曲で再生を続けます。

聞きたい音楽ファイルを繰り返し聞く

1 RPT にタッチします。

● 再生中のファイルを繰り返し再生します。

● “ピーッ”と音がするまでタッチすると、再生中のフォルダ内の全てのファイルを繰り返し再生します。

● 一度 RPT にタッチすると、解除するまで繰り返します。もう一度 RPT にタッチすると解除されます。

4. USBメモリの使い方

音楽ファイルの順番をランダムに聞く

1 RAND にタッチします。

- 再生中のフォルダ内の全ファイルでランダム再生します。
- “ピーッ”と音がするまでタッチすると、USBメモリ内の全てのファイルでランダム再生します。
- 一度 RAND にタッチすると、解除するまでランダム再生します。もう一度 RAND にタッチすると解除されます。

ワンポイント

ランダムに聞く場合、曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めているので、同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

USBメモリを止める

1 A V を1秒以上押します。

- 再度、A V を1秒以上押すと、再生が再開されます。

MP3/WMAについて

MP3（MPEG Audio レイヤ3）は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3を使用すれば、元のファイルを約1/10のサイズに圧縮することができます。

WMA（Windows Media® Audio）はマイクロソフト社の音声圧縮フォーマットです。MP3同様、ファイルを小さいサイズに圧縮することができます。

本機で使用できるMP3/WMAファイルの規格やそれを記録したメディア、フォーマットには制限があります。MP3/WMAファイルを書き込むときには以下のことに注意してください。

■再生可能なMP3ファイルの規格について

- 対応規格：
  MPEG Audio レイヤ3（＝MPEG1 Audio Layer Ⅲ、MPEG2 Audio Layer Ⅲ、MPEG2.5 Audio Layer Ⅲ）
- 対応サンプリング周波数 (kHz)：
  8、11.025、12、16、22.05、24、32、44.1
- 対応ビットレート(kbps)：
  8、32、40、48、56、64、80、96、112、128、160、192、224、256、320
  ※ VBR（可変ビットレート）に対応しています。
  ※ フリーフォーマットには対応していません。
- 対応チャンネルモード：
  ステレオ、ジョイントステレオ、デュアルチャンネル、モノラル

4. USBメモリの使い方

■再生可能なWMAファイルの規格について

- 対応規格：
  WMA Ver.7／8／9／9.1／9.2／10 Pro
- 対応サンプリング周波数（kHz）：
  8、11.025、12、22.05、32、44.1
- 対応ビットレート(kbps)：
  8、10、12、16、20、22、32、40、48、63、64、80、95、96、127、128、160、191、192
  ※ 2ch再生のみ対応しています。
  ※ VBR（可変ビットレート）に対応しています。（40～95kbps）
  ※ 可逆圧縮（ロスレス圧縮）には対応していません。
  ※ DRM（著作権保護）には対応していません。
- 対応チャンネルモード：ステレオ、モノラル

■ID3タグ/WMAタグについて

MP3やWMAファイルには、ID3タグ/WMAタグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

■ ID3タグ/WMAタグ

	MP3		WMA
対応バージョン	ID3v1※	Ver.1.0、1.1	Ver.9まで
	ID3v2※	Ver.2.2、2.3、2.4	
表示できる文字	英数字（ASCIIコード） 日本語（S-JISコード）		日本語（Unicode）

※ ID3v1とID3v2の両方に対応しているときは、ID3v1が優先されます。

■使用できるメディアについて

MP3/WMAの再生に使用できるメディアは下記の条件にあてはまるUSBメモリです。

- 対応クラス：マスストレージクラス（SCSI対応）
- 対応USB Ver.: USB1.1、USB2.0
- 最大消費電流：1A未満
- ファイルフォーマット：FAT16/32（Windows®）

■使用できるメディアのファイルフォーマットについて

● ISO9660

	LEVEL 1	LEVEL 2
フォルダ名（最大文字数）	半角8文字	半角31文字
ファイル名（最大文字数）	8.3形式	半角31文字
表示できる文字	英数字（ASCIIコード）	

● 拡張フォーマット

	ROMEO形式	JOLIET形式
フォルダ名（最大文字数）	半角32文字	半角32文字※1
ファイル名（最大文字数）	半角32文字※2	半角32文字
表示できる文字	英数字（ASCIIコード） 日本語（S-JISコード）	英数字（ASCIIコード） 日本語（Unicode）

※1 区切り文字“.”含む
※2 区切り文字“.”+拡張子含む

● 対応ファイルシステム：
FAT16、FAT32

● 最大ディレクトリ階層：
8階層（Rootフォルダ含む）

● USBメモリに保存可能なフォルダ数：
999（ROOTフォルダ含む）個

● USBメモリに保存可能なファイル数：
3000個

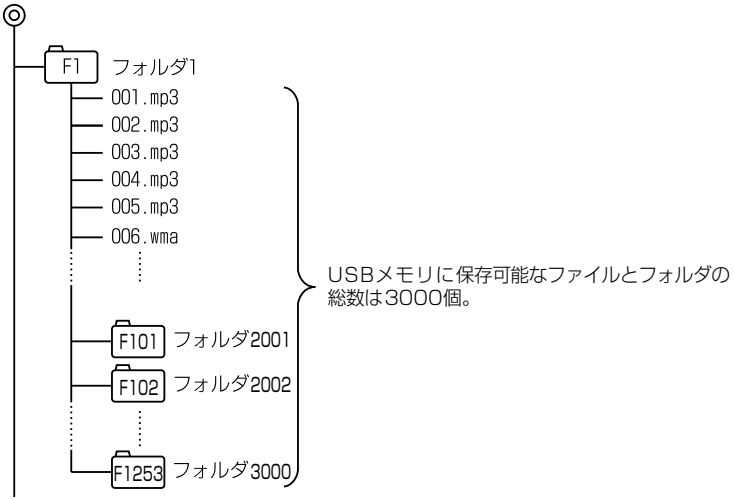
ワンポイント

MP3/WMAデータにフォルダ名や音楽ファイル名が記録されているときは、半角25文字、全角12文字まで、アーティスト名が記録されているときは、半角30文字、全角15文字まで表示されます。

次ページに続く

4. USBメモリの使い方

[MP3/WMA対応メディアの構造例]



■ ファイル名について

MP3/WMAと認識し再生するファイルはMP3/WMAの拡張子“mp3”/“wma”が付いたものだけです。MP3/WMAファイル名は、“mp3”/“wma”の拡張子を含めて128byte以下およびS-JISで保存してください。

拡張子名“mp3”/“wma”は大文字でも小文字でもかまいません。

ワンポイント

MP3/WMA以外のファイルに“mp3”/“wma”の拡張子を付けると、MP3/WMAファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカを破損する場合があります。MP3/WMA以外のファイルに、“mp3”/“wma”の拡張子を付けないでください。

■ MP3/WMAの再生について

MP3/WMAファイルが収録されているメディアを差し込むと、最初にメディア内のすべてのファイルをチェックします。ファイルのチェックが終わると最初のMP3/WMAファイルを再生します。

チェックが終わるまで“MP3/WMAデータを読み込み中です”が表示されます。（最大10分程度）なお、メディア内のファイルをチェックしている間、音はでません。

ファイルのチェックを早く終わらせるためにMP3/WMAファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。

■MP3/WMAの演奏時間表示について

MP3/WMAファイルの書き込み状況により、演奏時間が一致しないことがあります。

※ VBR（可変ビットレート）のFAST UP/DOWN動作をすると演奏時間が一致しないことがあります。

MP3/WMAファイルの作り方、楽しみ方

MP3/WMAファイルを作成する場合、放送やレコード、録音物、録画物、実演などを録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

■インターネット上のMP3/WMA音楽配信サイトから入手する場合

インターネット上には有料でダウンロードするオンラインショップのサイト、試聴専門のサイトや無料ダウンロードサイトなど、様々なMP3/WMA音楽配信サイトがあります。そのサイトごとのルールを守り（料金支払いなど）、そこから指示通りにダウンロードを行います。

■音楽CDからMP3/WMAファイルに変換する場合

パソコンと市販のMP3/WMAエンコーダ（変換）ソフトを用意します。（インターネット上で無料配布されているエンコーダソフトもあります。）パソコンのCD-ROMドライブに音楽CDを入れ、MP3/WMAエンコーダソフトの手順に従って音楽CDの曲を圧縮変換すると、MP3/WMA形式の音楽データファイルができます。

ワンポイント

- 安定した音質で再生するために、MP3の場合、128kbpsの固定ビットレート、44.1kHzのサンプリング周波数、ステレオのチャンネルモードを推奨します。
- USBメモリの特性により読み取れない場合があります。
- MP3/WMAは市場にフリーウェア等、多くのエンコーダソフトが存在し、エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、また再生できない場合もあります。

■メディアに書き込む場合

- メディアに MP3/WMA 以外のファイルを記録すると、メディアの認識に時間がかかったり、再生できない場合があります。
- 走行中はファイル、フォルダ表示のページ切り替え操作ができません。
- Microsoft、Windows、Windows Mediaは、米国マイクロソフトコーポレーションの米国、およびその他の国における登録商標および商標です。

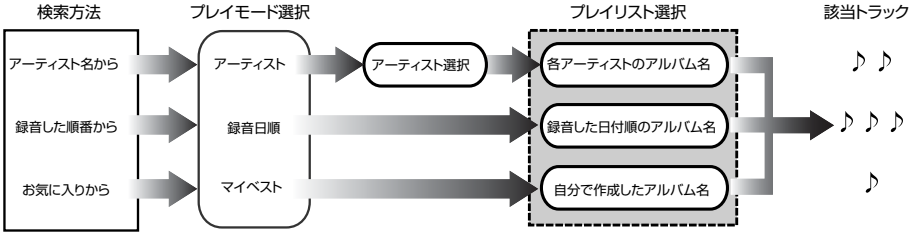
1. SDメモリーカードをお使いになる前に

SDメモリーカードへの録音について

本機は、音楽CDをAAC（Advanced Audio Coding）圧縮技術で圧縮し、音楽用SDメモリーカードに録音することができます。CDを録音すると、「Gracenote音楽認識サービス」により、アーティスト名やアルバム名を検索し、該当する名称のグループを自動で作成します。

録音した音楽の構成について

本機は、録音された音楽を3種類のプレイモード（再生モード）に分類し、各プレイモード内にプレイリスト（アルバム）を分けて管理することができます。聞きたい音楽は、アーティスト名や録音した順番などから絞り込んで検索することができます。



■プレイモード・プレイリストについて

録音した音楽は、アーティスト別や録音日別のグループ（プレイモード）に分けられ、各グループ内にアルバム（プレイリスト）を表示します。また、お好みの曲だけを集めたグループを作成することもできます。

プレイモード	プレイリスト
アーティスト	● オートタイトリング機能で、録音された曲のアーティスト名とアルバム名が付与された場合、プレイリストはアルバム名で表示されます。 ● 聞きたいアーティスト名を選択すると、表示されるアルバム名から選曲することができます。
録音日順	● オートタイトリング機能でアルバム名が付与された場合、プレイリストはアルバム名で表示されます。 ● 録音された順番で表示されるアルバム名から選曲することができます。
マイベスト	● お好みの曲だけを集めたオリジナルプレイリストを新規作成することができます。 ● オリジナルで作成したリスト名から選曲することができます。

ワンポイント

音楽用SDメモリーカードには、最大3000個のプレイリストを作成することができ、1つのプレイリストには最大99曲までトラックを録音することができます。録音可能なトラックの総数は最大およそ9999曲※です。

※ 録音する音楽用SDメモリーカードの容量によっては、最大9999曲まで録音することができません。

データベースについて

本機は、音楽CD（アルバム/シングルディスク）を音楽用SDメモリーカードに録音した場合、地図SDカードに収録されているデータベースの中から、アルバム名やアーティスト名、タイトルを検索し、各名称がデータベースに収録されていると、録音したデータに自動で付与します。（オートタイトリング機能）

本機に収録されているデータベース情報は、Gracenoteメディアデータベースを使用しています。

■Gracenoteメディアデータベースについて

音楽認識技術と関連情報はGracenote™社によって提供されています。Gracenote は、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。

詳細は、Gracenote™社のホームページwww.gracenote.comをご覧下さい。

Gracenote, Inc. 提供の CD および音楽関連データ: copyright © 2000-present Gracenote. Gracenote Software, copyright © 2000-present Gracenote. 本製品およびサービスには、Gracenote が所有する 1 つまたは複数の特許が適用されます。適用可能な一部の Gracenote 特許の一覧については、Gracenote の Web サイトをご覧ください。Gracenote、CDDB、MusicID、MediaVOCS, Gracenote のロゴとロゴタイプ、および "Powered by Gracenote" ロゴは、米国および/またはその他の国におけるGracenoteの登録商標または商標です。

ワンポイント

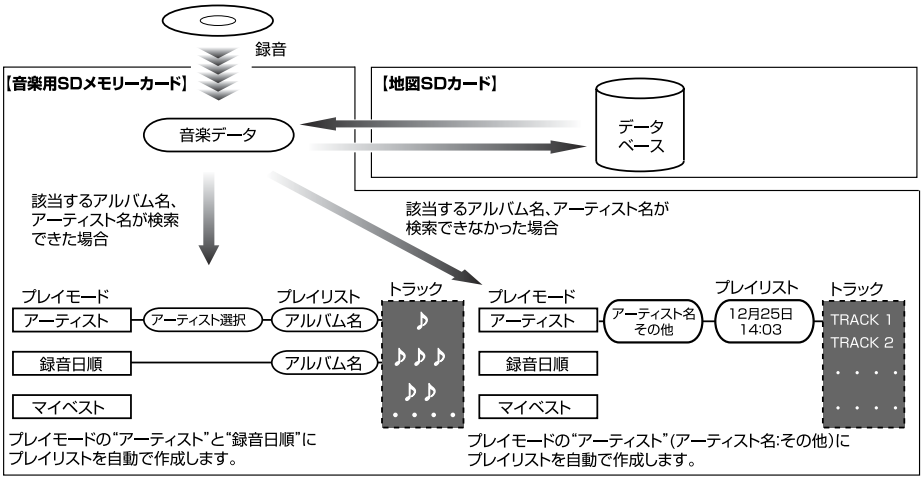
- 自動で付与されたタイトル情報は、実際のタイトル情報と異なる場合があります。
- 「Gracenote音楽認識サービス」によって提供されたデータについては内容を100%保証するものではありません。
- Gracenote メディアデータベースの更新については、**「データベースの更新について」**（383ページ）を参照してください。

1. SDメモリーカードをお使いになる前に

■オートタイトリング機能について

録音した音楽にアーティスト名やアルバム名などのタイトル情報を地図SDカードに保存されたデータベースから検索して付与することで、いろいろな方法で聞きたい音楽を検索、再生することができます。

※ オートタイトリング機能で付与されたタイトル情報は、実際のタイトル情報と異なる場合があります。



データベース情報の表示について

地図SDカードに収録されたGracenoteメディアデータベースのバージョン情報を見ることができます。

1 地図SDカードを本機へ差し込みます。（38 ページ参照）

2 情報・BTナビ画面（情報）（266 ページ参照）で、**データ管理** にタッチします。

3 データベースのバージョンの **バージョン情報** にタッチします。

● データベース情報を表示します。



ワンポイント

最大200個まで履歴を残すことができます。200個を超える場合、最も古いものから順に削除されます。

データベースの更新について

地図SDカードに収録されたGracenoteメディアデータベースは、更新することができます。データベースの更新は、同梱のマップオンデマンド専用のアプリケーションソフト（323 ページ参照）が必要になります。更新時期やデータの提供については、ECLIPSEホームページ「お客様サポート」（URL:http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/）をご覧ください。

■ タイトルデータベースの更新手順

① 地図 SD カードを本機から取り出します。（41 ページ参照）

② パソコンに専用アプリケーションソフト（製品同梱）をインストールします。（323 ページ参照）

③ パソコンのブラウザを使って専用サイトへアクセスし、Gracenoteメディアデータベースの更新用データをダウンロードします。

④ インストールした専用アプリケーションソフトを使って、ダウンロードしたGracenoteメディアデータベースの更新用データを地図SDカードに書き込みます。

⑤ 地図 SD カードを本機へ差し込みます。（38 ページ参照）

ワンポイント

一度付与されたタイトル情報は、Gracenoteメディアデータベースを更新後、該当するタイトル情報が保有されていても自動で変更されません。編集時に更新することができます。詳しくは、**「タイトル情報を再取得する」**（406 ページ）

1. SDメモリーカードをお使いになる前に

SDメモリーカードの容量確認

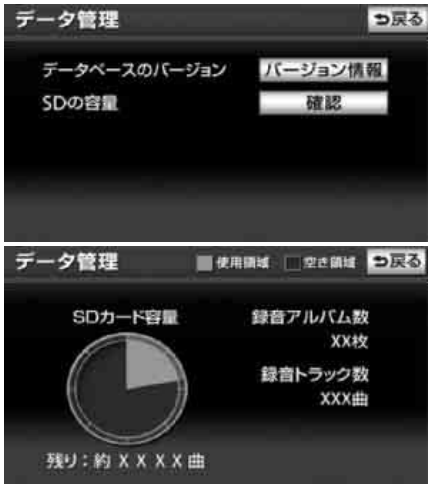
音楽用SDメモリーカード内の録音トラック数や作成したマイベスト数を表示することができます。

1 音楽用SDメモリーカードを本機へ差し込みます。（38 ページ参照）

2 情報・BTナビ画面（情報）（266 ページ参照）で、**データ管理** にタッチします。

3 SDの容量の **確認** にタッチします。

● ハードディスクの容量を表示します。

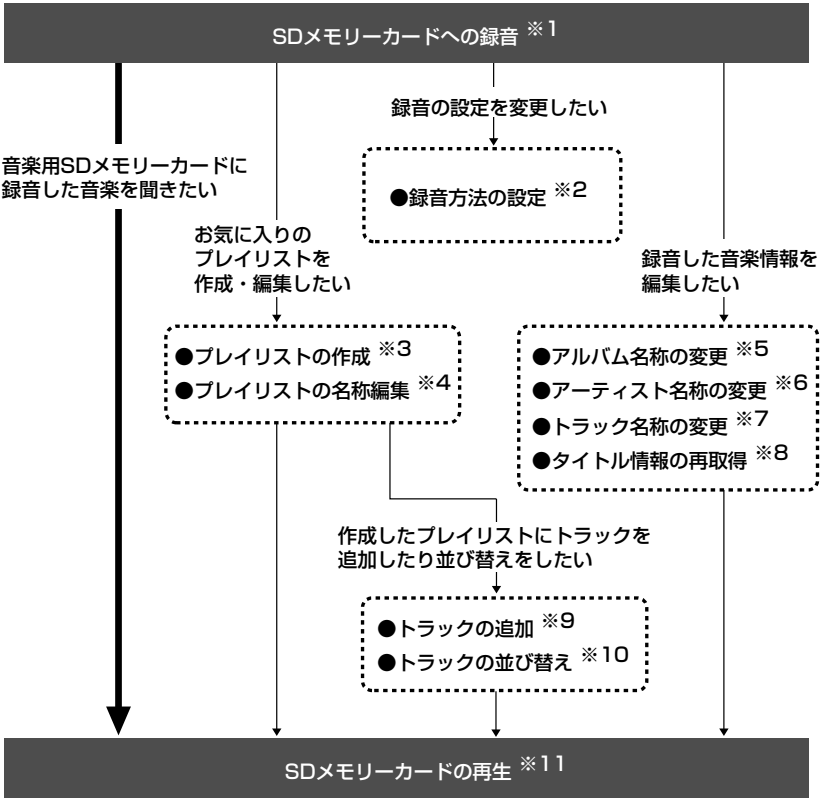


ワンポイント

データ管理画面の円グラフで表示される空き領域は、音楽用SDメモリーカードの空き容量と異なることがあります。そのため、画面で空き領域が表示されていても録音できない場合や、空き領域の表示がなくても録音できる場合があります。

操作の流れについて

音楽用SDメモリーカードへの録音や、プレイリスト、トラック情報の編集、音楽用SDメモリーカードの聞き方などの操作を説明します。



※1「SDメモリーカードへ録音する」（388ページ参照）
※2「録音の設定」（388ページ参照）
※3「プレイリストの作成」（395ページ参照）
※4「プレイリストの名称編集」（398ページ参照）
※5「アルバム名称を変更する」（404ページ参照）
※6「アーティスト名称を変更する」（404ページ参照）
※7「トラック名称を変更する」（406ページ参照）
※8「タイトル情報を再取得する」（406ページ参照）
※9「トラック（曲）を追加する」（399ページ参照）
※10「トラックを並べ替える」（400ページ参照）
※11「SDメモリーカードを聞く」（392ページ参照）

2. SDメモリーカードへの録音

SDメモリーカードへの録音について

■録音可能なデータ

- 音楽用SDメモリーカードに録音することができるデータは、CD（アルバム／シングルディスク）の音楽データのみです。
- SCMS（シリアルコピーマネージメントシステム）に対応しているため、次の CD からは録音できません。
  - ・オーディオ機器を使用して録音したCD-RやCD-RW（パソコンを使用して作成、または複製したCD-RやCD-RWは、ライティングソフトウェアの仕様に依存されます。）
  - ・録音が禁止されている音楽CD
- MP3・WMAを記録したCD-RやCD-RWからは録音できません。
- DTS-CDからは録音できません。

■録音可能なSDメモリーカード

次のSDメモリーカードを使用することができます。

SDメモリーカードの種類	
容量	4GB～32GB

- miniSDHCカード、またはmicroSDHCカードを使用する場合、専用のアダプターが必要です。SDメモリーカードがロックされている場合は、録音することができません。ロックを解除してください。
- 録音する音楽用SD メモリーカードは、Panasonic／東芝／Sandisk製のclass4～10のSD メモリーカードのご使用を推奨します。ご使用になるSD メモリーカードによっては、再生時の音飛びなどが発生する場合があり、その場合、弊社は保証することができません。
- FATファイルシステムのみ対応しています。NTFSファイルシステムには対応していません。

ワンポイント

SD Logo is a trademark of SD-3C, LLC.
miniSD Logo is a trademark of SD-3C, LLC.
microSD Logo is a trademark of SD-3C, LLC.

■録音の仕様

- 本機は、音楽CDをAAC（Advanced Audio Coding）圧縮技術で圧縮して、音楽用SDメモリーカードに録音することができます。
- 録音された音楽は暗号化されてSD メモリーカードに記録されるため、パソコンや他の機器では再生できません。

- 録音したデータは、パソコンに保存することができます。保存したデータは、録音時に使用したSD メモリーカードであれば、同じフォルダ構成で再度データを保存することができます。
- 最大3000個のアルバムを作成することができ、1つのアルバムに最大99曲まで録音することができます。録音可能な曲の総数は、最大9999曲です。ただし、録音する音楽用SDメモリーカードの容量によっては、最大9999曲まで録音することができません。
- 本機の録音は、音楽を録音しながら録音された音楽を再生する裏録音を行っているため、録音中に他のソースに切り替えることができます。ソースを切り替えても録音は継続されます。
- 録音中の再生音は、音楽用SDメモリーカードに録音された音のため、CD再生時とは異なった音で聞こえる場合があります。
- 録音が完了した後、エンジンスイッチをOFF（LOCK）にしたり、ソースを切り替えるなどお客様が操作しない限り、録音された音を継続して再生します。
- 音飛びなどが発生した場合、録音をやり直します。
- 音飛びなど、何らかの原因で録音が完了していない場合、画面に  を表示します。
- 音楽用 SD メモリーカードの容量がなくなった場合、録音が中止され録音途中のトラック（曲）を削除します。
- 録音の開始時や終了時は、約5秒間音楽が停止します。
- すでに録音されている曲は、重複して録音することはできません。

■録音についての注意

- 本機の故障、誤作動または不具合により録音できなかった録音内容、および消失した音楽データについては保証できません。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 音楽作品は、著作権法により保護されています。
  したがって、本機で録音したSDメモリーカードを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては、「日本音楽著作権協会」（JASRAC）等権利者に直接お尋ねください。
- エンジンスイッチをACCにして録音しているときに、エンジンスイッチをONにすると、録音したデータが消失する恐れがあります。
- ノンストップCD（曲と曲の間の無音部分が無いCD）を録音すると、曲間に無音部分が録音され、不自然な音切れが発生することがありますが、録音するディスクに依存しますのでご了承ください。
- 一度バッテリーターミナルをはずし、再度接続した場合、地図画面を表示してから約２分間は録音ができません。

2. SDメモリーカードへの録音

録音の設定

CDの再生と同時に録音を開始する「自動録音」と、お好みの曲を選んで録音する「選んで録音」を切り替えることができます。

チェック

走行中および録音中は、録音設定をすることができません。

1 設定・編集画面（オーディオ）（77 ページ参照）で、**CD⇒SD 録音設定** にタッチします。

2 自動録音の **する** 、または **しない** にタッチします。

- **する** ：自動で録音する（388 ページ参照）場合にタッチします。
- **しない** ：手動で録音する（389 ページ参照）、またはCDの中からお好みのトラック（曲）を選んで録音する（389 ページ参照）場合にタッチします。



● CD録音設定画面

3 選んで録音の **する** 、または **しない** にタッチします。

- **する** ：CDの中からお好みのトラック（曲）を選んで録音する（389 ページ参照）場合にタッチします。
- **しない** ：手動で録音する（389 ページ参照）場合にタッチします。

4 **完了** にタッチします。

SDメモリーカードへ録音する

⚠ 重要

エンジンスイッチをONにした状態で録音してください。録音中に車両のエンジンスイッチをOFF（LOCK）にしないでください。音楽用SDメモリーカード内のデータが破損するおそれがあります。録音中にエンジンスイッチをOFF（LOCK）にする場合は、録音を停止してください。

本機は、CD（アルバム／シングルディスク）のみ録音することができます。

CDの録音は、全ての曲を自動、または手動で録音する方法と、録音したい曲を選んで録音する方法があります。

録音中は下記のスイッチが使用できなくなります。

ソース（音声モード）	使用できないスイッチ	
	タッチスイッチ	パネルスイッチ
CD プレーヤー	RPT RAND SCAN	※2
SDメモリーカード	タイトル入力	制約なし
上記以外※1	制約なし	制約なし

※1 録音しながら、ソースをラジオや iPod、VTRなどに切り替えた場合。

※2 録音済みの曲は操作することができます。

■自動で録音する

CD を再生すると同時に、自動的に録音を開始することができます。

1 CD録音設定画面（388 ページ参照）で、自動録音の **する** にタッチします。

2 音楽用SD メモリーカードを差し込みます。（38 ページ参照）

3 CD を差し込みます。
（42 ページ参照）

- 再生と録音を開始します。
- 録音された音楽がスピーカーから出力されます。
- 録音中は録音完了トラック（曲）数／録音トラック（曲）総数をインジケータで表示します。（例：●12／24）
- 録音を途中で停止する場合は、**録音停止** にタッチします。
- 全曲の録音が完了すると、自動で録音を終了します。再生は継続されます。

■手動で録音する

1 CD録音設定画面（388 ページ参照）で、自動録音の **しない** 、選んで録音の **しない** にタッチします。

2 音楽用SD メモリーカードを差し込みます。（38 ページ参照）

3 CD を差し込みます。
（42 ページ参照）

4 AV を押します。

5 **録音開始** にタッチします。

- 再生と録音を開始します。
- 録音された音楽がスピーカーから出力されます。
- 録音中は録音中は録音完了トラック（曲）数／録音トラック（曲）総数をインジケータで表示します。（例：●12／24）
- 録音を途中で停止する場合は、**録音停止** にタッチします。
- 全曲の録音が完了すると、自動で録音を終了します。再生は継続されます。



■CDの中からお好みのトラック（曲）を選んで録音する

お好みのトラック（曲）だけを選んで録音することができます。

CD操作画面で録音する場合

1 CD録音設定画面（388 ページ参照）で、自動録音の **しない** 、選んで録音の **する** にタッチします。

2 音楽用SD メモリーカードを差し込みます。（38 ページ参照）

3 CD を差し込みます。
（42 ページ参照）

4 AV を押します。

2. SDメモリーカードへの録音

5 録音開始 にタッチします。



6 録音したいトラック（曲）にタッチします。

- 複数のトラックを同時に選ぶ場合、選びたいトラック全てにタッチします。
- 一度選んだトラックにもう一度タッチすると、キャンセルすることができます。
- 全選択 にタッチすると、全てのトラックが選択され、全解除 にタッチすると、選択をやり直すことができます。



7 完了 にタッチします。

- 選んだトラックの再生と録音を開始します。
- 録音された音楽がスピーカーから出力されます。
- 録音中は録音中は録音完了トラック（曲）数／録音トラック（曲）総数をインジケータで表示します。（例：●12／24）
- 録音を途中で停止する場合は、録音停止 にタッチします。
- 選んだ曲の録音が完了すると、自動で録音を終了します。再生は継続されます。

ワンポイント

- ●録音中の再生音は、音楽用SDメモリーカードに録音された音（AAC圧縮技術で圧縮された音声）のため、CD再生時とは異なった音で聞こえる場合があります。
- ●SCMS（シリアルコピーマネージメントシステム）に対応しているため、次のCDからは録音できません。
  - ・オーディオ機器を使用して録音した CD-RやCD-RW（パソコンを使用して作成、または複製したCD-RやCD-RWは、ライティングソフトウェアの仕様に依存されます。）
  - ・録音が禁止されている音楽CD
- ●MP3・WMAを記録したCD-RやCD-RWからは録音できません。
- ●DTS-CDからは録音できません。

CD操作画面以外で録音する場合

1 CD録音設定画面（388 ページ参照）で、自動録音の しない 、選んで録音の する にタッチします。

2 音楽用SDメモリーカードを差し込みます。（38 ページ参照）

3 CDを差し込みます。（42 ページ参照）

- CD が差し込まれている場合、ソースをCD/DVDに切り替えます。（340 ページ参照）

4 情報 を１秒以上押します。

5 録音したいトラック（曲）にタッチします。

- 複数のトラックを同時に選ぶ場合、選びたいトラック全てにタッチします。
- 一度選んだトラックにもう一度タッチすると、キャンセルすることができます。
- **全選択** にタッチすると、全てのトラックが選択され、**全解除** にタッチすると、選択をやり直すことができます。



6 **完了** にタッチします。

- 選んだトラックの再生と録音を開始します。
- 録音された音楽がスピーカーから出力されます。
- 録音中は録音中は録音完了トラック（曲）数／録音トラック（曲）総数をインジケータで表示します。（例：●12／24）
- 録音を途中で停止する場合は、 情報 を1秒以上押します。
- 選んだ曲の録音が完了すると、自動で録音を終了します。再生は継続されます。

ワンポイント

- 録音中の再生音は、音楽用SDメモリーカードに録音された音（AAC圧縮技術で圧縮された音声）のため、CD再生時とは異なった音で聞こえる場合があります。
- SCMS（シリアルコピーマネージメントシステム）に対応しているため、次のCDからは録音できません。
  - ・オーディオ機器を使用して録音した CD-RやCD-RW（パソコンを使用して作成、または複製したCD-RやCD-RWは、ライティングソフトウェアの仕様に依存されます。）
  - ・録音が禁止されている音楽CD
- MP3・WMAを記録したCD-RやCD-RWからは録音できません。
- DTS-CDからは録音できません。
- 全ての曲を録音したい場合は、**「録音の設定」**（388ページ）で選んで録音を **しない** に設定してください。

3. SDメモリーカードの聞き方

走行中は安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります。



SDメモリーカードを聞く

チェック

本機で音楽を録音した音楽用SDメモリーカードのみ再生することができます。（386ページ参照）

1 音楽用SDメモリーカードを差し込みます。（38 ページ参照）

2 AV を押します。

3 SD にタッチします。



ワンポイント

音楽用SDメモリーカードに録音された音楽が、オートタイトリング機能（382 ページ参照）により、アーティスト名、アルバム名、曲名を付与した場合、半角25文字、全角12文字まで表示されます。

再生中のプレイリストの中で聞きたいトラック（曲）を選ぶ

■選曲・頭出しスイッチから選ぶ

選択されているプレイリスト内でトラックを切り替えることができます。

1 ⏭、または ⏮ を押します。

- ⏭：次曲を選ぶとき
- ⏮：頭出し・前曲を選ぶとき

ワンポイント

ランダム再生中（394 ページ参照）は、ランダムに曲を切り替えます。

■一覧から選ぶ

1 TRACKの **選択** にタッチします。

2 聞きたいトラックにタッチします。

● 選んだトラックを再生します。



聞きたいアルバムを選ぶ

■アルバム切り替えスイッチから選ぶ

1 ALBUMの ▲ 、または ▼ にタッチします。

● ▲ （上側）:次のアルバムを選ぶ
▼ （下側）:前のアルバムを選ぶ

■一覧から選ぶ

チェック

各プレイモードは、プレイリストが作成されていないと選べません。

1 ALBUMの **選択** にタッチします。

2 検索したいプレイモードにタッチします。

● **アーティスト** のプレイモードを選んだときは、アーティスト名にタッチします。



3 再生したいアルバムにタッチします。

● 選択したアルバムの先頭の曲が再生されます。

● **アーティスト** のプレイモードを選んだときは、**選択完了** にタッチするとSDメモリーカード操作画面にもどります。



4 **戻る** にタッチします。

3. SDメモリーカードの聞き方

早送り・早戻しする

1 ▶▶| 、|◀◀ を“ピッ”と音がするまで押します。

- ▶▶| : トラック（曲）を進めるとき
  |◀◀ : トラック（曲）を戻すとき
- “ピッ”と音がすると早送り（早戻し）モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り（早戻し）します。

聞きたいトラック（曲）を探す

1 SCAN にタッチします。

- 再生中のプレイリスト内、全曲の始めの10秒間だけ順に再生します。
- “ピーッ”と音がするまでタッチすると、再生中のプレイモード内、全プレイリストの1曲目に収録されている曲を曲の始めの10秒間だけ順に再生します。
- もう一度 SCAN にタッチすると、そのプレイリストで再生を続けます。

聞きたいトラック（曲）を繰り返し聞く

1 RPT にタッチします。

- 再生中の曲を繰り返し再生します。
- “ピーッ”と音がするまでタッチすると、再生中のプレイリスト内の全曲を繰り返し再生します。
- 一度 RPT にタッチすると、解除するまで繰り返します。もう一度 RPT にタッチすると解除されます。

トラック（曲）の順番をランダムに聞く

1 RAND にタッチします。

- 再生中のプレイリスト内の全曲でランダム再生します。
- “ピーッ”と音がするまでタッチすると、音楽用SDメモリーカードに録音されている全てのトラック（曲）でランダム再生します。
- 一度 RAND にタッチすると、解除するまでランダム再生します。もう一度 RAND にタッチすると解除されます。

SDメモリーカードを止める

1 A V を1秒以上押します。

- 再度、A V を1秒以上押すと、再生が再開されます。

4. マイベストの編集

本機は、音楽用SDメモリーカードに録音すると、アーティスト名や録音日順などのプレイリストを自動で作成し、グループ分けしますが、お好みのトラック（曲）を集めたオリジナルプレイリストを作成することができます。また、プレイリストの名称の編集をすることができます。

プレイリストの作成

プレイモードのマイベストにお好みの曲だけを集めたプレイリストを作成することができます。

■ プレイリストを作成する

1 音楽用SDメモリーカードを差し込みます。（38 ページ参照）

2 設定・編集画面（オーディオ）（77 ページ参照）で、**サウンドライブラリ編集** にタッチします。

3 マイベストの **新規作成** にタッチします。



4 タイトルを入力します。

● 名称の入力については、**「プレイリストの名称入力」**（397ページ）を参照してください。



5 タイトルを確認し、**完了** にタッチします。

● トラック追加画面が表示され、作成したプレイリストにトラックを追加することができます。詳しくは、**「作成したプレイリストにトラックを追加する」**（396ページ）を参照してください。

4. マイベストの編集

作成したプレイリストにトラックを追加する

1 追加したいトラックを検索するためのプレイモードにタッチします。

● **アーティスト** のプレイモードを選んだときは、アーティスト名にタッチします。



2 追加したいトラックが収録されているプレイリストにタッチします。



3 追加したいトラックにタッチします。

● 複数のトラックを同時に追加する場合は、追加するトラック全てにタッチしてください。

● 一度選んだトラックにもう一度タッチするとキャンセルすることができます。

● **全選択** にタッチすると、全てのトラックが選択され、**全解除** にタッチすると選択をやり直すことができます。

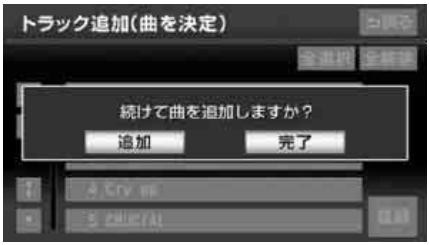


4 **登録** にタッチします。

● 選んだトラックをプレイリストの一番先頭に追加します。

5 **完了** にタッチします。

● **追加** にタッチすると、**1** の画面に戻り、続けて他のプレイリストからトラックを追加することができます。



ワンポイント

一度に選ぶことができるトラック数は最大99個です。

プレイリストの名称入力

1 文字を1文字ずつタッチして入力します。

- ひらがなと漢字以外の文字を入力するときは、**カナ**（カタカナ）、**英数字**、**数記号**（数字・記号）にタッチして、入力画面を切り替えます。
- カナ入力、英字入力、数・記号入力については**「カナ、英字、数・記号の入力」**（397ページ）を参照してください。
- 間違えた（または入力されている）ときは**修正**にタッチすると、1文字ずつ消去されます



2 ひらがなのときは、**無変換**、漢字のときは、**変換**にタッチします。



3 **変換**にタッチしたときは、変換する熟語リストで、入力する熟語にタッチします。

- 変換する文字の範囲を変更するときは、◀・▶にタッチして、範囲を変更し、再度**変換**にタッチします。



4 **全確定**にタッチします。

5 **完了**にタッチします。

■カナ、英字、数・記号の入力

1 **カナ**、**英数字**、**数記号**にタッチします。

2 **半角**、または**全角**にタッチして、入力する文字の大きさを切り替えます。



4. マイベストの編集

3 文字を１文字ずつタッチして入力します。

● 間違えた（または入力されている）ときは **修正** にタッチすると、１文字ずつ消去されます。



4 **完了** にタッチします。

プレイリストの名称編集

マイベストに登録されているプレイリストの名称を編集することができます。

1 音楽用SDメモリーカードを差し込みます。（38 ページ参照）

2 設定・編集画面（オーディオ）（77 ページ参照）で、**サウンドライブラリ編集** にタッチします。

3 マイベストの **名称修正** にタッチします。



4 編集したいプレイリストにタッチします。



5 タイトルを入力します。

● 名称の入力については、**「プレイリストの名称入力」**（397ページ）を参照してください。



プレイリストの編集

マイベストに登録されているプレイリストを編集することができます。

1 音楽用SDメモリーカードを差し込みます。（38 ページ参照）

2 設定・編集画面（オーディオ）（77 ページ参照）で、**サウンドライブラリ編集** にタッチします。

3 マイベストの **編集** にタッチします。



4 編集したいプレイリストにタッチします。

● マイベスト編集画面が表示されます。



● マイベスト編集画面から次の編集を行うことができます。
- トラックの追加（399 ページ参照）
- トラックの並べ替え（400 ページ参照）
- トラックの削除（401 ページ参照）
- プレイリストの削除（401 ページ参照）



● **マイベスト編集画面**

■ トラック（曲）を追加する

作成したプレイリストにトラックを追加することができます。

1 マイベスト編集画面（398 ページ参照）で **トラックを追加** にタッチします。

2 プレイモードにタッチします。

● **アーティスト** のプレイモードを選んだときは、アーティスト名にタッチします。



3 追加したいトラックが登録されているアルバムにタッチします。



4. マイベストの編集

4 追加したいトラックにタッチします。

- 複数のトラックを同時に追加する場合、追加するトラック全てにタッチしてください。一度に選ぶことができるトラック数は99曲までです。
- 一度選んだトラックにもう一度タッチするとキャンセルすることができます。
- 全選択 にタッチすると、全てのトラックが選択され、全解除 にタッチすると、選択をやり直すことができます。

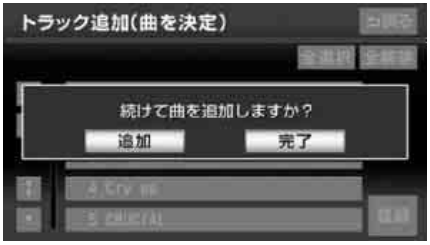


5 登録 にタッチします。

- 選んだトラックがマイベストの一番先頭に追加されます。

6 完了 にタッチします。

- 追加 にタッチすると、 2 の画面に戻り、続けて他のアルバムからトラックを追加することができます。



ワンポイント

- マイベストは、プレイリストが作成されていないと選択できません。
- 同じトラックを2回以上登録してもマイベストに重複して表示されません。

■ トラックを並べ替える

プレイリストに追加したトラックを並べ替えることができます。

1 マイベスト編集画面（398 ページ参照）で トラックを並替 にタッチします。

2 トラックにタッチします。



3 移動させたい場所の 並替 にタッチします。

4 完了 にタッチします。

■ トラックを消去する

プレイリストに追加したトラックを消去することができます。

1 マイベスト編集画面（398 ページ参照）で **トラックを削除** にタッチします。

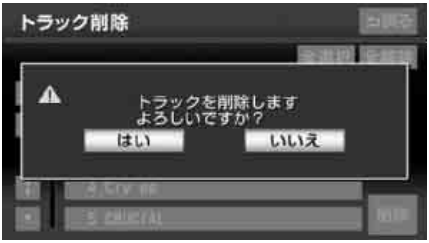
2 消去するトラックにタッチします。

- 複数のトラックを同時に消去する場合、消去するトラック全てにタッチしてください。一度に選ぶことができるトラック数は99曲までです。
- 一度選んだトラックにもう一度タッチするとキャンセルすることができます。
- **全選択** にタッチすると、全てのトラックが選択され、**全解除** にタッチすると、選択をやり直すことができます。



3 **削除** にタッチします。

4 **はい** にタッチします。



ワンポイント

- 消去したトラックは、マイベストから消去されますが、音楽用SDメモリーカードに保存されていますので、マイベスト以外のプレイモードから検索して再生することができます。
- 全てのトラックを消去すると、トラックが収録されていたプレイリストもマイベストから消去されます。

■ プレイリストを消去する

作成したプレイリストを消去することができます。

1 マイベスト編集画面（398 ページ参照）で **このマイベストを削除** にタッチします。

2 **はい** にタッチします。



ワンポイント

消去したプレイリストに登録されていたトラックは、マイベストから消去されますが、音楽用SDメモリーカードに保存されていますので、マイベスト以外のプレイモードから検索して再生することができます。

5. アルバム情報の編集

アルバム情報の編集を行います。録音時に自動で作成されたアルバムのアーティスト名やアルバム名、曲名などを編集することができます。

アルバム情報の編集

録音時に自動で作成されたアルバムのアーティスト名やアルバム名、トラック名などを変更することができます。

■アルバム修正画面の呼び出し

SDメモリーカード操作画面から呼び出す

1 タイトル入力 にタッチします。

● アルバム修正画面が表示されます。



● アルバム修正画面から次の編集を行うことができます。

- アルバム名称の変更（404 ページ参照）
- アルバム読み名称の変更（404 ページ参照）
- アーティスト名称の変更（404 ページ参照）
- アーティスト読み名称の変更（405 ページ参照）
- トラック名称の変更（406 ページ参照）
- タイトル情報の再取得（406 ページ参照）



● アルバム修正画面

設定・編集画面（オーディオ）から呼び出す

1 音楽用SDメモリーカードを差し込みます。（38 ページ参照）

2 設定・編集画面（オーディオ）（77 ページ参照）で、
サウンドライブラリ編集 にタッチします。

3 アルバムの **修正** にタッチします。



4 プレイモードにタッチします。

● **アーティスト** のプレイモードを選んだときは、アーティスト名にタッチします。



5 編集したいアルバムにタッチします。

● アルバム修正画面が表示されます。



● アルバム修正画面から次の編集を行うことができます。
- アルバム名称の変更（404 ページ参照）
- アルバム読み名称の変更（404 ページ参照）
- トラック名称の変更（406 ページ参照）
- アーティスト名称の変更（404 ページ参照）
- アーティスト読み名称の変更（405 ページ参照）
- タイトル情報の再取得（406 ページ参照）



● アルバム修正画面

5. アルバム情報の編集

■アルバム名称を変更する

1 アルバム修正画面（402 ページ参照）で **アルバム** にタッチします。

2 アルバム名称を入力します。

● 名称の入力については、**「プレイリストの名称入力」**（397ページ）を参照してください。



■アルバム読み名称を変更する

1 アルバム修正画面（402 ページ参照）で **アルバム読み** にタッチします。

2 アルバム読み名称を入力します。

● 名称の入力については、**「プレイリストの名称入力」**（397ページ）を参照してください。



■アーティスト名称を変更する

1 アルバム修正画面（402 ページ参照）で **トラック名を修正** にタッチします。

2 変更したいトラックにタッチします。



3 **トラックアーティスト** にタッチします。



4 マニュアル入力する 、または リストから選択する にタッチします。



- マニュアル入力する にタッチすると、アーティスト名称修正画面が表示されて、名称を入力することができます。名称の入力については、**「プレイリストの名称入力」**（397ページ）を参照してください。



- リストから選択する にタッチすると、アーティスト名称リスト選択画面が表示されて、リストから選択することができます。



■アーティスト読み名称を変更する

1 アルバム修正画面（402 ページ参照）で トラック名を修正 にタッチします。

2 修正したいトラックにタッチします。



3 トラックアーティスト読み にタッチします。



4 アーティスト読み名称を入力します。

- 名称の入力については、**「プレイリストの名称入力」**（397ページ）を参照してください。



5. アルバム情報の編集

■ トラック名称を変更する

1 アルバム修正画面（402 ページ参照）で **トラック名を修正** にタッチします。

2 変更したいトラックにタッチします。



3 **トラック** 、または **トラック読み** にタッチします。



4 名称を入力します。

● 名称の入力については、**「プレイリストの名称入力」**（397ページ）を参照してください。



■ タイトル情報を再取得する

録音時にタイトル情報が付与できなかった場合や、間違ったタイトルが付与された場合など、再度、地図SDカードのデータベースを検索し、該当する情報を付与することができます。

1 アルバム修正画面（402 ページ参照）で **SD で検索** にタッチします。

● 該当するタイトル情報を取得後、**2** の画面が表示されます。



● 複数のタイトル情報が存在する場合は、CDタイトル候補リスト画面が表示されます。該当するタイトルにタッチします。



2 **登録** にタッチします。



トラックの消去

録音したアルバムやアルバムに収録されているトラックを消去することができます。

1 音楽用SDメモリーカードを差し込みます。(38 ページ参照)

2 設定・編集画面（オーディオ）(77 ページ参照）で、**サウンドライブラリ編集** にタッチします。

3 アルバムの **削除** にタッチします。



4 プレイモードを選びます。

● **アーティスト** のプレイモードを選んだときは、アーティスト名にタッチします。



5 削除したいトラックが収録されているアルバムにタッチします。



6 **トラックを削除** にタッチします。

● **このアルバムを削除** 、 **はい** の順にタッチすると、アルバムを削除することができます。



次ページに続く

5. アルバム情報の編集

7 削除したいトラックにタッチします。

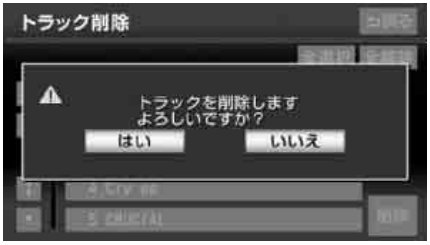
- 複数のトラックを同時に消去する場合、消去するトラック全てにタッチしてください。
- 一度選んだトラックにもう一度タッチするとキャンセルすることができます。
- 全選択 にタッチすると、全てのトラックが選択され、全解除 にタッチすると選択をやり直すことができます。



8 削除 にタッチします。

- 消去確認メッセージが表示されます。

9 はい にタッチします。



ワンポイント

- 全てのトラックを消去すると、トラックが収録されていたアルバムもプレイリストから消去されます。
- 消去したトラックやアルバムは、音楽用SDメモリーカードから消去されますので、再生することができません。

1. TVをお使いになる前に

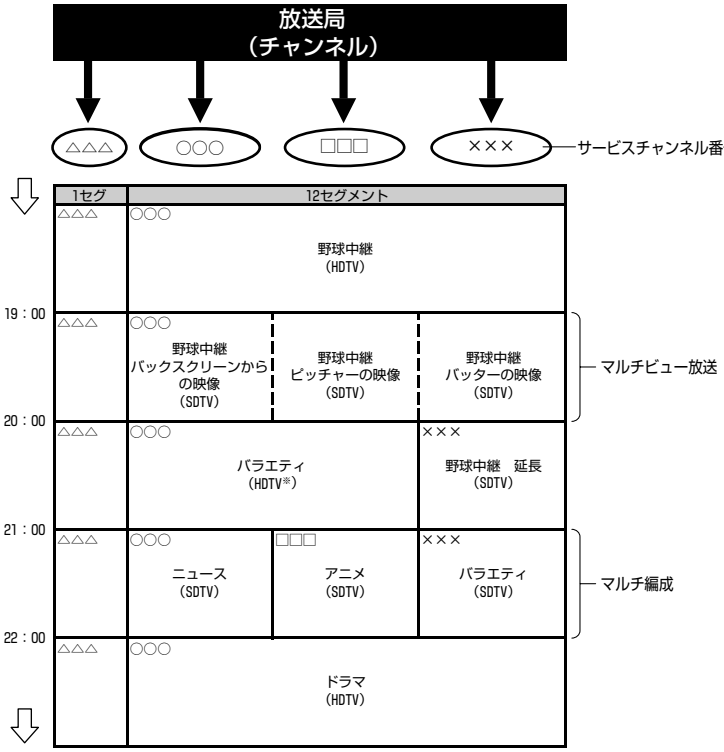
地上デジタルTV放送は、１つのチャンネルが13の「セグメント」という単位で分割されています。一般的に、地上デジタルTV放送は１２セグメントを使用した、ハイビジョン映像(HDTV)や標準映像（SDTV)の放送を指します。１セグメントはワンセグ放送と呼ばれる携帯端末向けの放送に使用されます。

標準映像の番組は４セグメントを使用するため、最大で３つの番組を同時に提供するマルチ編成や、１つの番組で最大で３つの映像を提供するマルチビュー放送をおこなうことができます。

チェック

●地上デジタルTV放送を視聴するには、mini B-CASカードが必要です。

●TV機能を初めてご使用なる際は、初回起動時の設定が必要になります。



※ 標準映像の番組も同時に放送しているため、12 セグメントを使用したハイビジョン映像より低画質となります。

ワンポイント

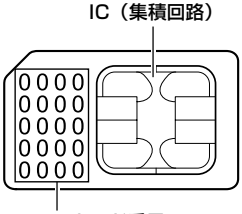
●ワンセグ放送のサービスチャンネル番号は、611～728に割り当てられています。

●ワンセグ放送は、テレビ放送事業者（放送局）などにより提供されるサービスです。

1. TVをお使いになる前に

mini B-CASカードについて

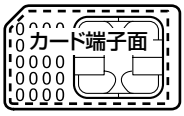
mini B-CASカードは、デジタル放送の番組の著作権保護などに利用するカードです。地上デジタルTV放送を受信するときは、必ずmini B-CASカードを本機に差し込んでください。mini B-CASカードの動作確認については**「mini B-CASカードの動作確認」**（433ページ）を参照してください。



カードを運用・管理するための番号です。
問い合わせの際に必要です。

■取り扱いについての注意

- 使用許諾契約約款をお読みのうえ、使用者ご自身でパッケージを開封し、カードを本機に正しく差し込んでください。
- mini　B-CASカードの説明書をよくお読みのうえ、お使いください。
- 使用許諾契約約款をお読みのうえ、お使いください。
- mini B-CASカードを挿入しないと、デジタル放送を視聴することができません。(ワンセグ放送は視聴することができます。)
- 重いものをのせないでください。
- 水をかけたり、濡れた手で触らないでください。
- カード端子面には手を触れないでください。



- カード端子面を手で触れた場合、手に付着している目に見えない異物が端子面に付着し、カードの読み取り不良が発生する恐れがあります。
- 端子面に触れてしまい、カードの読み取り不良が発生した場合には、工業用アルコール（純度の高いエタノール）を染み込ませた綿棒で、端子面全体を直線でなぞるように、まんべんなく拭き取ってください。拭き取り後も同様の症状が発生する場合には、お買い上げの販売店にご相談いただくか、カードを交換してください。
- 分解、改造はしないでください。
- 折り曲げたり、変形させたりしないでください。
- 高温になるところにカードを放置しないでください。
- バス・タクシーなど、不特定または多数の人の視聴を目的とした業務用途には使用できません。

より詳しい情報は、http://www.b-cas.co.jpをご覧ください。

■mini B-CASカードに関する問い合わせ

mini B-CASカードの所有権は株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにあります。mini B-CASカードに関するお問い合せは、下記へご連絡ください。

- カードの故障については、コピー制御お問合せセンターへお問い合せ下さい。
  電話番号　0570-000-288
  受付時間　AM10:00～PM8:00（年中無休）

● カードの故障や車載機の廃棄などによりmini B-CASカードの交換、廃棄が必要になったときは、株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズカスタマーセンターに連絡して交換、返却の手続きをしてください。

電話番号　0570-000-250

受付時間　AM10:00～PM8:00（年中無休）

mini B-CASカードの差し込み・取り出し方について

■mini B-CASカードを差し込む

⚠ 警告

miniB-CASカードを取り出している場合、カードを乳幼児の手の届かないところに保管してください。誤って飲み込むと窒息、またはけがの恐れがあります。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

⚠ 重要

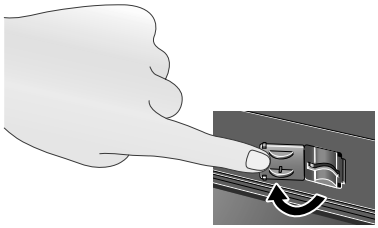
- ●mini B-CASカード以外のものを差し込まないでください。故障や破損の原因となります。
- ●mini B-CASカードは、“カチッ”と音がするまで差し込んでください。しっかり差し込まれていないと、受信不良などの原因になります。
- ●mini B-CASカードを抜き差ししたときは、3秒以上経ってからmini B-CASカードの動作確認を行ってください。

チェック

mini B-CASカードは、ラベル貼付面を上、IC側を下にして差し込んでください。

1 ディスプレイを開けます。（38 ページ参照）

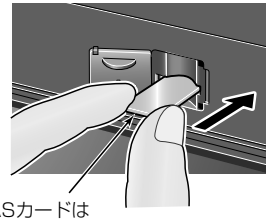
2 カードスロットカバーを開けます。



3 カードスロットにmini B-CASカードを“カチッ”と音がするまで差し込みます。

● mini　B-CASカードを差し込むときはカード側面を挟むように持って端子面に指が被らないように注意してください。

● mini　B-CASカードを差し込むときや取り出すときは、指などがディスプレイに触れないように注意してください。不意に CLOSE をタッチした場合、ディスプレイが閉じます。



miniB-CASカードはラベル貼付面を上、IC側を下にする

4 カードスロットカバーを閉じます。

● カードスロットカバーを確実に閉じた後でディスプレイを閉じてください。

次ページに続く

1. TVをお使いになる前に

5 ディスプレイを閉じます。（38 ページ参照）

6 mini B-CASカードの動作確認をします。

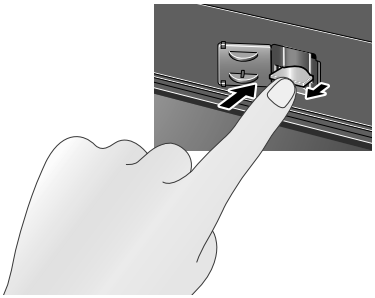
● mini　B-CASカードの動作確認は必ず行ってください。
詳しくは、**「mini B-CASカードの動作確認」**（433ページ）を参照してください。

■mini B-CASカードを取り出す

1 ディスプレイを開けます。（38 ページ参照）

2 カードスロットカバーを開けます。（411 ページ参照）

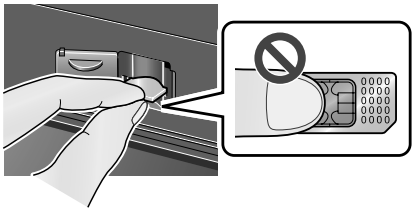
3 カードロックを解除します。



4 mini B-CASカードを半分までつまみ出します。

● mini B-CASカードを摘むときは、端子面に指が被らないように注意してください。

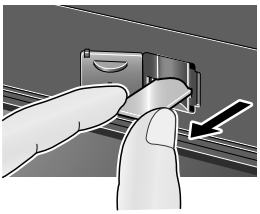
● mini B-CASカードを取り出すときは、指などがディスプレイに触れないよう注意してください。CLOSE にタッチすると、ディスプレイが閉じます。



5 mini B-CASカードを引き出します。

● mini　B-CASカードは水平方向に引き出してください。

● mini　B-CASカードを取り出すときは、カード側面を挟むように持って端子面に指が被らないように注意してください。



6 カードスロットカバーを閉じます。

● カードスロットカバーを確実に閉じた後でディスプレイを閉じてください。

7 ディスプレイを閉じます。（38 ページ参照）

ワンポイント

ご使用中はmini B-CASカードを抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。

初回起動時の設定

ご購入後、はじめてTVをお使いになる前に、居住地域の設定やホームプリセットの設定を行なう必要があります。

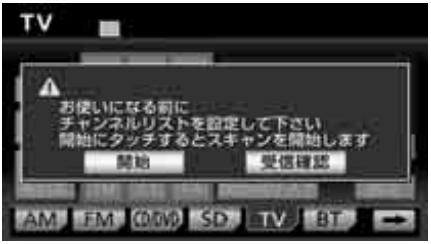
1 A V を押します。

2 **TV** にタッチします。

● TV 操作画面になり、メッセージがオンスクリーン表示されます。



3 **開始** にタッチします。



4 お住まいの郵便番号７桁を入力します。

● 数字を１文字ずつタッチして入力します。

● 間違えたときは、**修正** にタッチすると、１番号ずつ消去されます。



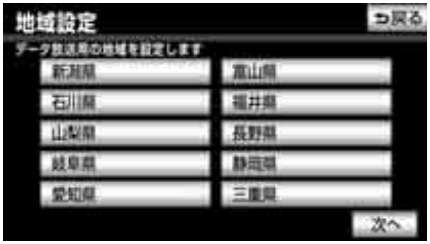
5 **次へ** にタッチします。

6 お住まいの地方にタッチします。

● 東京都島部（伊豆・小笠原諸島）と鹿児島県島部（南西諸島の鹿児島県域）にお住まいの方は、**沖縄地方・その他** にタッチしてください。



7 お住まいの都道府県にタッチします。



次ページに続く

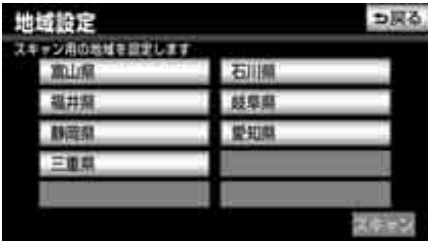
1. TVをお使いになる前に

8 次へ にタッチします。

9 お住まいの地方にタッチします。

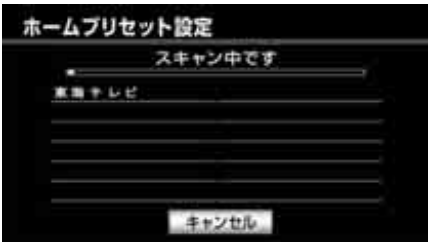


10 お住まいの都道府県にタッチします。



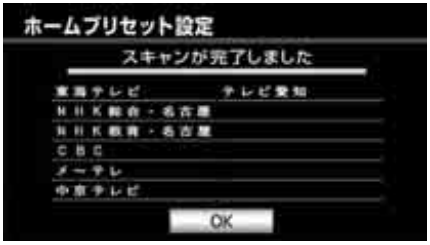
11 スキャン にタッチします。

- ホームプリセット設定画面が表示されて、自動で放送局の受信が始まります。
- キャンセル にタッチすると放送局の受信を中止します。



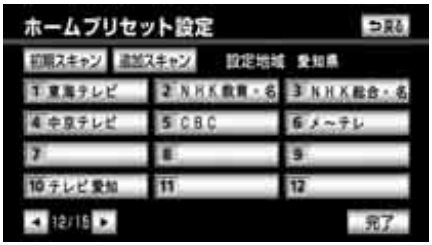
12 OK にタッチします。

- 最大36局まで受信し、受信した放送局をプリセットスイッチに割り当てて表示します。



13 完了 にタッチします。

- プリセットスイッチに表示された放送局の内容で記憶され、TV操作画面になります。



ワンポイント

- 受信される地域によっては、放送局を表示するまで約5分程度かかる場合があります。
- 引越しなどで居住地域やチャンネルを再度設定したいときは、**「初期設定を変更する」**（429ページ）を参照してください。
- プリセットスイッチに表示されていない放送局を記憶したい、またはプリセットスイッチの順番を変更したい場合は、プリセットスイッチの編集ができます。（432ページ参照）

2. TVの操作

エンジンスイッチがONまたはACCで、さらに安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけた場合のみ、地上デジタルTV放送をご覧になることができます。（パーキングブレーキを解除したときは、地図画面を表示して音声のみ出力します。）



TVを見る

チェック

ご購入後、はじめてお使いになる、または個人情報の消去を行った後は、**「初回起動時の設定」**（413ページ）が必要になります。

1 AV を押します。

2 TV にタッチします。

- TV操作画面になります。
- 全画面 、または映像にタッチすると全画面になります。TV操作画面にしたいときは、AV または画面にタッチします。



■受信レベルについて

TV操作画面右上に受信レベルが表示されます。

表示					
レベル	圏外	微弱	◄	►	強

ワンポイント

- 別売の後席用モニターを接続すると、走行中でも後席で地上デジタルTV放送をご覧になることができます。
- 電波の受信状態が悪くなった場合、画面が静止して音が出なくなることがあります。
- 本機はハイビジョン放送の受信は可能ですが、表示は標準映像となります。
- 地上デジタルTV放送では、5.1chをAAC方式で圧縮した番組（AAC5.1ch 放送）を放送していることがあります。本機はAAC5.1ch 放送には対応していません。AAC5.1ch 放送を受信した場合、2ch再生となります。
- 本機は双方向通信に対応していません。
- 画面継続表示の設定を しない に設定した場合、TV操作画面を表示させてから約20秒以上操作をしなかったときは、TV操作画面は自動解除され、もとの画面に戻ります。また、する に設定すると、TV 操作画面は自動解除されずに継続して表示されます。（58 ページ参照）

2. TVの操作

プリセットモードを切り替える

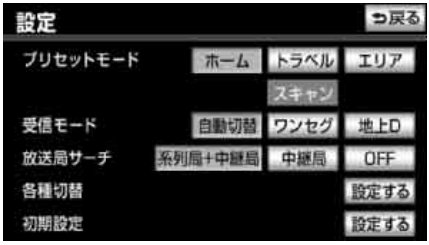
本機には、「ホーム」、「トラベル」、「エリア」の3つのプリセットモードがあり、状況に合わせて使い分けることができます。

スイッチ	機　能
ホーム	ホームプリセットで記憶したチャンネル（413ページ、430 ページ参照）をご覧になることができます。 普段お使いになるときは、このモードにします。
トラベル	旅先などお出かけ先で放送されているチャンネルをホームとは別にプリセットスイッチに記憶して、ご覧になることができます。自宅周辺に帰ってきたときは、ホームに戻すことができます。
エリア	現在地周辺で放送されているチャンネルをプリセットスイッチに表示して、ご覧になることができます。

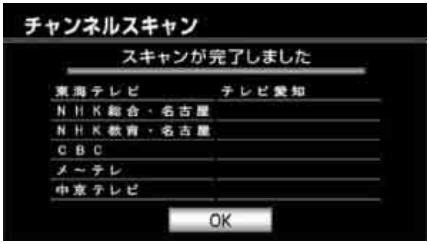
1 TV操作画面で **設定** にタッチします。

2 プリセットモードの **ホーム** 、**トラベル** 、または **エリア** にタッチします。

● プリセットモードを切り替えるごとに、操作画面に“ホーム”、“トラベル”、または“エリア”が表示されます。



● **トラベル** 選択時、**スキャン** を“ピーッ”と音がするまで長くタッチすると、自動的に選局を始め、選局完了後、**OK** にタッチすると、プリセットスイッチに記憶されます。



ワンポイント

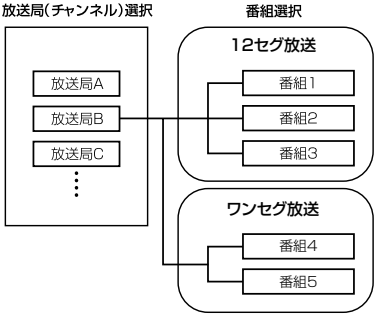
- 放送局名を表示できても、放送を受信できない場合があります。
- 放送を受信できても、放送局名を表示できない場合があります。
- ホームに記憶されているチャンネルは、状況により変更することができます。**「初期設定を変更する」**（429ページ）を参照してください。

見たいチャンネルを選ぶ

■地上デジタルTV放送のチャンネル構成について

地上デジタルTV放送は、1つのチャンネル（放送局）で複数の番組（サービス）を同時に放送することができます。1つのチャンネルで同じ番組を放送している場合があります。

ワンセグ放送についても、1つのチャンネルで複数の番組を放送している場合があります。



■チャンネル切り替えスイッチから選ぶ

1 、または を押します。

- 押すごとにチャンネルが切り替わります。
  : 次のプリセットチャンネルを選ぶとき
  : 前のプリセットチャンネルを選ぶとき

■プリセットスイッチから選ぶ

1 記憶されているプリセットスイッチにタッチします。

■放送局リストから選ぶ

各プリセットモードで記憶されているチャンネルを放送局名で選ぶことができます。

1 TV操作画面で **放送局リスト** にタッチします。

- プリセットされているチャンネルの放送局名を一覧で表示します。

2 見たい放送局名にタッチします。



- 裏番組表：放送局名と並んで現在放送中の番組名が表示されます。

次ページに続く

2. TVの操作

3 全画面 にタッチします。

ワンポイント

- ワンセグ放送のサービス番号は、611 ～ 728に割り当てられています。
- ご覧になっているチャンネルがワンセグ放送をおこなっていない場合、ワンセグ放送には切り替わりません。
- 放送局リストに表示される番組情報は、放送を受信した場合に表示されます。
- 放送局リストに表示される内容と実際の放送が異なる場合があります。
- プリセットモード（416 ページ参照）を エリア に設定している場合、放送局リストに裏番組表は表示されません。

見たい番組を選ぶ

地上デジタルTV 放送の１つのチャンネル（放送局）で、複数の番組（サービス）が同時に放送されている場合、番組を選ぶことができます。

■サービス切り替えスイッチから選ぶ

1 TV操作画面で サービス切替 にタッチします。

● タッチするごとに番組が切り替わります。

■サービスリストから選ぶ

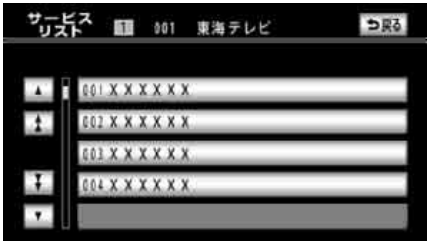
1 放送局リスト にタッチします。

2 サービスリスト にタッチします。

● 現在のチャンネルで放送されている番組名を一覧で表示します。



3 見たい番組名にタッチします。



ワンポイント

地上デジタルテレビ放送は１つのチャンネル（放送局）で複数の番組（サービス）を同時に放送することができます。違うチャンネルの番組に切り替えたい場合、チャンネルを選択した後、番組を切り替えてください。

受信モードを設定する

地上デジタルTV放送の受信方法を周囲の環境に合わせて設定することができます。

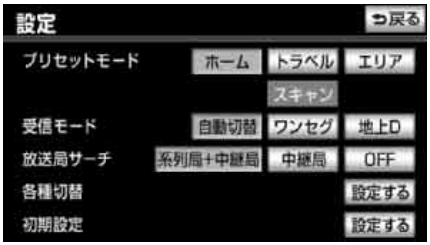
1 TV操作画面で 設定 にタッチします。

2 受信モードの **自動切替** 、**ワンセグ** 、または **地上D** にタッチします。

● **自動切替** ：通常の地上デジタルTV放送（12セグ）が周囲の環境により受信できなくなると、自動でワンセグ放送の受信に切り替わります。通常の地上デジタルTV放送（12セグ）が受信可能になると、自動でもとに戻ります。

ワンセグ ：周囲の環境に関係なく、常にワンセグ放送のみ受信します。

地上D ：周囲の環境に関係なく、常に通常の地上デジタルTV放送（12セグ）のみ受信します。



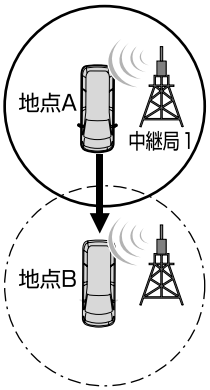
ワンポイント

● **自動切替** に設定すると、次のようになることがあります。
- 自動で切り替わった番組が、ご覧になっていた番組と異なることがあります。
- ワンセグ放送のサービスを行なっていない放送局をご覧になっている場合は、ワンセグ放送に切り替わりません。

● 放送局によっては、ワンセグ放送と地上デジタルTV放送で番組内容が異なることがあります。その場合は、見たい番組の受信モードに切り替えてください。

放送局（系列局／中継局）サーチを設定する

現在受信している放送局が受信できなくなった場合、その系列局や中継局を自動で探し受信できるように設定することができます。



チェック

放送局のサーチ中は、映像および音声が出力されず、「放送局サーチ中です」のメッセージが表示されます。

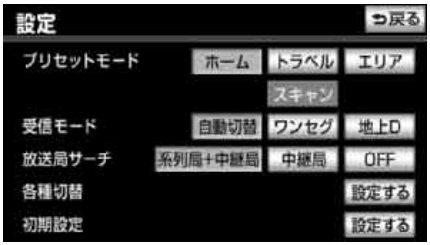
1 TV操作画面で **設定** にタッチします。

次ページに続く

2. TVの操作

2 放送局サーチの **系列局+中継局** 、**中継局** 、または **OFF** にタッチします。

- **系列局+中継局** ：受信していたエリアから外れた場合、その地点の周辺にある中継局を探します。中継局が見つからなかった場合は、系列局を探します。受信するとプリセットスイッチにチャンネルが更新されます。
- **中継局** ：受信していたエリアから外れた場合、その地点の周辺にある中継局を探します。受信するとプリセットスイッチにチャンネルが更新されます。
- **OFF** ：放送局のサーチを行いません。



ワンポイント

- 放送局のサーチ中、別売の後席用モニターに異なる映像が表示される場合がありますが、故障ではありません。
- プリセットモードで **エリア** を選択（416ページ参照）しているときは、放送局サーチでチャンネルが切り替わってもプリセットスイッチには更新されません。

画面表示・音声の切り替え

ご覧になっている番組が提供している、映像、音声、字幕、文字スーパー、音声多重放送をお好みに合わせて切り替えることができます。

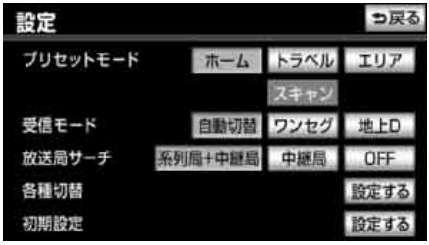
受信している映像、音声、字幕、文字スーパー、音声多重放送は各種切替画面で確認することができます。

■映像の切り替え

ご覧になっている番組が複数の映像を提供している場合、お好みに合わせて映像を切り替えることができます。

1 TV操作画面で **設定** にタッチします。

2 各種切替の **設定する** にタッチします。



3 **映像** にタッチします。

- **映像** にタッチするごとに、映像名および映像が切り替わります。



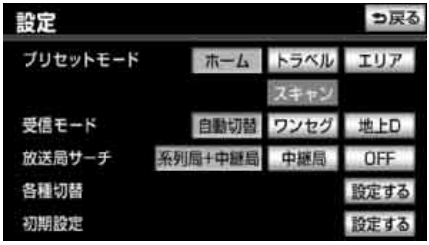
4 **完了** にタッチします。

■音声の切り替え

ご覧になっている番組が複数の音声を提供している場合、お好みに合わせて音声を切り替えることができます。

1 TV操作画面で **設定** にタッチします。

2 各種切替の **設定する** にタッチします。



3 **音声** にタッチします。

● **音声** にタッチするごとに、音声名および音声が切り替わります。



4 **完了** にタッチします。

ワンポイント

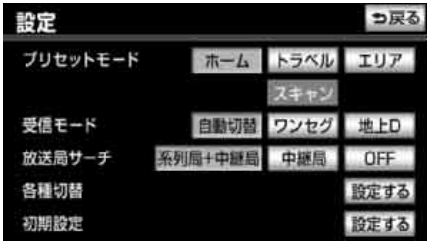
映像を切り替えると同時に、音声と字幕も切り替わることがあります。

■字幕言語の切り替え

ご覧になっている番組が字幕（日本語、英語等）を提供している場合、お好みに合わせて字幕言語を切り替えることができます。

1 TV操作画面で **設定** にタッチします。

2 各種切替の **設定する** にタッチします。



3 **字幕** にタッチします。

● **字幕** にタッチするごとに、次の順に字幕言語が切り替わります。

第1言語 → 第2言語 → OFF



4 **完了** にタッチします。

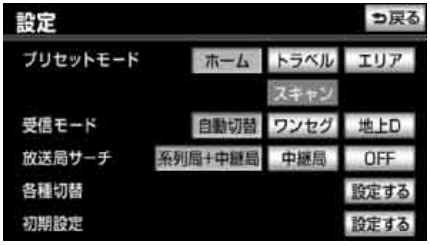
2. TVの操作

■二重音声の切り替え

ご覧になっている番組が音声多重放送を受信している場合、お好みに合わせて主音声と副音声を切り替えることができます。

1 TV操作画面で **設定** にタッチします。

2 各種切替の **設定する** にタッチします。



3 **二重音声** にタッチします。

● **二重音声** にタッチするごとに、次の順に音声が切り替わります。

主音声 MAIN → 副音声 SUB → 主/副音声 MAIN/SUB



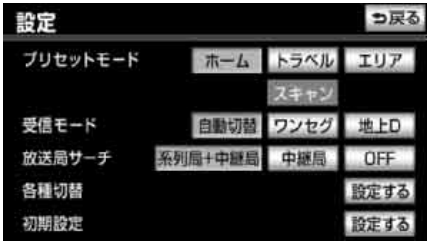
4 **完了** にタッチします。

■文字スーパーの切り替え

ご覧になっている番組が文字スーパーを提供している場合、表示言語を切り替えることができます。

1 TV操作画面で **設定** にタッチします。

2 各種切替の **設定する** にタッチします。



3 **文字スーパー** にタッチします。

● **文字スーパー** にタッチするごとに、次の順に言語が切り替わります。

第1言語 → 第2言語 → OFF



4 **完了** にタッチします。

緊急警報放送を受信したときは

緊急警報放送システム（EWS：Emergency Warning System）とは、放送局が緊急警報信号を送信し、地震や津波などの情報をお知らせするシステムです。緊急警報放送は、警戒宣言、津波警報、知事からの要請があったときに放送されます。

緊急警報放送を受信した場合、自動で放送内容が表示されます。放送が終了すると、自動的にもとのサービスにもどります。

TVを止める

1 A V を1秒以上押します。

● 再度、A V を1秒以上押すと、止める前のチャンネルが受信されます。

3. EPG（電子番組表）の使い方

EPGとは放送局が提供する、画面上で見ることができるテレビ番組表です。画面上で簡単に、見たい番組をさがすことができます。



ワンポイント

- EPGは、地上デジタルTV放送で現在から最大8日分、ワンセグ放送で最大10番組分表示することができます。
- 番組表に表示される内容と実際の放送が異なる場合があります。
- 現在の時刻より前の時間や日付の番組表は見ることができません。

EPG（電子番組表）を見る

1 TV操作画面で **放送局リスト** にタッチします。

2 **番組表** にタッチします。

- 番組表画面が表示されます。



日付を切り替える

前の日、次の日の番組表に切り替えることができます。

1 日付切り替えスイッチの ◀ 、または ▶ にタッチします。

- ▶ :番組表が次の日に切り替わります。
  ◀ :番組表が前の日に切り替わります。

放送局（チャンネル）を切り替える

放送局切り替えスイッチで見たい放送局の番組表を表示することができます。

1 放送局切り替えスイッチの ◀ 、または ▶ にタッチします。

番組を切り替える

番組（サービス）ごとに番組表を切り替えることができます。

1 サービス切替 にタッチします。

- サービス切替 にタッチするごとに番組（サービス）が切り替わります。

番組の内容を見る

1 番組表画面で内容が見たい番組にタッチします。

- 番組内容画面が表示されます。
- 番組内容が表示しきれない場合は、▲、▼ にタッチすると画面をスクロールすることができます。



ワンポイント

番組表や番組内容に表示される内容と実際の放送が異なる場合があります。

4. データ放送の使い方

データ放送とは映像の他に、図形や文字の情報を付加した放送です。受信するデータ放送により、番組に連動した情報、独立した情報を見ることができます。

データ放送を見る

チェック

データ放送を受信可能な場合、d マークが表示されます。

1 TV操作画面で **d操作** にタッチします。

● 操作スイッチが表示されます。

2 **d** にタッチします。

● データ放送画面が表示されます。



● データ放送画面で、**d** にタッチするとテレビ映像画面にもどります。

● **ボタン消** にタッチすると、操作スイッチが消えます。



● データ放送画面

ワンポイント

ワンセグ放送のデータ放送には対応していません。

データ放送を操作する

画面に表示される説明の順に操作すると、さまざまな情報を見ることができます。
受信したデータ放送は色ボタン、カーソル、10キー（テンキー）などで操作します。
また、データ放送の内容により、文字入力が必要な場合は、文字を入力することができます。
操作方法は受信したデータ放送により異なります。

1 TV操作画面で **d操作** にタッチします。

● 操作スイッチが表示されます。

● 色ボタンやカーソルなどの操作を行うことができます。

● データ放送の番組で文字入力欄にカーソルを移動させると、画面キーボードが表示されます。

ワンポイント

- データ放送の操作は、画面に表示される指示の順におこなってください。
- データ放送の内容により、入力する文字の種類は限定されることがあります。（カナのみなど）
- データ放送には双方向サービス（クイズやテレビショッピングに視聴者がリアルタイムで参加できるサービス）をおこなっている番組があります。本機にはデジタルテレビ放送用の通信機能がないため、双方向通信に対応していません。
- 番組によっては、独自の画面キーボードを表示します。その場合は、画面にしたがって操作してください。

■色ボタン・カーソルの操作について

データ放送を操作するときに、色ボタンとカーソルを使用します。

1 表示 にタッチします。



2 色ボタン、またはカーソルにタッチします。

● 移動 にタッチするごとに、操作スイッチの位置が左右に切り替わります。



3 カーソルにタッチしたときは、選択後 決定 にタッチします。

■10キー（テンキー）の操作について

数字を入力するときに使用します。

1 数字 にタッチします。

● 10キー操作スイッチが表示されます。



2 数字にタッチします。

● 移動 にタッチするごとに、10キーの位置が左右に切り替わります。



3 決定 にタッチします。

4. データ放送の使い方

■文字入力の操作について

文字入力画面のあるデータ放送を視聴しているとき、文字入力の画面を選択すると、文字入力画面が表示されます。

1 文字を入力します。（243 ページ参照）



5. TVの設定

初期設定を変更する

ご使用になる地域が変わった場合など、状況に合わせて設定を変更することができます。

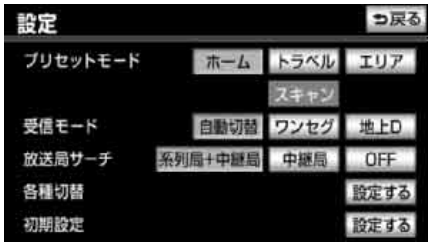
■初期設定画面の表示

初期設定画面から、各種機能設定ができます。

1 TV操作画面で **設定** にタッチします。

2 初期設定の **設定する** にタッチします。

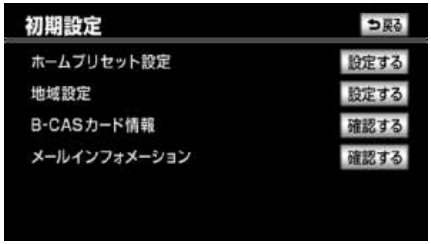
● 初期設定画面が表示されます。



● 初期設定画面から次の機能を設定することができます。

・ホームプリセット設定（430ページ）

・居住地域設定（429ページ）



● 初期設定画面

■居住地域の設定

地上デジタルTV放送の番組やデータ放送で地域情報を受信するために、居住地域を設定する必要があります。引越しされたときは必ず設定してください。

1 初期設定画面で、地域設定の **設定する** にタッチします。

2 郵便番号7桁を入力します。

● 数字を1文字ずつタッチして入力します。

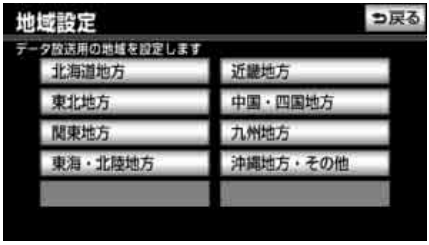
● 間違えた（または入力されている）ときは、**修正** にタッチすると1番号ずつ消去されます。



3 **次へ** にタッチします。

4 お住まいの地方にタッチします。

● 東京都島部（伊豆・小笠原諸島）と鹿児島県島部（南西諸島の鹿児島県域）にお住まいの方は、**沖縄地方・その他** を選択してください。



次ページに続く

5. TVの設定

5 お住まいの都道府県にタッチします。



6 完了 にタッチします。

■ホームプリセットの設定

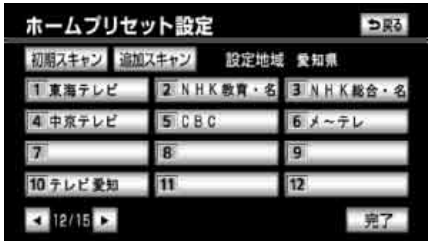
ご使用になる地域で受信できる放送局（チャンネル）を自動で受信して、プリセットスイッチに記憶させることができます。ホームプリセットの設定には、新たに記憶させる初期スキャンと、現在記憶されているプリセットスイッチに新たに受信できる放送局（チャンネル）を追加させる追加スキャンの2種類があります。

初期スキャンでの記憶

現在プリセットスイッチに記憶されている放送局を全て破棄して、新たに放送局を記憶させます。

1 初期設定画面で、ホームプリセット設定の 設定する にタッチします。

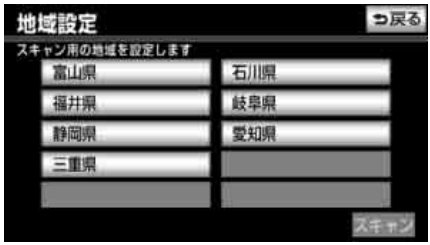
2 初期スキャン にタッチします。



3 お住まいの地方にタッチします。



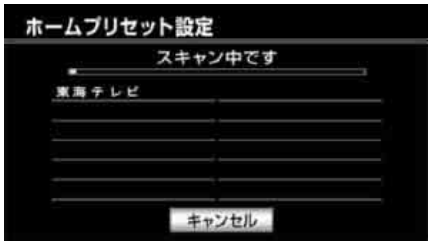
4 お住まいの都道府県にタッチします。



5 スキャン にタッチします。

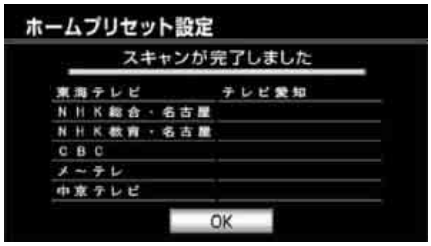
● ホームプリセット設定画面が表示されて、自動で放送局の受信が始まります。

● キャンセル にタッチすると放送局の受信を中止します。



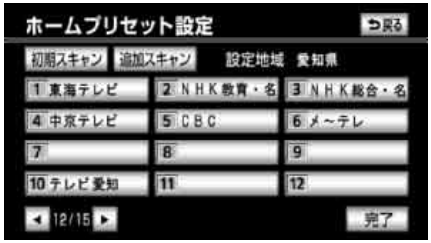
6 OK にタッチします。

● 最大36局まで受信し、受信した放送局のうち12局がプリセットスイッチに表示されます。



7 完了 にタッチします。

● プリセットスイッチに表示された放送局の内容で記憶されます。



ワンポイント

プリセットスイッチに表示されていない放送局を記憶したい、またはプリセットスイッチの順番を変更したい場合は、プリセットスイッチの編集（432 ページ参照）が必要です。

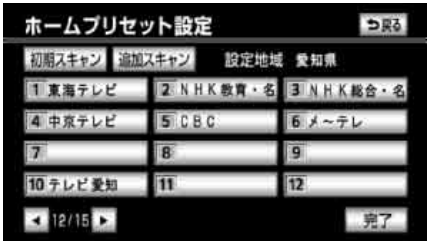
追加スキャンでの記憶

現在プリセットスイッチに記憶されている放送局はそのままで、放送局を自動で受信します。新たに受信できる放送局を追加することができます。

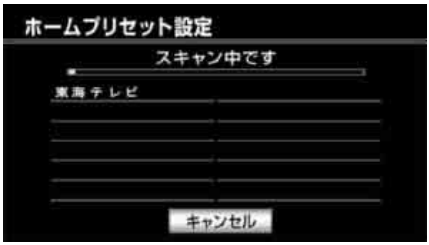
1 初期設定画面で、ホームプリセット設定の 設定する にタッチします。

2 追加スキャン を“ピッ”と音がするまでタッチします。

● ホームプリセット設定画面が表示されて、自動で放送局の受信が始まります。



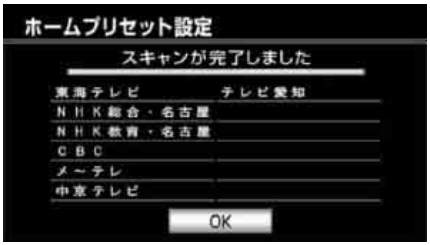
● キャンセル にタッチすると放送局の受信を中止します。



5. TVの設定

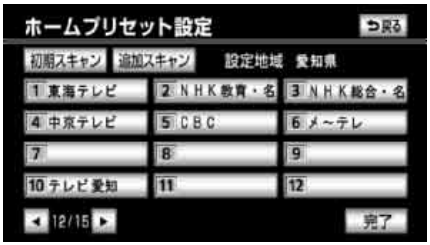
3 OK にタッチします。

- すでにプリセットスイッチに記憶されている放送局も含めて最大36局まで受信し、受信した放送局のうち12局がプリセットスイッチに表示されます。
- プリセットスイッチに空きがある場合は、受信感度がよい放送局がプリセットスイッチに表示されます。



4 完了 にタッチします。

- プリセットスイッチに表示された放送局の内容で記憶されます。



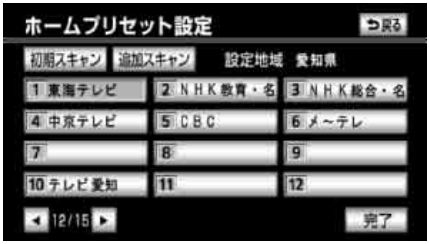
ワンポイント

プリセットスイッチに表示されていない放送局を記憶したい、またはプリセットスイッチの順番を変更したい場合は、プリセットスイッチの編集(432 ページ参照)が必要です。

プリセットスイッチの編集

プリセットスイッチの順番を入れ替えたり、プリセットスイッチに表示されていない放送局をプリセットスイッチに記憶することができます。

1 放送局を変更するプリセットスイッチにタッチします。



2 ▶ 、または ◀ にタッチして放送局を選択します。

- ▶ 、または ◀ にタッチするごとに放送局が切り替わります。

3 他に変更したいプリセットスイッチがある場合は、 1 、 2 の手順を繰り返します。

4 完了 にタッチします。

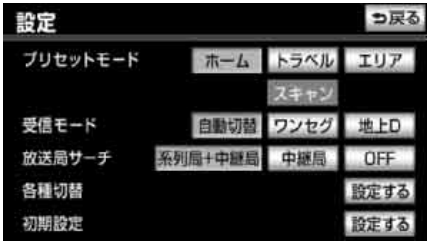
- プリセットスイッチに登録されます。

受信したメールの閲覧

放送局から受信したメールを閲覧することができます。

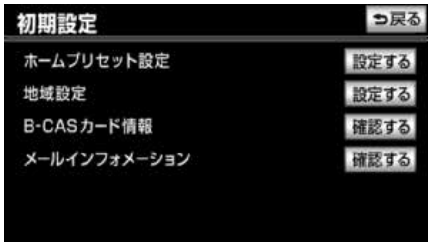
1 TV操作画面で 設定 にタッチします。

2 初期設定の 設定する にタッチします。



3 メールインフォメーションの **確認する** にタッチします。

● メールリストが表示されます。

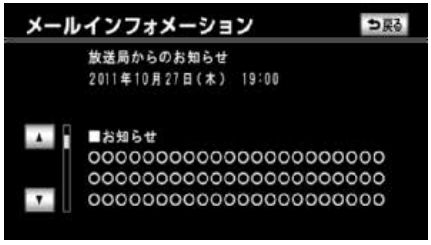


4 閲覧するメールリストにタッチします。

● メールの内容が表示されます。



● メールの内容が表示しきれない場合は、▲、▼にタッチすると画面をスクロールすることができます。

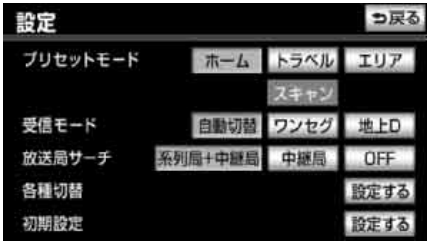


mini B-CASカードの動作確認

本機に差し込まれているmini B-CASカードの情報や動作を確認することができます。

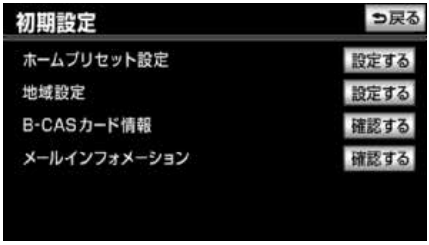
1 TV操作画面で **設定** にタッチします。

2 初期設定の **設定する** にタッチします。



3 B-CASカード情報の **確認する** にタッチします。

● B-CASカード情報が表示されます。



次ページに続く

5. TVの設定

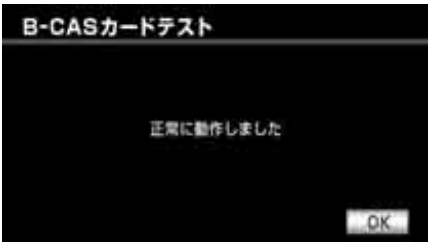
4 B-CAS カードテスト にタッチします。

● テストが開始されます。



5 OK にタッチします。

● 異常判定のメッセージが表示された場合は、mini B-CASカードの抜き差しを行ってください。抜き差しにて読み取れない場合は、お買い上げの販売店にご相談いただくか、カードを交換してください。



ワンポイント

mini B-CASカードが差し込まれていなかったり、異なるカードが差し込まれていたりする場合は、カードIDは表示されません。

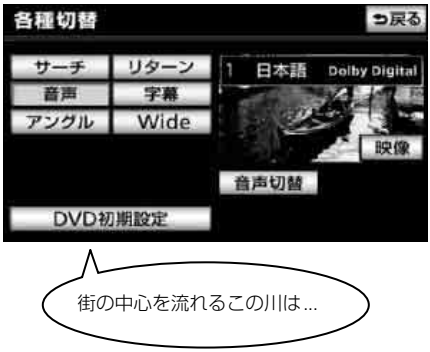
6. DVDプレーヤーをお使いになる前に

本機はDVDビデオや地上デジタルTV放送などを録画したDVD-ビデオレコーディング(VR)を再生することができます。DVDビデオ、DVD-VRがもつ高画質映像と高音質なデジタルサウンドを再生したり、記録されている複数の言語（音声や字幕など）を切り替えて表示したりすることができます。また、DVDビデオでは、同じ場面が複数のアングルで記録されているものは、好きなアングルで再生することもできます。DVD-VRでは、編集したお気に入りの静止画や映像を再生したり、録画された二ヶ国語放送を楽しんだりすることができます。

DVDの特長

■マルチ音声機能について

DVDディスクには複数の言語が収録されているものがあり、音声言語を切り替えることができます。





■マルチアングル機能について

DVDディスクには、同じ場面が複数のアングルで記録されているもの（マルチアングル）があり、再生中、好きなアングルに切り替えることができます。

チェック

DVDビデオモード時のみ操作できます。



● **映像のアングルが切り替わります。**

6. DVDプレーヤーをお使いになる前に

■字幕表示機能について

DVDディスクには複数の字幕が記録されているものがあり、再生中に、字幕言語を切り替えることができます。また、字幕を表示しないように設定して、映像を再生することもできます。



ワンポイント

本機は、ロヴィコーポレーションが保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護されたコピー防止技術を採用しています。リバース・エンジニアリングまたは分解は禁止されています。

ディスクについて

■再生できるディスクの種類について

本機は、NTSCカラーテレビ方式に対応していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」および下記のマークが表示されているディスクをご使用ください。

再生できるディスクの種類とマーク	大きさ／再生面	最大再生時間
DVD VIDEO DVD VIDEO	12cm／片面 1層 2層	＜MPEG 2方式＞ 133分 242分
	12cm／両面 1層 2層	＜MPEG 2方式＞ 266分 484分
	8cm／片面 1層 2層	＜MPEG 2方式＞ 41分 75分
	8cm／両面 1層 2層	＜MPEG 2方式＞ 82分 150分

ワンポイント

- DVD、ソフト制作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本機ではソフト制作者が意図したディスク内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに機能が働かない場合があります。再生するディスクに付属の説明書も必ずご覧ください。
- 本機は、ビデオモードで書き込まれたDVD∂R/RW/R DL（DVD∂Recordable/ReWritable/Recordable Dual Layer）ディスクと、ビデオレコーディングモード(VR)で書き込まれたCPRM対応のDVD-R/RW/R DL（DVD-Recordable/ReWritable/Recordable Dual Layer）に対応しています。

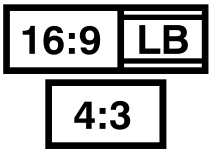
■再生可能なディスクの地域番号（リージョンコード）について

DVDディスクには 2 （地域番号）が表示されているものがあり、このマーク（数字）はディスクの再生可能な地域を表しています。本機は、このマークに「2」または、「ALL」がないディスクは再生することができません。このようなディスクを再生しても、「このDVDはリージョンが違うので再生できません」というメッセージが画面に表示されます。また、地域番号のマークがないディスクでも地域が制限されていることがあり、本機で再生できないことがあります。

6. DVDプレーヤーをお使いになる前に

■ディスクに表示されているマークについて

DVDのディスクやパッケージに表示されているマークには下記のものがあります。

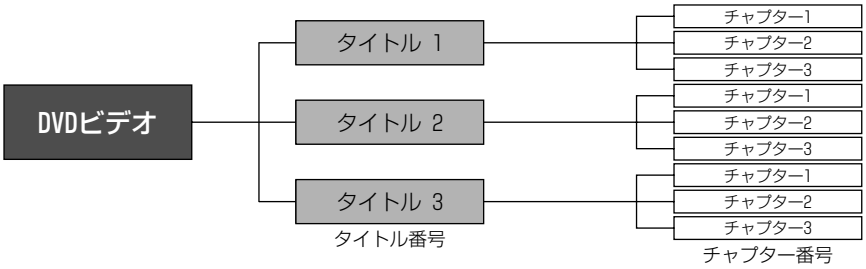
マーク	意　味
	音声のトラック数を表します。
	字幕の数を表します。
	アングル数を表します。
	選択可能な画像アスペクト比（TV画面の横と縦の比率）を表します。 ●「16：9」はワイド画面、「4：3」は標準画面です。
	再生可能な地域番号を表します。 ● ALLは全世界向け、数字は地域番号です。「2」は日本を示します。

■ディスクの構成について

DVDビデオディスクの構成

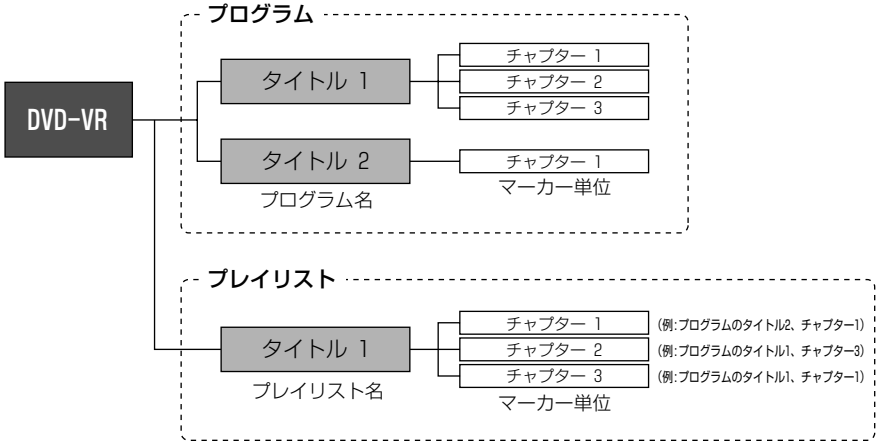
DVDビデオに収録されている映像や曲は、いくつかの区切りに分けられています。

大きく分けた区切りをタイトルと言い、それぞれのタイトルには番号（タイトル番号）が付けられています。また、タイトルは小さな区切りのチャプターで構成されており、それぞれのチャプターにも番号（チャプター番号）が付けられています。



DVD-VRディスクの構成

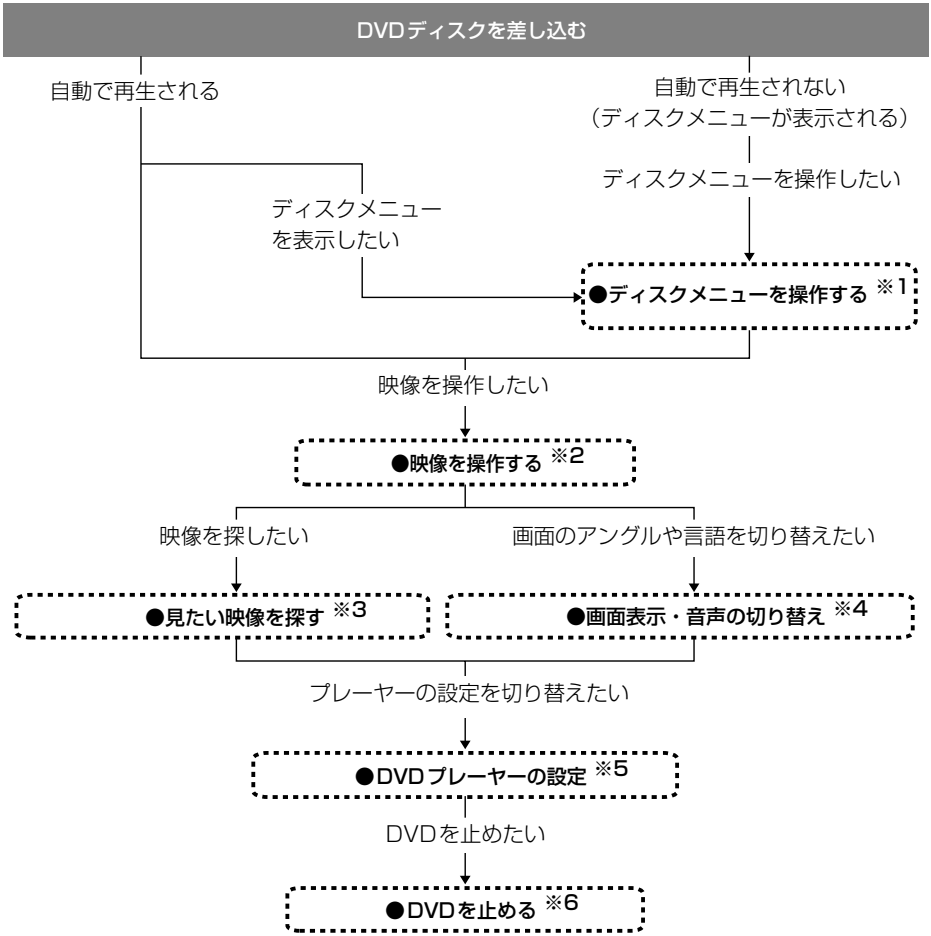
DVD-VRに収録されている映像や曲、静止画はプログラム(番組)ごとに保存されています。本機はプログラム単位をタイトル、プログラム中にDVDレコーダーで付加するマーカーポイントをチャプターとして管理しています。また、プログラム中にあるお気に入りの場面や番組を、お好みの再生順で指示したものをプレイリストとして保存することができます。プレイリスト単位をタイトル、マーカーポイントをチャプターとして管理しています。



6. DVDプレーヤーをお使いになる前に

操作の流れについて

映像の操作や検索、DVDプレーヤーの初期設定などの流れを説明します。



※1 **「ディスクメニューを操作する」**（443ページ参照）
※2 **「映像を操作する」**（442ページ参照）
※3 **「見たい映像を探す」**（444ページ参照）
※4 **「画面表示・音声の切り替え」**（445ページ参照）
※5 **「DVDプレーヤーの設定」**（449ページ参照）
※6 **「DVDを止める」**（444ページ参照）

7. DVDプレーヤーの使い方

チェック

●エンジンスイッチがONまたはACCで、さらに安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけた場合のみDVDをご覧になることができます。（走行中にソースをDVDプレーヤーに切り替えた場合、音声のみになります。）

●DVDのモードによって、使える機能が異なります。



DVDを見る

■ DVDが入っていない場合

1 DVDを差し込みます。（42 ページ参照）

● 再生を始めます。

● 操作スイッチ（タッチスイッチ）を表示する場合は、[AV] を押す、または画面にタッチします。

■ DVDが入っている場合

1 [AV] を押します。

2 [CD/DVD] にタッチします。

● 再生を始めます。

● 操作スイッチ（タッチスイッチ）を表示する場合は、[AV] を押す、または画面にタッチします。

● DVD　ビデオモードのときは　“VIDEO”、DVD-VRモードのときは“VR”が画面に表示されます。



次ページに続く

7. DVDプレーヤーの使い方

VIDEO（DVDビデオモード）



● DVDビデオモード

VR（DVD-VRモード）



● DVD-VRモード

ワンポイント

- 画面継続表示の設定を **しない** に設定した場合、DVD操作画面を表示させてから約２０秒以上操作をしなかったときは、DVD操作画面は自動解除され、もとの画面に戻ります。また、**する** に設定すると、DVD操作画面は自動解除されずに継続して表示されます。（58 ページ参照）
- 別売の後席用モニターを接続すると、走行中でも後席でDVDをご覧になることができます。

映像を操作する

■映像を再生する

1 ▶ にタッチします。

● 映像、または静止画を再生します。

ワンポイント

ディスクによって、自動再生されないものや、ディスクに記録されているメニュー項目を選択しないと、再生されないものがあります。**「ディスクメニューを操作する」**（443ページ参照）

■早送り・早戻しする

パネルスイッチから早送り・早戻しする

チェック

DVDビデオモード時のみ操作できます。

1 ⏭ 、または ⏮ を“ピッ”と音がするまで押します。

- ⏭ : 映像を進めるとき
  ⏮ : 映像を戻すとき
- “ピッ”と音がすると早送り（早戻し）モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り（早戻し）します。

タッチスイッチから早送り・早戻しする

1 ◀◀ 、または ▶▶ を“ピッ”と音がするまでタッチします。

- “ピッ”と音がすると早送り（早戻し）モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り（早戻し）します。

■映像を一時止める

1 ⏸ にタッチします。

- 一時停止中 ▶▶ にタッチし続けるとスロー再生します。

■映像を止める

1 ■ にタッチします。

ディスクメニューを操作する

ダイレクトタッチ操作画面でディスクに収録されているメニューを操作することができます。

チェック

DVDビデオモード時のみ操作できます。

1 AV を押す、または画面にタッチします。

2 メニュー 、または トップメニュー にタッチします。

- 選択 が表示されている場合、 選択 をタッチしても、メニュー画面が表示されます。
- 再生している映像がディスクに収録されているメニューに切り替わると、ダイレクトタッチ操作画面が表示されます。

■画面を直接タッチして操作する

メニューのアイコンに直接タッチして、選択することができます。

1 ダイレクトタッチ操作画面でメニューのアイコンに直接タッチします。



ワンポイント

ディスクによって、表示されるメニューをダイレクトタッチ操作画面から操作できない場合があります。

■タッチスイッチから操作する

画面にタッチしづらいときは、タッチスイッチで操作することができます。

1 ダイレクトタッチ操作画面で ↓ 、↑ 、← 、→ にタッチし、メニューを選びます。



2 決定 にタッチします。

ワンポイント

ディスクによって記録されているメニュー項目は違います。また、ディスク内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに機能しない場合があります。

7. DVDプレーヤーの使い方

DVDを止める

1 A V を1秒以上押します。

● 再度、A V を1秒以上押すと、再生が再開されます。

見たい映像を探す

見たい映像をタイトルやチャプター、メニュー番号(内容ごとに区切られた番号)から探すことができます。DVD-VRモードのときは、映像や静止画をプログラム（プレイリスト）から探すことができます。

■チャプターから探す

1 ⏭ 、または ⏮ を押します。

● ⏭ : 次のチャプターを選ぶとき

⏮ : 頭出し・前のチャプターを選ぶとき

■プログラム（プレイリスト）から探す

チェック

プレイリストを切り替える場合、再生モードをプレイリストに設定します。（448 ページ参照）

1 ⏭ 、または ⏮ を“ピッ”と音がするまで押します。

● ⏭ ：次のプログラム（プレイリスト）を選ぶとき

⏮ ：プログラム（プレイリスト）の頭出し

■タイトル番号から探す

1 各種切替 にタッチします。

2 サーチ にタッチします。



3 タイトル番号を入力します。

● 間違えたときは 修正 にタッチすると、1番号ずつ消去されます。



4 完了 にタッチします。

■指定された位置まで戻る

ディスクのあらかじめ決められた位置に移動して、その位置から再生されます。ディスクにより操作できなかったり、異なった動作をする場合があります。

この機能は、DVD-VRモードで収録されたディスクには対応していません。

1 **各種切替** にタッチします。

2 **リターン** にタッチします。



静止画を切り替える

再生している静止画を送ることができます。

チェック

DVD-VRモードで静止画を再生しているときのみ、操作することができます。

1 **ページ送り** にタッチします。



画面表示・音声の切り替え

再生する映像の字幕言語や音声言語、表示アングル、音声多重を切り替えることができます。

■アングルを切り替える

ディスクに複数のアングルが収録されていると、アングルを切り替えて表示することができます。



チェック

- ●DVDビデオモード時のみ操作できます。
- ●画面にマルチアングルマークが表示されているときに、アングルを切り替えることができます。

1 **各種切替** にタッチします。

2 **アングル** にタッチします。

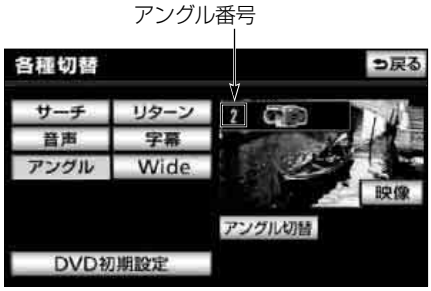


次ページに続く

7. DVDプレーヤーの使い方

3 **アングル切替** にタッチします。

- **アングル切替** にタッチするごとにアングル番号が替わり、ディスクに収録されているアングルが順に切り替わります。



■字幕言語を切り替える

ディスクに複数の字幕言語が収録されていると、字幕を切り替えて表示することができます。

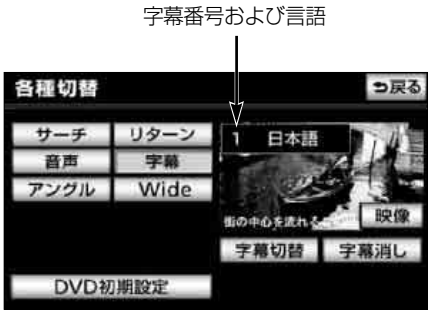
1 **各種切替** にタッチします。

2 **字幕** にタッチします。



3 **字幕切替** にタッチします。

- **字幕切替** にタッチするごとに字幕番号が替わり、ディスクに収録されている字幕言語が順に切り替わります。
- **字幕消し** にタッチすると、画面に字幕を表示せずに再生することができます。



■音声言語を切り替える

ディスクに複数の音声言語が収録されていると、音声を切り替えて再生することができます。

1 **各種切替** にタッチします。

2 **音声** にタッチします。



3 **音声切替** にタッチします。

● **音声切替** にタッチするごとに音声番号が替わり、ディスクに収録されている音声言語が順に切り替わります。



■画面サイズを切り替える

DVDの再生画面に合わせて画面サイズを切り替えることができます。

1 **各種切替** にタッチします。

2 **Wide** にタッチします。



3 **Normal** 、**Wide1** 、**Wide2** のいずれかにタッチします。

● **Normal** :通常の4：3（横：縦）の画面を表示します。画面の両端が黒く表示されます。
Wide1 :4：3の画面を左右方向に拡大します。映像が欠けることなくワイド画面が表示されます。
Wide2 :4：3の画面を上下左右とも同じ比率で拡大します。上下が少しカットされます。



4 **完了** にタッチします。

ワンポイント

お客様が個人的にワイド画面で視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的、または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

7. DVDプレーヤーの使い方

■音声多重を切り替える

DVD-VRモードのディスクに音声多重放送が収録されているときは、主音声と副音声を切り替えて聞くことができます。

チェック

DVD-VRモード時のみ操作できます。

1 各種切替 にタッチします。

2 MAIN/SUB にタッチするごとに、下図の順に切り替わります。

主音声 MAIN → 副音声 SUB → 主/副音声 MAIN/SUB



■再生モードの切り替え

ディスク内にプレイリストが作成されているときにプレイリストを再生させることができます。

この機能は、DVD-VRモードで収録されたディスクのみ対応しています。

1 各種切替 にタッチします。

2 再生モード にタッチします。



3 プレイリスト にタッチします。

- プレイリストが再生されます。
- プログラムを再生するときは、プログラム にタッチします。



ワンポイント

ディスク内にプレイリストがないときは、再生モード は表示されません。

DVDプレーヤーの設定

再生中の音声や字幕表示、メニュー表示の言語をあらかじめ設定することができます。また、マルチアングルマークの表示・非表示や視聴制限なども設定することができます。

1 **各種切替** にタッチします。

2 **DVD 初期設定** にタッチします。

● 初期設定画面が表示されます。



3 各タッチスイッチにタッチすると下記の設定を行うことができます。

● **初期状態** 、**はい** の順にタッチすると、視聴制限以外の項目設定を初期の状態に戻すことができます。



● **初期設定画面**

タッチスイッチ	機　能	ページ
音声	再生する映像の音声言語を設定します。	450
字幕	再生する映像の字幕言語を設定します。	450
ソフトメニュー	表示するメニューの言語を設定します。	451
マルチアングル	マルチアングルマークの表示・非表示を設定します。	452
視聴制限	再生できるDVDビデオを制限します。	452
オートスタート	走行中に自動で再生する・しないを設定します。	453
映像出力切替	画面サイズを設定します。	453

7. DVDプレーヤーの使い方

■音声言語を設定する

再生中の映像をお好きな言語で楽しむことができます。

1 初期設定画面で **音声** にタッチします。

2 お好みの言語にタッチします。

● **その他** にタッチすると画面に表示された言語以外の言語を設定できます。



3 **完了** にタッチします。

コードを入力する

1 優先音声言語設定画面で **その他** にタッチします。

2 言語コードを入力します。

● 言語コードについては**「言語コード一覧」**（454ページ）を参照してください。



3 **完了** にタッチします。

ワンポイント

- 選択された言語でもディスクが対応していない言語であれば、切り替えることはできません。
- ディスクに優先される音声言語が記録されていると、ディスク内容にしたがって再生を行うため、設定した言語に切り替わらない場合があります。この場合は、**「画面表示・音声の切り替え」**（445ページ）で言語を切り替えてください。

■字幕言語を設定する

再生中の映像をお好きな字幕で表示することができます。

1 初期設定画面で **字幕** にタッチします。

2 お好みの言語にタッチします。

● **その他** にタッチすると、画面に表示された言語以外の言語を設定できます。



3 **完了** にタッチします。

コードを入力する

1 優先字幕言語設定画面で **その他** にタッチします。

2 言語コードを入力します。

● 言語コードについては**「言語コード一覧」**（454ページ）を参照してください。



3 **完了** にタッチします。

ワンポイント

- 選択された言語でもディスクが対応していない言語であれば、切り替えることはできません。
- ディスクに優先される字幕言語が記録されていると、ディスク内容にしたがって再生を行うため、設定した言語に切り替わらない場合があります。この場合は、**「画面表示・音声の切り替え」**（445ページ）で言語を切り替えてください。

■メニュー言語を設定する

ディスクに収録されているメニューなどの表示言語を設定することができます。

1 初期設定画面で **ソフトメニュー** にタッチします。

2 お好みの言語にタッチします。

● **その他** にタッチすると画面に表示された言語以外の言語を設定できます。



3 **完了** にタッチします。

コードを入力する

1 優先ソフトメニュー言語設定画面で **その他** にタッチします。

2 言語コードを入力します。

● 言語コードについては**「言語コード一覧」**（454ページ）を参照してください。



3 **完了** にタッチします。

次ページに続く

7. DVDプレーヤーの使い方

ワンポイント

- 選択された言語でもディスクが対応していない言語であれば、切り替えることはできません。
- ディスクに優先されるソフトメニュー言語が記録されていると、ディスク内容にしたがって再生を行うため、設定した言語のメニューに切り替わらない場合があります。

■マルチアングルマークの表示を設定する

再生中、マルチアングルマークの表示・非表示を設定することができます。

チェック

マルチアングルマークの表示設定を「表示」に設定すると、ディスク内の複数アングルが選択可能な状態になったとき、画面の上部にマルチアングルマークが表示されます。

1 初期設定画面で **マルチアングル** にタッチします。

- タッチするごとに「表示」と「非表示」が切り替わります。

2 **完了** にタッチします。

■視聴制限を設定する

ディスクの中には、成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない場面の視聴を制限できるものがあります。この視聴制限は、レベルによって段階的に設定することができます。

チェック

視聴制限レベルが記録されていないディスクでは設定ができません。

1 初期設定画面で **視聴制限** にタッチします。

2 数字を1番号ずつタッチして暗証番号を入力します。

- 間違えたときは **修正** にタッチすると、1番号ずつ消去されます。



3 **完了** にタッチします。

4 お好みの視聴制限レベルにタッチします。



5 **完了** にタッチします。

ワンポイント

- 一度、暗証番号を入力すると次回以降、本項目の利用時には暗証番号が必要となります。暗証番号を忘れないようご注意ください。もし、暗証番号を忘れた場合は、**修正** に10回タッチすると、初期化（暗証番号未設定の状態）することができます。

●視聴制限レベルは大きく 3 種類に分類されます。

レベル1*

子ども向けのDVDソフトのみを再生します。(一般向けと成人向けのDVDソフトの再生を禁止します。)

レベル2～7*

子ども向けと一般向けのDVDソフトのみを再生します。(成人向けのDVDソフトの再生を禁止します。)

レベル8*

全てのDVDソフトを再生します。(初期設定)

■オートスタートを切り替える

走行中はディスクメニューを操作することができません。

オートスタートをＯＮにすると、走行中にディスクメニューを自動で実行して本編を再生することができます。

1 初期設定画面で **オートスタート** にタッチします。

● タッチするごとに「ON」と「OFF」が切り替わります。

2 **完了** にタッチします。

ワンポイント

●別売の後席用モニターを接続している場合、走行中にリモコンでディスクメニューを操作するときは、オートスタートをOFFにしてください。

●オートスタートを ON に設定しても次のときは、本編を再生しない場合があります。

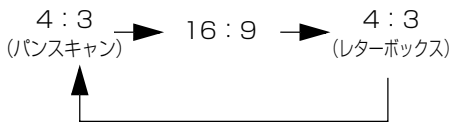
・ディスクの初期設定が「本編再生」や「再生」以外に設定されているとき

・走行開始前に、ディスクメニューで「本編再生」や「再生」以外の項目を選択したとき

■映像出力を切り替える

1 初期設定画面で **映像出力切替** にタッチします。

● タッチするごとに下図の順に画面サイズが切り替わります。



● 4：3（パンスキャン）

左右両端がカットされた映像になります。

4：3のサイズで収録されたDVDソフトの場合は画面サイズぴったり（4：3）で表示されます。

● 16：9

通常のワイドサイズで表示されます。

4：3のサイズで収録されたDVDソフトの場合は左右両端が黒表示、または左右に伸びた表示になります。

● 4：3（レターボックス）

上下両端が黒く表示された映像になります。

4：3のサイズで収録されたDVDソフトの場合は画面サイズぴったり（4：3）で表示されます。

2 **完了** にタッチします。

ワンポイント

●お客様が個人的にワイド画面で視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的、または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

●後席用モニターなど別のディスプレイを接続した場合、本機（フロント）で設定した映像出力切替のサイズにより、後席用モニターで表示されるサイズは異なります。

7. DVDプレーヤーの使い方

言語コード一覧

「音声」、「字幕」、「ソフトメニュー」の言語は、下記のコード番号から数字を入力し選択することができます。

コード	言語名称
1001	日本語
0514	英語
0618	フランス語
0405	ドイツ語
0920	イタリア語
0519	スペイン語
1412	オランダ語
1821	ロシア語
2608	中国語
1115	韓国語
0512	ギリシャ語
0101	アファル語
0102	アブハジャ語
0106	アフリカーンス語
0113	アムハラ語
0118	アラビア語
0119	アッサム語
0125	アイマラ語
0126	アゼルバイジャン語
0201	バシキール語
0205	ベラルーシ語
0207	ブルガリア語
0208	ビハーリー語
0209	ビスラマ語
0214	ベンガル語
0215	チベット語
0218	ブルトン語
0301	カタロニア語
0315	コルシカ語
0319	チェコ語
0325	ウェールズ語
0401	デンマーク語
0426	ブータン語
0515	エスペラント語
0520	エストニア語
0521	バスク語
0601	ペルシア語
0609	フィンランド語
0610	フィジー語
0615	フェロー語
0625	フリジア語
0701	アイルランド語
0704	スコットランドゲール語
0712	ガルシア語
0714	グアラニ語
0721	グジャラート語

コード	言語名称
0801	ハウサ語
0809	ヒンディー語
0818	クロアチア語
0821	ハンガリー語
0825	アルメニア語
0901	国際語
0905	Interlingue
0911	イヌピアック語
0914	インドネシア語
0919	アイスランド語
0923	ヘブライ語
1009	イディッシュ語
1023	ジャワ語
1101	グルジア語
1111	カザフ語
1112	グリーンランド語
1113	カンボジア語
1114	カンナダ語
1119	カシミール語
1121	クルド語
1125	キルギス語
1201	ラテン語
1214	リンガラ語
1215	ラオス語
1220	リトアニア語
1222	ラトビア語
1307	マダガスカル語
1309	マオリ語
1311	マケドニア語
1312	マラヤーラム語
1314	モンゴル語
1315	モルダビア語
1318	マラータ語
1319	マライ語
1320	マルタ語
1325	ビルマ語
1401	ナウル語
1405	ネパール語
1415	ノルウェー語
1503	プロバンス語
1513	オモロ語
1518	オリヤー語
1601	パンジャブ語
1612	ポーランド語
1619	アフガニスタン語
1620	ポルトガル語

コード	言語名称
1721	ケチュア語
1813	レートロマン語
1814	キルンディー語
1815	ローマ語
1823	キンヤルワンダ語
1901	サンスクリット語
1904	シンド語
1907	サンド語
1908	セルボクロアチア語
1909	セイロン語
1911	スロバック語
1912	スロベニア語
1913	サモア語
1914	ショナ語
1915	ソマリ語
1917	アルバニア語
1918	セルビア語
1919	シスワティ語
1920	セストゥ語
1921	スンダ語
1922	スウェーデン語
1923	スワヒリ語
2001	タミル語
2005	テルグ語
2007	タジク語
2008	タイ語
2009	チグリス語
2011	ツルキ語
2012	タガログ語
2014	セツワナ語
2015	ニュージーランド語
2018	トルコ語
2019	ツォンガ語
2020	タタール語
2023	トウィ語
2111	ウクライナ語
2118	ウルドゥー語
2126	ウズベグ語
2209	ベトナム語
2215	ボラピュク語
2315	ウォルフ語
2408	コーサ語
2515	ヨルバ語
2621	ズールー語

8. VTRの使い方

市販のVTR機器を本機のVTR入力（RCA）端子に接続すると、ビデオをご覧になれます。

チェック

- VTR機器を接続する場合は、別売の「拡張配線コード」をお買い求めください。
- エンジンスイッチがONまたはACCで、さらに安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけた場合のみビデオをご覧になることができます。（走行中にソースをVTRに切り替えた場合、音声のみになります。）



VTRを見る

1 A.V を押します。

2 VTR にタッチします。

- VTR画面になります。
- A.V を押す、または画面にタッチすると、VTR操作画面になります。



ワンポイント

- 画面継続表示の設定を しない に設定した場合、VTR操作画面を表示させてから約２０秒以上操作をしなかったときは、VTR操作画面は自動解除され、もとの画面に戻ります。また、する に設定すると、VTR操作画面は自動解除されずに継続して表示されます。（58 ページ参照）
- 別売の後席用モニターを接続すると、走行中でも後席でビデオをご覧になることができます。
- 接続される機器類により、映像が正常に表示されない場合があります。

8. VTRの使い方

画面サイズを切り替える

VTR機器の再生画面に合わせて画面サイズを切り替えることができます。

1 Wide にタッチします。

2 Normal 、Wide1 、Wide2 のいずれかにタッチします。

- Normal :通常の4：3（横：縦）の画面を表示します。画面の両端が黒く表示されます。
  Wide1 :4：3の画面を左右方向に拡大します。映像が欠けることなくワイド画面が表示されます。
  Wide2 :4：3の画面を上下左右とも同じ比率で拡大します。上下が少しカットされます。



3 完了 にタッチします。

ワンポイント

お客様が個人的にワイド画面で視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的、または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

VTRを終わる

1 AV を1秒以上押します。

- 映像および音声は止まりますが、VTR 機器は、再生を続けます。
- 再度、AV を1秒以上押すと、VTR画面に切り替わります。

1. iPodプレーヤーの使い方

iPodを接続するとiPodの音楽ファイルや映像ファイルを再生することができます。また、リストからの選曲やランダム再生の切り替えなどを、本機で操作することができます。

本機に対応しているiPodの種類（世代）については、ECLIPSEホームページの「お客様サポート」を確認してください。

※ 最新のiPodソフトウェアにてお使い下さい。最新のiPodソフトウェアは、Apple社のWebサイトからバージョンアップすることができます。

チェック

- ●iPodを接続する場合は、別売の「iPod接続コード」をお買い求めください。
- ●走行中は安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります。

音楽ファイルを再生するとき



映像ファイルを再生するとき



1. iPodプレーヤーの使い方

ワンポイント

- iPod およびiTunes は、著作権の無いマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。
- iPod の写真表示・オーディオブック機能には対応していません。
- ポッドキャスト機能に対応していますが、iPod/iPhone 本体と異なる動作になる場合があります。
- “Made for iPod” and “Made for iPhone” mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod or iPhone may affect wireless performance.

Made for iPod iPhone

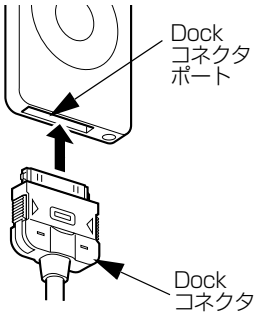
- iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

iPodを接続する

チェック

- iPod に接続されているアクセサリはすべて取りはずしてください。
- ご使用になるiPodおよび接続コードの適合については、ECLIPSEホームページを確認してください。

1 iPodと接続コードのDockコネクタを接続します。



iPodを取りはずす

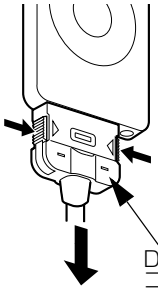
重要

- 本機でiPodを使用しているときにiPodのデータが消失しても、消失したデータの補償はできませんのでご容赦ください。
- iPod を直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障する恐れがあります。その場合、弊社は補償することができません。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。また、車を離れるときは、車内に放置しないでください。
- iPod本体に「接続を解除できます。」が表示されますが、音楽の再生中は、iPod保護のため、iPodからDockコネクタを取りはずさないでください。

チェック

エンジンスイッチをOFF（LOCK）にする、またはソースをiPod以外に切り替えてください。

1 Dockコネクタを矢印の方向に押しながら、取りはずします。



ワンポイント

- 本機とiPodを接続しても、ソースは自動でiPodに切り替わりません。
- iPodを本機に接続するとiPodに“ECLIPSE”が表示されます。
  また、“ECLIPSE”が表示されている間はiPodによる操作をすることができません。
- iPodの電源をOFFにしたまま接続すると、“ECLIPSE”が表示されず“充電済”マークが表示されることがあります。この場合、iPodのいずれかのボタンを押すと、“ECLIPSE”が表示されます。
- ご使用になる　iPod　によっては接続中に“ECLIPSE”が表示されない場合がありますが、故障ではありません。
- エンジンスイッチがONまたはACCになっている場合、接続したiPodのバッテリーが充電されます。
- 本機にiPodを接続すると、本機で表示されるリストの順番や表示項目がiPodと異なることがあります。
- iPodが操作不能になった場合は、iPodの接続をはずし、iPodをリセットしてから再度接続してください。iPodのリセット方法については、iPodの取扱説明書を参照してください。

iPodを聞く・映像を見る

1 iPodを本機に接続した状態で、A V を押します。

2 iPod にタッチします。

- iPod で最後に再生していたファイルを再生します。
- ビデオ映像を再生している場合、全画面 、または映像にタッチすると全画面になります。iPod操作画面にしたいときは、A V または画面にタッチします。



ワンポイント

- iPodに収録されているファイル数、ソフトウェアバージョンによっては、操作画面による操作を行っても、すぐに反応しなかったり、正しく動作しない場合があります。
- 正しく動作しない場合、iPodの接続をはずし、エンジンスイッチをOFF（LOCK）にして、再度エンジンスイッチをON、またはACCにした後、iPod本体をリセットしてから再度接続してください。
- アーティスト名や曲名（トラック名称）などは、半角で最大31文字、全角で最大15文字まで表示することができます。(名称によっては、表示できない場合があります。
- エンジンスイッチを OFF（LOCK）にした後は、必ずiPod を取りはずしてください。iPod を接続したままにすると、iPod の電源が切れず、iPod のバッテリーを消費する場合があります。

1. iPodプレーヤーの使い方

早送り・早戻しする

■パネルスイッチから早送り・早戻しする

1 ⏭、⏮を“ピッ”と音がするまで押します。

- ⏭：ファイルを進めるとき
  ⏮：ファイルを戻すとき
- 早送り（早戻し）モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り（早戻し）します。

■タッチスイッチから早送り・早戻しする

1 ⏭、⏮をタッチし続けます。

- ⏭：ファイルを進めるとき
  ⏮：ファイルを戻すとき
- 早送り（早戻し）モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り（早戻し）します。

再生したい音楽ファイルを選ぶ

■パネルスイッチから再生したい音楽ファイルを選ぶ

1 ⏭、または⏮を押します。

- ⏭：次の音楽ファイルを選ぶとき
  ⏮：頭出し・前の音楽ファイルを選ぶとき

■タッチスイッチから再生したい音楽ファイルを選ぶ

1 ⏭、⏮にタッチします。

- ⏭：次の音楽ファイルを選ぶとき
  ⏮：頭出し・前の音楽ファイルを選ぶとき

再生したいファイルをリストから探す

アーティスト名やジャンルなどの選曲モードからリストを表示して、聞きたい音楽ファイルや映像ファイルを探すことができます。

■音楽ファイルを探す

1 MUSIC MENU にタッチします。

2 検索したい選曲モードスイッチにタッチします。

- 選択したモードのリスト画面が表示されます。



3 聞きたいリストにタッチします。

● SONGS 画面が表示されるまで繰り返します。各選曲モードにより、SONGS画面が表示されるまでの順序は下記のようになります。

選曲モード	表示順序
PLAYLISTS	MUSIC MENU画面 ⇓ SONGS画面
ARTISTS	MUSIC MENU画面 ⇓ ALBUMS画面 ⇓ SONGS画面
ALBUMS	MUSIC MENU画面⇓ SONGS画面
SONGS	MUSIC MENU画面で選曲
PODCAST	MUSIC MENU画面 ⇓ SONGS画面
GENRES	MUSIC MENU画面 ⇓ ARTISTS画面 ⇓ ALBUMS画面 ⇓ SONGS画面
COMPOSERS	MUSIC MENU画面 ⇓ ALBUMS画面 ⇓ SONGS画面

4 聞きたい音楽ファイルにタッチします。

● 選択された音楽ファイルを再生します。

● メイン画面へ にタッチするとiPod操作画面が表示されます。



ワンポイント

各リストの表示文字数は、半角で最大32文字、全角で最大16文字です。

■映像ファイルを見る

1 VIDEO MENU にタッチします。

2 検索したいカテゴリスイッチにタッチします。

● 選択したカテゴリ内の映像ファイルを再生します。

● LIST にタッチすると選択したカテゴリのリスト画面が表示されます。

● カテゴリはiPod本体に登録されているもののみ表示されます。



3 映像 にタッチします。

● 映像が表示されます。



1. iPodプレーヤーの使い方

再生したいリストを選ぶ

選択されている選曲モード、またはビデオ映像のカテゴリ内で、再生するリストを切り替えることができます。

1 リスト切り替えスイッチの ▲ 、または ▼ にタッチします。

- ▲ :次のリストを選ぶとき
  ▼ :前のリストを選ぶとき
- 選択されたリストの先頭の音楽ファイルから再生されます。
- SONGS モードが選択されているときは、リストを切り替えることができません。
- 選曲モードが選択されていないとリストを切り替えることができません。選曲モードの切り替えは、**「再生したい音楽ファイルを選ぶ」**（460ページ）を参照してください。
- ビデオ映像のカテゴリは、iPod 本体に登録されているもののみ表示されます。

選曲モード	再生されるリスト/曲
PLAYLISTS	iPod本体のPLAYLISTのリスト
ARTISTS	ARTISTSのリスト
ALBUMS	ALBUMSのリスト
SONGS	全曲
PODCASTS	PODCASTSのリスト
GENRES	GENRESのリスト
COMPOSERS	COMPOSERSのリスト

再生中の音楽ファイルのリストを表示する

1 TRACK LIST にタッチします。

- 再生中の音楽ファイルを収録しているリストが表示されます。
- 現在再生している音楽ファイルが 1 番上に表示されます。
- 音楽ファイルにタッチすると、選んだファイルが再生されます。

同じファイルを繰り返し再生する

1 RPT にタッチします。

- 再生中のファイルを繰り返し再生します。
- 一度 RPT にタッチすると、解除するまで繰り返します。もう一度 RPT にタッチすると解除されます。
- RPT が解除されている場合、再生の対象となるリストが繰り返し再生されます。

ワンポイント

本機で RPT を設定した状態でiPodを取りはずした場合、iPodはリピート再生の設定に切り替わります。

ファイルの順番をランダムに再生する

1 SHUFFLE にタッチします。

- 再生中のリスト内の全ファイルでランダム再生します。
- “ピーッ”と音がするまでタッチすると、リストをランダムで選択し、リスト内のファイルを先頭から順に再生します。
- 一度 SHUFFLE にタッチすると、解除するまでランダム再生します。もう一度 SHUFFLE にタッチすると解除されます。

ワンポイント

本機で SHUFFLE を設定した状態でiPodを取りはずした場合、iPodはシャッフル再生の設定に切り替わります。

iPodを止める

1 A V を1秒以上押します。

- 再度、A V を1秒以上押すと、再生が再開されます。

MUSIC MENU画面の選曲モードを並べ替える

MUSIC MENU画面で表示される7つの選曲モードを並べ替えることができます。よく使う選曲モードをMUSIC MENU画面の1ページ目に表示すると便利です。

1 MUSIC MENU にタッチします。

- MUSIC MENU画面が表示されます。

2 タブ設定 にタッチします。

- タブ設定画面が表示されます。



3 1ページ目に表示したい4つの選曲モードスイッチにタッチします。



4 完了 にタッチします。

ワンポイント

選択した4つの選曲モードおよび選択していない選曲モードは、MUSIC MENU画面の各ページにPLAYLISTS → ARTISTS → ALBUMS → SONGS → PODCASTS → GENRES → COMPOSERSの順番で表示されます。

2. Bluetooth®オーディオの使い方

本機とBluetooth無線技術を搭載した機器※（携帯電話など）を接続すると、Bluetooth対応機器に収録されている音楽を再生することができます。
走行中は安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります。

※ 本機で Bluetooth 無線技術を搭載した機器をご使用になる場合は、その機器の取扱説明書をよくお読みになり、本機での使用に問題が無いことを確認のうえお使いください。動作確認済の携帯電話の機種については、ECLIPSEホームページを確認してください。



Bluetooth®オーディオについて

Bluetooth®無線技術を搭載した機器は、本機との通信を無線（Bluetooth）を使用して行います。従来のポータブルオーディオなどを本機に接続するには、別途接続ケーブルなどを用意して接続する必要がありました。これに対しBluetooth無線技術を搭載した機器は、接続ケーブルなどを接続しないで再生することができます。例えば、ポケットにBluetooth対応機器を入れたままでも通信範囲内であれば使用することができます。

ワンポイント

Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Incが所有する登録商標であり、富士通テン株式会社はこれら商標を使用する許可を受けています。他のトレードマークおよび商号は、各所有者が所有する財産です。
本機は、電波法に基づく特定無線設備の工事設計の認証を取得しています。

■対応*Bluetooth*®仕様および対応プロファイルについて

本機にBluetooth接続することができるBluetooth対応機器は、下記の仕様に対応している必要があります。ただし、Bluetooth対応機器の機種により、一部機能が制限される場合がありますのであらかじめご了承ください。

- 対応Bluetooth仕様：Bluetooth Specification Ver. 1.1以上（Ver.2.0 + EDR以上を推奨）
- 対応プロファイル：
  - ・A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) Ver. 1.0以上
  - ・AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile) Ver. 1.0以上（Ver. 1.4以上を推奨）

Bluetooth®対応機器使用上の注意事項

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
（上記3種の無線局を以下「他の無線局」と略します）

この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。万一、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更して電波干渉を回避してください。

この機器の使用周波数帯は2.4GHz帯です。
変調方式としてFH-SS変調方式を採用しています。

想定与干渉距離は10m以下です。

この機器は全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。

ワンポイント

- ●本製品は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。製品に貼り付けてあるシールはその証明です。シールをはがさないでください。
- ●本製品を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。

2. *Bluetooth*®オーディオの使い方

各種表示について

■電池残量表示

Bluetooth対応機器の電池残量の目安を表示します。ただし、データの転送中は表示されません。

- 電池残量表示はBluetooth対応機器の表示と一致しないことがあります。また、機種によっては、電池残量の表示ができないことがあります。
- Bluetooth対応機器を充電中は、電池残量が最大で表示されます。
- 本機にはBluetooth対応機器の充電機能はありません。



表示				
残量	無	少	←	→ 多

■ *Bluetooth*®接続状態表示

Bluetooth対応機器のBluetooth接続状態を表示します。



● **青色表示** BT
Bluetooth接続の状態が良好であることを示しています。この状態でBluetooth対応機器をご使用ください。

● **黄色表示** BT
この状態では音楽再生時に音質が劣化することがあります。表示が青色になる位置まで、Bluetooth対応機器を移動してご使用ください。

● **灰色表示** BT
本機とBluetooth対応機器が接続されていないか、接続範囲外に離れています。本機とBluetooth対応機器を接続するか、表示が消える距離まで本機とBluetooth対応機器を近づけてください。

ワンポイント

Bluetooth通信用の車両側アンテナがディスプレイ内に内蔵されています。
次のような場所や状態でBluetooth対応機器を使用すると、Bluetooth接続状態表示が黄色になることや、Bluetooth接続ができないことがあります。この場合、青色の表示が出るように、Bluetooth対応機器の場所を移動させてください。

●Bluetooth対応機器がディスプレイから隠れる場所にあるとき
（Bluetooth対応機器がシートのうしろや下にあるとき、またはグローブボックス内やコンソールボックス内にあるときなど）

●Bluetooth対応機器が金属製のものに接したり、覆われているとき

2. Bluetooth®オーディオの使い方

Bluetooth®対応機器を登録する

Bluetooth　オーディオを使用するには、Bluetooth対応機器を本機に登録する必要があります。
Bluetooth対応機器は、最大5台まで登録することができます。

Bluetooth対応機器の登録はカンタン初期設定からも行うことができます。（51 ページ参照）

チェック

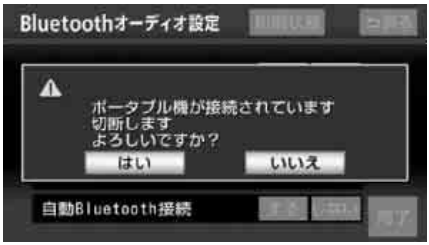
Bluetooth対応機器のBluetooth待ち受けをONにするなど本機と接続できる状態にします。
Bluetooth対応機器側の操作については、各機器の取扱説明書を参照してください。

1 設定・編集画面（オーディオ）（77 ページ参照）で、
Bluetooth オーディオ設定 にタッチします。

2 Bluetoothオーディオ設定の **登録** にタッチします。



- すでにBluetooth 対応機器がBluetooth接続されているときは、確認メッセージが表示されます。**はい** にタッチすると、Bluetooth対応機器を登録することができます。



3 Bluetoothオーディオ接続中画面が表示されたら、画面に表示される案内にしたがってBluetooth対応機器側から登録を行います。

- Bluetooth　対応機器側の登録操作は、Bluetoothオーディオ接続中画面が表示されているときに行ってください。
- **中止** にタッチすると、登録が中止されます。
- 登録が完了すると、メッセージが表示されます。



ワンポイント

- Bluetooth 対応機器によっては、パスキーの入力が必要になります。
- パスキーとは、Bluetooth対応機器を本機に登録するための番号です。4～8桁の任意の数字に変更することができます。**「パスキーを変更する」**（475ページ）を参照してください。
- Bluetooth対応機器を登録すると、最後に登録したBluetooth対応機器が使用するBluetooth対応機器として選択されます。複数登録している場合は、使用するBluetooth対応機器を選択（475ページ）することができます。

●Bluetooth対応機器を5台登録していると、それ以上登録することができません。Bluetooth対応機器の登録を削除してください。**「*Bluetooth*®対応機器の登録を削除する」**（477ページ）

●Bluetooth 対応機器の登録は、カンタン初期設定からも行うことができます。（51ページ参照）

Bluetooth®対応機器を接続する

⚠ 重要

●本機でBluetoothオーディオを使用しているときにBluetooth対応機器のデータが消失しても、消失したデータの補償はできませんのでご容赦ください。

●Bluetooth対応機器を直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障する恐れがあります。その場合、弊社は補償することができません。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。また、車を離れるときは、車内に放置しないでください。

●Bluetooth対応機器を本機に近づけすぎないでください。音質が劣化したり、Bluetooth接続状態が悪化することがあります。

■自動で接続する

Bluetooth 対応機器を登録すると、自動でBluetooth接続される状態になります。これにより、エンジンスイッチをACC、またはONにするたびに、本機に選択されているBluetooth対応機器（475ページ）と自動的にBluetooth接続します。

チェック

Bluetooth対応機器のBluetooth待ち受けをONにするなど本機と接続できる状態にします。
Bluetooth対応機器側の操作については、各機器の取扱説明書を参照してください。

1 エンジンスイッチをACC、またはONにします。

- Bluetooth 対応機器とのBluetooth 接続が自動で開始されます。
- Bluetooth 接続が完了すると接続完了のメッセージが表示されます。
- Bluetooth 接続に失敗したときは、メッセージが表示されます。画面の案内にしたがってやり直してください。
- Bluetooth 接続に失敗したときや自動接続の設定（476ページ）が **しない** に設定されているときは、手動でBluetooth接続することができます。（469ページ）

ワンポイント

機器により自動接続では、Bluetooth接続できない場合があります。この場合は、手動でBluetooth接続してください。

■手動で接続する

Bluetooth 対応機器との自動接続に失敗したときや自動接続の設定（476ページ）が **しない** に設定されているときは、手動でBluetooth接続することができます。

チェック

Bluetooth対応機器のBluetooth待ち受けをONにするなど本機と接続できる状態にします。
Bluetooth対応機器側の操作については、各機器の取扱説明書を参照してください。

1 A V を押します。

次ページに続く

2. Bluetooth®オーディオの使い方

2 BT にタッチします。



3 接続 にタッチします。

- Bluetooth オーディオ接続画面が表示され、Bluetooth対応機器とのBluetooth接続が開始されます。
- 複数の Bluetooth 対応機器を登録している場合、最後に接続していた機器と接続します。
- Bluetooth 接続が完了すると接続完了のメッセージが表示されます。



Bluetooth®オーディオを聞く

1 A/V を押します。

2 BT にタッチします。

- 再生を始めます。
- "オーディオ機器が接続されていません"のメッセージが表示された場合は、Bluetooth対応機器をBluetooth接続します。（469 ページ参照）



ワンポイント

- Bluetooth 対応機器によっては、自動で再生が開始しない場合があります。この場合、機器本体を操作すると再生が開始できることがあります。
- Bluetooth 対応機器に収録されている音楽ファイル数、ソフトウェアバージョンによっては、操作画面による操作を行っても、すぐに反応しなかったり、正しく動作しない場合があります。
- アーティスト名や曲名（トラック名称）などは、以下のように表示することができます。
  アーティスト名：
  半角で最大32文字、全角で16文字まで
  アルバム名および曲名：
  半角で最大24文字、全角で12文字まで
  ただし、文字や接続しているBluetooth対応機器によっては、上記のように表示されない場合や文字が表示されない場合があります。
- Bluetooth 対応機器によっては、機能に対応していないため、スイッチにタッチしても操作できない場合があります。また、機能に対応している場合でも別動作をすることがあります。
- オーディオのソースが Bluetooth オーディオのときに音量を調整すると、Bluetooth オーディオ用の音量レベルとして記憶させることができます。

早送り・早戻しする

1  、  を“ピッ”と音がするまで押します。

-  : ファイルを進めるとき
   : ファイルを戻すとき
- 早送り（早戻し）モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り（早戻し）します。

聞きたい音楽ファイルを選ぶ

1  、または  を押します。

-  : 次の音楽ファイルを選ぶとき
   :頭出し･前の音楽ファイルを選ぶとき

アルバムを切り替える

この機能は、AVRCP Version 1.3以上でアルバム操作に対応したポータブルオーディオのみ表示・操作できます。

1 ALBUMの ▲ 、または ▼ にタッチします。

- ▲ :次のアルバムを選ぶとき
  ▼ :前のアルバムを選ぶとき

同じ音楽ファイルを繰り返して聞く

1 RPT にタッチします。

- 再生中の音楽ファイルを繰り返し再生します。
- 一度 RPT にタッチすると、解除するまで繰り返します。もう一度 RPT にタッチすると解除されます。

ワンポイント

Bluetooth対応機器によっては、機能に対応していないため、操作できない場合があります。この場合、機器本体を操作すると機能が使用できることがあります。また、機能に対応している場合でも別動作をすることがあります。

音楽ファイルの順番をランダムに再生する

1 RAND にタッチします。

- Bluetooth 対応機器に収録されている全ファイルでランダム再生します。
- 一度 RAND にタッチすると、解除するまでランダム再生します。もう一度 RAND にタッチすると解除されます。

ワンポイント

- ランダムに聞く場合、曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めているので、同じ曲が数回連続で再生されることがあります。
- Bluetooth 対応機器によっては、機能に対応していないため、操作できない場合があります。この場合、機器本体を操作すると機能が使用できることがあります。また、機能に対応している場合でも別動作をすることがあります。

2. Bluetooth®オーディオの使い方

ライブラリから音楽ファイルを選ぶ

Bluetooth対応機器に収録されたフォルダから聞きたい音楽ファイルを選ぶことができます。この機能は、AVRCP Ver. 1.4に対応したポータブルオーディオのみ表示・操作できます。

1 ライブラリ にタッチします。

2 音楽ファイルが表示されるまでフォルダにタッチします。

- フォルダのリストには、 マークが表示されます。
- フォルダにタッチすると、1階層下のフォルダ、または音楽ファイルの一覧を表示します。
- 音楽ファイルにタッチすると、再生を始めます。
- 戻る にタッチすると、1階層上のフォルダに戻ります。
- TOP にタッチすると、Bluetoothオーディオ操作画面に戻ります。



3 聞きたい音楽ファイルにタッチします。



ワンポイント

Bluetooth対応機器によっては、機能に対応していないため、操作できない場合があります。この場合、機器本体を操作すると機能が使用できることがあります。また、機能に対応している場合でも別動作をすることがあります。

再生リストから音楽ファイルを選ぶ

現在再生中のフォルダから聞きたい音楽ファイルを選ぶことができます。この機能は、AVRCP Ver. 1.4に対応したポータブルオーディオのみ表示・操作できます。

1 再生リスト にタッチします。

2 聞きたい音楽ファイルにタッチします。

- TOP にタッチすると、Bluetoothオーディオ操作画面に戻ります。



ワンポイント

Bluetooth対応機器によっては、機能に対応していないため、操作できない場合があります。この場合、機器本体を操作すると機能が使用できることがあります。また、機能に対応している場合でも別動作をすることがあります。

Bluetooth®オーディオを止める

1 A V を1秒以上押します。

- 再度、A V を1秒以上押すと再生が再開されます。

2. Bluetooth®オーディオの使い方

Bluetooth®オーディオの設定

Bluetoothオーディオ設定画面では下記の項目を設定・表示することができます。

項目	機能	ページ
Bluetooth対応機器の選択	使用するBluetooth対応機器を選択することができます。	475
機器名称の表示	Bluetoothネットワーク内での本機の名称です。	-
パスキーの変更	Bluetooth対応機器を本機に登録するときのパスキーを変更することができます。	475
自動接続の設定	エンジンスイッチをACC、またはONにしたとき、Bluetooth対応機器を自動でBluetooth接続するか、しないか選択することができます。	476
詳細情報の表示	使用しているBluetooth対応機器の情報を表示し、Bluetooth接続方法を変更することができます。	476
Bluetooth機器の削除	登録したBluetooth対応機器を削除することができます。	477

1 設定・編集画面（オーディオ）（77 ページ参照）で、**Bluetooth オーディオ設定** にタッチします。

● Bluetoothオーディオ設定画面が表示されます。



●Bluetoothオーディオ設定画面

■ *Bluetooth*®対応機器を切り替える

通常は、最後に登録したBluetooth対応機器が使用する機器として選択されますが、登録している別の機器を選択することができます。

チェック

Bluetooth対応機器のBluetooth待ち受けをONにするなど本機と接続できる状態にします。
Bluetooth対応機器側の操作については、各機器の取扱説明書を参照してください。

1 設定・編集画面（オーディオ）（77ページ参照）で、
オーディオプレイヤー切替 にタッチします。

● オーディオプレイヤー切替画面が表示されます。

2 使用するBluetooth対応機器にタッチします。

● **詳細情報表示** にタッチすると、選択したBluetooth対応機器の機器名称などの情報を表示することができます。(476 ページ参照)



3 **完了** にタッチします。

■ パスキーを変更する

1 設定・編集画面（オーディオ）（77ページ参照）で、
Bluetooth オーディオ設定 にタッチします。

● Bluetooth オーディオ設定画面が表示されます。

2 パスキーの **変更** にタッチします。

● パスキー変更画面が表示されます。

● **初期状態** にタッチすると、全ての項目設定を初期の状態に戻すことができます。



3 数字に1文字ずつタッチして、4～8桁の数字を入力します。

● 間違えたときは、**修正** にタッチすると、1番号ずつ削除されます。



4 入力後、**完了** にタッチします。

● Bluetooth オーディオ設定画面にもどります。

2. Bluetooth®オーディオの使い方

■自動接続を設定する

チェック

Bluetooth対応機器のBluetooth接続方法が **ポータブル機器から接続** （477 ページ参照）に設定されている場合は、自動接続を設定することができません。

1 設定・編集画面（オーディオ）（77 ページ参照）で、**Bluetooth オーディオ設定** にタッチします。

● Bluetooth オーディオ設定画面が表示されます。

2 自動Bluetooth接続の **する** 、**しない** にタッチします。

● **しない** にタッチした場合は、それ以降Bluetoothオーディオ操作画面で、手動での接続（469ページ）が必要になります。

● **初期状態** にタッチすると、全ての項目設定を初期の状態に戻すことができます。



3 **完了** にタッチします。

■詳細情報を表示する

登録されているBluetooth対応機器の情報を確認することができます。

1 設定・編集画面（オーディオ）（77 ページ参照）で、**オーディオプレイヤー切替** にタッチします。

2 現在使用しているBluetooth対応機器を選択して **詳細情報表示** にタッチします。

● Bluetooth オーディオ詳細情報画面が表示されます。



● Bluetoothオーディオ詳細情報画面では、次の情報表示や設定を行うことができます。

項目	内容
機器名称	現在使用中のBluetooth対応機器の名称が表示されます。名称の変更はできません。
機器アドレス	Bluetooth対応機器特有のアドレスが表示されます。アドレスの変更はできません。
接続方法	接続方法を選択することができます。（477 ページ参照）



接続方法の変更

1 接続方法の **車載機から接続** 、または **ポータブル機から接続** にタッチします。

● **車載機から接続**
：本機側から接続するとき

ポータブル機から接続
：Bluetooth対応機器側から接続するとき

2 **完了** にタッチします。

■ *Bluetooth*®対応機器の登録を削除する

1 設定・編集画面（オーディオ）（77ページ参照）で、**Bluetooth オーディオ設定** にタッチします。

● Bluetooth オーディオ設定画面が表示されます。

2 Bluetoothオーディオ設定の **削除** にタッチします。

● **初期状態** にタッチすると、全ての項目設定を初期の状態に戻すことができます。

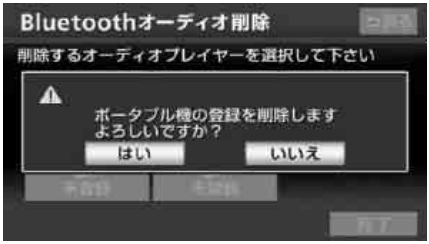


3 削除するBluetooth対応機器を選択して、**完了** にタッチします。



4 **はい** にタッチします。

● Bluetooth 対応機器の登録が削除されます。



3. AUXの使い方

市販のポータブルオーディオなどを本機のAUX入力（RCA）端子に接続すると、ポータブルオーディオに収録された音楽を本機で再生することができます。

チェック

- ポータブルオーディオを接続する場合は、別売の「拡張配線コード」をお買い求めください。
- 本機でポータブルオーディオ機器をご使用になる場合は、そのポータブルオーディオ機器の取扱説明書をよくお読みになり、本機での使用に問題がないことをご確認のうえお使いください。



AVスイッチ

ポータブルオーディオをお使いになる前に

⚠ 警告

●接続したポータブルオーディオや接続コードを、SRSエアバッグの展開を妨げるような場所に設置しないでください。SRSエアバッグが正常に作動しなくなったり、SRSエアバッグが展開したときにポータブルオーディオが飛ばされるなどにより、死亡・重傷に至ることがあります。
SRSエアバッグ展開場所については、お車の取扱書をご覧ください。



●ポータブルオーディオや接続コードを、運転の邪魔にならない場所に避ける、または邪魔にならない場所で仮固定するなどしてください。
運転に支障をきたし、交通事故の原因になることがあります。



ポータブルオーディオを接続する（取りはずす）

⚠ 重要

接続コードの端子に手を引っ掛けたりしないよう注意してください。

チェック

●ポータブルオーディオの電源が切れていることを確認してください。

●オーディオのソースがAUX以外になっている、またはOFFになっていることを確認してください。

1 接続コードをポータブルオーディオに接続します（取りはずします）。

3. AUXの使い方

ワンポイント

運転中は、ポータブルオーディオの接続・取りはずしをしないでください。

ポータブルオーディオを聞く

ポータブルオーディオ側の操作は、ポータブルオーディオに添付されている取扱説明書をご覧ください。

1 接続したポータブルオーディオの電源を入れ、再生します。

2 A V を押します。

3 AUX にタッチします。

● ポータブルオーディオの再生音がスピーカーから出力されます。



ワンポイント

- ●運転中は、ポータブルオーディオの操作をしないでください。
- ●接続された機器によって出力レベルが異なりますので、音量にご注意下さい。
- ●オーディオのソースがAUXのときに音量を調整すると、AUX用の音量レベルとして記憶させることができます。
- ●ポータブルオーディオの電源は、ポータブルオーディオに付属されているバッテリー等を使用してください。お車に装着されているシガライタソケットやアクセサリーソケットなどで充電しながら再生すると、雑音が出ることがあります。

ポータブルオーディオを終わる

1 A V を１秒以上押します。

● AUX を終了してもポータブルオーディオは、再生を続けます。（音声は出力されません。）

● 再度、A V を１秒以上押すと再生音が出力されます。

1. マルチウィンドウ機能

マルチウィンドウについて

ナビゲーションの画面とオーディオの操作画面を左右に分割して同時に表示することができます。

チェック

- マルチウィンドウ画面を表示できるオーディオソースは以下です。
  - TV
  - DVD
  - iPod video（別売）
  - VTR（別売）
- マルチウィンドウ画面を表示中は、地図向きの切り替えや、地図の移動（ワンタッチスクロール）は操作できません。



● ナビゲーション画面＋DVD画面

マルチウィンドウ画面の表示

1 各オーディオ操作画面で、**マルチW**にタッチします。

● 今、お使いになっているソースのマルチウィンドウ画面を表示します。



1. マルチウィンドウ機能

マルチウィンドウ画面の操作

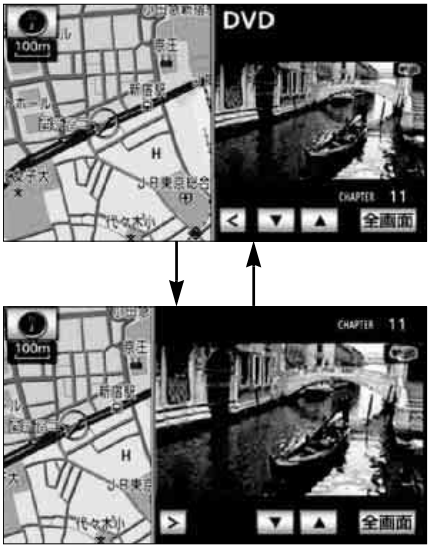
■画面サイズの調整

映像が表示されるソースでは、マルチウィンドウの画面サイズ（右画面）を切り替えることができます。

画面の比率を切り替える

1 < にタッチします。

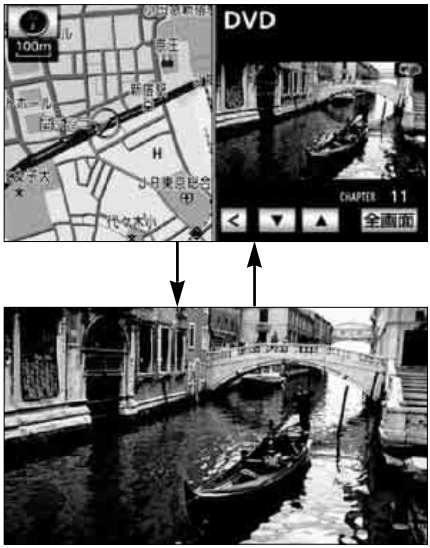
- 30：70の割合の画面に切り替わります。
- > にタッチすると、50：50の画面にもどります。



全画面に切り替える

1 全画面 にタッチします。

- マルチW が表示されているときにマルチW にタッチすると、マルチウィンドウ画面にもどります。



■オーディオ画面の操作

マルチウィンドウ画面を表示中に、一部のオーディオ機能を操作することができます。

1 ▲、または ▼ にタッチします。

● タッチスイッチが表示されないオーディオソースについては、各オーディオソースの操作ページを参照してください。



ワンポイント

マルチウィンドウ機能使用中は、DVDのダイレクトタッチ機能を使用することができません。

1. デジタルフォトフレーム機能

デジタルフォトフレームについて

デジタルフォトフレームは、USB メモリまたはSD メモリーカードに記録された写真データを表示する機能です。

■表示できる画像データ

表示できる画像データは、以下のフォーマットです。

● ファイルやフォルダの形式について
- 画像形式：JPEG（JPEG 2000は対応していません）
- 最大画像サイズ：横5120 ×縦3840dot
- 最大ディレクトリ階層：8階層
- 最大読み込みフォルダ数：1000（全体）/512（1フォルダあたり）
- 最大読み込みファイル数：3000（全体）/1024（1フォルダあたり）

● デコード可能な画像データについて

符号化処理方式	画素サンプリング	デコード可能条件
Baseline DCT	4：4：4	32 × 32 ～ 4096 × 4096
	4：2：2	32 × 32 ～ 8192 × 8192
	回転4：2：2	非対応
	4：2：0	32 × 32 ～ 8192 × 8192
	4：1：0	非対応
Progressive	全て	非対応

- 最大読み込み数を超えた分のフォルダやファイルは再生されません。また、一覧 （488ページ参照）にも表示されません。

■再生可能なUSBメモリ

● 使用できるUSBメモリは、以下のフォーマットです。
- 対応クラス：マスストレージクラス（SCSI対応）
- 対応USB Ver.: USB1.1、USB2.0
- 最大消費電流：1A未満
- ファイルフォーマット：FAT 16/32 (Windows®)

● 上記以外のUSBメモリは、正常な動作が行えないため接続しないでください。また、上記を満たしているUSBメモリでも、正常に動作しないことがあります。

■再生可能なSDメモリーカード

● 使用できるSDメモリーカードは、以下のフォーマットです。

SDメモリーカードの種類	
容量	・SD：2GBまで ・SDHC：4GB～32GB

● miniSDHCカード、またはmicroSDHCカードを使用する場合、専用のアダプターが必要です。

● デジタルフォトフレームに使用するSDメモリーカードはPanasonic／東芝／Sandisc製のSDメモリーカード（全class対応）のご使用を推奨します。

● FATファイルシステムのみ対応しています。NTFSファイルシステムには対応していません。

● SDスピードクラスによっては、画像の表示時間が異なります。

● 他の機器で使用したSDメモリーカード、miniSDカード、microSDカードを使用する場合は、次のソフトでフォーマット（初期化）してください。
フォーマット（初期化）すると、SDメモリーカード、miniSDカード、microSDカード内に記録されたデータは消去されます。
次のソフトでフォーマットしていないSDメモリーカード、miniSDカード、microSDカードで、SD規格に準拠していない場合、本機で使用できないことがあります。

・Panasonic SD-Jukebox V5 以降

・Panasonic SD メモリーカードフォーマットソフトウェアV2.0

ワンポイント

SD Logo is a trademark of SD-3C, LLC.
miniSD Logo is a trademark of SD-3C, LLC.
microSD Logo is a trademark of SD-3C, LLC.

1. デジタルフォトフレーム機能

デジタルフォトフレームを再生する

チェック

- 以下の場合は、デジタルフォトフレームの再生を終了します。
  - オーディオソースを　TV、DVD、iPod Video、VTR に切り替えたとき
  - 録音を開始したとき
  - 後席ディスプレイ接続（487 ページ参照）を **なし** に設定し、走行中に画面を操作したとき
  - 後席ディスプレイ接続（487 ページ参照）を **あり** に設定し、メディアの参照フォルダ（487 ページ参照）を変更したとき
- デジタルフォトフレームを再生中に走行を開始した場合、地図画面へ切り替ります。
- 曲（ファイル）と写真データの両方が記録されたUSB メモリ、またはSD メモリーカードで曲（ファイル）を再生している場合、デジタルフォトフレームは再生されません。
- エンジンスイッチを OFF（LOCK）にすると写真の表示は終了しますが、写真が記録されたメディアの状態が同じ場合、再度エンジンスイッチをACCまたはONにすると、自動で写真の表示を再開します。
- 本機で写真を表示する場合、実際のサイズと異なって表示されることがあります。

■ USBメモリを使って再生する場合

1. USBメモリをUSB接続コードに接続します。（45 ページ参照）
2. 読み込みメディアを **USB** に設定します。（487 ページ参照）
3. A V を押します。
4. **フォト再生** にタッチします。



■ SDメモリーカードを使って再生する場合

1. SDメモリーカードを、音楽用SDメモリーカード差し込み口に、差し込みます。（38 ページ参照）
2. 読み込みメディアを **SD** に設定します。（487 ページ参照）
3. A V を押します。
4. **フォト再生** にタッチします。



ワンポイント

- 別売の後席ディスプレイを接続している場合、デジタルフォトフレームを後席ディスプレイで表示することができます。
- 後席ディスプレイ接続の設定を **あり** にしている場合（487　　ページ参照）、**フォト再生** の作動表示灯が点灯し、走行中でも、後席ディスプレイでデジタルフォトフレームを再生することができます。作動表示灯が点灯しているときに **フォト再生** にタッチすると、再生を終了します。
- 後席ディスプレイ接続の設定（487 ページ参照）を **あり** に設定し、サウンドライブラリー編集メニュー画面（395 ページ参照）を表示させると写真の表示を終了します。

■写真を切り替える

1 写真の左半分、または右半分のエリアにタッチします。



- 前の写真に切り替えるときは、左半分のエリアにタッチします。
- 次の写真に切り替えるときは、右半分のエリアにタッチします。

ワンポイント

スライドショー（487 ページ参照）で再生している場合も、左右のエリアにタッチすることで写真を切り替えることができます。

デジタルフォトフレームの設定

画像データの読み込み方法やスライドショーの表示方法を設定することができます。

1 設定・編集画面（画像設定）（77 ページ参照）で、**デジタルフォトフレーム** にタッチします。

2 各項目を設定します。



- **初期状態** にタッチした場合、初期設定状態へ戻ります。

1. デジタルフォトフレーム機能

項目	機能概要	ページ
読込みメディア	写真を表示するとき、読み込み対象とするメディア（SDメモリーカード、またはUSBメモリ）を選択します。	488
参照フォルダ	再生するフォルダを指定します。	488
スライドショー	スライドショー（自動再生）のする・しないを選択します。	489
再生順序	写真の再生する順番（標準、またはランダム）を選択します。	489
写真切替設定	スライドショー（自動再生）時の写真切替方法を設定します。	489
後席ディスプレイ接続	後席ディスプレイの接続状態を設定します。	490

■読込みメディアを選択する

1 読込みメディアの **SD** 、または **USB** にタッチします。



- SD メモリーカードと USB メモリのどちらか一方しか接続されていない場合、接続されているメディアが自動的に選択されます。
- SD メモリーカードと USB メモリ両方が接続されている状態で、再生中のメディアの接続を解除すると、もう一方のメディアの写真データが自動的に選択されます。

■参照フォルダを指定する

1 参照フォルダの **指定する** にタッチします。



- 読み込み対象のメディアに収録されている、表示可能なフォルダの一覧が表示されます。

2 再生したいフォルダ名にタッチします。



- **全選択** にタッチすると、全てのフォルダが選択されます。
- **全解除** にタッチすると、フォルダの選択が全て解除されます。

3 完了 にタッチします。

■スライドショーの設定をする

1 スライドショーの する 、または しない にタッチします。



■再生順序を設定する

1 再生順序の 標準 、または ランダム にタッチします。



- 標準 にタッチすると、メディアに記録されているフォルダの階層順に再生します。
- ランダム にタッチすると、再生するフォルダが選択されている場合はそのフォルダ内を、選択されていない場合はメディア内の写真データをランダムに再生します。

■写真切替方法を設定する

1 写真切替設定の 設定する にタッチします。



切替効果を設定する

写真の切替方法を、6種類から選択することができます。

1 お好みの切替効果にタッチします。



- ランダム を選択した場合、なし 以外の効果に加え、スライドイン効果を入れた計5種類の効果でランダムに表示されます。

1. デジタルフォトフレーム機能

再生時間を設定する

写真1枚当たりの再生時間を設定することができます。

1 再生時間を選んでタッチします。



■後席ディスプレイ接続の設定をする

別売の後席ディスプレイを接続している場合、接続状態を設定することで、走行中のデジタルフォトフレームの表示方法を変更することができます。

1 後席ディスプレイ接続の **あり** 、または **なし** にタッチします。



- **あり** を選択した場合、走行中でも後席ディスプレイでデジタルフォトフレームを再生することができます。
- **なし** を選択した場合、走行中はデジタルフォトフレームの再生を一時停止し、後席ディスプレイに黒画面を表示します。

ワンポイント

後席ディスプレイ接続の設定にかかわらず、停車中は後席ディスプレイで写真が表示されます。

1. ステアリングスイッチの使い方

ステアリングスイッチを設定する

お車がステアリングスイッチ設定車の場合、オーディオ・ビジュアルの主要機能や、ハンズフリーの音量調整機能をステアリングスイッチで操作することができます。
ステアリングスイッチは次の方法で設定することができます。

- 自動車メーカーを指定して設定（お客様のお車がトヨタ/ダイハツ/ホンダ/スバル/マツダ製の場合）（491 ページ参照）
- 自動車メーカーを指定しないで設定（491 ページ参照）

チェック

対応車両につきましては、ECLIPSE のホームページ「お客様サポート」（http://www.fujitsuten.co.jp/eclipse/support/）をご確認ください。

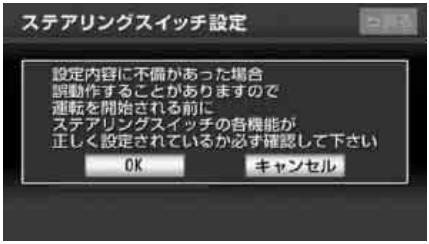
■自動車メーカーを指定して設定する

1 設定・編集画面（運転支援）（77 ページ参照）で、**ステアリングスイッチ設定** にタッチします。

2 お車の自動車メーカーにタッチします。



3 **OK** にタッチします。



ワンポイント

自動車メーカーを設定しても、車種によっては設定値が合わず、ステアリングスイッチが動作不良を起こす場合があります。その場合、**「自動車メーカーを指定しないで設定する」**（491 ページ参照）の手順でステアリングスイッチを設定してください。

■自動車メーカーを指定しないで設定する

チェック

ステアリングスイッチの操作を本機に記憶させることができます。記憶させることができるスイッチは以下です。

- 音量スイッチ
- モード切替スイッチ
- 選局（選曲）スイッチ

1 設定・編集画面（運転支援）（77 ページ参照）で、**ステアリングスイッチ設定** にタッチします。

次ページに続く

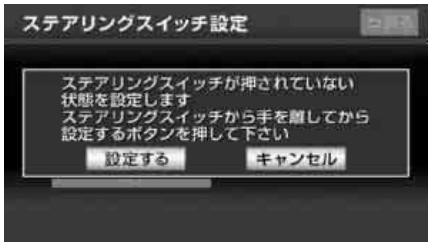
1. ステアリングスイッチの使い方

2 **その他** にタッチします。

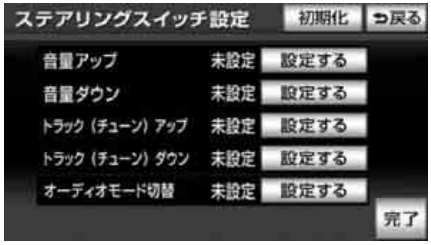
● すでにステアリングスイッチを設定している場合、確認のメッセージが表示されます。**はい** にタッチすると、ステアリングスイッチを設定することができます。



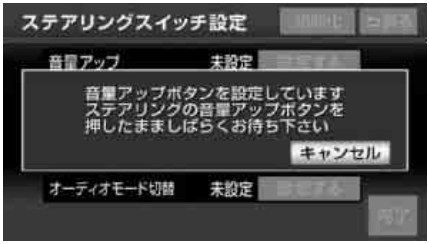
3 **設定する** にタッチします。



4 各項目の **設定する** にタッチします。



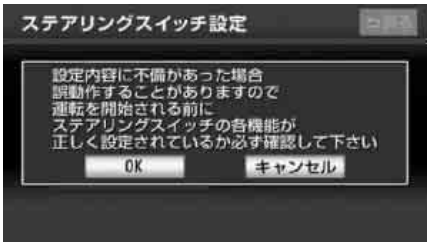
5 画面の案内にしたがい、ステアリングスイッチを操作します。



6 各項目の設定が終わったら、**完了** にタッチします。



7 **OK** にタッチします。



オーディオ・ハンズフリー（AVN-Z01のみ）機能共通の操作

スイッチ名称	スイッチ	機能
音量スイッチ	(+)・(-)	● 押すごとに1ステップずつ音量が変わります。 ● 長押しすると、押し続けている間、音量が連続して変わります。

オーディオ機能の操作

■ 共通操作

チェック

ハンズフリー機能使用中は、(MODE) スイッチを操作することができません。(AVN-Z01のみ)

スイッチ名称	スイッチ	機能
モード切替スイッチ	(MODE)	**■ オーディオ電源がOFF のとき** オーディオの電源がONになります。
		■ オーディオ電源がON のとき ● 押すごとにモードが切り替わります。 FM→(CD)→(DVD)→(SDメモリーカード)→TV→(Bluetooth オーディオ※)→(AUX)→(iPod)→(USB)→VTR→AM→FMに戻ります。 (　):再生または視聴できないときは、切り替わりません。 ● 長押しすると、オーディオの電源がOFF になります。

※ AVN-Z01のみ

次ページに続く

1. ステアリングスイッチの使い方

■各オーディオ機能の操作

チェック

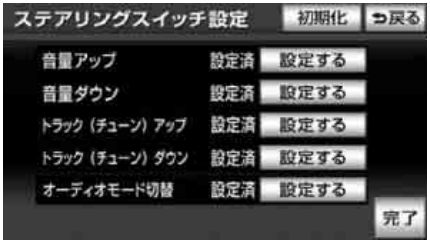
ハンズフリー機能使用中は、(∧)・(∨) スイッチを操作することができません。(AVN-Z01のみ)

操作項目	スイッチ名称	スイッチ	機能
ラジオ	選局スイッチ	(∧) ・ (∨)	● 押すごとに、プリセットスイッチに記憶させた放送局が切り替わります。 ● 長押しすると、受信中の周波数に一番近い放送局が自動で選局されます。(355 ページ参照)
CD	選曲スイッチ	(∧) ・ (∨)	押すごとに曲が切り替わります。(358 ページ参照)
USB メモリ	選曲スイッチ	(∧) ・ (∨)	● 押すごとに音楽ファイルが切り替わります。(372 ページ参照) ● 長押しすると、音楽フォルダが切り替わります。(372 ページ参照)
SDメモリーカード	選曲スイッチ	(∧) ・ (∨)	● 押すごとに曲が切り替わります。(392 ページ参照) ● 長押しすると、アルバムが切り替わります。(393 ページ参照)
TV	選局スイッチ	(∧) ・ (∨)	押すごとに、プリセットスイッチに記憶させた放送局が切り替わります。(417 ページ参照)
DVD	チャプター切り替えスイッチ	(∧) ・ (∨)	押すごとにチャプターが切り替わります。(444 ページ参照)
iPod プレーヤー	選曲スイッチ	(∧) ・ (∨)	● 押すごとに音楽ファイルが切り替わります。(460 ページ参照) ● 長押しすると、選択中のプレイモード内でリストが切り替わります。(462 ページ参照)
Bluetooth オーディオ※	選曲スイッチ	(∧) ・ (∨)	● 押すごとに音楽ファイルが切り替わります。(471 ページ参照) ● 長押しすると、アルバムが切り替わります。(471 ページ参照)

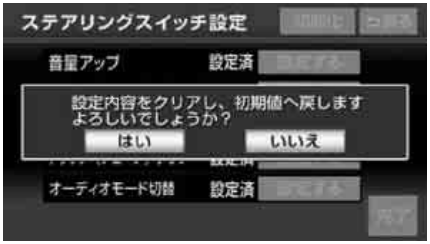
※ AVN-Z01のみ

設定を初期化する

1 ステアリングスイッチ設定画面で、**初期化** にタッチします。



2 **はい** にタッチします。



MEMO

ハンズフリー

（AVN-Z01のみ）

1. ご使用になる前に

ハンズフリー機能はAVN-Z01ご購入のお客様のみご使用になれます。

⚠ 警告

- ハンズフリー機能を使用する場合、安全のため、運転者は走行中に電話機のBluetooth接続や、携帯電話本体のご使用はさけてください。
- 運転中は電話をかけないでください。また、運転中にかかってきたときには、あわてずに安全な場所に停車してから受けてください。どうしても受けなければいけないときは、ハンズフリーで「かけ直す」ことを伝え、安全な場所に停車してからかけ直してください。

⚠ 注意

- 携帯電話は車室内に放置しないでください。（炎天下など、車室内が高温となる場合があります。）
- Bluetooth携帯電話を本機に近づけて使用しないでください。近づけすぎると、音質が劣化したり、Bluetooth接続状態が悪化することがあります。

ハンズフリーについて

動作確認済のBluetooth接続対応の携帯電話※（以下「携帯電話」）を本機にBluetooth接続することで、携帯電話を直接操作することなく、「電話をかける」「電話を受ける」という電話機能を使用できます。これをハンズフリー機能と呼びます。

本機に接続する携帯電話は、仕様（499 ページ参照）に対応した携帯電話である必要があります。ただし、携帯電話の機種により、一部機能が制限される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※ 本機で動作確認済みの機種については、ECLIPSEホームページをご確認ください。

■ *Bluetooth*®携帯電話について

Bluetooth携帯電話は、他の機器との間の通信を無線（Bluetooth）を使用して行う携帯電話です。

従来の携帯電話は、ハンズフリー機能を利用するために、別途ハンズフリーキットなどのケーブルを用意して、接続する必要がありました。これに対し、Bluetooth携帯電話は、接続ケーブルなどを接続することなく、ハンズフリー機能を利用することができます。

例えば、胸ポケットに携帯電話を入れたままでも、そのままの状態でハンズフリー機能がご利用いただけます。



※ 本機では、有線（ケーブル）接続の携帯電話はご利用になれません。

■対応*Bluetooth*®仕様および対応プロファイルについて

- 対応Bluetooth仕様：Bluetooth Specification Ver. 1.1以上（Ver.2.0 + EDR以上を推奨）
- 対応プロファイル：
  - ・HFP（Hands Free Profile）Ver.1.0以上
  - ・OPP（Object Push Profile）Ver.1.1

Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Incが所有する登録商標であり、富士通テン株式会社はこれら商標を使用する許可を受けています。他のトレードマークおよび商号は、各所有者が所有する財産です。
本機は、電波法に基づく特定無線設備の工事設計の認証を取得しています。

■ハンズフリーが使用できないとき

次の場合は、ハンズフリー機能を使用することができません。

- 通話エリア外のとき
- 回線が混雑しているなど、発信規制中のとき
- 携帯電話から電話帳データを転送中のとき
- 携帯電話がダイヤルロックされているとき
- 携帯電話が故障しているとき
- 携帯電話が本機とBluetooth接続されていないとき
- 携帯電話のバッテリー残量が不足しているとき
- 携帯電話の電源がOFFのとき
- 携帯電話の設定が、ハンズフリーモードでないとき
- 本機側で電話帳転送からハンズフリー通話に切り替えているとき（切り替え中は本機にBluetooth 接続状態表示が表示されません。）
- オンデマンドVICS情報を取得中のとき
- その他、携帯電話自体が使えないとき

ワンポイント

- Bluetooth 携帯電話と他の無線機器を同時に使用すると、それぞれの通信に悪影響をおよぼすことがあります。
- Bluetooth携帯電話は、Bluetooth接続により、携帯電話の電池が早く消耗します。

次ページに続く

1. ご使用になる前に

●携帯電話の機種によっては、Bluetooth 接続中に表示部の照明がついたままになることがあります。この場合、携帯電話本体で照明をOFFにしてください。(設定については、携帯電話に添付の取扱説明書をご覧ください。)

●携帯電話の設定によっては、Bluetooth 接続後にダイヤルロックがかかることがあります。携帯電話のオートロック機能を解除してご使用ください。

●Bluetooth接続する携帯電話によっては、動作や音量が異なることがあります。

●通話中にエンジンスイッチを OFF（LOCK）にすると、機種によって、通話が切断される場合と、通話が携帯電話で継続される場合があります。なお、通話が携帯電話で継続される場合は、携帯電話の操作が必要になることがあります。

●携帯電話の割込通話（キャッチホン）や三者通話を契約しているときは、携帯電話本体で割込通話（キャッチホン）や三者通話を解除してからお使いください。

■マイクについて

通話時に、音声入力マイクを使用します。

■ハンズフリー操作について

本機の画面に表示されるタッチスイッチを操作することにより、ハンズフリーのさまざまな機能が利用できます。

■音声について

● 発信後および着信後は、マイクおよびスピーカーを通して通話できます。

● 着信通知や通話時などの音声出力は、運転席側スピーカーから出力されます。ただし、状況によっては、他のスピーカーから出力されることがあります。

● ハンズフリーで音声や呼出音などが出力されると、オーディオ音声やナビ案内音声などはミュート（消音）されます。

🕮ワンポイント

●通話時は通話相手と交互にお話しください。通話相手と同時に話した場合、こちらの音声が相手に、相手の音声がこちらに聞こえにくくなることがあります。(故障ではありません。)

●受話音量はできるだけ小さく調整してください。通話相手側にエコーが聞こえることがあります。また、声は大きくはっきりとお話しください。

●次のような場合は、通話相手側にこちらの音声が聞こえにくくなることがあります。

・悪路走行時
・高速走行時
・窓を開けているとき
・エアコンの吹き出し口をマイクの方に向けたとき
・エアコンのファンの音が大きいとき
・携帯電話をマイクに近づけたとき

●使用する携帯電話やネットワークの影響により、音質が悪化（ノイズ、エコーなど）することがあります。
●他のBluetooth対応機器（ポータブルオーディオ）が同時にBluetooth接続されている場合、ハンズフリーの音声にノイズが発生することがあります。

お車を手放すとき

ハンズフリーを使用すると、多数の個人情報が登録されます。
お車を手放すときには、個人情報の初期化を行ってください。（70 ページ参照）
なお、個人情報の初期化を行うと、二度ともとの状態にもどすことはできません。
間違えて初期化してしまわないよう、ご注意ください。

ハンズフリーでは、次の情報が初期化されます。

- 電話帳データ
- 発信履歴および着信履歴
- Bluetooth携帯電話の登録情報
- ロックNo.
- ハンズフリー関連の設定・編集項目

Bluetooth®機器使用上の注意事項

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
（上記3種の無線局を以下「他の無線局」と略します）

この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。万一、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更して電波干渉を回避してください。

この機器の使用周波数帯は2.4GHz帯です。
変調方式としてFH-SS変調方式を採用しています。

想定与干渉距離は10m以下です。

この機器は全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。

ワンポイント

●本製品は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。製品に貼り付けてあるシールはその証明です。シールをはがさないでください。
●本製品を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。

1. ご使用になる前に

各種表示について

■受信レベル表示

電波の受信レベルの目安を表示します。ただし、データの転送中は表示されません。

- 「圏外」の表示が出ているときは、サービスエリア外または電波の届かない場所にいます。この場合は、携帯電話本体も使用できません。「圏外」の表示が消えるところまで移動してください。
- 受信レベルは携帯電話の表示と一致しないことがあります。また、機種によっては、受信レベルの表示ができないことがあります。
- Bluetooth 携帯電話未接続時は、「未接続」を表示します。



表示	圏外				
レベル	圏外	弱	←	→	強

■電池残量表示

携帯電話の電池残量の目安を表示します。ただし、データの転送中は表示されません。

- 電池残量表示は携帯電話の表示と一致しないことがあります。また、機種によっては、電池残量の表示ができないことがあります。
- 携帯電話を充電中は、電池残量が最大で表示されます。
- 本機には携帯電話の充電機能はありません。



表示				
残量	無	少	←	→ 多

■ *Bluetooth*®接続状態表示

携帯電話のBluetooth接続状態を表示します。



● **青色表示** BT
Bluetooth接続の状態が良好であることを示しています。この状態で携帯電話をご使用ください。

● **黄色表示** BT
この状態では通話時に音質が劣化することがあります。表示が青色になる位置まで、携帯電話を移動してご使用ください。

● **灰色表示** BT
本機と携帯電話が接続されていないか、接続範囲外に離れています。本機と携帯電話を接続するか、表示が消える距離まで本機と携帯電話を近づけてください。

ワンポイント

●Bluetooth通信用の車両側アンテナがディスプレイ内に内蔵されています。
次のような場所や状態でBluetooth携帯電話を使用すると、Bluetooth接続状態表示が黄色になることや、Bluetooth接続ができないことがあります。この場合、青色の表示が出るように、携帯電話の場所を移動させてください。

・携帯電話がディスプレイから隠れる場所にあるとき
（携帯電話がシートのうしろや下にあるとき、またはグローブボックス内やコンソールボックス内にあるときなど）

・携帯電話が金属製のものに接したり、覆われているとき

●携帯電話を省電力モードに設定していると、自動的にBluetooth接続が切断されてしまうことがあります。この場合は、携帯電話の省電力モードを解除してください。

1. 携帯電話の登録

携帯電話を登録する

ハンズフリー機能を使用するには、携帯電話を本機に登録する必要があります。携帯電話は、本機に最大5台まで登録することができます。

携帯電話の登録はカンタン初期設定からも行うことができます。(51 ページ参照)

チェック

- 携帯電話の Bluetooth 待ち受けを ON にするなど本機と接続できる状態にします。携帯電話側の操作については、携帯電話の取扱説明書を参照してください。
- HFP（Hands Free Profile）が搭載されていない携帯電話は、本機に登録できません。また、OPP(Object Push Profile)のみのサービスも利用できません。
- HSP（Headset Profile）が搭載されている携帯電話は、本機に登録できますが、ハンズフリーは利用できません。

1 設定・編集画面（電話）(77 ページ参照)で、**ハンズフリー設定** にタッチします。

2 Bluetooth設定の **登録** にタッチします。

- すでに携帯電話が Bluetooth 接続されているときは、確認メッセージが表示されます。**はい** にタッチすると、携帯電話を登録することができます。

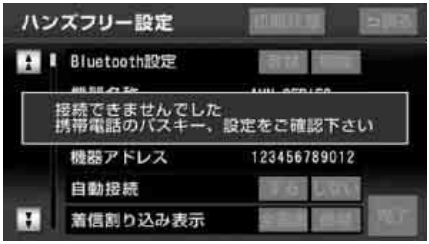


3 Bluetooth接続画面に表示される案内にしたがって、携帯電話本体を操作します。

- 携帯電話側の登録操作は、Bluetooth接続画面が表示されているときに行います。
- 中止したいときは、 **中止** にタッチします。
- 登録が完了すると、メッセージが表示されます。
- 複数の携帯電話を使用する場合は、携帯電話の数だけ登録を繰り返します。

■接続失敗画面が表示されたとき

「接続できませんでした」のメッセージが表示されたときは、画面の案内にしたがってやり直してください。



ワンポイント

- 携帯電話によっては、パスキーの入力が必要になります。
- パスキーとは、携帯電話を本機に登録するための番号です。4～8桁の任意の数字に変更することができます。(523 ページ参照)
- 携帯電話を登録すると、最後に登録した携帯電話が使用する携帯電話として選択されます。複数登録している場合は、使用する携帯電話を選択することができます。(520 ページ参照)
- 携帯電話を5台登録していると、それ以上登録することができません。携帯電話の登録を削除してください。**「携帯電話の登録を削除する」**(523ページ)
- 携帯電話の設定によっては、Bluetooth 接続後にダイヤルロックがかかることがあります。携帯電話のオートロック機能を解除してご使用ください。

- Bluetooth 接続する携帯電話により、動作や音量が異なることがあります。
- Bluetooth オーディオ再生中や、オンデマンドVICS使用中に携帯電話を登録する場合、Bluetoothオーディオの音声が途切れたり、オンデマンドVICSの通信が途切れたりすることがあります。
- 登録時、携帯電話側に登録完了が表示されても、本機への登録が完了しない場合があります。その場合、携帯電話側からBluetoothの接続を行ってください。

2. 携帯電話の接続

Bluetooth携帯電話の本機への接続は、自動と手動の2通りの方法があります。
なお、携帯電話側の操作については、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

携帯電話を自動で接続する

自動接続が **する** に設定されている場合、エンジンスイッチをOFF（LOCK）からACC、またはONにするたびに、本機は選択されている携帯電話と自動的にBluetooth接続します。

■自動接続を設定する

1 設定・編集画面（電話）（77 ページ参照）で、**ハンズフリー設定** にタッチします。

2 自動接続の **する** 、または **しない** にタッチします。

- 通常は **する** を選択した状態で使用してください。
- 携帯電話は Bluetooth 接続可能な状態にしておいてください。
- **初期状態** にタッチすると、設定を初期状態にもどすことができます。



3 **完了** にタッチします。

ワンポイント

- 携帯電話の機種によっては、Bluetooth 接続中に表示部の照明がついたままになることがあります。この場合、携帯電話本体で照明をOFFに設定してください。（設定については、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。）
- ハンズフリー機能を使用する場合、他のBluetooth対応機器（ポータブルオーディオ）を使用しているときは、次のようになります。
  - 携帯電話の Bluetooth 接続が切断されることがあります。
  - ハンズフリーの音声にノイズが発生することがあります。
  - ハンズフリーの動作が遅くなることがあります。
- ハンズフリー接続とオーディオ接続の両方に対応している携帯電話でも、ハンズフリー接続とオーディオ接続を同時にできない場合があります。
- Bluetooth オーディオ再生中に接続動作を行った場合、音声が途切れることがあります。
- Bluetooth オーディオの操作後に携帯電話の接続を行った場合、接続できないことがあります。また、携帯電話の接続動作中にBluetooth オーディオの操作を行った場合、接続が中断されます。これらの場合、しばらくしてから手動で接続を行ってください。（507 ページ参照）

■ *Bluetooth*®接続確認表示

ACC-ON時のBluetooth接続確認表示(524ページ参照) が **する** に設定されているときは、Bluetooth接続されると、接続完了メッセージが表示されます。
ハンズフリー機能を使用するときは、この表示をご確認ください。



- Bluetooth接続状況は、Bluetooth接続状態表示でも確認できます。(502 ページ参照)

携帯電話を手動で接続する

携帯電話との自動接続に失敗したときや自動接続（506 ページ参照）が **しない** に設定されているときに、手動でBluetooth接続することができます。

チェック

携帯電話のBluetooth待ち受けをONにするなど本機と接続できる状態にします。携帯電話側の操作については、携帯電話の取扱説明書を参照してください。

1 情報・BTナビ画面（情報）（266ページ参照）で、**電話** にタッチします。

2 **接続** にタッチします。



- Bluetooth接続画面が表示され、携帯電話とのBluetooth接続が開始されます。
- Bluetooth接続が完了すると、接続完了のメッセージが表示されます。

ワンポイント

- 携帯電話を手動で接続するときは、Bluetooth接続可能な状態にしてください。
- Bluetooth 接続完了の表示は、エンジンスイッチをOFF（LOCK）からACC、またはONにした後、初めて携帯電話とBluetooth接続完了したときに1回のみ表示されます。Bluetooth接続失敗の表示がされてもその後Bluetooth接続できれば、Bluetooth接続完了の表示が1回のみ表示されます。
- 携帯電話の状態によっては、一度でBluetooth接続できない場合があります。その場合、しばらくしてから再度接続操作を行ってください。

2. 携帯電話の接続

Bluetooth®接続の再接続について

エンジンスイッチがACC、またはONのときに、一度成立したBluetooth接続がBluetoothネットワーク電波状況などで切断された場合は、自動接続の設定に関わらず、自動的に再接続処理を行います。この場合、接続完了しても表示はありません。

■ *Bluetooth*®接続が意図的に切断された場合

携帯電話側からBluetooth接続をOFFにするなど、一度成立したBluetooth接続が意図的に切断された場合は、再接続処理は行いません。
この場合は、次のいずれかの方法で再接続してください。

- 手動でBluetooth接続する……507ページ
- 改めて携帯電話を選択する……520ページ

ワンポイント

再接続処理は一定時間行われます。その間に接続できなかった場合は、手動で接続操作を行ってください。（507 ページ参照）

1. 電話のかけ方

本機では様々な方法で電話番号を呼び出し、電話をかけることができます。

ダイヤル画面を表示する

ダイヤル画面から、次のいずれかの方法で電話をかけることができます。

- **ダイヤル発信** 510ページ
  電話番号を入力して電話をかける
- **電話帳発信** 510ページ
  本機に登録した電話帳から電話をかける
- **履歴発信** 511ページ
  発信履歴または着信履歴から電話をかける

その他、次の方法で電話をかけることもできます。

- **携帯電話本体からの発信** 513ページ
  携帯電話本体から電話をかける

1 情報・BTナビ画面（情報）（266ページ参照）で、**電話** にタッチします。

- ダイヤル画面が表示されます。



● ダイヤル画面

ワンポイント

- ハンズフリー機能を使用して電話をかけるときの通話料は、お客様のご負担になります。
- ハンズフリー機能を使用する場合は、次の点に注意してください。
  - Bluetooth 携帯電話は、本機に携帯電話を登録してBluetooth接続しないとハンズフリー機能が使用できません。ハンズフリー機能を使用するときは、まずご使用になる携帯電話の登録を行ってください。（504 ページ参照）
  - 携帯電話は Bluetooth 機能を使用できる状態にしてご使用ください。携帯電話側の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書をご覧ください。
  - Bluetooth 接続状態表示が切断表示の場合は、ハンズフリー機能はご使用になれません。（503 ページ参照）
  - 走行中は安全のため画面に電話番号などが表示されず、一部の操作ができなくなります。ただし、電話帳に登録されている電話番号のときは、電話帳に登録されている名称が表示されます。
  - 電話をかけると同時に着信があると、画面表示と携帯電話の動作が異なることがあります。

1. 電話のかけ方

ダイヤル発信する

電話番号を入力して電話をかけることができます。ダイヤル画面を表示しているときに走行を開始すると、10キーがトーンダウンして、操作できなくなります。この場合、電話番号が入力済みであれば、発信することはできます。

1 ダイヤル画面（509 ページ参照）で、1桁ずつタッチして電話番号を入力します。

● 間違えたときは、**修正** にタッチすると、最後の1桁が消去されます。
タッチし続けると、最後から1桁ずつ順に消去されます。

2 にタッチします。

3 発信できると、発信中画面が表示されます。

● 発信音が鳴った後、呼出音が鳴ります。



4 相手が電話に出ると、通話中画面が表示されます。

● この画面で通話ができます。



ワンポイント

●携帯電話の機種によっては、次のようなことがあります。
- ・発信音や呼出音が鳴らず、無音になることがあります。
- ・発信中画面が表示されず、相手が電話に出る前に通話中画面が表示されることがあります。
- ・通信事業者のサービスにより発信中画面で10キー入力する必要がある場合、10キー入力をしてもトーン信号を送れないことがあります。10キー入力については、**「10キー入力する」**（516ページ参照）をご覧ください。

●Bluetooth　オーディオ再生中に発信すると、発信中画面の表示および発信音の鳴る動作が遅れることがあります。

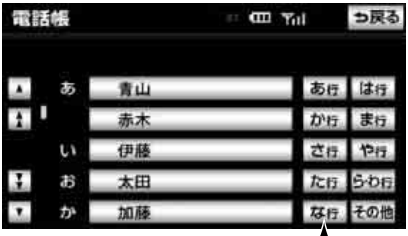
電話帳発信する

あらかじめ携帯電話の電話帳データを本機の電話帳に登録しておくことにより（526 ページ参照）、登録した電話番号を呼び出して電話をかけることができます。

1 ダイヤル画面（509 ページ参照）で、**電話帳** にタッチします。

2 希望の通話相手にタッチします。

- ショートカットスイッチは、 **その他** にタッチすると英数字ショートカット、 **50音** にタッチすると50音ショートカットに切り替わります。
- 英数字ショートカットを表示しているときは、アルファベットのショートカットスイッチのみ任意のアルファベットが選択できます。
  (例) **ABC** に2回タッチすると、Bで始まるデータのリストが先頭に表示されます。



ショートカットスイッチ

3 電話番号が2件以上登録してあるときは、希望の電話番号にタッチします。



4 にタッチします。

履歴発信する

過去に発信または着信した電話番号を、それぞれ最大5件記憶しています。それぞれの履歴は5件以上になると、古い履歴から自動で削除されます。履歴に登録されている電話番号を呼び出して電話をかけることができます。

1 ダイヤル画面（509 ページ参照）で、 **履歴** にタッチします。

2 **発信履歴** 、または **着信履歴** にタッチして、履歴の表示を切り替えます。



● **発信履歴画面**



● **着信履歴画面**

3 希望の通話相手にタッチします。

1. 電話のかけ方

4 にタッチします。

ワンポイント

- 発信履歴は、状況によって次のように登録されます。
  - 最大5件まで登録されます。登録可能件数を超えると、最も古い発信履歴から自動的に削除されます。
  - 本機の電話帳に登録されている電話番号に発信した場合、そのデータに名称情報があると、名称も発信履歴に登録されます。
  - 同一電話番号から発信した場合は、最新の発信履歴のみ登録されます。
- 着信履歴は、状況によって次のように登録されます。
  - 不在着信履歴は最大3件、通常着信履歴は最大2件まで登録されます。登録可能件数を超えると、最も古い発信履歴から自動的に削除されます。
  - 本機の電話帳に登録されている電話番号から着信した場合、そのデータに名称情報があると、名称も着信履歴に登録されます。
  - 不在着信および着信拒否も着信履歴として登録されます。
  - 相手先電話番号の情報がない場合は、着信履歴に“通知不可”と表示されます。
- 携帯電話から位置情報を送信して表示した地図（283 ページ参照）で、**情報** にタッチして発信した場合、発信履歴に登録されなかったり、違う名称で登録されたりすることがあります。
- 履歴を削除したいときは、**「履歴を削除する」**（512ページ）をご覧ください。

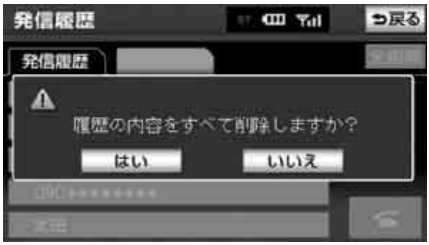
■履歴を削除する

発信履歴および着信履歴のデータは、まとめて削除することができます。

1 発信履歴画面、または着信履歴画面で、**全削除** にタッチします。



2 **はい** にタッチします。



ワンポイント

お車を手放すときには、個人情報の初期化を行ってください。（70 ページ参照）

携帯電話本体から発信する

本機にBluetooth接続された携帯電話本体を直接操作して、発信することができます。

⚠ 警告

運転者が走行中に携帯電話を使用することは法律で禁止されています。安全のため、走行中の操作は絶対に行わないでください。

ワンポイント

- 携帯電話本体から発信した場合、Bluetooth接続中であれば、情報・BTナビ画面（情報）（266 ページ参照）で **電話** にタッチすると、ハンズフリー画面が表示されます。この場合、**通話転送** 以外のタッチスイッチはトーンダウンし、操作できません。タッチスイッチを使用したいときは、通話転送の操作をしてください。(517 ページ参照)
- 携帯電話本体から発信した場合、ハンズフリーでの通話になるか、携帯電話本体での通話になるかは、機種によって異なります。携帯電話の操作については、携帯電話の取扱説明書でご確認ください。

発信を中断する

発信中画面で ☎ にタッチすると、発信を中断できます。

- 携帯電話本体で電話を切った場合も、発信を中断します。
- 発信が中断されると、ハンズフリー画面が解除されます。

2. 電話の受け方

ここでは、全画面表示の場合で説明しています。簡易表示の場合は、**「簡易画面について」**（518ページ）を参照してください。

電話を受ける

1 表示中の画面に関わらず、電話がかかってくると着信音を鳴らして着信中画面を表示し、着信を通知します。



2 📞 にタッチします。

- 通話中画面が表示されます。
- 通話終了後は、ハンズフリー画面が解除されます。

📖ワンポイント

- 着信中に地図画面など他の画面を表示することができます。情報・BTナビ画面（情報）（266 ページ参照）で、**電話** にタッチすると、もとの画面にもどります。
- 着信時、一時的に“通知不可”と表示される場合がありますが、故障ではありません。
- 着信したら、ハンズフリー以外で出力される音声をミュート（消音）します。ただし、ハンズフリーより優先される音声の場合は、ミュートされません。
- ハンズフリー機能を使用する場合は、次のようなことがあります。携帯電話の操作については、携帯電話の取扱説明書でご確認ください。
  - ドライブモードなど、携帯電話の設定によっては、着信できないことがあります。
  - 携帯電話は Bluetooth 機能を使用できる状態にしてご使用ください。
  - 携帯電話をマナー（バイブレータ）モードや着信音消去に設定すると、着信音が聞こえない場合があります。
  - 着信音については、
    ①車両のスピーカーから聞こえる
    ②携帯電話から聞こえる
    ③両方から聞こえる
    など、機種によって異なります。また、着信音は携帯電話で選択している着信音を鳴らします。ただし、機種によっては、本機に登録されている着信音が鳴ることや着信音が聞こえないことがあります。
  - 機種によっては、着信時に相手の電話番号が表示されないことがあります。
  - 携帯電話本体を直接操作して電話を受けたとき、または携帯電話を自動着信応答に設定したときは、ハンズフリーでの通話になるか、携帯電話本体での通話になるかは、機種によって異なります。
  - 携帯電話でデータ通信を行っている最中に着信があった場合、機種によっては、本機に着信中画面が表示されず、着信音も鳴らないことがあります。
  - ハンズフリー設定画面で自動着信応答を **する** に設定しておくと、自動で電話を受けることができます。（525 ページ参照）
  - Bluetooth オーディオ再生中やオンデマンドVICS使用中に着信があった場合、着信中画面の表示および着信音の鳴る動作が遅れることがあります。

着信中画面で操作する

ここでは、電話を受ける以外に着信中画面で操作できることを説明します。

■電話を保留する（応答保留）

1 着信中画面で、☎ にタッチします。

- 応答が保留されます。
- 応答保留中、小 または 大 にタッチすると音量を調整できます。
- 応答保留中、☎ にタッチすると、電話を切って、ハンズフリー画面が解除されます。



2 ☎ にタッチします。

- 応答保留が解除され、通話できるようになります。
- 応答保留中でも 通話転送 にタッチすると、通話を転送することができます。(517 ページ参照)



ワンポイント

- 携帯電話の機種によっては、応答保留できないことがあります。
- 携帯電話の機種によっては、本機の操作で応答保留中になると、自動的に携帯電話本体での通話に切り替わることがあります。
- Bluetooth 接続中に、携帯電話本体で応答保留する、または携帯電話本体で応答保留を解除すると、携帯電話本体での通話に切り替わります。

■着信音の音量を調整する

着信中画面で、小 、または 大 にタッチする。



ワンポイント

着信音は携帯電話で選択している着信音を鳴らします。ただし、機種によっては、選択している音以外の着信音が鳴ることや着信音が聞こえないことがあります。

■着信拒否する

着信中画面で、☎ にタッチし続けると、着信拒否できます。
ただし、携帯電話が着信拒否に対応しているときのみ使用することができます。
着信拒否すると、ハンズフリー画面が解除されます。

3. 通話中の操作

ここでは、全画面表示の場合で説明しています。簡易表示の場合は、**「簡易画面について」**（518ページ）を参照してください。

通話中画面で操作する

通話中は通話中画面が表示され、次の操作をすることができます。

- 受話音量の調整
- 通話の終了
- 10キー入力
- 送話音のミュート
- 通話の転送



● **通話中画面**

チェック

通話中はオーディオ機能を使うことができません。

ワンポイント

- 通話中に地図画面など他の画面を表示することができます。情報・BTナビ画面（情報）（266 ページ参照）で、**電話** にタッチすると、もとの画面にもどります。
- 画面に表示される通話時間は、通話時間の目安を表示します。そのため、携帯電話の表示と一致しないことがあります。
- 単独で通話中の携帯電話が本機にBluetooth接続されると、通話中画面が表示されます。この場合、そのままで通話が維持されるか、ハンズフリーでの通話になるかは、機種によって異なります。
- ハンズフリーで通話中にエンジンスイッチをOFF（LOCK）にする、またはエンジンをかけると、機種によって、通話が切断される場合と、通話が携帯電話で継続される場合があります。なお、通話が携帯電話で継続される場合は、携帯電話の操作が必要になることがあります。この場合、エンジンスイッチがACC、またはONであれば、通話を転送することでハンズフリーでの通話に切り替えられます。（517 ページ参照）

■受話音量を調整する

通話中画面で、**小** 、または **大** にタッチすると、受話音量を調整することができます。

■通話を終了する

通話中画面で ☎ にタッチすると、通話を終了します。携帯電話本体で電話を切った場合も、通話は終了します。通話が終了すると、ハンズフリー画面が解除されます。

■10キー入力する

通話中画面で、**トーン** にタッチすると、トーン入力画面が表示され、10キー入力できるようになります。



● **トーン入力画面**

■送話音をミュート（消音）する

通話中画面で ミュート にタッチすると、お客様の音声を通話相手に聞こえなくすることができます。（この場合でも、通話相手の声はお客様に聞こえます。）
ミュート状態のときは、作動表示灯が点灯します。
再度 ミュート にタッチすると、ミュートが解除されます。

ワンポイント

携帯電話の機種により、送話音をミュート（消音）できない場合があります。

■通話を転送する

Bluetooth携帯電話では、本機と携帯電話の間で、通話を転送することができます。
ハンズフリーでの通話から携帯電話本体での通話、または携帯電話本体での通話からハンズフリーでの通話に切り替えられます。

画面で操作する

通話中画面、または応答保留中画面で、通話転送 にタッチします。

- 走行中は、ハンズフリーでの通話から携帯電話本体での通話に切り替えることはできません。

ワンポイント

画面で通話転送の操作をした場合、転送に失敗して音声が聞こえなくなることがあります。

携帯電話本体で操作する

発信中、通話中、着信中、応答保留中に通話を転送することができます。

- 携帯電話本体での通話からハンズフリーでの通話に切り替えると、ハンズフリー画面が表示され、タッチスイッチでの操作ができます。
- 携帯電話の機種により、転送方法や動作が異なります。携帯電話の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書でご確認ください。

4. 簡易画面での操作

簡易画面について

次のような画面が表示され、着信中であることをお知らせします。
ハンズフリー設定の着信割り込み表示（524ページ参照）で **簡易** を選択しているときに表示されます。



● 簡易画面

1. ハンズフリーの設定

音量の設定をする

■音量を調整する

1 設定・編集画面（電話）（77 ページ参照）で **音量設定** にタッチします。

2 音量設定画面で、各音量の **小** 、または **大** にタッチして調整します。

- 受話音量：通話相手の音声の音量が調整できます。
- 着信音量：着信音の音量が調整できます。
- **初期状態** にタッチすると、音量設定の項目が初期設定の状態にもどります。



3 **完了** にタッチします。

ワンポイント

- 受話音量は、発信中画面、通話中画面、応答保留中画面でも調整できます。
- 着信音音量は、着信中画面でも調整できます。
- 受話音量はできるだけ小さく調整してください。エコーが出ることがあります。

ステアリングスイッチで音量を調整する

お車がステアリングスイッチ設定車の場合、ステアリングスイッチでも、音量を調整することができます。操作方法の詳細は、**「ステアリングスイッチを設定する」**（491ページ）と、**「オーディオ・ハンズフリー（AVN-Z01のみ）機能共通の操作」**（493ページ）を参照してください。

■高速走行時の自動音量切り替えを設定する

高速走行中は、設定した音量が自動的に1段階上がるようにすることができます。

自動音量切り替えをON（自動で上がる）にするか、OFF（上がらない）にするか、選ぶことができます。

1 **高速時の自動音量切替** にタッチします。

- ONにしたときは、作動表示灯が点灯します。
- タッチするたびに、ONとOFFが切り替わります。



作動表示灯

2 **完了** にタッチします。

ワンポイント

高速時の自動音量切替をONにすると、車速が約80km/h以上になると、設定した音量が自動的に1段階上がります。（車速が約70km/h以下になると、もとの音量にもどります。）

1. ハンズフリーの設定

使用する携帯電話を選択する

携帯電話の登録をすると、一番新しく登録した携帯電話が使用する携帯電話として選択されます。複数の携帯電話を登録しているときは、使用する携帯電話を選択する必要があります。
携帯電話は本機に最大5台まで登録することができますが、本機で使用できるのは電話機選択で選択された携帯電話のみです。

チェック

携帯電話のBluetooth待ち受けをONにするなど本機と接続できる状態にします。
携帯電話側の操作については、携帯電話の取扱説明書を参照してください。

1 設定・編集画面（電話）（77 ページ参照）で **電話機選択** にタッチします。



2 使用する携帯電話にタッチします。

● Bluetooth 接続がされている携帯電話には、Bluetoothマークが表示されます。



Bluetoothマーク

3 **完了** にタッチします。

● 他の携帯電話が Bluetooth 接続中のときは、確認のメッセージが表示されます。切断してよければ、**はい** にタッチします。

● Bluetooth接続画面が表示されます。

● **中止** にタッチすると、Bluetooth接続が中止されます。

● Bluetooth 接続完了のメッセージが表示されます。

ワンポイント

●携帯電話の登録については、**「携帯電話の登録」**（504ページ）を参照してください。

●Bluetooth オーディオ再生中に電話機選択をした場合、音声が途切れることがあります。

電話機詳細情報を表示する

電話機詳細情報は、本機に登録されている携帯電話に関する情報の表示と設定をすることができます。
情報は、次の項目が表示されます。

- **機器名称：**
  本機に表示される携帯電話の名称です。
- **機器アドレス：**
  機器固有のアドレスです。
- **自局電話番号：**
  携帯電話の電話番号です。



● **電話機詳細情報画面**

1 設定・編集画面（電話）（77 ページ参照）で **電話機選択** にタッチします。

2 詳細情報を表示したい携帯電話にタッチします。



3 **詳細情報** にタッチします。

● 電話機詳細情報画面が表示されます。

ワンポイント

初期状態 にタッチすると、ハンズフリー設定の項目が初期設定の状態にもどります。

1. ハンズフリーの設定

ハンズフリー設定画面

ハンズフリー設定画面では、下記の項目を設定することができます。

項目/スイッチ	機　能	ページ
Bluetooth設定	携帯電話を登録・削除することができます。	504、523
機器名称	Bluetoothネットワーク内での本機の名称です。変更することはできません。	—
パスキー	携帯電話を登録するための番号です。4～8桁の数字で任意に変更することができます。	523
機器アドレス	本機に登録されている機器固有のアドレスです。変更することはできません。	—
自動接続	エンジンスイッチをOFF（LOCK）からACC、またはONにしたとき、自動でBluetooth接続ができるようにするか、しないかを設定することができます。	506
着信割り込み表示	携帯電話画面以外の画面が表示されているときに電話がかかってきた場合の、画面の表示方法を設定することができます。	524
ACC-ON時のBluetooth接続確認表示	エンジンスイッチをOFF（LOCK）からACC、またはONにしたとき携帯電話とのBluetooth接続結果を表示するか、しないかを設定することができます。	524
自動着信応答	自動着信応答を設定しておくと、電話がかかってきたとき、あらかじめ設定した待ち時間が経過すると、自動で通話中画面に切り替わり通話できるように設定することができます。	525
電話帳ロック	ロックNo.を設定して、ハンズフリー機能の使用に制限をかけることができます。	529
初期状態	タッチすると、Bluetooth設定の項目が初期設定の状態にもどります。	—

1 設定・編集画面（電話）（77 ページ参照）で、**ハンズフリー設定** にタッチします。



●ハンズフリー設定画面

携帯電話の登録を削除する

1 ハンズフリー設定画面（522 ページ参照）で、Bluetooth設定の **削除** にタッチします。



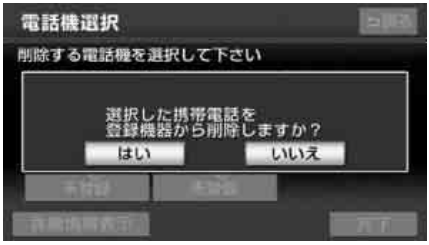
2 削除する携帯電話にタッチします。



3 **完了** にタッチします。

4 **はい** にタッチします。

● 削除する携帯電話が Bluetooth 接続中の場合は、メッセージが表示されます。**はい** にタッチすると、削除されます。



パスキーを変更する

1 ハンズフリー設定画面（522 ページ参照）で、パスキーの **変更** にタッチします。

● **初期状態** にタッチすると、設定を初期状態にもどすことができます。



1. ハンズフリーの設定

2 数字に1文字ずつタッチして、4～8桁の数字を入力します。

● 間違えた場合は、**修正** にタッチすると、1文字ずつ削除されます。



3 **完了** にタッチします。

着信割り込み表示を設定する

携帯電話画面以外の画面が表示されているときに電話がかかってきた場合の、画面の表示方法を設定することができます。

1 ハンズフリー設定画面（522 ページ参照）で、着信割り込み表示の **全画面** 、または **簡易** にタッチします。

● **全画面** にタッチすると、着信中にハンズフリー画面が表示されて、タッチスイッチで操作することができます。

● **簡易** にタッチすると、着信中に、簡易画面がオンスクリーン表示されます。タッチスイッチは表示されません。応答するには、携帯電話画面に切り替える必要があります。



2 **完了** にタッチします。

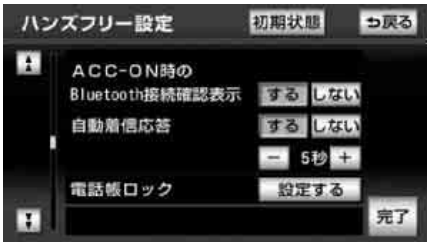
ACC-ON時の*Bluetooth*®接続確認表示を設定する

エンジンスイッチをOFF(LOCK)からACC、または　ON　にしたとき携帯電話とのBluetooth接続結果を表示するか、しないかを設定することができます。



1 ハンズフリー設定画面（522 ページ参照）で、ACC-ON時のBluetooth接続確認表示の **する** 、または **しない** にタッチします。

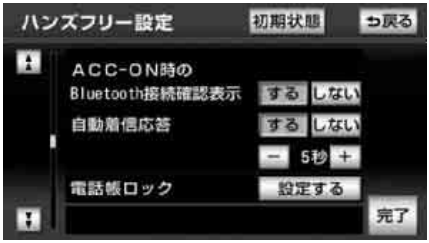
● **初期状態** にタッチすると、設定を初期状態にもどすことができます。



自動着信応答を設定する

自動着信応答を設定しておくと、電話がかかってきたとき、あらかじめ設定した待ち時間を経過すると、自動で通話中画面に切り替わり通話することができます。

1 自動着信応答の **する** にタッチします。



2 **－** 、または **＋** にタッチして、自動応答するまでの待ち時間を1～60秒の間で設定できます。

● 設定を解除するときは **しない** にタッチします。

3 **完了** にタッチします。

2. 電話帳の編集

電話帳編集画面を表示する

電話帳編集画面では、本機に携帯電話に登録された電話帳データの転送（526 ページ参照）や、転送した電話帳の削除（528 ページ参照）ができます。

1 設定・編集画面（電話）（77 ページ参照）で、**電話帳編集** にタッチします。

● 電話帳編集画面が表示されます。



● **電話帳編集画面**

携帯電話の電話帳データを転送する

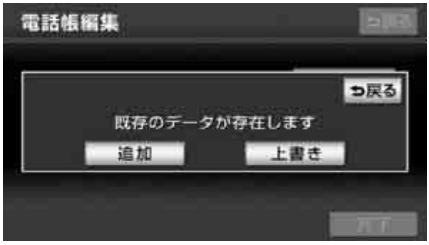
携帯電話に登録されている電話番号（電話帳データ）を、本機に転送することができます。本機の電話帳は、１名につき最大３件の電話番号が登録でき、最大1000名分（登録した携帯電話１台あたり）のデータが登録できます。

チェック

- ●転送するときはバッテリー上がり防止のため、エンジンをかけた状態で行ってください。
- ●この機能は、OPP（Object Push Profile）に対応していない携帯電話では使用できません。また、携帯電話によって、携帯電話からの電話帳データの転送方法が異なります。詳しくは、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

1 電話帳編集画面（526 ページ参照）で、電話帳追加の **電話帳転送** にタッチします。

2 選択した電話帳にすでに電話帳データがある場合は、転送方法の確認メッセージが表示されます。
既存のデータに上書きするときは **上書き** 、既存のデータに追加するときは **追加** にタッチします。



3 電話帳データ転送画面が表示されたら、携帯電話を操作して電話帳データを転送します。

- ● 携帯電話側の転送操作は、必ず下の画面を表示させた状態で行ってください。
- ● 転送中は、転送完了のメッセージが表示されるまで、そのままでお待ちください。
- ● 転送を中止したいときは、 **中止** にタッチします。ただし、携帯電話側で転送開始操作をした場合、操作することはできません。
- ● 転送が完了すると、転送完了のメッセージが表示され、電話帳編集画面にもどります。
- ● 転送失敗のメッセージが表示されたときは、転送操作を最初からやり直してください。



● 電話張データ転送画面

ワンポイント

●低温時は、登録、編集または転送した電話帳データが保存されないことがあります。

●電話帳データを転送する際、各データについては、次のような制限があります。

・携帯電話の電話帳で1つの名称に4件以上の電話番号が登録されている場合、本機の電話帳には同じ名称を複数登録してすべての電話番号を登録します。

・電話番号と同時に名称･名称読みも転送されますが、機種によっては漢字や記号などが転送されないことや、すべての文字が転送されないことがあります。また、転送されても正しく表示されないことがあります。

・通常はシークレットメモリの読み出しは行いません。（携帯電話の仕様により可能な場合もあります。）

・携帯電話に登録されているグループ名は転送されません。

●電話帳データを転送する際、機種によっては、携帯電話の暗証番号および認証パスワードの入力を求められることがあります。この場合、認証パスワードは“1234”を入力してください。

●一括転送可能な機種は、電話帳データを転送する際、次のような特徴があります。

・転送にかかる時間は、転送する電話番号の件数や電話帳データの容量により異なります。データによっては、数10分かかる場合があります。

・電話帳データ転送画面が表示されているときでも他画面に切り替えることができます。この場合、電話帳データ転送は継続されます。

●電話帳データ転送中は、次のように対応します。

・電話帳データ転送中に着信があった場合は、状況によりどちらかが優先されます。着信が優先された場合、着信した電話は携帯電話本体での通話になります。この場合は、通話終了後、再度転送操作をやり直してください。

・電話帳データ転送中にエンジンスイッチをOFF（LOCK）にした場合、転送は中止されます。この場合は、エンジンをかけて、再度転送操作をやり直してください。

●次の場合、転送済みの電話帳データは本機の電話帳に保存されます。

・本機のメモリ容量により途中で転送が終了したとき

・何らかの原因で転送が中断されたとき

●本機の電話帳データを携帯電話に転送することはできません。

●電話帳データ転送中は、Bluetooth　オーディオ、ハンズフリー機能、オンデマンドVICSのBluetooth接続が切断されます。この場合、転送が終了すると再接続されます。（機種によっては、再接続できないことがあります。）

2. 電話帳の編集

電話帳のデータを削除する

電話帳データは、個別に選択して削除、または全削除ができます。

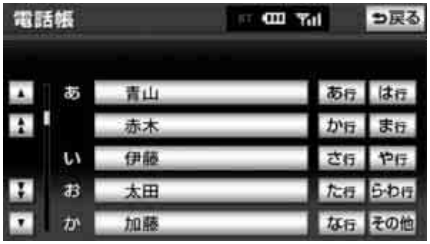
ワンポイント

お車を手放すときには、個人情報の初期化を行ってください。（70 ページ参照）

■電話帳のデータを個別に削除する

1 電話帳編集画面（526 ページ参照）で、電話帳の **1 件削除** にタッチします。

2 削除したいデータにタッチします。



3 **はい** にタッチします。



■電話帳のデータをすべて削除する

1 電話帳編集画面（526 ページ参照）で、電話帳の **全件削除** にタッチします。

2 **はい** にタッチします。



3. セキュリティの設定

セキュリティを設定すると、電話帳に関するハンズフリーの一部機能を使用できなくすることができます。
ホテルで車を預けるときなど、他人に登録してあるデータを見られたくないときにご利用になると便利です。なお、セキュリティの設定および解除をするには、ロックNo.の入力が必要です。
セキュリティを使用するときは、必ずロックNo.を変更してからご使用ください。

⚠ 注意

ロックNo.を変更するときは、ロックNo.を忘れないように管理してください。ロックNo.を忘れると、販売店でも解除ができません。万一ロックNo.を忘れてしまった場合は、電話帳ロック設定の初期化を行ってください。（532 ページ参照）ただし、初期化を行うと、電話帳データや発信履歴および着信履歴も削除されます。

ロックNo.を変更する

セキュリティの設定および解除をするには、ロックNo.の入力が必要です。
ロック No. は 4 桁の数字で、初期設定は「0000」になっています。
セキュリティを使用するときは、必ずロックNo.を変更してからご使用ください。
なお、ロックNo.を変更するときは、他人にわかりにくい番号にしておいてください。

1 ハンズフリー設定画面（522 ページ参照）で電話帳ロックの **設定する** にタッチします。

2 ロックNo.変更の **変更** にタッチします。



3 現在のロックNo.を入力します。

● 間違えたときは、**修正** にタッチすると、1番号ずつ消去されます。



4 **完了** にタッチします。



3. セキュリティの設定

5 新しいロックNo.を入力します。



6 完了 にタッチします。

7 もう一度手順 5 で入力したロックNo.を入力します。



8 完了 にタッチします。

9 はい にタッチします。

- ロックNo.が変更されます。
- ロックNo.を入力し直す場合は、いいえ にタッチします。



10 完了 にタッチします。



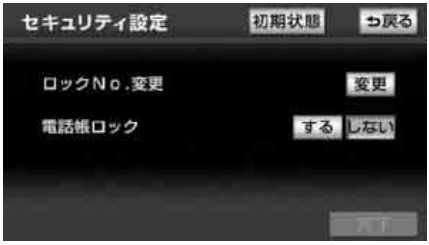
電話帳・発着信履歴制限をする

電話帳・発着信履歴制限を設定すると、次の機能を使用できなくすることができます。

- 電話帳画面の表示、電話帳データの転送・登録・削除、電話帳発信
- 発信時および着信時の相手先名称の表示
- 発信履歴画面および着信履歴画面の表示、履歴の削除、履歴発信
- 電話機詳細情報画面の表示
- ロックNo.の変更

1 ハンズフリー設定画面（522 ページ参照）で、電話帳ロックの **設定する** にタッチします。

2 電話帳ロックの **する** にタッチします。



3 ロックNo. 入力画面が表示されます。ロックNo.を入力し、**完了** にタッチします。

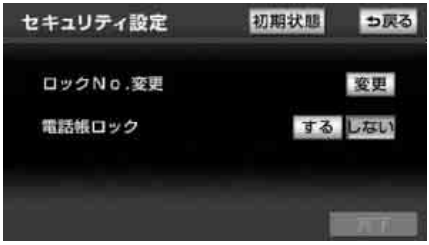


4 **完了** にタッチします。

電話帳・発着信履歴制限を解除する

1 ハンズフリー設定画面（522 ページ参照）で、電話帳ロックの **設定する** にタッチします。

2 電話帳ロックの **しない** にタッチします。



3 ロックNo. 入力画面が表示されます。ロックNo.を入力し、**完了** にタッチします。



4 **完了** にタッチします。

3. セキュリティの設定

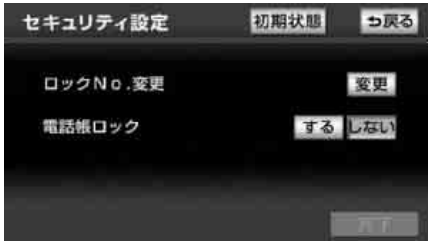
設定を初期化する

チェック

初期状態にもどすと、すべての電話帳データも削除されます。

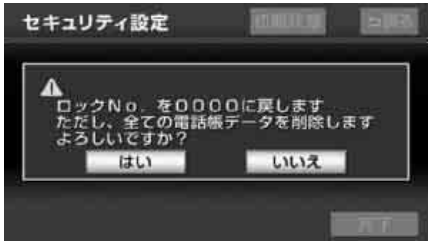
1 ハンズフリー設定画面（522 ページ参照）で、電話帳ロックの **設定する** にタッチします。

2 **初期状態** にタッチします。



● 確認のメッセージが表示されます。

3 **はい** にタッチします。



4 **完了** にタッチします。

ご参考に

1. 知っておいていただきたいこと

こんなメッセージが表示されたときは

下記のようなメッセージが表示された場合、原因と処置を参考にもう一度確認してください。

■共通操作関係

症　状	考えられること	処　置
セキュリティコードの認証エラーです 取扱説明書に記載している方法で解除キーを入力して下さい OK	ESNのロックを解除するときに、誤った暗証番号を5回入力したため。	2次元バーコードは、セキュリティ保護のため、Web上では公開しておりません。製品に同梱されている「取扱説明書」の139ページを参照してください。

■ナビゲーション関係

メッセージ	原　因	処　置
施設情報は800m図より広域の地図には表示されません※	施設（施設ランドマーク）表示中に800mスケール図より広域な地図にしたため。	800mスケール図以下の詳細な地図に切り替えてください。（97 ページ参照）
周辺に該当する施設がありません	周辺の施設を検索するとき、近くに該当する施設が見つからないため。	場所を移動するか、ほかの施設で検索してください。（122 ページ参照）
ルート沿いに該当する施設がありません	ルート沿いの周辺施設を検索するとき、近くに該当する施設が見つからないため。	場所を移動するか、ほかの施設で検索してください。（122 ページ参照）
自宅が登録されておりません。 自宅登録を行いますか？ **はい** **いいえ**	自宅が登録されていないときに、**自宅に帰る** にタッチしたため。	**はい** にタッチするとメモリ地点登録画面を表示します。（237 ページ参照） **いいえ** にタッチするともとの画面にもどります。
自宅が登録されていません 設定・編集のメモリ地点から登録できます	自宅が登録されていないときに、**自宅周辺** にタッチしたため。（目的地を追加する場合）	自宅を登録してからお使いください。（237 ページ参照）
特別メモリ地点が登録されていません 設定・編集のメモリ地点から登録できます	特別メモリ地点が登録されていないときに、特別メモリ周辺 **1** ～ **5** 、特別メモリに行く **1** ～ **5** 、または **特別メモリ周辺** にタッチしたため。	特別メモリ地点を登録してからお使いください。（237 ページ参照）
該当する電話番号が検索できません 確認して修正して下さい	電話番号で地図を呼び出すとき、入力した番号が登録されていないなどの原因で、地図が呼び出せなかったため。	電話番号を再度入力しなおしても地図が呼び出せないときは、ほかの方法で地図を呼び出してください。
該当する郵便番号が収録されていません 確認して修正して下さい	郵便番号で地図を呼び出すとき、入力した番号が登録されていないなどの原因で、地図が呼び出せなかったため。	郵便番号を再度入力しなおしても地図が呼び出せないときは、ほかの方法で地図を呼び出してください。
該当するマップコードが収録されていません 確認して修正してください	マップコードで地図を呼び出すとき、入力した番号が登録されていないなどの原因で、地図が呼び出せなかったため。	マップコードを再度入力しなおしても地図が呼び出せないときは、ほかの方法で地図を呼び出してください。
履歴が登録されていません	履歴で地図を呼び出すとき、過去に目的地を設定していないことが原因で、地図を呼び出せなかったため。	目的地を設定すると目的地履歴に登録されます。目的地履歴が登録されていないときは、ほかの方法で地図を呼び出してください。（126 ページ参照）

※ ナビ詳細設定の縮尺切替メッセージ表示が **する** になっていないと表示されません。

1. 知っておいていただきたいこと

メッセージ	原 因	処 置
この縮尺では位置が特定できません 詳細な地図に切り替えます	800mスケール図より広域の地図で目的地、メモリ地点などを設定・登録しようとしたため。（ワンタッチメモリ地点登録のときを除く）	目的地、メモリ地点などの設定・登録はできるだけ詳細な地図（800mスケール図以下）で行ってください。
目的地周辺に河川などの水域があります 目的地を移動しますか？	目的地と最寄りの道路との間に、河川などがあるため。	**はい** にタッチしたあと、地図を移動して、道路付近に目的地を設定してください。表示されている位置に目的地を設定するときは、**いいえ** にタッチしてください。
目的地周辺に線路があります 目的地を移動しますか？	目的地を設定するときに、線路が近くにあるため。	**はい** にタッチしたあと、地図を移動して、道路付近に目的地を設定してください。表示されている位置に目的地を設定するときは、**いいえ** にタッチしてください。
目的地が遠すぎます 直線距離5000km以内に目的地の変更をお願いします	直線距離5000kmをこえる目的地を設定したため。	目的地は、直線距離5000km以内に設定してください。
これ以上設定できません 消去してからお使い下さい	目的地を設定した数が5カ所のときに、さらに設定（追加）しようとしたため。	不要な目的地を消去してから設定（追加）してください。（174ページ参照）
付近に案内可能な道路がありません 移動してから再操作をお願いします	通過道路を指定するときに、道路情報などにより、通過道路が指定されなかったため。	地図を移動して、道路付近に通過道路を指定してください。
都市高マップは200m図より詳細な地図では表示できません※	都市高マップ表示中に200mスケール図より詳細な地図にしたため。	200m～1.6kmスケール図の縮尺に地図を切り替えてください。（97 ページ参照）
都市高マップは1.6km図より広域な地図では表示できません※	都市高マップ表示中に1.6kmスケール図より広域な地図にしたため。	200m～1.6kmスケール図の縮尺に地図を切り替えてください。（97 ページ参照）
メモリ地点が登録されていません メモリ地点を登録してからお使い下さい	メモリ地点が登録されていないときに、メモリ地点で地図を呼び出そうとしたため。	メモリ地点を登録してからお使いください。（237 ページ参照）
これ以上登録できません 消去してお使い下さい	メモリ地点や迂回メモリ地点を登録した数が限界数のときに、さらに登録しようとしたため。	不要なメモリ地点を消去してから登録してください。（247 ページ参照）

※ ナビ詳細設定の縮尺切替メッセージ表示が **する** になっていないと表示されません。

メッセージ	原　因	処　置
地点情報の受信に失敗しました	地点情報を受信（送信）するときに、地点を受信（送信）画面を表示させて操作していないため。	地点を受信（送信）画面を表示させて操作してください。
	携帯電話がBluetooth接続されていないため。	携帯電話をBluetooth接続してください。（506 ページ参照）
	Bluetooth通信の電波状態が不安定のため。	電波状態がよくなったことを確認して、再度送信してください。
送信された情報は利用できません	携帯電話から送信したデータと、Yahoo! JAPANと連携画面で選択した項目が違うため。	送信するデータとYahoo! JAPANと連携画面で選択する項目を同じにしてください。
目的地情報（ドライブルート/地点情報）の受信に失敗しました	携帯電話がBluetooth接続されていないため。	携帯電話をBluetooth接続してください。（506 ページ参照）
	Bluetooth通信の電波状態が不安定のため。	電波状態がよくなったことを確認して、再度送信してください。
VICS文字（図形）情報を受信中です しばらくお待ち下さい	VICSメニューを受信していないため。	しばらくしてもメッセージを表示する場合、選局しなおしてください。（216 ページ参照）
VICS・交通情報は1.6km図より広域の地図には表示されません※	VICS表示中に1.6kmスケール図より広域の地図にしたため。	1.6kmスケール図以下の詳細な地図に切り替えてください。（97 ページ参照）
VICSの文字（図形）情報を受信していません VICS選局で周波数をご確認下さい	FM多重放送を行っている放送局を選局していないか、または情報を受信していないため。	選局しなおしてVICSの情報を受信してください。（216 ページ参照）
走行中は自動送りできません 停車してから自動送りを再開します	自動送り機能を走行中にしたため。	停車してからご使用ください。
❍❍❍❍のためFM多重放送を受信できません	AMラジオ受信中や地上デジタルTV放送受信中、またはオーディオの電源がOFFのとき、FM多重放送を受信しようとしたため。	FM多重の放送を行っている放送局を受信してください。（268 ページ参照）
ETCカードが挿入されていません	ETCカードが挿入されていないため。	ETCカードを挿入してお使いください。
ETCカードが読めません カードをお確かめ下さい	ETCカードが正しく読めないため。	カードをお確かめの上、正しく挿入してください。

※ ナビ詳細設定の縮尺切替メッセージ表示が **する** になっていないと表示されません。

1. 知っておいていただきたいこと

メッセージ	原　因	処　置
ETCゲートを通過できません	本機とETC車載器の接続に異常があるか、セットアップがされていないため。	お近くの販売店にお問い合わせください。
ETCカードに書き込みできません カードをお確かめ下さい	ETCカードにデータを書き込む事ができなかったため。	お近くの販売店、もしくはカード発行会社にご相談ください。
ETCゲートとの通信に失敗しました	ETC車載器と料金所間におけるデータ通信が失敗したため。	係員の指示に従ってください。
ETCに異常が発生しました ETCはご利用できません	ETC車載器に何らかの異常があるため。	お近くの販売店にお問い合わせください。
ETCゲートを通過できません 徐行して、料金所で一旦停止して下さい	路側アンテナ側から「ETC車線通行不可＆徐行」の通知があった場合に表示されます。	料金所の係員の指示にしたがってください。 （末尾にエラーコードが表示されている場合は、**「ETC統一エラーコード一覧」**（538ページ）を参照してください。）
ETCゲートを通過できます 徐行して下さい	路側アンテナ側から「ETC車線通行可＆徐行」の通知があった場合に表示されます。	徐行して、ETCゲートを通過してください。
ETCカードが挿入されました	ETC車載器にカードを挿入し、確認されたときに表示されます。	–

ETC統一エラーコード一覧

エラーコード	原　因	処　置	お問い合わせ先
01	ETCカード挿入異常	ETCカードの挿入状態をご確認のうえ、再度挿入してください。	–
02	データの処理異常	「ETCカード挿入時」 挿入されたETCカードのデータが読み出せませんでした。再度挿入してください。	お買い上げの販売店
		「ETC利用時」 料金所にて車両の停止が案内（表示）されることがあります。車両停止後、係員の指示にしたがってください。	
03	ETCカード異常	挿入されたカードがETCカードであると認識できませんでした。正しいETCカードであること、および挿入方向などをご確認の上、再度挿入してください。	ETCカード発行会社
04	ETC車載器の故障	お買い上げの販売店にお問い合わせください。	お買い上げの販売店

エラーコード	原　因	処　置	お問い合わせ先
05	ETCカード情報の異常	挿入されたカードがETCカードであると認識できませんでした。正しいETCカードであることをご確認の上、再度挿入してください。	お買い上げの販売店
06	ETC車載器情報の異常	ETC車載器と料金所間におけるデータ処理にエラーが発生しました。係員の指示にしたがってください。	–
07	通信異常（ETCアンテナ外れ検知時含む）	ETC車載器と料金所間におけるデータ処理にエラーが発生しました。係員の指示にしたがってください。	–
	ETCアンテナが正しく接続されていない	お買い上げの販売店にお問い合わせください。	お買い上げの販売店
–	ETCが利用不可	「予告アンテナ通過時」 ETCがご利用できません。ETC混在車線、または一般車線に進入し、係員の指示にしたがってください。	お買い上げの販売店
		「料金所通過時」 ETCがご利用できません。係員の指示にしたがってください。係員が不在の場合にはお近くのインターホンにてお問い合わせください。	
	ETC車載器の未セットアップ	車両の情報などがETC車載器に登録されていません。ETC車載器のセットアップ作業をご依頼ください。	お買い上げの販売店

1. 知っておいていただきたいこと

■オーディオ・ビジュアル関係

メッセージ	原因	処置
ディスクをお確かめください	ディスクが汚れている、または裏返しになっているため。	ディスクが汚れているときはクリーニングしてください。裏返しのときは正しく入れてください。
ディスクが入っていません	再生可能なディスクが入っていないため。	再生可能なディスクを入れてください。
異常検知でCD停止中です※	なんらかの原因でプレーヤーが動かないため。	イジェクト操作を行ってください。
SDカードにアクセスできません SDカードをご確認下さい	音楽用SDメモリーカードが差し込まれていないため。	音楽用SDメモリーカードを差し込んでください。(38 ページ参照)
	音楽用SDメモリーカードがロックされているため。	音楽用SDメモリーカードのロックを解除してください。
録音用SDの作成に失敗しました	音楽用SDメモリーカードがロックされているため。	音楽用SDメモリーカードのロックを解除してください。
このSDカードには対応していません	対応していない音楽用SDメモリーカードを挿入したため。	本機で使用できる音楽用SDメモリーカードを確認してください。(386 ページ参照)
SDカードが挿入されていません	音楽用SDメモリーカードが入っていないため。	音楽用SDメモリーカードを入れてください。
SDカードエラーです	何らかの原因で音楽用SDメモリーカードが読み込めないため。	音楽用SDメモリーカードをお確かめください。
SDカードがロックされています	音楽用SDメモリーカードの誤消去防止スイッチがLOCK状態になっているため。	音楽用SDメモリーカードの誤消去防止スイッチをLOCKから解除にしてください。
SDカード認証中	音楽用SDメモリーカードの認証を処理しているため。	音楽用SDメモリーカードの認証にしばらく時間がかかります。しばらく待ち、メッセージが消えてからお使いください。
SDカードをお確かめ下さい	何らかの原因で音楽用SDメモリーカードが再生できなくなったため。	しばらくしてから再度、挿入し、再生してください。
CDDB（タイトル）検索中です 再生までしばらくお待ちください	複数の音楽CDを録音した後、Gracenoteメディアデータベース未検索だったタイトルを取得するため。	しばらく待ち、メッセージが消えてからお使いください。
SDの容量がありません 録音を停止します	録音中に音楽用SDメモリーカードの容量が一杯になったため。	音楽用SDメモリーカード内の音楽データを削除する、または容量に余裕のある音楽用SDメモリーカードを使用して、再度録音してください。(407 ページ参照)

※ イジェクト操作をしても動作しないときは、販売店にご相談ください。

メッセージ	原因	処置
すでに録音済のCDです	すでに録音されている音楽CDアルバムを再度録音しようとしたため。	同じ音楽用SDメモリーカード内ですでに録音されている音楽CDは録音することができません。録音する場合、録音されているデータを削除してから、再度録音してください。(407 ページ参照)
音飛びが発生しました 録音をもう一度行います	再生曲を録音中に音飛びが発生したため。	しばらくお待ちください。録音をやり直します。
現在録音中の曲が録音完了するまで、しばらくお待ちください	録音開始後、現在再生している曲の録音が完了していないときに録音を停止すると、先頭から再び録音をやり直す必要があるため。	1曲録音が完了するまでの間、しばらくお待ちください。
異常検知のため書き込みを中止します	タイトル更新、または更新作業が何らかの要因で異常終了したため。	再度タイトル更新、または更新操作を行ってもメッセージを表示する場合、お買い上げの販売店にご相談ください。
録音禁止されているため録音をキャンセルします	録音が禁止されているCDを録音しようとしたため。	録音が禁止されているCDは録音することができません。ご了承ください。
録音アルバムが一杯なので、アルバムを削除してから録音開始して下さい	音楽用SDメモリーカード内のアルバム数が一杯になり、これ以上、自動でアルバムを作成できないため。	アルバムを削除してから、録音を開始してください。(407 ページ参照)
録音トラックが一杯なので、トラックを削除してから録音開始して下さい	音楽用SDメモリーカード内の曲数が一杯になり、これ以上、音楽を録音できないため。	曲を削除してから、録音を開始してください。(407 ページ参照)
プレイリストが一杯です	音楽用SDメモリーカード内のアルバム数が一杯になり、これ以上、新規でアルバムを作成できないため。	アルバムを削除してから、新規でアルバムを作成してください。(407 ページ参照)
トラックが一杯です	アルバム内の曲数が一杯になり、これ以上、曲を追加できないため。	曲を削除してから、曲を追加してください。(407 ページ参照)
録音を中止してから操作して下さい	録音中に録音した音楽の編集や、録音設定を変更しようとしたため。	録音を中止してから操作してください。(388 ページ参照)
異常発生により、録音を停止します	何かしらの原因で異常を検知したため。	オーディオをOFFにしてください。
高温のため、録音を停止します※	本機の温度が異常に高いため。	温度が下がるまで、しばらくそのままでお待ちください。
低温のため、録音を停止します※	本機の温度が異常に低いため。	温度が上がるまで、しばらくそのままでお待ちください。

※ この状態のときは、しばらくお待ちください。デッキ内部の温度が常温に復帰しますと、表示が消えて再生を再開します。長時間経過しても表示が消えないときは販売店にご相談ください。

1. 知っておいていただきたいこと

メッセージ	原因	処置
接続できませんでした ポータブル機のPASS-KEY設定をご確認下さい	本機と Bluetooth 機器のパスキーが一致しないなどの理由で登録できなかったため。	パスキーを確認のうえ、再度Bluetooth機器を登録してください。(468 ページ参照)
接続できませんでした ポータブル機との設定をご確認下さい	何らかの理由でBluetooth機器が本機に接続できなかったため。	Bluetooth機器の設定を確認してください。Bluetooth機器に添付の取扱説明書を参照してください。
ポータブル機との自動接続ができませんでした	Bluetooth機器が本機に自動接続できなかったため。	手動で接続してください。(469 ページ参照)
USBメモリとの通信に失敗しました ケーブルから外して再接続して下さい	USBメモリ接続コードが正しく接続されていないため。	USBメモリを再接続していください。(45 ページ参照)
対応していないフォーマットのため再生できません	USBメモリに収録されている音楽ファイルが、本機に対応していない規格であるため。	再生可能な音楽データをご確認ください。(375 ページ参照)
異常検知でUSBオーディオ停止中です※1	何らかの原因で再生が停止したため。	USBメモリを再接続していください。(45 ページ参照)
iPodとの通信に失敗しました ケーブルから外して再接続して下さい	iPodからの応答がないため。	本機との接続を確認してください。(458 ページ参照)
再生できるデータがありません	iPodに再生可能な音楽データが記録されていないため。	iPod内のデータおよび本機との接続を確認してください。(458 ページ参照)
	対応していないDVDを入れているため。	対応しているDVDを入れてください。(336 ページ参照)、(437 ページ参照)
再生できるファイルがありません	CD-R/RWに再生可能な音楽データが収録されていないため。	再生可能な音楽データが記録されているCD-R/RWを入れてください。
温度異常のためDVD停止中です※2	プレーヤーの温度が異常に高いため。	温度が下がるまで、しばらくそのままでお待ちください。
異常検知でDVD停止中です※3	何らかの原因でプレーヤーが動かないため。	イジェクト操作を行ってください。
入力番号が正しくありません	DVDに対応していない言語コードを入力したため。	DVDに対応している言語コードを確認してください。
	暗証番号が正しく入力されなかったため。	正しい暗証番号を入力してください。
放送を受信できません	地上デジタルTV放送の受信エリア外にいるため。	地上デジタルTV放送を受信できるエリアに移動してください。

※1 再接続しても動作しないときは、販売店にご相談ください。

※2 この状態のときは、しばらくお待ちください。デッキ内部の温度が常温に復帰しますと、表示が消えて再生を再開します。長時間経過しても表示が消えないときは販売店にご相談ください。

※3 イジェクト操作をしても動作しないときは、販売店にご相談ください。

メッセージ	原因	処置
データ放送を表示できませんでした	データ放送を正常に受信できなかったため。	もう一度、操作し直してください。
正常に動作しませんでした 正しく装着されていないか、故障しています ご確認ください	**「mini B-CASカードの動作確認」**（433ページ参照）で異常を検出したため。カードの読み取り不良が考えられます。	mini B-CAS カードの抜き差しを行ってください。抜き差しにて読み取れない場合は、お買い上げの販売店にご相談いただくか、カードを交換してください。
ICカードが正常に動作しませんでした 販売店へお問い合わせ下さい ****（エラーコード）	mini B-CAS カードとの通信で異常を検出したため。カードの読み取り不良が考えられます。	mini B-CAS カードの抜き差しを行ってください。抜き差しにて読み取れない場合は、お買い上げの販売店にご相談いただくか、カードを交換してください。
	mini B-CASカードを挿入していないため。	mini B-CASカードを挿入してください。
	使用できないmini B-CASカードが挿入されているため。（エラーコード: A1FF、A102）	mini B-CASカードを確認してください。
	mini B-CASカードを交換する必要があるため。（エラーコード: 6400）	mini B-CASカードを交換してください。
	mini B-CASカード内のセキュリティ情報が改ざんされているおそれがあるため。（エラーコード: A104）	
	有効な条件を満たしていないmini B-CASカードが挿入されているため。（エラーコード: EC01、EC02）	

1. 知っておいていただきたいこと

■ハンズフリー関係

メッセージ	原因	処置
電話機選択が必要です 設定・編集の電話から設定できます	使用する電話機が選択されていないため。	使用する電話機を選択してください。（520 ページ参照）
Bluetooth 設定が必要です 設定・編集の電話から設定できます	携帯電話の登録がされていないため。	携帯電話の登録を行ってください。（504 ページ参照）
携帯電話で通話中です ハンズフリーに切り替える場合には通話転送スイッチを押して下さい	ハンズフリー通話中のため。	通話を終了してからご利用ください。
携帯電話が接続されていません	携帯電話が接続されていないため。	携帯電話を接続してください。（**「携帯電話の接続」**506ページ参照）
回線が混み合っている等により表示できません しばらく待ってから操作して下さい	サービスエリア圏外にいるため。 認証に失敗したため。 通信環境が悪いため。 携帯電話の接続状態に異常があるため。	①携帯電話について、次の点を確認してください。 ・携帯電話が動作確認済みの機種であるか。 ・携帯電話単体で正常動作するか。 ・携帯電話の異常でないか。（携帯電話の電源OFF、携帯電話の充電不足、携帯電話の故障） ②携帯電話とBluetooth接続ができているか確認してください。 ③他の携帯電話に変えて、試してみてください。
時刻データが古いため使用できません GPSを受信して下さい	GPSが受信できていないため。	GPSが受信できる場所に移動してください。
携帯電話をご確認下さい	携帯電話がBluetooth接続されていないため。 携帯電話に異常があるため。（携帯電話の電源OFF、携帯電話の充電不足、携帯電話の故障） 携帯電話が動作確認済みの機種でないため。	次の点を確認してください。 ・携帯電話とBluetooth接続されているか。 ・携帯電話が動作確認済みの機種であるか。 ・携帯電話の充電は十分であるか。
回線が混雑しています しばらく待ってお使い下さい	発信規制中であるため。	しばらくしてから場所を変えて、数回試してみてください。
通話エリア外です 通話エリアに移動してご利用下さい	サービスエリア圏外にいるため。	しばらくしてから場所を変えて、数回試してみてください。

故障とお考えになる前に

ちょっとした操作のちがいで故障と間違えることがありますので、以下の表にもとづき、まず、確認してください。

処置をしても直らないときは、販売店で点検をお受けください。

■共通操作関係

症　状	考えられること	処　置
日中なのに画面が暗い。	夜画面になっていませんか？	昼画面に切り替えてください。（61 ページ参照）
画面が見にくい。	画面のコントラスト、明るさ調整は適正ですか？	コントラスト、明るさを調整してください。（62 ページ参照）
画面が乱れる、ノイズが入る。	電気的なノイズを発生する電装品を本機のそばで使用していませんか？ 高電圧を発生させて作動するもの （例）マイナスイオン発生器 強電波を発生するもの （例）携帯電話、無線機	本機からできるだけ遠ざけてご使用ください。遠ざけても影響が出る場合は、ご使用をお控えください。
低温時に電源をONにした場合、しばらく画面が暗い。	液晶の特性によるものです。	故障ではありませんので、しばらくそのままでお待ちください。
ディスプレイに光る点がある。	液晶パネルは99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。

1. 知っておいていただきたいこと

■ナビゲーション関係

症　状	考えられること	処　置
地図が表示されない。	地図SDカードが差し込まれていない。	地図SDカードを差し込んでください。(38 ページ参照)
	地図SDカードがロックされている。	地図SDカードのロックを解除してください。
走行しても地図が動かない。	現在地画面以外になっていませんか？	現在地画面を表示させてください。(94 ページ参照)
自車マーク が表示されない。	現在地画面以外になっていませんか？	現在地画面を表示させてください。(94 ページ参照)
GPSマークが表示されない。	GPS情報を利用できない状態ではありませんか？	GPSマークは3個以上のGPS衛星から電波を受信すると表示されます。 SYSTEM CHECK画面でGPS受信感度をご確認ください。(272 ページ参照) 場所を移動してもGPS受信感度が点灯しない状態が続く場合は、お買上の販売店にご相談ください。
案内音声が出力されない。	案内中止になっていませんか？	目的地案内を中止したときは、目的地案内を再開させてください。(183 ページ参照)
	案内の音量が小さく（音声OFFに）なっていませんか？	音量を大きくしてください。(90 ページ参照)
実際の現在地と異なる場所に自車マーク が表示されている。(自車マーク がずれている。)	GPS衛星の状態、車両の状態（走行場所や運転条件）などにより、自車マーク がずれることがあります。また、新設道路など、地図データが実際の道路形状と異なる道路を走行すると、自車マーク がずれることがあります。	しばらく走行すると、マップマッチングやGPS情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。(場合によっては、数分程度かかることがあります。) GPS情報が利用されず、現在地が自動的に修正されないときは、安全な場所にいったん停車して、現在地の修正を行ってください。(315 ページ参照)
距離補正画面で **自動補正** がトーンダウンしている。	ナビゲーションを取り付けた直後ではありませんか？	取り付け直後（別のお車からの載せ換え含む）はGPS受信と車速信号により自動で距離の補正をしており、**自動補正** にタッチすることができません。GPSの受信状態が良好な道路をしばらく走行してください。走行して改善されない場合は、お買上の販売店にご相談ください。

症　状	考えられること	処　置
目的地設定画面・ナビメニュー画面の一部がトーンダウンしている。 50音・住所などがトーンダウンしている。 メモリ地点などトーンダウンしている。	走行中ではありませんか？	車を停車し、パーキングブレーキをかけた状態で操作してください。
リストの中に目的の市町村名がない。	リストを50音ごとにとばして動かしていませんか？	1項目ずつ動かしてください。(85 ページ参照)
地図更新画面の終了日が「＊」になっている。	サービス有効期間の設定前であるためです。	サービス有効期間は自動で設定されます。 サービス有効期間設定前でも地図の更新は可能です。
高速道路上で案内が終了してしまう。	目的地が高速道路上に設定されていませんか？	目的地が高速道路周辺の場合、目的地を設定するときに道路の種類を選択します。(156 ページ参照) 目的地が別の道路上の場合は、目的地設定をやり直してください。 故障ではありませんのでそのままご使用ください。
地図上にVICS情報が表示されない。	スクロールさせても情報がない場合、情報をまだ受信していない。	受信状態が悪い場合、情報を受信するまで数分かかることがあります。
	VICS放送を行っている放送局を受信していますか？	FM多重選局でVICS放送を行っている局に選局してください。
	VICS表示がOFFになっていませんか？	VICS表示をONにしてください。
	表示情報の設定が全てOFFになっていませんか？	表示情報の設定をONにしてください。
	VICSサービスエリアを外れていませんか？	VICSの提供エリアは、**「VICSの問い合わせ先」**(234ページ)を参照してください。
	地図データ情報が古い。 VICSエリアは毎年拡大され、そのエリアは地図データにより更新されます。	最新版の地図データにバージョンアップしてください。(バージョンアップは有償です。)
	スクロールさせたら表示する場合は、そのエリアには情報がない。	情報を受信次第表示されます。
	VICS放送が行われていない時間帯であるとき。	情報を受信次第表示されます。
VICS情報の表示が乱れる。	電波や光の情報がうまく受信されない。	情報を受信次第表示が更新されます。

1. 知っておいていただきたいこと

症　状	考えられること	処　置
VICS 1102 の時間が時刻と違う。	時計ではなく、表示中のVICS情報の提供時刻を示しています。VICS情報を長時間受信していない場合、古い時間が表示されます。	情報を受信次第更新されます。
ハートフル音声で今日の日付の案内をしない。	エンジンスイッチをACC、またはONにして、すぐに目的地設定などの操作をしていませんか？	しばらくの間、エンジンスイッチをACC、またはONの状態にしていると音声を発声します。
	ナビゲーション起動時に、現在地画面以外の画面が表示されていませんか？	現在地画面を表示させてください。（94 ページ参照）
自宅に到着してもハートフル音声が「お疲れ様でした。」と発声しない。	各種設定の「ハートフル音声」が **しない** になっていませんか？	各種設定の「ハートフル音声」の **する** にタッチしてください。
	自宅をメモリ地点に登録していますか？	メモリ地点に自宅を登録してください。（240 ページ参照）
	自宅を目的地に設定していますか？	自宅を目的地に設定してください。（158 ページ参照）
	自宅周辺では案内されないことがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。
設定・編集画面（ナビ）（77 ページ参照）のナビ詳細設定で「車両情報設定」の **変更する** がトーンダウンしている。	目的地が設定されていませんか？	目的地を消去してください。（174 ページ参照）

■オーディオ・ビジュアル関係

症　状	考えられること	処置
音が出ない。	音量が0になっていませんか？	音量調整スイッチを押して確認してください。
片側（左右もしくは前後）のスピーカーだけ音が出る。	スピーカーコードが正しく接続されていますか？	スピーカーコードの接続を確認してください。
	音量バランスは適切ですか？	左右（前後）音量調整をして確認してください。
音質調整をしても音質が変化しない。	お聞きの放送、ディスクが調整した音質に対応していますか？	放送、ディスクを変更して確認してください。
CD・DVDが入らない。	電源が入っていますか？	車のエンジンスイッチを「ACC」または「ON」の位置にしてください。
	すでに差込口に1枚入っていませんか？	すでに入っているCD・DVDをイジェクトしてから、お好みのCD・DVDを入れてください。

症　状	考えられること	処置
CD・DVDの再生ができない。	本機が結露していませんか？	しばらく待ってから使用してください。（336 ページ参照）
	CD・DVDに大きなキズやソリがありませんか？	他のCD・DVDを入れてください。
	CD・DVDがひどく汚れていませんか？	クリーニングしてください。（336 ページ参照）
	CD・DVDが裏返しになっていませんか？	CD・DVDを正しい向きで差し込んでください。
	本機に対応していないCD・DVDが差し込まれていませんか？	対応しているCD・DVDを差し込んでください。（336 ページ参照）、（437 ページ参照）
	自動再生されないDVDが差し込まれていませんか？	DVDディスクに収録されているメニューを操作してください。（443 ページ参照）
DVD再生時、リヤスピーカーから台詞が出力されない。	5.1ｃｈ対応のDVDソフトを再生していませんか？ 5.1ｃｈ対応のDVDソフトの主音声（台詞）はフロントスピーカーから出力されます。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。
DVD再生時、字幕/音声の切り替えができない。	ディスクメニューからの切り替え操作が必要なDVDではありませんか？	字幕 、音声 での切り替えではなく、ディスクメニューからの切り替えが必要な場合があります。ディスクメニュー操作から切り替えてください。（443 ページ参照）
CDを録音できない。	録音できないCDを再生していませんか？	MP3/WMAは音楽用SDメモリーカードへの録音が出来ません。
USBメモリが正しく認識できない。	USBメモリが正しく接続されていますか？	USBメモリを取り外し再度接続してください。 認識しない場合は別のUSBメモリで再度接続してください。
iPodを本機で操作できない。	iPodが正しく接続されていますか？	iPod を取り外し、iPodをリセットしてから再度接続してください。 リセット方法については、iPodの取扱説明書を参照してください。
音声は出るが、映像が出ない。	画面消しボタンを押して画面を消していませんか？	現在地 を押してください。（62 ページ参照）
音声は出るが、TV映像が出ない。（停車中）	パーキングブレーキが解除されていませんか？	パーキングブレーキを引いてください。

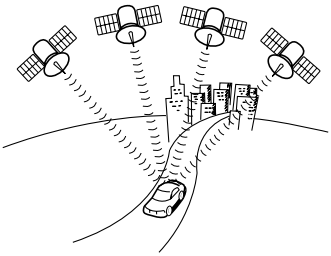
1. 知っておいていただきたいこと

症　状	考えられること	処置
映像も音も出ない。	電源が入っていますか？	車のエンジンスイッチを「ACC」または「ON」の位置にしてください。
	接続コードが正しく接続されていますか？	各接続コードの接続を確認してください。
ポータブルオーディオの再生音がスピーカーから出力されない。	ポータブルオーディオの電源が入っていますか？	ポータブルオーディオの電源を入れてください。
	ポータブルオーディオが再生されていますか？	ポータブルオーディオを再生してください。
VTR機器からの映像が映らない。音声がスピーカーから出力されない。	VTR機器接続用コードのプラグがしっかり接続されていない。	VTR機器接続用コードのプラグをしっかり接続してください。
TVの映像、音が出ない。	mini B-CASカードが正しく差し込まれていますか？	mini B-CASカードを正しく差し込んでください。（411 ページ参照）
TVの映像が止まって音が出ない。	地上デジタルTV放送の受信状態は良好ですか？	サービスエリア内でも環境により受信できない場合がありますので、受信できる場所に移動してください。
	mini B-CASカードが正しく差し込まれていますか？	mini B-CASカードを正しく差し込んでください。（411 ページ参照）
地上デジタルTV放送が受信できない。	お車が地上デジタルTV放送を受信できない地域にありませんか？	地上デジタルTV放送を受信できる地域に移動してください。

2. 用語説明

より楽しく有効に利用していただくために、次に出てくる用語の説明をご一読ください。

● GPS(Global Positioning System)



GPSは、高度約21000kmの軌道上を周回する通常4個以上、場合により3個のGPS衛星から地上に放射される電波を受信して、現在の位置（緯度、経度、高度）を知ることができるシステムです。

この衛星は、主として軍事利用のために米国国防総省によって打ち上げられ管理されていますが、民間の使用も解放されています。本機では、GPSの情報や各種センサー、道路地図データなどを利用してナビゲーションを行っています。

● 自立航法

車速センサーや振動ジャイロセンサー、傾斜計（Gセンサー）からのデータによって自車走行軌跡を求め、現在地を表示する技術です。トンネルや高架下道路などでも自車の現在地を表示できます。

● 広域地図、詳細地図

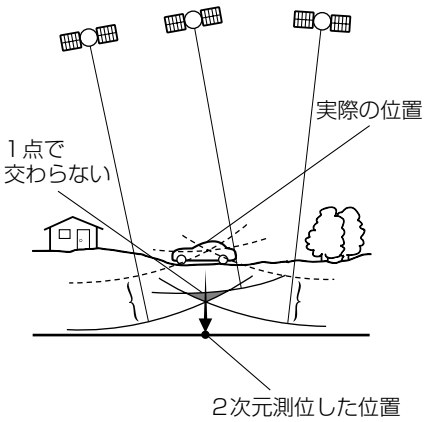
広域地図とは範囲の大きな地図で、詳細地図とは範囲の小さな地図のことです。地図の縮尺は1／2048万、1／1024万、1／512万、1／256万、1／128万、1／64万、1／32万、1／16万、1／8万、1／4万、1／2万、1／1万、1／5000、1／2500です。

● 測位



3個以上のGPS衛星からの電波を受信して、自車の現在地を測定することです。本機では3個以上のGPS衛星の電波を受信して測位可能な場合に、現在地画面上の左上隅に「GPS」を表示します。（情報画面や設定、登録の画面では、「GPS」は表示しません。）

● 2次元測位と3次元測位



GPSは3点測量の原理にしたがって位置を計算しています。

1個の衛星から電波を受信するとその衛星との距離がわかり、3個の衛星から受信すると現在地が測位できます。

しかし、実際にはGPS衛星およびナビユニットに誤差があるので、3個のGPS衛星からの電波しか受信できないときには、緯度と経度の2次元で測位しています。この場合は精度が低くなります。

また、4個以上のGPS衛星からの電波を受信したときは、緯度、経度、高度の3次元で測位しています。3次元測位は2次元測位より精度が上がり、自車位置の表示の誤差も少なくなります。

2. 用語説明

● 3Dジャイロセンサー

走行中に右や左にどれだけ曲がったかを電気的に検出する振動ジャイロセンサーと路面の傾斜を検出する傾斜計（Gセンサー）で現在地を割り出しています。

本機の自立航法では、このセンサーが非常に重要な役割を果たしています。

● スーパーオーディオCD（SACD）

原音のアナログ波形に極めて近い形で音をデジタル記録するDSD（Direct Stream Digital）方式を採用した高音質オーディオディスクの規格です。

スーパーオーディオCDには以下の種類があります。

- シングルレイヤーディスク

  HD層※が1層のみのディスク
- デュアルレイヤーディスク

  HD層※が2層のみのディスク
- ハイブリッドレイヤーディスク

  HD層※とCD層※が合わさった2層のディスク

※ HD層：スーパーオーディオCDの高密度信号層
CD層：既存のCDプレーヤーで読み取り可能な層

● CD-EXTRA

音楽用の音楽データトラックとパソコン用のPCデータトラックを1枚のメディアの中にマルチセッションで書き込んだものです。この場合、第1セッションには音楽データトラックを記録し、第2セッション以降にPCデータトラックを記録するため、音楽CDプレーヤーは第2セッション以降のPCデータトラックを再生することがなくなります。

● Mixed Mode CD

音楽用の音楽データトラックとパソコン用のPCデータトラックを1枚のメディアの中にシングルセッションで書き込んだものです。この場合、第1トラックにはPCデータトラックを記録し、第2トラック以降に音楽データトラックを記録するため、音楽CDプレーヤーは第1トラックのPCデータを再生してしまい、大きなノイズが出力されてしまいます。これは音楽CDプレーヤーがマルチセッションに対応しているため、マルチセッションのCDを再生すると第1セッションしか認識せず、これが再生されてしまうためです。

● MP3

MP3はMPEGAudioLayerⅢの略で、MPEG Audio Layer3は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3は人間の聞きとれない音声、不可聴帯域を圧縮するので、元のファイルを約1/10のサイズにすることができます。

● ID3タグ

MP3ファイルには、ID3タグと呼ばれる付属文字情報を入力する領域が確保されていて、曲のタイトル、アーティスト名などを保存できます。ID3タグに対応したプレイヤーでID3タグ情報の表示・編集が可能です。

● エンコーダ

WAVEファイルからMP3ファイルへ変換（圧縮）するためのソフトウェアのことです。

● セキュアAAC

セキュアAAC（Advanced Audio Coding）とは著作権保護に対応した方式で作成されたデータのことです。圧縮方式の中でも高音質で記録再生することができます。

● SDメモリーカード

著作権保護技術を搭載した小型、軽量のIC記録メディアです。SDメモリーカード対応機器で画像や音楽などのデータを記録することができ、1 枚のSDメモリーカードに異なる種類のデータを混在して記録することができます。

● SCMS
(シリアルコピーマネジメントシステム)

デジタル録音は、音質の劣化がとても少ないという特徴があり、著作権保護の観点から、デジタル信号でコピーした音源をさらにデジタル信号で録音（コピー）することはデジタル録音機器によって規制されています。これがSCMS（シリアルコピーマネージメントシステム）です。

● Gracenote音楽認識サービス

音楽認識技術と関連情報はGracenote㈱社によって提供されています。Gracenote は、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。

詳細は、Gracenote㈱社のホームページ
www.gracenote.comをご覧下さい。

● コピーコントロールCD
レーベルゲートCD

パソコンなどで音楽データを読み取り、データ化、保存ができないように処理してあるCDのことです。

コピーコントロールCD、レーベルゲートCDには下記のマークが付与されています。

ご使用になる前に、必ずパッケージなどに同梱されている説明書をお読みください。





● セッション

CD-R、CD-RWでは、書き込みをする度にデータの前後にリードイン、リードアウトという領域が付加されます。このリードイン、データ、リードアウトの固まりを“セッション”と言います。1枚のCD-R/RWに1つのセッションが書き込まれているものを「シングルセッション」、1枚のCD-R/RWに追記によって複数のセッションが書き込まれているものを「マルチセッション」といいます。

● ワンセグ放送

ワンセグ放送とは、1セグメントを使用した携帯端末向けの放送のことです。1セグメントのみ使用するため解像度は低いですが、視聴可能な範囲が広いのが特長です。

● AAC

AAC（アドバンスド・オーディオ・コーディング）とは音声圧縮方式のひとつです。デジタル放送における5.1chサラウンドはAACを採用しています。

2. 用語説明

● データ放送	通常の番組とは他に、さまざまな情報を提供する放送のことです。たとえば、天気予報やニュース、道路の混雑状況を見たり、クイズに参加したりすることができます。
● ハイビジョン	高精細度テレビジョン（HDTV：High Definition TV）のことです。地上デジタル放送ではハイビジョン映像と標準映像の2種類の映像を配信することができます。標準映像の縦横比が4：3なのに対して、ハイビジョン映像は16：9と、横長になっています。走査線の数も標準映像が525本なのに対して、ハイビジョン映像は倍以上の1125本となっており、細部まできれいに表現することができます。これにより、画面と融合しているかのような臨場感溢れる映像を楽しむことができます。 本機はハイビジョン放送の受信は可能ですが、表示は標準映像となります。
● マルチビュー放送	1つの番組を複数の映像に分けて放送することです。例えば野球の放送を、ピッチャーの映像、バッターの映像、バックスクリーンからの映像、というように3つのアングルから選んで楽しむことができます。
● Bluetooth	2.4GHz帯域を用いて、Bluetooth搭載機器間で無線通信を行うことができます。本機は、Bluetooth無線技術を搭載した機器との無線通信により、ハンズフリー機能やデータ通信、音楽ファイルの再生機能が使用できます。

3. 地図データについて

地図データについて

このGPSナビゲーションシステムの「地図」は財団法人日本デジタル道路地図協会作成の「全国デジタル道路地図データベース」と株式会社ゼンリンの地理情報に基づいて、アイシン・エィ・ダブリュ株式会社と株式会社トヨタマップマスターが制作したものです。但し、調査時期やその取得方法により現場の状況と異なる場合があるため、使用に際しては実際の道路状況および交通規制にしたがってください。

渋滞考慮探索機能（交通情報予測機能）はアイシン・エィ・ダブリュ株式会社の提供です。

地図データの詳細につきましては、設定（ナビ）の **地図更新** の **使用データ** をご覧ください。

いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。

●この地図の作成に当たっては、国土交通省国土地理院発行の 5 万分の 1 地形図および 2.5 万分の 1 地形図を使用しました。

●この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の 20 万分の 1 地勢図、5 万分の 1 地形図、2 万 5 千分の 1 地形図、1 万分の 1 地形図及び数値地図 50m メッシュ（標高）を使用しました。（測量法第 30 条に基づく成果使用承認 平 22 業使 第 427-002 号）

●この地図の作成に当たっては、国土情報整備事業の一環として国土交通省国土地理院において作成された、国土数値情報を使用しました。

●この地図の作成に当たっては、財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。（測量法第 44 条に基づく成果使用承認　06-052T）

●この地図に使用している事故多発地点データは、警察庁および国土交通省のデータをもとに作成しました。

●この地図に使用しているボトルネック踏み切りデータは、国土交通省のデータを基に作成しました。

●スマート IC（ETC 専用）について
スマート IC は ETC 専用のインターチェンジのため、実際の走行の際には ETC を使用できる状態でなければご利用頂けません。また、スマート IC は乗降方向（上り下り）や時間帯、車種が限定される箇所がありますので、必ず現場の交通規制標識・標示等にしたがってください。

●交通規制データの出典について
この地図に使用している交通規制データは、道路交通法及び警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報を使用して、（株）トヨタマップマスターが作成したものを使用しています。

●道路交通規制の優先について
このデータが現場の交通規制と違う場合は、現場の交通規制標識・標示等にしたがってください。

●道路交通情報データについて
道路交通情報データは、財団法人日本道路交通情報センターから提供されます。
データ作成には、財団法人道路交通情報通信システムセンター（VICS センター）の技術が用いられています。

●統計交通情報について
統計交通情報データは、JARTIC/VICS および独自で収集した交通情報を基にトヨタメディアサービス株式会社が統計処理をしたデータを使用しています。

©2007 財団法人　日本デジタル道路地図協会
©アイシン・エィ・ダブリュ（株）& ZENRIN CO.,LTD.&(株)トヨタマップマスター&（株）昭文社

本製品のデータ格納機能として、株式会社ACCESSのAVE-File(TM)を搭載しています。

Copyright ¯2000-2004 ACCESS CO., LTD.

4. VICS情報有料放送サービス契約約款

VICS 情報有料放送サービス契約約款

第１章　総　則

（約款の適用）
第１条　財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和 25 年法律第 132 号）第 52 条の 4 の規定に基づき、この VICS 情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これにより VICS 情報有料放送サービスを提供します。

（約款の変更）
第 2 条 当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後の VICS 情報有料放送サービス契約約款によります。

（用語の定義）
第 3 条 この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。
(1) VICS サービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM 多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス
(2) VICS サービス契約
当センターから VICS サービスの提供を受けるための契約
(3) 加入者
当センターと VICS サービス契約を締結した者
(4) VICS デスクランブラー
FM 多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第２章　サービスの種類等

（VICS サービスの種類）
第４条 VICS サービスには、次の種類があります。
(1) 文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス
(2) 簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス
(3) 地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

（VICS サービスの提供時間）
第 5 条 当センターは、原則として一週間に概ね 120 時間以上の VICS サービスを提供します。

第３章　契　約

（契約の単位）
第 6 条 当センターは、VICS デスクランブラー 1 台毎に 1 の VICS サービス契約を締結します。

（サービスの提供区域）
第 7 条 VICS サービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ね NHK-FM 放送を受信することができる範囲内）とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況により VICS サービスを利用することができない場合があります。

（契約の成立等）
第 8 条 VICS サービスは、VICS 対応 FM 受信機（VICS デスクランブラーが組み込まれた FM 受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

（VICS サービスの種類の変更）
第 9 条 加入者は、VICS サービスの種類に対応した VICS 対応 FM 受信機を購入することにより、第４条に示す VICS サービスの種類の変更を行うことができます。

（契約上の地位の譲渡又は承継）
第 10 条　加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

（加入者が行う契約の解除）
第 11 条　当センターは、次の場合には加入者が VICS サービス契約を解除したものとみなします。
（1）加入者が VICS デスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
（2）加入者の所有する VICS デスクランブラーの使用が不可能となったとき

（当センターが行う契約の解除）
第 12 条
1　当センターは、加入者が第 16 条の規定に反する行為を行った場合には、VICS サービス契約を解除することがあります。また、第 17 条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICS サービス契約は、解除されたものと見なされます。
2　第 11 条又は第 12 条の規定により、VICS サービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICS サービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第４章　料　金

（料金の支払い義務）
第 13 条　加入者は、当センターが提供する VICS サービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。
なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第５章　保　守

（当センターの保守管理責任）
第 14 条　当センターは、当センターが提供する VICS サービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

（利用の中止）
第 15 条
1　当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICS サービスの利用を中止することがあります。
2　当センターは、前項の規定により VICS サービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。
ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第６章　雑　則

（利用に係る加入者の義務）
第 16 条　加入者は、当センターが提供する VICS サービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

（免責）
第 17 条
1　当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由により VICS サービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。
また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICS サービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。
但し、当センターは、当該変更においても、変更後 3 年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICS サービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。
2　VICS サービスは、FM 放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機による VICS サービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3 年以上の期間を持って、VICS サービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

［別表］　視聴料金　315 円（うち消費税 15 円）
ただし、車載機購入価格に含まれております。

5. Gracenoteメディアデータベースのご利用について

Gracenote® エンド ユーザー使用許諾契約書

本ソフトウエア製品または本電器製品には、カリフォルニア州エメリービル市の Gracenote, Inc. (以下「Gracenote」とする) から提供されているソフトウェアが含まれています。本ソフトウエア製品または本電器製品は、Gracenote 社のソフトウェア (以下「Gracenote ソフトウェア」とする) を利用し、音楽 CD や楽曲ファイルを識別し、アーティスト名、トラック名、タイトル情報 (以下「Gracenote データ」とする) などの音楽関連情報をオンライン サーバー或いは製品に実装されたデータベース (以下、総称して「Gracenote サーバー」とする) から取得するとともに、取得された Gracenote データを利用し、他の機能も実現しています。お客様は、本ソフトウエア製品または本電器製品の使用用途以外に、つまり、エンドユーザー向けの本来の機能の目的以外に Gracenote データを使用することはできません。

お客様は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを非営利的かつ個人的目的にのみに使用することについて、同意するものとします。お客様は、いかなる第三者に対しても、Gracenote ソフトウェアや Gracenote データを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。**お客様は、ここに明示的に許諾されていること以外の目的に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、または Gracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。**

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様は Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバー全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenote は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenote は、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務もお客様に対して負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc. が本契約上の権利を Gracenote として直接的にお客様に対し、行使できることに同意するものとします。

Gracenote のサービスは、統計的処理を行うために、クエリ調査用の固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenote サービスを利用しているお客様を認識しながらも、特定することなしにクエリを数えられるようにしています。詳細については、Web ページ上の、Gracenote のサービスに関する Gracenote プライバシー ポリシーを参照してください。

Gracenote ソフトウェアと Gracenote データの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用が許諾されるものとします。Gracenote は、Gracenote サーバーにおける全ての Gracenote データの正確性に関して、明示的または黙示的を問わず、一切の表明や保証をしていません。Gracenote は、妥当な理由があると判断した場合、Gracenote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。
Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーにエラー、障害のないことや、或いは Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの機能に中断が生じないことの保証は致しません。Gracenote は、将来 Gracenote が提供する可能性のある、新しく拡張や追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenote は、任意の時点でサービスを中止できるものとします。

Gracenote は、黙示的な商品適合性保証、特定目的に対する商品適合性保証、権利所有権、および非侵害性についての責任を負わないものとし、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。Gracenote は、お客様による Gracenote ソフトウェアまたは任意の Gracenote サーバーの利用により、得る結果について保証しないもとのとします。いかなる場合においても、Gracenote は結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

copyright © 2000 to present Gracenote

6. オンデマンドVICSのご利用について

使用許諾条件

本製品には、カリフォルニア大学およびそのコントリビュータによって開発され、下記の使用条件とともに配付されているFreeBSDの一部が含まれています。

@(#)COPYRIGHT 8.2 (Berkeley)3/21/94

All of the documentation and software included in the 4.4BSD and 4.4BSD-Lite Releases is copyrighted by The Regents of the University of California.

Copyright 1979, 1980, 1983, 1986, 1988, 1989, 1991, 1992, 1993, 1994 The Regents of the University of California. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.

4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The Institute of Electrical and Electronics Engineers and the American National Standards Committee X3, on Information Processing Systems have given us permission to reprint portions of their documentation.

In the following statement, the phrase "this text" refers to portions of the system documentation.

Portions of this text are reprinted and reproduced in electronic form in the second BSD Networking Software Release, from IEEE Std 1003.1-1988, IEEE Standard Portable Operating System Interface for Computer Environments (POSIX), copyright C 1988 by the Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc. In the event of any discrepancy between these versions and the original IEEE Standard, the original IEEE Standard is the referee document.

In the following statement, the phrase "This material" refers to portions of the system documentation.

This material is reproduced with permission from American National Standards Committee X3, on Information Processing Systems.

Computer and Business Equipment Manufacturers Association (CBEMA), 311 First St., NW, Suite 500, Washington, DC 20001-2178.

The developmental work of Programming Language C was completed by the X3J11 Technical Committee.

The views and conclusions contained in the software and documentation are those of the authors and should not be interpreted as representing official policies, either expressed or implied, of the Regents of the University of California.

本製品には、カリフォルニア大学バークレイ校において開発されたソフトウェアが含まれています。

Copyright© 1989 Regents of the University of California. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms are permitted provided that the above copyright notice and this paragraph are duplicated in all such forms and that any documentation, advertising materials, and other materials related to such distribution and use acknowledge that the software was developed by the University of California, Berkeley. The name of the University may not be

6. オンデマンドVICSのご利用について

used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTIBILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

本製品には、WIDEのKAMEプロジェクトによって開発され、下記の使用条件とともに配付されているソフトウェアが含まれています。

Copyright© 1995, 1996, 1997, and 1998 WIDE Project.

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. Neither the name of the project nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

本製品には、スタンフォード大学よって開発され、下記の使用条件とともに配布されているmroutedの一部が含まれています。

The mrouted program is covered by the following license. Use of the mrouted program represents acceptance of these terms and conditions.

1. STANFORD grants to LICENSEE a nonexclusive and nontransferable license to use, copy and modify the computer software "mrouted" (hereinafter called the "Program"), upon the terms and conditions hereinafter set out and until Licensee discontinues use of the Licensed Program.

2. LICENSEE acknowledges that the Program is a research tool still in the development state, that it is being supplied "as is," without any accompanying services from STANFORD, and that this license is entered into in order to encourage scientific collaboration aimed at further development and application of the Program.

3. LICENSEE may copy the Program and may sublicense others to use object code copies of the Program or any derivative version of the Program. All copies must contain all copyright and other proprietary notices found in the Program as provided by STANFORD. Title to copyright to the Program remains with STANFORD.

4. LICENSEE may create derivative versions of the Program. LICENSEE hereby grants STANFORD a royalty-free license to use, copy, modify, distribute and sublicense any such derivative works. At the time LICENSEE provides a copy of a derivative version of the Program to a third party, LICENSEE shall provide STANFORD with one copy of the source code of the derivative version at no charge to STANFORD.

5. STANFORD MAKES NO REPRESENTATIONS OR WARRANTIES, EXPRESS OR IMPLIED. By way of example, but not limitation, STANFORD MAKES NO REPRESENTATION OR WARRANTIES OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR ANY PARTICULAR PURPOSE OR THAT THE USE OF THE LICENSED PROGRAM WILL NOT INFRINGE ANY PATENTS, COPYRIGHTS, TRADEMARKS OR OTHER RIGHTS. STANFORD shall not be held liable for any liability nor for any direct, indirect or consequential damages with respect to any claim by LICENSEE or any third party on account of or arising from this Agreement or use of the Program.

6. This agreement shall be construed, interpreted and applied in accordance with the State of California and any legal action arising out of this Agreement or use of the Program shall be filed in a court in the State of California.

7. Nothing in this Agreement shall be construed as conferring rights to use in advertising, publicity or otherwise any trademark or the name of "Stanford".

The mrouted program is COPYRIGHT 1989 by The Board of Trustees of Leland Stanford Junior University.

本製品には、南カリフォルニア大学およびそのコントリビュータによって開発され、下記の使用条件とともに配布されているpimdの一部が含まれています。

6. オンデマンドVICSのご利用について

Copyright (c) 1998-2001

University of Southern California/Information Sciences Institute. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. Neither the name of the project nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE PROJECT AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE PROJECT OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

$Id: LICENSE,v 1.5 2001/09/10 20:31:36 pavlin Exp $

Part of this program has been derived from mrouted.

The mrouted program is covered by the license in the accompanying file named "LICENSE.mrouted".

The mrouted program is COPYRIGHT 1989 by The Board of Trustees of Leland Stanford Junior University.

本製品には、オレゴン大学によって開発され、下記の使用条件とともに配布されているpimddの一部が含まれています。

Copyright (c) 1998 by the University of Oregon. All rights reserved.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation in source and binary forms for lawful purposes and without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both the copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that any documentation, advertising materials, and other materials related to such distribution and use acknowledge that the software was developed by the University of Oregon. The name of the University of Oregon may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THE UNIVERSITY OF OREGON DOES NOT MAKE ANY REPRESENTATIONS ABOUT THE SUITABILITY OF THIS SOFTWARE FOR ANY PURPOSE. THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, TITLE, AND NON-INFRINGEMENT.

IN NO EVENT SHALL UO, OR ANY OTHER CONTRIBUTOR BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, WHETHER IN CONTRACT, TORT, OR OTHER FORM OF ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH, THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

Other copyrights might apply to parts of this software and are so noted when applicable.

Questions concerning this software should be directed to Kurt Windisch (kurtw@antc.uoregon.edu)

$Id: LICENSE,v 1.2 1998/05/29 21:58:19 kurtw Exp $

Part of this program has been derived from PIM sparse-mode pimd.

The pimd program is covered by the license in the accompanying file named "LICENSE.pimd".

The pimd program is COPYRIGHT 1998 by University of Southern California.

Part of this program has been derived from mrouted.

6. オンデマンドVICSのご利用について

The mrouted program is covered by the license in the accompanying file named "LICENSE.mrouted".

The mrouted program is COPYRIGHT 1989 by The Board of Trustees of Leland Stanford Junior University.

Copyright (c) 1998 by the University of Southern California. All rights reserved.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation in source and binary forms for lawful purposes and without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both the copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that any documentation, advertising materials, and other materials related to such distribution and use acknowledge that the software was developed by the University of Southern California and/or Information Sciences Institute.

The name of the University of Southern California may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THE UNIVERSITY OF SOUTHERN CALIFORNIA DOES NOT MAKE ANY REPRESENTATIONS ABOUT THE SUITABILITY OF THIS SOFTWARE FOR ANY PURPOSE. THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, TITLE, AND NON-INFRINGEMENT.

IN NO EVENT SHALL USC, OR ANY OTHER CONTRIBUTOR BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, WHETHER IN CONTRACT, TORT, OR OTHER FORM OF ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH, THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

Other copyrights might apply to parts of this software and are so noted when applicable.

Questions concerning this software should be directed to Pavlin Ivanov Radoslavov (pavlin@catarina.usc.edu)

$Id: LICENSE.pimd,v 1.1 1998/05/29 21:58:20 kurtw Exp $

Part of this program has been derived from mrouted.

The mrouted program is covered by the license in the accompanying file named "LICENSE.mrouted".

The mrouted program is COPYRIGHT 1989 by The Board of Trustees of Leland Stanford Junior University.

本製品には、RSA Data Security社が著作権を有しているMD5 Message-Digest Algorithmが含まれています。

Copyright (C) 1991-2, RSA Data Security, Inc. Created 1991. All rights reserved.

License to copy and use this software is granted provided that it is identified as the "RSA Data Security, Inc, MD5 Message-Digest Algorithm" in all material mentioning or referencing this software or this function.

License is also granted to make and use derivative works provided that such works are identified as "derived from the RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm" in all material mentioning or referencing the derived work.

RSA Data Security, Inc. makes no representations concerning either the merchantability of this software or the suitability of this software for any particular purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty of any kind.

These notices must be retained in any copies of any part of this documentation and/or software.

本製品には、Eric Young 氏 (eay@cryptsoft.com)によって記述された暗号ソフトウェアが含まれています。

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).

The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code

found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed. If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used. This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: "This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)" The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library being used are not cryptographic related :-).

4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement: "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

本製品には、OpenSSLツールキットを使用するためにOpenSSL Project (http://www.OpenSSL.org/)によって開発されたソフトウェアが含まれています。

Copyright (c) 1999 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project

for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.OpenSSL.org/)"

4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact licensing@OpenSSL.org.

5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.

6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.OpenSSL.org/)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

7. バッテリーの交換について

お車から本機やバッテリーを取りはずした場合、一部（下記表）を除き、本機に保存されている情報（設定）が初期化（消去）されます。お車の点検やバッテリーの交換、地図データの全更新を行う際は、ご注意ください。

初期化されない情報

項目	内容
メンテナンス	各種項目・自動通知設定
メモリ地点	登録したメモリ地点（自宅を含む）
迂回メモリ地点	登録した迂回メモリ地点
販売店の設定	設定した販売店の情報
ユーザーカスタマイズ	記憶させた各種ナビ設定
地上デジタルTV放送	プリセットスイッチに記憶されたチャンネル

ワンポイント

- 一度初期化（消去）された内容（データ）は元にもどせません。ご注意ください。
- ESNの設定をしている場合、バッテリーの交換などをおこなうと、ESNのロックがかかります。ESNのロックを解除する方法については、（**「ESNのロックを解除する」**66ページ参照）を参照してください。

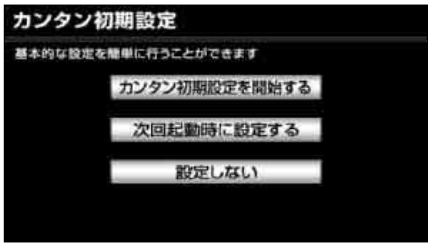
8. バッテリーの交換時について

バッテリーを交換したとき（バッテリーの⊕ターミナルを接続）は、エンジンスイッチをACC、またはONにするとプログラムの読み込みが開始されます。プログラム読み込み中は絶対にバッテリーターミナルをはずさないでください。

下記のように画面がかわります。







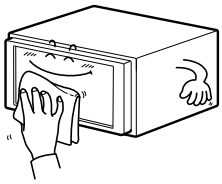
ワンポイント

ESNを設定している場合（64 ページ参照）や地図SDカードが差し込まれていない場合（38 ページ参照）は、表示される画面は異なります。

9. お手入れについて

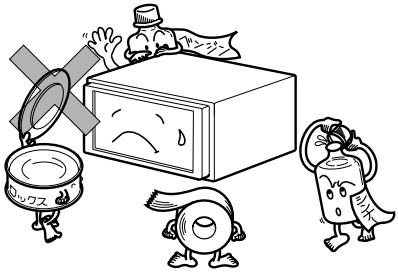
本機のお手入れについて

● 汚れをおとすときは、柔らかい布（シリコンクロスなど）をお使いください。
汚れがひどいとき、水でうすめた台所用洗剤にひたした布をよく絞ってふきとり、乾いた布でしあげる。
化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。



タッチパネルは傷がつきやすいのでご注意ください。

● ベンジンやシンナーなどの揮発性のある薬品は使用しないでください。
変質したり、塗装がはげることがあります。



アンテナのお手入れについて

● 掃除をするときは、タオルや柔らかい布などで軽く押えるようにして拭いてください。爪などでこするとアンテナパターン線がはがれる原因となります。

● アンテナ部からコードを取り外すことはできません。無理に取り外すと動作できなくなり、再使用もできません。

● コードのコネクタ部分に力をかけないでください。

● 一部の車種に採用されている断熱ガラス、熱遮断フィルムには電波を反射させる性質があり、受信感度が極端に低下する場合があります。またお車のフロントガラスにミラータイプ等のフィルムを貼っている場合、受信感度が落ちることがあります。

● 受信状態が良くなる角度に調整してください。

● トランクドアやバックドアを開けたときに、エレメントが車両（ボディ）に当たらないような角度にしてください。

● カーウィンドフィルムの上からフィルムアンテナを貼った場合、フィルムアンテナをはがす際にカーウィンドフィルムを傷めることがありますのでご注意ください。

10.仕様

<GPSアンテナ>

寸法	35（W）Δ14（H）Δ6.6（D）mm（突起部を除く）
重量	約107（g）
電源電圧	4.7±0.5V
消費電流	9mA以上　30mA以下

<テレビ・ディスプレイ>

受信チャンネル	UHF13～62チャンネル
液晶パネル	7型ワイド低反射パネル
画素数	1,152,000個（800（H）Δ480（V）Δ3）
有効画素率	99.99%以上
表示方法	透過型カラーフィルター方式
駆動方式	TFT（薄膜トランジスタ）アクティブマトリクス方式

<ラジオ・チューナー部>

受信周波数	● AM522～1,629kHz ● FM76～90MHz
実用感度	● AM13dBσV (S/N20dB) ● FM13dBf (S/N30dB)
周波数特性	30～15kHz (FM)

<CD部>

ワウ・フラッタ	測定限界以下
高調波歪み率	0.01%（0dB、1kHz）
周波数特性	20Hz～20kHz
S／N比	97dB（1kHz）
ダイナミックレンジ	95dB

<SDメモリーカード部>

高調波歪み率	0.01%（1kHz、0dB）
周波数特性	40Hz～16kHz
S／N比	90dB（1kHz）

10.仕様

<DVD部>

高調波歪み率	0.01%（1kHz、0dB）
周波数特性	20Hz～20kHz
S／N比	97dB（1kHz）

<共通部>

高調波歪み率	0.01%（1kHz、0dB）
周波数特性	20Hz～20kHz
S／N比	96dB（1kHz）
定格出力	15WΔ4（1kHz、1%4Ω）（EIAJ）
最大出力	MOS-FET 49WΔ4
適合負荷インピーダンス	4Ω（各チャンネル）
電源電圧	DC13.2V（10.5～15.8V） アース専用
動作温度範囲	-20℃～+65℃
保存温度範囲	-40℃～+85℃
消費電流	● 0.5WΔ4出力時　約3.5A ● 最大約13A
外形寸法	横幅180mm・高さ100mm・奥行165mm
質量（重量）	約2.7kg

製品の仕様および外観等の変更により、本書の内容が本機と一致しない場合がありますのでご了承ください。

11.凡例

表示①… リアルワイドマップ画面　　表示②… 通常地図画面

表示①	表示②	内容
(紫色)	(紫色)	高速・都市高・有料道路
	(赤色)	国道
(緑色)	(緑色)	主要地方道
	(橙色)	県道
(灰色)	(灰色)	その他の道路(巾5.5m 以上)
(灰色)	(灰色)	その他の道路(巾3.0m 以上)
		トンネルまたは整備計画区間 (上記各道路で表示あり)
		私鉄
		JR
		水域
		都道府県界
		緑地
		駅舎・敷地
		踏切
		ボトルネック踏切※
		官公庁
		都道府県庁
		市役所・東京23 区役所
		町村・東京以外区役所
		警察署
		消防署
		郵便局
IC	IC	インターチェンジ
IC	IC	スマートインターチェンジ
SA	SA	サービスエリア
PA	PA	パーキングエリア
		信号機
P	P	駐車場
		駅
		道の駅
		フェリーターミナル

表示①	表示②	内容
		港湾
		空港・飛行場
文		学校
幼		幼稚園
		病院・医院
		電力会社・発電所
		電話局
		銀行・信用金庫・農協
		デパートなど
H		ホテル・旅館など
		ビル
		工場
		灯台
		神社
		寺院
		教会
		霊園・墓地
		城・城跡
		名所・観光地など
		ゴルフ場
		スキー場
		海水浴場
		アイススケート場
		マリーナ・ヨットハーバー
		陸上競技場・体育館
		キャンプ場
		公園
		温泉
		山
		その他の施設

※列車が頻繁に通過するため、通過するのに時間がかかる踏み切り。
表示されるマークの位置は実際と異なることがあります。また、複数の施設を代表して1つのマークで表示することがあります。

共通索引

五十音順

ア

オープニング画面
- オープニング画面を切り替える.....59
- お好みの画像データに書き換える.....59
- 使用できる画像データ.....60

お手入れについて.....570

カ

画面
- 操作画面継続表示を設定する.....58
- アクセントカラーを切り替える.....58
- 画質調整画面を表示する.....61
- 夜画・昼画表示に切り替える.....62
- 画面を消す.....62
- 画質の調整.....62

故障とお考えになる前に
- 共通操作関係.....545
- ナビゲーション関係.....546
- オーディオ・ビジュアル関係.....548

個人情報の初期化.....70

こんなメッセージが表示されたときは
- ナビゲーション関係.....535
- オーディオ・ビジュアル関係.....540
- ハンズフリー関係.....544

サ

仕様.....571

操作音の設定.....57

タ

ディスク
- 各ディスク（CD・DVD）および SD メモリーカードの入れ方.....38
- 各ディスク（CD・DVD）および SD メモリーカードの出し方.....41

ディスプレイ
- 角度調整.....46

ナ

ナビゲーション音声
- 出力位置を切り替える.....57

ハ

バッテリーの交換時について.....569

本機
- 各部の名称と操作.....34
- 電源の入れ方・切り方.....37
- モードについて.....48
- 作動条件について.....49
- 各モードの呼び出し.....50

ヤ

用語説明.....551

ラ

ラジオアンテナの設定 63

アルファベット／数字

E

ESN
ESN 設定画面を表示する.....64
ESN を作動する 64
ロックを解除する 66
ESN の設定を解除する.....68
セキュリティインジケータの表示を設定する 70

S

SDメモリーカード
各ディスク（CD・DVD）および SD メモリーカードの入れ方.....38
各ディスク（CD・DVD）および SD メモリーカードの出し方.....41

U

USB
接続する（取りはずす）.....45

ナビゲーション索引

五十音順

ア

案内道路情報.....167
迂回メモリ地点
登録する.....249
修正する.....250
消去する.....251
エコナビ情報機能
機能の紹介.....273
燃費を計算する.....273
燃費履歴を編集・削除する.....275
エコ運転評価を表示する.....278
エコドライブ
インフォメーションの
設定をする.....279
音声案内
目的地案内中の音声案内について.....199
自動音声案内を設定する.....200
オンデマンドVICS
機能の紹介.....219
対応 Bluetooth 仕様および
対応プロファイル.....220
ユーザー登録.....221
通信接続設定.....222
オンデマンド VICS の取得設定.....223
音量
調節する.....90
高速時の自動音量切り替えを
設定する.....90
オンルートスクロール
開始する.....202
施設を設定する.....202
操作する.....203

カ

カレンダー機能.....281
季節規制区間
回避する.....166
メッセージ表示を設定する.....166
距離の補正.....316
クイックサーチ.....124
区間別探索条件
変更する.....172
携帯連携機能
地点情報を送信する.....283
地点情報を受信する.....284
Yahoo! JAPAN と連携する.....286
目的地情報を本機へ送信する.....290
ドライブルートの情報を本機へ
送信する.....290
地点情報を本機へ送信する.....291
走行軌跡情報を携帯電話へ
送信する.....292
メモリ地点を携帯電話へ送信する.....293
目的地履歴を携帯電話へ送信する.....294
県境案内.....118
現在地
表示する.....94
修正する.....315
交差点拡大図.....188
交差点案内
分岐しない交差点.....188
分岐する交差点.....188
拡大図の自動表示を設定する.....186
拡大図を解除する.....186
3D イラスト拡大図.....189
リアル交差点拡大図.....189
立体交差点拡大図.....189
難交差点拡大図.....189
3D 交差点拡大図.....189
側道案内拡大図.....189

レーンリスト図案内 190
レーンリスト図を切り替える 190
高速分岐案内
拡大図の自動表示を設定する 186
拡大図を解除する 186
高速路線マップ
縮尺を切り替える 110
自動表示を設定する 110
解除する 111
高速路線マップに切り替える 111

サ

細街路での案内 200
差分更新
差分更新（マップオンデマンド）と全更新について 321
シーズンレジャーランドマーク表示 116
市街図の表示
切り替える 100
縮尺を切り替える 100
解除する 101
施設の内容を表示する 101
施設の表示
走行中に簡易操作で表示する 120
施設ランドマークを消去する 121
複数ジャンルを表示する 121
周辺の施設を検索する 122
ルートを考慮したリストを表示する 123
施設の情報を表示する 124
シティドライブモード画面
操作する 108
解除する 108
自動再探索 208
車両情報
設定する 193
ジャンクションレーンアシスト 198
渋滞考慮探索機能 299
渋滞考慮ルート探索 161
周辺施設走行中呼び出しジャンル 124
乗降インターチェンジ（IC）
指定する 176
指定を解除する 177
情報・BTナビ画面（情報） 266
情報・BTナビ画面（BTナビ） 282
精度と誤差 326
赤外線ケータイリンク
地図を呼び出す 141
設定・編集画面 77
全ルート図の再表示 201
全ルート図表示
ルートの表示 163
細街路の表示 163
見方 164
走行軌跡
表示する 102
解除する 102
走行軌跡情報を携帯電話へ送信する 292
操作説明音声 91

タ

ターンリスト図案内
自動表示を設定する 186
解除する 186
見方 197
タッチスイッチの表示
切り替える 96
設定する 96
他モードでの案内 200
地図更新
差分更新（マップオンデマンド）と全更新について 321
地図データの情報を表示する 323
専用のアプリケーションソフトについて 323

12. 索引

地図データ
表示する……323
地図データについて……555
地図の移動
移動する……95
地名表示を設定する……95
地図の縮尺
切り替える……98
目的地までの縮尺に切り替える……98
縮尺切替メッセージ表示を設定する……99
地図の操作
位置を変更する……151
施設内容を表示する……151
提携駐車場を検索する……152
住所を検索する……152
地図の表示色……88
地図の向き……103
地図の呼び出し方法
名称で呼び出す……129
住所で呼び出す……137
施設で呼び出す……137
電話番号で呼び出す……139
赤外線ケータイリンクで呼び出す……141
Yahoo! JAPAN で登録した地点／ルートで呼び出す……142
メモリ地点で呼び出す……144
ジャンルで呼び出す……144
郵便番号で呼び出す……147
マップコードで呼び出す……147
携帯電話で呼び出す……148
履歴で呼び出す……149
特別メモリ地点で呼び出す……149
注意喚起
速度超過アラーム……93
リバースシフトアラーム……93
通過道路
指定する……178
指定を修正する……180
指定を解除する……181
到着予想時刻表示……191
到着予想時刻／残距離表示
切り替える……201
時計表示……90
都市高マップ
自動表示を設定する……186
解除する……186

ナ

ナビゲーション画面の見方……74
ナビゲーションの設定の記憶
記憶することのできる設定項目……318
記憶する……318
呼び出す……319
名称を変更する……319
消去する……320
ノースアップ表示……103

ハ

バーチャタウンマップ……112
ハートフル音声……92
ハイパーリルート……208
バックアイカメラ
映像を映す……307
ガイド線の設定・調整……307
画面の見方……309
ガイド線の表示／解除……309
視点の切り替え……310
ビーコン即時案内……296
ビルディングクイックサーチ……101
フェリー航路の案内……190
フロントアイカメラ
フロントアイカメラ映像の切り替え……313
フロントワイド表示
切り替える……104
設定する……104

ヘディングアップ表示 103
ボイスヘルプ 91
補正
現在地を修正する 315
距離を補正する 316

マ

マップオンデマンド
差分更新（マップオンデマンド）と全更新について 321
地図データの情報を表示する 323
専用のアプリケーションソフトについて 323
メモリ地点の移行
パスワードの設定 252
メモリ地点を SD メモリーカードに移す 254
SD メモリーカードに保存したメモリ地点を本機に移す 256
メモリ地点の登録
地点の登録について 236
登録する 237
修正・入力する 238
消去する 247
メンテナンス機能
メンテナンスメニュー画面について 259
時期を設定する 260
案内を設定する 261
案内について 262
設定を更新する 262
設定を消去する 263
販売店を設定する 264
販売店を修正・消去する 265
目的地
追加する 170
並び替える 173
消去する 174
目的地案内
開始する 183
中止・再開する 183
デモンストレーション（デモ） 184
目的地設定
携帯電話から設定する 148
目的地設定・ルート探索について 154
地図スクロールから設定する 156
登録地点から設定する 158
地図の呼び出し方法から設定する 159
目的地履歴の消去 182

ラ

ラストゴールメモリーの消去 182
リアルワイドマップ
表示を設定する 115
リスト画面の切り替え方 85
料金案内 192
ルート情報 167
ルート探索 160
ルートの再探索
ルートの再探索について 204
再探索する 207

ワ

ワンタッチスクロール 95

12. 索引

アルファベット／数字

E

ETCシステム

初めて使うときは 300
ETC について 301
ETC メニュー画面を表示する 302
走行中の表示について 302
履歴を表示する 303
登録情報の表示 304
各項目を設定する 304

F

FM多重放送

表示する 268
放送局を切り替える 268
番組を切り替える 269
独立情報番組のページ送り 269
連動情報番組の文字情報を繰り返し見る 270
文字情報の記録・呼び出し・消去 270

S

SYSTEM CHECK機能 272

V

VICS機能

VICS について 210
VICS メディア概要 211
VICS 情報提供内容と表示 215
放送局を選択する 216
オンデマンド VICS 機能 219
表示を設定する 225
表示道路色を切り替える 226
VICS 情報の表示について 227
VICS 情報を地図表示する 228
VICS 情報を消去する 228
渋滞・規制音声案内 229
VICS 図形情報を表示する 230
VICS 文字情報を表示する 231
VICS 表示マークの種類 232
用語説明 233
問い合わせ先 234

W

Wサイトナビ 105

Y

Yahoo! JAPANと連携

アプリケーションをダウンロードする 288
本機から携帯電話へ送信時のセキュリティを設定する 288
セキュリティ設定変更時のロック No. を変更する 289
目的地情報を本機へ送信する 290
ドライブルートの情報を本機へ送信する 290
地点情報を本機へ送信する 291
走行軌跡情報を携帯電話へ送信する 292
メモリ地点を携帯電話へ送信する 293
目的地履歴を携帯電話へ送信する 294

数字

2画面表示
切り替える.....105
右画面を操作する.....106
解除する.....106
2メディア/3レベル対応VICSユニット
ユニットの構成について.....295
割り込み情報を表示する.....296
渋滞考慮探索.....299
新旧ルート比較.....299
3D表示
切り替える.....112
バーチャタウンマップを表示する.....112
バーチャタウンマップの視点を調整する.....113
見下ろす角度を調整する.....113
地図向きを回転する.....114
ルート方向アップ表示を設定する.....114
解除する.....114
3Dランドマーク表示
表示を設定する.....117
内容を表示する.....117
5ルート探索機能.....168
5ルート同時表示.....168

オーディオ索引

五十音順

ア

エリアスイッチ
ラジオ.....357
オートタイトリング機能.....382
音
主音量を調整する 343
音質
SOUND 画面を表示する.....344
EQ を調整する 345
SFC を設定する.....347
POSITION を調整する.....349
音質補整（ハーモナイザー）を設定する.....351
E-VOLUTION を設定する 351
LOUDNESS を設定する 352
サブウーファーを設定する.....353

カ

緊急警報放送.....423

サ

サブウーファー
出力方式を設定する 353
位相を切り替える 353
サブウーファーレベルを設定する 353
X-OVER（クロスオーバー）を設定する.....354
ステアリングスイッチ
設定する.....491
操作する.....493
初期化する.....495
ソース
切り替える.....340

タ

地上デジタルTV放送
地上デジタル TV 放送について.....339, 409
mini B-CAS カードについて.....410
mini B-CAS カードを差し込む・取り出す 411
初回起動時に設定する.....413
見る 415
プリセットモードを切り替える 416
見たいチャンネルを選ぶ.....417
見たい番組を選ぶ 418
受信モードを設定する.....418
放送局（系列局／中継局）サーチを設定する.....419
画面表示・音声の切り替え 420
緊急警報放送を受信したときは 423
EPG（電子番組表）を見る.....424
EPG（電子番組表）の日付を切り替える.....424
EPG（電子番組表）のチャンネルを切り替える.....424
EPG（電子番組表）の番組（サービス）を切り替える.....425
EPG（電子番組表）で番組の内容を見る.....425
データ放送を見る 426
データ放送を操作する.....426
初期設定を変更する 429
受信したメールを閲覧する.....432
mini B-CAS カードの動作確認をする 433
ディスク
使用できるディスクについて.....336
データベース
Gracenote メディアデータベースについて 381
オートタイトリング機能について 382

情報の表示について 382
更新について 383
データ放送
見る 426
操作する 426
デジタルフォトフレーム
デジタルフォトフレームについて 484
再生する 486
設定する 487
電子番組表
見る 424
日付を切り替える 424
チャンネルを切り替える 424
番組（サービス）を切り替える 425
番組の内容を見る 425

ハ

早送り・早戻し
CD 359
MP3/WMA 363
SD メモリーカード 394
USB メモリ 373
DVD 442
iPod 460
Bluetooth オーディオ 471
ビデオ
見る 455
画面サイズを切り替える 456
終わる 456
プレイリスト
プレイリストを作成する 395
名称入力する 397
名称を編集する 398
プレイリストを編集する 398
アルバム情報を編集する 402
トラックを消去する 407
編集
プレイリストの名称を編集する 398
プレイリストを編集する 398
アルバム情報を編集する 402
ポータブルオーディオ
接続する（取りはずす） 479
聞く 480
終わる 480

マ

マルチウィンドウ 481

ラ

ラジオ
聞く 355
聞きたい放送局を選ぶ 355
放送局を記憶する 356
記憶した放送局を変更する 357
エリアスイッチについて 357
交通情報を聞く 357
止める 357
録音
SD メモリーカードへの
録音について 386
録音の設定 388
CD の全てのトラック（曲）を
自動で録音する 388
CD の中からお好みの
トラック（曲）を録音する 389

12. 索引

アルファベット／数字

A

AUX
ポータブルオーディオを接続する（取りはずす）.....479
ポータブルオーディオを聞く.....480
ポータブルオーディオを終わる.....480

B

B-CASカード
mini B-CAS カード.....410
Bluetoothオーディオ
Bluetooth オーディオについて.....464
Bluetooth 対応機器を登録する.....468
Bluetooth 対応機器を接続する.....469
聞く.....470
早送り・早戻しする.....471
聞きたい音楽ファイルを選ぶ.....471
同じ音楽ファイルを繰り返して聞く.....471
音楽ファイルの順番をランダムに再生する.....471
ライブラリから音楽ファイルを選ぶ.....472
再生リストから音楽ファイルを選ぶ.....472
止める.....473
Bluetoothオーディオの設定
Bluetooth 対応機器を切り替える.....475
パスキーを変更する.....475
自動接続を設定する.....476
詳細情報を表示する.....476
Bluetooth 対応機器の登録を削除する.....477

C

CDプレーヤー
聞く.....358
聞きたい曲を選ぶ.....358
早送り・早戻しする.....359
聞きたい曲を探す.....359
同じ曲を繰り返し聞く.....359
曲の順番をランダムに聞く.....360
止める.....360
ディスクについて.....336

D

DVDプレーヤー
DVD の特長.....435
ディスクについて.....437
操作の流れについて.....440
見る.....441
映像を操作する.....442
ディスクメニューを操作する.....443
止める.....444
見たい映像を探す.....444
静止画を切り替える.....445
画面表示・音声を切り替える.....445
DVDプレーヤーの設定
音声言語を設定する.....450
字幕言語を設定する.....450
メニュー言語を設定する.....451
マルチアングルマークの表示を設定する.....452
視聴制限を設定する.....452
オートスタートを切り替える.....453
映像出力を切り替える.....453
言語コード一覧.....454

E

EPG
見る 424
日付を切り替える 424
チャンネルを切り替える....424
番組（サービス）を切り替える 425
番組の内容を見る 425
EQ
選択する....345
調整、記憶する 346
調整値を呼び出す 347
リセットする....347
E-VOLUTION 351

G

Gracenote メディアデータベース
Gracenote メディアデータベースについて 381
データベース情報の表示....382
更新する....383

H

HARMONIZER....351

I

iPodプレーヤー
接続する....458
取りはずす....458
聞く・映像を見る 459
早送り・早戻しする 460
聞きたい音楽ファイルを選ぶ....460
聞きたい音楽ファイルをリストから探す 460
再生中の音楽ファイルリストを表示する....462
同じ音楽ファイルを繰り返し再生する....462
音楽ファイルの順番をランダムに再生する....463
止める....463
MUSIC MENU 画面の選曲モードを並べ替える....463

L

LOUDNESS 352

M

mini B-CASカード
差し込む・取り出す 411
動作確認をする 433
MP3/WMA
聞く 362
聞きたいフォルダを選ぶ....362
聞きたい音楽ファイルを選ぶ....363
早送り・早戻しする 363
聞きたい音楽ファイルを探す 363
聞きたい音楽ファイルを繰り返して聞く 364
音楽ファイルの順番をランダムに聞く 364
止める....364
MP3/WMA について....365

P

POSITION
ポジションを設定する....349
FADER BALANCE（音量バランス）を調整する 350

12. 索引

R

RAND
- CD 360
- MP3/WMA 364
- USB メモリ 374
- SD メモリーカード 394
- Bluetooth オーディオ 471

RPT
- CD 359
- MP3/WMA 364
- USB メモリ 373
- SD メモリーカード 394
- iPod 462
- Bluetooth オーディオ 471

S

SCAN
- CD 359
- MP3/WMA 363
- SD メモリーカード 394
- USB メモリ 373

SDメモリーカード
- SD メモリーカードへの録音について 380, 386
- SD メモリーカードの容量確認 384
- 録音の設定 388
- 録音する 388
- 聞く 392
- 聞きたいトラック（曲）を選ぶ 392
- 聞きたいアルバムを選ぶ 393
- 早送り・早戻しする 394
- 聞きたいトラック（曲）を探す 394
- 聞きたいトラック（曲）を繰り返し聞く 394
- トラック（曲）の順番をランダムに聞く 394
- 止める 394
- プレイリストの編集 398
- アルバム情報の編集 402
- トラックの消去 407

SFC
- 調整、記憶する 348
- リセットする 348

SHUFFLE 463

SOUND画面 344

T

TV
- mini B-CAS カードについて 410
- mini B-CAS カードを差し込む・取り出す 411
- 初回起動時に設定する 413
- 見る 415
- プリセットモードを切り替える 416
- 見たいチャンネルを選ぶ 417
- 見たい番組を選ぶ 418
- 受信モードを設定する 418
- 放送局（系列局／中継局）サーチを設定する 419
- 画面表示・音声の切り替え 420
- 緊急警報放送を受信したときは 423
- 止める 423
- EPG（電子番組表）を見る 424
- EPG（電子番組表）の日付を切り替える 424
- EPG（電子番組表）のチャンネルを切り替える 424
- EPG（電子番組表）の番組（サービス）を切り替える 425
- EPG（電子番組表）で番組の内容を見る 425
- データ放送を見る 426
- データ放送を操作する 426
- 初期設定を変更する 429
- 受信したメールの閲覧 432
- mini B-CAS カードの動作確認をする 433

U

USBメモリ
聞く 372
聞きたいフォルダを選ぶ.....372
聞きたい音楽ファイルを選ぶ.....372
早送り・早戻しする 373
聞きたい音楽ファイルを探す 373
聞きたい音楽ファイルを
繰り返し聞く 373
音楽ファイルの順番を
ランダムに聞く 374
止める.....374
MP3/WMA について.....375

V

VTR
見る 455
画面サイズを切り替える.....456
終わる.....456

X

X-OVER 354

ハンズフリー索引

五十音順

ア

応答保留
電話を保留する（応答保留）.....515

音量
着信音の音量を調整する.....515
受話音量を調整する 516

カ

簡易画面
簡易画面について 518

機器名称
表示する.....522

携帯電話
ハンズフリーについて.....498
携帯電話を登録する 504
携帯電話を接続する 506
設定・編集.....519

サ

初期化
設定を初期化する 532

セキュリティ
ロック No. を変更する.....529
電話帳・発着信履歴制限をする 531
電話帳・発着信履歴制限を解除する 531
設定を初期化する 532

設定・編集
自動接続を設定する 506
音量を設定する 519
使用する携帯電話を選択する 520
電話機詳細情報を表示する.....521
携帯電話の登録を削除する.....523
着信割り込み表示を設定する 524
自動着信応答を設定する.....525
ACC ON 時の Bluetooth 接続確認表示を設定する.....524
セキュリティを設定する.....529
設定を初期化する 532

接続
携帯電話を自動で接続する.....506
携帯電話を手動で接続・切断する 507
再接続について 508

タ

着信拒否
着信拒否する.....515

通話中の操作
受話音量を調整する 516
通話を終了する 516
10 キー入力する 516
送話音をミュート（消音）する 517

通話の転送
通話を転送する 517

電話
電話をかける 509
電話を受ける 514

電話帳
電話帳編集画面を表示する.....526
携帯電話の電話帳データを転送する.....526
データを削除する 528

電話のかけ方
ダイヤル発信する 510
電話帳発信する 510
履歴発信する 511
携帯電話本体から発信する.....513

電話の受け方
電話を受ける 514

トーン
10 キー入力する 516
登録
携帯電話を登録する 504
携帯電話の登録を削除する 523

ハ

パスキー
変更する 523
ハンズフリー
ハンズフリーについて 498
お車を手放すとき 501
Bluetooth 機器使用上の注意事項 501
各種表示について 502

マ

ミュート
送話音をミュート（消音）する 517

MEMO

MEMO

MEMO

製品に対するお問い合せにつきましては、
お買い上げの販売店までご連絡ください。

富士通テン株式会社
〒652-8510　神戸市兵庫区御所通1丁目2番28号
電話　神戸（078）671-5081（代表）

この説明書は、再生紙を使用しています。
©富士通テン株式会社　2013

1303 (K)